

2023年度

講義内容

奈良佐保短期大学

科目 コード	8110	ナンバリング	KBA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期 2023 年度後期
科目名	国語表現法						
科目英語名	Practical Japanese						
担当教員	屋木 瑞穂						
資格・免許 との関連	卒業必修科目 幼稚園教諭、小学校教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	社会生活に必要な「書く力」の養成に重点を置き、国語表現の基礎について学ぶ。毎回、演習問題に取り組むことによって、漢字・語彙力を伸ばし、敬語・文法の知識を習得し、実用的文章と関連づけながら国語表現力を身に付ける。						
学修成果 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 同音・同訓異義語、四字熟語を適切に読み書きし、漢字・語彙を増やすことができる。 2. 慣用句・ことわざ・故事成語の正しい意味を理解し、適切に使うことができる。 3. 文法の知識を習得し、文の組み立てに注意して効果的に書くことができる。 4. 敬語の用法を理解し、適切に使用することができる。 5. 文章の要約や論作文、手紙文・案内文の書き方を理解し、目的に応じた適切な文章表現ができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	授業計画と到達目標、評価方法・基準を確認し、学修の見通しをもつ。			シラバスをよく読み、講義の全体計画を把握し、教科書に目を通しておくこと(2時間)		国語表現法を学ぶことの意義や社会生活に必要な国語力とは何か、また、この授業で何を学ぶかについてまとめておくこと(2時間)	
2	ことばと表現(1) 同音・同訓異義語			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
3	ことばと表現(2) 四字熟語			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
4	ことばと表現(3) 慣用句・ことわざ・故事成語			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
5	ことばと表現(4) 文の構造―主語と述語、修飾語と被修飾語の関係			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
6	ことばと表現(5) 文の構造―読点・接続詞・副詞、助詞の用法			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
7	敬語(1) 敬語の種類、尊敬語と謙譲語の使い分け			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
8	敬語(2) 敬語の正しい使い方			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること。(2時間)	
9	敬語(3) 敬意表現			教科書の該当箇所を読み、指定した演習問題を解くこと(2時間)		授業内容を復習整理し、学んだ知識を定着させること(2時間)	
10	要約文の書き方			予習のために教科書の該当箇所を読み、内容を整理しておくこと(2時間)		学んだ内容を復習整理し、課題文章を作成すること(2時間)	
11	論作文の書き方			予習のために教科書の該当箇所を読み、内容を整理しておくこと(2時間)		授業内容を復習整理し、課題文章を作成すること(2時間)	

12	手紙文の書き方	予習のために配布された資料を読み、内容を整理しておくこと(2時間)	学んだ内容を復習整理し、課題文章を作成すること(2時間)		
13	実践：お礼状を書く	予習のために教科書の該当箇所を読み、内容を整理しておくこと(2時間)	授業内容を復習整理し、課題文章を作成すること(2時間)		
14	案内文の書き方	予習のために配布された資料を読み、内容を整理しておくこと(2時間)	学んだ内容を復習整理し、課題文章を作成すること(2時間)		
15	まとめと振り返り	今学期の授業を振り返り、学んだことや今後の課題について、自分の考えを整理すること(2時間)	授業内容を振り返り、学修成果を今後の生活にどう活かすかについて、自分の考えをまとめること(2時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	大学生のための日本語表現実践ノート	米田明美他著	風間書房	9784759917772	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	新しい国語表記ハンドブック 第9版	三省堂編修所編	三省堂	9784385211459	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業毎の確認テスト、受講姿勢		40%	授業内容を理解しているか評価する。	
	課題の提出(文章作成、最終レポートなどを含む)		60%	語彙や文法の知識を習得し、目的に応じた適切な文章表現ができているか評価する。	
備 考					
フィードバック	確認テストの回答は授業内で行い、解説する。				

科目コード	8135	ナンバリング	KBB200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	日本の憲法						
科目英語名	Constitution of Japan						
担当教員	竹村 和也						
資格・免許との関連	小学校教諭免許、幼稚園教諭免許取得のための必修科目、介護福祉士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	憲法は国の基本法です。憲法は国の原則を定めた法です。この意味で憲法は「設計図」です。設計図の憲法を具体化するために、国会による法律や行政機関による命令がつけられます。この授業では、憲法を中心に、わが国の基本的な法のあり方について学び、さらにあるべき法のあり方についても考えます。						
学修成果到達目標	1. わが国の基本的な法のあり方についての基礎知識を有し、概略を説明することができる。 2. 法のあり方についての批判的な視点を持って、問題点を指摘することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	イントロダクション（日本の法と憲法）統治の仕組み（国会①）					授業での配付物の講読(2 時間)	
2	統治の仕組み（国会・内閣）			授業で配付する新聞記事について調べておくこと(2 時間)		確認テストの準備(2 時間)	
3	統治の仕組み（裁判所）・日本国憲法制定のプロセス			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		理解を深めるためのテキストの講読(2 時間)	
4	日本国憲法の基本原理			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		理解を深めるためのテキストの講読(2 時間)	
5	財産権と財産に関する法			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		理解を深めるためのテキストの講読(2 時間)	
6	平等権と家族に関する法			授業での配付物の事前の講読(2 時間)		確認テストの準備(2 時間)	
7	幸福追求権と自己決定権			授業で配付する新聞記事について調べておくこと(2 時間)		理解を深めるためのテキストの講読(2 時間)	
8	生殖に関する法（産む権利・産まない権利）			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		確認テストの準備(2 時間)	
9	8回までのふりかえりとまとめ			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		確認テストの準備(2 時間)	
10	刑事人権と捜査・裁判に関する法①（捜査と法）			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読（2 時間）		理解を深めるためのテキストの講読(2 時間)	
11	刑事人権と捜査・裁判に関する法②（裁判と法）			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		理解を深めるためのテキストの講読（2 時間）	
12	刑事人権と捜査・裁判に関する法3（わが国の捜査・裁判の問題点）			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		確認テストの準備(2 時間)	
13	労働権と労働に関する法1（労働基準）			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		理解を深めるためのテキストの講読(2 時間)	
14	労働権と労働に関する法②（労働についての最近の動向）			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		確認テストの準備(3 時間)	
15	ふりかえりとまとめ			授業で指示する箇所についてテキストの事前の講読(2 時間)		確認テストの準備(3 時間)	
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	入門法学—現代社会の羅針盤（第5版）	竹下・角田・沼口・竹村	晃洋書房	9784771030121			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	（幻冬舎ルネッサンス新書）憲法を守るのは誰か	青井未帆	幻冬舎ルネッサンス	9784779060847			

	裁判所ってどんなところ？	森炎	筑摩書房	9784480689733	
	(岩波ジュニア新書) 新版 わたしたちと裁判	後藤昭	岩波書店	9784005005475	
	(星海社新書) キヨミズ准教授の法学入門	木村草太	星海社	9784061385276	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	筆記試験 (中間・期末)		60%	学問的な知識と理解の程度	
	平常点 (小テスト・提出物)		40%	学問的な知識と理解を前提として自らの主張を表明できるか	
備考	授業中に質問をすることは他の受講者の理解に資することになりますから、授業を中断して質問をすることを歓迎します。質問をしないで「分からない」と言うことは許されません。 受講者の関心に応じ、また法律に関連する事件や問題が発生すれば、授業計画を変更することもあります。				
フィードバック	提出を求めたレポートについて、授業時に講評する。				

科目コード	8001a	ナンバリング	KBD100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	基礎ゼミナール I 1-福						
科目英語名	Basic Seminar I 1-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連							
学修内容	1. 大学で学ぶための基本的なリテラシーを身に付け、課題発見・計画・実践・振り返りを行う課題解決能力の基礎を学ぶ。 2. 読み書き・論理的思考に加えてマナー、ノートの取り方、レポートの書き方など、学習に必要なリテラシーを身につける。						
学修成果到達目標	1. 2年間の学習に必要なリテラシーを身に付け活用できる。 2. 2年間の学修や卒業後に直面する課題について、解決するための行動がとれる。 3. 2年後の進路選択を適切に行うための基礎的な知識を身に付け活用できる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション（大学での学び） Chroombook および Google クラウドの使い方 年間目標と4月の目標設定		シラバス等を読み学修の準備をしておく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
2	図書館の使い方（文献検索の方法）		図書館の場所や利用方法を確認しておく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
3	最新の福祉機器を学ぶ（学外）		バリアフリー展についてインターネットで調べる(0.5 時間)		見学を通して学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
4	4月の目標の振り返り・5月の目標設定 SPIに挑戦（言語分野） 同意語・反意語／2語の関係／文法／敬語／長文問題		4月の学修状況を振り返っておく。 教科書の対象箇所の練習問題を行う(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
5	SPIに挑戦（非言語分野） 濃度／速さ・距離・時間		教科書の対象箇所の練習問題を行う(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
6	SPIに挑戦（非言語分野） ものの値段と個数／定価・原価・利益／割合と値段		教科書の対象箇所の練習問題を行う(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
7	SPIに挑戦（非言語分野） 仕事算／表の読み取り／資料の読み取り／順列・組み合わせ		教科書の対象箇所の練習問題を行う(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
8	SPIに挑戦（非言語分野） 確率のとりえ方／集合／推論／ものの流れと比率		教科書の対象箇所の練習問題を行う(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
9	5月の目標の振り返り・6月の目標設定 SPIに挑戦（非言語分野） ブラックボックス／グラフの領域／論証／立体の展開図・断面		5月の学修状況を振り返っておく 教科書の対象箇所の練習問題を行う(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
10	SPIにチャレンジ		教科書を振り返っておく(0.5 時間)		間違えた箇所など教科書で振り返っておく(0.5 時間)		
11	読むスキル①読んで要約する		文献や新聞等読んでおく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
12	6月の目標の振り返り・7月の目標設定 読むスキル②声に出して読む		6月の学習状況を振り返っておく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
13	書くスキル①説明文を書く		文献や新聞等読んでおく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
14	書くスキル②レポートを書く		文献や新聞等読んでおく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
15	7月の目標の振り返り 2 回生の研究発表を聞く		7月の学習状況を振り返っておく(0.5 時間)		授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
試験							

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書	2025年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191	
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書					
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		50%	授業態度（積極的な発言、事前事後課題への取組等）グループワーク等の取組姿勢を総合的に評価する	
	提出物の内容		50%	授業の内容を理解できているか評価する	
備考	授業計画の順は予定であり変更になる場合があります。				
フィードバック	授業時に適宜コメントする。				

科目コード	8001b	ナンバリング	KBD100	単位数	1単位	開講時期	2023年度前期
科目名	基礎ゼミナール I 1-栄 (2長)						
科目英語名	Basic Seminar I 1-栄 (2長)						
担当教員	飯田 晃朝、島村 知歩、紀平 佐保子						
資格・免許との関連							
学修内容	<p>1. 大学で学ぶための基本的なリテラシーを身に付け、課題発見・計画・実践・振り返りを行う課題解決能力の基礎を学ぶ。</p> <p>2. 読み書き・論理的思考に加えてマナー、ノートの取り方、レポートの書き方など、学修に必要なリテラシーを身につける。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 2年間の学修に必要なリテラシーを身に付け活用できる。</p> <p>2. 2年間の学習や卒業後に直面する課題について、解決するための行動がとれる。</p> <p>3. 2年後の進路選択を適切に行うための基礎的な知識を身に付け活用できる。</p>						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション (大学での学び) 年間目標・4月の目標設定	シラバス等を読み学修の準備をしておく(0.5時間)			目標達成に向けての計画をする(0.5時間)		
2	資料の探し方 (図書館の利用方法)	図書館の利用方法等確認しておく(0.5時間)			課題に取り組む(0.5時間)		
3	計算力を高める (分数・方程式)	自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
4	SPI (理数系) 濃度・速さ・距離・時間 (国語系) 同意語・反意語 4月の振り返り・5月の目標設定	テキスト P10～39 の問題に取り組む(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
5	SPI (理数系) 値段・定価・原価・利益 (国語系) 2語の関係	テキスト P40～57 の問題に取り組む(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
6	SPI (理数系) 仕事算・表や資料の読み方 (国語系) 文法	テキスト P58～75 の問題に取り組む(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
7	SPI (理数系) 順列・確率・集合 (国語系) 敬語 5月の振り返り・6月の目標設定	テキスト P76～93 の問題に取り組む(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
8	SPI (理数系) 推論・ものの流れと比率・ブラックボックス	テキスト P94～111 の問題に取り組む(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
9	SPI (理数系) グラフの領域・論証・立体 (国語系) 長文	テキスト P112～133 の問題に取り組む(1時間)			自分ができなかった箇所を復習しておく(1時間)		
10	素養テスト	テキストの苦手部分を復習する(1時間)			問題で分からなかった箇所を復習する(1時間)		
11	地域と防災① 災害に備えて (学外)	防災への備えについて調べる(0.5時間)			授業で学んだことを復習整理しておく(0.5時間)		
12	地域と防災② 災害に備えて (地域調査まとめ) 6月の振り返り・7月の目標設定	調査内容を整理する(0.5時間)			課題をまとめる(0.5時間)		
13	地域と防災③ 災害に備えて (防災食)	防災食について調べる(0.5時間)			授業で学んだことを復習整理しておく(0.5時間)		
14	地域と防災④ 災害に備えて (避難所)	避難所の課題と実施結果を比較する(0.5時間)			授業で学んだことを復習整理しておく(0.5時間)		
15	進路ガイダンス・7月の振り返り 理解度の確認 確認テスト (数学・国語)	進路について自分の考えをまとめておく 苦手な箇所を振り返っておく(0.5時間)			分からなかった箇所を確認しておく(0.5時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	2025年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	2025 年度版 S P I 問題集決定版	柳本 新二	永岡書店	9784522460184	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業への取り組み		40%		
	課題等		30%		
	理解度		30%	素養テスト・確認テストで評価	
備考	授業計画の順は予定であり、変更になる場合があります				
フィードバック					

科目コード	8001c	ナンバリング	KBD100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	基礎ゼミナール I 1-BC						
科目英語名	Basic Seminar I 1-BC						
担当教員	中田 奈月						
資格・免許との関連	学科推奨科目 ビジネスキャリアコース必修科目						
学修内容	大学で学ぶための論理的思考力を身に付けるとともに、その時々状況から判断し、課題発見・計画・実践・振り返りを行う課題解決能力を学ぶ。PBL に基づいたプロジェクト活動にも取り組むなかで、本学の教育理念およびディプロマ・ポリシーについて理解し、大学生活へのスムーズな移行をはかる。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会生活に必要な知識と教養を身につけ、社会に貢献することの意義やそれらの力を高めるために必要なことについて考え実践する。 2. 情報を分析し、課題解決に導くための論理的思考力の基礎を身につける。 3. プロジェクト活動を通して、その時々状況から判断し、自らの意思で行動するために必要な姿勢やスキルを学ぶとともに、自己と他者を尊重し、積極的に社会と関わることを理解する。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	教育理念、ディプロマ・ポリシーと学修成果の確認 入学前課題の確認			入学前課題を完成させる(3 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
2	資料探索			事前に LMS で指定された事前に LMS で指定された資料を熟読し、課題提出(1 時間)を熟読する(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
3	文章表現の基礎			事前に LMS で指定された資料およびテキストを熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
4	文章表現の応用			事前に LMS で指定された資料およびテキストを熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
5	論理的思考の基礎			事前に LMS で指定された資料およびテキストを熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
6	論理的思考の応用			事前に LMS で指定された資料およびテキストを熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
7	プロジェクト課題の理解			事前に LMS で指定された資料およびテキストを熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
8	プロジェクト課題についての討議			事前に LMS で指定された資料を熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
9	プロジェクト課題の報告			事前に LMS で指定された資料を熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
10	プロジェクト実施 (学外)			事前に LMS で指定された資料を熟読し、課題提出 (1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
11	プロジェクト課題振り返り			事前に LMS で指定された資料を熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	
12	プロジェクト課題のとりまとめ			事前に LMS で指定された資料を熟読し、課題提出(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)	

13	プロジェクト課題の報告（学外）	事前にLMSで指定された資料を熟読し、課題提出(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
14	プロジェクト振り返り	事前にLMSで指定された資料を熟読し、課題提出(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
15	ディプロマ・ポリシーの確認と進路ガイダンス	事前にLMSで指定された資料を熟読し、課題提出(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	2025 年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	課題（事前・事後学修含む）	100%	毎回レポート提出を求める。		
備 考					
フィード バック	毎回、LMSにて個別にフィードバックをする。 加えて授業冒頭でクラス全体にフィードバックをする。				

科目コード	8001d	ナンバリング	KBD100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	基礎ゼミナール I 1-地						
科目英語名	Basic Seminar I 1-地						
担当教員	樹下 堅、生駒 英法						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科 学科特色ある実践科目として履修推奨科目						
学修内容	<p>1. 本学の建学の精神および教育理念（自律する人・自己と他者を尊重する人・事象に自らかかわる人）を理解し、現代社会において求められている、質の高い保育士、幼稚園・小学校教諭としての専門性の基盤となる基礎知識・技能を修得する。</p> <p>2. 大学での修学に必要な知識・技能を強化し、基礎学力の向上および個々人のキャリア発達支援を行う。</p> <p>3. 他者や集団と能動的にかかわり、自分の役割を自覚し、社会に貢献できる保育者・教員としての自己イメージを形成する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 大学で学ぶ意義と方法・内容について理解し、自らの学修課題を把握・具体的な目標設定ができる。</p> <p>2. 大学初年次において必要とされる 5 つのスキル (Reading, Writing, Listening, Speaking, ICT) が修得できる。</p> <p>3. キャリア発達支援として SPI (Synthetic Personality Inventory ; 総合適性検査) 課題を併用する。</p> <p>4. 他者と能動的にかかわり協働しながらプロジェクトを遂行し社会に貢献できる保育者・教員イメージを形成することができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション】 (全担当教員) 1) 授業の目的・学修目標・評価方法などシラバス内容の確認 2) Google Chromebook の授業活用方法ガイダンス 3) 基礎学力確認レディネスチェック (素養テスト 60 分)			<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学前研修内容の復習(0.5 時間) ・ シラバス内容の予習(0.5 時間) ・ 基礎学力チェックの準備(0.5 時間) 		本時内容の復習 : Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
2	【図書館ガイダンス】 (図書館職員) 1) 図書館の使い方全般に関するガイダンス			<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前配布教材 (Google Classroom 格納)の予習(1 時間) ・ 基礎学力チェックの準備(0.5 時間) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時内容の復習 : Google Chromebook ノート整理(1 時間) ・ 基礎学力チェックの復習(0.5 時間) 	
3	【Reading and Writing Skill (1)】 1) クリティカル・リーディング (1) ・ パラグラフリーディングと要約 (summary) 作成 ・ 本時の展開 : ①個人作業 : 黙読・キーワードチェック・要約メモの作成 ②ペア (グループ)・ワーク : ①で作成したメモの相互チェックとブラッシュアップによる文章化 ③クラス全体共有 (Think share) : ②の口頭発表と相互評価 2) 基礎学力チェック① (漢字・語彙・計算)			<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前配布教材 (Google Classroom 格納)の予習(1 時間) ・ 基礎学力チェックの準備(0.5 時間) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時内容の復習 : Google Chromebook ノート整理(1 時間) ・ 基礎学力チェックの復習(0.5 時間) 	
4	【Reading and Writing Skill (2)】 1) 1) クリティカル・リーディング (2) ・ 前回課題の講評 ・ パラグラフリーディングとアブストラクト (要旨) 作成 ・ 本時の展開 : 1 個人作業 : 黙読・キーワードチェック・要約メモの作成 ②ペア (グループ)・ワーク : 1 で作成したメモの相互チェックとブラッシュアップによる文章化 3 クラス全体共有 (Think share) : ②の口頭発表と相互評価			<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前配布教材 (Google Classroom 格納)の予習(1 時間) ・ 基礎学力チェックの準備(0.5 時間) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時内容の復習 : Google Chromebook ノート整理(1 時間) ・ 基礎学力チェックの復習(0.5 時間) 	

	2) 基礎学力チェック② (漢字・語彙・計算)		
5	【Reading and Writing Skill (3)】 1) 1) クリティカル・ライティング (1) ・前回課題の講評 ・感想文・レポート・論文の違い ・本時の展開： ①個人作業：黙読・キーワードチェック・要約メモの作成 ②ペア (グループ)・ワーク：①で作成したメモの相互チェックとブラッシュアップによる文章化 ③クラス全体共有 (Think share)：②の口頭発表と相互評価 2) 基礎学力チェック③ (漢字・語彙・計算)	・事前配布教材 (Google Classroom 格納)の予習(1時間) ・基礎学力チェックの準備(0.5時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・基礎学力チェックの復習(0.5時間)
6	【Reading and Writing Skill (4)】 1) 1) クリティカル・ライティング (2) ・前回課題の講評 ・リサーチクエスションと仮説 ・本時の展開： ①個人作業：黙読・キーワードチェック・要約メモの作成 ②ペア (グループ)・ワーク：①で作成したメモの相互チェックとブラッシュアップによる文章化 ③クラス全体共有 (Think share)：②の口頭発表と相互評価 2) 基礎学力チェック④ (漢字・語彙・計算)	・事前配布教材 (Google Classroom 格納)の予習(1時間) ・基礎学力チェックの準備(0.5時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・基礎学力チェックの復習(0.5時間)
7	【交通安全講習】 (外部講師)	・事前配布教材 (Google classroom 格納)の予習(1時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・事後学修課題(1時間)
8	【無国籍・無戸籍の子ども・貧困家庭支援の実際】 (外部講師)	・事前配布教材 (Google classroom 格納)の予習(1時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・事後学修課題(1時間)
9	【SPI (1)】 (樹下) 1) SPI の概要 (目的・方法・内容) ガイダンス 2) SPI の実際 非言語分野 (1) 濃度, 早さ・距離・時間	ドリル式 SPI 問題集 図解&書き込み式 pp.10-39 予習(2時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
10	【SPI (2)】 1) SPI の実際 非言語分野 (2) ものの値段と個数, 定価・原価・利益, 割合と値段, 仕事算	・ドリル式 SPI 問題集 図解&書き込み式 pp.40-63 予習 (2時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
11	【SPI (3)】 1) SPI の実際 非言語分野 (3) 表・資料の読み取り, 順列, 組み合わせ, 確率	・ドリル式 SPI 問題集 図解&書き込み式 pp.64-87 予習(2時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理 (1時間)
12	【SPI (4)】 1) SPI の実際 言語分野 同意語・反意語, 文法, 敬語, 長文問題	・ドリル式 SPI 問題集 図解&書き込み式 pp.136-159 予習(2時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
13	【SPI (5)】 1) Google Chromebook を用いてリクナビ SPI トライアル	・SPI トライアル事前準備・予習 (1時間)	・SPI トライアル後の自己採点・評価と考察レポート作成 (2時間)
14	【基礎ゼミナール I まとめ】 (全担当教員) 1) 基礎ゼミナール I 内容の総括 2) 期末レポート「私が基礎ゼミナール I で学修できたこと」作成	・期末レポート課題作成のための準備：Google Chromebook ノート整理 (1時間)	・期末レポート課題の作成(2時間)
15	【基礎ゼミナール I まとめ】 (全担当教員) 1) 基礎ゼミナール I 内容の総括 2) 期末レポート「私が基礎ゼミナール I で学修でき	期末レポートの読み直しと修正 (1時間)	・期末レポート課題の完成・提出(2時間)

	たこと」のブラッシュアップ				
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	2025 年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191	
	【改訂 2 版】これだけは知っておきたい 保育の基本用語（漢字練習シート付）	長島和代 編 石丸るみ・亀崎美沙子・木内英実	わかば社	9784907270346	
	キャリア・プランニング	石上浩美 中島由佳	ナカニシヤ出版	9784779510281	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育のためのエピソード記述入門	鯨岡峻・鯨岡和子	ミネルヴァ書房	9784522460122	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	基礎学力チェック		25%	知識 A:20-15,B:14-10,C:9-5,D:4 以下	
	SPI		25%	行動・意欲・情緒 A:20-15,B:14-10,C:9-5,D:4 以下	
	期末レポート		50%	思考・表現 A:40-30,B:29-20,C:19-10,D:9 以下	
備考	【第 1・2 回授業について】 クラスを 2 分割して実施する。一方のグループについてはシラバス通りの順番とし、もう一方のグループについては、第 1 回目に図書館ガイダンス、第 2 回目にオリエンテーションを行う。				
フィードバック	Google Classroom および sahonavi より適宜				

科目コード	8005a	ナンバリング	KBD105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	基礎ゼミナールⅡ 1-福						
科目英語名	Basic Seminar Ⅱ 1-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連							
学修内容	前期に行われた「基礎ゼミナールⅠ」で取り組んだ問題解説の過程を振り返り、状況の把握、新たな課題に対し、グループワークを用いチームで企画運営する能力を養う。課題改善に向けた計画、実践を主体的に行い、自己評価・他者評価を行う。						
学修成果到達目標	1. チームにおける、リーダーシップ・メンバーシップを理解している。 2. チームにおける自己の役割を認識し、主体的に動ける。 3. 毎月の目標設定、自己の振り返り、課題の明確化によって、自分の力で計画的に学習に取り組む能力が身につく、課題解決の行動をすることができるようになる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション・10月の目標設定 生活福祉コース展示①（企画の検討：グループワーク）		シラバスを読み授業を受けられる準備をしておく(0.5時間)		展示企画案をまとめておく(0.5時間)		
2	生活福祉コース展示②（展示準備：グループワーク）		展示企画案をまとめておく(0.5時間)		展示制作に必要な準備をする(0.5時間)		
3	生活福祉コース展示③（展示制作：グループワーク）		展示制作に必要な準備をする(0.5時間)		展示制作に必要な準備をする(0.5時間)		
4	生活福祉コース展示④（展示完成：グループワーク）		展示制作に必要な準備をする(0.5時間)		展示制作を完成させる(0.5時間)		
5	生活福祉コース展示⑤（会場展示：グループワーク）		展示制作を完成させる(0.5時間)		展示会場を確認し大学祭当日に備える(0.5時間)		
6	10月の振り返り・11月目標設定 施設との交流会の企画を考える（グループワーク）		施設との交流会の企画案を考える(0.5時間)		施設との交流会の企画案に沿った情報収集をする(0.5時間)		
7	施設との交流会の練習（グループワーク）		施設との交流会の準備をする(0.5時間)		施設との交流会の準備をする(0.5時間)		
8	施設との交流会の準備（グループワーク）		施設との交流会の準備をする(0.5時間)		施設との交流会の準備をする(0.5時間)		
9	11月の振り返り・12月目標設定各種フィールド(地域防災福祉・介護予防・障がい者福祉)についての説明		福祉関連の記事を調べておく(0.5時間)		福祉関連の記事を調べる(0.5時間)		
10	フィールド(地域防災福祉・介護予防・障がい者福祉)関連の文献を調べる		福祉関連の記事を調べておく(0.5時間)		福祉関連の記事を調べる(0.5時間)		
11	文献を読む		文献を選ぶ(0.5時間)		レポートの記入(0.5時間)		
12	文献レポートを書く		レポートの記入(0.5時間)		レポートの記入(0.5時間)		
13	文献レポートを仕上げる		レポートの記入(0.5時間)		レポートの記入(0.5時間)		
14	12月の振り返り 2回生のフィールド発表を聞く		質問したいことを考えておく(0.5時間)		レポートの記入(0.5時間)		
15	SPIにチャレンジ		教科書を振り返っておく(0.5時間)		間違えた個所など教科書で振り返っておく(0.5時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	2025年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など		
	授業態度		20%	積極性（授業中の発言・行動）、提出物の期限など		
	グループワーク貢献度		40%	リーダーシップ・メンバーシップ		
	製作物		40%	内容とプレゼン能力		
備考						
フィード バック						

科目コード	8005b	ナンバリング	KBD105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	基礎ゼミナールⅡ 1-栄 (2長)						
科目英語名	Basic Seminar Ⅱ 1-栄 (2長)						
担当教員	紀平 佐保子、飯田 晃朝、島村 知歩						
資格・免許との関連	栄養士資格取得に伴う実践科目として推奨						
学修内容	前期に行われた「基礎ゼミナールⅠ」で取り組んだ問題解決の過程を振り返り、現状の把握、新たな課題の認知、課題改善に向けた計画、実践を自主的に行い、自己評価・他者評価を行う。評価は逐次行うことで、学習効率を高め、自立的な学習能力を身につける。						
学修成果到達目標	1. 栄養士に必要な基礎知識、栄養士の仕事について理解し、進路選択や目標達成のために活用できる。 2. 自分自身で学ぶ力、目標を定めて次のステップに進んでいく力を身につけ、課題解決のために行動することができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	基礎学力の確認 地域と防災⑤ 地域防災避難訓練の計画 (グループワーク)			基礎ゼミナールⅠの復習(0.5 時間)		自己の課題に取組み、反復する(0.5 時間)	
2	地域と防災⑥ 地域防災避難訓練 必要品の作成 (グループワーク)			基礎ゼミナールⅠでの取組みを復習する(0.5 時間)		実施に向けて下調べをする(0.5 時間)	
3	地域と防災⑦ 地域防災訓練 実践 (グループワーク)			実施の練習(0.5 時間)		課題に取り組む(0.5 時間)	
4	地域と防災⑧ 地域防災避難訓練 課題まとめ (グループワーク)			訓練のふりかえり(0.5 時間)		課題に取り組む(0.5 時間)	
5	イベント向け食の展示媒体の作成 1			媒体作成に必要な材料の準備(0.5 時間)		活用に向けての検討(0.5 時間)	
6	イベント向け食の展示媒体の作成 2			媒体作成に必要な材料の準備(0.5 時間)		活用の練習(0.5 時間)	
7	栄養専門科目の復習 1 (栄養学・食品学)			前期の専門科目の復習(0.5 時間)		苦手部分の見直し(0.5 時間)	
8	栄養専門科目の復習 2 (調理学)			前期の専門科目の復習(0.5 時間)		苦手部分の見直し(0.5 時間)	
9	調理に関わる計算練習			割合に関する計算の復習(0.5 時間)		苦手部分の見直し(0.5 時間)	
10	給食に関わる計算練習			栄養価計算の復習 (0.5 時間)		苦手部分の見直し(0.5 時間)	
11	献立作成のための秤量実習			栄養指導論実習Ⅰの復習(0.5 時間)		課題に取り組む (0.5 時間)	
12	献立作成練習 1			資料・情報収集(1 時間)		課題に取り組む(1 時間)	
13	献立作成練習 2			資料・情報収集(1 時間)		課題に取り組む(1 時間)	
14	SPI の受験			SPI の復習(0.5 時間)		苦手部分の見直し(0.5 時間)	
15	給食管理実習・学外実習報告会			給食実務論・栄養指導論の復習(0.5 時間)		次年度に向け、自分の目標を考える(0.5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法			評価割合	評価基準など		
	受講態度			50%	授業での取り組み方や積極性を評価する		

	課題・レポート	50%	提出状況と内容によって取り組み方と理解度を評価する
備考	授業計画の順は予定であり変更になる場合があります。 専門科目授業のテキストを必要に応じて使用します。		
フィード バック	授業時に適宜対応します。		

科目コード	8005c	ナンバリング	KBD105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	基礎ゼミナールⅡ 1-BC						
科目英語名	Basic Seminar II 1-BC						
担当教員	中田 奈月						
資格・免許との関連	学科推奨科目 ビジネスキャリアコース必修科目						
学修内容	社会生活に必要な知識と教養を身につけるとともに、課題を発見して情報を分析し、課題解決に導くための論理的思考力を身につける。基礎ゼミナールⅠに引き続き、PBLに基づいたプロジェクト活動に取り組むなかで、本学の教育理念およびディプロマ・ポリシーを理解し、自らの意思で行動するために必要な姿勢やスキルを学ぶとともに、自己と他者を尊重し、積極的に社会と関わることを理解する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会生活に必要な知識と教養を身につけ、社会に貢献することの意義やそれらの力を高めるために必要なことについて考え実践する。 2. 情報を分析し、課題解決に導くための論理的思考力を身につける。 3. プロジェクト活動を通して、その時々状況から判断し、自らの意思で行動するために必要な姿勢やスキルを学ぶとともに、自己と他者を尊重し、積極的に社会と関わることを理解する。 						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	教育理念、ディプロマ・ポリシーと学修成果の確認		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
2	プロジェクトの範囲と目的の明確化		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
3	課題とニーズの分析(学外)		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
4	スケジュールの策定		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
5	企画推進		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
6	グループ討議		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
7	課題の再考		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
8	企画書作成		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
9	プロジェクト実施手順書作成		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
10	プロジェクト実施(学外)		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
11	振り返りと報告書作成		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
12	プロジェクト課題報告書完成		事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		

13	プレゼンテーション資料作成	事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
14	プレゼンテーションの最終確認	事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
15	成果報告会	事前にLMSで指定された課題を遂行する(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	2025 年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	課題 (事前・事後含む)	100%	毎回レポート作成を求める。		
備 考					
フィード バック	LMS に提出された課題は個別に点数をつけてフィードバックする。 加えて、全体に対しても次の授業でフィードバックする。				

科目コード	8005d	ナンバリング	KBD105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	基礎ゼミナールⅡ 1-地						
科目英語名	Basic Seminar Ⅱ 1-地						
担当教員	樹下 堅、生駒 英法						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目 学科特色ある実践科目として履修推奨科目						
学修内容	<p>1. 本学の建学の精神および教育理念（自律する人・自己と他者を尊重する人・事象に自らかかわる人）を理解し、現代社会において求められている、質の高い保育士、幼稚園・小学校教諭としての専門性の基盤となる基礎知識・技能を習得する。</p> <p>2. 高等学校までの教育とは大きく異なっている大学での就学に必要な知識・技能を強化し、基礎学力の向上および個人個人のキャリア発達支援を行う。</p> <p>3. 他者や集団と能動的にかかわり、自分の役割を自覚し、社会に貢献できる保育者・教員としての自己イメージを形成する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 大学で学ぶ意義と方法・内容について理解し、自らの学修課題を把握・具体的な目標設定ができる。</p> <p>2. 大学初年次において必要とされる5つのスキル（Reading, Writing, Listening, Speaking, ICT）が修得できる。</p> <p>3. キャリア発達支援としてSPI（Synthetic Personality Inventory；総合適性検査）課題を併用する。</p> <p>4) 他者と能動的にかかわり、協働しながらプロジェクトを遂行し、社会に貢献できる保育者・教員イメージを形成することができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション】 1)授業の目的・学修目標・評価方法などシラバス内容の確認 2)学長または学科長講話			・前期の学びのリフレクション(1時間) ・シラバス内容の予習(0.5時間)		本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(2時間)	
2	【Thinking & Listening Skill (1)】 1) 自分のキャリアについて考える(1) ・本時の展開： ①クラス全体：現役幼稚園教諭の話を聴く（外部講師） 対面ゲストティーチャー or Google Meet 配信 （各自メモ・ノートテークあり） ②個人作業：要約メモの作成 ③ペア（グループ）・ワーク：②で作成したメモの相互チェックとブラッシュアップによる文章化 ④クラス全体共有（Think share）：③の口頭発表と相互評価 2) 基礎学力チェック⑤（漢字・語彙・計算）			・基礎学力チェックの準備(1時間)		・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・基礎学力チェックの復習(1時間)	
3	地域防災訓練			地域防災訓練の意義を考える(1時間)		地域防災訓練の振り返り(1時間)	
4	【Thinking & Listening Skill (2)】 1) 自分のキャリアについて考える(2) ・本時の展開： 1クラス全体：現役保育士の話を聴く（外部講師） 対面ゲストティーチャー or Google Meet 配信 （各自メモ・ノートテークあり） ②個人作業：要約メモの作成 3ペア（グループ）・ワーク：②で作成したメモの相互チェックとブラッシュアップによる文章化 ④クラス全体共有（Think share）：3の口頭発表と相互評価 2) 基礎学力チェック⑥（漢字・語彙・計算）			・基礎学力チェックの準備(1時間)		・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・基礎学力チェックの復習	
5	【Thinking & Listening Skill (3)】 1) 自分のキャリアについて考える(3) ・本時の展開：			・基礎学力チェックの準備(1時間)		・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) ・基礎学力チェックの	

	<p>①クラス全体：現役施設職員の話聴く（外部講師） 対面ゲストティーチャー or Google Meet 配信 （各自メモ・ノートテークあり）</p> <p>②個人作業：要約メモの作成</p> <p>③ペア（グループ）・ワーク：②で作成したメモの相互 チェックと ブラッシュアップによる文章化</p> <p>④クラス全体共有（Think share）：③の口頭発表と相互 評価</p> <p>2）基礎学力チェック⑦（漢字・語彙・計算）</p>		復習(1 時間)
6	<p>【Thinking & Listening Skill (4)】</p> <p>1) 自分のキャリアについて考える (4)</p> <p>・本時の展開：</p> <p>①個人作業：自分のキャリアマップを作成する</p> <p>②ペア（グループ）・ワーク：②で作成したキャリアマ ップの相互 チェックとブラッシュアップ</p> <p>③クラス全体共有（Think share）：③の口頭発表と相互 評価</p> <p>2）基礎学力チェック⑧（漢字・語彙・計算）</p>	・基礎学力チェックの準備(1 時間)	<p>・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)</p> <p>・基礎学力チェックの復習(1 時間)</p>
7	<p>【SPI (6)】</p> <p>1) SPI の実際 非言語分野 (4)</p> <p>集合、推論、ものの流れと比率、ブラックボックス</p>	ドリル式 SPI 問題集図解&書き込み式 pp.88-111 予習(1 時間)	・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)
8	<p>【SPI (7)】</p> <p>1) Google Chromebook を用いてりくなく SPI トライアル (2 回目)</p>	・SPI トライアルに向けての準備・予習(1 時間)	・SPI トライアル後の自己採点・評価と考察レポート作成(2 時間)
9	<p>【Presentation Skill (1)】 1) プレゼンテーションとは (1)・本時の展開：1 クラス全体：プレゼンテーション準備と技法ガイダンス 2 個人作業：アウトラインのブラッシュアップ、スライドサンプル作成 2 ペア（グループ）ワーク：2 で作成したスライドサンプルの相互チェック③クラス全体共有（Think share）：③の口頭発表と相互評価</p>	<p>・Google Classroom 事前掲載資料精読 1 時間)</p> <p>(・基礎学力チェックの準備(1 時間)</p>	<p>・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)</p> <p>・基礎学力チェックの復習(1 時間)</p>
10	<p>【Presentation Skill (2)】</p> <p>1) プレゼンテーションとは (2)</p> <p>・本時の展開：</p> <p>①個人作業：アウトラインのブラッシュアップ、スライドサンプル作成</p> <p>②ペア（グループ）ワーク：①で作成したスライドサンプルの相互 チェック</p> <p>③クラス全体共有（Think share）：②の口頭発表と相互 評価</p>	・Google Classroom 事前掲載資料精読 (1 時間)・基礎学力チェックの準備 (1 時間)	<p>・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)</p> <p>・基礎学力チェックの復習(1 時間)</p>
11	<p>【Presentation Skill (3)】</p> <p>1) プレゼンテーションとは (3)</p> <p>・本時の展開：</p> <p>①個人作業：アウトラインのブラッシュアップ、スライドサンプル作成</p> <p>②ペア（グループ）ワーク：①で作成したスライドサンプルの相互 チェック</p> <p>③クラス全体共有（Think share）：②の口頭発表と相互 評価</p>	<p>・Google Classroom 事前掲載資料精読(1 時間)</p> <p>・基礎学力チェックの準備(1 時間)</p>	<p>・本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理 (1 時間)</p> <p>・基礎学力チェックの復習(1 時間)</p>

12	<p>【Presentation Skill (4)】(全担当教員)</p> <p>1) プレゼンテーションとは (4)</p> <p>・本時の展開：</p> <p>①プレゼンテーションリハーサル：個人発表 (3分)</p> <p>2 クラス全体共有 (Think share)：質疑応答と相互評価，期限内代表者 (3名) の選出</p>	<p>・ Google Classroom 事前掲載資料精読(1 時間)</p>	<p>・ 本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)</p>
13	<p>【Presentation Skill (5)】(全担当教員)</p> <p>1) プレゼンテーションとは (5)</p> <p>・本時の展開：</p> <p>1 プレゼンテーションリハーサル：個人発表 (3分)</p> <p>②クラス全体共有 (Think share)：質疑応答と相互評価，期限内代表者 (3名) の選出</p>	<p>・ Google Classroom 事前掲載資料精読(1 時間)</p>	<p>・ 本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)</p>
14	<p>【Presentation Skill (6)】(全担当教員)</p> <p>1) プレゼンテーションとは (6)</p> <p>・本時の展開：</p> <p>①プレゼンテーション発表会：各時限代表者 (1 2名) 個人発表 (3分)</p> <p>②クラス全体共有 (Think share)：質疑応答と相互評価</p>	<p>・ Google Classroom 事前掲載資料精読(1 時間)</p>	<p>・ 本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(0.5 時間)</p>
15	<p>【基礎ゼミナールⅡまとめ】</p> <p>1) 基礎ゼミナールⅡ内容の総括</p> <p>2) 期末レポート「私が基礎ゼミナールⅡで学修できたこと」作成</p>	<p>・ 期末レポート課題作成のための準備(1 時間)</p>	<p>・ 期末レポート課題の完成・提出(2 時間)</p>

試験

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書	2025 年度版 ドリル式 SPI 問題集	柳本 新二	永岡書店	9784522460191	
	【改訂 2 版】これだけは知っておきたい 保育の基本用語 (漢字練習シート付)	長島和代 編 石丸るみ・亀崎美沙子・木内英実	わかば社	9784907270346	
	キャリア・プランニング: 大学初年次からのキャリアワークブック	石上浩美・中島由佳	ナカニシヤ出版	9784779510281	

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	保育のためのエピソード記述入門	鯨岡峻・鯨岡和子	ミネルヴァ書房	9784623049431	

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価方法・基準	基礎学力チェック	20%	知識・理解 A:20-15,B:14-10,,C:9-5,D:4 以下
	SPI	20%	行動・意欲・情緒 A:20-15,B:14-10,,C:9-5,D:4 以下
	プレゼンテーションスライド・発表	30%	独創性 A:30-25,B:24-20,C:19-10,D:9 以下
	期末レポート	30%	思考・表現 A:30-25,B:24-20,C:19-10,D:9 以下

備考	<p>指定テキスト (以下 3 冊) は基礎ゼミナールⅠから継続使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリル式 SPI 問題集 図解&書き込み式 ・【改訂 2 版】これだけは知っておきたい 保育の基本用語 (漢字練習シート付) ・キャリア・プランニング
----	---

フィードバック	Google Classroom および sahonavi より適宜
---------	------------------------------------

科目コード	8190a	ナンバリング	KBD110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	キャリアデザイン 1-地						
科目英語名	Career Design 1-地						
担当教員	屋木 瑞穂、信田 和則						
資格・免許との関連	学科推奨科目 保育士資格取得のための選択科目 ピアヘルパー資格取得のための選択必須科目 ビジネス実務士・秘書士取得のための必修科目						
学修内容	この授業では、自分はどうのようなキャリアや人生を歩んでいきたいのかを考え、自分になりたい姿を実現するために将来を主体的に設計することを目指す。グループワークを通して自己理解を深め、さらに社会人や先輩の体験談、施設見学などを通じて多様な価値観に触れることを通じて、社会や職業の現実について理解を深める。また社会で求められるコミュニケーション力、対人関係スキル、プレゼンテーション能力等を身につける。そして、自分の「やりたいこと（希望・理想）」と「やれること（能力・技能）」「やるべきこと（使命・価値）」を考えつつ、納得のいく「キャリアデザイン」を目指す。						
学修成果到達目標	1. 自己分析や社会や職業の現実の理解を通して、職業選択と自己実現について考えを深め、自分の将来構想・展望を描くことができる。 2. 「社会人基礎力」としてのコミュニケーション能力、対人関係スキル、プレゼンテーション能力等を身につけることができる。 3. 社会で求められる基本的なマナーについて学び、実践することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	キャリアデザインとは何かを理解する 進路の多様性を理解する			シラバスを熟読し、進路に関する考えをまとめておく(2時間)		授業の内容をまとめる(2時間)	
2	保育者・施設職員・幼稚園教諭・小学校教諭になるための道筋について			具体的な自分の進路について考える(2時間)		授業の内容をまとめる(2時間)	
3	自己理解を深める(グループワーク) 自己PRシートの作成			現在に至るまでの自分のエピソードをノートにまとめる(2時間)		授業の内容をまとめる(2時間)	
4	先輩の話を開こう①(施設の仕事について学ぶ)			施設の仕事について質問事項をまとめる(2時間)		施設見学に向けての留意事項、観察の視点をまとめる(2時間)	
5	先輩の話を開こう②(保育士の仕事について学ぶ)			保育士の仕事について質問事項をまとめる(2時間)		保育所見学に向けての留意事項、観察の視点をまとめる(2時間)	
6	先輩の話を開こう③(幼稚園教諭の仕事について学ぶ)			幼稚園教諭の仕事について質問事項をまとめる(2時間)		幼稚園見学に向けての留意事項、観察の視点をまとめる(2時間)	
7	施設見学の留意点・レポートの書き方について			見学先の施設について調べ、概要をまとめる(2時間)		施設見学レポートの書き方について要点を整理しまとめる(2時間)	
8	施設見学①【保育所・幼稚園・施設】(学外)			施設見学に際して学びの視点をまとめる(2時間)		見学の内容をまとめる(2時間)	
9	施設見学②【保育所、幼稚園、施設】(学外)			施設見学に際して学びの視点をまとめる(2時間)		見学の内容をまとめる(2時間)	
10	施設見学の振り返り(グループ・ディスカッション) 施設見学レポートを作成する			施設見学での考察点をまとめる(2時間)		施設見学レポートを完成させる(2時間)	
11	施設見学を振り返って (グループ別でのプレゼンテーション)			施設見学の内容についての発表のためのアウトラインをまとめる(2時間)		施設見学の発表を聞いて学んだことについて整理する(2時間)	
12	社会人としての基本マナー講座(1) 1. 敬語、言葉遣い 2. 電話のかけ方			事前資料を学習しておく(2時間)		授業の内容をまとめる(2時間)	
13	社会人としての基本マナー講座(2) 1. 訪問の基本			事前資料を学習しておく(2時間)		授業の内容をまとめる(2時間)	

	2. 立ち振る舞い				
14	社会人としての基本マナー講座（3） 1. 服装 2. 身だしなみ	事前資料を学習しておく(2時間)	授業の内容をまとめる(2時間)		
15	将来の目標と道筋を立てる レポートの作成	自己分析と施設見学等を通じた 職場理解をふまえて、自分の将来 や目標を考える(2時間)	将来の目標と道筋について レポートを作成する(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	適宜資料を配付				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説とポイント	汐見稔彦・無藤隆	ミネルヴァ書房	978462308984	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業参加態度		20%	受講姿勢、グループ討議への積極的参加、発表などのコミュニケーション力を評価する。	
	課題レポート		80%	課題の提出、キャリアについて主体的に考え自分の意見を表現できているか評価する。	
備考	学外講師のスケジュール、見学先の施設の事情などにより各回の順序が入れ替わる場合がある。				
フィード バック	レポート、プレゼンテーション等については、授業時に適宜コメントする。				

科目コード	8190b	ナンバリング	KBD110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	キャリアデザイン 1-生 (1 長)						
科目英語名	Career Design 1-生 (1 長)						
担当教員	吉村 司						
資格・免許との関連	学科推奨科目 ピアヘルパー資格取得のための選択必須科目 情報処理士・ビジネス実務士・秘書士取得のための選択科目						
学修内容	本授業は「キャリアデザインとは何か」を知り、自己理解や長期的な展望、働く意義を踏まえながら就職活動を積極的に推進する準備をする。また受講者同士だけではなく、外部の知見や社会人・先輩の体験談に触れることを通じてインスパイアされ、モチベーションを高め、自律した個性的なキャリア形成が出来るようになることを目指す。						
学修成果到達目標	1. キャリアデザインを行う手順と心構えを理解し説明出来る。 2. キャリアデザインに必要な情報収集と履歴書・自己紹介書等アウトプットの作成が出来る。 3. キャリアデザインの意義を理解し今後のライフデザインに生かせる、						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション キャリアデザインとは		シラバスを熟読し、この授業の目的、成果、仕組みとキャリアデザインに対する自身の考えをリサーチしてまとめておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
2	働く意義		「働く意義」についてリサーチし、自身の考えをまとめておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
3	『『自律』と『個性』』-さて、あなたは どうする-		『『自律』と『個性』』とは何か、についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
4	「履歴書・自己紹介書」の作成演習		「履歴書・自己紹介書」を書けるところまで仕上げておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
5	『褒める』-長所発見のための短所開示-		自分自身と前回のチームメンバーを褒める言葉を出来るだけたくさん探しておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
6	他社理解 -意外な就職先発見-		1.あなたのコースの就職先について考えてきてください 1)典型的就職先:ウチのコースならまずここへ就職するだろう 2)ポテンシャル就職先:ウチのコースならここも就職先として考えられるだろう 2.各コースの就職先について考えてきてください 1)典型的就職先:あなたのコースならまずここへ就職するだろう 2)ポテンシャル就職先:あなたのコースならここも就職先として考えられるだろう		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
7	面接の実践		面接のマナーとポイントについてリサーチして自身の考えをまとめておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
8	『人生 100 年時代』 -ライフデザイン-		『『人生 100 年時代』とは』についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2 時間)		
9	プロフェッショナル・レクチャー& ディスカッション		奈良県内の実務家の方々に聴きたいことをまとめておく(2 時間)		授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポ		

					ートを提出する(2時間)
10	『人間関係の効用とは』-社会人としてコミュニケーションスキル-	「社会人としての『人間関係』とは」についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2時間)			授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2時間)
11	お金とキャリアデザイン	「社会人としてマネージすべき『お金』とは」についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2時間)			授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2時間)
12	労働条件、内定後の対応、離職時の知識セミナー (By 奈良労働局様)	『奈良労働局』様および『労働基準法』についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2時間)			授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2時間)
13	スーツセミナー (By 洋服の青山様)	『洋服の青山』様および『就活時の服装マナー』についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2時間)			授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2時間)
14	先輩体験談会 -就活総括、内定の秘訣は『OOO』-	様々な『内定体験談』についてリサーチして自身の考えをまとめておく(2時間)			授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2時間)
15	まとめとふりかえり	これまでの授業を振り返り『最も印象的だった授業テーマ』について自身の考えをまとめておく(2時間)			授業の復習・整理を行い、Google フォームで課題レポートを提出する(2時間)
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	1) 平常点		70%	①課題レポート②受講態度	
	2) 積極性		30%	①授業内発表②グループ・ディスカッション貢献度	
備考	<p>就職動向や学外講師のスケジュール、その他により各回の順番が入れ替わる場合がある。</p> <p>また、本授業はグループ・ディスカッション (GD) や演習を頻繁に行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。</p> <p>一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。</p>				
フィードバック	授業に関する質問や相談はメールにてのレポート送信専用アドレス『edu.saho.ty@gmail.com』まで連絡してください。				

科目コード	8400	ナンバリング	KBE100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	情報リテラシー 1-福・栄 (1 長)・BC						
科目英語名	Information Literacy 1-福・栄 (1 長)・BC						
担当教員	中田 奈月						
資格・免許との関連	情報処理士 幼稚園教諭二種免許状 小学校教諭二種免許状						
学修内容	インターネットやスマートフォンなど情報通信サービスの進展によりビッグデータや人工知能技術の活用が可能になり、様々な分野で情報を収集できるようになっている。この講義ではデータサイエンスの基礎として、現在の第 4 次産業革命の背景や国内外の動向を概観しながら数理・データサイエンス・AI 教育の意義を学ぶとともに、情報の生産、提供、利用、検索、評価、伝達のために必要な基礎的素養を身につけることを目的とする。情報リテラシースキルとコンピュータスキルとは同義ではない。膨大な情報から必要な情報を見つけて適切に処理、伝達するまでの知識を講義する。 なお、本科目は基礎教養科目の学修成果「社会貢献の基盤」「数理・データサイエンス」に該当する科目である。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報活用能力を習得するとともに能動的学習を協調的に行うことができる。 2. データ・AI 活用領域の広がり理解し、データ・AI を活用する価値を説明できる。 3. データの特徴を読み解き、不適切な数字にまどわされずに他者にデータを説明できる。 4. 論文・レポート作成のための情報収集、情報活用技術を習得できる。 5. 実データを収集してデータを加工したり分析したりして新たな知見を発表できる。 6. データを利活用する際に求められる倫理やデータ駆動型社会の脅威、データを使うための留意事項を理解してデータを活用できる 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	情報伝達手段の利活用			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
2	データ倫理と機密情報			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
3	情報と法律			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
4	情報の検索			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
5	データ・AI を扱う上での留意事項			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
6	データ・AI の活用領域および技術			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
7	データ・AI 利活用の現場			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
8	ビッグデータとデータの多様性			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
9	ソーシャルメディアとマスメディア			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
10	学術情報の活用 (データを読む)			LMS で指示された課題を行う(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する	

					(2 時間)
11	学術情報の活用 (データを説明する)	LMS で指示された課題を行う(2 時間)			フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)
12	データの比較	LMS で指示された課題を行う(2 時間)			フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)
13	統計情報	LMS で指示された課題を行う(2 時間)			フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)
14	データの可視化と表現	LMS で指示された課題を行う(2 時間)			フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)
15	プレゼンテーション	LMS で指示された課題を行う(2 時間)			フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題 (事前・事後・授業内課題含む)		100%	全課題を 5 段階評価。合算したものが総合評価になる。	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンドシステムによる予習を元実践する反転授業様式の形式をとる。 ・ 予習をしてから受講する。 ・ 毎回、Chromebook、イヤフォンまたはヘッドフォンを使用する。 				
フィード バック	<p>LMS 等で提出された課題はすべて評価して返却する。 授業時間外の質問などの対応は、LMS、オフィスアワーおよびメールで行う。</p>				

科目コード	8400	ナンバリング	KBE100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	情報リテラシー 1-地						
科目英語名	Information Literacy 1-地						
担当教員	樹下 堅						
資格・免許との関連	卒業必修科目 情報処理士必修科目						
学修内容	インターネットやスマートフォンなど情報通信サービスの進展によりビッグデータや人工知能技術の活用が可能になり、様々な分野で情報を収集できるようになっている。この講義ではデータサイエンスの基礎として、現在の第4次産業革命の背景や国内外の動向を概観しながら数理・データサイエンス・AI教育の意義を学ぶとともに、情報の生産、提供、利用、検索、評価、伝達のために必要な基礎的素養を身につけることを目的とする。情報リテラシースキルとコンピュータスキルとは同義ではない。膨大な情報から必要な情報を見つけて適切に処理、伝達するまでの知識を講義する。 なお、本科目は基礎教養科目の学修成果「社会貢献の基盤」「数理・データサイエンス」に該当する科目である。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報活用能力を習得するとともに能動的学習を協調的に行うことができる。 2. データ・AI活用領域の広がり理解し、データ・AIを活用する価値を説明できる。 3. データの特徴を読み解き、不適切な数字にまどわされずに他者にデータを説明できる。 4. 論文・レポート作成のための情報収集、情報活用技術を習得できる。 5. 実データを収集してデータを加工したり分析したりして新たな知見を発表できる。 6. データを利活用する際に求められる倫理やデータ駆動型社会の脅威、データを使うための留意事項を理解してデータを活用できる 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 情報伝達手段の利活用			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
2	データ倫理と機密情報			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
3	情報と法律			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
4	情報の検索			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
5	データ・AIを扱う上での留意事項			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
6	データ・AIの活用領域および技術			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
7	データ・AI利活用の現場			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
8	ビッグデータとデータの多様性			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
9	ソーシャルメディアとマスメディア			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	
10	学術情報の活用(データを読む)			LMSで指示された課題を行う(2時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)	

11	学術情報の活用（データを説明する）	LMS で指示された課題を行う(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
12	データの比較	LMS で指示された課題を行う(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
13	統計情報	LMS で指示された課題を行う(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
14	データの可視化と表現	LMS で指示された課題を行う(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
15	プレゼンテーション	LMS で指示された課題を行う(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題（事前・事後・授業内課題含む）		100%	全課題を5点満点で評価。評価を加算したものが総合評価になる。	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンドシステムによる予習を元実践する反転授業様式の形式をとる。 ・ 予習をしてから受講する。 ・ 毎回、Chromebook を使用する。 				
フィードバック	<p>LMS 等で提出された課題はすべて評価して返却する。</p> <p>授業時間外の質問などの対応は、LMS、オフィスアワーおよびメールで行う。</p>				

科目 コード	8435	ナンバリング	KBE110	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	情報リテラシー実践 1-福・栄・BC						
科目英語名							
担当教員	中田 奈月						
資格・免許 との関連	情報処理士必修科目 医療秘書実務士必修科目 医療実務士必修科目 フードスペシャリスト必修科目 幼稚園・小学校教諭二種免許状選択必修科目						
学修内容	この授業ではデジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎知識を活かした基本技能を修得し、それらを活用して現実の諸問題を解決できる力を養うことを目指す。 なお、本科目は基礎教養科目の学修成果「社会貢献の基盤」「データサイエンス」に該当する科目である。						
学修成果 到達目標	1. ワードプロセッサソフトを用い、正確な入力と基本的なレイアウトができる。 2. スプレッドシートを使って、与えられた小規模データを基に統計グラフの作成と代表値・統計量の計算ができる。 3. 適切な可視化手法を選択し、他者にデータを説明できる。 4. プレゼンテーションの手法を学び、数値・文章・画像・音声・動画で表現できる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	情報ネットワークにおけるセキュリティの現状と課題		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
2	基本的な文書の作成と編集		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
3	図表入りの文書作成		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
4	画像の挿入と書式		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
5	レポートの作成		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
6	表計算ソフトの基礎		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
7	関数、グラフの作成		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
8	集計・統計分析の初歩		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
9	データの図表表現		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
10	データベースとしての利用 並べ替え・抽出		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
11	データの収集と整理		LMS で指示された課題を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		

12	データの入った文書作成	LMS で指示された課題を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
13	プレゼンテーションソフトの基本操作	LMS で指示された課題を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
14	プレゼンテーション資料の作成	LMS で指示された課題を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
15	プレゼンテーション	LMS で指示された課題を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	課題(事前・事後・授業内課題含む)	100%	全課題を5段階で評価。評価を加算したものが総合評価になる。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドシステムによる予習を元実践する反転授業様式の形式をとる。 ・予習をしてから受講する。 ・毎回、Chromebook、イヤフォンまたはヘッドフォンを使用する。 				
フィードバック	LMS等で提出された課題はすべて評価して返却する。 授業時間外の質問などの対応は、LMS、オフィスアワーおよびメールで行う。				

科目コード	8435	ナンバリング	KBE110	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	情報リテラシー実践						
科目英語名							
担当教員	樹下 堅						
資格・免許との関連	情報処理士資格取得のための必修科目 フードスペシャリストのための選択科目 医療実務士のための必修科目 医療秘書実務士のための必修科目 こども教育コース選択履修推奨科目 こども保育コース選択履修推奨科目 幼稚園・小学校教諭二種免許状選択必修科目						
学修内容	この授業ではデジタル社会の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎知識を活かした基本技能を習得し、それらを活用して現実の諸問題を解決できる力を養うことを目指す。						
学修成果到達目標	1. ワードプロセッサソフトを用い、正確な入力と基本的なレイアウトができること。 2. データサイエンスの活用事例を説明できること。 3. 与えられたデータを基に統計グラフの作成と代表値・統計量の計算ができること。 4. データによって、社会及び日常生活が大きく変化していることを理解する。 5. プレゼンテーションの手法を学び、実際に表現できること。 6. 本科目は基礎教養科目の学修成果の社会貢献の基盤の中の「データサイエンス」に該当する科目である。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 情報ネットワークにおけるセキュリティの現状と課題			タッチタイピングの練習を行う (0.5 時間)		本時の内容をまとめる(0.5 時間)	
2	基本的な文書の作成と編集			word やドキュメントを使って練習問題を行うタッチタイピングの練習を行う(0.5 時間)		word やドキュメントを使って練習問題を行うタッチタイピングの練習を行う(0.5 時間)	
3	図表入りの文書作成 指導案を書く			word やドキュメントを使って練習問題を行う。タッチタイピングの練習を行う(0.5 時間) 手書きの指導案を用意する。		指導案を完成させる(0.5 時間)	
4	画像の挿入とレポート作成 指導案を書く パワーポイントやスライドとの連携			タッチタイピングの練習を行う (0.5 時間)		指導案を完成させる(0.5 時間)	
5	指導案 2 限目の作成			2 時限目の指導案の用意(手書き)		指導案 2 時限目の完成(0.5 時間)	
6	表計算ソフトの基礎			事前に配付された資料を読む (0.5 時間)		Excel やスプレッドシートの復習(0.5 時間)	
7	関数、グラフの作成			過去に学習したグラフについて調べておく(0.5 時間)		別データでグラフを作成する	
8	統計分析の初歩			事前に配付された資料を読む (0.5 時間)		本時の復習をする。(0.5 時間)	
9	データの図表表現			事前に配付された資料を読む (0.5 時間)		本時の復習をする(0.5 時間)	
10	データベースとしての利用 並べ替え・抽出			事前に配付された資料を読む (0.5 時間)		本時の復習をする(0.5 時間)	
11	データの収集と整理			事前に配付された資料を読む (0.5 時間)		本時の復習をする(0.5 時間)	
12	データの入った文書作成			事前に配付された資料を読む (0.5 時間)		データの入った文章を完成させる(0.5 時間)	
13	プレゼンテーションソフトの基本操作 デジタル絵本をつくる			図書館でお気に入りの絵本を選んでおく(0.5 時間)		プレゼンテーションソフトに画像を挿入する(0.5 時間)	

	著作権について学ぶ スマートフォンと PC の連携				
14	デジタル絵本づくり 音声入力 背景、ページ送りを設定する。	各ページごとに音声ファイルを作成しておく(0.5時間)		デジタル絵本の完成(0.5時間)	
15	デジタル絵本の発表と評価	デジタル絵本の完成と動作確認(0.5時間)		これまでの学修を振り返ってまとめる(0.5時間)	
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	タイピング		20%	スピードと正確性を評価	
	デジタル絵本		30%	デジタル絵本のできばえを評価	
	表計算ソフトでのデータ分析と考察		30%	分析力と考察力を評価	
	授業中の発言力		20%	自分の考えを説明する力を評価	
備考					
フィードバック	提出された課題については添削して返却する。				

科目 コード	8440	ナンバリング	KBE115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	データサイエンス概論 1-全						
科目英語名							
担当教員	中田 奈月						
資格・免許 との関連	情報処理士 教職選択科目						
学修内容	インターネットに全てのものが繋がり、経営やマーケティングをはじめ、あらゆる分野においてデータドリブンで社会課題が解決されるようになってきている。このような社会においては、世間にあふれるデータをどう扱い、そこから課題解決策をどう導くかが非常に重要になっている。本講義ではデータに基づいて課題解決を行うために必要な社会統計学の考え方と解析の手法について修得するのみならず、与えられた課題をデータ分析し、結果からどのように課題解決につなげるか、実データを用いて一連の流れを学ぶ。 なお、本科目は基礎教養科目の学修成果「社会貢献の基盤」「数理・データサイエンス」に該当する科目である。						
学修成果 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. データを適切に説明し、読み解くことができる。 2. データを正しく扱い、関連性を説明できる。 3. データを利活用する際に求められるモラルや倫理、個人のデータを守るために留意すべき事項を理解したうえでデータを利活用できる。 4. 調査報告を読みこなす基礎的知識を獲得し、実際に調査報告書を作成できる。 5. スプレッドシート等を使って、実データをハンドリングする力を養う。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	データから情報を得る			事前に LMS で指定された資料を熟読する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
2	既存統計資料の読み方			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
3	既存統計資料の整理			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
4	概念化と操作化			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
5	変数			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
6	仮説の否定			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
7	相関関係と因果関係			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
8	推測			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
9	度数分布			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
10	度数分布の記述			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	
11	クロス集計表			LMS で指定された動画および資料を視聴する(2 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2 時間)	

12	統計的推測と仮説検定	LMS で指定された動画および資料を視聴する(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
13	データ分析による課題解決演習 仮説設定	LMS で指定された動画および資料を視聴する(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
14	データ分析による課題解決演習 調査の実施	LMS で指定された動画および資料を視聴する(2時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(2時間)		
15	データ分析による課題解決演習 分析結果から課題解決を導く	データの分析をする(2時間)	調査報告書の作成(2時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	知識定着確認		30%	知識が定着しているか毎時間確認をする。5点満点	
	調査報告書		70%	課題設定から調査設計、分析、考察まで論理的破綻がないかで評価する	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドシステムによる教材を用意する。 ・LMS を毎時確認する。 ・参考書は適宜紹介する。 				
フィード バック					

科目コード	8410a	ナンバリング	KBE115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	情報処理演習Ⅱ 2-BC						
科目英語名	Computer ProcessingⅡ 2-BC						
担当教員	中田 奈月						
資格・免許との関連	情報処理士必修科目 医療秘書実務士必修科目 医療実務士必修科目 秘書士選択科目 フードスペシャリスト選択科目 幼稚園・小学校教諭二種免許状選択必修科目						
学修内容	近年では ICT (Information and Communication Technology: 情報通信技術) が日常の至る所で利用されており、現代社会の中で生活するうえで ICT を活用する力を身につけることが重要になる。本講義は情報リテラシー、情報処理演習Ⅰで学んだ「数理・データサイエンス・AI」の知識を活用して現実の諸問題を解決できる力を養うことを目指す。 なお、本科目は基礎教養科目の学修成果「社会貢献の基盤」「データサイエンス」に該当する科目である。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの基本的な仕組みを理解し、障害が発生した場合に最低限の対応ができる。 2. ワードプロセッサソフトを用い、正確な入力と基本的なレイアウトができる。 3. 四則計算ができ、主な関数を使いこなすことができる。 4. 与えられたデータを基に適切なグラフを作成することができる。 5. プレゼンテーションの手法を学び、実際に表現できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	コンピュータの基本操作・情報セキュリティ			奈良佐保短期大学情報関連規程を熟読する(1時間)		練習問題 1(1時間)	
2	文書作成 1 入力・編集			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 2(1時間)	
3	文書作成 2 書式設定			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 3(1時間)	
4	文書作成 3 表の作成			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 4(1時間)	
5	文書作成 4 文書作成の応用			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 5(1時間)	
6	文書作成 5 ページ設定・印刷・デザイン			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 6(1時間)	
7	表計算 1 データ入力・編集			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 7(1時間)	
8	表計算 2 数式			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 8(1時間)	
9	表計算 3 論理、参照			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 9(1時間)	
10	表計算 4 関数の応用			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 10(1時間)	
11	表計算 5 グラフ作成			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 11 (1時間)	
12	表計算 6 データベース			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 12(1時間)	
13	プレゼンテーション 1 表現の方法			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 13(1時間)	
14	プレゼンテーション 2 応用			練習問題見直しおよび修正(1時間)		練習問題 14(1時間)	
15	まとめとフィードバック			これまでの練習問題の成果を見		これまでの練習問題の成果	

		直し、修正する(1時間)	を見直し、修正する(1時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題（事前・事後・授業内課題含む）		100%	全課題を5段階で評価。評価を加算したものが総合評価になる。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドシステムによる予習を元実践する反転授業様式の形式をとる。 ・予習をしてから受講する。 ・毎回、Chromebook、イヤフォンまたはヘッドフォンを使用する。 				
フィード バック	<p>LMS等で提出された課題はすべて評価して返却する。 授業時間外の質問などの対応は、LMS、オフィスアワーおよびメールで行う。</p>				

科目コード	8410	ナンバリング	KBE115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	情報処理演習Ⅱ 2-地						
科目英語名	Computer ProcessingⅡ 2-地						
担当教員	樹下 堅						
資格・免許との関連	情報処理士資格取得のための必修科目 秘書士資格取得のための選択科目 地域こども学科選択科目 医療秘書実務士必修科目 医療実務士必修科目 幼稚園・小学校教諭二種免許状選択必修科目						
学修内容	近年では ICT が日常の至る所で利用されており、小学校や中学校においても一人一台のPCを活用した授業が2021年4月からスタートした。教材作成はもとより、教員自身がICTを使いこなすことが授業を進める上でも必須となることから、本授業では、Word,Excel,Powerpointの活用はもとより、子どもがICTを活用して学ぶことができるような指導スキルについても学修する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの基本的な仕組みを理解し、障害が発生した場合の原因の究明および解決が一定程度できる。 2. Wordを使い、正確な入力と基本的なレイアウトができる。 3. Excelで四則計算ができ、主な関数を使うことができる。データを基に適切なグラフを作成することができる。 4. Excelを活用してデータを分析し事象を考察することができる。 5. PowerPointを使い、教材やブログを作成することができる。 6. 動画を編集し、教材を作成することができる。 ICTを活用した教材を作成することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション PCの仕組み及び情報セキュリティ			奈良佐保短期大学情報関連規定を熟読する(0.5時間)		情報セキュリティの盲点についてまとめる(0.5時間)	
2	Wordによる文書作成1 (入力・編集 書式設定)			入力練習(0.5時間)		練習問題(0.5時間)	
3	Wordによる文書作成2 (表の作成) 行事予定表をつくる			入力練習(0.5時間)		書式設定に関する練習及び表作成練習問題(0.5時間)	
4	Wordによる文書作成3 (図形の挿入 ページ設定 印刷・デザイン) おたよりをつくる			イラストの選択(0.5時間)		おたよりの完成(0.5時間)	
5	Excelによる表計算1 (データ入力・編集)			入力練習(0.5時間)		練習問題(0.5時間)	
6	Excelによる表計算2 (数式)			Excelの数式を調べる(0.5時間)		数式を使った練習問題(0.5時間)	
7	Excelによる表計算3 (グラフ作成)			入力練習(0.5時間)		グラフ練習問題(0.5時間)	
8	Excelを使った統計学 動く正規分布			正規分布について調べる(0.5時間)		統計についてまとめる(0.5時間)	
9	Powerpointを使ってブログを作成する			ブログ用の写真を用意する(0.5時間)		ブログを追加する(0.5時間)	
10	デジタルアート作品をつくる			デジタルアートについて調べる(0.5時間)		デジタルアート作品の完成(0.5時間)	
11	Powerpointを使った教材づくり 「ここはどこでしょう」			教材にしたい写真や動画を撮影しておく(0.5時間)		教材の追加作成(0.5時間)	
12	動画にしたい素材を考察する 動画を撮影する			おもしろいと感じるYouTubeを選ぶ(0.5時間)		動画の整理(0.5時間)	
13	動画撮影および編集			修正ソフトの使い方を予習する		動画の編集(0.5時間)	
14	動画編集			動画用の音声や文字を用意する		動画の完成(0.5時間)	
15	動画を鑑賞し、それぞれの作品のよさを考察する 授業のまとめ			動画の完成(0.5時間)		授業の振り返り(0.5時間)	

試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題提出		40%	知識・技能の定着を評価	
	授業態度		40%	創意工夫及び積極性を評価	
	振り返り		20%	理解を評価	
備 考					
フィード バック	学生が提出した課題に対しては、教員からフィードバックを行う。				

科目コード	8430	ナンバリング	KBE200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	プログラミング 2-全						
科目英語名	Computer Programming 2-全						
担当教員	榊原 将弘						
資格・免許との関連	情報処理士選択科目 秘書士選択科目						
学修内容	近年、スマートフォンや家電など、電気で動く電子機器のほとんどが、プログラミングによって動いている。本授業では、コンピュータプログラミングの世界をプログラミング演習や AI の仕組みの学習を通じて体験し、コンピュータが出している情報や、プログラミングされた動きの理解度を高める。 なお、本科目は基礎教養科目の学修成果「社会貢献の基盤」「データサイエンス」に該当する科目である。						
学修成果到達目標	1. ビジュアルプログラム言語を学修し、自らゲーム作成を体験することで、コンピュータプログラミングを体感できる。 2. AI の基本的な仕組みを理解することで、世の中で情報発信されている各種 AI 情報を容易に認識できる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	プログラミングの概要		世の中の AI およびプログラミング活用事例を調べる(1 時間)		練習問題 1(1 時間)		
2	プログラミングの基礎知識		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 2(1 時間)		
3	プログラミングの構造と理解		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 3(1 時間)		
4	分岐処理・ループ処理の理解		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 4(1 時間)		
5	変数・関数の理解		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 5(1 時間)		
6	画像と音楽の取り込み		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 6(1 時間)		
7	ゲーム企画立案と発表		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 7(1 時間)		
8	AI の活用事例と仕組み		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 8(1 時間)		
9	ゲームの基礎構造作成		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 9(1 時間)		
10	ビジュアルな動きの実現		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 10(1 時間)		
11	ゲーム性を高める		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 11 (1 時間)		
12	AI の概要		練習問題見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 12(1 時間)		
13	プログラミング成果発表		プログラミング見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 13(1 時間)		
14	プログラミング成果発表振り返り		プログラミング見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 14(1 時間)		
15	まとめとフィードバック		プログラミング見直しおよび修正(1 時間)		練習問題 15 および成果報告会の評価(1 時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など		
	課題提出および再提出		75%	練習問題 1 から練習問題 14 まで 5 点満点で評価する(見直し・再提出を含む)。		
	プログラミング成果発表		25%	発表成果を相互評価する。		
備考	<p>授業日程は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年5月4日(祝・木) 1~3限 ・2023年5月5日(祝・金) 1~4限 ・2023年5月6日(土) 1~4限 ・2023年5月13日(土) 1~4限 					
フィードバック	<p>LMS を活用して資料の提示をする。</p> <p>提出された課題はすべてフィードバックする。</p>					

科目コード	8305a	ナンバリング	KAA100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	英語 I 1-BC・地						
科目英語名	English I 1-BC・地						
担当教員	キャンベル早川久美子						
資格・免許との関連	卒業のための選択科目、小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 発話やり取りを中心に、基本的な英語理解と英語発信力をつける。 2. 場面別構成に沿い語彙力をつけ、基礎文法の理解を確かなものにする。 3. 文化や歴史への関心を深めると共に、文化的多様性を知る。						
学修成果到達目標	1. 「読む」「聞く」「話す」「書く」全般にわたる基礎力が培われる。2. 読むことを通して文化的リテラシーを高めることができる。3. 生涯学習を展望した自律的学習者としての語学学習習慣を身につけることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション及び英語の基本語順・Unit 1 Welcome to Vancouver		教科書の該当範囲に目を通し、学習展開を捉えておく(10分)		語彙を整理し、場面による表現を復習する(30分)		
2	Unit 1 Welcome to Vancouver (be 動詞)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
3	Unit 2 Ryo Loves San Francisco (一般動詞の現在形)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
4	Unit 3 A British City in Canada? (代名詞)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
5	Unit 4 L.A. Style (進行形)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
6	Unit 5 The Canadian Rockies (時と場所を表す前置詞)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
7	Unit 6 The Grand Canyon (可算名詞・不可算名詞)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
8	Unit 1～6 までの復習と確認		Unit1～6 の基本語彙、文法を中心に整理しておく(40分)		理解の不十分であったところを復習する(20分)		
9	Unit 7 T.O. — Toront, Ontario (一般動詞の過去形)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
10	Unit 8 Big Texas (疑問詞)		提示された範囲の予習 (20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
11	Unit 9 Ottawa —The Capital (接続詞)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する (40分)		
12	Unit10 Funky New Orleans (動名詞・不定詞)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
13	Unit11 Charming Guebec City (未来形)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
14	Unit 1 2 Florida Sunshine (現在完了形)		提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)		
15	まとめと確認テスト		確認テストに向けて、復習をしておく(50分)		これまでの授業内容のふりかえり、再確認をする(40分)		
試 験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	English Missions Starter ミッション型大学英語の総合演習：入門編	Robert Hiding, 白倉美里	KINSEIDO	9784764740709			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	スタンフォードの「英語ができる自分」になる教室	ケリー・マクゴニガル, CNN English Express	朝日出版社	9784255008066	自由課題
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	確認テスト		50%	授業内容を理解しているかを評価する	
	平常点 (受講姿勢、課題の提出等を含む)		50%	自律的学修・課題完成度等で評価する	
備考	授業には、辞書を準備することが望ましい。				
フィード バック					

科目コード	8305b	ナンバリング	KAA100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	英語 I 1-全						
科目英語名	English I 1-全						
担当教員	油布 茂子						
資格・免許との関連	卒業のための選択科目、小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	<p>1. 発話やり取りを通して、基本的な文法や表現の確認と英語運用の基礎力の構築をめざす。</p> <p>2. さまざまな場面を通して語彙力を身に付け、基礎文法の理解をより深める。</p> <p>3. 様々な国の文化や歴史への関心を深め、同時に文化の多様性を知る。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 四技能の基礎力がバランスよく培われる。英語学習を通じ、異文化理解力を高めることができる。2. 場面ごとの英語教材に楽しく触れることで、生涯学習を見据えた自律的な語学学習習慣を身につけることができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション及び学習内容確認・Unit 1 Welcome to Vancouver			教科書の該当範囲に目を通し、学習展開を捉えておく(10分)		語彙を整理し、場面による表現を復習する、学習内容の整理(30分)	
2	Unit 1 Welcome to Vancouver (be 動詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
3	Unit 2 Ryo Loves San Francisco (一般動詞の現在形)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
4	Unit A British City in Canada? (代名詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
5	Unit 1～3 までの復習と確認			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
6	Unit 4 The L.A.Style (時と場所を表す進行形)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
7	Unit 5 The Canadian Rockies (時と場所を表す前置詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
8	Unit 1～5 までのまとめと確認			Unit1～5 の基本語彙、文法を中心に整理しておく(60分)		理解の不十分であったところを復習する(30分)	
9	Unit 6 The Grand Canyon (可算名詞・不可算名詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
10	Unit 7 T.O. — Toronto, Ontario (一般動詞の過去形)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
11	Unit 8 Big Texas (疑問詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
12	Unit 6～8 までの復習と確認			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
13	Unit 9 Ottawa — The Capital (接続詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
14	Unit 10 Funky New Orleans (動名詞・不定詞)			提示範囲の予習・課題取り組み		文法確認と指示箇所音読、	

		(30分)	語彙等学習内容の復習・整理 (40分)		
15	これまでのまとめと確認・教科書全体の振り返り	Unit1～10の基本語彙、文法を中心に整理しておく(既習範囲の復習)・ノート提出の準備(60分)	これまでの授業内容をふりかえり、確認をする(40分)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	English Missions! Starter ミッション型大学英語の総合演習：入門編	Robert Hickling, Misato Usukura	KINSEIDO	9784764740709	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	必要がある場合は、講義の中で紹介する				
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		50%	学習内容が定着しているか評価する	
	平常点(受講姿勢・授業での積極性・課題の完成度/提出等)		50%	積極的な学習意欲があるか評価する	
備 考	授業には、辞書を準備することが望ましい。 予習・復習を大切にしてください。				
フィード バック					

科目コード	8305c	ナンバリング	KAA100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	英語 I 1-全						
科目英語名	English I 1-全						
担当教員	キャンベル早川久美子						
資格・免許との関連	卒業のための選択科目、小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 発話やり取りを通して、基本的な文法と表現を確認する。 2. さまざまな場面を通して、実生活に役立つ表現への理解を深める。 3. アウトプットとしての英語表現力を高める。						
学修成果到達目標	「聞く」「話す」を中心に、バランスのよい基礎力が培われる。使用頻度の高いフレーズなどを聞いて理解し、アウトプットに繋げることにより、表現の幅を広げることができるようになる。自律的言語学習習慣を身につけることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション及び Unit 1 Meeting New People (動名詞)			教科書の該当範囲に目を通し、学習の展開を捉えておく(10分)		語彙を整理し、場面による表現を復習する(30分)	
2	Unit 1 Meeting New People (動名詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
3	Unit 2 Home (比較)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
4	Unit 3 Family (再帰代名詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
5	Unit 4 Transportation in the City (未来を表す表現)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
6	Unit 5 Shopping (可算名詞・不可算名詞・疑問副詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
7	Unit 6 Celebrations (現在完了形)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
8	Unit 7 Volunteering (接続詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
9	Unit 8 Staying Well (受動態)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
10	Unit 9 Pets (現在完了進行形) 語彙と文法、これまでの復習			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
11	Unit 10 Free-time Activities (頻度の副詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
12	Unit 11 Music (付加疑問文)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
13	Unit 12 Eating out (形容詞・副詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
14	Short Talk (冠詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と指示箇所 of 音読を含み、復習する(40分)	
15	まとめとふりかえり			確認テストのための準備、Unit 7～12 までの復習をしておく(50分)		これまでの授業内容をふりかえり、確認をする(40分)	
試験							
教科書		書名	著者	出版社	ISBN	備考	
		Listen Up, Talk Back-English for Everyday Communication-聞いて話せる英語演習-頻出表現で学ぶ実用英語-	Gillian Flaherty, James Bean, Yoshihito Kamakura	SEIBIDO	9784791972043		

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	確認テスト（プレゼンテーション等のオーラル表現を含む）		60%	授業の理解度とその表現・活用力を評価する	
	平常点（受講姿勢・課題の提出など）		40%	自律的学修・課題完成度等で評価する	
備考	授業には、辞書を準備すること。				
フィードバック					

科目コード	8310a	ナンバリング	KAA115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	英語Ⅱ 1-地						
科目英語名	EnglishⅡ 1-地						
担当教員	キャンベル早川久美子						
資格・免許との関連	卒業のための選択科目、小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 英語Ⅰの発展として、実際の英語使用場面をイメージした実践的英語表現力に繋げる。 2. 外国の生活及び文化的側面に触れながら文化の多様性への理解を深める。						
学修成果到達目標	基礎英語力を身につけることができる。設定場面での英語表現に慣れ、実践的な会話形式で英語を使うことができるようになる。また、言語習得ストラテジーを立て実践することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション及び Unit 1 Welcome to the “Big Apple” (現在形)			シラバスの提示範囲を予習しておく(20分)		語彙を整理し、場面による表現を復習する(30分)	
2	Unit 1 Welcome to the “Big Apple” (読解・表現)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
3	Unit 2 What’s the Boss Like? (代名詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
4	Unit 3 Masa’s First Day on the Job (前置詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
5	Unit 4 Summer Fun (過去形)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
6	Unit 5 Hotel Guest Satisfaction (可算名詞・不可算名詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
7	Unit 6 Brainstorming (進行形)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
8	Unit 7 Glad to Be of Service (WH 疑問文)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
9	これまでの復習と確認			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、適宜 Reading の音読を含み、復習する(40分)	
10	Unit 8 Socializing with Co-Workers (動名詞・不定詞)			提示された範囲の予習 (20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
11	Unit 9 Vacation Spots (未来形)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する (40分)	
12	Unit 10 Sports Talk (比較級・最上級)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
13	Unit 11 Tour Day (助動詞)			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
14	自分のことについてのショートトーク			提示された範囲の予習(20分)		文法確認と、Reading の音読を含み、復習する(40分)	
15	確認テストとふりかえり			これまでの復習並びにノート作成(40分)		総合的なまとめ(30分)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	English Missions! Basic ミッション型大学英语の総合演習：基礎編	Robert Hickling, Misato Usukura	KINSEIDO	9784764740716			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	Basic Grammer in Use,マーフィーのケンブリッジ英文法(初	渡辺雅仁, レイモンド・マーフィー	Cambridge University Press	9784889969450			

	級編) 第4版				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	確認テスト(オーラル・コミュニケーションを含む)	50%	授業内容を理解しているかを評価する		
	平常点(受講姿勢、課題の提出などを含む)	50%	自律的学修・課題完成度等で評価する		
備考	授業には、電子辞書を推奨する。				
フィード バック					

科目コード	8310b	ナンバリング	KAA115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	英語Ⅱ 1-全						
科目英語名	EnglishⅡ 1-全						
担当教員	油布 茂子						
資格・免許との関連	卒業のための選択科目、小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 英語Ⅰの学習を土台に、実際の英語使用場面をイメージした実践的英語表現力を学ぶ。 2. 外国の生活・文化・習慣に触れ、異文化理解力をさらに深める。						
学修成果到達目標	1. 基礎英語力・文法力を身につけ、それを実践的な場面で表現できる。2. 設定場面での英語表現に慣れ、実用的に使用することができる。3. 言語習得ストラテジーを立て実践することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション及び Unit 1 Welcome to the “Big Apple” (現在形) (場合によっては、少し前期 (英語Ⅰ)のふりかえりを行う)			教科書の該当範囲に目を通し、学習展開を捉えておく(30分)		語彙・場面による表現の復習、学習内容整理、課題取り組み(40分)	
2	Unit 1 Welcome to the “Big Apple” (読解・表現)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
3	Unit 2 What’s the Boss Like? (代名詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
4	Unit 3 Masa’s First Day on the Job (前置詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
5	Unit 1～3の復習と確認			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
6	Unit 4 Summer Fun (過去形)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
7	Unit 5 Hotel Guest Satisfaction (可算名詞・不可算名詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
8	Unit 1～5のまとめと確認			Unit1～5の基本語彙、文法を中心に整理しておく(既習範囲の復習)(60分)		理解が不十分であった箇所の確認(40分)	
9	Unit 6 Brainstorming (進行形)			提示範囲の予習・これまでの学習内容の復習・整理(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(50分)	
10	Unit 7 Glad to Be of Service (WH疑問文)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
11	Unit 8 Socializing with Co-Workers (動名詞・不定詞)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
12	Unit 6～8の復習と確認			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	
13	Unit 9 Vacation Spots (未来形)			提示範囲の予習・課題取り組み(30分)		文法確認と指示箇所音読、語彙等学習内容の復習・整理(40分)	

14	Unit 10 Sports Talk (比較級・最上級)	提示範囲の予習・課題取り組み (30分)	文法確認と指示箇所之音読、 語彙等学習内容の復習・整理 (40分)		
15	これまでのまとめと確認・教科書全体の振り返り	Unit1～10の基本語彙、文法を中 心に整理しておく(既習範囲の復 習)・ノート提出準備(60分)	総合的なまとめ(30分)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	English Missions! : Basic ミ ッション型大学英語の総合演 習：基礎編	Robert Hickling, Misato Usukura	KINSEIDO	9784764740716	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	必要がある場合は、講義の中で 紹介する				
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度・学習到達度確認		50%	学習内容が定着しているか評価する	
	平常点(課題取り組み・授業への積極性・ 受講姿勢)		50%	積極的な学習意欲があるか評価する	
備 考	授業には、辞書を準備することが望ましい。 予習・復習を大切にしてください。				
フィード バック					

科目 コード	8325	ナンバリング	KAA105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	英会話 1-全						
科目英語名	English Conversation 1-全						
担当教員	キャンベル早川久美子						
資格・免許 との関連	卒業のための選択科目、小学校教諭免許、幼稚園教諭免許、保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 既習フレーズや語彙を活用し、英語でシンプルに考え、表現する方法を理解し実践する。2. 日常会話を通じた発信型の英語に多く触れ、やりとりの自然な流れの展開に慣れる。その上で簡潔な表現や定型表現、簡略化された形式を用いたプレゼンテーションを通して、多様な表現形式を体験的に学ぶ。						
学修成果 到達目標	平易な英語を用いてコミュニケーションを行うためのスキルの向上を図ることができる。また英語で情報発信するための基本的習慣・態度を身につけることができる。ペアあるいはグループワークを含めプレゼンテーションができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション及び Unit 1 Conversation 1 基本練習 初対面の挨拶をしよう			シラバスの指示範囲に目を通しておく(10分)		授業展開を概観、Unit1の語彙を調べる(30分)	
2	Unit 1 Conversation 1 展開 初対面の挨拶をしよう			Unit1 基本文型の音読と、p.4の予習(30分)		Unit1 基本表現の確認と音読、会話文の練習 を含めた復習(30分)	
3	Unit 2 Conversation 2 基本練習 出身地について話そう			Unit2 の語彙と p.8 の予習(30分)		Unit2 基本表現の確認と会話文の練習を含めた復習(30分)	
4	Unit 2 Conversation 2 展開 出身地について話そう			Unit2 の音読 ディクテーション文の確認(30分)		Unit2 基本表現の確認と音読、会話文の練習を含めた復習(30分)	
5	Unit 3 Conversation 3 基本練習 普段の習慣とその頻度について話そう			Unit3 の語彙と、p.12の予習(30分)		Unit3 基本表現の確認と会話文の練習を含めた復習(30分)	
6	Unit 3 Conversation 3 展開 普段の習慣とその頻度について話そう			Unit3 の音読 ディクテーション文の確認(30分)		Unit3 基本表現の確認と音読、会話文の練習を含めた復習(30分)	
7	Unit 4 Conversation 4 基本と展開 過去の出来事について話そう			Unit4 の語彙と、p.16の予習とディクテーション文の確認(30分)		Unit4 基本表現の確認と音読、会話文の練習を含めた復習(30分)	
8	Unit 5 Conversation 5 基本と展開 未来やこれからのことについて話そう			Unit5 の語彙と、p.20の予習とディクテーション文の確認(30分)		Unit5 基本表現の確認と音読、会話文の練習を含めた復習(30分)	
9	Unit 6 Discussion 1 自分の意見を述べよう			Unit6 の語彙と、p.24の予習とディクテーション文の確認(30分)		Unit6 基本表現の確認と音読、会話文の練習を含めた復習(30分)	
10	Unit 7 Discussion 2 理由と度合を示して同意・反論しよう			Unit7 の語彙と、p.28の予習とディクテーション文の確認(30分)		Unit7 基本表現の確認と音読、会話文の練習を含めた復習(30分)	
11	復習と確認、今後の展開について			これまでの復習(30分)		これまでの弱点整理と音読(20分)	
12	Unit 8 Presentaion 1 プレゼンテーションの基本構造[出だしと結び]			テーマ設定のための準備(30分)		テーマに沿ったアウトラインの修正(30分)	
13	Unit 9,10 Presentaion 2, 3 プレゼンテーションの基本的な内容[ボディ] グラフを使ったプレゼンテーション			音声表現のための発話練習(20分)		相手の理解に沿った話し方についての検討(30分)	
14	自己表現につながるプレゼンテーション			発表に向けての準備(30分)		相互評価を参照してのふりかえり(30分)	

15	まとめとふりかえり	基本事項について復習(50分)			総合的なまとめ(40分)
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Speak Easy: From Basic Conversation to Simplified Debete	藤岡克則, 山内信幸, Neil Heffeman	KINSEIDO	9874764740846	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	Basic Grammer in Use,マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第4版	渡辺雅仁, レイモンド・マーフィー	Cambridge University Press	9784889969450	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	確認テスト(やりとり・プレゼンテーション等を含む)		50%	授業内容の理解しているかを評価する	
	平常点(受講姿勢、課題の提出などを含む)		50%	積極性、課題完成度を評価する	
備考	それぞれの関心に沿った英語に触れる機会を増やす				
フィードバック					

科目コード	8330	ナンバリング	KAA110	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	フランス語 I 1-BC・地							
科目英語名	French I 1-BC・地							
担当教員	浅野 友子							
資格・免許との関連	幼稚園・小学校教諭二種免許、保育士資格のための選択必修科目							
学修内容	フランスで出会う日常の会話表現を練習しながら、基本的な文法を学ぶ。							
学修成果到達目標	フランス語の文の成り立ちを理解し、簡単な文を自分で作り、話せるようになる。							
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間			
1	フランス語の文字、読み方		フランス文化・フランス語に関する情報を参照しておく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
2	日常の挨拶 (基本)		発音練習をする(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
3	日常の挨拶 (応用) ・ 数字の言い方		教科書の説明を見ておく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
4	名詞の性・数 - 男性名詞と女性名詞		教科書の説明を見ておく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
5	冠詞について		教科書の説明を見ておく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
6	文の構造 - 「音楽が好きです。」		小テストの準備(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
7	否定文の作り方		教科書の説明を読んでおく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
8	基本の動詞 - 「私は学生です。」		教科書の説明を読んでおく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
9	男性形と女性形 - 「私は日本人です。」		小テストの準備(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
10	基本の動詞 - 「私は二十歳です。」		教科書の説明を読んでおく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
11	形容詞 - 「美しい庭」		教科書の説明を読んでおく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
12	形容詞の男性形と女性形		小テストの準備(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
13	動詞《aller》と《venir》		教科書の説明を読んでおく(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
14	近接過去と近接未来		小テストの準備(0.5 時間)		学習したフランス語を声に出して読む(0.5 時間)			
15	ふりかえりとまとめ (人物紹介文)		自由作文(人物紹介文)の内容を考えておく(1 時間)					
試 験								
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	クロワッサン: 基礎からわかるフランス語		松村博史		朝日出版社		9784255352602	
参考書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	小テスト等提出物の評価	70%	授業の内容を理解しているか評価する
	授業態度	30%	関心を持って積極的に授業に参加しているか評価する
備考			
フィード バック			

科目コード	8335	ナンバリング	KAA120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	フランス語Ⅱ 1-地						
科目英語名	French Ⅱ 1-地						
担当教員	浅野 友子						
資格・免許との関連	幼稚園・小学校教諭二種免許、保育士資格のための選択必修科目						
学修内容	フランス語Ⅰに引き続き、会話表現を練習しながら、初級文法の後半を学ぶ。						
学修成果到達目標	フランス語で自分の思いを表現できる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	フランス語Ⅰの復習		前期の内容をまとめておく(0.5時間)		新しく学習した単語の発音を練習する(0.5時間)		
2	疑問文の作り方		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		新しく学習したことを整理しておく(0.5時間)		
3	所有形容詞 - 「私の家」		小テストの準備(0.5時間)		新しく学習した単語の発音を練習する(0.5時間)		
4	規則動詞 - 「私は仕事を終えます。」		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
5	命令形		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
6	疑問詞 - 「いつ?」「どこ?」		小テストの準備(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
7	動詞《faire》とその用法		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
8	動詞《prendre》とその用法		小テストの準備(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
9	複合過去1 - 「歌いました。」		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
10	複合過去② - 「行きました。」		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
11	疑問形容詞 - 「どの季節?」		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
12	動詞《vouloir》と《pouvoir》		小テストの準備(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
13	様々な疑問文と答え方		教科書の説明を読んでおく(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
14	比較級と最上級		小テストの準備(0.5時間)		学習したフランス語文を音読する(0.5時間)		
15	まとめの自由作文(学習したフランス語で長文を書く)		自由作文の内容を考えておく(1時間)				
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	クロワッサン:基礎からわかるフランス語	松村博史	朝日出版社	9784255352602			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	小テスト等提出物の評価	70%	授業内容を理解しているか評価する
	授業態度	30%	関心を持って積極的に授業に参加しているか評価する
備考	受講生は原則として「フランス語Ⅰ」の単位を修得していること。		
フィード バック			

科目コード	8125	ナンバリング	KAB100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	心理学						
科目英語名	Psychology						
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>心理学 (Psychology) とは、「ひとの感情や行動のメカニズムを科学的に研究する学問」である。自分や相手の心の仕組みについて深く知り、理解することによって、介護場面で必要とされる対人援助・支援、よりよい福祉社会をつくることに貢献したりすることができる。そこで本講義では、以下3点についての講義（一部アクティブ・ラーニング）を行う。</p> <p>1. 心理学とは何かを知る：脳科学，知覚・認知，感情，発達・学習，人格・適性，心理アセスメント，対人関係・臨床など心理学の基礎知識を理解・修得。</p> <p>2. ICT 通信環境（オンライン・オンデマンド・ハイブリット）および Google 各種ツールなどを活用した対人援助・支援方法に関する知識の修得。</p> <p>3. 協同学習の理念と手法に基づいた話し合い活動（LTD：Learning Through Discusson）による対人援助・支援意欲の動機づけ。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 心理学の取り扱う領域・内容についての基礎理論が理解できる。</p> <p>2. ICT 通信環境（オンライン・オンデマンド・ハイブリット）および Google 各種ツールなどを活用することができる。</p> <p>3. 心理学的アプローチ・手法を用いて，自分の対人援助職適性・キャリア発達について考えることができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション】 1)履修上の諸注意，評価方法および評価基準（基準・基準）の説明する。 2)心理学とは何か，心理学が取り扱う領域と対人援助職との関係について概説する。			1) シラバスの確認 (0.5 時間) 2) 心理学とは何か，対人援助職とどのような関係性があるのか予想する(仮説を立てる)(2 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(0.5 時間) 2)授業内容をふまえ，自分がなりたい介護福祉士(対人援助職)をイメージする(2 時間)	
2	【心理に関する支援を行う (1)】 1) 臨床心理学の成り立ち (フロイト・ユングなど) と基礎理論について概説する。 2) 対人援助場面における臨床心理学的アプローチについて探究する。			1)指定テキスト第1章1節精読 (1 時間) 2)Google Classroom 資料確認(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
3	【心理に関する支援を行う (2)】 1) 臨床心理学的アプローチ・技法について概説する。 2) 臨床心理学と介護・福祉領域との連携・協力関係について探究する。			1)指定テキスト第1章2節精読 (1 時間) 2)Google Classroom 資料確認 (1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
4	【性格は変えられるか (1)】 1) 性格と個人差の心理学 (パーソナリティ心理学) についての基礎理論について概説する。 2) 自分の人格について基礎的な人格検査 (エゴグラム) を用いて探究する。			1)指定テキスト第2章1節精読 (1 時間) 2)Google Classroom 資料確認(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
5	【性格は変えられるか (2)】 1) 環境適応と心理学についての基礎理論について概説する。 2) 自己 (self) と自我 (ego) の関係，自分のキャリア適性について探究する。			1)指定テキスト第2章2節精読 (1 時間) 2)Google Classroom 資料確認 (1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間) 2)中間レポート(1)(2 時間)	
6	【身近な人や社会との関係 (1)】 1) 社会的行動の心理学の基礎理論について概説する。 2) 身近な人との円滑な関係形成について探究する。			1)指定テキスト第3章1節精読 (1 時間) 2)Google Classroom 資料確認(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	

7	【身近な人や社会との関係（2）】 1）社会的集団における自己のポジショニングや役割について概説する。 2）職場の同僚との円滑な関係形成について探究する。	1)指定テキスト第3章2節精読(1時間) 2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
8	【生まれてから死ぬまで（1）】 1）生涯発達心理学（乳・幼児・児童期）の基礎理論について概説する。 2）過去から現在に至るまでの自分の発達について探究する。	1)指定テキスト第4章1節精読(1時間) 2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
9	【生まれてから死ぬまで（2）】1）生涯発達心理学（青年・成人・老年期）の基礎理論について概説する。2）なりたい自分の将来イメージ、キャリア発達について探究する。	1)指定テキスト第4章2節精読(1時間) 2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
10	【心を測る】 1）心理学的アセスメントの基礎理論について概説する。 2）心理アセスメントを用いて自分の内面を探究する。	1) 指定テキスト第5章精読(1時間) 2) Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) 2)中間レポート(2)(2時間)
11	【ひとの世界をどうとらえるか】 1）知覚・認知・記憶の心理学の基礎理論について概説する。 2）介護福祉士資格取得のための自分の学びについて探究する。	1) 指定テキスト第6章精読(1時間) 2) Google Classroom 資料確認(1時間)	1) 本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
12	【あなたはなぜそのよう行動するのか】 1）行動と学習の心理学の基礎理論について概説する。 2）自分にあった学習方略について探究する。	1)指定テキスト第7章精読(1時間)2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
13	【ひとの心はどう探究されてきたか】 1）心理学の歴史の基礎理論について概説する。 2）哲学から派生した心理学の位置づけについて探究する。	1)指定テキスト第8章精読(1時間) 2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
14	【データから心を探る】 1）心理学研究法の基礎理論について概説する。 2）介護福祉職と心理学研究の接点を探究する。	1)指定テキスト第9章精読(1時間) 2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)
15	【心理学まとめ】 1）第1回～第15回内容のまとめ 2）心理学的アプローチや技法と対人援助職との関係について総括する。	1)指定テキスト全体精読(1時間) 2)Google Classroom 資料確認(1時間)	1)第1回～第15回内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)2)期末試験(筆記試験)準備(2時間)

試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	心理学・入門：心理学はこんなに面白い 改訂版（有斐閣アルマ）	サトウタツヤ・渡邊芳之	有斐閣	9784641221383	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	教育心理学：保育・学校現場をよりよくするために	石上浩美・矢野正編著	嵯峨野書院	9784782305591	
	[新装版] 知能の誕生	J・ピアジェ, 谷村 覚・浜田寿美男	ミネルヴァ書房	9784623093649	
	実践につながる 新しい教養の心理学	大浦賢治編著	ミネルヴァ書房	9784623092666	
	ヒルガードの心理学 第15版	スーザン・ノーレン・ホークセマ, パーバラ・フレデリック	金剛出版	9784772412339	

		クソン他			
	心理学 (New Liberal Arts Selection)	無藤隆・遠藤由美・玉瀬耕治・森敏昭	有斐閣	9784641053694	
	夜と霧 新版	ヴィクトール・E・フランクル, 池田香代子訳	みすず書房	9784622039709	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	期末試験		40%	知識・理解 A : 50-40,B:39-30,C:29-20,D:19 以下	
	中間テスト		40%	思考・表現 A : 25-20,B:19-15,C:14-10,D:9 以下	
	授業参加態度		20%		
備考					
フィードバック	・ Google Classroom および sahonavi にて適宜実施				

科目 コード	8145	ナンバリング	KAB200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会学						
科目英語名	Sociology						
担当教員	中田 奈月						
資格・免許 との関連	介護福祉士選択必修科目 ピアヘルパー選択必修科目 社会福祉主事選択必修科目						
学修内容	社会学の本質的な考え方や基本概念を理解し、互いに議論し、修得することで、自分たちの生活世界と社会のあり ようを関連づけて考える力（社会学的想像力）を身につける。						
学修成果 到達目標	1. 社会学の本質的な考え方や基本概念を理解して例証できる。 2. 社会学的想像力を身につけ推論できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	社会学の視点（講義およびグループワーク）			事前に LMS で指定された課題を 遂行する（2 時間）		事前に LMS で指定された課 題を遂行する（2 時間）	
2	なぜ人は社会を作るのか（講義およびグループワーク）			事前に LMS で指定された課題を 遂行する（2 時間）		事前に LMS で指定された課 題を遂行する（2 時間）	
3	第 1 サイクル準備（グループワーク）			配布資料・企画書作成（2 時間）		配布資料・企画書作成（2 時 間）	
4	つきあいと儀礼（報告）			配布資料・企画書・評価票作成（2 時間）		配布資料・企画書・評価票作 成（2 時間）	
5	身体の文化（報告）			配布資料・企画書・評価票作成（2 時間）		配布資料・企画書・評価票作 成（2 時間）	
6	逸脱と統制の文化（報告）			配布資料・企画書・評価票作成（2 時間）		配布資料・企画書・評価票作 成（2 時間）	
7	グローバル社会の文化（報告）			配布資料・企画書・評価票作成（2 時間）		配布資料・企画書・評価票作 成（2 時間）	
8	小括とフィードバック			フィードバック用資料作成（2 時 間）		資料熟読・配布資料作成（2 時 間）	
9	第 2 サイクル準備			資料熟読・配布資料作成（2 時間）		配布資料・企画書作成（2 時 間）	
10	出生（報告）			配布資料・企画書作成（2 時間）		配布資料・企画書作成（2 時 間）	
11	恋愛（報告）			配布資料・企画書作成（2 時間）		配布資料・企画書作成（2 時 間）	
12	親子（報告）			配布資料・企画書作成（2 時間）		配布資料・企画書作成（2 時 間）	
13	教育（報告）			配布資料・企画書作成（2 時間）		配布資料・企画書作成（2 時 間）	
14	ピアヘルピング（報告）			配布資料・企画書作成（2 時間）		配布資料通読（2 時間）	
15	価値判断からの自由（講義・フィードバック・グルー プワーク）			フィードバック用資料作成（2 時 間）		学びのチャート作成（4 時間）	
試 験							
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
	社会学をつかむ	西澤晃彦 渋谷 望	有斐閣	4641177058			

	社会学 新版	長谷川 公一 浜 日出夫 藤村 正之 町村 敬志	有斐閣	4641053898	
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	ラベル評価	20%	毎回の報告を5段階評価する		
	プロセス図解	20%	指示された内容が書かれているかで加点		
	授業準備と復習	15%	自己評価と他者評価を加算		
	学生相互評価票	15%	5段階での他者評価		
	自己評価票	15%	5段階での自己評価		
	クラスワーク	15%	発言回数および内容について5段階での他者評価		
備考	この授業は教職員・受講者以外の学生などにも公開する。				
フィード バック	第1サイクル、第2サイクル終了後に成績を返却する				

科目コード	8105a	ナンバリング	KAB205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期 2023 年度後期
科目名	人権と差別						
科目英語名	Human Rights and Discrimination						
担当教員	信田 和則						
資格・免許との関連	卒業必修科目						
学修内容	1. 生きることの根本に関わる人権の歴史と現実について学ぶ。 2. 人権とは何か、差別を生み出すメカニズムとはどのようなものかについて、「普遍的な視点」と「個別的な視点」の両方からアプローチし、人権や人権問題に対する理解と認識を深める。						
学修成果到達目標	1. 「すべての人間の尊厳」を実現する方向に人権感覚や意識の高揚を図り、個別カテゴリーの人権問題を認識して、その解決に向けて自分自身や社会がどのようにしたらいいのかを考察する力を身に付けることができる。 2. 人権が侵害されている構造を明らかにし、どのような解決課題があるのか、また状況への対応についての実践的な行動等について説明することができる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	授業計画と成績評価方法・基準を確認し、学修の見通しをもつ。 人権文化の創造について学ぶ。		シラバスを読み、講義の全体計画を把握しておくこと。 教科書に目を通し、これまで人権や差別の問題にどのように向き合ってきたかをまとめておくこと(2時間)		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
2	人権教育 (I) 「普遍的な視点からのアプローチ」を考える。 〔グループ・ディスカッション〕		人権における普遍的な視点について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
3	人権教育 (II) 「個別的な視点からのアプローチ」を考える。 〔グループ・ディスカッション〕		人権における個別的な視点について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
4	差別について考える。 〔グループ・ディスカッション〕		様々な人権侵害や差別の現状について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
5	国連及び日本国内における人権への取組を考える。 〔グループ・ディスカッション〕		国連及び日本国内における人権への取組について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
6	女性の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕		女性の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
7	子どもの人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕		子どもの人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)		
8	高齢者の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕		高齢者の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題		本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマ		

		等を整理しておくこと(2時間)	や内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)
9	障がい者の人権を考える。[グループ・ディスカッション]	障がい者の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)	本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)
10	同和問題を考える。 [グループ・ディスカッション]	同和問題について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)	本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)
11	外国人の人権を考える。 [グループ・ディスカッション]	外国人の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)	本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)
12	様々な人権・差別(Ⅰ)を考える。 (①HIV感染者 ②ハンセン病回復者 ③セクシュアル・マイノリティ) [グループ・ディスカッション]	HIV感染者の人権を始めとして、差別や偏見に苦しんでいる人々の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)	本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)
13	様々な人権・差別(Ⅱ)を考える。 (④個人情報保護 ⑤インターネットによる人権侵害 ⑥様々な人権問題) [グループ・ディスカッション]	個人情報保護を始めとして、様々な人権に関わる問題について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2時間)	本時に提示した課題に取り組みとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2時間)
14	授業全体を振り返り、人権と差別の問題についてまとめる。 [スピーチ]	日本及び世界における人権や差別に関連する事象について整理し、それに対する自分の考えをまとめておくこと(2時間)	本時に作成した科目終了レポートへの記述内容を思い起こし、人権を尊重する態度や人権感覚を磨く方法についてまとめておくこと(2時間)
15	授業のまとめをし、人権教育への展望をもつ(人権メッセージの作成と発表)。 [グループ・ディスカッション] [スピーチ]	人権や差別に関連する事象について整理し、それに対する自分の考えをまとめ、発表に向けての準備しておくこと(2時間)	人権や差別に関する基本的な内容や今日的な課題を整理し、すべての人の基本的人権が尊重される社会や職場環境の実現に向けて社会人としてこれから先どのように関わり、取り組んでいくか展望をもつ(2時間)

試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	大阪府人権白書 ゆまにてな にわ	大阪府府民文化部 人権局			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	毎回提出すレポート・学習態度		40%	理解度、実践への意欲態度等	

	科目終了レポート及びまとめ発表	60%	理解度、実践への意欲態度等
備考	<p>新聞やテレビ、インターネット等を通じて人権や差別に関わる話題を柔軟な発想で捉え、関心のあることを整理しておきましょう。</p> <p>適宜、グループ・ディスカッションやスピーチ等の授業形態や内容を取り入れます。</p> <p>毎回の授業の最後に学びを振り返り、コミュニケーションカード（レポート報告）を作成します。</p>		
フィードバック			
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）			
授業内容	<p>学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、今日的な課題（いじめ問題、不登校等）への対応を指導する。</p>		

科目コード	8220	ナンバリング	KAB115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	色彩学 1-全							
科目英語名								
担当教員	林 由恵							
資格・免許との関連	フードスペシャリスト資格取得のための必修科目							
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 色の基本的な仕組みを学び、衣食住や自己表現に色を活用できる力を養う。 2. 色が見えるしくみや色の表示方法を理解する。 3. 高齢者や多様な色の見え方を学び、適切な色の使い方を理解する。 4. 色の心理効果を理解する。 5. 目的に合わせた調和する色の組み合わせ方を学ぶ。 							
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 色の表示方法を理解し、伝えることができる。 2. 高齢者や多様な色の見え方を理解し、適切な色の使い方ができる。 3. 色の心理効果をもとに配色を考えることができる。 4. 目的に合わせた調和する配色ができる。 							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 色のはたらき			テキスト全体に目を通して、学ぶ内容と学ぶ目的をイメージする(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
2	光と色(1)色はなぜ見えるのか 照明の知識			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
3	光と色(2)色を見る目の仕組み 高齢者の色の見え方			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
4	(3)混色と色再現 色を作り出す仕組み			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
5	色の表し方・伝え方(1)色の分類と表示			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する。 カラーカードを貼る(2時間)		
6	色の表し方・伝え方(2)PCCS表色系 トーンのイメージ光と色			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
7	色彩心理(1)色の心理効果 色の連想と象徴			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
8	色彩心理(2)色の視覚効果 色の組み合わせによる見え方の変化			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
9	見えやすさを考える ユニバーサルデザインと色			周りの看板や案内物などの色の見えやすさを意識してみる(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
10	色彩調和(配色の基礎)(1)色相やトーンを手がかりにした配色			テキスト該当部分を読む。カラーカードを指定の箇所に貼る(2時間)		授業内容を復習する身近なデザインの色を観察する(2時間)		
11	色彩調和(配色の基礎)(2)配色技法			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する身近なデザインの色を観察する(2時間)		
12	配色イメージ 色でイメージを表現する			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
13	パーソナルカラー理論と自己表現			テキスト該当部分を読む(2時間)		授業内容を復習する(2時間)		
14	配色演習			色彩調和、配色イメージを復習しておく(2時間)		授業内容を復習する。演習を完成させる(2時間)		
15	まとめと振り返り			全体を復習しておく(2時間)		課題を完成させる(2時間)		
試験	レポート試験							
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	色彩検定 公式テキスト 3級編		色彩検定協会		色彩検定協会		9784909928030	

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	色彩検定 公式テキスト UC	色彩検定協会	色彩検定協会	9784909928122	
	色彩検定 公式テキスト 2級編	色彩検定協会	色彩検定協会	9784909928047	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	小テスト		50%	授業の内容を理解できているかを評価する	
	課題提出・受講姿勢		30%	授業内容を理解できているか、能動的に参加しているかを評価する	
	レポート提出		20%	授業内容を理解できているか、授業内容の活用や発展を考えられてるかを評価する	
備考	【新配色カード 199a ※日本色研事業(株)制作(サイズ: 3.0cm×12.0cm)】は講義で必要となりますので、必ず購入してください。				
フィード バック					

科目コード	8113	ナンバリング	KAC100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	奈良の伝統文化 I 1-全						
科目英語名	Traditional Culture of Nara I 1-全						
担当教員	前迫 ゆり、阪本 修、池田 匡志、安達 えみ、阪本 小雪						
資格・免許との関連	介護福祉士選択必修科目						
学修内容	奈良には長年受け継がれてきたものがある。食や工芸は地域で培われてきたその土地の個性でもある。奈良に関わる様々なもの、その背景を学ぶことでその他の地域に根付く文化の多様さにも気付くことができる。その「気付き」を発展させ未来へと受け継いでいく意識を育む事を目的とする。						
学修成果到達目標	日本・奈良の伝統文化について関心と理解を深め、奈良の食や工芸を中心とした伝統文化を説明できる。学習をとおして課題を発見し、また課題解決能力を身につけることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	奈良の産業・食の現状			奈良の特産品を調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
2	赤膚焼・お茶について			赤膚焼・お茶について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
3	奈良団扇について (池田)			奈良団扇について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
4	日本食物史 (奈良時代の食事)			食の歴史について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
5	奈良の仏像・神社仏閣について (学外) (安達)			奈良の仏像・神社仏閣について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
6	奈良の仏像・神社仏閣について (学外) (安達)			前授業のふりかえり(2 時間)		学修内容を整理する (2 時間)	
7	奈良一刀彫について (阪本小雪)			一刀彫について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
8	奈良一刀彫について (阪本小雪)			前授業のふりかえり(2 時間)		学修内容を整理する (2 時間)	
9	奈良漆器・漆について (阪本修)			奈良漆器・漆について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
10	奈良漆器・漆について (阪本修)			前授業のふりかえり (2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
11	行事と食事 (日本食の特徴)			日本の伝統行事について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
12	日本の麺文化と三輪そうめん			三輪そうめんについて調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
13	大和茶			お茶について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
14	地域と食 (寺社の行事と食事)			奈良駅(近鉄・JR)界隈の寺社について調べる(2 時間)		学修内容を整理する (2 時間)	
15	地域と食 (近年の取り組み)			奈良県の農産品について調べる(2 時間)		学修内容を整理する(2 時間)	
試 験							
教科書	書 名		著 者	出版社	ISBN	備 考	
参考書	書 名		著 者	出版社	ISBN	備 考	
	日本の食生活前週 聞き書 奈良の食事		藤本幸平他	農山漁村文化協会	9784540920035		
	大和の味 (改訂版)		田中敏子	奈良新聞社	9784888560375		

	奈良まほろばソムリエ検定公式テキストブック 改訂新版	網干善教	山と溪谷社	9784635600538	
	匠のこころ 近畿の伝統工芸	吉田甦子	東方出版	9784885915338	
	灯を継ぐ 今に生きる技	奈良日日新聞社出版委員会	奈良日日新聞社	4931311016	
	出会い大和の味	奈良の食文化研究会	奈良新聞社	9784888560658	
	続 出会い大和の味	奈良の食文化研究会	奈良新聞社	9784888561471	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		75%	教員が伝えたい内容を理解できたか	
	授業態度（積極性・協調性など）		25%	グループワークや授業内課題に積極的な取り組みをしたか	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講生数に限りがあります。(30名) ・内容または順番を変更することがあります。 ・学外見学や調理実習を行うため、実習費として別途 2,000 円徴収します。 				
フィード バック	提出された課題について評価・コメントを返します。				

科目コード	8114	ナンバリング	KAC105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	奈良の伝統文化Ⅱ 1-全						
科目英語名	Traditional Culture of Nara Ⅱ 1-全						
担当教員	前迫 ゆり、奈良まほろばソムリエの会						
資格・免許との関連	卒業のための選択必修科目						
学修内容	1. 学びの場である「奈良」に関することについて様々な視点から理解を深める。 2. 奈良の伝統行事の実際について、配布資料・パワーポイントを見ながらの説明・動画から理解する。 3. 伝統行事を営む社寺についての由緒や歴史を学ぶ。						
学修成果到達目標	奈良県下の伝統行事について概要を把握し、その由緒や意図、社寺の歴史を理解し説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション／奈良県の概略と奈良の伝統行事の特異性について／プレ授業として「采女祭り」と猿沢池にまつわる伝説					猿沢池湖畔に描かれた案内文を読みながら一周し、采女神社を参拝する(1.5 時間)	
2	奈良県の世界遺産の紹介／鹿野園町の町名の由来について			奈良県の世界遺産について奈良県ホームページを調べる(1.5 時間)		奈良の世界遺産について奈良市ホームページや吉野町ホームページを参考に復習する(1.5 時間) 創建時の元興寺をたどりながら、ならまちを散策する(2 時間)	
3	●秋の行事：「鹿の角きり」と奈良の鹿について／奈良豆比古神社「翁舞」・八柱神社「題目立」			「奈良の鹿愛護会」のホームページを読む(1 時間)		「翁舞」について配布資料等で復習、「題目立」について奈良市ホームページの説明を読む(1 時間) 興福寺菩提院を参拝(1.5 時間)	
4	●秋の行事：談山神社「けまり祭」／始まりの奈良に係る行事 1 (献氷祭・菩提もと清酒祭・珠光忌など)			談山神社のホームページで由緒やいわれを調べる。正暦寺のホームページで歴史と清酒について読む(2 時間)		氷室神社を参拝する(2 時間)	
5	●春～初夏の行事：疫病を鎮める祭り・率川神社「ゆり祭り」他／始まりの奈良に係る行事 2 (饅頭祭)／當麻寺「練供養会式」			率川神社ホームページでゆり祭りについて読む。當麻寺ホームページで中将姫や練供養について予習する(2.5 時間)		率川神社・林神社・称名寺など近鉄奈良駅周辺の社寺散策(3 時間)	
6	●初夏から夏の行事：唐招提寺「うちわまき」／金峯山寺蓮華会(蛙飛び行事と大和高田奥田の蓮とり)と役行者について／龍田大社「風鎮大祭」			唐招提寺ホームページで鑑真とうちわまきについて予習する(1 時間)。金峯山寺のホームページで由緒や役行者について調べる(1 時間)		金峯山寺「かえる飛び(蓮華会)」と龍田大社「風鎮大祭」について配布資料を読んで復習する(2 時間)	
7	●冬の行事：春日大社と「春日若宮おん祭」について			春日大社ホームページを読む(1 時間)春日若宮おん祭のホームページを読む(2 時間)		春日大社と春日若宮社を参拝(2 時間)お旅所・大宿所を散策(1 時間)	
8	●冬の行事：祭りと火について／「茅原のとんど」／「若草山山焼き」※プレゼンテーション「奈良の鹿」のグループと各自の発表テーマを決める。			若草山の山焼きについて、奈良公園クイックガイドホームページを読む(1 時間)		奈良公園飛火野から若草山山麓まで、山焼きの火のルートをたどり散策(2.5 時間)	
9	●冬から早春の行事：節分祭について／陀々堂の「鬼はしり」			興福寺ホームページから節分会についての説明を読む(1 時間)		興福寺周辺を散策して昔の寺地の広さを感じた後、節分会の行われる東金堂を参拝(3 時間)	
10	●早春の行事：お田植祭について			奈良市ホームページから手向山		手向山八幡宮を参拝する(1.5	

		八幡宮の「御田植祭」について読む(1時間)	時間)		
11	プレゼンテーション準備...グループワークでの「奈良と鹿」のガイド用プレゼンテーション準備	プレゼンテーション準備(2時間)	プレゼンテーション準備(2時間)		
12	「まほろばかるた」大会実施/プレゼンテーション準備...グループワークでの「奈良と鹿」のガイド用プレゼンテーション準備	プレゼンテーション準備(2時間)	プレゼンテーション準備(2時間)		
13	プレゼンテーション...グループごとに「奈良と鹿」を観光客(友人・子供・その他)に模擬ガイド(パワーポイント使用他)	プレゼンテーション準備(3時間)	奈良公園飛火野で鹿寄せを見学(1.5時間)		
14	●早春の行事: 東大寺二月堂「お水取り」と東大寺について	東大寺ホームページで修二会(「お水取り」)について調べる(2時間)	東大寺二月堂参拝、二月堂茶所でお水取りの展示を見学(2時間)		
15	●早春の行事: 薬師寺「花会式」、新薬師寺「おたいまつ」	薬師寺ホームページで修二会「花会式」について読む・新薬師寺ホームページで修二会「おたいまつ」について読む(2時間)	新薬師寺参拝(2時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	奈良の祭事記	岩井宏實	青春出版社	9784413042543	標準(基礎)
	奈良の鹿「鹿の国」の初めての本	奈良の鹿愛護会監修	京阪奈情報教育出版	9784878065026	標準(基礎)
	奈良まつり歳時記 DVD付	武藤康弘	ナカニシヤ出版	9784779504969	発展(応用)
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	「奈良の鹿」プレゼンテーション	50%	内容を把握し相手を見て説明する		
	授業毎の小テストと感想文	50%	授業内容を理解している		
備考	行事には人々の思いと願いが詰まっています。授業で説明するそれぞれの行事の意味を理解し、奈良に親しみ心豊かな生活を送ってください。				
フィードバック	毎時の最後に行う小テスト、感想文は次の時間に返却する。				

科目コード	8250a	ナンバリング	KAD100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	健康・スポーツ論 2-地						
科目英語名	Health and Sport Science 2-地						
担当教員	畑野 裕子						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	授業で取り上げる健康・運動・スポーツを取り巻くさまざまな問題から、自分自身の健康について考えるとともに、スポーツや身体運動が持つ教養的意義に触れ、生涯スポーツの実践や健康の維持・推進に役立てる。						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が抱える健康問題について説明できる。 ・健康とのかかわりにおける運動の意義について説明できる。 ・現代スポーツを取り巻くさまざまな問題について説明できる。 						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	現代スポーツ・学校体育の諸問題		スポーツ・学校体育に関するトピックスを事前に調べておく (1 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
2	スポーツと暴力・体罰 (ディベート)		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
3	スポーツとダイバーシティ、女性の健康と性ホルモンの影響		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
4	健康に関する諸問題 (生活習慣病、喫煙と飲酒)		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
5	健康 (からだ) に対する運動の効用 (グループワーク)		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
6	健康 (こころ) に対する運動の効用		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
7	健康とダイエット (ウエイトコントロール)		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を復習し、学習内容の要点をまとめる (2 時間)		
8	健康と心理、ストレスについて		事前に配信される資料をよく読み理解しておくこと (2 時間)		授業内容を総復習する (1 時間)		
試験	筆記試験						
教科書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
参考書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
	適時プリント配布						
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	定期試験		60%	学修内容を理解しているか評価する。			
	課題		40%	授業内容を理解しているか評価する。			
備考							
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は、提出後から次の授業までに評価する。 ・定期試験の成績発表後、申し出たものに対して採点後の答案の閲覧を認める。 						

科目コード	8255	ナンバリング	KAD200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	健康・スポーツ実習						
科目英語名	Sports						
担当教員	港野 恵美						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	授業で取り上げるいくつかの運動やスポーツを題材に、さまざまな運動やスポーツの特徴（運動の効用、競技特性、ルールや技術・戦術、トレーニング方法など）について実践を通じて理解を深めるとともに、健康の維持・増進のための運動・スポーツの活用及び生涯にわたる運動やスポーツとの関わり方について学修する。						
学修成果到達目標	1. 生涯にわたって運動やスポーツを継続していくための基礎となる技能や知識を身につけ、運動やスポーツ実践に生かすことができる。 2. 生涯にわたって運動やスポーツと豊かに関わるための知識や態度を獲得し、実際にそれを生かすことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス（学修内容、到達目標、成績評価など）、私たちの運動・スポーツとその魅力			スポーツについて知っている知識を調べておく(0.5 時間)		次回以降の運動・スポーツが実践できるよう服装や用具などの準備をする(0.5 時間)	
2	フライングディスク（スローイングとキャッチ）			フライングディスクについて調べる(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
3	ドッジビー			ドッジビーについて調べる(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
4	フライングディスク（アルティメット）			アルティメットについて調べる(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
5	バドミントンの基本技術①(ラケットの握り方、ストロークとサービス)			バドミントンのラケットの握り方、ルールを調べる(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
6	バドミントンの基本技術②(クリア・ドロップ・ドライブ・ヘアピン)			動画サイト等を使ってバドミントンのシングルスゲームを視聴する(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
7	バドミントンのゲーム①（シングルスゲーム）			これまでの基本技術を再確認する(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
8	バドミントンのゲーム②（ダブルスゲーム）			動画サイト等を使ってバドミントンのダブルスを視聴する(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
9	バレーボールの基本技術(アンダーハンドパス、オーバーハンドパス)			バレーボールのアンダーハンドパス、オーバーハンドパスの打ち方を調べる(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
10	バレーボールの基本技術(サービス)とバレーボールを基にした易しいゲーム			バレーボールのゲームを視聴する(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
11	バレーボールのゲーム			これまでの基本技術を再確認する(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
12	有酸素運動（ジョギング&ウォーキング）			ジョギングとウォーキングの姿勢について調べる(0.5 時間)		授業内容を復習し、次回の授業内容を確認する(0.5 時間)	
13	有酸素運動（エアロビクス運動）			動画サイト等を使ってエアロビクス実践動画を視聴する(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)	
14	レジスタンス運動（スクワット）とストレッチング			動画サイト等を使ってスクワット運動の動画を視聴する(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)	
15	ミニ運動会			これまで経験してきた運動会の種目を整理しておく(0.5 時間)		授業内容を総復習する(0.5 時間)	
試験							

教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
		適時プリント配布			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	実技への取組		45%	運動実践への取組態度を評価する。	
	課題		45%	到達目標の観点から評価する。	
	他者との協働性		10%	準備・運動実践・片付けにおける他者との協働性を評価する。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を整え、授業に参加すること。 ・運動に適した服装および体育館シューズで授業に参加すること。 ・授業日の気温・湿度等に応じて水分補給のための飲料水の準備、寒さ対策を各自行うこと。 ・課題の提示、提出はインターネットを介して行う。 				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対するフィードバックはインターネットを介して行う 				

科目コード	1105	ナンバリング	FAB100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	コミュニケーション演習 1-福・栄養 (2長)・BC						
科目英語名	Communication Seminar 1-福・栄養 (2長)・BC						
担当教員	碓 ともみ						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	自己と他者を結ぶツールでもあるコミュニケーションから、社会で共生できる力を養成することを目的とする。話の専門家やエンターテイメントを通して、どの様に相手の心をつかみ、伝えていくかを考察し研究していく。アクティブラーニングから能動的な学習を行う。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」および「II 協働・協調力」に該当する。						
学修成果到達目標	社会で必要不可欠である相互理解をし、粘り強く考える力やチームで働く力を醸成することを学修成果とする。言語的コミュニケーションだけでなく、非言語的コミュニケーションからでも他者に伝える力を養うことができる。また、コミュニケーションの手法も学ぶことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	コミュニケーションの重要性			コミュニケーションの用語について調べる(0.5時間)		授業のふりかえりを文章化する(0.5時間)	
2	正確な情報伝達 (傾聴力と表現力)			傾聴力と表現力について情報収集(0.5時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
3	非言語的表現 (感情と表情)			課題について情報収集 (0.5 時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
4	職場でのコミュニケーション1 (組織と個人の共生)			課題に対する考察(0.5時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
5	言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション			グループで情報収集 (0.5 時間)		プレゼンテーションの準備をする(0.5時間)	
6	プレゼンテーション① (非言語的コミュニケーション)			グループでの作業(1時間)		プレゼンテーションのふりかえりをする(0.5時間)	
7	コーチング (指導者と選手のコミュニケーション)			課題について情報収集(0.5時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
8	コミュニケーション手法 (アサーション)			課題について情報収集(0.5時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
9	職場でのコミュニケーション2 (採用管理: 模擬演習)			グループで情報収集(0.5時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
10	職場のコミュニケーション③ (新規事業計画)			グループでの作業 (0.5 時間)		プレゼンテーションの準備をする(0.5時間)	
11	プレゼンテーション② (新規事業計画)			グループでの作業(0.5時間)		プレゼンテーションのふりかえりをする (0.5時間)	
12	コミュニケーション技法 (アサーションなど)			配布資料で分からない用語を調べておく(0.5時間)		授業をふりかえりを文章化する(0.5時間)	
13	他者とのコミュニケーション (ジョハリの窓)			配布資料で分からない用語を事前に調べておく(0.5時間)		授業のふりかえりを文章化する(0.5時間)	
14	ディスカッションとディベート			課題について情報収集(0.5時間)		グループワークのふりかえりをする(0.5時間)	
15	プレゼンテーション③ (自己を語る)			個人作業(0.5時間)		全体的なふりかえりをする(0.5時間)	
試験	プレゼンテーション・発表						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		30%	積極性	
	グループワーク		30%	課題提出物	
	プレゼンテーション力		30%	構成・内容・伝達力	
	中間レポート		10%	内容	
備考	グループワークは毎回メンバーを変えます。全員参加型の授業であるため、グループワークは自主性に任せ、グループごとの評価とします。また、授業の進捗状況により内容が前後する場合がありますが、随時お知らせします。				
フィードバック	授業中もしくは、saho naviにて適宜行います。				

科目コード	1106	ナンバリング	FAB210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	チームマネジメント 2・福						
科目英語名	Team Management 2・福						
担当教員	武田 千幸						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 介護の質を高めるために必要なチームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う。 2. 介護におけるチームマネジメントについて理解する。 3. キャリア開発のしくみについて理解する。 4. 事業所組織の機能と役割を理解し、マネジメントについて考える。						
学修成果到達目標	1. 福祉サービスにおける組織の機能や構造について理解し、ケアを展開するために必要なチームの構成や役割について説明できる。 2. 人材育成・開発のしくみ・方法について理解できる。 3. チームワークとは何かを理解し、リーダー及びフォロワーの役割について説明できる。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション・介護サービスの特性と求められるマネジメント	テキストを読み授業の全体像を把握する(2時間)			授業内容を復習する(2時間)		
2	チームマネジメントの基本	介護現場でチームマネジメントが求められる理由を考える(2時間)			授業内容を復習する(2時間)		
3	介護現場で求められるチームマネジメント	テキスト該当部分を読む(2時間)			授業内容を復習する(2時間)		
4	ケアを展開するためのチームマネジメント (ゲストスピーカー)	介護老人保健施設について調べる(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
5	実践力を高めるためのチームマネジメント	チームワークとは何かを考える(2時間)			授業内容を復習する(2時間)		
6	チームワークに必要なリーダーとフォロワー (ゲストスピーカー)	リーダーシップとは何かを考える(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
7	キャリア開発のしくみ (ゲストスピーカー)	OJT,OFF-JT について調べる(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
8	介護職としてのキャリアデザイン (ゲストスピーカー)	介護福祉士のキャリアについて調べる(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
9	事業所組織の機能と役割 (ゲストスピーカー)	介護老人福祉施設について調べる(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
10	組織の目標達成のためのチームマネジメント (ゲストスピーカー)	テキスト該当部分を読む(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
11	事業所組織の運営 (ゲストスピーカー)	実習施設の理念や運営方針を調べる(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
12	地域におけるチームマネジメント (ゲストスピーカー)	地域包括支援センターについて調べる(1.5時間)			授業での学びをレポートにまとめる(2.5時間)		
13	介護福祉士としてチームマネジメントを行うために (グループワーク)	グループワークの準備を行う(1時間)			グループワークを振り返り、発表準備を行う(3時間)		
14	グループ発表	発表の準備を行う(2時間)			発表を振り返る(2時間)		
15	まとめとふりかえり	今までの授業内容を振り返る(1.5時間)			授業全体を振り返り、レポート試験に向けて準備を行う(2.5時間)		
試験	レポート試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(最新介護福祉士養成講座 1) 人間の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883907			

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	現場で役立つ 介護・福祉リーダーのためのチームマネジメント	井上由起子、鶴岡浩樹、宮島渡、村田麻起子	中央法規出版	9784805859575	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	レポート試験		40%	正確な説明及び自分自身の考えを述べているかを評価する	
	提出物		40%	授業内容を理解しているか評価する	
	授業態度		20%	授業内の発言、グループワークや発表でのリーダーシップ・フォロワーシップを評価する	
備考					
フィードバック	提出物は添削の上個別に返却し、コメントする。				

科目コード	1111	ナンバリング	FAB205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会の理解 I 2-福						
科目英語名	Methodology of Social Security and Social Welfare I 2-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目 社会福祉主事任用資格取得のための科目						
学修内容	1. 個や集団、社会の単位で人間を理解する視点を養い、生活と社会の関係性を体系的に捉える学修とする。 2. 対象者の生活の場としての地域という観点から、地域共生社会や地域包括ケアの基礎的な知識を修得する。 3. 高齢者福祉、障害者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を修得する。						
学修成果到達目標	1. 生活と社会の関わりや自助・互助・共助・公助の展開について理解している。 2. 地域共生社会や地域包括ケアシステムの基本的な考え方としくみ、その実現のための制度・施策を理解している。 3. 高齢者福祉制度の基本的な考え方としくみと介護保険制度の内容を説明できる。 4. 障害者福祉制度の基本的な考え方としくみ、障害者総合支援法の内容を説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 社会・組織の機能と役割	教科書第 1 章第 4 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
2	地域共生社会の実現に向けた制度や施策	教科書第 2 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
3	高齢者保健福祉の動向	教科書第 4 章第 1 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
4	高齢者保健福祉に関連する法体系	教科書第 4 章第 2 節第 6 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
5	介護保険制度①介護保険制度のしくみ	教科書第 4 章第 3 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
6	介護保険制度②介護保険サービス	教科書第 2 章第 3 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
7	介護保険制度③介護保険制度における組織・団体の役割	教科書第 4 章第 1 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
8	介護保険制度④介護保険制度の動向	最近の介護保険関連のニュースについて調べておく(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
9	地域福祉の推進について (ゲストスピーカー)	地域福祉計画について調べておく(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
10	障害者保健福祉の動向	教科書第 5 章第 1 節第 2 節を読み、分からない語句は調べる (2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
11	障害者保健福祉に関する制度	教科書第 5 章第 3 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく (2 時間)			
12	障害者の自立支援について (ゲストスピーカー)	教科書第 5 章第 3 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
13	障害者総合支援制度	教科書第 5 章第 4 節を読み、分からない語句は調べる (2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
14	地域生活を支援する制度	教科書第 6 章第 4 節を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことをまとめておく(2 時間)			
15	まとめとふりかえり	これまでの授業での学んだことを整理しておく(2 時間)		定期試験にむけて、これまで学んだことを振り返る(2 時間)			
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	(最新介護福祉士養成講座 2) 社会の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883914	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新 介護福祉士養成講座 4) 介護の基本Ⅱ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883938	1回生で使用した教科書
	(最新介護福祉士養成講座 14) 障害の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884034	1回生で使用した教科書
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		70%	授業内容を正しく理解できているか評価する	
	平常点		30%	授業態度、提出物の内容等総合的に評価する	
備考	1回生のときに学んだ「高齢者に対する支援と介護保険制度」や「障害の理解Ⅰ」について振り返っておくこと				
フィードバック	定期試験の成績発表後、申し出たものに対して採点後の答案の閲覧を認める。				

科目コード	1112	ナンバリング	FAB215	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	社会の理解Ⅱ 2-福						
科目英語名	Methodology of Social Security and Social Welfare Ⅱ 2-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目 社会福祉主事任用資格取得のための科目						
学修内容	1. 日本の社会保障の基本的な考え方、しくみについて理解し、今後の課題を考える。 2. 介護実践に関連する制度・施策の基本的な考え方を修得する。						
学修成果到達目標	1. 日本の社会保障制度について理解し説明できる。 2. 介護実践に関連する制度・施策の基本的な考え方としくみを理解している。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション・高齢者福祉と障害者福祉の振り返り	社会の理解Ⅰで学んだことを振り返っておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
2	社会保障制度とは	教科書第3章を読み、分からない語句は調べる(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
3	公的扶助	日本の公的扶助について調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
4	低所得者福祉・貧困対策	教科書第6章第3節を読み、分からない語句は調べる(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
5	年金保険	日本の公的年金制度について調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
6	雇用保険・労働者災害補償保険	日本の雇用保険・労働者災害補償保険について調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
7	医療保険制度・後期高齢者医療制度(ゲストスピーカー)	教科書第6章第2節を読み、分からない語句は調べる(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
8	精神保健福祉	日本の精神保健福祉について調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
9	保健医療に関する制度	教科書第6章第2節を読み、分からない語句は調べる(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
10	こども家庭福祉(ゲストスピーカー)	日本のこどもの福祉に関する法律制度を調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
11	母子保健	日本の母子保健に関することを調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
12	個人の権利を守る制度・施策	教科書第6章第1節を読み、分からない語句は調べる(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
13	社会福祉・社会保障制度の今後の課題について考える	教科書第6章第4節を読み、分からない語句は調べる(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
14	社会福祉・社会保障制度の今後の課題について発表する	日本の社会保障制度の課題についてニュース等で調べておく(2時間)			授業で学んだことをまとめておく(2時間)		
15	まとめとふりかえり	今まで学んだことを振り返り整理しておく(2時間)			定期試験に向けて今まで学んだことまとめておく(2時間)		
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(新介護福祉士養成講座2)社会の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883914			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	新わかる・みえる社会保障論 事例でつかむ社会保障入門	今井 伸	みらい	9784860155346	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		70%	授業内容を正しく理解できているか評価する	
	平常点		30%	授業態度や提出物の内容等で総合的に評価する	
備考					
フィード バック	定期試験の成績発表後、申し出た者に対して採点後の答案の閲覧を認める。				

科目コード	1206	ナンバリング	FAA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護の基本 I 1-福						
科目英語名	Base of Care work I 1-福						
担当教員	武田 千幸						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 「尊厳の保持」「自立支援」という介護の考え方を理解する。 2. 生活の観点から、介護を必要とする人を捉える力を養う。 3. 介護福祉士の役割を理解する。 4. 介護福祉士の専門性について考える。						
学修成果到達目標	1. 介護福祉士の沿革を理解し、専門職としての使命を説明できる。 2. 「尊厳の保持」「自立支援」を踏まえたケアについて理解し、自分の考えを述べることができる。 3. 個別ケアの視点について考え、実習の課題を立案できる。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	介護福祉とは 介護の成り立ち、介護の概念の変遷、社会の変化（調査データを読み解く）	テキスト全体に目を通し、学ぶ内容の全体像をイメージする。日本の人口や高齢化率についてインターネットで調べる(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
2	介護福祉の基本理念 尊厳を支える介護 自立を支える介護	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
3	社会福祉士及び介護福祉士法	社会福祉士及び介護福祉士法について調べる(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
4	介護福祉士の役割と機能	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
5	介護福祉士の活動の場	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
6	専門職能団体の活動（学外）	日本介護福祉士会について調べる(2 時間)			授業内容を復習し、レポートにまとめる(2 時間)		
7	介護福祉士の倫理	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習し、レポートにまとめる(2 時間)		
8	自立支援の考え方・ICF	テキスト該当部分を読む、「自立支援」について調べる(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
9	自立支援とリハビリテーション・介護予防	テキスト該当部分を読む、「介護予防」について調べる(2 時間)			授業内容を復習し、レポートにまとめる(2 時間)		
10	生活の理解・介護を必要とする人の暮らし	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
11	その人らしさと生活ニーズの理解	テキスト該当部分を読む・「自分らしさ」とは何かを考える(2 時間)			授業内容を復習する、レポートにまとめる(2 時間)		
12	生活のしづらさの理解とその支援	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
13	家族介護者の理解と支援	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
14	個別ケア	テキスト該当部分を読む(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
15	ふりかえりとまとめ	これまでの授業内容をふりかえる(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(最新介護福祉士養成講座 3) 介護の基本 I 第 2 版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883921			
	(最新介護福祉士養成講座 4) 介護の基本 II 第 2 版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883938			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		20%	受講姿勢、グループワークへの参加態度を評価する	
	提出物		30%	学んだことを踏まえ、自分の考えを述べているか評価する	
	定期試験		50%	授業内容を理解しているか評価する	
備考					
フィード バック	提出物は添削し、翌週に返却する。				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	介護福祉士として介護老人福祉施設で実務経験のある教員が授業を担当し、介護福祉士としての介護のとらえ方や考え方についての講義を行う				

科目 コード	1211	ナンバリング	FAA130	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	介護の基本Ⅱ 1-福						
科目英語名	Base of Care work Ⅱ 1-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目 社会福祉主事任用資格のための選択科目 ピアヘルパー資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 介護サービス提供の場と特性を学ぶ。 2. 介護における安全の確保とリスクマネジメントについて学ぶ。 3. 介護従事者の健康管理について学ぶ。 4. 介護福祉士の役割と協働する多職種の機能について学ぶ。						
学修成果 到達目標	1. 介護サービス提供の場と特性が説明できる。 2. 介護における安全の確保とリスクマネジメントについて説明できる。 3. 介護従事者の健康管理について説明できる。 4. 介護福祉士の役割と協働する多職種の機能が説明できる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション・高齢者のためのフォーマルサービス		教科書を読み、介護保険制度のしくみについて調べる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
2	障害者のためのフォーマルサービス		教科書を読み、障害者総合支援法に基づく障害者サービスについてまとめる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
3	生活を支えるインフォーマルサービス(私的サービス)		自分の住んでいる地域にあるインフォーマルサービスを調べる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
4	地域連携		教科書第2章第4節を読み、分からない語句は調べる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
5	介護における安全の確保とリスクマネジメント		教科書第3章を読み、分からない語句は調べる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
6	リスクマネジメント事例検討(グループワーク)		介護現場のリスクマネジメントについて調べる(2時間)		振り返りのレポートを記入する(2時間)		
7	身体拘束とは		教科書を読み、身体拘束とは何か調べる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
8	感染症について		感染症について調べる(2時間)		授業内容を振り返り、まとめておく(2時間)		
9	感染症対策		教科書を読み、分からない語句は調べておく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)		
10	多職種連携の役割と機能		教科書第4章を読み、分からない語句は調べる(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)		
11	保健・医療・福祉職の役割と機能		介護現場で協働している専門職について調べておく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)		
12	介護従事者の健康管理の意義と目的		労働基準法や労働安全衛生法について調べてまとめておく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)		
13	身体とこころの健康管理		教科書を読み、介護職に起こりやすい病気等について調べる(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)		
14	グループワーク		発表資料を作成する(2時間)		振り返りのレポートを記入する(2時間)		
15	ふりかえりとまとめ		学修した内容を見直し、不明な点は調べてまとめておく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)		
試験	筆記試験						

教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 4) 介護の基本Ⅱ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883938	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		50%	授業内容を正しく理解できているか評価する	
	平常点		30%	授業態度、課題の提出等から評価する	
	グループワーク		20%	グループワークへの取組姿勢（役割負担、積極的発言等）と発表内容から総合的に評価する	
備考	原則「介護の基本Ⅰ」を先に履修していること。 「介護実習Ⅱ」を履修するためには、「介護の基本Ⅱ」の単位取得が必要です。				
フィードバック	定期試験成績発表後、申し出た者に対して採点後の答案の閲覧を認める。				

科目コード	1215	ナンバリング	FAA135	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	高齢者に対する支援と介護保険制度 1・福						
科目英語名	Long-term Care Insurance System 1・福						
担当教員	平岡 毅						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 高齢者福祉の制度や福祉サービスの実態を学び、高齢者に対する支援というものの全体像を把握する。 2. 介護保険制度の概要と実際を学び、サービスは単に利用するものではなく心豊かに生きるために“活用するもの”であるという視点を養い醸成する。						
学修成果到達目標	1. 高齢者福祉の全体像を理解し、介護保険制度と繋げて考えることができる。 2. 介護保険制度の概要を理解し、サービスは「活用するものである！」という視点にて考えることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 少子高齢社会の現状と動向・課題 ○少子高齢化に進行と社会保障（2 第 3 章 4 節 1） ○人口の高齢化と高齢者保健福祉（2 第 4 章 1 節 2）			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	
2	社会保障制度と高齢者福祉制度の発展過程 ○社会保障の基本的な考え方（②第 3 章 1 節） ○日本の社会保障制度の発達（②第 3 章 2 節）			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	
3	高齢者の特性と疾病 ○私たちの生活の理解（④第 1 章 1 節） ○介護福祉を必要とする人たちの暮らし（④第 1 章 2 節）			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	
4	高齢者の生活実態と福祉・介護ニーズ ○「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解（④第 1 章 3 節） ○生活のしづらさの理解とその支援（④第 1 章 4 節） ※第 1～4 回の授業内容についての振り返りと確認をし、理解度を図る。			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間) 第 1～4 回の授業内容についての提出課題「振り返りと確認 1」の用紙を記入し提出する(2 時間)	
5	介護の概念と介護予防 ○「介護福祉士倫理綱領」を中心に介護に対する学びを深める			事前配布の「介護福祉士倫理綱領」を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	
6	老人福祉法と関連法 ○高齢者保健福祉に関連する法体系（②第 4 章 2 節）			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	
7	介護保険制度創設の背景と目的及び経過 ○介護保険制度（②第 4 章 3 節）			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	
8	介護保険制度の枠組み・利用 ○介護保険制度（②第 4 章 3 節） 第 5～8 回の授業内容についての振り返りと確認をし、理解度を図る。			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間) 第 5～8 回の授業内容についての提出課題「振り返りと確認 2」の用紙を記入し提出する(2 時間)	
9	介護保険サービス（居宅・施設）○介護保険制度（2 第 4 章 3 節）			授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2 時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2 時間)	

			間)		
10	地域共生社会の実現に向けた制度や施策 ○地域共生社会の実現に向けた制度や施策 (②第2章)		授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2時間)
11	地域包括支援センターと地域 ○地域共生社会の実現に向けた制度や施策 (②第2章) 第9～11回の授業内容についての振り返りと確認をし、理解度を図る		授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2時間) 第9～11回の授業内容についての提出課題「振り返りと確認③」の用紙を記入し提出する(2時間)
12	高齢者虐待と虐待予防の取組み ○個人の権利を守る制度(2第6章1節)		授業内容に該当するテキストの箇所を読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2時間)
13	認知症高齢者の実態とニーズ(認知症の理解)		授業内容に該当する「認知症」について他のテキストや書籍、新聞、インターネット記事等を自身で探し、読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2時間)
14	認知症高齢者の実態とニーズ(認知症高齢者の実態) 第12～14回の授業内容についての振り返りと確認をし、理解度を図る		授業内容に該当する「認知症」について他のテキストや書籍、新聞、インターネット記事等を自身で探し、読み込み、興味関心を持って授業を受けるようにする(2時間)		授業時に配布したレジュメの内容を復習する(2時間) 第12～14回の授業内容についての提出課題「振り返りと確認④」の用紙を記入し提出する(2時間)
15	ふりかえりとまとめ ※第1～14回までの授業をダイジェストで振り返り、各々及び全体的としても重要箇所の復習をし理解を深める				
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座2) 社会の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883914	
	高齢者の生活困難と養護老人ホーム：尊厳と人権を守るために	河合 克義、清水 正美、中野 いずみ、平岡 毅 編	法律文化社	9784589040251	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座4) 介護の基本2 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883938	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講姿勢など		50%	学びの姿勢であることや他の学生の受講の妨げになるような行為の有無等にて評価します。	
	振り返りと確認による理解度		50%	授業内容を理解できているかの評価及び提出の可否にての評価をします。	
備考	参考書欄に記載の書籍は、高齢者福祉の原点と今後の高齢者福祉全般(介護・孤立・孤独死・セーフティネット等々)を学修するため、本授業の第1・2・4・6・9・11・12回の講義等で使用致します。				

フィード バック	提出物等に対し授業で適宜コメントします。
-------------	----------------------

科目コード	1220	ナンバリング	FAA105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生活レクリエーション 1-福						
科目英語名	Life Recreation 1-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. レクリエーションの意味を理解し、レクリエーション活動を有効に活用するための理論と方法を学ぶ。 2. 利用者のニーズに合わせた根拠あるレクリエーション計画を立案・実践する。 3. レクリエーション実践の振り返りの中から自己の課題を見つける。						
学修成果到達目標	1. レクリエーションの意味を理解し説明できる。 2. 理論と方法をもとにレクリエーション活動を計画・実践・評価できる。 3. レクリエーション活動に必要なコミュニケーションや環境設定、安全管理ができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション レクリエーションの意義			実習等で見たレクリエーションをまとめておく(2時間)		レクリエーションについての情報を集める(2時間)	
2	良好な集団づくりの方法 (アイスブレイキングの手法等をまじえ集団づくりの方法学ぶ)			アイスブレイキングについて調べる(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
3	スポーツ・レクリエーション活動			介護予防に関して調べておく(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
4	回想法的レクリエーション (日本に伝わる伝統的な遊び・時代背景と余暇活動の変遷の理解)			回想法について調べる(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
5	地域におけるレクリエーション活動			地域の行事等を調べておく(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
6	折り紙を使ったレクリエーション (制作物を通して準備から完成まで留意点や支援の方法を学ぶ)			折り紙の効果について調べる(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
7	レクリエーション活動の安全管理 (外出レクを企画する時に想定される事故と対策について学ぶ)			リスクマネジメントについて調べる(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
8	身近な素材を使ったレクリエーション			レクリエーションのアイデアを集める(2時間)		授業で学んだことを振り返っておく(2時間)	
9	レクリエーション計画書の書き方(レクリエーション実施計画書・進行表・自己評価表)			製作物に必要なものを用意する(2時間)		レクリエーション実施計画書を作成する(2時間)	
10	レクリエーション企画の発表			レクリエーション実施計画書を作成する(2時間)		レクリエーション実施計画書・進行表を作成する(2時間)	
11	集団レクリエーションの企画書の作成 (グループワーク)			レクリエーション発表に必要なものを準備する(2時間)		レクリエーション発表に必要なものを準備する(2時間)	
12	集団レクリエーションの準備 (グループワーク)			レクリエーション発表の打ち合わせを行う(2時間)		レクリエーション発表に必要なものを準備する(2時間)	
13	グループワーク発表 1(グループで計画立案したものを実践する)			レクリエーション発表の打ち合わせを行う(2時間)		発表を振り返り自己評価表・他者評価を記入する(2時間)	
14	グループワーク発表②(グループで計画立案したものを実践する)			レクリエーション発表に必要なものを準備する(2時間)		発表を振り返り自己評価表・他者評価を記入する(2時間)	
15	まとめ、集団レクリエーション実践の評価 (レクリエーション実践を振り返る)			今までの資料等を整理しておく(2時間)		今までの資料等を整理しておく(2時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	楽しさをおとしたこころの元気づくり：レクリエーション支援の理論と方法	日本レクリエーション協会	日本レクリエーション協会	9784931180956	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	レクリエーション発表	40%	実践・発表・評価の一連の流れが理解できているか評価する		
	平常点	30%	授業態度、発表姿勢などから総合的に評価する		
	課題の提出	30%	提出された課題の内容について評価する		
備考	授業では体操など体を動かすことがありますので、動きやすい服装で履修してください。				
フィードバック	授業の提出物など適宜評価し返却する。				

科目コード	1225	ナンバリング	FAA205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護予防 2-福						
科目英語名	Care Prevention 2-福						
担当教員	今西 美由紀						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	1. 高齢者の現状について理解し介護予防の重要性について学ぶ。 2. 生活支援と介護予防の関係について学ぶ。 3. リハビリテーション医学の基礎知識について学ぶ。 4. 介護予防のための各種活動を体験学習する。						
学修成果到達目標	1. 介護予防の必要性について説明することができる。 2. リハビリテーション医学の基礎知識について知識を深める。 3. 介護予防のためのプログラムをグループで計画し発表できる。 4. 個別の介護予防プログラムを立案し実行できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	高齢者の現状と課題	高齢者の現状と課題に関する情報を収集し知識を深める(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
2	介護予防の必要性と社会的意義	介護予防の必要性と社会的意義に関する情報を収集し知識を深める(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
3	生活支援と介護予防①	生活支援に関する知識を整理する(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
4	生活支援と介護予防②	ADL の評価について調べる(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
5	介護予防とリハビリテーション①	リハビリテーションに関連する文献等を読む(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
6	介護予防とリハビリテーション②	リハビリテーションに関連する文献等を読む(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
7	介護予防における心理的支援	心理的支援に関する情報を収集し知識を深める (2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
8	地域における介護予防	地域や在宅でのケアについて知識を整理する(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
9	福祉用具と介護予防	福祉用具や住宅改修について調べる(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する (2 時間)			
10	遊びリテーション	遊びリテーションやレクリエーションに関する情報を収集し知識を深める (2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
11	ミュージック・ケア	音楽療法(ミュージック・ケア)に関する情報を収集し知識を深める(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する (2 時間)			
12	作業療法	作業療法に関する文献等を読む(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
13	グループワーク 1	介護予防プログラムを立案する(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する (2 時間)			
14	グループワーク②	介護予防プログラムの発表の準備をする(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
15	まとめとふりかえり : ADL と QOL	これまでの講義を通しての疑問点・質問点をまとめる(2 時間)		講義内で配布した資料をもとに復習する(2 時間)			
試験	プレゼンテーション・発表						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	生活を活発にする 介護予防 リハビリテーション	藤原 茂	青海社	9784805857632	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		60%	グループワークにおける集団への貢献度等を評価	
	定期試験		40%	プレゼンテーションにおけるコミュニケーション能力等を評価	
備考					
フィード バック					

科目コード	1240	ナンバリング	FAA270	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	防災・災害福祉 2-福							
科目英語名	Disaster Prevention Welfare 2-福							
担当教員	森永 夕美							
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目							
学修内容	1. 地域や施設等における災害福祉のあり方・考え方とその実際を学ぶ。 2. 災害時に必要な健康危機管理と、災害に対する防災・減災および災害時の対応について理解する。 3. 災害時に必要な介護技術を修得する。							
学修成果到達目標	1. 災害福祉の基礎となる健康危機管理、災害の歴史、定義、種類、法律、制度について説明できる。 2. 災害サイクル各期における特徴と健康問題、災害時の福祉の役割と活動について説明できる。 3. 災害時に活用できる介護技術を実践できる。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 災害福祉とは何か			教科書第 1 章・第 2 章を読み分 からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
2	災害発生のしくみの理解①気象災害・風水害 (ゲストスピーカー)			気象災害・風水害について調べ ておく(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
3	災害発生のしくみの理解②地震・津波による災害(ゲ ストスピーカー)			地震・津波による災害について調 べておく(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
4	災害発生のしくみの理解 3 火山・土砂災害・その他			火山・土砂災害について調べてお く(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
5	災害情報の活用と発信 予報・警報・被害想定・ハザードマップと避難			近年の日本の災害について調べ ておく(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
6	地域を知る (図上演習)			自分の地域のハザードマップに ついて調べておく(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
7	避難所における災害福祉活動 1 (グループワーク)			避難所運営について調べておく (2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
8	避難所における災害福祉活動② (グループワーク)			福祉避難所について調べておく (2 時間)		レポートを記入する(2 時間)		
9	災害支援の制度と行政			教科書第 3 章を読み分 からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
10	災害弱者への支援① (高齢者・妊産婦・乳幼児等)			教科書第 4 章・第 6 章を読み分 からない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
11	災害弱者への支援② (障がい者、マイノリティ等)			教科書第 5 章・第 8 章を読み、 分らない語句は調べる(2 時 間)		授業で学んだことを振り返 りまとめておく(2 時間)		
12	医療福祉分野・社会福祉施設における支援			教科書第 7 章・第 9 章を読み、 分らない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことを振り返 り、まとめておく(2 時間)		
13	防災センター見学 (学外)			防災センターの役割について調 べる(2 時間)		授業で学んだことを振り返 り、まとめておく(2 時間)		
14	民間組織の役割・災害ボランティア活動の役割と機能			教科書第 10 章・第 11 章を読み、 分らない語句は調べる(2 時間)		授業で学んだことを振り返 り、まとめておく(2 時間)		
15	まとめ・災害に強い地域づくり			教科書第 12 章・第 14 章を読み、 分らない語句は調べる(2 時間)		今まで学んだことを振り返 り、まとめておく(2 時間)		
試 験	筆記試験							
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	社会福祉・医療従事者のための 災害福祉論		長谷川 洋昭		学文社		9784762031120	
(最新介護福祉士養成講座 6) 生活支援技術 I 第 2 版		介護福祉士養成講 座編集委員会		中央法規出版		9784805883952		

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	"今"からできる!日常防災	永田宏和, ボーイ スカウト日本連盟 監修	池田書店	9784262160368	
	一緒に助かるために 高齢者・ 障がい者等と支援者のための 防災マニュアル	鍵屋 一	東京法令出版		
	事例から考える! 介護施設の 災害対応と派遣支援活動	鈴木 俊文	みらい	9784860154875	
	スタッフ 30 名以下の介護事業 の防災 BCP (事業継続計画)	山口 泰信	セルバ出版	9784863677197	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		20%	授業態度、グループワーク等の取組姿勢を総合的に評価する	
	提出物の内容		30%	授業の内容を理解しているか評価する	
	定期試験		50%	授業の内容を理解しているか評価する	
備考	<p>Chromebook を持ってくること。 自分の住んでいる地域の防災計画や避難所、最近の防災・災害のニュースを見ておくとよい。 参照：内閣府 防災情報のページ http://www.bousai.go.jp/taisaku/ 地域防災 web https://chiiki-bosai.jp/</p>				
フィード バック	提出物については、授業中に適宜返却する。				

科目コード	1260	ナンバリング	FAA140	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	コミュニケーション技術 I 1-福						
科目英語名	Communication Techniques I 1-福						
担当教員	久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割、援助関係の構築、傾聴、受容、共感、言語・非言語・準言語コミュニケーションなど、介護を実践する際の基本となるコミュニケーションについての考え方や技術を学ぶ。</p> <p>2. 利用者の家族とのかかわりについて学ぶ。</p> <p>3. 介護における専門職チームのコミュニケーションの方法等を学ぶ。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 介護におけるコミュニケーションの意義・目的・役割について理解し、自分の言葉で説明できる。</p> <p>2. さまざまなコミュニケーション技法について理解し、実践できる。</p> <p>3. 利用者・家族との関係づくりについて理解できる。</p> <p>4. 介護におけるチームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談、記録、会議・議事進行・説明、事例検討等について学び、その技術を修得する。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 介護におけるコミュニケーションの基本			テキスト全体に目を通し、学ぶ内容の全体像をイメージしておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
2	コミュニケーションの基本技術①コミュニケーション態度に関する基本技術(傾聴・受容・共感・コミュニケーションにおける距離)			教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
3	コミュニケーションの基本技術②言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本			教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
4	目的別のコミュニケーション技術			教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
5	集団におけるコミュニケーション技術			教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
6	介護における家族とのコミュニケーション①家族との関係づくり			教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
7	介護における家族とのコミュニケーション②家族への助言・指導・調整			教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
8	介護における家族とのコミュニケーション③家族関係と介護ストレスへの対応			教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)	
9	介護におけるチームのコミュニケーション1 チームのコミュニケーションとは			教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにし	

			ておく (2 時間)		
10	介護におけるチームのコミュニケーション②報告・連絡・相談の技術	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく (2 時間)	授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく (2 時間)		
11	介護におけるチームのコミュニケーション③記録の技術	教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく (2 時間)	授業内容を復習する。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく (2 時間)		
12	介護におけるチームのコミュニケーション④会議・議事進行・説明の技術	教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく (2 時間)	授業内容を復習する授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく (2 時間)		
13	介護におけるチームのコミュニケーション⑤事例検討に関する技術	教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく (2 時間)	授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく (2 時間)		
14	介護におけるチームのコミュニケーション⑥情報の活用と管理のための技術	教科書の該当箇所を読んでおく 分からない単語は意味を調べておく (2 時間)	授業内容を復習する 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく (2 時間)		
15	ふりかえりとまとめ	今まで学んだことを整理してまとめておく (2 時間)	授業全体を振り返り定期試験の準備を行う (2 時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 5) コミュニケーション技術 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883945	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	イラストでわかる対人援助職のためのコミュニケーションと面接技術	須藤昌寛	中央法規出版	9784805887158	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%	授業の理解度を評価する。	
	授業態度		30%	授業を受ける姿勢と態度を評価する。	
	レポート		30%	演習での気づきや学びを評価する。	
備考					
フィードバック	提出されたレポートについては、添削した上で次の授業のときに所見を述べて返却する。				

科目 コード	1265	ナンバリング	FAA200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	コミュニケーション技術Ⅱ 2-福						
科目英語名	Communication TechniquesⅡ 2-福						
担当教員	杉山 拓						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	<p>介護を必要とする高齢者や障がい者にはコミュニケーションを図る上で何らかの障がいがあり、自分の意思や要求を相手に伝えることが難しいことが多い。そのため、介護福祉士として必要とされる、障がいの特性にあわせたコミュニケーションのあり方を学ぶ。</p> <p>また実際に、高齢者や障がい者と同様の体験（例：耳栓をする、目隠しをする等）を実施し、当事者としてどのような感覚・感情を抱くかを考え、「受けたい支援」について考える。反対に、その当事者を支援する立場として、どのような点に気づき、どのような点に留意すべきかを考え、将来の支援につながる学びを得る。</p>						
学修成果 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまなコミュニケーション障がい理解でき、その特徴を説明できる。 2. コミュニケーション障がいを抱える人への対応方法を理解し説明できる。 3. 現代における様々なコミュニケーションツールを知り、対象者と支援者の円滑な相互コミュニケーションとはどのようなものかを理解し、実践できる。 4. うつ病、適応障害など、近年増加している支援を必要とする対象者の特性を理解し、実践できる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 自己紹介 コミュニケーションの基本技術 コミュニケーション実践(グループワーク、ディスカッション、発表)			コミュニケーション技術Ⅰを振り返っておく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
2	コミュニケーション障害への対応の基本 コミュニケーション障がいとは何か コミュニケーション障がいを持つ人への支援のポイント			テキスト p.70～78 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
3	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ①視覚障害 視覚障がい者・支援者相互体験			テキスト p.79～84 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
4	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ②聴覚障害 聴覚障がい者・支援者相互体験			テキスト p.85～91 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
5	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ③構音障害 障がい者・支援者相互体験			テキスト p.92～98 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
6	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ④失語症 障がい者・支援者相互体験			テキスト p.99～105 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
7	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ⑤認知症 認知症の方の思いを考える			テキスト p.106～117 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
8	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ⑥うつ病・抑うつ状態・統合失調症 その人の背景、環境を知る→どのようなコミュニケーションが必要か			テキスト p.117～126 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
9	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ⑦知的障害・発達障害当事者とのコミュニケーション(ゲスト)			テキスト p.127～141 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	
10	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ⑧高次脳機能障害 高次脳機能障がい者の特性とコミュニケーション			テキスト p.142～147 を読んでおく(2時間)		授業内容を振り返りまとめておく(2時間)	

11	さまざまなコミュニケーション障害のある人への支援 ⑨重症心身障害 本人の特性に加え、気持ち、保護者の思いを知り、コミュニケーションを考える	テキスト p.148~154 を読んでおく (2時間)	授業内容を振り返りまとめておく (2時間)		
12	点字を使ったコミュニケーション 点字の成り立ち 点字の体験 学内にもある点字を探す	視覚障害について復習しておく (2時間)	授業内容を振り返りまとめておく (2時間)		
13	点字を使つての文章作成	点字の技法を復習しておく (2時間)	授業内容を振り返りまとめておく (2時間)		
14	手話を使ったコミュニケーション 手話のコツ (手だけではない、全身を使ったコミュニケーション)	聴覚障害について復習しておく (2時間)	授業内容を振り返りまとめておく (2時間)		
15	手話発表 ふりかえりとまとめ	手話を練習しておく (2時間)	定期試験に向けて学習する (2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 5) コミュニケーション技術 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883945	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		60%	対象者別コミュニケーション全般について理解がなされているか評価する。	
	授業態度		40%	グループワーク、ディスカッション等の取り組み姿勢を総合的に評価する。	
備考	事前・事後学修により講義の理解度が深まるので、必ずおこなうこと。				
フィードバック					

科目コード	1305	ナンバリング	FAA110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	生活支援技術 I 1-福						
科目英語名	Life Support Technique I 1-福						
担当教員	武田 千幸、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	原理原則を踏まえ、基礎介護技術を修得する 常に介護を受ける側の気持ちを考え、専門職として求められる知識・技術を理解する						
学修成果到達目標	各生活動作に関する介護技術の原理原則が説明できる 利用者の体験を通し、介護を受ける側の気持ちをイメージできる 安全な介護技術が展開できる						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション・生活支援の理解			テキスト全体に目を通し、学ぶ内容の全体像をイメージする(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
2	居住環境整備の意義と目的・ベッドメイキング			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容を復習し、寝具の扱い方を練習する(1.5時間)	
3	ボディメカニクス			ボディメカニクスについて調べる(1時間)		生活の場面で活用できるボディメカニクスについて、レポートにまとめる(1時間)	
4	シーツ交換 演習記録について			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容を復習し、シーツ交換の練習を行う(1.5時間)	
5	ベッドメイキング			演習目標の立案およびベッドメイキングの練習(0.5時間)		授業内容を復習し、ベッドメイキングの練習する(1.5時間)	
6	移動の意義と目的・体位変換(対面法・背面法)			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入。授業内容を復習し、体位変換の介助を練習する(1.5時間)	
7	体位変換(上方移動・水平移動 他)			演習目標の立案およびテキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容を復習し、上方移動・水平移動の介助の練習をする(1.5時間)	
8	シーツ交換実技習得レベルの確認			シーツ交換の練習をする(1.5時間)		演習記録の記入。実技をふりかえる(0.5時間)	
9	福祉用具の理解・立位介助			演習目標の立案および福祉用具について調べる(1時間)		授業内容を復習し、立位介助の練習をする(1時間)	
10	移動の介助 杖歩行			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入。授業内容を復習し、杖歩行の介助を練習する(1.5時間)	
11	移動の介助 車椅子			演習記録の立案および車椅子について(名称・使い方)調べる(1.0時間)		授業内容を復習し、車椅子の介助を練習する(1.0時間)	
12	移動・移乗の介助(ベッド-車椅子間:一部介助)			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入。授業内容を復習し、移動・移乗の介助を練習する(1.5時間)	
13	移動・移乗の介助(ベッド-車椅子間:全介助)			演習目標の立案およびテキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容を復習し、移動・移乗の介助を練習する(1.5時間)	
14	移動・移乗の介助(練習・ふりかえり)			移動・移乗の介助の練習をする(0.5時間)		演習記録の記入。授業内容を復習し、移動・移乗の介助を練習する(1.5時間)	
15	身じたくの意義と目的			演習目標の立案および授業内容の予習(0.5時間)		授業内容を復習する(1.5時間)	

16	衣服の着脱（座位）	テキスト該当部分を読む（1時間）	演習記録の記入。授業内容を復習する（1時間）		
17	衣服の着脱・座位（下衣の着脱）	演習目標の立案および立位介助をふりかえっておく（0.5時間）	授業内容を復習し、着脱の介助を練習する（1.5時間）		
18	衣服の着脱・臥位（前開き上衣・ズボンの着脱）	テキスト該当部分を読む（0.5時間）	演習記録の記入。授業内容を復習し、着脱の介助を練習する（1.5時間）		
19	衣服の着脱・臥位（かぶり式の上衣・ズボンの着脱）	演習目標の立案およびテキスト該当部分を読む（0.5時間）	授業内容を復習し、着脱の介助を練習する（1.5時間）		
20	衣服の着脱・臥位（和式寝衣）	テキスト該当部分を読む（0.5時間）	演習記録の記入。授業内容を復習し、着脱の介助を練習する（1.5時間）		
21	食事の意義と目的	演習目標の立案およびテキスト該当部分を読む（1時間）	授業内容を復習する（1時間）		
22	食事の介助の方法	テキスト該当部分を読む（0.5時間）	演習記録の記入。授業内容を復習し、食事時の環境設定についてレポートにまとめる（1.5時間）		
23	食事の介助（実践）	演習目標の立案および食事の介助をふりかえる（0.5時間）	授業内容を復習し、安全・安楽な食事介助についてレポートにまとめる（1.5時間）		
24	排泄の意義と目的	テキスト該当部分を読む（1時間）	演習記録の記入。授業内容を復習する（1時間）		
25	トイレの介助（一部介助）	演習目標の立案およびテキスト該当部分を読む（0.5時間）	授業内容を復習し、トイレの介助を練習する（1.5時間）		
26	おむつの交換	テキスト該当部分を読む（0.5時間）	演習記録の記入。授業内容を復習し、おむつ交換の介助を練習する（1.5時間）		
27	実技習得レベルの確認（着脱）	着脱介助の練習をする（1.5時間）	着脱介助の練習をする（0.5時間）		
28	実技習得レベルの確認（移動・移乗）	移動・移乗の介助を練習する（1.5時間）	移動・移乗の介助を練習する（0.5時間）		
29	実技習得レベルの確認のふりかえり（着脱）	着脱の介助を練習する（1時間）	実技をふりかえる（1時間）		
30	実技習得レベルの確認のふりかえり（移動・移乗）	移動・移乗の練習をする（1時間）	実技をふりかえる（1時間）		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	（最新介護福祉士養成講座6）生活支援技術Ⅰ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	（最新介護福祉士養成講座11）こころとからだのしくみ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	40%	授業内容を理解しているか評価する		

	技術習得度（実技チェック）	40%	技術が習得できているか評価する
	演習記録	10%	授業内容を記録し、学びが適切に記録できているかを評価する
	授業態度	10%	意欲的に技術を習得しようとしているか、積極性や参加態度から評価する
備考			
フィードバック	授業後に記入した演習記録について、翌週の授業日に添削して返却する 実技チェックの振り返りを個々に行う		
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）			
授業内容	介護福祉士として介護老人福祉施設で実務経験のある教員が、その経験を活かして実技の指導を行う		

科目 コード	1310	ナンバリング	FAA145	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生活支援技術Ⅱ 1-福						
科目英語名	Life Support Technique Ⅱ 1-福						
担当教員	武田 千幸、久保田 寛						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	原理原則を踏まえた介護技術を習得する 常に介護を受ける側の気持ちを考え、利用者の状況に合った技術を適切に展開する 専門職として基本的知識と技術を身に付け、根拠に基づく介護技術を展開する						
学修成果 到達目標	介護技術の原理原則と、技術展開の根拠が説明できる 介護を受ける側の気持ちを理解し、利用者の状況に応じた個別介護を展開できる 専門的知識を技術に活かすことができる						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	生活支援技術Ⅰの振り返り			前期の授業内容をふりかえる(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
2	入浴・清潔保持の意義と目的・アセスメント			テキスト該当部分を読む(1時間)		授業内容のふりかえり(1時間)	
3	入浴介助(個浴)			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(0.5時間)		授業内容をふりかえる(1.5時間)	
4	入浴介助(機械浴)			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容をふりかえり演習記録を記入する(1.5時間)	
5	全身清拭			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
6	全身清拭の実践			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入および全身清拭の介助の練習をする(1.5時間)	
7	手浴・足浴			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
8	手浴・足浴の実践			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入および手浴・足浴の介助の練習をする(1.5時間)	
9	整容の介助(洗顔、爪の手入れ、髭の手入れ)			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(0.5時間)		授業内容を復習する(1.5時間)	
10	整容の介助(化粧、口腔ケア)			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容を復習し、演習記録を記入する(1.5時間)	
11	移乗・移動の介助(スライディングボード)			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習し、スライディングボードを活用した移乗介助の練習をする(1時間)	
12	移動・移乗の介助(移動用リフト)			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入および移動用リフトを使用した移乗介助の練習をする(1.5時間)	
13	排泄の意義と目的			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
14	排泄の意義と目的			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		授業内容を復習し、演習記録を記入する(1.5時間)	
15	排泄介助(オムツ交換)			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
16	排泄介助(尿器・便器)			テキスト該当部分を読む(0.5時間)		演習記録の記入および尿器・便器を用いた排泄介助の練習をする(1.5時間)	

17	排泄介助（ポータブルトイレ）	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（0.5時間）	授業内容を復習する（1.5時間）
18	排泄介助（ポータブルトイレ ふりかえり）	ポータブルトイレを用いた排泄介助についてふりかえる（0.5時間）	授業記録の記入およびポータブルトイレを用いた排泄介助の練習をする（1.5時間）
19	排泄介助（おむつ交換・陰部洗浄）	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する（1時間）	授業内容を復習する（1時間）
20	排泄介助（おむつ交換・陰部洗浄 ふりかえり）	オムツ交換、陰部洗浄についてふりかえる（0.5時間）	演習記録の記入およびおむつ交換・陰部洗浄の介助の練習をする（1.5時間）
21	排泄介助のまとめ	排泄介助についてふりかえり、演習目標を立案する（1時間）	授業内容を復習する（1時間）
22	糞法	糞法について調べる（0.5時間）	演習記録の記入および授業内容を復習する（1.5時間）
23	介護技術の展開（事例①）	基本的な介護技術をふりかえる（1時間）	授業内容を復習する（1時間）
24	実技練習（事例①）	実技練習を行う（0.5時間）	演習記録の記入および実技のふりかえり（1.5時間）
25	介護技術の展開（事例②）	基本的な介護技術をふりかえる（1時間）	授業内容を復習する（1時間）
26	実技練習（事例②）	実技練習を行う（0.5時間）	演習記録の記入および実技のふりかえり（1.5時間）
27	実技習得レベルの確認（排泄）	排泄の介助について実技練習を行う（1時間）	実技をふりかえる（1時間）
28	実技習得レベルの確認（清潔）	清潔の介助について実技練習を行う（1.5時間）	実技をふりかえる（0.5時間）
29	実技習得レベルの確認のふりかえり	実技をふりかえる（1時間）	授業内容をふりかえる（1時間）
30	ふりかえりとまとめ	今まで学んだ内容をふりかえる（1時間）	授業内容をふりかえる（1時間）

試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	（最新介護福祉士養成講座6）生活支援技術Ⅰ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	（最新介護福祉士養成講座7）こころとからだのしくみ第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	40%	授業内容を理解しているか評価する		
	技術習得度（実技チェック）	40%	技術が習得できているか評価する		
	授業毎の演習記録	10%	授業内容を記録し、学びが適切に記録できているかを評価する		
	授業態度	10%	意欲的に技術を習得しようとしているか、積極性や参加態度から評価する		

備考	
フィードバック	授業後に記入した演習記録について、翌週の授業日に添削して返却する 実技チェックのふりかえりを個々に行う
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）	
授業内容	介護福祉士として介護老人福祉施設で実務経験のある教員が、その経験を活かして実技の指導を行う

科目コード	1315	ナンバリング	FAA210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	生活支援技術Ⅲ 2-福						
科目英語名	Life Support Technique Ⅲ 2-福						
担当教員	武田 千幸、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	居宅における介護技術について理解する 要介護者の状況に応じた支援を考え、実践能力を養う 終末期の介護について理解する						
学修成果到達目標	I C F の視点にもとづいたアセスメントができる 障害に応じた介護の方法について根拠が説明できる 終末期の介護について概要を説明できる アセスメントに基づいた支援が展開できる						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	生活支援技術Ⅰ・Ⅱで学んだ技術のふりかえり			生活支援技術Ⅰ・Ⅱで学んだ内容をふりかえる(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
2	ボディメカニクス			ボディメカニクスの原則及び意義についてまとめ、自分自身の身体を守るためにどのようにボディメカニクスを活用していくかを考える(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
3	環境整備(ベッドメイキング・シーツ交換)			演習目標の立案およびベッドメイキングの練習を行う(1時間)		授業内容の復習を行う(1時間)	
4	利用者が臥床している状態でのシーツ交換			テキスト該当部分を読み、体位変換の介助について復習しておく(0.5時間)		演習記録の記入および授業内容の復習を行い、練習する(1.5時間)	
5	送迎の介助			福祉施設での利用者の送迎について調べ、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
6	福祉車両乗降の介助(ゲストスピーカー)			福祉車両について調べる(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
7	一般車両乗降の介助			車に乗降する際の介助について調べ、演習目標を立案する(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
8	睡眠の意義と目的			テキスト該当部分を読み演習目標を立案する(0.5時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1.5時間)	
9	安楽な姿勢			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
10	安楽な姿勢の保持			テキスト該当部分を読む(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
11	洗髪介助の方法			テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する(1時間)		授業内容を復習する(1時間)	
12	ベッド上での洗髪介助			洗髪の介助をふりかえる(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
13	障害に応じた介護技術①(視覚障害)			視覚障害について調べ、演習目標を立案する(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
14	障害に応じた介護技術②(聴覚・言語障害)			聴覚・言語障害について調べ、演習目標を立案する(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
15	障害に応じた介護技術③(肢体不自由)			肢体不自由について調べ、演習目標を立案する(1時間)		演習記録の記入および授業内容を復習する(1時間)	
16	障害に応じた介護技術④(内部障害)			内部障害について調べ、演習目		演習記録の記入および授業内	

		標を立案する (1時間)	容を復習する (1時間)		
17	終末期ケアの意義と介護の役割	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する (1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する (1時間)		
18	危篤時の介護	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する (1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する (1時間)		
19	終末期の介護 (エンゼルケア・グリーフケア)	テキスト該当部分を読み、演習目標を立案する (1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する (1時間)		
20	施設における終末期の介護 (ゲストスピーカー)	施設での終末期介護について調べる (1時間)	授業内容をふりかえり、レポートをまとめる (1時間)		
21	障害に応じた介護技術⑤ (知的障害・発達障害)	知的障害・発達障害について調べ、演習目標を立案する (1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する (1時間)		
22	障害に応じた介護技術⑥ (難病)	難病について調べ、演習目標を立案する (1時間)	演習記録の記入および授業内容を復習する (1時間)		
23	介護技術の展開 (施設での介護事例)	介護実習での支援をふりかえり、演習目標を立案する (1時間)	授業内容を復習する (1時間)		
24	実技練習 (施設での介護事例)	実技練習を行う (1時間)	演習記録の記入および実技をふりかえる (1時間)		
25	介護技術の展開 (居宅介護事例)	居宅介護の事例を調べ、演習目標を立案する (1時間)	授業内容を復習する (1時間)		
26	実技練習 (居宅介護事例)	実技練習を行う (1時間)	演習記録の記入および実技をふりかえる (1時間)		
27	施設での介護事例・居宅介護事例ふりかえり	事例をふりかえる (1時間)	実技をふりかえる (1時間)		
28	実技習得レベルの確認 (施設での介護事例)	居宅介護事例について実技練習を行う (1.5時間)	実技をふりかえる (0.5時間)		
29	実技習得レベルの確認 (居宅介護事例)	施設での介護事例について実技練習を行う (1.5時間)	実技をふりかえる (0.5時間)		
30	実技習得レベルの確認のふりかえりとまとめ	実技習得レベルの確認の内容および今まで学んだ内容をふりかえる (1時間)	授業内容をふりかえる (1時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 6) 生活支援技術Ⅰ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 7) 生活支援技術Ⅱ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883969	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	40%	授業内容を理解しているか評価する		
成績評価方法・基準	技術習得度 (実技チェック)	40%	技術が習得できているか評価する		
	授業毎の演習記録	10%	授業内容を記録し、学びが適切に記録できているかを評価する		
成績評価方法・基準	授業態度	10%	意欲的に技術を習得しようとしているか、積極性や参加態度から評価する		
	備考				

フィード バック	授業後に記入した演習記録について、翌週の授業日に添削して返却する 実技チェックの振り返りを個々に行う
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）	
授業内容	介護福祉士として、介護老人福祉施設で実務経験のある教員が実技指導を行う

科目コード	1320	ナンバリング	FAA215	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	生活経営・管理の技法 2-福							
科目英語名	Home Economics and Management 2-福							
担当教員	森永 夕美							
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目							
学修内容	1. 現代日本の家族のあり方の多様な側面を理解する。 2. 生活を維持し、管理・運営する能力を身につける。 3. 地域社会の動きと生活支援の関連を理解する。							
学修成果到達目標	1. 介護福祉士として生活経営に必要な事柄を理解し説明できる。 2. 生活に関わる法制度・サービス利用について説明できる。 3. 日本社会の家族問題や消費者問題、環境問題等に関心を持ち、課題を発見できる。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	イントロダクション・生活経営とは何か			自分の生活スタイル振り返る(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
2	ライフスタイルの変化と家族の機能と役割			日本のライフスタイルの変化や家族の変化についてまとめておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
3	生活の社会化と家事・介護労働			家事労働にかかる時間についてまとめておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
4	家庭経済・生活設計(ゲストスピーカー)			生活に必要な費用に何があるかまとめておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
5	消費生活と消費者問題(ゲストスピーカー)			最近の消費者問題について調べておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
6	新しいライフスタイルと生活時間 ワーク・ライフ・バランス(ゲストスピーカー)			自分や家族の生活時間の使い方を調べておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
7	ライフスタイルの変化と環境(ゲストスピーカー)			SDGsについて調べておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
8	まとめとふりかえり			これまでの学びをふり返っておく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)		
試験	レポート試験							
教科書	書名			著者		出版社	ISBN	備考
参考書	書名			著者		出版社	ISBN	備考
	持続可能な社会をつくる生活経営学			(一社)日本家政学会生活経営学部会		朝倉書店	9784254600254	
	大学生が知っておきたい消費生活と法律			細川幸一		慶応義塾大学出版会	9784766425697	
2022年度版くらしの豆知識			独立行政法人国民生活センター		独立行政法人国民生活センター	9784906051977		
成績評価方法・基準	評価方法			評価割合		評価基準など		
	レポート試験			50%		課題のテーマについて自分の考えを述べられている評価する		
	平常点			50%		授業態度や提出物の内容から総合的に評価する		
備考	Chromebookを使用しますので必ず持参してください。							
フィードバック	成績発表後、申し出た者に対して採点後の答案の閲覧を認める。							

科目コード	1325	ナンバリング	FAA245	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	居住環境整備の技法 2-福						
科目英語名	Improvement of Dwelling Environment 2-福						
担当教員	藤平 眞紀子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	1. 住環境が生活行動に深く関わっていることを知る。 2. 安全で健康な生活指標を科学的に読み解く。 3. 安全で快適な生活への工夫や機器を理解する。 4. 安全に暮らすための住宅の基本的事項を理解する。						
学修成果到達目標	1. 安全で健康な住生活を支援できる知識・技術を習得している。 2. 居住環境を科学的に理解し、快適な生活環境整備ができる力を身につけている。 快適な温熱環境や音環境を理解し、多様な方法で対応できる。 3. 安心して暮らせる生活空間の提案ができる力を身につけている。 住宅図面を読むことができる。 人体寸法と機器や道具の寸法を理解し、安全で快適な生活空間を計画することができる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	住まいと生活・住まいの役割、居住環境整備の意義		教科書を読み、講義内容の概略を知る。 住まいの役割を考える(0.5 時間)		住まいの、どこで、どのような行動を、どれくらいの時間しているか、記録する(0.5 時間)		
2	人体寸法と人間尺度・人間工学		自分自身の身体寸法、手の届く範囲など測定する(0.5 時間)		自宅の家具・道具等の寸法を測定し、人間の身体寸法や行動との関連を理解する(0.5 時間)		
3	住まいと健康①温熱環境・空気環境		自宅で実施している暑さ寒さへの対策、換気への対策を書き出す(0.5 時間)		自宅で、健康で快適な温熱環境を目指し、工夫し実践する(0.5 時間)		
4	住まいと健康②光環境・音環境		街の中で、どこにどのような、光や音があるかを見つけ、感じたことを記録する(1 時間)		生活の中での光環境・音環境の意義を理解し、快適な環境整備に向けて応用する(0.5 時間)		
5	住まいの管理		自宅で住まいの管理のための機器や用具の種類を調べる(0.5 時間)		自宅において、住まいの管理のための機器や用具が的確に安全に使用できているか確認する(0.5 時間)		
6	バリアフリーとユニバーサルデザイン		生活の中で、バリアフリーとユニバーサルデザインの実例を見つける(1 時間)		ユニバーサル社会を目指す機器や装備を考える(0.5 時間)		
7	高齢者の住まいに関する制度・施策の変遷		高齢者の住まいに関する制度・施策の歴史の変遷を教科書等で調べる(0.5 時間)		社会情勢が、制度・施策の変遷と関わっていることを理解し、今後の社会の動きにも注目する(0.5 時間)		
8	安全・安心な住まいと介護保険制度		介護福祉士関連の教科書などで介護保険制度について調べる(0.5 時間)		介護保険制度における住宅関連施策の内容を理解し、実生活の場での事例を探す(0.5 時間)		
9	高齢者の身体特性と住まい		若者と高齢者の心身特性の違いを、教科書や関連資料から理解しておく(0.5 時間)		街の中で、高齢者には使いにくい場所があるかを見つける(0.5 時間)		
10	家庭内事故の現状と日本の住宅の特徴		新聞記事や報告書などから家庭内事故の事例を見つける(0.5 時間)		家庭内事故に遭遇しやすい場所を、自宅で点検する(0.5 時間)		

		間)	時間)		
11	住宅図面の読み方と住まいの整備の基本視点	新聞広告などで住宅図面を集める(0.5時間)	物理的に安全な住まいの要件が備わっていることを自分の家や学校などで確認する(0.5時間)		
12	住宅改修の基本技術と安全で快適な住宅の提案	自宅で、安全で快適な環境を創造する機器を見つけ、寸法を測定し、その役割を考える(0.5時間)	住宅改修の意義を理解し、自宅での、より安全で快適な環境づくりに必要な装備・機器を、提案する(0.5時間)		
13	高齢者の住まいと地域社会	高齢者の住まいの種類について、書物などで調べる(0.5時間)	高齢者にとって、地域で安全に安心して活動できる環境かを確認する(0.5時間)		
14	まとめとふりかえり、快適な居住環境形成の視点	高齢者施設や高齢者向け住宅の平面図を集める(0.5時間)	自宅が安全で、快適かを再度考え、より快適な住まいを目指して工夫する(0.5時間)		
15	快適な居住環境の提案	これまでの講義内容をまとめる(0.5時間)	自宅や街で、安全に快適に活動できる空間となっているか再確認する(0.5時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座6)生活支援技術I第2版	介護福祉士養成講座編集委員会編集	中央法規出版	9784805883952	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト改訂6版	東京商工会議所編	東京商工会議所	9784924547643	
	福祉住環境コーディネーター検定試験3級公式テキスト改訂6版	東京商工会議所編		9784924547650	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	レポート試験	50%	授業内容を理解しているか評価する		
	事前・事後学修等レポート	30%	事前・事後学習が適切にできているか評価する		
	授業態度	20%	積極的に受講しているか評価する		
備考					
フィードバック					

科目コード	1330	ナンバリング	FAA250	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	家事支援の技法 I ・被服 2-福						
科目英語名	Technique of HouseworkSupport I ・Clothing 2-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	1. 高齢者や障がい者における被服の役割を考える。 2. 被服素材や被服の機能性について理解する。 3. 衛生的で快適な生活を過ごすための被服管理について理解する。 4. 暮らしを彩る技術を身につける。 介護の視点を持って被服に関する知識と技術を学ぶ。						
学修成果到達目標	被服に関する基礎的知識や技術を修得し、介護福祉士として被服に関する家事支援ができる。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション・被服の役割と機能	シラバスを読み準備物を整えておく(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
2	日本の衣裳の歴史と和服	日本の歴史を調べておく(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
3	被服素材の特性(繊維・布)	身近な衣服の素材について調べておく(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
4	作品制作 1 織物・編み物準備	毛糸等用意する(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
5	作品制作②織物・編み物制作	作品を完成させ発表の準備をする(0.5 時間)			レポートを記入する(0.5 時間)		
6	障がいと被服の選択・リフォームの知識	衣服の特徴を調べておく(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
7	被服の管理(洗濯・漂白・保管収納)	家庭で使う洗剤を調べる(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
8	介護にかかわる被服(靴・おむつ・寝具・寝間着)	前回の学びを振り返っておく(0.5 時間)			授業で学んだことをまとめておく(0.5 時間)		
9	裁縫の基本 1 針の持ち方・縫い方	家にある裁縫道具を確認する(0.5 時間)			仕上がらなかった部分を仕上げる(0.5 時間)		
10	裁縫の基本②まつりぬい・ボタンづけ等	家で針を使って縫ってみる(0.5 時間)			仕上がらなかった部分を完成させる(0.5 時間)		
11	作品制作③裁縫の応用	裁縫の方法を振り返っておく(0.5 時間)			仕上がらなかった部分を完成させる(0.5 時間)		
12	作品制作 4 布に絵を描く(型紙をつくる)	デザインを考えておく(0.5 時間)			型紙を仕上げる(0.5 時間)		
13	作品制作⑤布に絵を描く(ステンシル)	型紙を完成させる(0.5 時間)			自由課題の案を探す(0.5 時間)		
14	自由課題(作品の案を考える)	これまでの学びを振り返りアイディアをまとめる(0.5 時間)			作品を完成させる(0.5 時間)		
15	自由課題発表:まとめとふりかえり	作品を完成させる(0.5 時間)			評価表を記入する(0.5 時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など		
	平常点		50%	授業態度、ワークシートなどの課題への取組姿勢と内容を総合的に評価する		
	作品提出		50%	作品の制作過程から提出までの取組および提出された作品を総合的に評価する		
備考	裁縫道具（針・糸切はさみ等）用意してください。 材料費を別途徴収する場合があります。					
フィード バック	授業時に適宜コメントする。					

科目コード	1335	ナンバリング	FAA220	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	家事支援の技法Ⅱ・栄養 2-福						
科目英語名	Technique of HouseworkSupport Ⅱ・Nutrition 2-福						
担当教員	三浦 さつき						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	健全な食生活を送るために必要な基礎知識を身につけ、高齢者・障害者の栄養について理解し、食生活を管理する能力を養う。						
学修成果到達目標	1. 食生活に必要な基礎知識を身につけている。 2. 栄養素のはたらきや高齢者・障害者の食生活の管理について説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	食生活の意義 からだの栄養と心の栄養			教科書等で日本人の食生活に関する情報を収集する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
2	身体機能と栄養素のはたらき			教科書・資料等で予習する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
3	炭水化物の栄養と食品、たんぱく質の栄養と食品			教科書・資料等で予習する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
4	脂質の栄養と食品、ビタミンの栄養と食品、無機質の栄養と食品			教科書・資料等で予習する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
5	日本人の食事摂取基準と生活習慣病			教科書・資料等で予習する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
6	食品の衛生管理、高齢者・障害者の食生活			教科書・資料等で予習する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
7	高齢者・障害者の食生活、献立と調理			教科書・資料等で予習する (2 時間)		授業内容を復習する (2 時間)	
8	ふりかえりとまとめ			これまでの学修内容を振り返る (3 時間)		介護福祉士国家試験問題を復習する (3 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(最新介護福祉士養成講座 6) 生活支援技術Ⅰ (第2版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883952			
	(最新介護福祉士養成講座 7) 生活支援技術Ⅱ (第2版)	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883969			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(最新介護福祉士養成講座 11) こころとからだのしくみ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884003			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	授業態度	60%	授業への取り組みを評価する				
	課題プリント提出	40%	授業内容の理解度を評価する				
備考	初回に教科書は使用しない						
フィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを回収し、次の授業時に適宜コメントする						

科目 コード	1340	ナンバリング	FAA255	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	家事支援の技法Ⅲ・調理 2-福							
科目英語名	Technique of HouseworkSupport Ⅲ・Cooking 2-福							
担当教員	森山 廣江、水原 三佳							
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目							
学修内容	1. 調理に関する基礎的な知識を学び、技術を習得する。 2. 食品の特性、栄養、食品衛生について理解する。 3. 高齢者や障がい者の特性に応じた調理方法について学ぶ。							
学修成果 到達目標	1. 調理に関する基礎的な知識を理解し説明できる。 2. 食品の特性、栄養、食品衛生について理解し説明できる。 3. 高齢者や障がい者の特性に応じた調理をおこなうことができる。							
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間			
1	調理の基本・日常食		料理や調理技術、食品衛生に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
2	減塩食		食塩の身体に及ぼす影響に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
3	軟食		嚥下や咀嚼に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
4	ミネラルを摂る食事		身体への栄養素の働きに関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
5	介護食		高齢者の食事に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
6	行事食① パーティ料理		様々なパーティ料理に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
7	行事食② 季節の料理		旬の食材や季節の料理に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
8	行事食③ 祝膳		ハレの日の食事に関する知識を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)			
試験								
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
参考書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合		評価基準など			
	課題提出		50%		提出指定日に提出。提出率。			
	理解度・技術修得度		25%		実習の手技			
	受講姿勢		25%		積極度			

備考	1日2コマで8回の実施とする。 事前事後学修では、他の科目の内容や図書館等の資料を利用すること。
フィード バック	提出されたレポートは添削して返却する。ファイルに綴じる。 質問事項に関しては。翌週に解説する。

科目コード	1405	ナンバリング	FAA115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護過程 I 1-福						
科目英語名	Care Process I 1-福						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>介護福祉士は、利用者の生活を支える専門職です。</p> <p>そのことから、エビデンスを明確にした支援を求められます。また、利用者の意思を大切にするとともに、利用者のよりよい生活を考えながら支援することも必要となります。</p> <p>「介護過程」は、介護の思考過程をあらわすものです。</p> <p>介護過程 I では、利用者の生活を支援する視点に立った介護過程の展開方法の基礎について教授します。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 人の生活や人との関わりについて、理解することができる。</p> <p>2. 課題解決思考について理解することができる。</p> <p>3. ICF について理解することができる。</p>						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション・「生活」を理解する		「生活」に関する情報を収集する(2時間)		授業内容を把握し、自分の生活を振り返りながら、さらに文献等より、生活について情報を収集する(2時間)		
2	高齢者が生きてきた時代について理解する		身近な人や文献から高齢者が生きてきた時代について情報収集する(2時間)		授業を振り返り、高齢者が生きてきた時代についてまとめる(2時間)		
3	明治・大正・昭和の時代と生活を理解する		明治・大正・昭和について事前に調べておく(2時間)		各グループの発表内容をまとめておく(2時間)		
4	高齢者の生きてきた時代について発表する		各グループの内容を発表できるようにしておく(2時間)		各グループが発表した内容を理解できるようにまとめる(2時間)		
5	「かかわり」を理解する		他者とかかわるために必要な情報を集める(2時間)		ワークシートを完成させる(2時間)		
6	相手の立場になって考える		相手の状況になって考えるために、身近な人物と話し、相手の状況を考えてみる(2時間)		テキストを読み、みかこさんへの手紙を作成する(2時間)		
7	利用者の願いや思いに気づく		実際のかかわりから、利用者の思いを書き出す(2時間)		ワークシートを完成する(2時間)		
8	事例検討1 グループディスカッション		ワークシートを完成させ、事例を把握しておく(2時間)		グループでロールプレイが円滑に行えるように構成する(2時間)		
9	事例検討2 ロールプレイ		グループで発表ができるように練習しておく(2時間)		各グループのロールプレイを振り返りまとめる(2時間)		
10	「課題解決思考」について理解する		自分にとっての課題解決について考えておき、授業日に発表できるよう準備する(2時間)		ワークシートを完成させる(2時間)		
11	「課題解決思考」を体験する		用語を理解し、まとめる(2時間)		ワークシートを完成させる(2時間)		
12	介護場面と課題解決思考		ワークシートを完成させる(2時間)		授業で行った介護場面以外を想定して課題解決を行う(2時間)		
13	「介護過程」を理解する		介護過程について情報収集しておく(2時間)		介護過程の構造と構成要素をまとめる(2時間)		
14	ICF を理解する		ICF について事前に情報収集する(2時間)		ICF を用いて自分のシートを完成させる(2時間)		

15	ICF に基づいた情報収集	ICF による情報収集についてテキストを読む(2時間)	アセスメントシートを完成し提出する(2時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新版 楽しく学ぶ介護過程	介護福祉教育研究会編	時潮社	9784788807228	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 9) 介護過程 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883983	
	「よくする介護」を実践するための ICF の理解と活用 目標指向的介護に立って	大川弥生	中央法規出版	9784805832066	
	事例で読み解く介護過程の展開：根拠に基づく「生活支援」を実践するために	森繁樹	中央法規出版	9784805851241	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		20%	出席率、グループへの貢献度	
	提出課題		40%	課題内容との整合性や完成度	
	定期試験		40%	学んだ内容を理解しているか評価する	
備考	介護を展開するために必要な科目であり、介護実習に進むための必修科目になっている。				
フィードバック	・提出された課題等に対する指導を個別に行う。				

科目コード	1410	ナンバリング	FAA150	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	介護過程Ⅱ 1-福						
科目英語名	Care ProcessⅡ 1-福						
担当教員	武田 千幸 森田 婦美子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	介護過程Ⅱでは、介護過程Ⅰで学んだ内容を基礎として、実際に介護過程を行う方法を学びます。介護過程展開シートの書き方を学び、利用者の事例をもとに実践的に習得していきます。						
学修成果到達目標	1. 介護過程の構成要素と思考過程が説明できる。 2. 利用者の願いや想いを反映し、専門職として必要な根拠が説明できる。 3. 介護過程におけるチームアプローチの重要性を理解している。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、介護過程の定義・特徴			介護過程Ⅰのまとめたものを再確認しておく(2時間)		介護過程の定義をまとめておく(2時間)	
2	介護過程の構造と構成要素、ICFの理解			ICFをふりかえっておく(2時間)		ICFの構成要素をまとめておく(2時間)	
3	情報収集と生活課題			情報収集について調べておく(2時間)		様々な情報収集の方法をまとめておく(2時間)	
4	介護過程展開シートの書き方「くらし編」			テキストの「これが私：くらし」シートの書き方を熟読すること(2時間)		「くらしシート」を完成させること(2時間)	
5	介護過程展開シートの書き方「からだ編」			テキストの「これが私：からだ」シートの書き方を熟読すること(2時間)		「からだシート」を完成させること(2時間)	
6	介護過程展開シートの書き方「こころ編」			テキストの「これが私：こころ」シートの書き方を熟読すること(2時間)		「こころシート」を完成させること(2時間)	
7	アセスメントシートの書き方			テキストの「アセスメントシートの書き方」を熟読すること(2時間)		「アセスメントシート」を完成させること(2時間)	
8	事例検討 ①情報収集・情報の整理(グループディスカッション)			これまで行った情報シート、アセスメントシートをふりかえっておくこと(2時間)		「情報シート：くらし・からだ・こころ」を作成する(2時間)	
9	事例検討 ②アセスメント(グループディスカッション)			アセスメントシートを復習しておくこと(2時間)		アセスメントシートを作成すること(2時間)	
10	事例検討 ③生活課題(グループディスカッション)			テキストの「生活課題」を熟読すること(2時間)		生活課題を作成する(2時間)	
11	事例検討 ④カンファレンス(グループディスカッション)			テキストの「カンファレンス」を熟読すること(2時間)		介護過程を展開するためのカンファレンスをまとめておく(2時間)	
12	事例検討 ⑤目標(グループディスカッション)			実習で記載していた目標をふりかえる(2時間)		目標を記載し、提出する(2時間)	
13	卒業研究発表会への参加			2回生の要旨集を熟読して質問事項を考えておく(2時間)		2回生の卒業研究発表会について内容把握と感想をまとめる(2時間)	
14	介護現場における実践報告会の参加			各事業所の事例研究集を熟読し、質問できるようにしておく(2時間)		各事業所の発表内容と感想をまとめる(2時間)	
15	まとめとふりかえり			今までの授業および事例発表会等でえられた介護過程を振り返っておく(2時間)		介護実習Ⅱに向けて介護過程を振り返る(2時間)	

試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	新版 楽しく学ぶ介護過程	介護福祉教育研究会編	時潮社	9784788807228	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	(最新介護福祉士養成講座 9) 介護過程 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会編	中央法規出版	9784805883983	
	「よくする介護」を実践するための ICF の理解と活用	大川弥生	中央法規出版	9784805832066	
	事例で読み解く介護過程の展開：根拠に基づく「生活支援」を実践するために	森繁樹	中央法規出版	9784805851241	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	介護過程展開		60%	事例課題への取り組み姿勢、提出物の内容など	
	授業態度		20%	積極性（授業内の発言、質問）、出席率、提出物の状況など	
	グループワーク貢献度		20%	リーダーシップ・メンバーシップ	
備 考	介護を展開するために必要かつ、介護実習Ⅱに進むために必ず履修する必要がある科目という意識をもって臨んでください。				
フィードバック	・提出された課題に関しては、次回の授業時までにコメントを入れて返却する。				

科目コード	1415	ナンバリング	FAA225	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護過程Ⅲ 2-福						
科目英語名	Care ProcessⅢ 2-福						
担当教員	武田 千幸 森田 婦美子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 介護過程の全体像を、演習を通じて理解する。 2. 居宅で生活する対象者に対するアセスメントの視点を理解する。 3. 介護過程における実施について理解できる。 4. 介護過程の展開について、人に伝えられる能力を養う。						
学修成果到達目標	1. アセスメントの意義とその視点を説明することができる。 2. 主観的情報と客観的情報について整理できる。 3. 介護過程における評価の重要性を理解し、適切に評価できる。 4. 介護の根拠を分かりやすく示すことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	介護実習Ⅱ 介護過程のふりかえり	介護実習Ⅱで活用したアセスメントシートをふりかえる(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)			
2	介護実習Ⅱ 事例課題(情報の分析・解釈・統合)の個人ワーク	実習で担当した事例をふりかえる(0.5 時間)		事例をまとめる(0.5 時間)			
3	介護実習Ⅱ 事例課題(情報の分析・解釈・統合)のグループワーク	グループワークの準備を行う(0.5 時間)		グループワークの内容を踏まえて事例について再考する(0.5 時間)			
4	介護実習Ⅱ 事例課題(判断・生活課題)の個人ワーク	事例をふりかえる(0.5 時間)		事例をまとめる(0.5 時間)			
5	介護実習Ⅱ 事例課題(判断・生活課題)のグループワーク	グループワークの準備を行う(0.5 時間)		グループワークの内容を踏まえて事例について再考する(0.5 時間)			
6	介護実習Ⅱ 事例の発表	発表の準備を行う(0.5 時間)		発表内容をふりかえる(0.5 時間)			
7	介護実習Ⅱの事例による介護計画の立案	計画の立案についてテキストで予習する(0.5 時間)		介護計画を完成させる(0.5 時間)			
8	介護実習Ⅱの事例による介護計画の立案・発表	発表の準備を行う(0.5 時間)		発表内容をふりかえる(0.5 時間)			
9	居宅介護実習 事例課題の個人ワーク	事例課題を読み込む(0.5 時間)		事例をまとめる(0.5 時間)			
10	居宅介護実習 介護過程のまとめ・発表	パワーポイントで発表用資料を作成する(0.5 時間)		発表内容をふりかえる(0.5 時間)			
11	事例の検討(情報の整理・分析・解釈・統合)	事例を読み込む(0.5 時間)		アセスメントを続ける(0.5 時間)			
12	事例の検討(判断・生活課題)	事例の情報を整理する(0.5 時間)		生活課題を導き出す(0.5 時間)			
13	事例の介護計画の立案	事例の情報を整理する(0.5 時間)		介護計画を完成させる(0.5 時間)			
14	介護計画の発表	発表の準備を行う(0.5 時間)		発表内容をふりかえる(0.5 時間)			
15	モニタリングシートの記入方法	モニタリングについてテキストで予習する(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	新版 楽しく学ぶ介護過程	介護福祉教育研究会編	時潮社	9784788807228			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 9) 介護過程 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規	9784805883983	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業内での討議（グループディスカッション・グループワーク）		40%	リーダーシップ・メンバーシップ、コミュニケーション能力	
	提出物・介護計画シート		60%	5W1H に則った具体的な個別援助計画の立案	
備考					
フィードバック	各自の進捗状況に応じ、授業時に担当教員が適宜指導する。 各回の授業終了時提出された成果物は、担当教員が確認して次の授業時にコメントする。				

科目コード	1420	ナンバリング	FAA260	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	介護過程Ⅳ 2-福						
科目英語名	Care ProcessⅣ 2-福						
担当教員	武田 千幸、森田 婦美子、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	他の領域で学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開する 介護過程の実践から、よりよい支援について考察する 介護研究の意義について理解する 事例を研究としてまとめ、発表する						
学修成果到達目標	1. 介護研究の概要を理解し実践できる 2. 利用者支援について考察し、その内容を表現することができる 3. 論文作成を通し、自己の介護観を醸成できる						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	介護実習Ⅲにおける介護過程の展開のふりかえり、立案した計画と実施内容の整理		介護実習Ⅲの記録をふりかえる (0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)		
2	事例研究の意義と目的		事例研究について調べる (0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)		
3	事例研究論文の執筆について		論文で考察したいことを考える (0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)		
4	文献検討 (図書館講座)		論文で考察したいことを考える (0.5 時間)		授業内容をふりかえる・文献を探す (0.5 時間)		
5	事例研究論文の執筆準備 (発表で伝えたいことをまとめる)		論文で考察したいことを考える (0.5 時間)		授業内容をふりかえる・文献を読む (0.5 時間)		
6	事例研究論文の執筆準備		論文で考察したいことに関する文献を読む (0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)		
7	文献検討 (発表で伝えたいことに沿った文献調査)		論文で考察したいことに関する文献を読む (0.5 時間)		授業内容をふりかえる・文献検索を続ける (0.5 時間)		
8	事例研究論文の執筆①		事例研究論文の執筆 (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
9	事例研究論文の執筆②		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
10	事例研究論文の執筆③		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
11	事例研究論文の執筆④		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
12	事例研究論文の個別指導・1回目 (初稿)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		指導を踏まえ、事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
13	事例研究論文の修正・執筆・1回目 (修正)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
14	事例研究論文の個別指導・2回目 (再指導)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		個別指導を踏まえ、事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
15	事例研究論文の修正・執筆・2回目 (再修正)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
16	事例研究論文の個別指導・3回目 (最終確認)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		個別指導を踏まえ、事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
17	事例研究論文の校正・1回目 (誤植の修正)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		
18	事例研究論文の校正・2回目 (完成提出)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		事例研究論文を完成させる (0.5 時間)		
19	事例研究におけるプレゼンテーションの方法		完成した事例研究論文を読み込		授業内容をふりかえる (0.5 時		

		む (0.5 時間)	間)		
20	事例研究の発表原稿の作成	発表原稿を作成する (0.5 時間)	発表原稿の作成を続ける (0.5 時間)		
21	事例研究の発表原稿の指導①修正・指導	発表原稿の作成を続ける (0.5 時間)	指導を踏まえ、発表原稿の作成を続ける (0.5 時間)		
22	事例研究の発表原稿の指導②完成提出	発表原稿の作成を続ける (0.5 時間)	発表原稿を完成させる (0.5 時間)		
23	事例研究のパワーポイントの作成	発表原稿をもとにパワーポイントのイメージを考える (0.5 時間)	パワーポイントを作成する (0.5 時間)		
24	事例研究のパワーポイントの指導	パワーポイントを作成する (0.5 時間)	指導を踏まえ、パワーポイントを完成させる (0.5 時間)		
25	事例研究発表会・発表方法の指導	発表の練習を行う (0.5 時間)	指導を踏まえ、発表の練習を行う (0.5 時間)		
26	事例研究発表会・リハーサル	発表の練習を行う (0.5 時間)	発表の練習を行う (0.5 時間)		
27	事例研究発表会・最終リハーサル	発表の練習を行う (0.5 時間)	発表の練習を行う (0.5 時間)		
28	事例研究発表会 打ち合わせ・準備	発表の練習を行う (0.5 時間)	打合せ内容を確認する (0.5 時間)		
29	事例研究発表会①生活福祉コース発表	発表の準備を行う (0.5 時間)	発表をふりかえる (0.5 時間)		
30	事例研究発表会②介護現場における実践報告および事例研究	事例研究集に目を通す (0.5 時間)	発表をふりかえる (0.5 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新版 楽しく学ぶ介護過程	介護福祉教育研究会編	時潮社	9784788807228	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 9) 介護過程 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883983	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業態度	50%	受講姿勢、積極性		
	提出物、発表内容、発表スキル	50%	提出物の内容、発表内容、発表態度		
備考					
フィードバック	各自の進捗状況に応じ、授業時に各担当教員が適宜指導する。 各回の授業終了時提出された成果物は、各担当教員が確認して次の授業時にコメントする。				

科目コード	1450	ナンバリング	FAA120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護総合演習 I 1-福						
科目英語名	Care Synthesis Exercise I 1-福						
担当教員	武田 千幸						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	介護実習 I -①および I -②に向けた準備学修を行います。 介護実習と意義と目的を理解し、質の高い介護福祉士を目指して、自己の課題を明確にしていきます。						
学修成果到達目標	1. 介護実習 I-1 および I-2 の意義や目的を理解し、自己の課題を明確にしている。 2. 実習施設に関連する、介護保険サービスや障がい者福祉サービスについて説明できる。 3. 記録の意義・目的を理解し、具体的で客観性のある内容を記録できる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 介護実習とは「実習の意義と目的」			テキスト第 1 章を読む(0.5 時間)		授業内容を整理しておく(0.5 時間)	
2	実習スケジュールと事前学修等について 個人票の作成			実習要綱「II 実習の準備」を読んでおく(0.5 時間)		個人票を完成させる(0.5 時間)	
3	施設の理解 (通所サービス)			介護保険制度や障害者総合支援法について調べる(0.5 時間)		授業内容を整理しておく(0.5 時間)	
4	実習に関する記録の意義と書き方			テキスト第 3 章第 14 講第 20 講を読んでおく(0.5 時間)		実習日誌を実際に書く(0.5 時間)	
5	介護実習 I の目的と目標の理解 個人目標の書き方			実習要綱の「介護実習 I」について読んでおく (0.5 時間)		個人目標を作成する (0.5 時間)	
6	プロセスレコード			プロセスレコードについて調べる (0.5 時間)		プロセスレコードを記入する(1 時間)	
7	カンファレンスの意義と運営方法			テキスト第 3 章第 34 講、第 35 講を読んでおく (0.5 時間)		カンファレンスの意義と運営方法について振り返る(0.5 時間)	
8	実習事前オリエンテーション・実習報告会について			テキスト第 4 章を読んでおく(0.5 時間)		実習後の行動について整理する(0.5 時間)	
9	介護実習 I 1 のふりかえり			介護実習 I 1 をふりかえり、まとめを記入する(1 時間)		実習報告会の準備を行う (0.5 時間)	
10	介護実習 I ①の学びを報告する (実習報告会)			実習報告会の準備を行う (0.5 時間)		実習報告会を振り返る(0.5 時間)	
11	施設の理解 (障害者支援施設、介護老人保健施設)			障害者支援施設、介護老人保健施設について調べる (1 時間)		ふりかえりを行う (0.5 時間)	
12	介護実習 I 2 の目標と個人目標			実習要綱「介護実習 I 2」を読んでおく(0.5 時間)		個人目標を作成する(1 時間)	
13	プロセスレコード・カンファレンスの確認			介護実習 I ①を思い出しプロセスレコードを記入する(0.5 時間)		プロセスレコード・カンファレンスについてふりかえる(0.5 時間)	
14	介護実習 I ②帰校日指導 中間カンファレンスの準備、記録の書き方の指導			これまでの実習記録等を整理しておく(0.5 時間)		中間カンファレンスの資料を作成する(0.5 時間)	
15	介護実習 I ②帰校日指導 最終カンファレンスの準備			これまでの実習記録等を整理しておく(0.5 時間)		最終カンファレンスの資料を作成する(0.5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	奈良佐保短期大学「25 期生 (2023 年度生) 介護実習要綱」 介護実習サポートブック：実習を乗り切るための 40 講	土屋昭雄編著	看護の科学新社	9784878041143			

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	(最新介護福祉士養成講座 10) 介護総合演習・介護実習 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883990	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	自己管理能力		30%	健康管理、時間管理（締切厳守）など	
	コミュニケーション能力		30%	リーダーシップ・メンバーシップ	
	課題解決力		40%	目標設定、提出物の内容および完成度など	
備考	実習要綱に定められたルールを守ること。 成績評価は介護実習 I と連動して行う。				
フィードバック	・課題に関するコメントは、翌週授業内もしくは classroom 内で行う。				

科目コード	1456	ナンバリング	FAA155	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	介護総合演習Ⅱ 1-福						
科目英語名	Care Synthesis ExerciseⅡ 1-福						
担当教員	武田 千幸／森田 婦美子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	介護実習Ⅰを振り返り、自己の課題を明確にします。 そして課題を克服するための目標設定を行い、介護実習Ⅱの準備学修をしていきます。						
学修成果到達目標	1. 介護実習Ⅰを振り返り、自己の課題や強みを明確にした上で介護実習Ⅱの目標設定ができる。 2. 高齢者施設のサービス内容や、そこで働く専門職の役割を理解することができる。 3. 介護実習に必要な記録物を的確な表現と専門用語で記入することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 介護実習Ⅰ②の振り返り・実習報告会の資料作成について	介護実習Ⅰ②の記録を整理しておく(0.5時間)		実習報告会資料を作成する(0.5時間)			
2	プロセスレコードの振り返り	実習Ⅰ②で記入したプロセスレコードを振り返る(0.5時間)		実習報告会資料を作成する(1.5時間)			
3	実習報告会について(発表と運営方法)	実習報告会資料を作成する(1時間)		発表の練習を行う(1時間)			
4	介護実習Ⅰ②実習報告会	発表の練習を行う(0.5時間)		実習報告会の振り返りレポートを記入する(0.5時間)			
5	介護実習Ⅱ・居宅介護実習の目的と目標の理解 個人目標の設定(介護実習Ⅱ・居宅介護実習)	実習要綱の介護実習Ⅱ・居宅介護実習の箇所を読んでおく(0.5時間)		実習の個人目標を考え記入する(1時間)			
6	実習記録の振り返り・事前学修について	介護実習Ⅰ②の記録を振り返り、一番よく書けたものを選ぶ(0.5時間)		実習記録を修正する(1時間)			
7	訪問介護サービスと訪問時のマナー	文献等で訪問介護について調べておく(1時間)		実習に向けて事前学修を進める(1時間)			
8	施設の理解「特別養護老人ホーム」「介護老人保健施設」 変則勤務(早出・遅出)について	文献等で施設サービスについて調べておく(1時間)		実習に向けて事前学修を進める(1時間)			
9	介護実習Ⅱオリエンテーション(レクリエーション・介護過程・カンファレンスほか)	実習要綱・テキストの実習に関する諸注意事項を読んでおく(0.5時間)		実習に向けて事前学修を進める(1時間)			
10	卒業研究発表会の参加	事例研究集を読み質問等を考えておく(0.5分)		卒業研究発表会を振り返りレポートを書く(0.5時間)			
11	介護現場における実践報告会の参加	事例研究集を読み質問等を考えておく(0.5時間)		発表を振り返りレポートを記入する(0.5時間)			
12	居宅介護実習オリエンテーション	実習要綱の居宅介護実習・実習に関する諸注意事項を読んでおく(0.5時間)		実習に向けて事前学修を進める(1時間)			
13	生活未来科成果報告会の参加(学外)	講演者に関する書籍・情報等を調べ事前準備をしておく(0.5時間)		成果報告会を振り返りレポートを記入する(0.5時間)			
14	介護実習Ⅱ帰校日指導① 中間カンファレンスの準備・レクリエーションの企画と準備	これまでの実習記録等を整理しておく(0.5時間)		中間カンファレンスの資料を作成する(1時間)			
15	介護実習Ⅱ帰校日指導② 最終カンファレンスの準備	これまでの実習記録等を整理しておく(0.5時間)		最終カンファレンスの資料を作成する(1時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	奈良佐保短期大学「25期生 (2022年度生)介護実習要綱」				
	介護実習サポートブック：実習 を乗り切るための40講	土屋昭雄編著	看護の科学新社	9784878041143	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座10) 介護総合演習・介護実習 第2 版	介護福祉士養成講 座編集委員会	中央法規出版	9784805883990	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	管理力		30%	実習に関わる用紙の(整理)管理、時間管理(締切厳守) など	
	コミュニケーション能力		30%	リーダーシップ・メンバーシップが発揮できているか	
	課題解決力		40%	目標設定、提出物の内容と完成度など	
備考	実習要綱に定められたルールを守ること。 成績評価は介護実習Ⅱと連動して行う				
フィード バック	・課題に関するコメントは、翌週授業内もしくは classroom 内で行う。				

科目コード	1461	ナンバリング	FAA230	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護総合演習Ⅲ 2-福						
科目英語名	Care Synthesis ExerciseⅢ 2-福						
担当教員	武田 千幸、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	介護実習Ⅱを振り返り、実習報告会での発表を通して自身の課題を明確にする。課題が克服できるように居宅介護実習および介護実習Ⅲに向けた準備学修を行う。						
学修成果到達目標	1. 介護実習Ⅱで得た学びを振り返り、自己の課題を克服するための実習目標を立てることができる。 2. 施設の変則勤務や多職種連携の必要性について理解し、説明できる。 3. 施設の安全対策の仕組みやヒヤリハット(事故報告書)の記録の意義を理解し、事故予防について説明できる。 4. 介護過程の展開を理解し、実践できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	介護実習Ⅱのふりかえり 実習報告会に向けて①(グループワーク)			介護実習Ⅱの記録をふりかえる(0.5時間)		報告会の資料の作成準備をする(0.5時間)	
2	介護実習Ⅱのふりかえり 実習報告会に向けて②(グループワーク)			報告会に向けた準備を行う(0.5時間)		報告会に向けた準備を行う(0.5時間)	
3	介護実習Ⅱ報告会①			報告会に向けた準備を行う(0.5時間)		各施設に報告に対して感想を述べる(0.5時間)	
4	介護実習Ⅱ報告会②			報告会に向けた準備を行う(0.5時間)		各施設に報告に対して感想を述べる(0.5時間)	
5	居宅介護実習の目的・目標・自己の課題 個人目標の作成			実習要綱「居宅介護実習」の部分を読む(0.5時間)		個人目標を作成する(0.5時間)	
6	介護実習Ⅲの目的・目標・自己の課題 (個人目標の作成)			実習要綱「介護実習Ⅲ」の部分を読む(0.5時間)		個人目標を作成する(0.5時間)	
7	訪問介護とは			訪問介護に関する法律を調べる(0.5時間)		訪問介護の業務の流れを調べる(0.5時間)	
8	介護実習Ⅲに向けての検討 (図書館講座)			介護に関する理論や概念を復習する(0.5時間)		興味のある文献を選定する(0.5時間)	
9	文献レポート作成			文献を読み、重要箇所を見つける(0.5時間)		文献を読み、レポートを作成する(0.5時間)	
10	介護実習Ⅲに向けて① リスクマネジメント・多職種連携 ヒヤリハット報告書			介護の基本Ⅱで学んだリスクマネジメントについて振り返る(0.5時間)		ヒヤリハット報告書を記入する(0.5時間)	
11	介護実習Ⅲに向けて② 夜勤・早出・遅出等変則勤務について			介護施設の働き方について調べる(0.5時間)		実習に向けた準備を行う(0.5時間)	
12	介護実習Ⅲに向けた学内オリエンテーション① カンファレンス実施			カンファレンスの進行方法を復習する(0.5時間)		カンファレンス記録をまとめる(0.5時間)	
13	介護実習Ⅲに向けた学内オリエンテーション2			実習施設の特徴を調べる(0.5時間)		記録物の確認・事前準備を行う(0.5時間)	
14	帰校日指導(介護実習Ⅲ) 介護過程の指導			情報収集シートを記入する(0.5時間)		アセスメントを行う(0.5時間)	
15	帰校日指導(介護実習Ⅲ) カンファレンスの準備			実習目標・実習内容をふりかえる(0.5時間)		カンファレンス資料を作成する(0.5時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	24期生(2022年度入学)介護実習要綱	奈良佐保短期大学					
	介護実習サポートブック:実習を乗り切るための40講	土屋昭雄編著	看護の科学社	9784878041143			

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	(最新介護福祉士養成講座 10) 介護総合演習・介護実習 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883990	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		50%	受講姿勢、実習に向けての取り組みに対する態度を評価する	
	提出物・発表内容・発表スキル		50%	提出物の内容、発表内容、発表スキルについて評価する	
備考	介護実習要綱に掲載している「実習要件」科目であるため、無欠席が原則となる				
フィードバック	各自の進捗状況に応じ、授業時に適宜指導する。 提出物は教員が確認して翌週に返却する。				

科目コード	1465	ナンバリング	FAA265	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	介護総合演習Ⅳ 2-福						
科目英語名	Care Synthesis ExerciseⅣ 2-福						
担当教員	武田 千幸、森田 婦美子、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	これまで学内で学んだ知識や技術を活かし、介護実習での学修内容を統合する。理論や概念と照らし合わせながら事例研究を進めることで、論理的思考力を養う。						
学修成果到達目標	1. 介護実習Ⅲを振り返ることにより、自己の課題を明確にできる 2. 介護研究の概要を理解し、事例研究を実践することができる 3. 介護福祉士として、自己の介護観が構築できる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	介護実習Ⅲ まとめとふりかえり			介護実習Ⅲの記録をふりかえる (0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
2	介護過程の展開について			介護実習Ⅲの記録をふりかえる (0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
3	事例研究の意義と目的			昨年度的事例研究集に目を通す (0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
4	事例研究の進め方			事例研究について調べる(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
5	事例研究論文の執筆			介護実習Ⅲの記録をふりかえり、 執筆準備を行う (0.5 時間)		事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)	
6	事例研究論文の個別指導			事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		指導を踏まえ、事例研究論文の執筆を続ける(0.5 時間)	
7	事例研究論文の校正			事例研究論文の執筆を続ける (0.5 時間)		校正箇所を確認し、事例研究論文の執筆を続ける(0.5 時間)	
8	発表原稿の作り方・個別指導			事例研究論文をふりかえる(0.5 時間)		発表原稿を完成させる(0.5 時間)	
9	発表スライドの作り方・個別指導			発表原稿をもとに、スライドのイメージを考える(0.5 時間)		指導を踏まえ、スライドの作成を続ける (0.5 時間)	
10	発表原稿とスライドの作成・個別指導			スライドの作成を続ける (0.5 時間)		スライドを完成させる(0.5 時間)	
11	事例研究発表① 生活福祉コース発表			発表の準備を行う (0.5 時間)		発表をふりかえる (0.5 時間)	
12	事例研究発表 2 介護現場における実践報告および事例研究			事例研究集に目を通す(0.5 時間)		発表をふりかえる(0.5 時間)	
13	国家試験対策 (領域：人間と社会))			国家試験に向けての受験勉強を行う(0.5 時間)		国家試験に向けての受験勉強を行う(0.5 時間)	
14	国家試験対策 (領域：介護)			国家試験に向けての受験勉強を行う(0.5 時間)		国家試験に向けての受験勉強を行う(0.5 時間)	
15	国家試験対策(領域：こころとからだのしくみ、医療的ケア)			国家試験に向けての受験勉強を行う(0.5 時間)		国家試験に向けての受験勉強を行う(0.5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	24 期生 (2022 年度入学) 介護実習要綱	奈良佐保短期大学					
	介護実習サポートブック：実習を乗り切るための 40 講	土屋昭雄編著	看護の科学社	9784878041143			

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	介護福祉を学ぶ学生のための事例研究	柗崎京子	久美出版	9784861891564	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		50%	受講姿勢、積極性、事例研究論文に対する取り組み姿勢について評価する	
	提出物・発表内容・発表スキル		50%	提出物の内容、発表内容・発表スキルについて評価する	
備考	受身ではなく自ら考え行動する、主体的な姿勢をもって授業に臨んでください。				
フィード バック	各自の進行状況に応じ、授業時に担当教員が適宜指導する。 各回の授業終了時提出された課題は、担当教員が確認して次の授業時までにはコメント・修正する				

科目コード	1472	ナンバリング	FAA125	単位数	3 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護実習 I 1-福						
科目英語名	Care Training I						
担当教員	武田 千幸、森永 夕美、森田 婦美子、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>【介護実習 I 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が利用している通所系サービスについて理解する。 ・利用者の生活の場である介護現場において、利用者とのコミュニケーションを実践し、介護対象について理解を深める。 <p>【介護実習 I 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活の場である介護現場を理解する。 ・利用者とのコミュニケーションを図ったり、表情や行動を観察したりして、利用者の願いや思いに気づく。 ・利用者に対する基本的な日常生活支援について見学し、利用者一人ひとりに応じた生活支援技術について理解する。 						
学修成果到達目標	<p>【介護実習 I 1】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険における通所サービスの役割について説明できる。 2. 利用者とのコミュニケーションを図り、利用者の日常生活の楽しみについて説明できる。 <p>【介護実習 I 2】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の暮らしの場である施設の特徴について説明できる。 2. 場面に応じた適切な生活支援技術（コミュニケーション技術）について説明できる。 3. 利用者の暮らしや生活歴の違い・生活上の楽しみなど「その人らしさ」を尊重できる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<p>【介護実習 I ①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所介護または通所リハビリにて、5 日間の実習を行う。 ・1 日の実習時間は、原則 8 時間（休憩は含まない）とする。 ・日々目標を立て、その日のうちに実習記録に記入し、当日あるいは翌日に提出する。 <p>【介護実習 I ②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設または障害者施設にて、10 日間の実習を行う。 ・1 日の実習時間は、原則 8 時間（休憩は含まない）とする。 ・最終カンファレンスの実施。 ・日々目標を立て、その日のうちに実習記録に記入し、当日あるいは翌日に提出する。 <p>※実習期間のうち 1 日間の帰校日を設定する。</p>			<ol style="list-style-type: none"> 1. 指定された回数のボランティア活動記録を提出する。 2. 事前学習について、指定された期限までに提出する。 3. 個人目標を立てる。 4. 施設にて事前オリエンテーションを受け、報告書を作成提出する。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習のまとめを記入する。 2. 実習終了後 1 週間以内に実習巡回担当教員と面談し、自己評価をする。 3. 実習記録を提出する。 		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	奈良佐保短期大学 「25 期生 (2023 年度生) 介護実習要綱」						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	介護実習サポートブック 実習を乗り切るための 40 講	白氏幸久監修 土屋昭雄編著	看護の科学新社	9784878041143			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	実習評価①	30%	施設実習指導者のルーブリック評価				
	実習評価②	30%	巡回担当教員のルーブリック評価				
	提出物	40%	実習に関わる記録物の内容および期日を遵守できたかなど				

備考	介護実習Ⅰを履修するには、実習要綱に定められた「実習に行くための要件」を全て満たしていることが必要です。
フィードバック	実習中、担当教員が実習施設を巡回し、指導を行う。 実習終了後に巡回担当教員を面談を実施する。 実習報告会を開催し、振り返りを行う。

科目コード	1478	ナンバリング	FAA160	単位数	4 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	介護実習Ⅱ 1-福						
科目英語名	Care Training Ⅱ						
担当教員	武田 千幸、森永 夕美、森田 婦美子、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援技術を実践・評価し、利用者の状況に適した技術を習得する。 介護過程を実践し、利用者の生活課題の導き方を学ぶ。 利用者の生活における余暇時間のあり方を学ぶ。 利用者の生活の場である介護現場を理解し、利用者支援について他職種との連携のあり方を学ぶ。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 利用者の個別性に応じた生活支援技術およびコミュニケーション技術が実践できる。 受け持ち利用者について「その人らしさ」を理解したうえで、生活課題を導き出せる。 利用者の生活リズムを把握し、生活の質を向上するための余暇活動の支援ができる。 他職種の役割や、多職種間の連携・協働の意義を説明できる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<ul style="list-style-type: none"> 介護老人保健施設または介護老人福祉施設にて 20 日間実習を行う。 1 日の実習時間は原則 8 時間（休憩時間は含まない）とする。 日々目標を立案し、その日のうちに実習記録を記入し、当日もしくは翌日に提出する。 中間カンファレンス、最終カンファレンスの実施。 変則勤務（早出・遅出）の実施。 課題 <ol style="list-style-type: none"> プロセスレコード レクリエーションの企画・実践・評価 介護過程（生活課題の抽出まで） 			<ol style="list-style-type: none"> 指定された回数のボランティア活動記録を提出する。 事前学習について、指定された期限までに提出する。 実習個人目標を立案する。 施設オリエンテーションを受け、報告書を作成・提出する。 	<ol style="list-style-type: none"> 実習のまとめを記入する。 実習終了後 1 週間以内に巡回担当教員と面談し、自己評価を行う。 記録ファイルを提出する。 		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	奈良佐保短期大学「25 期生 (2023 年度生) 介護実習要綱」						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	介護実習サポートブック 実習を乗り切るための 40 講	白氏幸久監修 土屋昭雄編著	看護の科学新社	9784878041143			
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	実習評価①		30%	施設実習指導者ルーブリック評価			
	実習評価②		30%	巡回担当教員ルーブリック評価			
	実習準備		40%	事前学習や実習目標の内容や期限など			
備考	実習Ⅱを履修するには、介護実習要綱に定められた「実習に行くための要件」を全て満たしていること。						
フィードバック	<p>実習中、担当教員が実習施設を巡回し指導を行う。</p> <p>中間カンファレンス・最終カンファレンスには、学生、実習指導者、巡回担当教員が参加し実習の振り返り、まとめを行う。</p> <p>実習終了後に巡回担当教員と面談を行う。</p> <p>実習報告会を開催し、振り返りを行う。</p>						

科目コード	1481	ナンバリング	FAA235	単位数	4 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護実習Ⅲ 2・福						
科目英語名	Care Training III						
担当教員	武田 千幸、森永 夕美、森田 婦美子、久保田 寛						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護過程を展開し、個別介護計画の立案・実施・評価のサイクルを学ぶ ・生活支援技術を実施・評価し、利用者の状況に適した技術を習得する ・利用者の支援におけるリスクマネジメントを学ぶ ・介護に携わる者がもつべき職業倫理を学ぶ ・介護福祉士が行う医療的ケアについて学ぶ [居宅介護実習] <ul style="list-style-type: none"> ・施設介護と居宅介護の相違点を明確にし、自宅で生活する高齢者とその家族の実態を把握し、ニーズに対応した介護サービスについて学ぶ 						
学修成果到達目標	1. 受け持ち利用者について「その人らしさ」を理解した介護過程が展開できる 2. 利用者の個別性を理解し、根拠に基づいた生活支援技術を適切に提供できる 3. 施設におけるリスクマネジメントの基本的考え方を理解し、専門職としての役割と責任について説明できる 4. 介護福祉士が行う医療的ケアの意義について理解している [居宅介護実習] <ol style="list-style-type: none"> 1. 居宅介護事業所の概要が説明できる 2. 在宅と施設での生活支援技術の違いを説明できる 3. 在宅で生活する利用者の情報収集を行い、「その人らしい」くらしの在り方を理解している 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	* 高齢者施設・障がい者施設において、20 日間の実習を行う * 20 日間の実習期間中に、夜勤実習を 1 回行う * 中間および最終カンファレンスを開催し、指導を受ける * 介護過程の展開の実施と評価を行い、指導を受ける <介護過程の展開の目安> 1 週目；受け持ち利用者を決め、情報収集を行う 2 週目；受け持ち利用者のアセスメントからニーズを導き出す 3 週目；受け持ち利用者の介護計画を立案する 4 週目；受け持ち利用者の介護計画を実施し評価する 【居宅介護実習】 * 訪問介護、通所介護、認知症対応型共同生活介護など居宅介護サービス事業所において、2 日間（8～9 月）の実習を行う			実習先となる施設について調べる（根拠法・制度・施設の概要等） 利用者の生活してきた時代背景を調べる 授業で学んだ内容を整理する 受け持ちたい利用者について考え、事前学習を行う（疾病・障害等）	介護過程の展開をふりかえる 生活支援技術についてふりかえる 施設におけるリスクマネジメントについて、学んだことをふりかえる		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	24 期生（2022 年度入学）介護実習要綱	奈良佐保短期大学					
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	実習評価①	40%	施設実習指導者のルーブリック評価				
	実習評価②	40%	巡回担当教員のルーブリック評価				
	提出物	20%	実習に関わる記録物の内容、期限を守ることができたかを評価する				
備考							
フィードバック	実習中、担当教員が実習施設を巡回し指導を行う。 中間カンファレンス・最終カンファレンスには、学生、実習指導者、巡回担当教員が参加し実習の振り返り・まとめを行う。 実習終了後に巡回担当教員と事後面談を行う。						

科目コード	1500	ナンバリング	FAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	発達と老化の理解 I 1-福・2-BC							
科目英語名	Theory on Development and Aging I 1-福・2-BC							
担当教員	吉田 裕司							
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目							
学修内容	介護に必要な加齢医学について学ぶ。							
学修成果到達目標	生涯発達理論に基づき、老化や疾患の理解を通して、介護のあり方を考えられる。 特に高齢者に多い疾患、介護が重要な役割を担う疾患について理解し説明できる。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	加齢にともなう身体の変化			講義スライド 1 の予習をする(1 時間)		レポート課題 1 をする(3 時間)		
2	高齢者の疾病の特徴			講義スライド 2 の予習をする(1 時間)		レポート課題②をする(3 時間)		
3	高血圧と動脈硬化			講義スライド 3 の予習をする(1 時間)		レポート課題③をする(3 時間)		
4	脳卒中			講義スライド 4 の予習をする(1 時間)		レポート課題④をする(3 時間)		
5	心臓病			講義スライド 5 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑤をする(3 時間)		
6	心不全・呼吸不全			講義スライド 6 の予習をする(1 時間)		レポート課題 6 をする(3 時間)		
7	糖尿病と合併症			講義スライド 7 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑦をする(3 時間)		
8	脂質異常症・痛風・その他内分泌疾患			講義スライド 8 の予習をする(1 時間)		レポート課題 8 をする(3 時間)		
9	慢性腎臓病			講義スライド 9 の予習をする(1 時間)		レポート課題 9 をする(3 時間)		
10	消化器系疾患			講義スライド 10 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑩をする(3 時間)		
11	骨・関節系の疾患			講義スライド 11 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑪をする(3 時間)		
12	神経系疾患			講義スライド 12 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑫をする(3 時間)		
13	神経・筋疾患			講義スライド 13 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑬をする(3 時間)		
14	感染症とその予防			講義スライド 14 の予習をする(1 時間)		レポート課題⑭をする(3 時間)		
15	まとめとふりかえり			これまで学んだレポート課題①～⑭の復讐をしておく(4 時間)		0 時間		
試 験								
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	(最新介護福祉士養成講座 12) 発達と老化の理解 第 2 版		介護福祉士養成講座編集委員会		中央法規出版		9784805884010	
	図解・症状からみる老いと病気とからだ		高橋龍太郎		中央法規出版		9784805822548	

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講姿勢		10%	13回のレポートがそれぞれ、講義中に提示した内容を満たしているかどうかで採点する。	
	理解度		90%	実力試験の得点で評価する。	
備考					
フィード バック					

科目 コード	1501	ナンバリング	FAC205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	発達と老化の理解Ⅱ 2-福						
科目英語名	Theory on Development and Aging Ⅱ 2-福						
担当教員	七田 つたえ						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	人間の成長と発達の過程における様々な変化および老化が生活に及ぼす影響を理解し、ライフサイクルの特徴に応じた生活を支援するために必要な気基礎的知識を修得する。						
学修成果 到達目標	1. 人間の成長と発達に関する基本的な考え方を述べるができる。 2. ライフサイクル各期の特徴や発達課題を踏まえた上で、それぞれの段階で必要とされる生活支援について述べるができる。 3. 老化に伴う様々な変化や高齢者に多くみられる疾病が及ぼす生活への影響を踏まえた上で、老年期にある人へのヘルスプロモーションを示すことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 人間における成長と発達			これまでの人生におけるターニングポイントを想起し、記録する(2時間)		ライフラインチャートを完成させる(2時間)	
2	ライフサイクル論① 発達理論、代表的な発達段階説、各発達段階にみられる疾病や障害			エリクソンの発達段階説について調べる(2時間)		エリクソンの発達段階説についてまとめる(2時間)	
3	ライフサイクル論② 子ども編:疾病や障害、発達(運動機能、社会性、ことば)			ハヴィガーストの発達課題について調べる(2時間)		ハヴィガーストの発達課題についてまとめる(2時間)	
4	ライフサイクル論③ 子ども編:愛着の発達			フロイト、ピアジェの発達段階説について調べる(2時間)		フロイト、ピアジェの発達段階説についてまとめる(2時間)	
5	ライフサイクル論④ 高齢者編:老年期の定義、ライフイベント(喪失)			ライチャードの高齢者の人格分類について調べる(2時間)		ライチャードの高齢者の人格分類についてまとめる(2時間)	
6	ライフサイクル論⑤ 高齢者編:老化とは 老化の特徴(統計からの考察:寿命、高齢化率、死因順位、介護が必要となる疾患)			胎生期~老年期、それぞれの特徴をまとめる(2時間)		胎生期~老年期、それぞれの特徴を追加する(2時間)	
7	ライフサイクル論⑥ 高齢者編:老化の特徴(サルコペニア、フレイル、ロコモティブシンドローム、廃用症候群)			加齢による身体的変化について調べる(2時間)		加齢による身体的変化についてまとめる(2時間)	
8	人が老いるとは:加齢に伴う生理機能の変化(記憶、流動性知能と結晶性知能)			加齢による心理的变化について調べる(2時間)		加齢による心理的变化についてまとめる(2時間)	
9	人が老いるとは:身体的機能の変化1 a:骨・関節・筋系 脳神経系			加齢による社会的・スピリチュアル的变化について調べる(2時間)		加齢による社会的・スピリチュアル的变化についてまとめる(2時間)	
10	人が老いるとは:身体的機能の変化② c: 感覚器系			加齢により日常生活のどの部分に影響が出るのかを書き出す(2時間)		加齢により日常生活のどの部分に支援が必要なのかをまとめる(2時間)	
11	人が老いるとは:加齢に伴う身体的機能の変化③ d: 循環器系			老年期の「喪失」について調べる(2時間)		老年期の「喪失」が及ぼすその後の人生への影響についてまとめる(2時間)	
12	人が老いるとは:加齢に伴う身体的機能の変化4 e:呼吸器系			障害受容のプロセスについて調べる(2時間)		何らかの疾病や障がいを持ちながら生活する高齢者への支援についてまとめる(2時間)	

13	人が老いるとは:加齢に伴う身体的機能の変化⑤ f: 消化器系 g:腎・泌尿器系	プロダクティブエイジングやサクセスフルエイジングについて調べる(2時間)	自身のサクセスフルエイジングのために活用できる資源についてまとめる(2時間)		
14	人が老いるとは:加齢に伴う身体的機能の変化⑥ h: 内分泌系 i:免疫系	ヘルスプロモーションについて調べる(2時間)	高齢者のヘルスプロモーションに必要な要素についてまとめる(2時間)		
15	授業まとめ テキストの演習課題 レポート『老いに寄り添う介護者として』	これまでの資料全てを再読しておく(2時間)	自身の介護観を書き出す(2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 12) 発達と老化の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884010	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	筆記試験		60%	定期試験	
	授業態度		10%	積極性、出席率、提出物の期限など	
	課題提出		30%	期限厳守	
備考					
フィードバック	小テストや課題は、次回の講義時に返却する。返却の際、補足説明およびコメントする。				

科目コード	1515	ナンバリング	FAC125	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	認知症の理解 I 1-福						
科目英語名	Study of Dementia I 1-福						
担当教員	森田 婦美子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 医学的また心理的側面から認知症の基礎を理解し、認知症の人の生活支援において根拠となる知識を学ぶ。 2. 認知症の人の特徴的な心理や行動を理解し、ケアのあり方を考える。						
学修成果到達目標	1. 認知症の原因となる主な疾病や、認知症の中核症状や行動心理症状を説明できる。 2. 認知症の人との関わり方の基本について説明できる。 3. 環境の変化が認知症の人へ与える影響について説明できる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	ガイダンス 認知症のとらえ方（グループワーク）		認知症の特徴を調べる(2時間)		認知症の初期症状やもの忘れとの違いについてまとめる(2時間)		
2	認知症とは何か 認知症を理解するための法則や原則		認知症に対して持つイメージを文章化する(2時間)		認知症の定義についてまとめる(2時間)		
3	脳のしくみ		解剖学的な脳の学習を調べる(2時間)		脳の部位別に特徴をまとめる(2時間)		
4	認知症の原因疾患1 アルツハイマー型認知症		アルツハイマー型認知症について調べる(2時間)		初期症状や特徴についてまとめる(2時間)		
5	認知症の原因疾患② 血管性認知症		血管性認知症について調べる(2時間)		初期症状や特徴についてまとめる(2時間)		
6	認知症の原因疾患③ レビー小体型認知症 前頭側頭型認知症		レビー小体型認知症・前頭側頭型認知症を調べる(2時間)		初期症状や特徴についてまとめる(2時間)		
7	認知症の原因疾患④ クロイツフェルト・ヤコブ病 治る認知症に分類されるもの		クロイツフェルト・ヤコブ病について調べる(2時間)		初期症状や特徴についてまとめる(2時間)		
8	認知症の症状① 中核症状		中核症状について調べる(2時間)		症状毎の対応についてまとめる(2時間)		
9	認知症の症状2 BPSD		BPSDについて調べる(2時間)		症状毎の関連因子についてまとめる(2時間)		
10	認知症の診断と重症度		HDS-R・MMSEについて調べる(2時間)		各診断方法の特徴をまとめる(2時間)		
11	認知症と薬物療法		認知機能改善薬について調べる(2時間)		それぞれの薬剤の特徴についてまとめる(2時間)		
12	認知症と非薬物療法		回想法について調べる(2時間)		非薬物療法がもたらす効果についてまとめる(2時間)		
13	認知症と間違いやすい病態 うつ せん妄		うつ・せん妄の症状の特徴について調べる(2時間)		それぞれ鑑別のポイントについてまとめる(2時間)		
14	事例検討① (グループワーク)		これまでの講義資料を振り返る(2時間)		グループ発表に向けた準備をする(2時間)		
15	事例検討② (プレゼンテーション) まとめとふりかえり		グループ発表に向けて準備をする(2時間)		認知症の人に対する介護観をまとめる(2時間)		
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	(最新介護福祉士養成講座 13) 認知症の理解 第2版	介護福祉士養成講座 編集委員会	中央法規出版	9784805884027	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(介護ライブラリー) 完全図解 新しい認知症ケア 介護編	三好春樹	講談社	9784062824583	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	筆記試験		70%	定期試験	
	授業内での討議 (グループディスカッション、グループワーク)		30%	リーダーシップ・メンバーシップ、コミュニケーション能力、成果物の内容	
備考					
フィードバック					

科目コード	1520	ナンバリング	FAC200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	認知症の理解Ⅱ 2-福						
科目英語名	Study of Dementia Ⅱ 2-福						
担当教員	森田 婦美子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	認知症の理解Ⅰで学んだ基礎的知識をもとに、様々な認知症ケアモデルを理解し、尊厳を重視した介護を行うための基礎的能力を養う。 講義、グループ学習やディスカッションを通して認知症介護への理解を深める。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知症ケアの歴史を学んだうえで、これからの認知症ケアに求められることをレポートにまとめることができる。 2. 認知症ケアモデル・概念それぞれの特徴を説明することができる。 3. わが国の若年性認知症のある人への支援について、現状と課題を説明することができる。 4. 地域における認知症のある人への制度やサポート体制について、現状と課題を説明することができる。 						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	認知症の理解Ⅰのふりかえり 認知症の予防		認知症の危険因子について調べる(2時間)		認知症の予防法をまとめる(2時間)		
2	認知症ケアの歴史 認知症ケアの理念と視点		認知症の歴史についての外観を調べる(2時間)		認知症ケアにおける過去と現在についてまとめる(2時間)		
3	これまでを踏まえ、これからの認知症ケアを考える(グループワーク)		認知症ケアの基本について調べる(2時間)		グループ課題を完成させる(2時間)		
4	パーソン・センタード・ケア 様々なアセスメントツール		パーソン・センタード・ケアの外観を調べる(2時間)		アセスメントツールそれぞれの特徴をまとめる(2時間)		
5	認知症の人とのコミュニケーション 認知症の人へのケア		基本のコミュニケーション技法を復習する(2時間)		認知症ケアの特徴についてまとめる(2時間)		
6	認知症の人への様々なアプローチ		ユマニチュードやバリデーションについて調べる(2時間)		状況に応じたアプローチ方法についてまとめる(2時間)		
7	認知症ケアを考える (グループワーク)		講義4・5・6の内容を復習する(2時間)		グループ課題を完成させる(2時間)		
8	認知症とエンド・オブ・ライフケア		EOLの概念について調べる(2時間)		認知症を患う利用者のEOL期の特徴についてまとめる(2時間)		
9	認知症ケアにおける環境づくりの重要性		環境が人間に及ぼす影響について調べる(2時間)		環境が認知症を患う利用者に与える影響についてまとめる(2時間)		
10	MCI 若年性認知症		MCIの概念について調べる(2時間)		MCIおよび若年性認知症の特徴についてまとめる(2時間)		
11	家族支援(レスパイトケア) 介護者支援		レスパイトケアについて調べる(2時間)		認知症を患う利用者を介護する家族の悩みについてまとめる(2時間)		
12	認知症の人の地域生活支援① 制度等		認知症に関わる様々な制度について調べる(2時間)		認知症に関連する様々な制度の特徴についてまとめる(2時間)		
13	認知症の人の地域生活支援② 地域包括ケア等		地域包括支援センターの概要について調べる(2時間)		認知症を患う利用者を地域で支える取り組みについてまとめる(2時間)		
14	事例検討 ①グループワーク		今までの事後学修等でまとめたものを確認する(2時間)		グループでロールプレイが実施できるように、グループ間の調整をする(2時間)		

15	事例検討 ②グループワーク発表 まとめとふりかえり	グループでの発表準備をする(2時間)			授業全体を振り返り、定期試験に備える(2時間)
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 13) 認知症の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884027	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	BPSD を改善パーソンセンタードケア事例集	下山久之	日総研	9784776017615	
	みえる認知症ケア	宮島渡編	中央法規出版	9784805858486	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	筆記試験	60%	定期試験		
	授業内での討議 (グループディスカッション、グループワーク)	40%	リーダーシップ・メンバーシップ、コミュニケーション能力、発表内容		
備考					
フィードバック	毎回の授業で課題は評価し、小テストは Google Forms 活用にて即時採点および補足説明を行う。				

科目 コード	1525	ナンバリング	FAC105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	障害の理解 I 1-福						
科目英語名	Study of People with Disabilities I 1-福						
担当教員	久保田 寛						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 介護福祉士が障害のある人と向き合うための基本的な知識として、障害の概念、障害者福祉の基本理念、障害者福祉制度について学ぶ。</p> <p>2. 障害のある人の地域生活を支えるさまざまな社会資源・関係機関との連携、関係職種とのチームアプローチのあり方を学ぶ。</p> <p>3. 障害のある人を支える家族支援のあり方について学ぶ。</p>						
学修成果 到達目標	<p>1. 障害の概念や、障害の特性に応じた制度の基礎的な知識を理解し、説明できる。</p> <p>2. 障害のある人の生活を地域で支えるサポート体制、多職種連携・協働による支援を理解し、説明できる。</p> <p>3. 障害のある人を支える家族の課題を理解し、家族の受容段階や介護力に応じた支援につなぐことができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 障害の概念 (障害の基礎的理解)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
2	障害者福祉の基本理念①(ノーマライゼーション・リハビリテーション)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
3	障害者福祉の基本理念②(エンパワメント・ストレンガス)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
4	障害者福祉の基本理念3(国際障害者年、障害者権利条約、アドボカシー)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
5	障害者福祉に関連する制度①(障害者総合支援法)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
6	障害者福祉に関連する制度②(障害者差別解消法・障害者虐待防止法)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
7	障害者福祉に関連する制度③(障害者の就労支援・成年後見制度)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)			
8	障害者福祉制度と介護保険制度	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。			

		おく(2時間)	授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
9	障害者の経済的支援(障害者の所得保障等の制度)	配布資料を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)	配布資料や参考書を基にして、授業内容を振り返る。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
10	連携と協働①(地域のサポート体制)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
11	連携と協働②(地域生活支援拠点との連携)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
12	連携と協働3(チームアプローチ)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
13	家族への支援1(障害のある人の家族への支援)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
14	家族への支援②(家族の介護力の評価・家族の介護力を踏まえた支援)	教科書の該当箇所を読んでおく。 分からない単語は意味を調べておく(2時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を振り返る。 授業中に伝えた重要なポイントは説明できるようにしておく(2時間)		
15	ふりかえりとまとめ	今までの配布資料・教科書・参考書を整理してまとめておく(2時間)	授業全体を振り返り定期試験の準備を行う(2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座14) 障害の理解 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805884034	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座8) 生活支援技術Ⅲ 第2版	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版	9784805883976	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	40%	授業内容の理解度を評価する。		
	授業態度	30%	授業を受ける姿勢と態度を評価する。		
	レポート	30%	演習での気づきや学びを評価する。		

備考	厚生労働省のホームページを閲覧し、障害者福祉分野のトピックスを確認しておく。
フィードバック	提出されたレポートについては、添削した上で次の授業のときに所見を述べて返却する。

科目 コード	1530	ナンバリング	FAC130	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	障害の理解Ⅱ 1-福						
科目英語名	Study of People with Disabilities Ⅱ 1-福						
担当教員	小田 容子						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必須科目						
学修内容	障害種別ごとの医学的・心理的側面の基礎的な知識を学び、障害のある人のライフステージや特性に応じた支援、他職種連携と協働、家族への支援について学ぶ。						
学修成果 到達目標	1. 障害の医学的・心理的側面の基礎的理解ができる。 2. 障害のある人の特性を踏まえ、機能の変化が生活に及ぼす影響を理解することができる。 3. 本人、家族や周囲の環境への支援を理解するための基礎的な知識を修得する。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	障害のある人の心理			教科書第 2 章第 1 節を読む(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
2	肢体不自由			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
3	視覚障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
4	聴覚・言語障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
5	重複障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
6	内部障害①			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
7	内部障害②			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
8	内部障害③			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
9	重症心身障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
10	知的障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
11	精神障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
12	高次脳機能障害			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)		
13	発達障害			指定された教科書の範囲を読み	配布資料や教科書を基にし		

		理解を深める(1時間)	て、授業内容を復習する(3時間)		
14	難病①	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
15	難病②	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 14) 障害の理解 第2版		中央法規出版	9784805884034	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 8) 生活支援技術Ⅲ 第2版		中央法規	9784805883976	
	見て覚える！介護福祉士国試ナビ		中央法規	9784805883167	
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	50%	授業内容を理解できているか評価する		
	小テスト・課題レポート	50%	授業内容を理解できているか評価する		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・配布プリントは、毎回持参してください。 ・授業終了後に重要な箇所のノートまとめを行うこと。(ノートはA4のルーズリーフノートを使用すること。) 				
フィード バック					

科目 コード	1540	ナンバリング	FAC100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	解剖生理学 1-福・2-BC						
科目英語名	Anatomy and Physiology 1-福・2-BC						
担当教員	小田 容子						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目 医事実務士および医療秘書実務士資格の必修科目						
学修内容	1. 介護実践に必要な観察力、判断力の基盤となるからだのしくみについて学ぶ。 2. 人体構造と機能の基礎的な知識について学ぶ。 3. 加齢による身体機能の変化について学ぶ。						
学修成果 到達目標	1. 生命維持と恒常性の仕組みが理解できる。 2. 生活支援技術に必要な人体構造・機能が理解できる。 3. 加齢による身体機能の変化について理解できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	からだのつくりの理解①	教科書第 2 章第 1 節を読む(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
2	からだのつくりの理解②	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
3	筋・骨格系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
4	脳・神経系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
5	感覚器 (眼)	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
6	感覚器 (耳、皮膚、舌)	指定された教科書の範囲を読み理解を深める (1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
7	呼吸器系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
8	消化器系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
9	循環器系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
10	腎・泌尿器・生殖器系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める (1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
11	血液・内分泌系	指定された教科書の範囲を読み理解を深める (1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
12	生命を維持と恒常性のしくみ	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			
13	心身の調和	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1 時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3 時間)			

14	生命を維持する徴候の観察	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
15	介護福祉職に必要な薬の知識	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座11) ころとからだのしくみ第2版		中央法規出版	9784805884003	
	看護・介護に役に立つ高齢者の体の変化と病気がわかる解剖生理学		ナツメ社	9784816369315	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	見て覚える！介護福祉士国試ナビ		中央法規	9784805883167	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		50%	授業内容を理解できているか評価する	
	小テスト・課題レポート		50%	授業内容を理解できているか評価する	
備考	医療の基本的な授業です。慣れない言葉が多くありますが、毎回、復習しながら授業を進めていきます。分からない事があれば、授業中に質問して解決しましょう。配布プリントは、毎回持参してください。				
フィードバック					

科目 コード	1541	ナンバリング	FAC115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生活援助方法論 1-福						
科目英語名	Life support methodology 1-福						
担当教員	小田 容子						
資格・免許 との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 生活支援（移動、食事、身じたく、排泄、入浴・清潔保持、休息・睡眠）を行う際の基礎的な知識として、生活支援の場面に応じたところとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について学ぶ。</p> <p>2. 人生最終段階にある人と家族を支援するため、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識、医療職との連携について学ぶ。</p>						
学修成果 到達目標	<p>1. 生活支援に関連したところとからだのしくみを理解できる。</p> <p>2. 心身の機能低下が生活支援に及ぼす影響について理解できる。</p> <p>3. 利用者の変化の気づきと対応について理解できる。</p> <p>4. 終末期における医療職との連携について理解できる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	健康とは			教科書序章を読む(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
2	高齢者のこころのしくみ			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
3	身じたくに関連したところとからだのしくみ①			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
4	身じたくに関連したところとからだのしくみ②			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
5	移動に関連したところとからだのしくみ①			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
6	移動に関連したからだところのしくみ②			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
7	食事に関連したところとからだのしくみ①			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
8	食事に関連したところとからだのしくみ②			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
9	入浴に関連したところとからだのしくみ1			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
10	入浴に関連したところとからだのしくみ②			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	
11	排泄に関連したところとからだのしくみ①			指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)		配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)	

12	排泄に関連したところとからだのしくみ2	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
13	睡眠に関連したところとからだのしくみ	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
14	終末期に関連したところとからだのしくみ①	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
15	終末期に関連したところとからだのしくみ②	指定された教科書の範囲を読み理解を深める(1時間)	配布資料や教科書を基にして、授業内容を復習する(3時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座11) ところとからだのしくみ第2版		中央法規出版	9784805884003	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座8) 生活支援技術Ⅲ 第2版		中央法規	9784805883976	
	見て覚える！介護福祉士国試ナビ		中央法規	9784805883167	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期試験	50%	授業内容を理解できているか評価する		
	小テスト・課題レポート	50%	授業内容を理解できているか評価する		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・配布プリントは、毎回持参してください。 ・授業終了後に重要な箇所のノートまとめを行うこと。(ノートはA4のルーズリーフノートを使用すること。) 				
フィードバック					

科目コード	1542	ナンバリング	FAC120	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	嚥下と口腔衛生 1-福						
科目英語名	Swallowing and oral hygiene 1-福						
担当教員	畑下 芳史						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 食事に関連したところとからだのしくみを知る。 2. 食事に関連したところとからだのしくみを正しく捉えるとともに、介護技術の科学的根拠を理解する。 3. 口腔ケアの必要性と、具体的な支援方法を理解する。						
学修成果到達目標	1. 介護現場で必要とされる食事についての知識を修得し、行動ができる。 2. 経管栄養法について理解し説明できる。 3. 介護現場で必要な口腔ケアの知識と技術を修得し実践できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	食事に関連したところとからだの基礎知識			教科書を用い、全体像の把握をする(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
2	食べることの生理的意味			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
3	食欲・おいしさを感じるしくみ			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
4	口渇のしくみ			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
5	消化のしくみ			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
6	咀嚼と嚥下のしくみ			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
7	機能低下・障害が及ぼす食事への影響			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
8	口腔の清潔の必要性			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
9	口腔のしくみ			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
10	口腔清潔に関する機能低下・障害の原因と影響			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
11	経管栄養について			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
12	口腔ケアの実際について			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
13	口腔ケアの意義と支援の方法			前回講義内容を把握しておく(2 時間)		配付資料を参考に、各々内容をまとめる(2 時間)	
14	口腔ケアの基礎実習			今までの講義をもとに実習内容について事前に学修する(2 時間)		実習内容をもとに、次回実習内容の準備を行う(2 時間)	
15	口腔ケアの実践実習			今回おこなう実習の内容について把握する(2 時間)		今回の実習内容を今後の介護技術に生かせる様に振り返る(2 時間)	
試験	レポート試験						
教科書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
参考書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	

成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	レポート試験		100%		
備考					
フィード バック					

科目コード	1571	ナンバリング	FAD200	単位数	3 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	医療的ケア I 2-福						
科目英語名	Medical Care I 2-福						
担当教員	森田 婦美子、西 涼子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	医療的ケア実施の基礎となる考え方や関連する法律、チームの一員として介護福祉士が担う役割について学ぶ。喀痰吸引を安全にかつ確実に実施するために必要な知識を得たうえで、シミュレーターや器具を用いて、ケアを体験的に学ぶ。 喀痰吸引の演習は、シミュレーターで口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部を各 5 回以上演習する。						
学修成果到達目標	1. 医療的ケアが必要な利用者・家族の気持ちが理解でき、介護者として望ましい姿勢が実行できる。 2. 医療的ケアにおける身体の解剖生理が理解でき、説明できる。 3. 医療的ケアにおける多職種との連携を理解し、その必要性が説明できる。 4. 感染予防について説明でき、実施できる。 5. 喀痰吸引を安全に実施できるように、必要物品の準備や片付け、点検を行うことができる。 6. 演習を通して、喀痰吸引の一連の手順を正確に、安全・適切に実施することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	医療的ケア実施の基礎 ①医療的ケアとは			医行為と医行為にあたらぬものについて調べる (1.25 時間)		医行為にあたらぬものや規制対象外となる医行為などについてまとめる (1.25 時間)	
2	医療的ケア実施の基礎 (事例検討) ②個人の尊厳と自立			個人の尊厳を守ることについての自身の考えをまとめる (1.25 時間)		グループで話し合った個人の尊厳についてまとめる (1.25 時間)	
3	医療的ケア実施の基礎 ③保健医療に関する制度			これまでに修学した保健医療制度について復習する (1.25 時間)		各関係法案についてまとめる (1.25 時間)	
4	医療的ケア実施の基礎 ④健康状態の把握			バイタルサインについて復習する (1.25 時間)		バイタルサインの正常値・異常値をまとめる (1.25 時間)	
5	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ①呼吸のしくみ			呼吸器系の解剖生理を復習する (1.25 時間)		呼吸器系の役割についてまとめる (1.25 時間)	
6	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ②いつもと違う呼吸			異常呼吸について調べる (1.25 時間)		異常呼吸とその病態についてまとめる (1.25 時間)	
7	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ③人工呼吸と吸引			人工呼吸器の仕組みについて調べる (1.25 時間)		人工呼吸器装着者に対する留意点をまとめる (1.25 時間)	
8	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ④子どもの吸引、説明と同意			どういった子どもが吸引を行っているか調べる (1.25 時間)		利用者および家族へのねぎらいの言葉をまとめる (1.25 時間)	
9	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ⑤呼吸器系の感染予防			呼吸器感染症について調べる (1.25 時間)		呼吸器感染症を発症している際の対応についてまとめる (1.25 時間)	
10	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ⑥危険の種類とその対応			吸引に関連する危険因子を調べる (1.25 時間)		それぞれの危険に応じた対応方法についてまとめる (1.25 時間)	
11	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ⑦吸引に伴うケア			吸引を必要とする利用者に求められるケアの種類について調べる (1.25 時間)		吸引を必要とする利用者のケアの方法についてまとめる (1.25 時間)	
12	高齢者および障害児・者の「たんの吸引」概論 ⑧事故発生時の対応と対策			事故発生時の対応について調べる (1.25 時間)		ヒアリハット・アクシデント報告書を完成させる (1.25 時間)	
13	感染防御策			感染防御用具について調べる (1.25 時間)		感染経路別の感染防御行動について調べる (1.25 時間)	
14	機材・器具の仕組みと取り扱い			機材・器具の名称について調べる (1.25 時間)		機材・器具の取り扱い注意点をまとめる (1.25 時間)	

15	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（口腔内） Aさん事例の必要物品・手順の確認①	口腔内吸引ができるようにチェックリストを確認する (1.25時間)	演習で確認した物品についてまとめる (1.25時間)		
16	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（口腔内） Aさん事例の必要物品・手順の確認②	口腔内吸引ができるようにチェックリストを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
17	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（鼻腔内） Bさん事例の必要物品・手順の確認①	鼻腔内吸引ができるようにチェックリストを確認する (1.25時間)	演習で確認した物品についてまとめる (1.25時間)		
18	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（鼻腔内） Bさん事例の必要物品・手順の確認②	鼻腔内吸引ができるようにチェックリストを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
19	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（気管カニューレ内部） Cさん事例の必要物品・手順の確認①	気管カニューレ内部の吸引ができるようにチェックリストを確認する (1.25時間)	実施時の留意点をまとめる (1.25時間)		
20	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（気管カニューレ内部） Cさん事例の必要物品・手順の確認②	気管カニューレ内部の吸引ができるようにチェックリストを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
21	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（口腔内） Aさん事例による演習①	口腔内の吸引について今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	気管カニューレ内部の吸引についてチェックリストを確認しておく (1.25時間)		
22	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（口腔内） Aさん事例による演習②	口腔内の吸引について今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
23	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（鼻腔内） Bさん事例による演習①	鼻腔内の吸引について今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
24	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（鼻腔内） Bさん事例による演習②	鼻腔内の吸引について今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
25	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（口腔内） 演習手順の確認チェック	確認評価に向けて今までのまとめたものを確認する(1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
26	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（鼻腔内） 演習手順の確認チェック	確認評価に向けて今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
27	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（気管カニューレ内部） Cさん事例による演習①	気管カニューレ内部の吸引について今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
28	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習（気管カニューレ内部） Cさん事例による演習②	気管カニューレ内部の吸引について今までのまとめたものを確認する (1.25時間)	実践できるように繰り返し演習する (1.25時間)		
29	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習 （気管カニューレ内部） 演習手順の確認チェック①	確認評価に向けて今までのまとめたものを確認する(1.25時間)	一連の流れを繰り返し演習する (1.25時間)		
30	喀痰吸引の実際 シミュレーターを用いた演習 （気管カニューレ内部） 演習手順の確認チェック②	確認評価に向けて今までのまとめたものを確認する(1.25時間)	演習を総括し、喀痰吸引の実際をまとめる (1.25時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考

	(最新介護福祉士養成講座 15) 医療的ケア (第2版)	上野桂子他	中央法規出版	9784805884041	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	実技試験 (口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部)	60%	「喀痰吸引等研修実施要綱」の規定に基づいた評価表による実技		
	筆記試験	40%	定期試験		
備考	<p>機材・器具を取り扱うため、入浴実習室で授業を行う場合が多い(初回、授業計画用紙参照)。 その際は、実習着・実習靴に着替えて参加すること。 実習着・実習靴以外での授業参加は認めない。 また、身だしなみが整っていない(髪・爪・服装等)場合の授業参加も認めない。 演習で使用する5回チェックリストおよび実技評価表は、全授業終了時に回収し、学校保管とする。</p>				
フィード バック	<p>小テストは、次回の講義時までに採点して返却する。返却後、補足解説をする。 演習においては、チェックリストを用いて指導する。</p>				

科目コード	1581	ナンバリング	FAD205	単位数	3 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	医療的ケアⅡ 2-福						
科目英語名	Medical Care Ⅱ 2-福						
担当教員	森田 婦美子、西 涼子						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための必修科目						
学修内容	医療的ケア実施の基礎となる考え方や関連する法律、チームの一員として介護福祉士が担う役割について学ぶ。経管栄養を安全にかつ確実に実施するために必要な知識を得たうえで、シミュレーターや器具を用いて、ケアを体験的に学ぶ。 経管栄養の演習は、シミュレーターで口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部を各5回以上演習する。						
学修成果到達目標	1. 医療的ケアが必要な利用者・家族の気持ちが理解でき、介護者として望ましい姿勢が実行できる。 2. 医療的ケアにおける身体の解剖生理が理解でき、説明できる。 3. 医療的ケアにおける多職種との連携を理解し、その必要性が説明できる。 4. 感染予防について説明でき、実施できる。 5. 経管栄養を安全に実施できるように、必要物品の準備や片付け、点検を行うことができる。 6. 演習を通して、経管栄養の一連の手順を正確に、安全・適切に実施することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	医療的ケアⅠの振り返り 医行為について 事故発生時の対応			医療的ケアⅠでの成果物を確認する (1.25 時間)		ヒアリハット・アクシデント報告書を完成させる (1.25 時間)	
2	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ①消化器系のしくみと役割			消化器系の解剖生理について復習する (1.25 時間)		消化器系の役割についてまとめる (1.25 時間)	
3	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ②消化器症状			主要な消化器症状について調べる (1.25 時間)		主要な消化器症状の発生メカニズムをまとめる (1.25 時間)	
4	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ③経管栄養が必要な状態			「経管栄養とは」について調べる (1.25 時間)		経管栄養を必要とする利用者像をまとめる (1.25 時間)	
5	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ④経管栄養のしくみと種類			経管栄養の種別について調べる (1.25 時間)		それぞれの経管栄養法の特徴をまとめる (1.25 時間)	
6	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑤経管栄養に用いる器具			経管栄養に用いる器具の名称を調べる (1.25 時間)		経管栄養に用いる器具の取り扱いについてまとめる (1.25 時間)	
7	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑥安全・安楽な実施とは			様々な体位とその名称について復習する (1.25 時間)		経管栄養に関する安全・安楽な体位についてまとめる (1.25 時間)	
8	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑦子どもの経管栄養			どういった子どもが経管栄養を行っているか調べる (1.25 時間)		子どもの経管栄養に際しての注意点をまとめる (1.25 時間)	
9	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑧経管栄養時の安全確認			経管栄養実施時に起こりうるトラブルについて調べる (1.25 時間)		経管栄養実施時に行う安全確認の内容についてまとめる (1.25 時間)	
10	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑨ヒアリハット・アクシデント			ヒアリハット・アクシデント報告書について復習する (1.25 時間)		ヒアリハット・アクシデント報告書を提出する (1.25 時間)	
11	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑩経管栄養の技術			経管栄養の手順をテキストにて調べる (1.25 時間)		経管栄養の手順をまとめる (1.25 時間)	
12	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑪経管栄養の留意点			経管栄養時の留意点についてテキストで調べる (1.25 時間)		手順に沿って留意点をまとめる (1.25 時間)	
13	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑫経管栄養に必要なケア			経管栄養時に起こりやすい症状について復習する (1.25 時間)		経管栄養で起こりやすい症状の予防策をまとめる (1.25 時間)	
14	高齢者および障害児・者の経管栄養概論 ⑬報告と記録			報告と記録の方法について復習する (1.25 時間)		報告や記録方法についてのポイントをまとめる (1.25 時間)	

15	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（胃ろう） Aさん事例の必要物品・手順の確認①	胃ろう経管栄養の流れをテキストで確認しておく（1.25時間）	演習が円滑に行えるように必要物品についてまとめる（1.25時間）		
16	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（胃ろう） Aさん事例の必要物品・手順の確認②	胃ろう経管栄養の流れをテキストで確認しておく（1.25時間）	Aさん事例の留意点をまとめる（1.25時間）		
17	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（胃ろう） Aさん事例による演習①	胃ろう経管栄養実施に向けてチェックシートを確認する（1.25時間）	実施時の留意点をまとめる（1.25時間）		
18	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（胃ろう） Aさん事例による演習②	胃ろう経管栄養実施に向けてチェックシートを確認する（1.25時間）	実施時の留意点をまとめる（1.25時間）		
19	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（胃ろう） 演習手順の確認チェック①	確認チェックに向けて手順を最終確認する（1.25時間）	実施時の留意点をまとめる（1.25時間）		
20	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（胃ろう） 演習手順の確認チェック②	確認チェックに向けて手順を最終確認する（1.25時間）	実践できるように繰り返し演習する（1.25時間）		
21	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（経鼻経管） Bさん事例の必要物品・手順の確認①	経鼻経管栄養の流れをテキストで確認しておく（1.25時間）	演習が円滑に行えるように必要物品についてまとめる（1.25時間）		
22	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（経鼻経管） Bさん事例の必要物品・手順の確認②	経鼻経管栄養の流れをテキストで確認しておく（1.25時間）	Bさん事例の留意点をまとめる（1.25時間）		
23	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（経鼻経管） Bさん事例による演習①	経鼻経管栄養実施に向けてチェックシートを確認する（1.25時間）	実施時の留意点をまとめる（1.25時間）		
24	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（経鼻経管） Bさん事例による演習②	経鼻経管栄養実施に向けてチェックシートを確認する（1.25時間）	実施時の留意点をまとめる（1.25時間）		
25	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（経鼻経管） 演習手順の確認チェック①	確認チェックに向けて手順を最終確認する（1.25時間）	実践できるように繰り返し演習する（1.25時間）		
26	経管栄養の実際 シミュレーターを用いた演習（経鼻経管） 演習手順の確認チェック②	確認チェックに向けて手順を最終確認する（1.25時間）	実践できるように繰り返し演習する（1.25時間）		
27	救急蘇生法 ①応急手当の重要性	福祉職が行う応急手当について調べる（1.25時間）	様々な応急処置とその方法についてまとめる（1.25時間）		
28	救急蘇生法 ②応急手当の実際	前回講義時の配布資料を復習する（1.25時間）	緊急時に介護福祉士がとるべき対応についてまとめる（1.25時間）		
29	救急蘇生法 ③BLSとは	BLSについて調べる（1.25時間）	BLSが実践できるように繰り返し演習する（1.25時間）		
30	救急蘇生法 ④BLSの実践	BLSの手順について復習する（1.25時間）	福祉職としての救命の考え方についてまとめる（1.25時間）		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(最新介護福祉士養成講座 15) 医療的ケア（第2版）	上野桂子他	中央法規出版	9784805884041	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	実技試験	50%	「喀痰吸引等研修実施要綱」に基づいた評価表による実技
	筆記試験	50%	定期試験
備考	<p>機材・器具を取り扱うため、入浴実習室で授業を行う場合が多い（初回、授業計画用紙参照）。 その際は、実習着・実習靴に着替えて参加すること。 実習着・実習靴以外での授業参加は認めない。 また、身だしなみ（髪・爪・服装等）が整っていない場合も授業参加を認めない。 演習で使用する5回チェックリストおよび実技評価表は、全授業終了時に回収し、学校保管とする。</p>		
フィード バック	<p>小テストは、次回の講義時まで採点して返却する。返却後、補足解説をする。 演習においては、チェックリストを用いて指導する。</p>		

科目コード	1616	ナンバリング	FAB110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	グリーンプランニング 1-福						
科目英語名	Horticultural Well-being 1-福						
担当教員	山本 悠二郎						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	<p>1. 福祉と園芸を学び、人々に対する効果など素晴らしい魅力と草花や野菜など、植物の栽培管理をとおして多くの人々が心の安らぎや健康、生きがいを感じる園芸の特質と効用を理解し人々の生活の質を高める為に実習等を行います。</p> <p>2. 障がい者や高齢者などの介護やリハビリ、農園芸分野の就労支援のための知識やスキルを学びます。</p> <p>3. 積極的に活用する園芸療法や園芸福祉を具体的な事例紹介から学ぶとともに、相手を尊敬し信頼する社会人としての基本的マナーや身構え、心構えなどを持った福祉社会のニーズに応える立派な産業人を育成します。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 園芸療法や園芸福祉を修得し、福祉社会のニーズに応える産業人となる知識やスキルを身につけます。</p> <p>2. 相手を尊敬し信頼する社会人としての基本的マナーや身構え、心構えなどをしっかり持った人材になります。</p> <p>3. 社会の中で園芸福祉プログラムに基づき効果を上げる為にコミュニケーション力を身につけ活動に活かせるスキルを修得し農園芸ジョブトレーナーの知識を得ることで農園芸分野の障がい者就労支援の認識を高めます。</p>						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 園芸福祉概論/園芸福祉の歴史と定義/植物と人間の関係		園芸福祉入門テキストの P58 までを読む(2 時間)		園芸福祉、園芸療法について整理しておく(2 時間)		
2	園芸福祉と心身への効果/植物と園芸を活用した効果		植物と園芸を活用した効果について P42~58 を読み理解しておく(2 時間)		植物や園芸作業の効率的な活用方法を考えてまとめておく(4 時間)		
3	園芸の基礎 I /園芸福祉にかかわる植物の種類と育て方		P146~159 読み理解しておく(2 時間)		園芸福祉にかかわる植物の種類と育て方について整理する(2 時間)		
4	園芸福祉活動の組織・人づくり/園芸福祉の感想発表、意見交換		P64~78 読み理解しておく(2 時間)				
5	園芸福祉の事業化と運営管理/農園芸分野での障がい者就労と農園芸ジョブトレーナー(障害特性と理解、農園芸分野における合理的配慮など)		P80~91 読み理解しておく農園芸分野での障がい者就労支援について調べておく(4 時間)		園芸福祉の事業化と運営管理について復習しておく(2 時間)		
6	園芸の基礎 II 栽培・管理/安全性確保の栽培・管理知識		P151~161 読み理解しておく(2 時間)		授業で学んだ内容を復習しておく(2 時間)		
7	園芸福祉活動の留意点/福祉施設での注意・配慮		活動する上での留意点や配慮について調べておく(4 時間)		授業で学んだ内容を復習しておく(2 時間)		
8	園芸福祉プログラムづくり		園芸福祉プログラムを作成しておく(4 時間)				
9	遊休地の活用プログラム作成(グループワーク、プレゼンテーション)		園芸福祉プログラムを作成しておく(4 時間)				
10	園芸福祉モデルガーデン/テーマ別プランニング(グループワーク、プレゼンテーション)		園芸福祉ガーデンを考えておく(2 時間)		園芸福祉ガーデンの情報や資料を整理しておく		
11	園芸福祉モデルガーデン実習/テーマ別ガーデンづくり		園芸福祉ガーデンを考えておく(4 時間)		園芸福祉ガーデンの情報や資料を整理しておく		
12	植物を活用した活動/福祉施設での実践プランニング		P179~191 読み理解しておく(2 時間)		復習しておく(2 時間)		
13	農園芸分野の障がい者就労支援計画と支援プロセス		農園芸分野の障がい者就労支援について調べておく(4 時間)		園芸分野の障がい者就労について作業別プロセスを調べておく		
14	ケーススタディ・農園芸分野の障がい者就労支援プログラム(グループワーク、プレゼンテーション)		農園芸分野の障がい者就労状況と作業内容を調べておく(4 時間)				
15	まとめと復習		園芸福祉入門テキストを読み重要ポイントを確認しておく(2 時		園芸福祉入門テキストを読みメモなど整理し重要ポイ		

		間)		ントを確認しておく(2時間)	
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	園芸福祉入門	日本園芸福祉普及協会編	創森社	9784883402083	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	園芸福祉のすすめ	日本園芸福祉普及協会編	創森社	9784883401284	
	農福連携による障がい者就農	近藤龍良	創森社	9784883402786	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		20%	関心・意欲・態度	
	発表能力		20%	コミュニケーション力、構成力、プレゼンテーション力	
	筆記試験、レポート		60%	理解度、情報収集、思考力	
備考	社会人としての基本的マナーや身構え、心構えなどをしっかり持った人材教育とコミュニケーション力を身につける様に事例紹介やワークショップを行い、伝達者でない自分の言葉と熱意で講義を行うので前向きな受講態度で答えて欲しい。				
フィードバック					

科目 コード	1630	ナンバリング	M100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	生活と未来 1・福・栄 (2 長) ・BC						
科目英語名	Life Vista 1・福・栄 (2 長) ・BC						
担当教員	島村 知歩、池内 ますみ、飯田 晃朝、上田 利博、紀平 佐保子、専任 A、武田 千幸、中田 奈月、箕山 なおみ、森永 夕美、吉村 司、久保田 寛、原 美沙子、水原 三佳						
資格・免許との関連							
学修内容	1. 福祉、栄養、ビジネス関連の各領域の知見に基づくこれからの生活について学ぶ。 2. 上記領域間の学際領域からみたこれからの生活について学ぶ。						
学修成果到達目標	1. これからの生活に関する基本的な事項を理解している。 2. 所属するコースの専門領域のみならず、多角的な視野から「生活」に関する知見を身につけている。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 授業の目的と意義 (生活未来科教員) 観察法について	シラバスに目を通す(0.5 時間)		各回のテーマについて図書館などで情報を収集する(2 時間)			
2	おいしいを構成する要素 “だしを味わう”	“だし”と“おいしさ”に関連する情報について調べる(2 時間)		学んだ内容を復習し、食生活の中で実践できるように整理する(2 時間)			
3	生活を支える技術	コミュニケーションに関する情報を収集しておく(2 時間)		学びや感じたことをふりかえり、自分自身の他者とのかわりの傾向について考える(2 時間)			
4	地域を知る～観察法の手法を学ぶ～フィールドワーク (学外)	鹿野園地域について情報を収集しておく(2 時間)		鹿野園地域について観察法を用いてまとめておく(2 時間)			
5	これからの食	図書館などを利用して食に関する話題を収集しておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
6	地域を知る (グループワーク) 発表	鹿野園地域について観察法を用いてまとめておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
7	食と美 (実務者講師)	5 大栄養素について復習する(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(1.5 時間)			
8	食事サービス	高齢者に関する食事内容やサービスの提供に関する話題を収集しておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(1.5 時間)			
9	これからの福祉ビジネス	福祉ビジネスに関する情報を収集しておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
10	認知症サポーター養成講座 (外部講師)	認知症に関する情報を収集しておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
11	これからの食ビジネス	食ビジネスに関する情報を収集しておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
12	商品を考える	関心のある商品について情報を収集しておく(2 時間)		マーケティングを活用した発想法について復習整理しておく(2 時間)			
13	“サービス”について考える 1 (グループワーク)	これまでの学修内容について復習し整理する(3 時間)		発表内容を検討する(3 時間)			
14	“サービス”について考える 2～発表準備～ (グループワーク)	提案内容をまとめる(3 時間)		発表内容を 12 回の授業と照らし合せながら再考する(3 時間)			
15	まとめ これからの活動につなげる 提案に向けて発表 (グループワーク)	提案内容をまとめる(2 時間)		15 回の学修内容について復習し整理する(2 時間)			

試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	リアクションシート（各回）		45%	内容より理解度を確認します。提出期限も評価の対象とします。	
	課題		15%	提出期限も評価の対象とします。	
	受講態度（平常時・グループワーク）		40%	積極性、計画性、協働性をみます。	
備 考					
フィード バック	リアクションシートに対し適宜コメントする				

科目コード	1635	ナンバリング	FC200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	専門ゼミナール（国家試験対策） 2-福						
科目英語名	Specialized Seminar 2-福						
担当教員	武田 千幸						
資格・免許との関連	介護福祉士国家試験に向けた対策としての科目						
学修内容	1. 介護福祉士国家試験の筆記試験対策を行う。 2. 4 領域それぞれの苦手科目を中心に学修する。 3. 各科目の基礎的知識向上により介護福祉士国家試験での得点取得向上をめざす。						
学修成果到達目標	1. 介護福祉士国家試験の概要を理解できる。 2. 業者実施の模擬試験にて領域毎の苦手科目を分析でき、苦手克服に向けた行動計画を立案および実践することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	介護福祉士国家試験オリエンテーション			介護福祉士国家試験の概要を調べる(0.5 時間)		インターネットなどで介護福祉士国家試験について検索する(0.5 時間)	
2	実力確認 国家試験過去問題（領域：人間と社会、介護）			該当領域の復習をする(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
3	実力確認 国家試験過去問題（領域：こころとからだのしくみ、医療的ケア、総合問題）			該当領域の復習をする(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
4	国家試験過去問題の解説 領域「人間と社会」 1 社会の理解			該当科目の国試ナビ内容に目を通す(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
5	国家試験過去問題の解説 領域「人間と社会」②人間の尊厳と自立、コミュニケーション 領域「介護」①介護の基本、コミュニケーション			該当科目の国試ナビ内容に目を通す(0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)	
6	国家試験過去問題の解説 領域「介護」②生活支援技術、介護過程			該当科目の国試ナビ内容に目を通す (0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
7	国家試験過去問題の解説 領域「こころとからだのしくみ」①障害の理解、認知症の理解			該当科目の国試ナビ内容に目を通す(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
8	国家試験過去問題の解説 領域「こころとからだのしくみ」②発達と老化の理解			該当科目の国試ナビ内容に目を通す(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
9	国家試験過去問題の解説領域「こころとからだのしくみ」③こころとからだのしくみ			該当科目の国試ナビ内容に目を通す(0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)	
10	国家試験過去問題の解説 領域「医療的ケア」			該当科目の国試ナビ内容に目を通す (0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
11	国家試験過去問題の解説 総合問題①高齢者			該当科目の国試ナビ内容に目を通す (0.5 時間)		授業内容をふりかえる (0.5 時間)	
12	国家試験過去問題の解説 総合問題 2 障害者			該当科目の国試ナビ内容に目を通す(0.5 時間)		授業内容をふりかえる(0.5 時間)	
13	理解力の確認 1 領域：人間と社会、介護			過去問などで予習をする(0.5 時間)		授業内容をふりかえり、苦手な部分を確認する(0.5 時間)	
14	理解力の確認② 領域：こころとからだのしくみ、医療的ケア、総合問題			過去問などで予習をする(0.5 時間)		授業内容をふりかえり、苦手な部分を確認する(0.5 時間)	
15	まとめとふりかえり 国家試験当日に向けて			これまでの授業全体を振り返る(0.5 時間)		授業内容を振り返り、国試に向けて最終調整する(0.5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	見て覚える！介護福祉士国試ナビ 2024	いとう総研資格取得支援センター編	中央法規出版		8月頃発行予定
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講姿勢		50%	積極性を評価する	
	課題提出		50%	提出物を期限内に提出できているか評価する	
備考					
フィードバック	Google Forms のテストに関しては、即時採点および補足コメントを配信する。				

科目コード	1656	ナンバリング	FAB200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こども家庭福祉 2-福						
科目英語名	Child and Family Welfare 2-福						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための選択必修科目 社会福祉主事任用資格取得のための科目						
学修内容	<p>1. こどもや家庭を取り巻く社会状況に対する福祉実践と、それを支える法制度、行財政の重要性を学修していく。</p> <p>2. 実践が培われてきた歴史、制度・政策、法律等の知識と実践に即した課題、とくに、児童虐待、こどもの権利、こどもの貧困に注目しながら、授業で扱っていく。</p> <p>3. 児童家庭福祉で重視される理念「こどもの最善の利益」、「個人と環境の相互作用」などを念頭に置き、少年非行、母子保健、子育て支援などのテーマを学んでいく。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷について説明できる。</p> <p>2. こどもの人権擁護について説明できる。</p> <p>3. こども家庭福祉の制度や実施体系等について説明できる。</p> <p>4. こども家庭福祉の現状と課題について説明できる。</p> <p>5. こども家庭福祉の動向と展望について説明できる。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	超少子高齢社会における子ども家庭福祉			教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の基本的視点について考えを深める(2時間)	
2	子ども家庭福祉の理念			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の理念について考えを深める(2時間)	
3	子ども家庭福祉の専門職 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の専門職について考えを深める(2時間)	
4	子ども家庭福祉の展開			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の変遷について考えを深める(2時間)	
5	子どもの権利擁護 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子どもの権利擁護について考えを深める(2時間)	
6	子ども家庭福祉の法体系			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の法体系について考えを深める(2時間)	
7	子ども家庭福祉の制度・事業			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の制度・事業について考えを深める(2時間)	
8	子ども家庭福祉の実施行政機関			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の実施行政機関について考えを深める(2時間)	
9	子ども家庭福祉に関連する施設 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉に関連する施設について考えを深める(2時間)	
10	要保護・要支援児童への支援			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、要保護・要支援児童への支援について考えを深める(2時間)	
11	社会的養護 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会的養護について考えを深める(2時間)	
12	少年非行等への対応			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、少年非行等への対応について考えを	

					深める(2時間)
13	次世代育成支援対策の推進	教科書該当箇所について読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、次世代育成支援対策について考えを深める(2時間)
14	子ども家庭福祉の対象、方向性、枠組み、ソーシャルワーク	教科書該当箇所について読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、子ども家庭福祉におけるソーシャルワークについての考えを深める(2時間)
15	子ども家庭福祉の新たな動向	これまでの配布プリントや教科書を読んでおく(2時間)			試験勉強(2.5時間)
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子ども家庭福祉入門	芝野松次郎・新川泰弘・宮野安治・山川宏和[編著]	ミネルヴァ書房	9784623088546	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%	受講態度、積極性	
	授業毎の課題		50%	授業内容を理解しているか評価する	
	レポート試験		40%	正確な説明ができていないか評価する	
備考	<p>保育士資格の必修科目、介護福祉士資格の選択科目にもあたります。</p> <p>実践現場や社会でいかせる福祉的な知識、スキル、態度等を磨くトレーニングを授業内でします。</p> <p>受講生の希望によって、発表、福祉現場を感じる内容なども考えています。</p>				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	社会福祉士として児童福祉施設で実務経験のある教員が授業を担当し、保育士として求められる子ども家庭福祉のとらえ方や考え方についての講義を行う。				

科目コード	3930	ナンバリング	BAA115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナール I (生活福祉) 2-福						
科目英語名	Seminar I 2-福						
担当教員	武田 千幸、森田 婦美子、久保田 寛						
資格・免許との関連	フィールド活動を通して「興味」を「強み」に進化させるための科目						
学修内容	地域・防災福祉フィールド、介護予防フィールド、障害者福祉フィールドの3つのうち興味・関心のある分野に分かれ、強みを持つ福祉職となることを目指す。 プロジェクト学習を通し、主体的に学ぶ姿勢を身につける。						
学修成果到達目標	1. 福祉に関わる事柄において、興味・関心の幅を広げることができる。 2. プロジェクト学習の主旨を理解し、自己および他者に役立つ「知の成果物」を生み出すことができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション① ゼミナール I の進め方			興味・関心のある分野について考える (1 時間)		具体的な研究内容を決定する (1 時間)	
2	オリエンテーション② プロジェクト学習とは ビジョンゴールシート作成			プロジェクト学習について復習する (1 時間)		ビジョンゴールシートを完成させる (1 時間)	
3	研究とは			様々な研究方法について調べる (1 時間)		研究内容に合った研究方法を決定する (1 時間)	
4	研究計画書の書き方			研究計画書について調べる (1 時間)		研究計画書を完成させる (1 時間)	
5	研究における倫理的配慮について			研究倫理について調べる (1 時間)		学んだ倫理的配慮についてまとめる (1 時間)	
6	データ収集の方法			データ収集の方法について調べる (1 時間)		研究内容に合ったデータ収集方法を決定する (1 時間)	
7	先行研究とは			「先行研究」の意味について調べる (1 時間)		研究内容に合った先行研究を探す (1 時間)	
8	先行研究を調べる			探した先行研究に目を通す (1 時間)		先行研究から見出した点についてまとめる (1 時間)	
9	先行研究をまとめる			いくつかの先行研究を読む (1 時間)		先行研究を通し、研究経緯を明確にする (1 時間)	
10	研究活動①			研究資料を集める (1 時間)		研究資料を集める (1 時間)	
11	研究活動② 献立作成について			研究資料を集める (1 時間)		研究資料を集める (1 時間)	
12	研究活動③			中間発表資料を作成する (1 時間)		中間発表資料を作成する (1 時間)	
13	研究活動④			発表準備をする (1 時間)		発表準備をする (1 時間)	
14	中間発表会①			発表準備をする (1 時間)		それぞれの発表に対して意見を述べる (1 時間)	
15	中間発表会②			発表準備をする (1 時間)		それぞれの発表に対して意見を述べる (1 時間)	
16	研究計画の見直し ビジョンゴールシートの振り返り 達成度確認			自身の目標を振り返る (1 時間)		研究計画の修正を行う (1 時間)	
17	研究活動⑤			最終発表までに行うべき内容を明確にする (1 時間)		内容に応じた文献検索を行う (1 時間)	
18	研究活動⑥			文献を読む (1 時間)		文献を読む (1 時間)	
19	研究活動⑦			発表スライドを作成する (1 時間)		発表スライドを作成する (1 時間)	
20	研究活動⑧			発表スライドを作成する (1 時間)		発表スライドを作成する (1 時間)	

		間)	間)		
21	研究活動⑩	発表練習を行う (1時間)	発表練習を行う (1時間)		
22	フィールド発表会①	発表練習をする (1時間)	それぞれの発表に対してコメントする (1時間)		
23	フィールド発表会②	発表練習をする (1時間)	それぞれの発表に対してコメントする (1時間)		
24	再構築①	自身へのコメント内容に目を通す (1時間)	他者に何を伝えられたかを知る (1時間)		
25	再構築②	修正・追加の箇所を把握する (1時間)	修正・追加する (1時間)		
26	最終発表に向けた準備①	発表準備をする (1時間)	発表準備をする (1時間)		
27	最終発表に向けた準備②	発表準備をする (1時間)	発表準備をする (1時間)		
28	最終発表①	発表準備をする (1時間)	それぞれの発表にコメントする (1時間)		
29	最終発表②	発表準備をする (1時間)	それぞれの発表にコメントする (1時間)		
30	フィールド活動を通しての学び ビジョンゴールシートの振り返り	ビジョンゴールの達成度について振り返る (1時間)	フィールド活動を通して身についた力についてまとめる (1時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
				0	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	介護福祉士・介護福祉学生のための よくわかる介護福祉研究入門ー現場の気づきから課題解決、成果の共有、そして社会発信へー	矢原隆行	保育社	9784586630172	
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業への取り組み	50%	各フィールド毎に担当教員が評価する		
	研究内容、発表スキル、再構築能力	50%	各フィールド毎に担当教員が評価する		
備考					
フィード バック	提出された課題・成果物は、次の授業時までにはフィールド担当教員が確認してコメントする。 各フィールドの進捗状況に応じ、担当教員が随時対応する。				

科目コード	3150	ナンバリング	BAA115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	経営学総論 2-福						
科目英語名	Management 2-福						
担当教員	吉村 司						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための選択必須科目 ビジネスキャリアコース推奨科目 ビジネス実務士資格取得のための選択必須科目						
学修内容	<p>コロナ渦以降の日本企業は空前の危機的状況とチャンス到来の両方に直面しており、経営者、社員、パートナーが一体となって顧客に対応してリスクを回避し、ビジネスを伸ばすアイデアを継続的に創造する力が求められている。</p> <p>本授業は経営学に基づいたビジネス・キーワードをベースに、最新の企業活動のケース・スタディも交えながら日本企業の現実を直視・理解し、進路決定、就活や卒業後のビジネス課題発見と解決力を備えた「経営人材」を目指して育成していく。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス基礎理論】ビジネスや経営を行うために必要な理論や先行研究を学ぶ」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本企業で実践されているビジネス・キーワードを理解して説明出来る。 2. 経営学の基本体系を理解して説明出来る。 3. 自身が目指す「経営人材」が説明出来る。 						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション、「経営学」とは ※各回のテーマは適宜変更する場合がある	まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負および自己紹介を 2～3 分で発表できるようにまとめ、テキストの第 1 章を読んでおく(1.5 時間)			1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)		
2	経営組織論 I 経営管理の始まり (官僚制、PDCA、三種の神器)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)			1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)		
3	経営組織論 II 意思決定 (組織均衡、組織学習、サイモンの意思決定)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)			1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)		
4	経営組織論 III 組織デザインとマクロ組織論 (事業部制、マトリックス組織、個体群生態学)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・			1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)		

		疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	ル送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
5	経営組織論Ⅳ モチベーション (人間関係論、期待理論、内発的動機づけ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
6	経営組織論Ⅴ リーダー (リーダーシップ論、管理者行動論、サーバント・リーダーシップ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
7	経営戦略論Ⅰ 経営戦略と全社戦略 (多角化、シナジー効果、事業ドメイン)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
8	経営戦略論Ⅱ 競争戦略 (コストリーダーシップ、差別化、集中)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
9	経営戦略論Ⅲ 事業戦略(ファイブ・フォース・モデル、資源ベース理論)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を

			述べ500字程度でメール送信 (2時間)
10	経営戦略論Ⅳ アウトソーシング (系列取引、製品アーキテクチャー)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
11	経営戦略論Ⅴ カスタマーと国際経営 (パレートの法則、海外直接投資、グローバル経営)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
12	技術経営論Ⅰ 生産管理 (見込生産と受注生産、ジャスト・イン・タイム、損益分岐点)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間)2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
13	技術経営論Ⅱ 品質経営と製品開発 (フォード・システム、ベンチマーキング、デファクト・スタンダード)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
14	技術経営論Ⅲ イノベーション (イノベーターのジレンマ、ゲートキーパー、オープン・イノベーション)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
15	まとめとふりかえり	これまでの授業テーマで一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチ	授業の総まとめを行い、授業でふりかえったポイントをもとに定期試験に備えるこ

		での発表を前提に復習・準備し ておく(1.5時間)	と(2.5時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる	高橋 伸夫	KADOKAWA (2016/9/18)	9784046017659	※文庫本でも結構です、安いです →KADOKAWA (2019/1/24) ISBN-13:978-4046040589
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	日本のイノベーションのジレンマ:破壊的イノベーターになるための7つのステップ(第2版)	玉田 俊平太	翔泳社	9784798166384	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	1) 平常点		40%	①受講姿勢②1分間スピーチ③「QR」「IDR」課題等の完成度と提出率	
	2) 積極性		20%	①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度	
	3) 定期試験		40%	※全項目いづれかの成績が50%未満の場合、合計成績に関わらず不合格となる場合がある	
備考	全授業にてグループ・ディスカッション(GD)や演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。				
フィードバック	1)「QR(QuickReport:クイック・レポート)」授業当日中に送信(20時迄到着分は早着加点)。到着確認とコメントを原則授業日後2営業日以内に返信。不達時は必ずメール確認のこと、未確認は未提出となる。 2)「IDR(In-Depth Report:詳細レポート)」次週の授業開始迄に送信。到着確認とコメントを原則締切後3営業日以内に返信。他は1)に同じ。				
実務経験のある教員による授業科目(※該当者のみ記載)					
授業内容	企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネジメント経験ある教員が、経営学の基礎理論を踏まえた上で、経営学用語とビジネス実務に合致するキーワードを抽出し、ケーススタディを交えながら講義、演習する。				

科目コード	2105	ナンバリング	EAA110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	公衆衛生学 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Public Health 1-栄 (1 長)						
担当教員	松田 邦子						
資格・免許との関連	栄養士取得のための必修科目						
学修内容	予防の対象となる疾患・障害は、半世紀前と比較して生活水準の向上などにより、大きく変化した。このような状況の中、本授業では、社会や環境の変化との関連から、人々の健康に関わる社会・環境要因とその把握・評価方法、公衆衛生における統計資料・地域保健対策、さらには健康の保持増進、疾患・障害の予防に関することについて学修する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と公衆衛生の概念を説明できる。 2. 疫学概念と用いられる指標を説明できる。 3. 主な保健統計の概要とその指標を説明できる。 4. 国民の生活習慣の現状・動向とその改善のための施策を概説できる。 5. 環境の変化と健康障害を概説できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、健康・公衆衛生の概念			教科書の第 1 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 1 章の演習課題をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2 時間)	
2	環境と健康			教科書の第 2 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 2 章の演習課題をレポートとしてまとめ次回に提出する(2 時間)	
3	健康、疾病、行動にかかわる統計資料			教科書の第 3 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 3 章の演習課題をレポートとしてまとめ次回に提出する(2 時間)	
4	疫学概念・方法			教科書の第 4 章第 1・2 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 4 章 1 の演習課題をレポートとしてまとめておく(2 時間)	
5	疫学指標とバイアスの制御			教科書の第 4 章第 1～3 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 4 章②～④⑥の演習課題をレポートとしてまとめておく(2 時間)	
6	スクリーニング、根拠に基づいた医療・保健対策、研究倫理			教科書の第 4 章第 4～6 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 4 章 56 の演習課題をレポートとしてまとめ、第 4 章の演習課題すべてのレポートを次回に提出する(2 時間)	
7	生活習慣の現状と対策			教科書の第 5 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 5 章の演習課題をレポートとしてまとめ次回に提出する(2 時間)	
8	がんと循環器疾患、代謝疾患の疫学と対策			教科書の第 6 章第 1～3 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 6 章 1～3 の演習課題をレポートとしてまとめておく(2 時間)	
9	骨・関節疾患、感染症の疫学と対策			教科書の第 6 章第 4・5 節を精読し、キーワードについてまとめ、		今回の授業内容を復習し、課題として第 6 章 4 の演習課題	

		理解しておく(2時間)	をレポートとしてまとめておく(2時間)		
10	精神疾患、その他の疫学と対策	教科書の第6章第6・7節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第6章⑤の演習課題をレポートとしてまとめ、第6章の演習課題すべてのレポートを次回に提出する(2時間)		
11	社会保障の概念、保健・医療・福祉における行政の仕組み	教科書の第7章第1・2節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章①の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
12	医療制度、福祉制度	教科書の第7章第3・4節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章2の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
13	地域保健、母子・成人・高齢者・介護保健	教科書の第7章第5～8節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章③④の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
14	産業保健、学校保健、国際保健	教科書の第7章第9～11節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章⑤～⑦の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
15	公衆衛生学のまとめ(定期試験)	1～14回までの学修内容を総復習し、キーワード・重要事項についてまとめ、理解しておく(2時間)	定期試験の自己採点を通して、学修内容を整理し重要事項を確認する(5時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	改訂 社会・環境と健康:公衆衛生学	北田善三 須崎尚編著	建帛社	9784767906706	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生がみえる 2022-2023	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	9784896328585	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		30%	授業への参加率	
	理解度・定期試験		40%	定期試験の成績	
	課題		30%	課題の提出状況・内容	
備考	定期試験は、キーワードの記述問題を中心に出題し、自分で作成したレポートのみ持ち込み可能とします。				
フィードバック	レポートは提出の次の回にコメントを入れてフィードバックする。				

科目コード	2110	ナンバリング	EAA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会福祉概論 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Introduction to Social Welfare 1-栄 (1 長)						
担当教員	森永 夕美						
資格・免許との関連	栄養士資格取得のための必須科目 社会福祉主事任用資格取得のための選択科目 医療秘書実務士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 各種社会保障制度や社会福祉政策と対象者別の福祉サービスについて学修する。 2. 現代社会のさまざまな問題を解決するための取り組みについて知り、支援の方法について理解を深める。						
学修成果到達目標	1. 日本の社会福祉・社会保障の制度やサービスについて説明できる。 2. 福祉政策の現状と課題について説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション・生活を支える「食」と「社会福祉」	教科書第 1 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
2	社会福祉の意味と対象	教科書第 2 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
3	私たちの生活と社会保障①医療保険制度・後期高齢者医療制度	教科書第 3 章 1-2 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
4	私たちの生活と社会保障②年金保険制度・雇用保険制度・労働者災害補償保険制度	教科書第 3 章 2 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
5	私たちの生活と社会保障③社会福祉・社会保障関連制度	教科書第 3 章 4-6 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
6	公的扶助ー最低限度の生活保障ー	教科書第 4 章を読み、分からない語句は調べておく(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
7	高齢者の福祉 ー高齢者の生活と介護ー	教科書第 5 章 1-2 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
8	介護保険制度	教科書第 5 章 3-4 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
9	児童家庭福祉 ー子どもと子育て家庭の生活ー	教科書第 6 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
10	障害者の福祉 ー地域でみんなとともに暮らすためにー	教科書第 7 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
11	地域福祉 ー地域で安心して暮らし続けるためにー	教科書第 8 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
12	社会福祉基礎構造改革と権利擁護 ー利用者本位の社会福祉の構築ー	教科書第 9 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
13	社会福祉における援助の方法 ー専門的援助の実践体系であるソーシャルワーカー	教科書第 10 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
14	社会福祉実践の場と専門職 ー社会福祉の実施機関・施設・専門資格と専門職種ー	教科書第 11～12 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
15	社会福祉の分野で働く栄養士 ー社会福祉分野での栄養士の立場と役割ー	教科書第 13 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		これまでの授業の内容を振り返り、整理しておく(2 時間)			
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	六訂 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉	岩松 珠美・三谷 嘉明	みらい	9784860155056			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	新わかる・みえる社会保障論 事例でつかむ社会保障入門	今井 伸	みらい	9784860155346	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		70%	授業内容を正しく理解できているか評価する	
	平常点		30%	授業態度、提出物の内容等で総合的に評価する	
備考	新聞等を読み最近の社会福祉の動向について知っておくことが望ましい。 chromebook を使います。必ず持ってきてください。				
フィード バック	定期試験の成績発表後、申し出た者に対して採点後の答案の閲覧を認める				

科目 コード	2115	ナンバリング	EAB100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	人体の構造と機能 I 1-栄 (2 長)						
科目英語名	Mechanism and Function of Human Body I 1-栄 (2 長)						
担当教員	塩田 浩平、駒田 致和						
資格・免許 との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 人体の解剖生理について、概説する。 2. ヒトのからだを構成している器官の名称を覚えながら、それぞれどのようにはたしているか理解し、健康なからだのしくみについて考える。						
学修成果 到達目標	ヒトのからだを動かすしくみについて説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ヒトのからだとは 総論	教科書第 1 章の 1 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(1 時間)			
2	細胞のしくみ	教科書第 1 章の 2-1 から 3-4 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
3	骨、関節の構造・骨の役割	教科書第 6 章の 1~5 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
4	骨格筋	教科書第 6 章の 6~9 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
5	細胞のしくみ、骨格と筋についてまとめとふりかえり	第 1 回授業~第 4 回授業の内容を教科書、配布物で復習する(4 時間)		ふりかえり課題で理解が不十分であった内容について、授業プリントを確認する(1 時間)			
6	造血器と血液のはたらき	教科書第 1 章の 4-1~4-2 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
7	免疫による生体防御	教科書第 1 章の 4-3 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
8	血液、免疫系のまとめとふりかえり	第 6 回授業~第 7 回授業の内容を教科書、配布物で復習する(3 時間)		ふりかえり課題で理解が不十分であった内容について、授業プリントを確認する(1 時間)			
9	心臓の構造とはたらき	教科書第 3 章の 2-1~2-3 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
10	血管の構造・リンパ管	教科書第 3 章の 3-1~3-2 と、第 3 章の 6 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
11	全身の血液循環について	教科書第 3 章の 1 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
12	呼吸器系	教科書第 2 章の 1-3 6 を読んで、分からない用語を確認しておく(1 時間)		授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3 時間)			
13	呼吸と肺循環について	教科書第 2 章の 4 5 7 を読ん		授業配付物の重要事項を教			

		で、分からない用語を確認しておく(1時間)	科書で再度確認する(3時間)		
14	循環器系、呼吸器系についてまとめとふりかえり	第9回授業～第13回授業の内容を教科書、配布物で復習しておく(4時間)	ふりかえり課題で理解が不十分であった内容について、授業プリントを確認する(1時間)		
15	生殖系と人体の発生	教科書第5章の5を読んで、分からない用語を確認しておく(1時間)	授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	目でみるからだのメカニズム第2版	堺章著	医学書院	9784260027762	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新版からだの地図帳	佐藤達夫監修	講談社	9784062610254	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	小テスト		40%	毎回の授業の終わりに実施します。	
	中間・期末レポート		40%	復習による理解度と思考過程を重視します	
	授業態度・学習姿勢		20%	積極性を評価します。	
備考	授業を聴いて理解を深めようと努力すること。授業での積極的な質問や発言を歓迎する。 人体に興味を持ち栄養士になるための学びや実生活の中の気づきに生かす姿勢を大いに評価します。				
フィードバック					

科目 コード	2120	ナンバリング	EAB105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	人体の構造と機能Ⅱ 1-栄 (2 長)						
科目英語名	Mechanism and Function of Human BodyⅡ 1-栄 (2 長)						
担当教員	塩田 浩平、駒田 致和						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 人体の解剖生理について、概説する。 2. ヒトのからだを構成している器官の名称を覚えながら、それぞれどのようにはたしているか理解し、健康なからだのしくみについて考える。						
学修成果到達目標	1. 摂取した食物はどのように消化、吸収、代謝されるか説明できる。 2. ヒトのからだの恒常性を維持するしくみについて説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	1	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13	13	13
1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10
11	11	11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12		

		で、分からない用語を確認しておく(1時間)	科書で再度確認する(3時間)		
14	感覚器系	教科書第8章を読んで、分からない用語を確認しておく(1時間)	授業配付物の重要事項を教科書で再度確認する(3時間)		
15	神経、感覚器系のまとめとふりかえり	第12回授業～第14回授業の内容を教科書、配布物で復習する(3時間)	ふりかえり課題で理解が不十分であった内容について、授業プリントを確認する(1時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	目でみる からだのメカニズム 第2版	堺 章著	医学書院	9784260027762	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	新版からだの地図帳	佐藤達夫監修	講談社	9784062610254	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	小テスト		40%	毎回の授業の終わりに実施します。	
	中間・期末レポート		40%	復習による理解度と思考過程を重視します。	
	授業態度・学習姿勢		20%	積極性を評価します。	
備 考	授業を聴いて理解を深めようと努力すること。授業での積極的な質問や発言を歓迎する。 人体に興味を持ち栄養士になるための学びや実生活の中の気づきに生かす姿勢を大いに評価します。				
フィード バック					

科目コード	2125	ナンバリング	EAB205	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生理学実習 2-栄 (2 長)						
科目英語名	Practical Exercise of Physiology 2-栄 (2 長)						
担当教員	三浦 さつき、未定、箕山 なおみ						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	人体の構造と機能について、自分の体や組織標本、マウスを使って理解を深める。						
学修成果到達目標	人体の構造と機能について理解して説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	細胞・組織；骨格系について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
2	血圧の測定；循環器系について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
3	肺活量・体温の測定；呼吸器系について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
4	体脂肪の測定・平衡感覚の検査			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
5	味覚検査；味覚に関する機能について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
6	嗅覚・視覚に関する機能について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
7	皮膚感覚の測定；神経系について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
8	尿検査；泌尿器系について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
9	マウスの解剖；筋系について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
10	組織標本の観察①；消化器系			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
11	組織標本の観察②；内分泌系			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
12	組織標本の観察③；泌尿器系・肺			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
13	唾液の酵素実験・カタラーゼ試験；酵素について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
14	DNAの検出実験；核酸について			教科書等で内容を予習しておく(30分)		内容を復習してまとめる(40分)	
15	まとめ			これまでの授業内容を復習しておく(90分)		これまでの授業内容を総復習する(40分)	
試 験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	目でみるからだのメカニズム第2版	堺章	医学書院	9784260027762			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ② 生化学	小野廣紀・千裕美・吉澤みな子・日比野久美子	化学同人	9784759814422			

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	授業態度	60%	授業への取り組みを評価する
	レポート課題	40%	授業内容の理解度を評価する
備考	「人体の構造と機能」の内容をよく復習しておくこと		
フィード バック	レポート課題は添削して返却し、授業時に適宜コメントする		

科目コード	2130	ナンバリング	EAB200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	運動生理学 2-栄 (3 長)						
科目英語名	Physiology of Exercise 2-栄 (3 長)						
担当教員	松本 範子						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	生体のしくみと構造について学び、身体の生理機能がどのように連携し、運動を可能にしているか学修することを目的とする。運動負荷時に起きる生体反応を、実際に体験して確認しながら、生理学・トレーニング学の観点から総合的に学び、活用できるようになる。						
学修成果到達目標	1. 運動のしくみや運動による身体の生理機能について理解し説明できる。 2. 身体活動・運動時に必要なエネルギーについて理解し説明できる 健康増進のための運動、トレーニングへの応用を理解し実践できる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、健康と運動			スポーツや健康に関して関心がある内容を整理しておく(60分)		今後の講義で興味がある内容や学びたい内容に関してまとめておく(60分)	
2	運動と身体のしくみ1-神経系-			身体の神経系に関して調べまとめておく(60分)		第1-2回の授業内容の復習をしておく(120分)	
3	運動と身体のしくみ2-筋収縮-			筋収縮に関して調べまとめておく(60分)			
4	運動と身体のしくみ3-呼吸器-			心肺機能などの専門用語に関して調べまとめておく(60分)		第3-4回の授業内容の復習をしておく(120分)	
5	運動と身体のしくみ4-循環器-			血液循環による筋肉の変化や応答に関して調べまとめておく(60分)			
6	運動と身体のしくみ5-内分泌-			身体の内部環境の変化に関して調べまとめておく(60分)		第5-6回の授業内容の復習をしておく(120分)	
7	運動と栄養素1-エネルギー代謝-			エネルギー代謝などの専門用語に関して調べまとめておく(60分)			
8	運動と栄養素2-糖質・脂質-			糖質と脂質に関して調べまとめておく(60分)		第7-8回の授業内容の復習をしておく(120分)	
9	運動と栄養素3-たんぱく質			たんぱく質とスポーツに関して調べまとめておく(60分)			
10	運動と栄養素4-ビタミン・ミネラル-			ビタミン・ミネラルの働きに関して調べまとめておく(60分)		第9-10回の授業内容の復習をしておく(120分)	
11	運動と環境-水分補給を含む-			既存飲料に関して調べまとめておく(60分)			
12	メディカルチェックと体力の測定			運動の重要性に関して調べまとめておく(60分)		第11-12回の授業内容の復習をしておく(120分)	
13	トレーニングとその効果			トレーニングが身体に与える影響について調べてまとめておく(60分)			
14	健康増進のための運動			様々な生活習慣病と健康問題に関して調べまとめておく(60分)		第13-14回の授業内容の復習をしておく(60分)	
15	まとめとふりかえり			復習:定期試験に向け、これまでの講義の内容を総復習をする(60分)		これまでの講義内容で、自身の生活に活用できそうな内容を整理する(60分)	
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	(体育・スポーツ・健康科学テキストブックシリーズ) 運動とスポーツの生理学 改訂 4版	北川 薫	市村出版	9784902109566	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業でのコミュニケーションカード		30%	質問などを通して授業の理解度、参加度を評価する	
	定期試験		50%	身体の仕組みを理解しているか評価する	
	レポート		20%	レポートを通して課題の理解度を評価する	
備 考	健康やスポーツの時事事項に興味を持ち、質疑など積極的な授業参加を望む。 授業時の私語やスマートフォンの操作は認めない。				
フィード バック	レポートは評価をつけて返却する				

科目コード	2135	ナンバリング	EAB110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生化学 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Nutritional Biochemistry 1-栄 (1 長)						
担当教員	三浦 さつき						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 生体成分の機能や代謝を学ぶ。 2. 遺伝子発現や免疫機能について理解する。						
学修成果到達目標	1. 生体成分の機能や代謝について理解して説明できる。 2. 遺伝子発現や免疫機能について理解して説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	人体の構造	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
2	消化と吸収	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
3	代謝の概要	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
4	たんぱく質・酵素の構造と機能	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
5	たんぱく質・アミノ酸の代謝	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する (2 時間)			
6	糖質の構造と機能	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
7	糖質の代謝① 解糖系・TCA 回路	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
8	糖質の代謝② ペントースリン酸回路・糖新生	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
9	脂質の構造と機能	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する (2 時間)			
10	脂質の代謝① 脂肪酸の合成と分解	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
11	脂質の代謝② コレステロール	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する (2 時間)			
12	核酸・遺伝子の構造と機能	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
13	核酸の代謝	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
14	生体の恒常性と免疫	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)			
15	ふりかえりとまとめ	これまでの授業内容を復習しておく(2 時間)		これまでの授業内容を総復習する(2 時間)			
試 験							
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
	はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ② 生化学	小野廣紀・千裕美・吉澤みな子・日比野久美子	化学同人	9784759814422			
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
	新 食品・栄養科学シリーズ 基礎栄養学 第 5 版	灘本知憲編	化学同人	9784759816471			

	はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ③ 食べ物と健康 I (第2版)	喜多野宣子・近藤民江・水野裕士	化学同人	9784759818185	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		60%	授業への取り組みを評価する	
	レポート課題		40%	授業内容の理解度を評価する	
備考	「基礎栄養学」「食品科学」の内容をよく復習しておくこと				
フィードバック	レポート課題は添削して返却し、授業時に適宜コメントする				

科目コード	2140	ナンバリング	EAB115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生化学実験 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Experiment on Nutritional Biochemistry 1-栄 (1 長)						
担当教員	紀平 佐保子、箕山 なおみ						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 生化学に関する知識の理解を深める。 2. 生化学実験の技術を修得する。 3. 文献を活用して実験レポートを作成する。						
学修成果到達目標	1. 生化学に関する知識を理解している。 2. 生化学実験の技術を修得している。 3. 文献を活用した実験レポートを作成できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	タンパク質の分離	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
2	薄層クロマトグラフィーによるアミノ酸の分離・同定	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
3	アミノ酸のペーパークロマトグラフィー	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
4	タンパク質の定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
5	糖の定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる (0.5 時間)			
6	酵素実験①力価	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
7	酵素実験②最適 pH	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
8	酵素実験③最適温度	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
9	沈殿滴定による塩分定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる (0.5 時間)			
10	灰分の定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
11	リンの定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる (0.5 時間)			
12	カルシウムの定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
13	鉄の定量	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
14	SDS-ポリアクリルアミドゲル電気泳動	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		内容を復習してレポートにまとめる(0.5 時間)			
15	ゲルろ過クロマトグラフィー	教科書等で内容を予習しておく (0.5 時間)		授業内容を総復習する(0.5 時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	改訂 基礎からの栄養・食品学実験	村上俊男	建帛社	9784767904993			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	はじめて学ぶ 健康・栄養系教科書シリーズ 2 生化学—ヒト	小野廣紀 他	化学同人	9784759814422			

	のからだの構成と働きを学ぶ ために				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業への取り組み	60%	受講態度, グループワークへの参加度を評価する		
	レポート	40%	提出状況と内容によって取り組み方と理解度を評価する		
備考					
フィード バック	毎回のレポートは、次の時間に評価とコメントを記入して返却する。				

科目コード	2145	ナンバリング	EAC100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食品科学 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Food Science 1-栄 (1 長)						
担当教員	池内 ますみ						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目 フードスペシャリスト資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 食品の主要成分および嗜好・有害成分の化学的性質とその化学変化について学ぶ。 2. 食品成分の栄養上の特性と食品の栄養評価についての知識を身につける。						
学修成果到達目標	1. 食品に含まれる水分についての特徴を理解し説明できる。 2. 食品の一般成分 (タンパク質、脂質、糖質、無機質、ビタミン) についての基礎知識を理解し説明できる。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	人と食べ物 ・食料と環境問題 ・食品の分類 ・食品成分表	テキスト 1 章を予習しておく(2 時間)			地元のスーパーなどで地産地消の取組みを探してみよう(2 時間)		
2	食品の成分 1 ・水について理解しよう	テキスト 2 章を予習する(2 時間)			テキスト p 27~33 を復習、家庭にある冷蔵庫の機能を確認する(2 時間)		
3	食品の成分 2 ・炭水化物について理解しよう ・単糖類、誘導糖	テキスト p 33~41 を予習する(2 時間)			授業内容を復習、甘味を含む食品の成分表示を確認しよう(2 時間)		
4	食品成分 2 炭水化物について理解しよう ・オリゴ糖、多糖類	テキスト p 41~50 を予習する(1 時間)			授業内容を復習する(3 時間)		
5	食品の成分 3 脂質について理解しよう ・脂肪酸、単純脂質	テキスト p 50~54 を予習する(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
6	食品の成分 3 脂質について理解しよう ・複合脂質、油脂の性質を表す指標	テキスト p 55~63 を予習する(1 時間)			授業内容を復習する(3 時間)		
7	食品の成分 4 たんぱく質について理解しよう ・アミノ酸構造と分類 ・必須アミノ酸	テキスト p 64~67 を予習する(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
8	食品の成分 4 たんぱく質について理解しよう ・タンパク質の構造と分類 ・たんぱく質の変化	テキスト p 67~73 を予習する(1 時間)			授業内容を復習する(3 時間)		
9	食品の成分 5 ビタミンについて理解しよう 脂溶性ビタミン ・水溶性ビタミン	テキスト p 75~80 を予習する(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
10	食品の成分 6 ・人体中の元素と無機質 ・食品中のおもな無機質	テキスト p 81~87 を予習する(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
11	食品成分表	テキスト p 151~161 を予習する(2 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
12	味、香り、色の成分	テキスト p 93~110 を予習する(1 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
13	成分間の相互作用	テキスト p 111~118 を予習する(1 時間)			授業内容を復習する(2 時間)		
14	食品の物性とおいしさ、官能評価	テキスト p 119~138 を予習する			授業内容を復習する(2 時間)		

		(1時間)			
15	ふりかえりとまとめ	練習問題に取り組む(3時間)	定期試験に向けて全体を復習する(5時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ 3) 食べ物と健康 I 第2版	水野裕士・喜多野宣子・近藤民恵	化学同人	9784759818185	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表	「新しい食生活を考える会」	大修館書店	9784469270129	
	食物学 I 第2版	日本フードスペシヤリスト協会編	建帛社	9784767907031	フードスペシヤリスト養成課程テキスト
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業への取り組み	50%	1.課題提出 2.授業まとめ		
	定期試験	50%	1.キーワードを理解できている。2.栄養士(実力認定試験)に求められる知識が身についている。		
備考					
フィードバック	<p>課題は saho navi に提出してください。</p> <p>saho navi で評価を返します。</p> <p>まとめは classroom 経由で Google Forms を用います。</p> <p>練習問題は授業内で解説します。</p>				

科目コード	2150	ナンバリング	EAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	食品材料学（加工学を含む） 1-栄（1 長）							
科目英語名	Food Material Science 1-栄（1 長）							
担当教員	池内 ますみ							
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目 フードスペシャリスト資格取得のための必修科目							
学修内容	1. 日本の市場に出回る多種多様な食品について学ぶ。 2. 食品を素材別に分類し、グループごとの成分の特徴を知る。 3. フードスペシャリストに必要な知識を修得する。							
学修成果到達目標	1. 農産食品、畜産食品、水産食品の特徴について、その成分的な特徴を理解し説明できる。 2. 食品の加工と食品成分の変化についての知識を修得している。 3. フードスペシャリストに求められる食物に関する知識を身に付けている。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	穀類の特性とその加工品 1 ・米の成分と精白に注目しよう			テキスト第 1 章を(米)予習する(1 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
2	穀類の特性とその加工品 2 ・小麦は構造と製粉に特徴がある ・大麦、トウモロコシ、ソバ、雑穀類			テキスト第 1 章(小麦ほか)を予習する(1 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
3	イモ類の特性とその加工品			テキスト第 2 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
4	種実類の特性とその加工品			テキスト第 3 章を予習し、成分表を仕上げる(1 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
5	豆類の特性とその加工品			テキスト第 4 章を予習し、成分表を仕上げる(1 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
6	野菜類の特性とその加工品			テキスト第 5 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
7	果実類の特性とその加工品			テキスト第 6 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
8	キノコ類の特性とその加工品			テキスト第 7 章を予習し、成分表を仕上げる(1 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
9	藻類の特性とその加工品			テキスト第 8 章を予習し、成分表を仕上げる(1 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
10	魚介類の特性とその加工品			テキスト第 9 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
11	食肉類の特性とその加工品			テキスト第 10 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
12	卵類の特性とその加工品			テキスト第 11 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
13	乳類の特性とその加工品			テキスト第 12 章を予習し、成分表を仕上げる(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
14	食用油脂、調味料、香辛料、嗜好品			テキスト第 13 章を予習する(2 時間)		授業内容を復習し、成分の特徴を確認する(2 時間)		
15	ふりかえりとまとめ			栄養士実力認定試験問題に取り組み(4 時間)		これまでの内容を復習し、定期試験に備える(6 時間)		
試験	筆記試験							
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	(はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ 4) 食べ物と健康 2 第 2 版		喜多野 宣子・上村 昭子・久木 久美子		化学同人		9784759818192	

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	食品解説つき 八訂準拠 ビジ ュアル食品成分表	「新しい食生活を 考える会」	大修館書店	9784469270129	
	食物学Ⅱ 第2版	日本フードスペシ ャリスト協会編	建帛社	9784767907338	フードスペシ ャリスト養成 課程テキスト
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業への取り組み		50%	1.課題提出 2.授業のまとめ	
	筆記試験		50%	1.キーワードが理解できている。2.栄養士(実力認定試験) に求められる知識が身についている。	
備考					
フィード バック	提出されたプリントは確認後返却します。 まとめ課題は classroom 経由で Google Forms で配信します。 練習問題は授業内に解説します。				

科目コード	2155	ナンバリング	EAC105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食品学実験 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Experiment on Food Science 1-栄 (1 長)						
担当教員	三浦 さつき、箕山 なおみ						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目 フードスペシャリスト取得のための必修科目						
学修内容	1. 実験に関する基礎的な知識を学び、操作を修得する。 2. 食品成分の性質や分析法について、理解を深める。 3. 文献を活用して実験レポートを作成する。						
学修成果到達目標	1. 実験に関する基礎的な操作ができるようになる。 2. 食品成分の性質や分析法について理解して実践できる。 3. 文献を活用した実験レポートを作成できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	実験の基礎知識		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習しておく(60分)		
2	実験の基本操作		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習しておく(60分)		
3	pHの測定① 食品のpH		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
4	pHの測定②・比重の測定		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
5	糖質の定性実験		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
6	アミノ酸の定性実験		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
7	たんぱく質の定性実験		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
8	ビタミンの定性実験		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
9	ミネラルの定性実験		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
10	中和滴定による酸度測定		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
11	小麦粉の実験① 成分の分離		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
12	小麦粉の実験2 成分の定性		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
13	乾燥法による水分定量		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
14	食品の鮮度試験		教科書等で内容を予習しておく(10分)		内容を復習してレポートにまとめる(60分)		
15	ふりかえりとまとめ		これまでの授業内容を復習しておく(90分)		これまでの授業内容を総復習する(90分)		
試験							
教科書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
	基礎からの栄養・食品学実験改定		村上 俊男編著	建帛社	9784767904993		
参考書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	

	(はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ 3) 食べ物と健康 1 第2版	喜多野宣子・近藤民江・水野裕士	化学同人	9784759818185	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		60%	授業への取り組みを評価する	
	レポート課題		40%	授業内容の理解度を評価する	
備考					
フィード バック	課題レポートは添削して返却し、授業時に適宜コメントする				

科目 コード	2160	ナンバリング	EAC200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食品衛生学 2-栄 (2 長)						
科目英語名	Food Hygienics 2-栄 (2 長)						
担当教員	紀平 佐保子						
資格・免許 との関連	栄養士免許必修科目 フードスペシャリスト資格必修科目						
学修内容	1. 安全で健全な食生活を送るために必要な基礎的知識を修得する。 2. 日本における食品の安全性についての考え方を学ぶ。						
学修成果 到達目標	1. 学んだ知識を栄養士業務に生かすための実践力が養われている。 2. フードスペシャリストとして社会に貢献できる力を身に付けている。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	食品衛生の目的・食品衛生関連法規			教科書第 1 章を予習しておく(2 時間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
2	日本の食品衛生の歴史と行政機構			教科書第 10 章を予習する(1 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
3	食中毒について (総論)			教科書第 3 章-1 を予習する(2 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
4	食中毒各論 1 感染型細菌性食中毒について			教科書第 3 章-2 の(1)~(3)を予習 する(1 時間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
5	食中毒各論② 毒素型細菌性食中毒について			教科書第 3 章-2 の(4)(5)(7)を 予習する(1 時間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
6	食中毒各論③ ノロウイルスおよび化学性食中毒			教科書第 3 章-2 の (6) (8)およ び第 3 章-4 を予習する (1 時間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
7	食中毒各論④ 自然毒食中毒			教科書第 3 章-3 を予習する(1 時 間)		配付プリント、ノートを整 理し授業内容を復習し、練習問 題に取り組む(4 時間)	
8	食品添加物① 食品添加物の指定・使用目的			教科書第 9 章-2 を予習する(2 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
9	食品添加物 2 食品添加物の安全性と表示			教科書第 9 章-2 を予習する(1 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
10	経口的寄生虫疾患			教科書第 3 章-5 を予習する(1 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
11	農薬・環境汚染と食品			教科書第 6 章を予習する (2 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
12	遺伝子組換え食品とその安全性			教科書第 9 章-4 を予習する(1 時 間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	
13	B S E (狂牛病)・発ガン物質			教科書第 3 章-6、第 9 章-6 を予 習する(1 時間)		配付プリントとノートを整 理して授業内容を復習する (2 時間)	

14	各種試験のための対策	練習問題に取り組む(3時間)	1～14回までの内容を復習する(4時間)		
15	ふりかえりとまとめ	1～14回までの学修内容を確認する(3時間)	定期試験に向けて学修内容を整理し重要事項を確認する(5時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	三訂 食品の安全性 第3版	日本フードスペシヤリスト協会	建帛社	9784767907154	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業毎の課題と小テスト		25%	課題の内容、確認テストの結果によって毎回の授業の理解度を評価する	
	授業への取り組み		25%	受講態度、課題の提出状況を評価する	
	筆記試験		50%	正確な理解ができているか評価する	
備考					
フィードバック	毎回の授業で課題を提示し、解説と質疑応答を行う。				

科目コード	2165	ナンバリング	EAC205	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食品衛生学実習 2-栄 (2 長)						
科目英語名	Experiment on Food Hygiene 2-栄 (2 長)						
担当教員	紀平 佐保子、箕山 なおみ						
資格・免許との関連	栄養士免許必修科目 フードスペシャリスト資格選択科目						
学修内容	1. 食品の劣化や食中毒の原因になる汚染微生物の実態を把握し、食中毒などの疾病の原因となる病原菌について十分な知識を修得する。 2. 現代の食生活で問題にされることの多い食品添加物の分析法について理解する。 3. 栄養士およびフードスペシャリスト資格に必要な知識と技能を身につけることを目標とする。						
学修成果到達目標	1. 微生物の基本的な取り扱いについて理解し実践できる。 2. 食品の品質検査について理解し実践できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	食品衛生検査の意義とガイダンス			シラバスに目を通す(0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
2	食品と食器からのホルムアルデヒド検出			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
3	飲料水の水質検査			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
4	微生物実験 1 殺菌法・滅菌法			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
5	微生物実験 2 培養基の調製			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート作成 (1 時間)	
6	微生物実験 3 カビ・酵母の移植と培養			実験内容を予習する (0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
7	微生物実験 4 カビ・酵母の観察と後処理			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
8	食品添加物の検出 1 漂白剤・着色料			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート課題のための情報を収集する(1 時間)	
9	食品添加物の検出 2 発色剤・保存料			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート作成 (1 時間)	
10	食品の細菌検査 1 器具と生理食塩水の滅菌			実験内容を予習する (0.5 時間)		レポート作成(1 時間)	
11	食品の細菌検査 2 培養基の調製			実験内容を予習する (0.5 時間)		レポート作成 (1 時間)	
12	食品の細菌検査 3 試料調製・接種と培養			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート作成(1 時間)	
13	食品の細菌検査 4 細菌の観察・計測と後処理			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート作成(1 時間)	
14	缶詰検査			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート作成(1 時間)	
15	食品からの寄生虫検出			実験内容を予習する(0.5 時間)		レポート作成(1 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	三訂 食品の安全性 第3版	日本フードスペシャリスト協会	建帛社	9784767907154			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	基礎からの栄養・食品学実験 改定	村上 俊男編著	建帛社	9784767904993			

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	授業への取り組み	60%	受講態度、グループワークへ参加度、積極性を評価する
	レポート	40%	提出状況と内容によって取り組み方と理解度を評価する
備考			
フィード バック	毎回のレポートは、次の時間に評価とコメントを記入して返却する。		

科目コード	2170	ナンバリング	EAD100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	基礎栄養学 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Nutritional Science 1-栄 (1 長)						
担当教員	三浦 さつき						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目 フードスペシャリスト取得のための必修科目						
学修内容	1. 栄養に関する基礎的な知識を学ぶ。 2. 栄養素の働き、消化と吸収、代謝について理解する。						
学修成果到達目標	1. 栄養に関する基礎的な知識について理解して説明できる。 2. 栄養素の働き、消化と吸収、代謝について理解して説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	栄養の概念と歴史			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
2	糖質の栄養①糖質の分類と性質			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
3	糖質の栄養②糖質の消化・吸収			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
4	糖質の栄養 3 糖質の代謝			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
5	脂質の栄養①脂質の分類と性質			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する (2 時間)	
6	脂質の栄養②脂質の消化・吸収・代謝			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
7	たんぱく質の栄養①たんぱく質の性質			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
8	たんぱく質の栄養②たんぱく質の消化・吸収・代謝			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
9	ビタミンの栄養 1 脂溶性ビタミン			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する (2 時間)	
10	ビタミンの栄養②水溶性ビタミン			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
11	無機質の栄養			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する (2 時間)	
12	非栄養成分の働き			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
13	エネルギー代謝			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
14	消化と吸収			教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		教科書・プリントを見直して復習する(2 時間)	
15	ふりかえりとまとめ			これまでの授業内容を復習しておく(2 時間)		これまでの授業内容を総復習する(2 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(新 食品・栄養科学シリーズ) 基礎栄養学 第5版	灘本知憲編	化学同人	9784759816471			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	授業態度	60%	授業への取り組みを評価する
	課題プリント提出	40%	授業内容の理解度を評価する
備考			
フィード バック	課題プリントは添削して返却し、授業時に適宜コメントする		

科目 コード	2175	ナンバリング	EAD200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	応用栄養学 2-栄 (3 長)						
科目英語名	Nutrition for Each Life Stage 2-栄 (3 長)						
担当教員	三浦 さつき						
資格・免許 との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 各ライフステージの特徴、栄養アセスメントについて学ぶ。 2. 運動時、特殊環境での栄養アセスメントについて理解する。						
学修成果 到達目標	1. 各ライフステージの特徴、栄養アセスメントについて理解して説明できる。 2. 運動時、特殊環境での栄養アセスメントについて理解して説明できる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	妊娠期の特徴	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
2	妊娠期の栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
3	新生児期の栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
4	乳児期の特徴と栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
5	学童期の特徴と栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
6	思春期の特徴と栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
7	成人期の特徴と栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
8	高齢期の特徴	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
9	高齢期の栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
10	運動時の代謝	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
11	運動時の栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
12	ストレスと栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
13	特殊環境と栄養	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
14	栄養マネジメント	教科書等で内容を予習しておく (2 時間)		プリントを見直して復習する (2 時間)			
15	ふりかえりとまとめ	これまでの授業内容を復習して おく(2 時間)		これまでの授業内容を総復 習する(2 時間)			
試 験							
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
	Nブックス 五訂 応用栄養学	津田博子・麻見直美 編著	建帛社	9784767907215			
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
	新 食品・栄養科学シリーズ 基礎栄養学 第 5 版	灘本知憲編	化学同人	9784759816471			

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	授業態度	60%	授業への取り組みを評価する
	課題プリント	40%	授業内容の理解度を評価する
備考	「基礎栄養学」の復習をした上で授業にのぞむこと。		
フィード バック	課題プリントは添削して返却し、授業時に適宜コメントする		

科目コード	2180	ナンバリング	EAD215	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	応用栄養学実習 2-栄 (2 長)							
科目英語名	Diet Exercise for Each Life Stage 2-栄 (2 長)							
担当教員	島村 知歩、原 美沙子							
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目							
学修内容	<p>1. 応用栄養学で学んだ知識を体得するため、献立作成や調理実習を通して、各ライフステージの特性を理解し、実践的な食事管理技術を修得する。</p> <p>2. 運動や環境等のライフスタイルに対応した栄養摂取の実際について学ぶ。</p> <p>3. 農園の季節野菜の使用や郷土料理を盛り込むことにより、季節感や食文化を理解し、自己と家族の食生活を豊かにする。</p>							
学修成果到達目標	<p>1. 各ライフステージの栄養特性を理解した献立作成と食事対応ができる。</p> <p>2. 特徴的なライフスタイルに対応した食事ケアができる。</p> <p>3. 自己の食生活管理能力を高め、日常生活で実践できる。</p>							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	ライフステージと食事計画			応用栄養学の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(1 時間)		
2	妊娠期の食事			妊娠期の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
3	授乳期の食事			授乳期の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
4	乳児期の食事			乳児期の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
5	離乳期の食事			離乳食について予習する(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
6	幼児期の食事			幼児期の復習をする (0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
7	学童期の食事			献立作成課題に取り組む(1 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
8	思春期の食事			思春期の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
9	成人期の食事			成人期の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
10	高齢期の食事			高齢期の復習をする (0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
11	高齢期の食事<嚥下機能に応じた食事>			高齢期の復習をする (0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
12	テーマに応じた食事			課題に取り組む(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(1 時間)		
13	スポーツ対応の食事			応用栄養学教科書該当章の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
14	環境対応の食事<寒冷>			応用栄養学教科書該当章の復習をする(0.5 時間)		レポート課題に取り組む(0.5 時間)		
15	環境対応の食事<ストレス>・まとめレポート			応用栄養学実習の復習をする(1 時間)		レポート課題に取り組む(1 時間)		
試 験								
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	Nブックス 五訂 応用栄養学		津田博子 麻見直美 編著		建帛社		9784767906485	応用栄養学テキスト
参考書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考

成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など	
	受講態度	40%	積極性・計画性・協働性・授業時の記録などをみる	
	課題・レポート	30%	授業初回で説明する内容を満たしているか確認する	
	理解度	30%	最終回のまとめレポートの内容で確認する	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・美味しく、食べやすい、栄養バランスがとれた食事提供に関心を持つ。 ・家族など身近な人の身体の変化や違いに関心を持ち、ライフステージに応じた特徴を知る。 ※授業時に配付した資料、毎時のレポート課題は最終回に使用するので、整理・保管をしておいてください。			
フィード バック	<ul style="list-style-type: none"> ・実習レポートは確認・評価終了後、返却します。 			

科目コード	2185	ナンバリング	EAD220	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	臨床栄養学 2-栄							
科目英語名	Clinical Nutrition 2-栄							
担当教員	紀平 佐保子							
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目							
学修内容	1. 栄養ケアが治療の中核となる疾病を中心に、代表的な疾患について概説する 2. 治療のための食事療法を理解すると同時に、疾病を予防するための食事について適切な知識を修得する。							
学修成果到達目標	疾病における食事療法の重要性を論理的に理解し、内容を具体的に説明できる。							
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間			
1	肝臓疾患と食事療法		肝臓の解剖生理機能を復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
2	膵臓、胆嚢疾患と食事療法		膵臓、胆嚢の解剖生理機能の復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
3	消化器系疾患のまとめとふりかえり		消化管と肝・胆・膵のはたらきを復習(2 時間)		理解が不十分であった内容を確認する(2 時間)			
4	腎・泌尿器疾患		腎・泌尿器系の構造とはたらきを復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
5	腎疾患の病態生理		腎臓の解剖生理・機能の復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
6	腎疾患の食事療法		たんぱく質の代謝と栄養価の復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
7	血液・免疫系疾患		造血の仕組みについて復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
8	貧血と食事療法		血液の組成の復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
9	腎臓、血液疾患のまとめとふりかえり		第 4 回～第 8 回の授業内容を教科書、プリントで復習(2 時間)		理解が不十分であった内容を確認する(2 時間)			
10	病態別食事療法の要点(疾患と栄養の関係)		各疾患の食事療法の要点を一覧表にまとめる(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
11	病態別食事療法の要点(コントロール食)		各疾患の食事療法の要点を一覧表にまとめる(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
12	骨・関節疾患		骨代謝について復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
13	呼吸器系疾患		呼吸器系の構造、呼吸運動について復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
14	感染症		感染症と防御機構について復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)			
15	まとめとふりかえり		プリントの整理・復習(2 時間)		学んだ内容をレポートにまとめる(2 時間)			
試 験								
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	N ブックス 臨床栄養学概論 第 2 版		渡邊早苗 他		建帛社		9784767906911	
参考書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	目でみるからだのメカニズム 第 2 版		塚章		医学書院		9784260027762	

成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		50%	課題の内容, 確認テストにより理解度を評価する	
	授業への取り組み		50%	受講の態度や積極性, 課題の提出状況などを評価する	
備考					
フィード バック	毎回の授業で課題を提示し、解説と質疑応答を行う。				

科目コード	2190	ナンバリング	EAD205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食事療法論 2-栄 (3 長)						
科目英語名	Methodology of Dietary Treatment 2-栄 (3 長)						
担当教員	紀平 佐保子						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目 こども食物アレルギー実務課程 (食物栄養コース) の必修科目						
学修内容	食事療法を必要とする病気について、病態と栄養の関係を学ぶ。						
学修成果到達目標	病気の特徴と食事療法の基本方針を理解し、病気別の献立作成に活かすことができるようになる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	食事療法の意義 肥満とるい瘦		エネルギー必要量・エネルギー比の復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
2	糖尿病の病態生理と治療		糖質代謝の復習とインスリンについて(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
3	糖尿病と食事療法		糖尿病の病態生理と治療を復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
4	糖尿病食事療法の実践 (糖尿病食品交換表)		糖尿病食品交換表の P15 までを読んで、理解する(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
5	脂質異常症・動脈硬化		正常な血管の構造を復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
6	脂質異常症と食事療法		リポたんぱく質・脂肪酸の種類を復習 (2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
7	高血圧と食事療法		心臓の解剖生理と血液循環の復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
8	肥満・メタボリックシンドローム		糖尿病・脂質異常症・血圧の診断基準をまとめておく(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
9	代謝疾患・循環器疾患のまとめとふりかえり		第 1 回～第 8 回の授業内容を教科書、プリントで復習(2 時間)		理解が不十分であった内容を確認する (2 時間)		
10	消化管疾患 (胃疾患) と食事療法		三大栄養素の消化と胃の働きを復習 (2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
11	消化管疾患 (腸疾患) と食事療法		三大栄養素の消化と腸の働きを復習 (2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
12	高齢者の疾患と食事		嚥下障害、フレイルについて調べる(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
13	栄養補給法		消化器官の構造を復習 (2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
14	アレルギーと食事		アレルギーの病理とアレルゲンを復習(2 時間)		学んだ内容を復習整理する(2 時間)		
15	まとめとふりかえり		プリントの整理・復習(2 時間)		学んだ内容をレポートにまとめる(2 時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	N ブックス 臨床栄養学概論 第 2 版	渡邊早苗 他	建帛社	9784767906911			
	糖尿病食事療法のための食品交換表 第 7 版	日本糖尿病学会	文光堂	9784830660467			
	目でみるからだのメカニズム 第 2 版	堺章	医学書院	9784260027762			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		50%	課題の内容, 確認テストにより理解度を評価する	
	授業への取り組み		50%	受講の態度や積極性, 課題の提出状況などを評価する	
備考					
フィード バック	毎回の授業で課題を提示し、解説と質疑応答を行う。				

科目コード	2195	ナンバリング	EAD210	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食事療法実習 2-栄 (3 長)						
科目英語名	Cooking Exercise of Dietary Plan 2-栄 (3 長)						
担当教員	森山 廣江、水原 三佳						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 食事療法のための献立・調理について、その意義を理解し、実践力を養う。						
学修成果到達目標	1. 各病態の治療食に適した食材の選択・分量・調理方法を理解し説明できる。 2. 各病態の治療食を美味しく作る技術を修得している。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	普通食 (病院・施設の食事)	学外実習の成果報告会の病院や施設の食事に関する情報を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
2	減塩食 (生活習慣病)	「食事療法論」の内容を理解し、生活習慣病に関する知識を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
3	ミネラル・ビタミン補充食 (骨粗鬆症)	「食事療法論」の内容を理解し、骨粗鬆症に関する知識を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
4	ミネラル・ビタミン補充食 (貧血)	「食事療法論」の内容を理解し、貧血に関する知識を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
5	糖尿病食品交換表による秤量実習	「食事療法論」の内容を理解し、糖尿病食品交換表について予習しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する (0.5 時間)			
6	1 日のエネルギー調整食 (糖尿病)	「食事療法論」の内容を理解し、糖尿病に関する知識を収集しておく (0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
7	糖尿病食品交換表による献立作成	「食事療法論」の内容を理解し、糖尿病食品交換表の使用方法を理解しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
8	脂質調整食 (脂質異常症)	「食事療法論」の内容を理解し、脂質異常症に関する知識を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
9	高たんぱく・低脂肪食 (肝臓病)	「食事療法論」の内容を理解し、肝臓の疾病に関する知識を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する (0.5 時間)			
10	低たんぱく・塩分制限食 (腎臓病)	「食事療法論」の内容を理解し、腎臓の疾病に関する知識を収集しておく (0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			
11	低残渣食 (消化器疾患)	「食事療法論」の内容を理解し、消化器官の疾病に関する知識を収集しておく (0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する (0.5 時間)			
12	治療食の献立展開	「食事療法論」の内容を理解し、これまでの治療食に関して学んだことを復習しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(2 時間)			
13	軟菜食 (高齢者・咀嚼嚥下障害)	「食事療法論」の内容を理解し、高齢者の食事や咀嚼嚥下障害に関する知識を収集しておく(0.5 時間)		学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5 時間)			

14	食物アレルギー食品除去食	「食事療法論」の内容を理解し、食物アレルギーに関する知識を収集しておく(0.5時間)			学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)
15	普通食(制約条件下における献立の工夫) まとめとふりかえり	これまでの授業内容に関して学んだことを復習しておく(0.5時間)			学んだ内容を復習整理し、課題を作成し提出する(0.5時間)
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	糖尿病食事療法のための食品交換表	日本糖尿病学会編・著	文光堂	9784830660467	
	新ビジュアル 食品成分表 八訂準拠	新しい食生活を考える会	大修館書店	9784496270129	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題提出		50%	提出指定日の提出。提出率。	
	理解度・技術修得度		25%	実習の手技	
	受講態度		25%	積極性	
備考					
フィードバック	提出されたレポートは添削して返却する。ファイルに閉じる。質問事項は翌週解説する。				

科目コード	2200	ナンバリング	EAE100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	栄養指導論 I 1-栄 (2 長)							
科目英語名	Methodology for Nutrition Guidance I 1-栄 (2 長)							
担当教員	飯田 晃朝							
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目、フードスペシャリスト取得のための必修科目、ピアヘルパーの選択必修科目							
学修内容	1. 栄養指導の意義を認識する。 2. 栄養指導に必要な基礎知識について学ぶ。 3. 行動科学の理論と技術に基づいた栄養指導法について学ぶ。							
学修成果到達目標	1. 栄養指導の意義を知り、基本的な知識と技法を身につけ実践できる。 2. 栄養指導の基本知識を理解し、栄養指導に活用することができる。 3. 主な行動科学の理論と技術を理解し、栄養指導に活用することができる。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 栄養指導の定義と意義について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
2	栄養指導の沿革① 栄養指導の歴史について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
3	栄養指導の沿革② 現在の栄養指導について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
4	栄養指導と関係法規 1 「栄養士法」・「健康増進法」について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
5	栄養指導と関係法規② 「国民健康・栄養調査」の結果で・栄養士に関するその他の関係法規について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
6	食生活・栄養に関する諸調査 指導対象を理解するための情報収集の方法について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
7	栄養指導の方法と技術① 栄養指導の方法とアセスメントの方法について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
8	栄養指導の方法と技術② 身体状況からの栄養診断の方法について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
9	栄養指導の方法と技術③ 栄養指導の計画と評価について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
10	栄養指導の実際 カウンセリング方法と行動科学について 教材と媒体と技術について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
11	栄養指導に必要な基礎事項① 国民健康・栄養調査「日本人の食事摂取基準」について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
12	栄養指導に必要な基礎事項 2 「食生活指針」と「食事バランスガイド」について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
13	栄養指導に必要な基礎事項③ 「日本食品標準成分表」を使用した栄養価計算の方法について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
14	栄養指導に必要な基礎事項④ 食育に関する活動や「食料需給表」について			教科書の該当箇所を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
15	まとめとふりかえり 定期試験対策			授業内容を理解しておく(2時間)		学んだ内容を復習整理する(2時間)		
試験	筆記試験							
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	(N ブックス) 栄養指導論 3 訂		相川りゑ子		建帛社		9784767906676	

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	食品解説つき 八訂準拠 ビジ ュアル食品成分表	新しい食生活を考 える会	大修館書店	9784469270129	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		70%	定期試験の点数	
	課題		10%	各課題の評価点数の平均	
	受講態度		20%	積極性	
備考	教科書に沿って授業を進めます。事前に必ず教科書の該当する範囲を読んで下さい。				
フィード バック	成績発表後、申し出た者に対して、定期試験の採点後の答案の閲覧を認めます。 課題は、添削して返却します。				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	栄養士・管理栄養士として、医療施設に勤務経験がある教員が、その経験を活かして、献立作成について実習を行います。				

科目コード	2205	ナンバリング	EAE215	単位数	2単位	開講時期	2023年度後期
科目名	栄養指導論Ⅱ 2-栄 (3長)						
科目英語名	Methodology for Nutrition Guidance II 2-栄 (3長)						
担当教員	飯田 晃朝						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養指導に必要な栄養学的な知識を総括する。 2. 個別栄養指導を実践し、栄養指導の実際を理解する。 3. 栄養指導に関する媒体（スライド・パワーポイント等）の活用について学ぶ。 4. 栄養士実力認定試験の対策方法を学ぶ。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学外実習に向けて、理解を深め栄養士としての実践力を身につける。 2. 対象者に合わせた科学的な根拠に基づく栄養指導を行うことができる。 3. 栄養士実力認定試験において6割以上の点数を取ることができる。 						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	個別栄養指導に関するの概要の確認 栄養士実力認定試験の対策		栄養指導に関する内容を復習しておく。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		個別栄養指導に関する知識を深める。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
2	個別栄養指導の対象者の決定と栄養アセスメント方法の検討 栄養士実力認定試験の対策		栄養アセスメント方法について知識を深める。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		別栄養指導の対象者に対する栄養アセスメントを検討する。栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
3	個別栄養指導の対象者に関する栄養アセスメント項目の決定と栄養摂取状況調査依頼 栄養士実力認定試験の対策		個別栄養指導の栄養アセスメント方法についての知識を深める。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		栄養摂取状況調査を実施する。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
4	栄養アセスメントと栄養摂取状況の実施と評価 栄養士実力認定試験の対策		栄養摂取状況を実施する。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		栄養アセスメントと栄養摂取状況の評価を完成させる。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
5	個別栄養指導の対象者に関する指導目標の決定 栄養士実力認定試験の対策		個別栄養指導の対象者に関する指導目標の設定方法について知識を深める。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		個別栄養指導の対象者に関する指導目標を決定する。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
6	個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案の作成 栄養士実力認定試験の対策		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案の作成方法について知識を深める。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案の作成する。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
7	個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案の確認 栄養士実力認定試験の対策		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案を完成させる。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案を修正する。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
8	個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案の訂正 栄養士実力認定試験の対策		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案を修正する。 栄養士実力認定試験の対策(2時間)		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導案を完成させる。 栄養士実力認定試験の対策の復習(2時間)		
9	個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製 栄養士実力認定試験の対策		個別栄養指導の対象者に関する栄養指導の媒体作成について知識を深める。		個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製する。		

		栄養士実力認定試験の対策(2 時間)	栄養士実力認定試験の対策の復習 (2 時間)		
10	栄養士実力認定試験の対策 個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製の継続	栄養士実力認定試験の対策個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製の継続する (2 時間)	栄養士実力認定試験の対策の復習 個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製の継続する(2 時間)		
11	栄養士実力認定試験の対策 個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製	栄養士実力認定試験の対策個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製の継続する (2 時間)	栄養士実力認定試験の対策の復習 個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体の作製を継続する (2 時間)		
12	対象者に向けて個別栄養指導の実施	個別栄養指導に対象者に関する栄養指導媒体を完成させる(2 時間)	対象者に実施した個別栄養指導の評価する(2 時間)		
13	学外実習報告会に向けた発表内容の立案	学外実習をふりかえり実習内容を整理する(2 時間)	学外実習報告会の発表原稿を作成する(2 時間)		
14	学外実習報告会に向けてのパワーポイントの作製	発表原稿に合わせたパワーポイント案を準備する(2 時間)	発表原稿に合わせたパワーポイントを作製する(2 時間)		
15	学外実習報告会に向けた発表内容の確認	学外実習報告会に向けたパワーポイントを作製する(2 時間)	学外実習報告会の発表を練習する(2 時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	教科書は使用しない。随時プリントを配布する。				
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	栄養士実力認定試験過去問題集	(一社)全国栄養士養成施設協会 編	建帛社	9784767906591	
	(N ブックス) 栄養指導論 3 訂	相川りゑ子	建帛社	9784767906676	
	食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表	新しい食生活を考える会	大修館書店	9784469270129	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		50%	栄養士実力認定試験の正解率	
	課題		10%	栄養士実力認定試験対策課題の正解率	
	プレゼンテーション		20%	発表等の取り組みや内容	
受講態度		20%	積極性		
備 考					
フィードバック	栄養士実力認定試験の試験結果				
実務経験のある教員による授業科目 (※該当者のみ記載)					
授業内容	栄養士・管理栄養士として医療施設に勤務経験がある教員が、その経験を活かして、栄養指導や実力認定試験対策についての講義や指導を行います。				

科目コード	2210	ナンバリング	EAE105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	栄養指導論実習 I 1-栄 (2長)						
科目英語名	Exercise in Nutrition Guidance I 1-栄 (2長)						
担当教員	飯田 晃朝						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目、ピアヘルパーの選択必修科目						
学修内容	1. 「栄養指導論 I」で学んだ内容を理解して、栄養指導の内容に沿った献立作成の仕方を学ぶ。 2. 「栄養指導論 I」で学んだ内容を理解して、献立作成に必要な知識と技術を学ぶ。 3. 学んだ栄養指導と献立作成に関する内容を活用し、自らで献立を作成し、評価する。 4. 栄養価計算の方法を学び、作成した献立の栄養価計算を行う。						
学修成果到達目標	1. 「日本人の食事摂取基準」、食品構成を理解し、「日本食品標準成分表」を活用して、対象者に合った献立を作成することができる。 2. 「日本食品標準成分表」の使い方を理解し、パソコンを使用して栄養価計算をすることができる。 3. 「食事バランスガイド」を理解し、作成した献立の評価に活用することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 栄養アセスメントの概論			「栄養指導論 I」の内容を理解し、栄養アセスメントについて予習を行う(0.5時間)		栄養アセスメントについて学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
2	「食事バランスガイド」の活用方法について			「栄養指導論 I」の内容を理解し、「食事バランスガイド」について予習を行う(0.5時間)		食事バランスガイドについて学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
3	推定エネルギー必要量の算出方法について			「栄養指導論 I」の内容を理解し、栄養アセスメントの方法について予習を行う(0.5時間)		推定エネルギー必要量の算出方法について学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
4	無作為抽出法による「国民健康・栄養調査」の調査結果を考慮した、献立作成における「日本人の食事摂取基準」の活用方法について			無作為抽出法による「国民健康・栄養調査」の最新の調査内容と調査結果と「日本人の食事摂取基準」について予習を行う(0.5時間)		「日本人の食事摂取基準」について学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
5	「日本人の食摂取基準」を用いた個人とデータのバラツキがある集団の栄養価の評価方法について			「日本人の食事摂取基準」について理解しておく(0.5時間)		「日本人の食事摂取基準」を用いて、課題献立の個人とデータのバラツキがある集団の栄養価の評価を行う(0.5時間)	
6	献立作成における「日本食品標準成分表」の活用方法について			「日本食品標準成分表」について予習を行う(0.5時間)		「日本食品標準成分表」について学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
7	献立作成における「日本食品標準成分表」を用いた栄養価計算の仕方について			「日本食品標準成分表」について理解しておく(0.5時間)		「日本食品標準成分表」を用いて、課題献立の栄養価計算を行う(0.5時間)	
8	献立作成における食品構成の活用方法と「食品構成表」と「加重平均成分表」の作成方法について			食品構成について予習を行う(0.5時間)		「日本食品標準成分表」を用いて、課題献立の「食品構成表」と「加重平均成分表」を作成する(0.5時間)	
9	献立作成におけるエネルギー比率による評価方法について			「栄養指導論 I」のエネルギー比率等の評価方法について予習を行う(0.5時間)		エネルギー比率等により、課題献立の評価を行う(0.5時間)	
10	秤量実習による食品構成の理解と「食品構成表」を使用した献立作成について			食品構成について予習を行う(0.5時間)		秤量実習について、課題を作成し提出する(0.5時間)	
11	1日の献立作成について			献立作成について予習を行う(0.5時間)		対象者への栄養指導の内容に沿った、1日の献立を作成する(0.5時間)	

12	作成した献立の確認と評価	予定献立、食品構成、栄養価計算を作成する(0.5時間)	作成した献立の評価、食品構成の作成、栄養価計算を実施する(0.5時間)		
13	パソコンによる栄養価計算の仕方	「情報処理演習」等でパソコンの使用方法について予習を行う(0.5時間)	パソコンを用いて、作成した献立の栄養価計算を行う(0.5時間)		
14	作成した献立の修正と修正後の評価	1日の献立の評価方法について予習を行う(0.5時間)	作成した献立の評価、訂正を行う(0.5時間)		
15	まとめとふりかえり 対象者の栄養指導案に沿った1日の献立の完成試験	1日の献立作成を完成させる(0.5時間)	学んだ内容を復習整理する(0.5時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表	新しい食生活を考える会	大修館書店	9784469270129	
	(Nブックス) 栄養指導論 3訂	相川りゑ子	建帛社	9784767906676	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	日本人の食事摂取基準 2020年版	伊藤貞嘉/佐々木敏	第一出版	9784804114088	
	「食事バランスガイド」を活用した栄養教育・食育実践マニュアル	公益社団法人 日本栄養士会 武見ゆかり・吉池信男	第一出版	9784804113586	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題		60%	提出状況と内容	
	理解度		20%	授業内での試験の実施	
	受講態度		20%	積極性	
備考	「給食管理実習」に向けての献立作成に関する技術や方法を習得する実習です。調理実習のレシピや学内の図書館等の料理本などを参考にして、料理や献立に関する知識を増やし、献立作成に関するセンスを磨いておいて下さい。				
フィードバック	提出課題を随時、返却し、授業中等に訂正をしてもらいます。				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	栄養士・管理栄養士として、医療施設に勤務経験がある教員が、その経験を活かして、献立作成について実習を行います。				

科目コード	2215	ナンバリング	EAE200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	栄養指導論実習Ⅱ 2-栄 (3長)						
科目英語名	Exercise in Nutrition Guidance Ⅱ 2-栄 (3長)						
担当教員	紀平 佐保子						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目 ピアヘルパー資格取得のための選択科目						
学修内容	1. ライフステージ別の栄養指導の方法を学ぶ。 2. 対象者への栄養指導の目的を明確にし、行動変容を促す方法を学ぶ。 3. 適切な教材を作成し、栄養指導の効果を上げる方法を学ぶ。						
学修成果到達目標	1. ライフステージ別や生活習慣病疾患別の栄養指導の方法を理解し説明できる。 2. 対象者や目的に沿った栄養指導案を作成し、効果的な栄養指導をおこなうことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	国民栄養調査と食生活指針の確認			「栄養指導論Ⅰ」の内容を理解しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
2	成人期の栄養指導 自らの食生活のふりかえり(教室内での討議)			「栄養指導論実習Ⅰ」の内容を理解しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
3	給食実習における栄養指導			「給食管理実習」の内容を理解しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
4	妊娠期・授乳期の栄養指導			「応用栄養学」の該当箇所を理解しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
5	乳児期の栄養指導			「応用栄養学」の該当箇所を理解しておく(0.5時間)		「応用栄養学」の該当箇所を理解しておく(0.5時間)	
6	幼児期の栄養指導 保育園における栄養管理・指導			「応用栄養学」の該当箇所を理解し、学外実習の成果報告会の保育園の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
7	学童期の栄養指導 学校給食における栄養管理・指導			「応用栄養学」の該当箇所を理解し、学外実習の成果報告会の学校の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
8	高齢期の栄養指導 高齢者施設における栄養管理・指導			「応用栄養学」の該当箇所を理解し、学外実習の成果報告会の高齢者施設の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
9	生活習慣病の予防と栄養指導			「応用栄養学」の該当箇所を理解しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
10	学外実習に向けた事前指導の概要 (教室内での討議)			学外実習に向けた事前指導の概要についての情報を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
11	学外実習に向けた栄養指導案の作成 (グループワーク)			学外実習の成果報告会の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		学んだ内容を復習整理する(0.5時間)	
12	学外実習に向けた栄養指導の情報収集や資料作成 (グループワーク)			学外実習の成果報告会の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		栄養指導の指導案を完成させる(0.5時間)	
13	学外実習に向けた栄養指導の原稿作成 (グループワーク)			学外実習の成果報告会の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		栄養指導の原稿を完成させる(0.5時間)	
14	学外実習に向けた栄養指導の媒体製作 (グループワーク)			学外実習の成果報告会の栄養指導に関する情報を収集しておく(0.5時間)		栄養指導の媒体を完成させる(0.5時間)	

15	学外実習に向けた栄養指導の発表 (プレゼンテーション)	学外実習の成果報告会の栄養指導に関する情報を収集しておく (0.5時間)	学んだ内容を復習整理する (0.5時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(Nボックス) 栄養指導論 3訂	相川りゑ子	建帛社	9784767906676	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	発表に対する取り組み	50%	グループワークへの参加, 発表態度, 発表の内容を評価する		
	理解度	20%	課題の内容, 確認テストにより理解度を評価する		
	受講姿勢	30%	受講の態度や積極性, 課題の提出状況などを評価する		
備考					
フィードバック	毎回の授業で課題を提示し、解説と質疑応答を行う。				

科目コード	2220	ナンバリング	EAE205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	公衆栄養学 2-栄 (2 長)						
科目英語名	Public Health Nutrition 2-栄 (2 長)						
担当教員	野原 潤子						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. わが国の健康・栄養問題の現状と課題について理解し、これらに対する現行の様々な政策について学修する。</p> <p>2. 地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。</p> <p>3. 地域診断に必要な栄養疫学の手法を学んだ上で、保健・医療・福祉・介護システムの中で、あらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 栄養士を取り巻く社会環境、法律・制度について理解し、内容を説明できる。</p> <p>2. わが国及び諸外国における公衆栄養施策の背景・目的・内容について説明できる。</p> <p>3. 国民健康・栄養調査の概要及び結果評価の活用方法について説明できる。</p> <p>4. 地域の実態把握・診断のための調査の基本について説明できる。</p> <p>5. 地域の健康課題を把握し、目標を設定し、魅力的な事業計画を立て、評価することができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	公衆栄養学の概念			教科書の第1章第1節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第1章第1節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)	
2	公衆栄養施策と法規			教科書の第3章第1～3節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第3章第1～3節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)	
3	実施に関連する指針、ツール			教科書の第3章第5節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第3章第5節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)	
4	国の健康増進基本計画と地方計画			教科書の第3章第6節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第3章第6節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)	
5	栄養疫学の概要・栄養疫学調査			教科書の第4章第1・2節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第4章第1・2節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)	
6	国民健康・栄養調査と食事調査			教科書の第3章第4節、第4章第3節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として自分の1日分の秤量食事記録を実施し1か月後に提出する(2時間)	
7	食事調査と食事摂取基準			教科書の第4章第3・4節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として自分の食事の評価を実施し1か月後に提出する(2時間)	
8	公衆栄養のマネジメントとアセスメント			教科書の第5章第1・2節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第5章第1・2節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)	

					間)
9	公衆栄養プログラム	教科書の第5章第3・4節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第5章第3・4節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)		
10	公衆栄養活動の進め方	教科書の第1章第2節、第6章第1節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第1章第2節、第6章第1節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)		
11	地域での公衆栄養プログラム	教科書の第6章第2・3節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第6章第2・3節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)		
12	食生活の変遷	教科書の第2章第1・2節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第2章第1・2節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)		
13	食糧需給と自給率	教科書の第2章第3節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第2章第3節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)		
14	諸外国の健康・栄養問題の現状と政策	教科書の第2章第4節、第3章第7節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第2章第4節、第3章第7節の演習内容をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2時間)		
15	栄養士実力認定試験に向けての公衆栄養学のまとめ(定期試験)	これまでの講義の内容を総復習し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	これまでの講義の内容を総復習し、栄養士実力認定試験に備える(2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	知る！わかる！身につく！！ 公衆栄養学 第二版	逸見幾代 編著	同文書院	9784810315004	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	日本人の食事摂取基準(2020年版)	伊藤 貞嘉、佐々木敏	第一出版	9784804114088	
	調理のためのベーシックデータ 第6版	女子栄養大学・短期大学部調理学研究室監修	女子栄養大学出版部	9784789503259	
	日本食品成分表	医歯薬出版	医歯薬出版		最新版
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		20%	出席	
	理解度・定期試験		40%	定期試験の成績	
	課題		40%	課題の提出状況及び内容	

備考	定期試験は、キーワードの記述問題を中心に出題し、自分で作成したレポートのみ持ち込み可能とします。
フィードバック	レポートは提出の次の回にコメントを入れてフィードバックする。

科目コード	2225	ナンバリング	EAF115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	給食実務論 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Method of Feeding Service 1-栄 (1 長)						
担当教員	島村 知歩						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 特定給食施設の目的と特徴を理解する。 2. 適正な栄養量を満たし、おいしくて、安全な食事を提供するための理論と技術を修得する。						
学修成果到達目標	給食施設の栄養管理・食品管理・衛生管理等ができるようになる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	特定給食施設の種類と目的		前期「栄養指導論 I」の復習(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
2	給食施設における栄養士の職務		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
3	給食施設における衛生管理		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
4	食中毒予防		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
5	施設・設備管理		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
6	給食施設における栄養管理 小テスト		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
7	特定給食施設における日本人の食事摂取基準の運用		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
8	荷重平均成分表・食品構成基準		教科書該当ページを読む(2 時間)		課題プリントに取り組む(2 時間)		
9	給食施設における献立		教科書該当ページを読む(2 時間)		課題プリントに取り組む(2 時間)		
10	献立作成		教科書該当ページを読む(2 時間)		献立作成課題に取り組む(2 時間)		
11	栄養管理の評価・栄養教育		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
12	給食施設における栄養教育		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
13	食材料管理・購入計画		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
14	作業計画・大量調理		教科書該当ページを読む(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
15	まとめ 要点の整理		栄養管理、食品管理の章を予習(2 時間)		授業内容を復習し、理解を深める(2 時間)		
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	給食の運営 給食計画・実務論 第5版	富岡和夫 編著	医歯薬出版	9784263704363			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	給食のための 改訂 基礎からの献立作成 -大量調理の基本から評価まで-	上地加容子 片山直美 編著	建帛社	9784767907000	標準		

	食品解説つき 八訂準拠 ビジ ュアル食品成分表	新しい食生活を考 える会 編著	大修館書店	9784469270129	標準
	給食施設のための 献立作成マ ニュアル 第9版	富田教代 他	医歯薬出版	9784263706596	標準
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		70%	小テスト・定期試験	
	課題		20%	内容を満たしているか確認する	
	受講態度		10%	練習問題の取組み、記録などをみる	
備考					
フィード バック	<p>小テストは翌週に返却、解説を行う。 定期試験の答案用紙は成績発表後申し出により閲覧できる。 (解説は特別指導期間に時間を設けるので希望者は出席してください。)</p>				

科目コード	2230	ナンバリング	EAF205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	給食計画論 2-栄 (3 長)						
科目英語名	Menu Planning 2-栄 (3 長)						
担当教員	島村 知歩、飯田 晃朝、原 美沙子、水原 三佳						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	・給食の運営管理に必要な実践的な理論、手法を学ぶ。						
学修成果到達目標	給食の運営管理に必要な、献立作成、食材管理、大量調理、食品衛生、栄養教育、帳票管理などの知識や技術を修得し、対象者に応じた給食の計画や実施、栄養教育ができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	給食の概念・確認試験			給食実務論の復習 (1 時間)		給食実務論の復習 (1 時間)	
2	給与栄養基準量・食品構成基準の算定			教科書「栄養管理」の章を読む(1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
3	献立計画の作成要領			教科書「栄養管理」の章を読む(1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
4	食材料管理の方法			教科書「食材料管理」の章を読む (1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
5	給食施設の設備			教科書「施設・設備管理」の章を読む (1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
6	安全管理と事故対策			教科書「衛生・安全管理」の章を読む。大量調理衛生管理マニュアルの復習 (1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
7	大量調理の調理学			教科書「作業管理」の章を読む(1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
8	作業管理の方法			教科書「作業管理」の章を読む(1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
9	媒体作成の方法			教科書「栄養管理」の章を読む・食事バランスガイドの復習(1 時間)		講義内容を復習し、次回に活用できるようにする (1 時間)	
10	食材料管理に関する帳票作成 (学内実習①)			食材料管理の方法の復習 (1 時間)		作成したものを再点検する (0.5 時間)	
11	作業管理に関する帳票作成 (学内実習①)			作業管理の方法の復習・帳票作成に必要な情報の収集 (2 時間)		作成したものを再点検する (0.5 時間)	
12	媒体・試食アンケートの作成 (学内実習①)			媒体作成に必要な情報の収集・素案作成 (2 時間)		作成したものを再点検する (0.5 時間)	
13	食材料管理に関する帳票作成 (学内実習②)			食材料管理の方法の復習 (1 時間)		作成したものを再点検する (0.5 時間)	
14	作業管理に関する帳票作成 (学内実習②)			作業管理の方法の復習・帳票作成に必要な情報の収集 (2 時間)		作成したものを再点検する (0.5 時間)	
15	媒体・試食アンケートの作成 (学内実習②)			媒体作成に必要な情報の収集・素案作成 (2 時間)		作成したものを再点検する (0.5 時間)	
16	中間確認試験			教科書・実習ノートを復習する (3 時間)		試験内容を復習し、整理する (1 時間)	
17	食材料管理に関する帳票作成 (学内実習③)			食材料管理の方法の復習 (1 時間)		作成したものの再点検する (0.5 時間)	
18	作業管理に関する帳票作成 (学内実習③)			作業管理の方法の復習・帳票作成に必要な情報の収集 (2 時間)		作成したものの再点検する (0.5 時間)	
19	媒体・試食アンケートの作成 (学内実習③)			媒体作成に必要な情報の収集・		作成したものの再点検する (0.5	

		素案作成 (2 時間)	時間)		
20	食材料管理に関する帳票作成 (学内実習④)	食材料管理の方法の復習 (1 時間)	作成したものの再点検する (0.5 時間)		
21	作業管理に関する帳票作成 (学内実習④)	作業管理の方法の復習・帳票作成に必要な情報の収集 (2 時間)	作成したものの再点検する (0.5 時間)		
22	媒体・試食アンケートの作成 (学内実習④)	媒体作成に必要な情報の収集・素案作成 (2 時間)	作成したものの再点検する (0.5 時間)		
23	栄養出納表の作成	教科書「栄養管理」の章を読む (1 時間)	仕上がった栄養出納表の確認をする (0.5 時間)		
24	栄養管理の評価	教科書「栄養管理」の章を読む (1 時間)	授業内容を復習する (0.5 時間)		
25	アンケート集計	アンケート集計準備 (1 時間)	アンケート集計結果の分析 (2 時間)		
26	アンケート結果フィードバック資料の作成	資料作成に必要な情報の収集・素案作成 (2 時間)	授業内容を復習する (0.5 時間)		
27	作業管理の評価	1年間の自分の作業を振り返り、まとめる (2 時間)	作業内容を入力する (2 時間)		
28	グループ討議 (評価のまとめ・考察)	1 年間を振り返り、自分の意見をまとめる (2 時間)	プレゼンテーションの準備・練習をする (1 時間)		
29	グループ討議 (まとめ・報告)	報告の準備 (2 時間)	発表内容の確認 (0.5 時間)		
30	まとめ・最終確認試験	教科書・実習ノートを復習する (3 時間)	課題プリント (1 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	給食の運営 給食計画・実務論 第5版	富岡和夫	医歯薬出版	9784263704363	
	食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表	新しい食生活を考える会 編著	大修館書店	9784469270129	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	調理のためのベーシックデータ 第6版	女子栄養大学・短期大学部調理学研究室 監修	女子栄養大学出版部	9784789503259	標準
	これまで使用してきたテキスト類				
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	理解度	50%	最終確認試験で評価		
	課題	30%	帳票類の内容、レポートの内容を評価		
	受講態度	20%	グループワークの取組み状況で評価		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 履修条件：給食管理実習を履修している者 課題を自分で解決できるように、これまで学んだことを復習しながら自主学習をしてください。 授業計画の順は予定であり変更になる場合があります。 				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 初回・中間確認試験は翌週に返却する (最終確認試験は成績発表時に返却する。) 				

科目コード	2235	ナンバリング	EAF210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	給食管理実習 2-栄 (3 長)						
科目英語名	Exercise in Feeding Service 2-栄 (3 長)						
担当教員	島村 知歩、飯田 晃朝、原 美沙子、水原 三佳						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> 給食の運営に関わる献立作成から食材管理、大量調理、栄養教育、サービスまでグループで実践し、給食経営能力を養う。 グループでより良い給食を提供するために、計画、準備、実施、評価・反省を繰り返し行う。各自が全体の流れ、状況を把握し、各工程での課題を全員で共有、解決しながら安全で美味しい給食の提供を実践する。 行事食や各国料理、郷土料理、農園で栽培した野菜を活用した給食に取り組む。 						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 給食施設での栄養士業務を理解し、状況に応じた対応ができるようになる。 グループ実習を行うことにより、協調性と責任感など社会人基礎力を身につけている。 食材への理解を深め、調理や栄養教育に活用できるようになる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	給食管理実習の概要と年間計画			給食実務論の復習 (1 時間)		課題プリント (0.5 時間)	
2	給食献立の年間計画			年間計画に必要な事項を調べる (1 時間)		年間計画に合わせた献立を検討する (1 時間)	
3	栄養教育の方法			教科書「栄養管理」の章を読む (1 時間)		課題に取り組む (1 時間)	
4	学内実習①献立作成			テーマに合わせた献立案を考える (1 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
5	学内実習①試作計画			教科書「作業管理」の章を読む (1 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
6	学内実習①試作 1			試作準備 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
7	学内実習①試作 2			試作準備 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
8	学内実習①食材発注・作業計画			作業指示書作成 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
9	学内実習①大量調理・サービス			作業計画表・指示書の確認 (1 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
10	学内実習①評価・反省会 次回の献立作成			実習レポートの作成 (1 時間)		ノートまとめ (0.5 時間)	
11	学内実習②試作 1			試作準備 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
12	学内実習②試作 2			試作準備 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
13	学内実習②食材発注・作業計画			作業指示書作成 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
14	学内実習②大量調理・サービス			作業計画表・指示書の確認 (1 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
15	学内実習②評価・反省会 次回の献立作成			実習レポートの作成 (1 時間)		ノートまとめ (0.5 時間)	
16	季節弁当 試作 1			試作準備 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
17	季節弁当 試作 2			試作準備 (0.5 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	
18	季節弁当の調理とサービス			作業計画表・指示書の確認 (1 時間)		実習の振り返りと記録 (0.5 時間)	

19	学内実習③試作 1	試作準備 (0.5 時間)			
20	学内実習③試作 2	試作準備 (0.5 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
21	学内実習③食材発注・作業計画	作業指示書作成 (0.5 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
22	学内実習③大量調理・サービス	作業計画表・指示書の確認 (1 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
23	学内実習③評価・反省会 次回の献立作成	実習レポートの作成 (1 時間)	ノートまとめ (0.5 時間)		
24	学内実習④試作 1	試作準備 (0.5 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
25	学内実習④試作 2	試作準備 (0.5 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
26	学内実習④食材発注・作業計画	作業指示書作成 (0.5 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
27	学内実習④大量調理・サービス	作業計画表・指示書の確認 (1 時間)	実習の振り返りと記録 (0.5 時間)		
28	学内実習④評価・反省会	実習レポートの作成 (1 時間)			
29	報告会準備	報告内容の検討 (1 時間)	報告会準備 (1 時間)		
30	報告会	発表練習 (1 時間)	復習 (0.5 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	給食の運営 給食計画・実務論 第5版	富岡和夫 編著	医歯薬出版	9784263704363	
	食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表	新しい食生活を考える会 編著	大修館書店	9784469270129	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	調理のためのベーシックデータ 第6版	女子栄養大学・短期大学部調理学研究室 監修	女子栄養大学出版部	9784789503259	
	これからの調理学実習 基本手法から各国料理・行事食まで	新調理研究会編	オーム社	9784274069970	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	理解度	30%	計画・準備・大量調理での動きをみる		
	実習態度	30%	計画・準備・大量調理での積極性、計画性、協働性をみる		
	課題	30%	実習ファイル (実習レポート)		
	まとめ報告会	10%			
備考	<p>※履修は原則、履修登録時までに履修した栄養士専門科目の単位を全て修得している人としてします。 条件を満たさない場合は、面談のうえ検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全でおいしい給食を提供するために、各回で課題になったことは期限までに解決できるように、自主学習をしてください。 受講者は指定された日に細菌検査をうけること。未検査の場合は受講不可とします。 提出物 (課題、実習記録) は時間厳守で提出すること。 				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> 給食管理実習ファイルは大量調理を実施した翌週には提出してください。内容確認後、翌週に返却します。 				

科目コード	2240	ナンバリング	EAF215	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	学外実習 I 2・栄 (3 長)						
科目英語名	Practical Exercise in Feeding Service I						
担当教員	島村 知歩、飯田 晃朝、紀平 佐保子						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	給食施設で実地の実習を行うことにより、給食管理・栄養士業務に対する理解を深め、給食の運営を行うために必要な能力を養う。						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士として必要な知識や技術を習得している。 ・施設における栄養士の役割を理解し、仕事の目的や意味を説明できる。 ・対象者に応じた栄養指導ができるようになる。 ・事前準備、実習、事後指導を通して取り組んだ内容について自ら振り返り、自己の向上に努めることができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<input type="checkbox"/> 事前指導・オリエンテーション (学外) <input type="checkbox"/> 自衛隊・福祉施設などの給食施設において、施設栄養士の指導のもとでの実地実習 (学外) <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の概要を把握して給食運営の特徴を理解する。 ・調理作業を体験し、調理設備、衛生管理について学ぶ。 ・発注、事務管理、労務管理などの方法を学ぶ。 ・嗜好調査などを実施して喫食者の状況を把握する。 ・対象に合う献立案を作成する。 <input type="checkbox"/> まとめ・報告会			<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設の特徴を調べる。 ・実習先の施設の種類、対象者の特徴、献立や食事形態で配慮することなどを調べる。 ・実習先から出される事前課題に取り組む。 ・まとめ・報告会準備 (10 時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録簿の作成 ・事後学習課題 (5 時間) 		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	学外実習ノート (オリエンテーション時に配布)						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	給食の運営 給食計画・実務論 第5版	富岡和夫 編著	医歯薬出版	9784263704363			
	その他 栄養士専門科目で使用している教科書						
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	実習前の準備		25%	事前課題・自主学習の内容をみる			
	実習先の評価		30%	実習先の総合評価を反映する			
	実習ノート		25%	内容を満たしているかをみる			
	まとめ・報告発表		20%	取組み態度・報告内容をみる			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は指定された日に糞便検査を行うこと。未検査の場合は実習取り消しとする。 ・提出物 (課題、実習記録) は時間厳守で提出すること。 ※履修条件等は奈良佐保短期大学学外実習に関する内規を参照してください。						
フィードバック	学外実習ノートは内容の確認・評価後、返却します。						

科目コード	2245	ナンバリング	EAF220	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	学外実習Ⅱ 2・栄						
科目英語名	Practical Exercise in Feeding Service II						
担当教員	島村 知歩、飯田 晃朝、紀平 佐保子						
資格・免許との関連	栄養士免許取得のための必修科目						
学修内容	給食施設で実地の実習を行うことにより、給食管理・栄養士業務に対する理解を深め、給食の運営を行うために必要な能力を養う。						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養士として必要な知識や技術を習得している。 ・施設における栄養士の役割を理解し、仕事の目的や意味を説明できる。 ・対象者に応じた栄養指導ができるようになる。 ・事前準備、実習、事後指導を通して取り組んだ内容について自ら振り返り、自己の向上に努めることができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<input type="checkbox"/> 事前指導・オリエンテーション (学外) <input type="checkbox"/> 病院などの給食施設で、施設栄養士の指導のもとでの実地実習 (学外) <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の概要を把握して給食運営の特徴を理解する。 ・調理作業を体験し、調理設備、衛生管理について学ぶ。 ・発注、事務管理、労務管理などの方法を学ぶ。 ・利用者とコミュニケーションをとり、食生活の状況を把握する。 ・喫食対象に合う献立案を作成する。 ・栄養指導の実際を体験する。 <input type="checkbox"/> まとめ・報告会			<ul style="list-style-type: none"> ・給食施設の特徴を調べる。 ・実習先の施設の種類、対象者の特徴、献立や食事形態で配慮することなどを調べる。 ・実習先から出される事前課題に取り組む。 ・まとめ・報告会準備 (10 時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実習記録簿の作成 ・事後学習課題 (5 時間) 		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	学外実習ノート (オリエンテーション時に配布)						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	給食の運営 給食計画・実務論 第5版	富岡和夫 編著	医歯薬出版	9784263704363			
	その他 栄養士専門科目で使用している教科書						
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	実習前の準備		25%	事前課題・自主学習の内容をみる			
	実習先の評価		30%	実習先の総合評価を反映する			
	実習ノート		25%	内容を満たしているかをみる			
	まとめ・報告発表		20%	取り組み態度・報告内容をみる			
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は指定された日に糞便検査を行うこと。未検査の場合は実習取り消しとする。 ・提出物 (課題、実習記録) は時間厳守で提出すること。 ※履修条件等は奈良佐保短期大学学外実習に関する内規を参照してください。						
フィードバック	学外実習ノートは内容の確認・評価後、返却します。						

科目コード	2250	ナンバリング	EAF100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	調理学 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Cooking Science 1-栄 (1 長)						
担当教員	福田 小百合						
資格・免許との関連	栄養士免許必修科目 フードスペシャリスト資格必修科目						
学修内容	1. 調理の基本操作について学ぶ。 2. 包丁や鍋などの調理器具の特性を知り、使い方を学ぶ。 3. 加熱調理の熱源と機器について学ぶ。 4. 食品の素材別に成分の特徴を知り、素材に合わせた調理法を学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 基本的な調理操作を理解し説明できる。 2. 食品成分の機能や調理による変化を理解し説明できる。 3. 栄養バランスのとれたおいしい食物をつくるために必要な知識を身につけ、説明することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	調理の意義と目的	テキスト第 1 章、10 章を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
2	食物のおいしさと調理	テキスト第 2 章を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
3	非加熱調理操作	テキスト第 3 章-1 を予習する(1 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
4	非加熱調理操作と調理器具	テキスト第 3 章-1 を予習する(1 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
5	加熱調理操作① 湿式加熱	テキスト第 3 章-2 を予習する(1 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
6	加熱調理操作② 乾式加熱	テキスト第 3 章-2 を予習する(1 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
7	加熱調理操作と加熱用機器	テキスト第 3 章-3 を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
8	植物性食品の調理科学① 米、小麦、いも類	テキスト第 4 章 1-2 を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
9	植物性食品の調理科学 2 豆類、種実類、野菜類、果実類、きのこ類、藻類	テキスト第 4 章 3-8 を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
10	動物性食品の調理科学① 食肉類、魚介類	テキスト第 5 章を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
11	動物性食品の調理科学① 卵類、乳類	テキスト第 5 章を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
12	油脂・油脂性食品の調理科学	テキスト第 6 章を予習する(2 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
13	ゲル化剤・とろみ剤の調理科学	テキスト第 7 章を予習する(1 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
14	調味料・香辛料の調理科学	テキスト第 8 章を予習する(1 時間)		学修内容を復習整理する(2 時間)			
15	振り返りとまとめ	今までの学修内容を振り返る(4 時間)		定期試験に向けて学修内容を振り返る(4 時間)			
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(はじめて学ぶ健康・栄養系教科書シリーズ 10) 調理学:おいしく安全に調理を行うための科学の基礎	久木久美子他	化学同人	9784759814507			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	小テスト		30%	授業内容を理解しているか評価する。	
	定期試験（筆記試験）		70%	授業内容を理解し、説明することができるか評価する。	
備考	毎回、コメントカードの提出を求める。				
フィード バック	小テストは返却し、授業内で振り返りの時間を確保する。コメントカードに挙げた質問に対して、可能な限り全員に口頭で回答する。				

科目コード	2255	ナンバリング	EAF105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	調理実習 I 1-栄 (1 長)						
科目英語名	Cooking Exercise I 1-栄 (1 長)						
担当教員	島村 知歩、原 美沙子						
資格・免許との関連	栄養士免許・フードスペシャリスト資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 調理を科学的な目で捉え、日本料理、西洋料理、中国料理の特徴を学び、基礎的な調理技術を調理操作別に学ぶ。 2. 給食の運営の基礎となる調理の知識や技術を身につける。 3. 農園で栽培した野菜を活用する。そして新たな活用方法を考える。 4. グループ実習を通して、協働力、計画力、課題解決力を身につける。						
学修成果到達目標	1. 衛生管理、食品の選択、組み合わせ、調理特性などを理解し、栄養士として身につけておかなければならない給食の運営に関わる知識や技術を修得し活用できる。 2. 調理器具や機器が正しく使用できる。 3. 農園で栽培した野菜を使用することで、食品への理解を深め、適切な使用ができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション・調味料の計量			調理の基本を予習(0.5 時間)		課題プリント(1 時間)	
2	炊飯実験・野菜の切り方			基本手法 炊飯予習(0.5 時間)		課題プリント(1 時間)	
3	日本料理の基礎① 汁物・和え物			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
4	日本料理の基礎② 煮物			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
5	日本料理の基礎③ 焼き物			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成 (1 時間)	
6	日本料理の基礎④ 揚げ物			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
7	中国料理の基礎① 前菜 湯菜 (中華だし 湯のとり方)			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
8	中国料理の基礎② 溜菜			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
9	西洋料理の基礎 1 米料理 スープ (ブイヨンのとり方)			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
10	西洋料理の基礎② 小麦粉の調理 (ルー・ソース)			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
11	日本料理の基礎⑤ 寄せ物			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成 (1 時間)	
12	中国料理の基礎 3 点心			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
13	西洋料理の基礎③ 焼き物			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
14	日本料理の基礎⑥ 季節の料理			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習・レポート作成(1 時間)	
15	まとめ 実技・確認試験			実技試験にむけての練習(0.5 時間)		実習内容の復習(1 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	これからの調理学実習 基本手法から各国料理・行事食まで	新調理研究会 編	オーム社	9784274069970			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	食品解説つき 八訂準拠 ビジ ュアル食品成分表	「新しい食生活を 考える会」 編著	大修館書店	9784469270129	(導入・標準)
	調理のためのベーシックデー タ 第6版	女子栄養大学・短期 大学部調理学研究 室監修	女子栄養大学出版 部	9784789503259	(標準)
	NEW 調理と理論 第二版	山崎清子他	同文書院	9784810315073	(標準)
	「こつ」の科学—調理の疑問に 答える (新装版)	杉田 浩一	柴田書店	9784388251124	(応用)
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		40%	実習での身だしなみ、積極性、協調性、計画性などをみる。	
	レポート・課題		30%	授業初回で説明する内容を満たしているか確認する。	
	技術・理解力		30%	授業時で確認する調理技術、実技試験・確認試験で評価す る	
備考	<ul style="list-style-type: none"> *各回3～4品の料理をグループで調理し、試食を行います。授業計画には、各回のテーマをあげています。 *材料等の都合で順番が入れ替わる場合があります。 *身だしなみが悪い場合は受講を不可とします。 				
フィード バック	実習レポートは確認・評価終了後、返却します。				

科目コード	2260	ナンバリング	EAF110	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	調理実習Ⅱ 1-栄 (1長)							
科目英語名	Cooking Exercise Ⅱ 1-栄 (1長)							
担当教員	島村 知歩、飯田 晃朝、原 美沙子							
資格・免許との関連	栄養士免許・フードスペシャリスト資格取得のための必修科目							
学修内容	<p>1. 調理実習Ⅰに引き続き、日本料理、西洋料理、中国料理の特徴、基礎を調理操作別に学ぶ。</p> <p>2. 給食の運営の基礎となる調理の知識や技術を身につける。</p> <p>・食品の衛生や食品の選択、取り扱い、組み合わせ、調理特性に加え、様々な調理器具の活用などを学ぶ。</p> <p>3. グループ実習を通して、協働力、計画力、課題解決力を身につける。</p>							
学修成果到達目標	<p>1. 給食の運営の基礎となる食品の衛生や食品の選択、取り扱い、組み合わせ、調理特性に加え、様々な調理器具の活用などを学び、目的に合わせた調理法や調理の効率化など栄養士として応用し、実践できるようになる。</p> <p>2. 行事食を通して、その行事の背景や意味、食事の意味を理解し実践できるようになる。</p> <p>3. 農園栽培した野菜を活用することで、食品への理解をより深め、食材を生かした調理ができるようになる。</p>							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	日本料理の基礎 1 秋の食材を使って			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
2	日本料理の基礎② 煮物			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
3	大学祭にむけて			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
4	中国料理の基礎 1 炒菜 炸菜			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
5	中国料理の基礎② 点心			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成 (1 時間)		
6	日本料理の基礎③ 郷土料理			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
7	日本料理の基礎④ 冬の焼き物・汁物			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
8	道具の管理 包丁について 研ぎ講習			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
9	西洋料理の基礎 1 ムニエル			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
10	日本料理の基礎⑤ 巻きずし・いなりずし			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
11	西洋料理の基礎② オープン料理			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成 (1 時間)		
12	日本料理の基礎 6 正月料理			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
13	西洋料理の基礎③ クリスマス料理			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
14	農園の野菜を使って			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)		
15	まとめ 実技・確認試験			実技試験に向けての準備(1 時間)		課題プリント(0.5 時間)		
試 験								
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	これからの調理学実習 基本手法から各国料理・行事食まで		新調理研究会 編		オーム社		9784274069970	
参考書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考

	食品解説つき 八訂準拠 ビジ ュアル食品成分表	「新しい食生活を 考える会」 編著	大修館書店	9784469270129	(導入・標準)
	調理のためのベーシックデー タ 第5版	女子栄養大学・短期 大学部調理学研究 室監修	女子栄養大学出版 部	9784789503235	(標準)
	NEW 調理と理論 第二版	山崎清子他	同文書院	9784810315073	(標準)
	「こつ」の科学—調理の疑問に 答える (新装版)	杉田 浩一	柴田書店	9784388251124	(応用)
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		40%	実習での身だしなみ、積極性、協調性、計画性などをみる。	
	レポート・課題		30%	授業初回で説明する内容が網羅できているかを確認する。	
	技術・理解力		30%	授業時で確認する調理技術、実技試験・確認試験で評価する	
備考	<p>*各回3～4品の料理ををグループで調理し、試食を行います。授業計画には、各回のテーマをあげています。</p> <p>*材料等の都合で順番が入れ替わる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみが悪い場合は受講を不可とします。 ・技術は繰り返し行うことで身につきます。学んだ調理操作(料理)を日常生活で実践するよう心がけてください。 				
フィード バック	レポートは確認・評価終了後、返却します。				

科目コード	2265	ナンバリング	EAF200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	調理実習Ⅲ 2-栄 (2長)						
科目英語名	Cooking Exercise III 2-栄 (2長)						
担当教員	島村 知歩、原 美沙子						
資格・免許との関連	栄養士免許・フードスペシャリスト資格取得のための必修科目						
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 調理実習Ⅰ・Ⅱで身につけた知識と技術を基に応用的調理の実習を行う。 2. 実習では日本の伝統料理・行事食や外国の料理を取り上げ、世界のさまざまな食材や調理法を経験する。 3. グループ実習を通して、協働力、計画力、課題解決力を身につける。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理論を理解して実習を行うことにより調理技術を確実に修得している。 2. 知識や技術を実際の食生活や大量調理に応用展開できるようになる。 3. 季節感、よろこびや祈りを食に託す手法を学び栄養士として食事を提供する際にも活かせるようになる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	紅茶でパーティー イチゴを使用したスイーツ、紅茶			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
2	日本料理① たけのこ飯、若竹汁、鯖の木の芽焼き、即席漬、桜餅			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
3	西洋料理① 春のサラダ、ビーフシチュー、ブラウニー、コーヒー			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
4	日本料理② 鯛飯、タコと胡瓜の黄身酢あえ、炊き合わせ、柏餅			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
5	中国料理① 焼辣黄瓜、回鍋肉、蛋花湯、杏仁酥餅、烏龍茶			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成 (1 時間)	
6	日本料理③ そぼろ飯、けんちん汁、五目豆、いんげん豆の甘煮、ひき茶かん			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
7	中国料理② 涼絆茄子、油菜蝦米湯、鍋貼餃子、拔絲地瓜、莉花茶			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
8	エスニック料理 ドライカレー、ナン、ターメリックライス、ヨーグルトゼリー			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
9	西洋料理 2 ニース風サラダ、ウィンナー・シュニッツェル、シフォンケーキ、冷紅茶			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
10	日本料理④ 松花堂弁当			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
11	中国料理③ 洋芋炒肉絲、糖醋魚、酸辣湯、芝麻球、中国茶			調理内容の予習 (0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成 (1 時間)	
12	日本料理 5 郷土を知る～奈良の郷土料理、奈良の食材を使って～			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
13	日本料理⑥ 天ぷら、青菜としめじの柚香あえ、吉野鶏のすまし汁、水無月			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
14	西洋料理③ ラタトゥイウ、ピッツァ、カスタードプディング、ハーブティー			調理内容の予習(0.5 時間)		実習内容の復習とレポート作成(1 時間)	
15	パーティー料理 (実技試験)			実技試験に向けて準備(1 時間)		実習内容の復習と課題プリント(0.5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	これからの調理学実習 基本手法から各国料理・行事食まで	新調理研究会 編	オーム社	9784274069970			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	食品解説つき 八訂準拠 ビジュアル食品成分表	「新しい食生活を考える会」 編著	大修館書店	9784469270129	(標準)		

	調理のためのベーシックデータ 第6版	女子栄養大学・短期大学部調理学研究室監修	女子栄養大学出版部	9784789503259	(標準)
	NEW 調理と理論 第二版	山崎清子他	同文書院	9784810315073	(標準)
	「こつ」の科学—調理の疑問に答える (新装版)	杉田 浩一	柴田書店	9784388251124	(応用)
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		40%	実習での規律性、積極性、協調性、計画性などをみる。	
	レポート・課題		30%	授業初回で説明する内容を満たしているか確認する。	
	技術・理解力		30%	授業時で確認する調理技術、実技試験で評価する	
備考	<p>※履修できるのは、原則、調理実習Ⅰ・Ⅱの単位を修得した人としてします。</p> <p>※材料等の都合で、内容、順番が変わることもあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみが悪い場合は受講を不可とします。 ・実習は出席して経験を重ねることに意味があります。連続した欠席が続く場合は履修継続について相談させていただきます。 ・学んだ調理操作(料理)を日常生活で生かし、確かな力・技術にしてください。 				
フィードバック	レポートは確認・評価終了後、返却します。				

科目コード	2301	ナンバリング	EAG200	単位数	1 単位	開講時期	2023年度前期、 2023年度後期
科目名	専門調理（製菓実習） 2-栄						
科目英語名	Professional Cooking 2-栄						
担当教員	箕山 なおみ、水原 三佳						
資格・免許との関連							
学修内容	1. 製菓についての基礎的な知識や器具の扱い方を、実習を通して身につける。 2. 材料の特性を知り、季節に応じた菓子や、食物アレルギーに対応した菓子作りを学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 器具や機械などを、正しく使いこなすことができるようになる。 2. 生地の状態や出来上がりを見極められるようになる。 3. 材料の特性を理解し、様々な菓子作りに応用できるようになる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ロールケーキ			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	
2	ビスキュイ・ア・ラ・キュイエール (その他、アレルギー対応菓子)			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。また、出された課題について調べる(1 時間)	
3	焼き菓子① (マドレーヌ、スノーボールなど)			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	
4	シフォンケーキ			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	
5	チーズケーキ			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる (1 時間)	
6	シュークリーム			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ (0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	
7	ムース、寒天			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。また、出された課題について調べる(1 時間)	
8	キッシュ、ゼリー			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	
9	焼き菓子 2 (パウンドケーキ、クッキー) ※大学祭に向けての試作			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	
10	焼き菓子② (パウンドケーキ、クッキー) ※大学祭用、仕込み			次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ (0.5 時間)		授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)	

11	タルト①' (フルーツタルト)	次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ (0.5 時間)	授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる (1 時間)		
12	タルト 2 (タルトレット)	次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)	授業内容を確認し、レポートにまとめる。また、出された課題について調べる(1 時間)		
13	モンブラン (栗、芋の 2 種)	次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)	授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)		
14	ブッシュ・ド・ノエル	次回の実習の、材料や作業方法についての下調べ(0.5 時間)	授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)		
15	ガトーショコラ	1 年間に行った実習内容の振り返り(0.5 時間)	授業内容を確認し、レポートにまとめる。 また、出された課題について調べる(1 時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		50%	・授業を受けるにあたっての意欲 ・実習への積極的な参加 ・班員との協力体制	
	レポート・課題		50%	・レポートの提出状況、内容 ・課題への取り組み	
備 考	資料は授業開始時に配布します。				
フィード バック	レポートは、評価終了後にコメントを記入して返却します。				

科目コード	2305	ナンバリング	EAG100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期、2023 年度後期
科目名	食育実践演習 1-栄 (1 長)・BC						
科目英語名	Practice in Food Education 1-栄 (1 長)・BC						
担当教員	飯田 晃朝、島村 知歩						
資格・免許との関連	食の6次産業化プロデューサー【レベル1】取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 健康で心豊かな生活を送るために基本となる「食」とそれを支える「農」について、地域に根差して学び学内農園で栽培体験をする。</p> <p>2. 食に関する諸問題について理解を深める。</p> <p>3. 食育を行うための手法を実践的に学ぶ。</p>						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栽培体験を通して、野菜の成長過程を知り、収穫時期がわかる。 ・季節や気候、天気敏感になり、食材の旬を理解できるようになる。 ・収穫物を料理に使うための処理や保存方法についてを修得している。 ・生産者の仕事を体感することで、野菜栽培の大変さや苦労を理解し、食材を大事に扱えるようになる。 ・食の生産や加工、食文化、安全性の理解や情報の活用、普及啓発活動を通して食育の実践的な手法が身についている。 						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	農園・農機具・農作業等 説明／整備		野菜の旬について調べる(0.5時間)		内容の復習(0.5時間)		
2	露地野菜(ラディッシュ・ピッコロ等) 夏野菜(キュウリ・カボチャ・トウモロコシ等) 播種 ジャガイモ 管理		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
3	サトイモ 定植		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
4	夏野菜(キュウリ・カボチャ・トウモロコシ等) 育苗 管理		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
5	夏野菜 定植準備		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
6	夏野菜苗(トマト・トウガラシ・ナス・キュウリ・落花生等) 定植		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
7	サツマイモ 定植		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
8	夏野菜苗(キュウリ・カボチャ・トウモロコシ等) 定植 露地野菜(ラディッシュ・ピッコロ等) 収穫 ゴマ播種		定植方法について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
9	タマネギ 収穫 菜種 刈取り		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
10	菜種 種取り		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
11	落花生 播種		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
12	ジャガイモ 収穫		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
13	夏野菜 管理		管理方法について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
14	小豆・大豆 播種		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
15	前期まとめ(夏季休暇中の課題と管理の説明) 農園整備		課題に取り組む(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		
16	秋冬野菜(ハクサイ・キャベツ・コマツナ・チンゲン)		栽培作物について調べる(0.5時間)		日々の管理(0.5時間)		

	サイ・カブ・マナ等) 播種 タマネギ 播種	間)			
17	ナタネ播種 冬野菜 (ブロッコリー・ミズナ・カラシナ等) 播種	栽培作物について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
18	秋冬野菜 (ハクサイ・キャベツ・コマツナ・チンゲンサイ・カブ・マナ等) 定植 ゴマ 刈取り	栽培作物について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
19	冬野菜 (ブロッコリー・ミズナ・カラシナ等) 定植 ゴマ種取り	栽培作物について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
20	サトイモ 収穫	栽培作物について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
21	サツマイモ 収穫	栽培作物について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
22	落花生 収穫	栽培作物について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
23	野菜 管理 夏野菜等 片付け	管理方法について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
24	タマネギ 定植	定植方法について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
25	菜種 定植	定植方法について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
26	冬野菜 収穫	冬野菜の管理について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
27	収穫作物 選別/保管	冬野菜の保存方法について調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
28	味噌作り (麴仕込み)	麴について調べる (0.5 時間)	麴の管理 (0.5 時間)		
29	味噌作り	味噌作りについて調べる (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
30	後期まとめ 農園・用具整備	課題に取り組む (0.5 時間)	日々の管理 (0.5 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	必要に応じて資料を配布します。				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	野菜を育てて学ぶ食育実践 BOOK	川上一郎著	家の光協会	9784259518073	標準
	(農学基礎セミナー) 野菜栽培の基礎 (新版)	池田英男・川越英夫編	農山漁村文化協会	9784540043949	標準
	図解でよくわかる土・肥料のきほん: 選び方・使い方から、安全性、種類、流通まで	日本土壌協会監修	日本土壌協会	9784416714270	応用
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	受講態度	40%	授業での作業への取り組みや積極性		
	課題・レポート提出	30%	内容・提出状況		
	自主活動	30%	農作物の日々の管理作業への取り組み		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーなどで野菜がどのように販売されているか、どのような形なのかなど関心を持ってみておいてください。 ・野菜の栽培は、授業時間だけで行えるものではありません。授業時間外も各自又は分担での管理が必要になります。 ・畑に入る際は適した服装で入ってください。作業が危険と判断した場合には出席を不可とします。 				

	<ul style="list-style-type: none">・天候や作物の栽培状況により、急遽、授業や作業の内容が変更する場合があります。
フィードバック	<ul style="list-style-type: none">・授業時に適宜対応する。

科目 コード	3911	ナンバリング	EAG125	単位数	2 単位	開講時期	2023年度後期、 2024年度前期
科目名	ゼミナール I (食物栄養) 1-栄 (2 長)						
科目英語名	Seminar I 1-栄 (2 長)						
担当教員	飯田 晃朝、島村 知歩、紀平 佐保子、箕山 なおみ						
資格・免許 との関連	本学の建学の精神および教育理念に沿った社会に貢献する栄養士としての行動力を身につけるための推奨科目。						
学修内容	1) 得意分野に強みを持った栄養士を目指し、医療・福祉フィールド、食育フィールド、製菓フィールド、フードビジネスフィールドに分かれ、それぞれの分野の献立作成や実習、媒体作成、イベント活動へ参加し、実践力を身につける。 2) イベントの企画運営、コンテストへの出品、商品開発など実施・完成に至る過程で出てくるさまざまな課題をあらゆる角度から検討し形にしていくことで課題解決力を身につける。						
学修成果 到達目標	1) 各フィールドで求められる知識を理解している。 2) 各フィールドで求められる技術や実践力を身につけている。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 活動計画		成果報告会等の資料で自分の選択するフィールドについて情報を収集しておく (2 時間)		フィールドについての学習内容を理解する。(2 時間)		
2	個人の目標設定		フィールドでの自らの目標について考える (2 時間)		フィールドでの自らの目標を明確にする (2 時間)		
3	研究活動① 目的、計画		自らの目標に準じた目的を考え、計画の方向性を考える。(2 時間)		目的と計画をまとめ、レポートを作成する。(2 時間)		
4	研究活動① 情報収集		目的、計画について情報収集する内容と方法を考える (2 時間)		情報収集した内容のレポートを作成する (2 時間)		
5	研究活動① 試作		試作の手順を考える。(2 時間)		試作品について内容をふりかえり、レポートを作成する (2 時間)		
6	研究活動① 検討、修正		試作品について修正案を考える (2 時間)		試作品の修正し、完成させる (2 時間)		
7	研究活動① 発表準備		発表の内容について考える (2 時間)		発表の準備をおこなう (2 時間)		
8	研究活動① 仕上げ		発表の準備をおこなう (2 時間)		発表を完成させる (2 時間)		
9	研究活動① 発表		発表の練習をおこなう (2 時間)		発表についてのふりかえりをおこなう (2 時間)		
10	研究活動① ふりかえり		発表についてのふりかえりの内容をまとめる (2 時間)		発表についてふりかえり、レポートを作成する (2 時間)		
11	研究活動② 献立作成について		他の科目などで献立作成に関する知識を収集しておく (2 時間)		献立作成について復習する (2 時間)		
12	研究活動② 献立作成、栄養価計算		作成する献立の内容について考える (2 時間)		献立作成、栄養価計算を完成させる (2 時間)		
13	研究活動② 試作		試作の手順を考える (2 時間)		試作品について内容をふりかえり、レポートを作成する (2 時間)		
14	研究活動② 検討、修正		試作品について、修正案を考える (2 時間)		試作品の修正を完成させる (2 時間)		
15	前半のまとめ		前半の学習内容をまとめる (2 時間)		後半に向けての自身の課題を明確にする (2 時間)		
16	後半の活動計画		後半の活動計画を考える (2 時間)		後半の活動計画をまとめる (2 時間)		
17	研究活動③ 目的、計画		後半の活動計画に準じた目的を考え、計画の方向性を考える (2 時間)		目的と計画をまとめ、レポートを作成する。(2 時間)		

		時間)			
18	研究活動③ 情報収集	目的、計画について情報収集する 内容と方法を考える (2時間)	情報収集した内容のレポート を作成する (2時間)		
19	研究活動③ 試作	試作の手順を考える (2時間)	試作品について内容をふり かえり、レポートを作成する (2時間)		
20	研究活動③ 検討、修正	試作品について、修正案を考える (2時間)	試作品の修正し、完成させる (2時間)		
21	研究活動③ レシピ作成について	レシピ作成に関する知識を収集 しておく (2時間)	レシピ作成について復習す る (2時間)		
22	研究活動③ レシピ作成	試作品についてのレシピの作成 内容を考える (2時間)	試作品についてのレシピの 完成させる (2時間)		
23	研究活動③ 発表	発表の練習をおこなう (2時間)	発表についてのふりかえり をおこなう (2時間)		
24	研究発表③ ふりかえり	発表についてのふりかえりの内容 をまとめる (2時間)	発表についてふりかえり、レ ポートを作成する (2時間)		
25	研究活動④ 媒体テーマの設定	媒体のテーマを考える (2時間)	媒体テーマに関する設定を 明確にする (2時間)		
26	研究活動④ 情報、資料収集	媒体テーマに関する情報収集す る内容と方法を考える (2時間)	情報収集した内容をレポート にまとめ、媒体作成内容を 考える (2時間)		
27	研究活動④ 指導案作成	指導案の内容を考える (2時間)	指導案を完成させる (2時間)		
28	研究活動④ 媒体作成	媒体の内容を考える (2時間)	媒体を完成させる (2時間)		
29	研究活動④ 発表準備	発表の内容を考える (2時間)	発表の準備をおこなう (2時 間)		
30	研究活動④ 発表 後半のまとめ	発表の練習をおこなう (2時間)	発表についてとフィールドで ついでにふりかえりをおこ ない、レポートを作成する (2 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	専門科目授業のテキストを必要に応じて使用する。				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	関連書籍や雑誌、新聞やテレビ、インターネットを活用して、情報収集をおこなう。				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業への取り組み	50%	各研究活動ごとに評価し、合算集計します。		
	研究活動に関する課題等の内容	50%	各研究活動ごとに評価し、合算集計します。		
備考	各フィールドに関連する学外でのイベント活動に、積極的に参加することが望ましい。				
フィード バック	各フィールドの活動に合わせて、随時、対応する。				

科目コード	3925	ナンバリング	EAG205	単位数	2単位	開講時期	2023年度前期、 2023年度後期
科目名	ゼミナールⅡ（食物栄養） 2・栄（3長）						
科目英語名	Seminar Ⅱ 2・栄（3長）						
担当教員	島村 知歩、飯田 晃朝、紀平 佐保子、原 美沙子、水原 三佳、箕山 なおみ						
資格・免許との関連	栄養士資格取得に伴う実践科目として推奨科目 （栄養士必修科目である「学外実習Ⅰ」「給食管理実習」との連動する科目）						
学修内容	一般教養や栄養士専門科目の復習を行い、複合科目である給食管理実習や学外実習や各種試験に必要な知識・実力を身につける。						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間の学びを集大成し、卒業後の生活に活かすことができる力を身に付けている。 ・栄養士に必要な栄養・食品・給食の知識を複合させながら、学外実習や就職先で活用できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	給食施設における栄養士業務と働き方（講義とグループワーク）	自分の就職について考える（1時間）		就職や学外実習に向けて、自分の働くイメージを作り、目標を設定する（0.5時間）			
2	給食施設における働き方について	自分の就職について考える（1時間）		自分の働くイメージを作り、就職活動の計画を立てる（1時間）			
3	給食施設における大量調理	給食実務論教科書「作業管理」の章を読む（1時間）		講義内容を活用できるように復習する（1時間）			
4	給食施設における衛生管理	給食実務論教科書「衛生・安全管理」の章を読む（1時間）		講義内容を活用できるように復習する（1時間）			
5	給食施設における栄養教育	給食実務論教科書「栄養管理」の章を読む（1時間）		講義内容を活用できるように復習する（1時間）			
6	専門科目の復習（栄養学）	栄養学の復習（1時間）		苦手箇所を見返し、反復する（1時間）			
7	専門科目の復習（調理学）	調理学の復習（1時間）		苦手箇所を見返し、反復する（1時間）			
8	専門科目の復習（給食実務論）	給食実務論の復習（1時間）		苦手箇所を見返し、反復する（1時間）			
9	栄養士学外実習にむけて①学外実習の目的	課題に取り組む（1時間）		課題に取り組む（1時間）			
10	栄養士学外実習にむけて②学外実習の目標	課題に取り組む（1時間）		課題に取り組む（1時間）			
11	栄養士学外実習にむけて③プロフィール票の作成	自己分析を行い箇条書きにまとめる（1時間）		プロフィール票を完成させる（1時間）			
12	栄養士学外実習にむけて④給食施設の留意点・実習記録簿の書き方	給食実務論の復習（1時間）		講義内容を活用できるように復習する（1時間）			
13	栄養士学外実習にむけて⑤対象者とのコミュニケーションのとり方	コミュニケーション演習の復習（1時間）		講義内容を活用できるように復習する（1時間）			
14	給食施設の手作りおやつ 試作と検討（大量調理用）ディスカッション	課題に取り組む（1時間）		課題を克服できるように再考する（1時間）			
15	給食施設の手作りおやつ 試作と検討（レクリエーション用）ディスカッション	課題に取り組む（1時間）		課題を克服できるように再考する（1時間）			
16	栄養士学外実習 中間報告会・反省会（グループワーク）	実習内容を見返し、考えをまとめる（1時間）		他の実習先の取組を参考に実習目標を再考する（1時間）			
17	給食施設の手作りおやつ（大量調理用）まとめ	課題に取り組む（1時間）		完成したものをレシピにまとめる（1時間）			
18	給食施設の手作りおやつ（レクリエーション用）まとめ	課題に取り組む（1時間）		完成したものをレシピにまとめる（1時間）			
19	栄養士学外実習にむけて⑥施設研究	必要な資料・情報の収集（1時間）		課題を仕上げる（1時間）			

20	栄養士学外実習にむけて⑦献立作成	情報収集する (1 時間)	課題を仕上げる (1 時間)		
21	栄養士学外実習にむけて⑧栄養指導媒体の作成	必要な資料・情報の収集 (1 時間)	課題に取り組む (1 時間)		
22	栄養士実力認定試験対策 (給食管理論)	課題に取り組む (2 時間)	苦手箇所を見返し、反復する (2 時間)		
23	栄養士実力認定試験対策 (食品学)	課題に取り組む (2 時間)	苦手箇所を見返し、反復する (2 時間)		
24	栄養士実力認定試験対策 (臨床栄養学)	課題に取り組む (2 時間)	苦手箇所を見返し、反復する (2 時間)		
25	栄養士実力認定試験対策 (調理学)	課題に取り組む (2 時間)	苦手箇所を見返し、反復する (2 時間)		
26	栄養士実力認定試験対策 (食品衛生学)	課題に取り組む (2 時間)	苦手箇所を見返し、反復する (2 時間)		
27	栄養士学外実習報告会①計画 (グループワーク)	自分なりの素案を考える (1 時間)	振り返りレポートを完成させる (1 時間)		
28	栄養士学外実習報告会②準備 (グループワーク)	担当部分の要点をまとめる (1 時間)	原稿等を仕上げる (1 時間)		
29	栄養士学外実習報告会③発表 (グループワーク)	発表練習 (1 時間)	まとめレポートを完成させる (1 時間)		
30	2 年間のまとめ発表準備 (グループワーク)	担当部分の資料・情報収集 (1 時間)	発表練習 (1 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	該当分野の教科書を使用				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	受講態度	50%	積極性、計画性、協働性をみる		
	課題	30%	課題の提出状況、内容で評価		
	理解度	20%	授業内小テストや栄養士実力認定試験の結果をみる		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・受講条件：給食管理実習・給食計画論・学外実習 I を履修してる者とする。 ・授業計画の順は予定であり変更になる場合があります。 				
フィードバック	授業時に適宜対応する。				

科目コード	2400	ナンバリング	EAG130	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	食料経済 2-栄・BC						
科目英語名	Food Economics 2-栄・BC						
担当教員	山本 明美						
資格・免許との関連	フードスペシャリスト取得のための必修科目						
学修内容	わが国の食生活の変化と食料の流通形態を理解し、最新の消費者問題に注目する。さらに、安全で豊かな消費生活のための法的根拠やフードシステム（生産・加工・流通）について理解する。また、世界の食料事情と食と環境問題について理解する。この授業では、講義のほか、学生による発表やディスカッションを取り入れる。						
学修成果到達目標	1.食料経済に関しての問題点を理解し、その解決策やプレゼンテーションができる。 2.フードシステム（生産・加工・流通）の役割・特徴についての知識を習得し、説明することができる。 3.「食」を取り巻く消費者問題や課題を理解し、対応策や環境問題等についての考えを述べることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	豊かな食生活を支える食市場について			教科書 p.1-11 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
2	消費者の食品消費の変化について			教科書 p.12-24 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
3	食生活の多様化について			教科書 p.25-30 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
4	食品流通の役割について			教科書 p.31-39 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
5	卸売流通が必要な食品流通とその変化について			教科書 p.39-49 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
6	食品の小売り流通について			教科書 p.49-60 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
7	外食・中食産業のマーチャンダイジング			教科書 p.61-78 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
8	食品の流通 1（米、小麦、野菜、魚介類、畜産物）			教科書 p.79-95 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
9	食品の流通 2（鶏卵、乳、大豆、漬物・佃煮、調味料、嗜好食品）			教科書 p.95-112 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
10	フードマーケティング			教科書 p.113-131 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
11	デジタル・マーケティングの基本理論			教科書 p.131-134 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
12	食料消費と環境問題			教科書 p.135-138 を読んでおく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
13	食料消費と環境問題について			教科書 p.135-141 を読み、環境問題について調べておく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
14	食品流通の安全確保について			教科書 p.141-146 を読み、食品の安全について調べておく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
15	食料消費を取り巻く問題について			教科書 p.146-152 を読み、食料消費に関しての問題点について調べておく(2 時間)		授業のまとめをする(2 時間)	
試験	筆記試験						
教科書	書名		著者	出版社		ISBN	備考
	食品の消費と流通		(公社)日本フードスペシャリスト協会編	建帛社		9784767906874	

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%	授業内容を理解しているか評価する	
	授業態度		30%	受講姿勢等取り組み姿勢から総合的に評価する	
	課題、小テスト		20%	授業内容を理解しているか評価する	
	プレゼンテーション力		10%	論理的思考力を評価する	
備考	食を通じて社会を知る授業と位置づけますので積極的な発言を求めます。 メディアなどを通じて、食を取り巻く社会問題に関心を持ってください。				
フィード バック	課題と小テストは、次の時間に採点して返却する				

科目コード	2410	ナンバリング	EAG110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	フードスペシャリスト論 1-栄							
科目英語名	Introduction for Food Specialist 1-栄							
担当教員	紀平 佐保子							
資格・免許との関連	フードスペシャリスト取得のための必修科目							
学修内容	1. 食の専門家であるフードスペシャリストの役割について理解する。 2. フードスペシャリストになるために必要な知識を学ぶ。							
学修成果到達目標	1. 食の専門家であるフードスペシャリストの役割について理解して説明できる。 2. フードスペシャリストになるために必要な知識について理解して説明できる。							
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間			
1	フードスペシャリストとは		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
2	人類と食物		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
3	世界の食①食作法と食禁忌		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
4	世界の食②世界の食事情		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
5	日本の食①日本食物史		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
6	日本の食②食の地域差		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
7	現代日本の食生活①食生活の変化と現状		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
8	現代日本の食生活②食料自給率、環境と食		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
9	食品産業の役割 1 食品製造業		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
10	食品産業の役割②外食産業		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
11	食品の品質規格と表示① JAS規格		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
12	食品の品質規格と表示 2 食品表示法		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
13	食情報と消費者保護		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
14	フードスペシャリストの展望		教科書で内容を予習しておく(2時間)		ノートを見直して復習する(2時間)			
15	まとめとふりかえり		これまでの授業内容を復習しておく(2時間)		これまでの授業内容を総復習する(2時間)			
試験								
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	四訂 フードスペシャリスト論		日本フードスペシャリスト協会		建帛社		9784767907147	
参考書	書名		著者		出版社		ISBN	備考

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	理解度	50%	課題の内容, 確認テストにより理解度を評価する
	授業への取り組み	50%	受講態度の積極性や, 課題の提出状況などを評価する
備考			
フィード バック	毎回の授業で課題を提示し、解説と質疑応答を行う。		

科目 コード	2415	ナンバリング	EAG215	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	食品の官能評価・鑑別論 2-栄・BC						
科目英語名	Sensory Evaluation and Judgement of Food 2-栄・BC						
担当教員	紀平 佐保子						
資格・免許 との関連	フードスペシャリスト資格必修科目						
学修内容	1. 近年市場に出回っている多種多様な食品について、フードスペシャリストに必要な知識を身につけ、食品の品質を見極める能力を養う。 2. 12月に実施されるフードスペシャリスト認定試験合格レベルに到達するための取り組みを行う。						
学修成果 到達目標	1. 市場に流通している食品についての基本的知識を身につけ、正しい品質評価ができる。 2. 日本フードスペシャリスト協会認定試験の合格レベルに到達している。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	食品の官能検査法			テキスト第1章を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
2	食品の化学的評価法			テキスト第2章を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
3	食品の物理的評価法			テキスト第3章を予習する(2時間)		フードスペシャリスト認定試験練習問題に取り組む(2時間)	
4	穀類の鑑別			テキスト第4章1-4を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
5	イモ類の鑑別			テキスト第4章5を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
6	豆類・種実類の鑑別			テキスト第4章6-7を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
7	野菜・キノコ類の鑑別			テキスト第4章8を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
8	果実類・海藻類の鑑別			テキスト第4章9-10を予習する(2時間)		フードスペシャリスト認定試験練習問題に取り組む(2時間)	
9	肉類の鑑別			テキスト第4章12を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
10	卵とその加工品の鑑別			テキスト第4章13を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
11	乳と乳製品の鑑別			テキスト第4章14を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
12	魚介類とその加工品の鑑別			テキスト第4章11を予習する(2時間)		フードスペシャリスト認定試験練習問題に取り組む(2時間)	
13	油脂類の鑑別			テキスト第4章15を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
14	その他の食品			テキスト第4章16-23を予習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
15	ふりかえりとまとめ			今までの学修内容を振り返る(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	三訂 食品の官能評価・鑑別演習	日本フードスペシャリスト協会	建帛社	9784767905068			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	理解度		50%	課題の内容, 確認テストにより理解度を評価する	
	授業への取り組み		50%	受講態度の積極性や, 課題の提出状況などを評価	
備考					
フィード バック	毎回の授業で課題を提示し、解説と質疑応答を行う。				

科目コード	2420	ナンバリング	EAG210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	フードコーディネート論 2・栄・BC						
科目英語名	Food Coordination 2・栄・BC						
担当教員	伊藤 知子						
資格・免許との関連	フードスペシャリスト取得のための必修科目						
学修内容	食に関する様々な場面で、複雑な条件を調整し、満足できる状態を演出するための基礎的概念を学ぶ。 1. 日本および世界の食事の文化について学ぶ。 2. 食空間のコーディネートについて学ぶ。 3. フードサービスマネジメントについて学ぶ。						
学修成果到達目標	1. フードコーディネートの基本理念を理解し、人の心に内在する食に対する充実感を満たすための心理的、文化的側面についての教養や感性を身につける。 2. フードスペシャリスト資格認定試験に合格できる力を身につける。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション、フードコーディネートの基本理念		教科書をあらかじめ読んでくる (p2～p13)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
2	食事の文化①日本の食事の歴史		教科書をあらかじめ読んでくる (p16～p24)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
3	食事の文化②日本の特別な日の食事		教科書をあらかじめ読んでくる (p27～p29)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
4	食事の文化 3 外国の食事		教科書をあらかじめ読んでくる (p29～p33)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
5	食卓のコーディネート①日本の食器・食具とテーブルセッティング		教科書をあらかじめ読んでくる (p36～p43、p87～p91)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習 (1 時間)		
6	食卓のコーディネート②世界の食器・食具とテーブルセッティング		教科書をあらかじめ読んでくる (p43～p55、p92～p96) (1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
7	食卓のサービスとマナー①サービスとマナーの基本		教科書をあらかじめ読んでくる (p57～p61)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
8	食卓のサービスとマナー②日本料理、中国料理のサービスとマナー		教科書をあらかじめ読んでくる (p62～p69)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
9	食卓のサービスとマナー③西洋料理のサービスとマナー、パーティおよびプロトコル		教科書をあらかじめ読んでくる (p69～p80)(1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
10	メニュープランニングと料理様式		教科書をあらかじめ読んでくる (p81～p98) (1 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
11	食事空間およびキッチンのレイアウトと設備		教科書をあらかじめ読んでくる (p99～p121) (2 時間)		テーブルコーディネートに関するレポート作成 (10 時間)		
12	フードサービスマネジメント① フードサービスビジネス		教科書をあらかじめ読んでくる (p123～p133)(2 時間)		授業中にとりあげた図表等について復習(1 時間)		
13	フードサービスマネジメント 2 投資計画		教科書をあらかじめ読んでくる (p134～p143)(1 時間)		演習問題の復習(2 時間)		
14	フードコーディネートの情報と企画		教科書をあらかじめ読んでくる (p146～p162)(2 時間)		食企画のブース出店計画についてレポート作成(10 時間)		
15	まとめ 食と社会の関わりについて				食と社会問題に関するレポート作成(10 時間)		
試験	レポート試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	三訂フードコーディネート論	日本フードスペシャリスト協会	建帛社	9784767904405			

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業毎に提出する授業記録シート		30%	授業内容を理解しているかどうかを評価する。	
	レポート試験		50%	レポートへの取り組み姿勢、内容、出来栄を総合的に評価する。	
	平常点		20%	受講姿勢、課題提出状況を評価する。	
備考	授業計画は状況に応じて順番を変更することがある。				
フィード バック	授業記録シート等に記入された質問等については、次の授業の際に適宜コメントする。				

科目コード	2425	ナンバリング	EAG220	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	食品加工実習 2-栄・1-BC						
科目英語名	Practice of Food Processing 2-栄・1-BC						
担当教員	池内 ますみ、水原 三佳						
資格・免許との関連	フードスペシャリスト資格取得のための必修科目 食の6次産業化プロデューサー資格取得のための必修科目						
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 代表的な加工食品を通して食品加工の原理を学ぶ。 2. 授業で習得した知識、技術を日常の食生活に役立てる力を養う。 3. 農産物、畜産物、水産物などそれぞれの食品材料のもつ加工特性について理解する。 4. フードスペシャリストや食プロの資格に必要な知識と技能を身につける。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品加工の基本原理を理解し説明できる。 2. 食材ごとの加工特性を生かすための技術を身につけている。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	実習の概要説明 ・1回2コマで12回実施の授業内容 官能検査 1. 2点比較法 2. 3点比較法 3. 順位法			saho naviに掲載した資料を予習する(1時間)		授業内容を復習整理する(1時間)	
2	砂糖の加工 1. ミルクキャラメル 2. タフィー			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べ、レポートを作成する(2時間)	
3	小麦粉の加工 パン ・ホワイトブレッド 野菜・果実の加工 ・ブルーベリージャム			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	
4	野菜・果実の加工 ・リンゴジャム 小麦粉の加工 パン ・ブリオッシュ			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	
5	小麦粉の加工 めん ・パスタ 菓子類 ・ドーナツ			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	
6	豆類(小豆)の加工 1. 粒あん 2. こしあん 菓子類 どら焼き			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	
7	小麦の加工 めん ・うどん 菓子類 1. 練ようかん 2. あずきカステラ			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	
8	乳類の加工 ・チーズ 菓子類 ・チーズケーキ			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	
9	豆類(大豆)の加工・豆腐菓子類・おからクッキー			saho naviに掲載した資料を予習する(0.5時間)		課題について調べてレポートを作成する(2時間)	

10	肉類の加工 ・スモークソーセージ 野菜・果実の加工 ・かりんシロップ ・かりん酒	saho naviに掲載した資料を予習する (0.5 時間)	課題について調べてレポートを作成する(2 時間)		
11	野菜・果実の加工 ・みかんの缶詰 ・白菜の漬物	saho naviに掲載した資料を予習する (0.5 時間)	課題について調べてレポートを作成する (2 時間)		
12	豆類 (大豆) の加工 ・味噌	saho naviに掲載した資料を予習する	課題について調べてレポートを作成する(2 時間)		
13	水産食品の加工 1. さつま揚げ 2. あさりの佃煮	saho naviに掲載した資料を予習する	課題について調べてレポートを作成する(2 時間)		
14	野菜・果実の加工 ・トマトケチャップ 菓子類 ・花型のオレンジマフィン	saho naviに掲載した資料を予習する	課題について調べてレポートを作成する(2 時間)		
15	いも類の加工 ・こんにやく	saho naviに掲載した資料を予習する	課題について調べてレポートを作成する(2 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	実習への取り組み		50%	1.グループ内で協力できる.2.指示されたことができる.3.実習手順を考えて行動できる.	
	レポート		50%	1.項目をすべて入力.2.実習結果を考察できる.3.課題で知識を深める.	
備考	<p>実施内容は、材料調達等の関係で実施回が変更になる場合があります。</p> <p>授業時には白衣またはエプロン、実習用帽子または三角巾を着用してください。</p> <p>食材費の実費を徴収します。(食物栄養コース学生は事前納付の実習日で賄います。それ以外は事前に 5,000 円の実習費を集め、実施後に精算して残金を返金します。)</p>				
フィードバック	各回のレポートは saho navi に提出してください。提出されたレポートの評価およびコメントを返します。				

科目コード	2440	ナンバリング	EAG115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	食農ビジネス 1-栄・BC						
科目英語名	Food and Agricultural Business 1-栄・BC						
担当教員	飯田 晃朝、吉村 司						
資格・免許との関連	「食の6次産業化プロデューサー レベル1」 取得のための必修科目						
学修内容	生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売・サービス（3次産業）の一体化や連携により、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストランの展開など、食分野で新たな6次産業化のビジネスを創出するために必要となる基本的な事項を学ぶ。						
学修成果到達目標	農水産物を高付加価値化する事業の企画に携われる人材、食や農業に関わる産業に身を置き、その市場を活性化することに貢献する人材になることができる。 到達目標として、「食の6次産業化プロデューサー レベル1」を取得することを目指す。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	6次産業化論			テキスト第1章 6次産業化論を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
2	経営及び経営分析の基礎1(会社・組織・法人の種類・経営理念・経営目標)			テキスト第2章 経営及び経営分析の基礎を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
3	経営及び経営分析の基礎2(経営資源・経営組織)			テキスト第2章 経営及び経営分析の基礎を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
4	会計の原理・簿記の仕組み			テキスト第2章 経営及び経営分析の基礎を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
5	農産物と水産物1(水稻、野菜、果樹、園芸作物の特性・現状)			テキスト第5章 農産物と水産物1 水稻 2 野菜 3 果樹を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
6	農産物と水産物2(畜産、水産物、特用林産物の特性・生産の現状)			テキスト第5章 農産物と水産物4 園芸 5 畜産 6 水産物 7 特用林産物の特性・生産の現状を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
7	食品の種類とその加工			テキスト第6章 食品加工(基礎)を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
8	食品衛生管理1(日本の食品安全行政・食品衛生)			テキスト第4章 食品衛生管理(基礎)2 食品衛生法と営業許可 3 酒税法を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
9	食品衛生管理2(農薬、食品添加物)			テキスト第4章 食品衛生管理(基礎)1 農薬取締法 4 農家レストラン、農産加工所、農家民泊をつくるための食品衛生に関する法律を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
10	事例研究1(6次産業の企業分析)			課題に取り組む(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
11	事例研究2(6次産業の学外フィールドワーク:流通編)(学外)			テキスト第7章 食品流通を予習する(2時間)		見学レポートを作成する(2時間)	
12	事例研究3(6次産業の学外フィールドワーク:製造編)(学外)			テキスト第7章 食品流通を予習する(2時間)		見学レポートを作成する(2時間)	
13	マーケティングの基礎			テキスト第3章 経営及び経営分析の基礎を予習する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
14	ビジネスプラン作成(発表資料の作成)			課題に取り組む(2時間)		発表内容をまとめる(2時間)	
15	ビジネスプラン発表・まとめ(プレゼンテーション)			発表の練習をする(2時間)		レポートを作成する(2時間)	
試験	プレゼンテーション・発表						

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書	国家戦略検定 食の6次産業化プロデューサー 入門 (レベル1 講習用 教本)	斉藤俊幸	2014年6月第1刷	ウェブサイトで公開	
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	メディアなどを通じて、食や農を取り巻く事項に関心を持つ。				
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	プレゼンテーション		50%	ビジネスプランの内容や発表態度	
	課題・レポート		30%	提出状況や内容	
	受講態度		20%	積極性	
備考	この科目以外に、関連する専門科目を履修することが望ましい。 食品産業や農業に関する仕事に従事したいと考えている人は履修することが望ましい。				
フィードバック	ビジネスプランのプレゼンテーションでは、受講者全員で相互評価します。 相互評価の内容を集計し、受講者全員に公表します。				

科目 コード	8180	ナンバリング	EAG120	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	介護食演習						
科目英語名	Practice of Care Food						
担当教員	協定校						
資格・免許 との関連	介護食士 3 級必修科目						
学修内容	高齢者や障害者などのための食事・調理を学ぶ。 高齢者の心理や医学的基礎知識などの講義に加え、料理の柔らかさ、のど越しの良さ、味付け、盛り付け、色彩、思い出の味や料理、おいしく食べるための工夫、高齢者の栄養、衛生などを考えながら学ぶ。						
学修成果 到達目標	在宅での食事介護、施設の食事介護で役に立つ知識、技術を身につけ実践できる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
	授業内容は下記の通りです。授業の順番は若羽調理専門学校の時間割によります。 1) 介護食概論 2) 医学的知識 3) 高齢者心理 4) 高齢者心理と理解 5) 栄養学 6) 食品学 7) 食品衛生学 8) 調理理論・実習 (基礎) 9) 調理理論・実習 (高齢者の普通食 日本・西洋・中国料理 I ~IV) 10) 調理理論・実習 (行事食・季節別・デザート I・II) 11) 調理理論・実習 (生活習慣病予防食・訂ナトリウム食他) 12) 調理理論・実習 (便秘予防食) 13) 調理理論・実習 (軟食) 14) 調理理論・実習 (高齢者のおやつ) 15) 終了評価試験 (実技) 16) 終了評価試験 (学科)			毎回テキストを予習する (1 時間)		授業内容を復習し、調理技術の向上に取り組む (3 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	若羽調理専門学校の終了評価試験、取り組み状況をもとに評価する		100%				
備考	教科書は、若羽調理専門学校のテキスト (8,800 円) を使用します。 講習料 39,000 円、実習材料費 27,000 円が別途必要です。 すべての授業および試験は若羽調理専門学校にて実施します。						
フィード バック							

科目コード	3126	ナンバリング	BAA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	日本企業論 1-BC						
科目英語名	Japanese Enterprises 1-BC						
担当教員	上田 利博						
資格・免許との関連	ビジネス能力検定 (B 検) ジョブパス (文部科学省後援) 3 級取得のための選択科目						
学修内容	<p>現代は、ものや情報が世界中を激しいスピードで飛び交い、さまざまな技術が急速に進歩する中で、人びとのくらしや考え方もめまぐるしく変化している。会社は、この中で人々から選ばれ、生き残り、勝ち抜き、成長発展していくために、つねに環境に合わせて変化し、また、世界中の様々な国や地域で進出・撤退を繰り返している。かつては「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と言われ、一世を風靡した日本企業の本質を様々な角度から分析・研究することにより日本企業の理解を深めることを意図している。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会社とは何かを理解することができる。 2. 会社の仕組みを理解することができる。 3. 企業研究によって、上記の理解を深めることができる。 4. 企業人、社会人としての基礎力が何たるかを理解し身に着けることができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	授業ガイダンスと「会社入門」について			まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負および 自己紹介を 2～3 分で発表できるようにまとめておく(1 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
2	企業・組織に関する基礎知識 I (日本企業)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
3	企業・組織に関する基礎知識 II (外資系企業)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
4	日本国内と日本を取り巻くビジネス環境についての理解 I (グローバルの中の日本)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
5	日本国内と日本を取り巻くビジネス環境についての理解 II (日本の雇用慣行)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する (2 時間)	
6	日本の企業研究 I (製造業)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと (2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
7	日本の企業研究 II (流通・小売業)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
8	日本の企業研究 III (建設業)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義終了後に出す課題についてレポートを作成する(3 時間)	
9	日本の企業研究 I (金融業)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
10	関西の企業研究 (関西でユニークな企業を取り上げる)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと (2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
11	奈良県の企業研究 (奈良県でユニークな企業を取り上げる)			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んで		講義時に配布した資料の要点を整理する (2 時間)	

		おくこと (2時間)			
12	外資系の企業研究 (IT 企業)	前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2時間)			講義時に配布した資料の要点を整理する(2時間)
13	成長し続ける企業の成長要因についての考察	前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2時間)			講義時に配布した資料の要点を整理する(2時間)
14	成長し続ける企業のマネジメントについての考察	前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2時間)			次回のプレゼンに向けて最終チェックをする(2時間)
15	最終プレゼン、まとめとふりかえり	全講義資料の読み直し(2時間)			これまでの講義内容を総復習する(3時間)
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	特に指定はしない。必要な資料は都度配布する。				
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	日本経済新聞、日経ビジネス				
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業への参画度		30%	授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する	
	理解度		30%	授業内容を理解しているかを評価する	
	レポート提出		20%	正確な説明ができているかを評価する	
	小テスト		20%	授業内容を理解しているかを評価する	
備 考					
フィード バック	<ul style="list-style-type: none"> ・講義テキストについては、必要に応じて全体にコメントします。 ・事前課題についても必要に応じて全体にコメントします。 ・レポートは提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。 				

科目コード	3133	ナンバリング	BAB210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	オフィススタディ 2-BC						
科目英語名	Office and Secretarial Studies 2-BC						
担当教員	越 希美江						
資格・免許との関連	秘書士取得のための必修科目						
学修内容	<p>未来洞察の手法の一つである、シナリオプランニングを用いてイノベーションを起こしていくための思考法を身につける。</p> <p>SDGsをはじめ、社会、技術、経済、環境、政治など広く世界で起こっている課題を認識し、未来社会を多角的に想像した上で、未来社会で起こりうる課題に対してそれを解決する革新的なビジネスアイデア・ビジネスモデルを創発する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会に変化をもたらす多様なマクロ環境についてリサーチができる。 2. リサーチした情報をもとに、未来社会を想像し、複数のストーリーを作成できる。 3. 作成したストーリーをもとに、未来社会における社会課題を特定し、課題解決のためのアイデアを創発しプレゼンテーションができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、イノベーションとは イノベティブなチームづくりのためのコミュニケーション演習			10 年後の未来社会がどんな世の中になっているのかりサーチし、2~3 分で話せるように準備をする(2 時間)		コミュニケーション演習から気づいたこと・今後のチーム活動でどのようなリーダーシップを発揮するか等の目標設定を行う(2 時間)	
2	社会課題の認知：SDGs について知る SDGs カードゲーム体験			SDGs 前文を読む。 SDGs について調べ概要を 5 分程度でプレゼンテーションができるように、文章でまとめる (2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる(2 時間)	
3	シナリオプランニング概要 既存の未来シナリオを活用した対話の体験			事前学修動画の視聴と動画の感想をまとめる。 指定されたテーマについて、リサーチを行う(2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる(2 時間)	
4	既存の未来シナリオを活用して、社会課題の特定する 課題解決のアイデアを創発する			未来シナリオを通じて、想定される社会課題を洗い出す解決アイデアを検討し、授業内でプレゼンテーションができるよう準備する(2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる(2 時間)	
5	最終プレゼンテーションに向けたチームを編成する シナリオプランニング演習			指定されたテーマについて、リサーチを行う(2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる (2 時間)	
6	シナリオプランニング演習：外部環境要因の調査			シナリオプランニングのためのマクロ環境調査を行う (2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる(2 時間)	
7	シナリオプランニング演習：ほぼ確実な未来のシナリオを作成する			ほぼ確実なシナリオの作成に向けて統計データをリサーチする(2 時間)		中間振り返りレポートの作成(2 時間)	
8	シナリオプランニング演習：不確実な未来のシナリオを複数作成する (シナリオの軸の検討)			複数シナリオの軸を検討する(2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる。(2 時間)	
9	シナリオプランニング演習：不確実な未来のシナリオを複数作成する (4 つのシナリオの概要作成)			不確実な未来シナリオを検討する(2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる(2 時間)	
10	シナリオプランニング演習：不確実な未来のシナリオを複数作成する (4 つのシナリオの詳細分析)			不確実な未来シナリオを検討する (2 時間)		授業からの学び・気づきをまとめる(2 時間)	

11	作成した未来シナリオを活用して、未来社会の課題を抽出する	作成した未来シナリオを通じて、想定される社会課題を洗い出す。解決アイデアを検討し、授業内でプレゼンテーションができるよう準備する(2時間)	授業からの学び・気づきをまとめる(2時間)		
12	未来社会の課題を解決するビジネスアイデアを検討する	チームでの役割分担にもとづき、ビジネスアイデアを具体化する(2時間)	授業からの学び・気づきをまとめる(2時間)		
13	ビジネスアイデアのプレゼンテーション準備	プレゼンテーション準備(2時間)	授業からの学び・気づきをまとめる(2時間)		
14	プレゼンテーション演習、講評	プレゼンテーション準備(2時間)	授業からの学び・気づきをまとめる(2時間)		
15	まとめとふりかえり	振り返りレポートの作成(2時間)	これまでの講義内容を総復習する(2時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	未来を変える目標 SDGs アイデアブック	Think the Earth 編著	紀伊國屋書店	9784877385132	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	ディスカッションへの貢献度		30%	受講姿勢等取組姿勢から総合的に評価する	
	事前・事後課題の履行		20%		
	振り返りレポートの提出		20%		
	プレゼンテーション		30%		
備考	全授業にてグループ・ディスカッションや演習を行うため、グループ内で積極的に役割を引き受けたり、チームメンバーを応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価します。 予習は、グループ・ディスカッションの質に大きく影響するため、予習の不履行は厳しい評価を行います。				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・講義テキストについては、必要に応じて全体にコメントします。 ・事前課題についても必要に応じて全体にコメントします。 ・レポートは、提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。 				

科目コード	3134	ナンバリング	BAB110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	ビジネス文書 1-BC						
科目英語名	Business Writing 1-BC						
担当教員	上田 利博						
資格・免許との関連	ビジネス実務士、秘書士取得のための選択科目						
学修内容	<p>メール、Web、SNS などインターネットの業務利用が当然である現在のビジネスシーンにおいて、仕事上のコミュニケーションは基本的に「文書」で行われる。本講義では、会社の「仕事」における基本業務を踏まえ、ビジネス文書の基本書式の講義や「読む」「書く」「話す」「コミュニケーションを行う」のグループ・ディスカッションや演習を通じて実践的なビジネス文書の作成能力を学修する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス文書の基本書式を理解し作成できる。 2. ビジネスメールの基本書式を理解し作成できる。 3. ビジネス・コミュニケーションツールの基本書式やバリエーションを理解し作成できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション ビジネス文書の基本1 ビジネス文書が果たす 重要な役割 ※各回のテーマは適宜変更する場合がある			まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標やご自身の目標を 2～3 分で発表できるようにまとめておく(1時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
2	ビジネス文書の基本②文書作成技能が求められる理由			前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
3	ビジネス実務文書Ⅰ(表記技能)①ビジネス用語に使われる漢字、会社の仕組み(部署と職種)			前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
4	ビジネス実務文書Ⅰ(表記技能)②句読点、慣用の手紙用語、書き誤りやすい漢字(同音異義語)			前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
5	ビジネス実務文書Ⅱ(表現技能)①正確な文書、分かりやすい文書(件名、箇条書き、要約)			前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
6	ビジネス実務文書Ⅱ(表現技能)②礼儀正しい文書(敬称、丁寧な言い回し)			前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
7	ビジネス実務文書Ⅲ(実務技能)①社内文書(通知文書、案内文書、稟議書)			前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2時間)		講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2時間)	
8	ビジネス実務文書Ⅲ(実務技能)②社外文書:社外通信			前回授業で指定された スピーチ		講義時に配布した資料の要	

	文書（営業・商用に関する文書）	のテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
9	ビジネス実務文書Ⅲ（実務技能）③社外文書・社交文書（儀礼に関する文書）	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
10	ビジネス・コミュニケーションⅠ（ビジネスメールの基本書式）	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
11	ビジネス・コミュニケーションⅡ（ビジネスメールの作成演習）	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
12	ビジネス・コミュニケーションⅢ（ビジネス情報の収集方法）	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
13	ビジネス・コミュニケーションⅣ（自己紹介ツールの基本書式）	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
14	ビジネス・コミュニケーションⅤ（自己紹介ツールの作成演習）	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	講義時に配布した資料の要点およびビジネス文書で何を学ぶかを整理する(2 時間)
15	まとめとふりかえり	前回授業で指定された スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報をまとめ、1 分間スピーチの準備をしておく(2 時間)	これまでの講義内容を 総復習する(3 時間)

試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ビジネス文書検定受験ガイド 3 級	実務技能検定協会編	早稲田教育出版	9784776611707	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ビジネス文書検定受験ガイド 1・2 級	実務技能検定協会編	早稲田教育出版	9784776611714	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%	授業内容を理解しているかを評価する	
	平常点（提出物、積極性、受講態度、スピーチ）		40%	授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する	
	小レポート		20%	正確な説明ができていないかを評価する	

備考	
フィードバック	<ul style="list-style-type: none">・講義テキストについては、必要に応じて全体にコメントします。・事前課題についても必要に応じて全体にコメントします。・小レポートは提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。

科目コード	3138	ナンバリング	BAA210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	ビジネス実務概論 2-BC						
科目英語名	Business Practice Introduction 2-BC						
担当教員	上田 利博						
資格・免許との関連	ビジネス実務士取得のための必修科目						
学修内容	<p>現代の社会情勢や経済動向を踏まえ、将来、職業人として適応するための知識を身につける。自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネス常識および基礎的なコミュニケーション、情報の活用について理解する。さらに、企業の役割や責任を理解するとともに、効率的な業務の進め方、問題解決のための技法の修得を目指す。本概論を通して、ビジネスの基本と仕事の実践を修得する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	1. ビジネス社会における基礎知識を理解し、エンプロイアビリティ (employability) 雇用されうる能力を養うことができる。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	ビジネス実務の概要	シラバスの確認とテキストに目を通しておく(1時間)			ジョブパス 3級 2級の過去問概要を確認しておく(2時間)		
2	ビジネス実務とキャリア形成	1分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 2 章に目を通しておく(2時間)			テキスト第 2 章復習第 2 章過去問(2時間)		
3	ビジネス実務の基礎知識会社組織の基本	1分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 2 章に目を通しておく(2時間)			テキスト第 2 章復習第 2 章過去問(2時間)		
4	仕事への取り組み方	1分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 3 章に目を通しておく(2時間)			テキスト第 3 章復習第 3 章過去問(2時間)		
5	ビジネスコミュニケーションの基本	3分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 3 章に目を通しておく(2時間)			テキスト第 3 章復習第 3 章過去問 (2時間)		
6	仕事の指示と報告・連絡・相談	3分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 4 章・第 5 章に目を通しておく (2時間)			テキスト第 4 章復習第 4 章・第 5 章過去問(2時間)		
7	電話応対	3分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 6 章と第 2 編第 3 章に目を通しておく(2時間)			テキスト第 5 章復習第 6 章・第 2 編第 3 章過去問(2時間)		
8	来客応対と訪問の基本マナー	3分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 2 編第 1 章・第 2 章に目を通しておく(2時間)			ジョブパス試験対策平成 30 年 3 級過去問(2時間)		
9	ビジネス文書の基本	3分間のビジネススピーチ準備 テキスト第 2 編第 4 章・第 5 章に目を通しておく(2時間)			ジョブパス試験対策平成 29 年 3 級過去問(2時間)		
10	統計・データの読み方	ジョブパス試験対策平成 29 年 3 級過去問 (2時間)			ジョブパス試験対策平成 28 年 3 級過去問(2時間)		
11	情報収集とメディアの活用	3分間のビジネススピーチ準備 ジョブパス 3 級出題のビジネス用語を覚える (2時間)			ジョブパス試験対策平成 27 年 3 級過去問 2 級特有問題の復習 (2時間)		
12	企業におけるコンプライアンス	3分間のビジネススピーチ準備 ジョブパス 3 級出題のビジネス用語を覚える(2時間)			コンプライアンスの復習ビジネス用語の復習(2時間)		
13	労働基準法	3分間のビジネススピーチ準備			ビジネスに関わる労働法の		

		労働法を調べる(2時間)	復習(2時間)		
14	社会保障と税金	3分間のビジネススピーチ準備 社会保障について調べる(2時間)	ビジネスに関わる社会保障 の復習(2時間)		
15	企業を取り巻く環境と経済の基本、最終プレゼン	総まとめプレゼン準備(2時間)	ジョブパス3級テキスト総復 習(3時間)		
試 験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	B 研ジョブパス 2023 年版ビ ジネス能力検定3級公式テキス ト	職業教育・キャリア 教育財団著	日本能率マネジメ ントセンター発行	9784800590589	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	過去問を中心とした理解度		40%	授業内容を理解しているかを評価する	
	プレゼンテーション		30%	プレゼン能力を評価する	
	平常点(提出物、積極性、受講態度)		30%	授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する	
備 考					
フィード バック	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて全体にコメントします。 ・提出物に対しては全体および個別にコメントします。 				

科目コード	3137	ナンバリング	BAA230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	事業計画論 2-BC						
科目英語名	Business Plan 2-BC						
担当教員	上田 利博						
資格・免許との関連	ビジネス能力検定（B 検）ジョブパス（文部科学省後援）3 級取得のための選択科目						
学修内容	<p>企業におけるビジネスプラン作成に必要な分析と基本的な理論・フレームワーク・キーワードを具体的に学び、実際に事業計画を作成する。「市場」や「競争」や「自社」についてしっかりと考えることにより、現実的でビジネスに通用するレベルに到達するよう意図している。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業計画とは何かを理解する。 2. 分析の手法を身近に感じることができる。 3. 企業戦略に必要な要素を知ることができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーションと事業計画の基礎			まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負および自身が創りたい会社のイメージをまとめて 2～3 分で発表できるように準備しておく(1 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
2	事業機会と趣味をうまく実現するためにデータを紐づける。			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
3	ビジネスと政治			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
4	ビジネスと経済			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
5	ビジネスと社会			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する (2 時間)	
6	ビジネスと技術			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと (2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
7	ビジネスと競争優位性			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
8	自社の分析			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義終了後に出す課題についてレポートを作成する(3 時間)	
9	企業の価値について			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
10	分析と事業計画について I			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと (2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する(2 時間)	
11	分析と事業計画 II			前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと (2 時間)		講義時に配布した資料の要点を整理する (2 時間)	

12	事業計画のケーススタディ I (学校例)	前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2時間)	講義時に配布した資料の要点を整理する(2時間)		
13	事業計画のケーススタディ I (一般企業例)	前回の講義終了後に配布するテキストを次回講義までに読んでおくこと(2時間)	講義時に配布した資料の要点を整理する(2時間)		
14	ビジネスプラン作成演習 グループ・ワーク	事業計画作成の全体を見直しておく(2時間)	次回のプレゼンに向けて最終チェックをする(2時間)		
15	ビジネスプランの発表 (まとめとふりかえり)	発表の予行練習の実施(2時間)	これまでの講義内容を総復習する(3時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	特に指定なし。必要な資料は都度配布する。				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	適宜案内する				
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業への参画度		30%	授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する	
	レポート提出		20%	正確な説明ができているかを評価する	
	講義の成果物としての事業計画書の提出		20%	授業内容を理解しているかを評価する	
	プレゼンテーション		30%	プレゼン能力を評価する	
備考					
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・講義テキストについては、必要に応じて全体にコメントします。 ・事前課題についても必要に応じて全体にコメントします。 ・レポートは提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。 				

科目コード	3151	ナンバリング	BAA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	経営学 1-BC						
科目英語名	Management 1-BC						
担当教員	吉村 司						
資格・免許との関連	介護福祉士資格取得のための選択必須科目 ビジネスキャリアコース推奨科目 ビジネス実務士資格取得のための選択必須科目						
学修内容	<p>コロナ渦以降の日本企業は空前の危機的状況とチャンス到来の両方に直面しており、経営者、社員、パートナーが一体となって顧客に対応してリスクを回避し、ビジネスを伸ばすアイデアを継続的に創造する力が求められている。</p> <p>本授業は経営学に基づいたビジネス・キーワードをベースに、最新の企業活動のケース・スタディも交えながら日本企業の現実を直視・理解し、進路決定、就活や卒業後のビジネス課題発見と解決力を備えた「経営人材」を目指して育成していく。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス基礎理論】ビジネスや経営を行うために必要な理論や先行研究を学ぶ」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 日本企業で実践されているビジネス・キーワードを理解して説明出来る。</p> <p>2. 経営学の基本体系を理解して説明出来る。</p> <p>3. 自身が目指す「経営人材」が説明出来る。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、「経営学」とは ※各回のテーマは適宜変更する場合がある			まずシラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負および自己紹介を 2～3 分で発表できるようにまとめ、テキストの第 1 章を読んでおく(1.5 時間)		1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)	
2	経営組織論 I 経営管理の始まり (官僚制、PDCA、三種の神器)			毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)		1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)	
3	経営組織論 II 意思決定 (組織均衡、組織学習、サイモンの意思決定)			毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)		1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (2 時間)	
4	経営組織論 III 組織デザインとマクロ組織論 (事業部制、マトリックス組織、個体群生態学)			毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・		1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間)	

		疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	ル送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
5	経営組織論Ⅳ モチベーション (人間関係論、期待理論、内発的動機づけ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
6	経営組織論Ⅴ リーダー (リーダーシップ論、管理者行動論、サーバント・リーダーシップ)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
7	経営戦略論Ⅰ 経営戦略と全社戦略 (多角化、シナジー効果、事業ドメイン)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
8	経営戦略論Ⅱ 競争戦略 (コストリーダーシップ、差別化、集中)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2 時間)
9	経営戦略論Ⅲ 事業戦略(ファイブ・フォース・モデル、資源ベース理論)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を

			述べ500字程度でメール送信 (2時間)
10	経営戦略論Ⅳ アウトソーシング (系列取引、製品アーキテクチャー)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
11	経営戦略論Ⅴ カスタマーと国際経営 (パレートの法則、海外直接投資、グローバル経営)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
12	技術経営論Ⅰ 生産管理 (見込生産と受注生産、ジャスト・イン・タイム、損益分岐点)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間)2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
13	技術経営論Ⅱ 品質経営と製品開発 (フォード・システム、ベンチマーキング、デファクト・スタンダード)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
14	技術経営論Ⅲ イノベーション (イノベーターのジレンマ、ゲートキーパー、オープン・イノベーション)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ500字程度でメール送信(2時間)
15	まとめとふりかえり	これまでの授業テーマで一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1分間スピーチ	授業の総まとめを行い、授業でふりかえったポイントをもとに定期試験に備えるこ

		での発表を前提に復習・準備し ておく(1.5時間)	と(2.5時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	大学4年間の経営学が10時間でざっと学べる	高橋 伸夫	KADOKAWA (2016/9/18)	9784046017659	※文庫本でも結構です、安いです →KADOKAWA (2019/1/24) ISBN-13:978-4046040589
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	日本のイノベーションのジレンマ:破壊的イノベーターになるための7つのステップ(第2版)	玉田 俊平太	翔泳社	9784798166384	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	1) 平常点		40%	①受講姿勢②1分間スピーチ③「QR」「IDR」課題等の完成度と提出率	
	2) 積極性		20%	①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度	
	3) 定期試験		40%	※全項目いづれかの成績が50%未満の場合、合計成績に関わらず不合格となる場合がある	
備考	全授業にてグループ・ディスカッション(GD)や演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。				
フィードバック	1)「QR(QuickReport:クイックレポート)」授業当日中に送信(20時迄到着分は早着加点)。到着確認とコメントを原則授業日後2営業日以内に返信。不達時は必ずメール確認のこと、未確認は未提出となる。 2)「IDR(In-Depth Report:詳細レポート)」次週の授業開始迄に送信。到着確認とコメントを原則締切後3営業日以内に返信。他は1)に同じ。				
実務経験のある教員による授業科目(※該当者のみ記載)					
授業内容	企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネジメント経験ある教員が、経営学の基礎理論を踏まえた上で、経営学用語とビジネス実務に合致するキーワードを抽出し、ケーススタディを交えながら講義、演習する。				

科目コード	3161	ナンバリング	BAB110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	アカウントニング I 1-BC						
科目英語名	Business Accounting I 1-BC						
担当教員	橋本 祐樹						
資格・免許との関連	後期設置科目「経理実務Ⅱ」と併せて受講することで、日本商工会議所簿記検定 3 級レベルの内容を網羅する。本科目を受講しながら同検定の合格も目指すことを推奨する。						
学修内容	経理実務Ⅰでは、基本的な簿記の仕組み（仕訳～試算表作成）を学び、経理実務を行う上で必要不可欠である基礎的な簿記知識の修得を行う。適宜ワークを取り入れながら、複式簿記の概念を皮膚感覚として身につける。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。						
学修成果到達目標	複式簿記の概念を理解し、仕訳～試算表作成までの基本的な流れや実務の手続きができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	簿記の基礎			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
2	現金と預金			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
3	商品売買			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
4	債権と債務			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
5	1～4の振り返り（ワーク実習）			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題（3 時間）	
6	固定資産			テキスト読込（1 時間）		テキスト・問題(3 時間)	
7	その他の取引			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
8	試算表			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
9	6～8の振り返り（ワーク実習）			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
10	株式の発行等			テキスト読込（1 時間）		テキスト・問題(3 時間)	
11	精算表と財務諸表①			テキスト読込（1 時間）		テキスト・問題（3 時間）	
12	精算表と財務諸表 2			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
13	帳簿と伝票			テキスト・問題(2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
14	10～13の振り返り（ワーク実習）			テキスト・問題(2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
15	経理実務の総まとめ			テキスト・問題(2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	サクッとわかる日商 3 級 商業簿記テキスト【第 3 版】	桑原和之	ネットスクール	9784781013275			
	サクッとわかる日商 3 級 商業簿記トレーニング【第 3 版】	桑原和之	ネットスクール	9784781013282			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法			評価割合	評価基準など		
	平常点			60%	受講姿勢等取組姿勢から総合的に評価する		

	理解度	40%	定期試験等で評価
備考	電卓（できれば12桁のもの）を持参してください。 随時、問題集などの宿題を課し、提出を求めます。（授業態度、理解度の評価において参考とします。）		
フィードバック			

科目コード	3171	ナンバリング	BAB125	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	アカウンティングⅡ 1-BC						
科目英語名	Business Accounting Ⅱ 1-BC						
担当教員	橋本 祐樹						
資格・免許との関連	前期設置科目「経理実務Ⅰ」と併せて受講することで、日本商工会議所簿記検定 3 級レベルの内容を網羅する。本科目を受講しながら同検定の合格も目指すことを推奨する。						
学修内容	<p>経理実務Ⅱでは、経理実務Ⅰで学修した経理の仕組みを踏まえて企業の財務諸表の作成方法や概観的な見方を学び、実際の企業を分析することでその手法や重要性を体感する。また、実務で使用されることの多い会計ソフトを使用し、実際の企業における経理実務の一部を体感する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	精算表～決算書作成の実務的手続きができるようになるとともに、決算書に基づく企業分析の手法や重要性について理解し、説明できるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	経理実務Ⅰの復習①			テキスト・問題(2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
2	経理実務Ⅰの復習②			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
3	経理実務Ⅰの復習③			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
4	経理実務Ⅰの復習④			テキスト読込(1 時間)		テキスト・問題(3 時間)	
5	財務諸表の見方			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト・問題 (2 時間)	
6	貸借対照表の見方			新聞等情報収集 (2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
7	損益計算書の見方			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
8	キャッシュフロー計算書の見方			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト・問題(2 時間)	
9	数字による経営分析の仕方			新聞等情報収集(2 時間)		宿題プリント(2 時間)	
10	有価証券報告書(決算書)の見方			新聞等情報収集 (2 時間)		宿題プリント(2 時間)	
11	経理実務の現場			新聞等情報収集 (2 時間)		宿題プリント (2 時間)	
12	グループワーク①(企業リサーチ)			新聞等情報収集(2 時間)		自宅でのワーク(2 時間)	
13	グループワーク 2(企業分析)			新聞等情報収集(2 時間)		自宅でのワーク(2 時間)	
14	グループワーク③(プレゼンテーション準備)			新聞等情報収集(2 時間)		自宅でのワーク(2 時間)	
15	グループ発表(企業分析)			新聞等情報収集(2 時間)		自宅でのワーク(2 時間)	
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	サクッとわかる日商 3 級 商業簿記テキスト【第 3 版】	栗原和之	ネットスクール	9784781013275			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	サクッとわかる日商 3 級 商業簿記トレーニング【第 2 版】	桑原和之	ネットスクール	9784781013282			
成績評価	評価方法			評価割合	評価基準など		

方法・基準	平常点	60%	受講姿勢等取組姿勢から総合的に評価する
	理解度	40%	定期試験等で評価
備考	電卓（できれば12桁のもの）を持参してください。 随時、問題集などの宿題を課し、提出を求めます。（受講態度、理解度の評価において参考とします。）		
フィードバック			

科目コード	3180	ナンバリング	BAA205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	マーケティング 2-BC						
科目英語名	Marketing 2-BC						
担当教員	吉村 司						
資格・免許との関連	ビジネスキャリアコース必修科目 ビジネス実務士資格取得のための選択必須科目						
学修内容	マーケティングとは企業等が顧客・マーケット・社会に対してユニークな価値提供を行う活動（アクティビティ）で、ブランドの確立がゴールであり、代表者がリーダーシップを発揮して組織全体で取り組むべきものである。本授業ではマーケティングの基本理論から実際のビジネス現場や会社の仕事として備えておくべき戦略・戦術を学修し、さらに定番・最新事例をテーマとしたケース・スタディ形式のグループ・ディスカッションを基本として、受講者全員で楽しみながらマーケティングを学び、気づき、実践する授業を目指す。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス基礎理論】ビジネスや経営を行うために必要な理論や先行研究を学ぶ」に該当する。						
学修成果到達目標	1. マーケティングの基本戦略を理解し説明出来る。 2. マーケティングの基本戦術を理解し説明出来る。 3. 「将来、自身の仕事でマーケティングをどう生かすか」が説明出来る。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション、「『マーケティング』とは」（価値交換、顧客、経営者、プロダクトアウト、マーケット・イン、マーケティング志向） ※各回のテーマは適宜変更する場合がある		シラバスを熟読し、本授業での学修目標や 抱負およびフリー・メッセージを 2～3 分で発表できるようにまとめ、テキストの第 1 章を読んでおく(1.5 時間)		1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)		
2	マーケティング・コンセプト I STP と 4P (マーケティング戦略、マーケティング戦術)		毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)		1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)		
3	マーケティング・コンセプト II STP と 4P+4C (マーケティング・ミックス、4C)		毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)		1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信(0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)		
4	マーケティング・コンセプト III マーケティング・コンセプトの拡張と将来		毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科		1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字		

	(リレーションシップ・マーケティング、ソーシャル・マーケティング、デ・マーケティング)	書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
5	マーケティング・コンセプトⅣ 強みと弱みを知る (SWOT 分析、マーケティング・マイオピア、コトラの競争地位 4 類型)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ2,000 字程度でメール送信 (各授業で執筆・準備 2 時間)
6	消費者行動 (ブランド選択行動、ライフスタイル、顧客満足)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード (カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
7	プライス (価格設定) (価格設定のロジック、プライシングの 3 要素、イールド・マネジメント)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
8	プロモーション (広告と販促) (AIDMA、AISAS、DECAX)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践)を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信。(0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
9	プレイス (流通と営業) (チャネル設計、チャネル構造、	毎回授業テーマとビジネス・キー	1) 「QR」: 授業のポイント(学

	垂直マーケティング・システム)	ワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
10	テストとコントロール (PLC: 製品ライフサイクル、計画的陳腐化)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信。(0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
11	CRM、1 to 1 マーケティング、顧客生涯価値 (LTV))	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信 (各授業で執筆・準備 2 時間)
12	デジタル・マーケティングと AI (情報の非対称性の緩和、AI の畏)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)
13	ブランドとサービス・マーケティング (ブランド、経験価値マーケティング、モノ/コト/トキ消費)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく(1.5 時間)	1) 「QR」: 授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)

14	未来型マーケティング (DX、メタバース、NFT)	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.5 時間) 2) 「MR」: 「当月の授業での学びを将来の自身の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 2,000 字程度でメール送信(各授業で執筆・準備 2 時間)		
15	まとめとふりかえり	毎回授業テーマとビジネス・キーワード(カッコ内の言葉)を教科書を読んで理解し、一番興味・疑問を持ったテーマ/キーワードについて、1 分間スピーチでの発表を前提に予習・準備しておく (1.5 時間)	これまでの講義内容を総復習する(2.5 時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	【図解】大学 4 年間のマーケティングが 10 時間でざっと学べる	阿部 誠	KADOKAWA (2018 年 3 月)	9784046023308	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	大学 4 年間のマーケティングが 10 時間でざっと学べる	阿部 誠	KADOKAWA (2017 年 9 月)	9784046020154	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	1) 平常点		40%	①受講姿勢②1 分間スピーチ③「QR」「MR」課題等の完成度と提出率	
	2) 積極性		20%	①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度	
	3) 定期試験		40%	※全項目いずれかの成績が 50%未満の場合、合計成績に関わらず不合格となる場合がある	
備考	全授業にてグループ・ディスカッション (GD) や演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。				
フィード バック	1) 「QR (QuickReport:クイック・レポート)」授業当日中に送信 (20 時迄到着分は早着加点)。到着確認とコメントを原則授業日後 2 営業日以内に返信。不達時は必ずメール確認のこと、未確認は未提出となる。 2) 「MR (MonthlyReport:月間レポート)」次月第 1 週の授業開始迄に送信。到着確認とコメントを原則締切後 5 営業日以内に返信。他は 1) に同じ。				
実務経験のある教員による授業科目 (※該当者のみ記載)					
授業内容	企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネージメント経験ある教員が、マーケティングの基礎理論を踏まえた上で、マーケティング用語とビジネス実務に合致するキーワードを抽出し、ケーススタディを交えながら講義、演習する。				

科目コード	3190	ナンバリング	BAA200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	日本経済とビジネス 2-BC						
科目英語名	Japanese Economy and Business 2-BC						
担当教員	橋本 祐樹						
資格・免許との関連	ビジネスキャリアコース推奨科目						
学修内容	<p>ビジネスを行う上で、あるいは日常生活を行う上で、私たちは常に「経済」と触れ合っている。新聞やテレビ、インターネットでも、毎日のように「経済」に関する情報が提供されている。この講義では、日本経済やビジネスに関する身近な事例を取り上げながら、そういった経済情報の読み解き方を学ぶ。また、ファイナンスに関する基礎知識を学び、今後社会生活を営むにあたって役立つ基本的な考え方を身につける。後半では、ビジネスプラン作成のワークを通じてビジネス感覚を身につける。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	経済の基本的な仕組みを理解し、絶え間なく変化し続ける日本経済の動向を踏まえた、ビジネスパーソンとしての判断や行動ができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	イントロダクション ～経済現象の読み解き方			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
2	経済政策			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
3	経済成長			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
4	財政政策・金融政策			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
5	再分配政策			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習 (2 時間)	
6	金利と資産形成			新聞等情報収集 (2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
7	人口動態と経済			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
8	戦後の日本経済			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
9	ファイナンスの基本			新聞等情報収集(2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
10	家計のファイナンシャル・プランと財務状態の分析			新聞等情報収集 (2 時間)		テキスト復習(2 時間)	
11	ビジネスプラン作成の基本			新聞等情報収集 (2 時間)		テキスト復習 (2 時間)	
12	ビジネス・プランの作成①(グループワーク ビジネスモデルの確立)			新聞等情報収集(1 時間)		自宅ワーク(3 時間)	
13	ビジネス・プランの作成②(グループワーク マーケティングリサーチ)			新聞等情報収集(1 時間)		自宅ワーク(3 時間)	
14	ビジネス・プランの作成③(グループワーク、発表資料作成)			新聞等情報収集(1 時間)		自宅ワーク(3 時間)	
15	ビジネス・プランの作成④(グループ発表)			発表練習(3 時間)		全体振り返り(1 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	平常点	60%	受講姿勢等取組姿勢から総合的に評価する
	理解度	40%	発表やレポート等の内容で評価
備考	随時、簡単な確認テストを実施します。(理解促進のためのものであり、成績評価には反映しません。)		
フィード バック			

科目コード	3191	ナンバリング	BAA215	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	オフィス実務演習 I 2-BC						
科目英語名	Office Work Practice I 2-BC						
担当教員	上田 利博						
資格・免許との関連	秘書士取得のための選択科目						
学修内容	<p>オフィスワークの実務スキルを修得し、秘書または秘書機能を有する職業人としてオフィス実務環境に適応するための基本的な知識を身につける。秘書業務やサポート業務を遂行することを前提にして、基本的知識の習得とそのために必要なスキルを修得する。そして、オフィスワークを支える存在の意義を常に考え、実践することができる人材を育成する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」および「III 課題解決力」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 秘書実務の基本的なスキルを修得する。 2. 文書管理・情報管理の基本的なスキルを修得する。 3. 秘書としての基本的な接遇対応が出来る。 4. 秘書としての基本的な情報行動が出来る。 						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション オフィス実務とは ※各回のテーマは適宜変更する場合がある		シラバスの確認とテキストに目を通しておく(1時間)		テキストの再確認(2時間)		
2	指示と報告		次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された1分間スピーチのテーマについて、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく(2時間)		テキストと授業内容の再確認(2時間)		
3	仕事の進め方		次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された1分間スピーチのテーマについて、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく(2時間)		テキストと授業内容の再確認(2時間)		
4	スケジューリング		次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された1分間スピーチのテーマについて、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく(2時間)		テキストと授業内容の再確認(2時間)		
5	出張業務		次回の範囲のテキストに目を通しておく。 前回授業で指定された1分間スピーチのテーマについて、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく(2時間)		テキストと授業内容の再確認(2時間)		
6	会議運営		次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された1分間スピーチのテーマについて、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備を		テキストと授業内容の再確認(2時間)		

		しておく (2 時間)	
7	接遇実務	次回の範囲のテキストに目を通してしておく。 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)
8	話し方・言葉遣い	次回の範囲のテキストに目を通してしておく 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)
9	ビジネス電話応対	次回の範囲のテキストに目を通してしておく。 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)
10	慶弔と贈答	次回の範囲のテキストに目を通してしておく。前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)
11	オフィスの環境整備	次回の範囲のテキストに目を通してしておく 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	テキストと授業内容の再確認 (2 時間)
12	文書・図表作成	次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく(2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)
13	資料整理・ファイリング	次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく(2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)
14	社外情報収集	次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	テキストと授業内容の再確認(2 時間)

15	ソーシャルメディア活用上の注意点	次回の範囲のテキストに目を通しておく 前回授業で指定された 1 分間スピーチのテーマ について、自身の経験、事例、その他情報等をまとめ、スピーチの準備をしておく (2 時間)	これまでの講義内容を総復習する(3 時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新しい時代の秘書ビジネス実務	全国大学実務教育協会	紀伊国屋書店	9784314101820	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新しい時代の秘書ビジネス論	全国大学実務教育協会	紀伊国屋書店	9784314101592	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%	授業内容を理解しているかを評価する	
	平常点 (提出物、積極性、受講態度)		40%	授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する	
	小レポート		20%	正確な説明ができていないかを評価する	
備考					
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義テキストについては、必要に応じて全体にコメントします。 ・ 事前課題についても必要に応じて全体にコメントします。 ・ 小レポートは提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。 				

科目コード	3192	ナンバリング	BAA245	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	オフィス実務演習Ⅱ 2-BC						
科目英語名	Office Work PracticeⅡ 2-BC						
担当教員	上田 利博						
資格・免許との関連	秘書士取得のための選択科目						
学修内容	<p>フィスワークの実務スキルを修得し、秘書または秘書機能を有する職業人としてオフィス実務環境に適応するための実践的な知識を身につける。秘書業務やサポート業務を遂行する上で必要な情報環境下におけるオフィスワークに関する実践的知識の修得とそのために必要なスキルを修得する。そして、オフィスワークを支えるための IT コミュニケーション能力を備えたビジネス実務能力に優れた人材を育成する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「Ⅰ ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」および「Ⅲ 課題解決力」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 秘書実務の実務的なスキルを修得する。 2. 文書管理・情報管理の実務的なスキルを修得する。 3. 秘書として実務的な接遇対応が出来る。 4. 秘書として実務的な情報行動が出来る。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 「会社」とは、「自身のキャリアデザイン」とは ※各回のテーマは適宜変更する場合がある	シラバスを読み、前期のオフィス実務演習Ⅰおよび自身の今後のキャリアデザインについての見解をまとめておく (1 時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
2	ロールプレイングⅠ (社内対応)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
3	ロールプレイングⅡ (来客対応)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
4	ロールプレイングⅢ (電話対応)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
5	日経新聞の読み方	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する (2 時間)			
6	社内文書作成演習Ⅰ (会議資料：エクセル)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認 (2 時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
7	社内文書作成演習Ⅱ (役員会資料：ワード)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
8	社外文書作成演習Ⅰ (案内書：パワーポイント)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
9	社外文書作成演習Ⅱ (通信文書：メール)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
10	社内行事企画	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認 (2 時間)		授業を受けて、内容を復習整理する(2 時間)			
11	オフィス IT 実務演習Ⅰ (社内ワークフローシステム)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認 (2 時間)		授業を受けて、内容を復習整理する (2 時間)			

12	オフィス IT 実務演習 I (社内外メールの作成・運用)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)	授業を受けて、内容を復習整理する(2時間)		
13	オフィス IT 実務演習 I (インターネットによる情報収集)	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)	授業を受けて、内容を復習整理する(2時間)		
14	ソーシャルメディア時代のリスクマネジメント	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)	授業を受けて、内容を復習整理する(2時間)		
15	これからのオフィス実務	前回授業とこれまで学修した内容を、テキストに基づき秘書業務の再確認(2時間)	これまでの講義内容を総復習する(3時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新しい時代の秘書ビジネス論	全国大学実務教育協会	紀伊国屋書店	9784314101592	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新しい時代の秘書ビジネス実務	全国大学実務教育協会	紀伊国屋書店	9784314101820	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%	授業内容を理解しているかを評価する	
	平常点 (提出物、積極性、受講態度)		40%	授業態度、課題への取り組みなどを総合的に評価する	
	小レポート		20%	正確な説明ができていないかを評価する	
備考					
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・講義テキストについては、必要に応じて全体にコメントします。 ・事前課題についても必要に応じて全体にコメントします。 ・小レポートは提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。 				

科目コード	3231	ナンバリング	BAE215	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	データ活用 2・BC						
科目英語名	Data Utilization 2・BC						
担当教員	中田 奈月						
資格・免許との関連	情報処理士						
学修内容	<p>テーマを設定し、実際のデータを収集し、集計・報告書作成まで行う、調査の実際を体験することで、科学的な問題解決力の育成をめざす。</p> <p>具体的には科目「情報リテラシー」や「データサイエンス概論」で修得した社会統計学に関する内容を踏まえて量的調査、質的調査の複数の分析方法について学んだのち、問題把握、調査計画、調査、データ分析、考察という流れで問題解決プロセスを修得する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【経営デザイン】柔軟かつ斬新な視点を持ち、クリエイティブ、IT、プレゼンテーションなど多彩な手法を通じて経営やビジネスをデザインする方法を学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」および「III 課題解決力」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 適切なデータ選定、データ分析ができる手法を修得できる。 問題を把握し、データの分析に基づいて課題の解決策が提案できる。 適切に集めた実データを分析してまとめることができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	量的調査と質的調査			科目「情報リテラシー」および「データサイエンス概論」の統計学的手法について復習をする(2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
2	量的調査と質的調査の相互互換関係とグラウンデッド・セオリーの生成			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
3	データの収集とデータの整理			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
4	データ収集 (学外)			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
5	事例研究による理論生成			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
6	調査設計 仮説の設定			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
7	調査設計 分析方法の選択			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
8	仮説の構築			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
9	分析の枠組			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
10	尺度化・測定の信頼性と妥当性			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
11	実査の準備 (学外)			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
12	エディティング・コーディング・データクリーニング			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
13	データセットの準備			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
14	分析			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
15	調査報告書作成と結果の共有			LMS で指定された課題を遂行する (2時間)		LMS で指定された課題を遂行する (2時間)	
試 験							
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	質的調査の方法：都市・文化・メディアの感じ方 第3版	工藤保則 寺岡伸悟 宮垣 元 編	法律文化社	9784589041906	
	入門・社会調査法：2ステップで基礎から学ぶ 第4版	轟 亮 杉野 勇 平 沢 和司 編	法律文化社	9784589041418	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題（事前・事後課題を含む）		40%	課題完成度を評価する	
	調査報告書		60%	課題設定から調査設計、分析、考察まで論理的破綻がないかで評価する	
備考	本学の「情報リテラシー」および「データサイエンス」科目に合格しているか、合格と同等の知識がある者の受講を求める。				
フィードバック	全ての課題は添削して返却する。				

科目コード	3233	ナンバリング	BAE115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	感性と表現 1-BC						
科目英語名	Extraction and Presentation of Kansei Information 1-BC						
担当教員	松原 千恵						
資格・免許との関連	情報処理士						
学修内容	自己を表現し、相手に伝えるという、プレゼンテーションに求められる論理的思考力を身につけ、伝達技術の基礎を学ぶだけでなく、実際に学生同士が協同的にプレゼンテーションのテーマを発見し、自主企画を検討・実践する演習によって表現能力、手法を修得する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報を分析し、課題解決に導くための論理的思考力を身につける。 2. 情報コンテンツを用いて主張や説明ができる。 3. 聴き手に応じて臨機応変にプレゼンテーションを行うことができる。 						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	自分を知る (自己表現の手法を実践する)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
2	お互いを知る (お互いの自己表現結果を共有し、相違点や共通点を探りながら、コミュニケーションを実践する)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
3	良いプレゼンテーションとは何か (レクチャーとディスカッション)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
4	誰に、何を、どうやって伝えるのか		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
5	企画と方法を検討する (学内)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
6	企画を実践する (学内)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
7	振り返りと課題発見		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
8	学外実践に向けて、企画と方法を検討する		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
9	企画の実践のための情報収集 (学外)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
10	企画の修正		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
11	企画の実践 (学外)		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
12	リアクションから学ぶ		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		
13	報告資料作成		事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1 時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1 時間)		

14	報告資料作成	事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
15	報告会(プレゼンテーションの経験から学んだこと)	事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	その都度指示する				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	その都度指示する				
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	毎回の課題の取り組み		70%		
	相互評価		30%		
備考	原則グループワークを毎回行う。必要に応じて写真や動画の撮影や編集などを行い、作成されたものを共有して相互に評価を行う。				
フィードバック	授業内もしくはLMS上で行う。授業後も、知識技術の理解習得に必要な情報については授業とLMSで補足する。質問や相談にはLMSとEmailで対応する。				

科目コード	3232	ナンバリング	BAE205	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	プレゼンテーション 2-BC						
科目英語名	Presentation 2-BC						
担当教員	松原 千恵						
資格・免許との関連	情報処理士						
学修内容	自己を表現し、相手に伝えるという、プレゼンテーションに求められる論理的思考力を身につけ、伝達技術の基礎を学ぶだけでなく、実際に学生同士が協同的にプレゼンテーションのテーマを発見し、自主企画を検討・実践する演習によって表現能力、手法を修得する。						
学修成果到達目標	1. 情報を分析し、課題解決に導くための論理的思考力を身につける。 2. 情報コンテンツを用いて主張や説明ができる。 3. 聴き手に応じて臨機応変にプレゼンテーションを行うことができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	自分を知る (自己表現の手法を実践する)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
2	お互いを知る (お互いの自己表現結果を共有し、相違点や共通点を探りながら、コミュニケーションを実践する)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
3	良いプレゼンテーションとは何か (レクチャーとディスカッション)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
4	誰に、何を、どうやって伝えるのか			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
5	企画と方法を検討する(学内)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
6	企画を実践する(学内)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
7	振り返りと課題発見			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
8	学外実践に向けて、企画と方法を検討する			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
9	企画の実践のための情報収集(学外)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
10	企画の修正			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
11	企画の実践(学外)			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
12	リアクションから学ぶ			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	
13	報告資料作成			事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)		フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)	

14	報告資料作成	事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
15	報告会(プレゼンテーションの経験から学んだこと)	事前にLMSで指定された資料を熟読し、必要な準備を行う(1時間)	フィードバックされた結果を振り返り、課題を提出する(1時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	その都度指示する				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	その都度指示する				
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	毎回の課題の取り組み		70%		
	相互評価		30%		
備考	原則グループワークを毎回行う。必要に応じて写真や動画の撮影や編集などを行い、作成されたものを共有して相互に評価を行う。				
フィードバック	授業内もしくはLMS上で行う。授業後も、知識技術の理解習得に必要な情報については授業とLMSで補足する。質問や相談にはLMSとEmailで対応する。				

科目 コード	3240	ナンバリング	BAE110	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	アート・マネジメント I 1-BC						
科目英語名	Arts Management I 1-BC						
担当教員	森 治子						
資格・免許 との関連							
学修内容	アートマネジメントとは芸術や文化の作り手と社会をつなぐ役わりを担うための業務やシステムのことである。この授業では、現代社会におけるアートの諸相や課題を学び、アートマネジメントが地域や企業のなかでどのように展開されているのかについて、具体的な事例をもとに検討する。						
学修成果 到達目標	1. 文化政策、アート・マネジメントについての基礎知識や考え方を身につける。 2. アートがもつ社会的な力や可能性について考えることができるようになる。 3. 文化政策、アート・マネジメントについての基礎知識や考え方を身につける。 レポート作成を通して、表現力を身につける。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	ガイダンス 授業内容、授業の進め方について	自分が住んでいる町の祭りや地域行事について説明できるよう準備する 90 分			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
2	アートマネジメントという考え方について	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する 90 分		
3	日本の文化と芸術をめぐる政策について	授業時に説明する 90 分			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する 90 分		
4	自治体のとりくみとアートマネジメント	授業時に説明する 90 分			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
5	企業のとりくみとアートマネジメント	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する (90 分)		
6	美術館・博物館のとりくみ	授業時に説明する 90 分			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
7	都市と芸術 (1) 都市景観をかたちづくるアート	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
8	都市と芸術 (2) 都市景観と建築	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
9	都市と芸術 (3) 都市と音楽	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
10	地域創生とアート (1) 演劇	授業時に説明する (90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
11	地域創生とアート (2) 音楽	授業時に説明する (90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する (90 分)		
12	地域創生とアート (3) 大道芸	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
13	環境問題とアート	授業時に説明する 90 分			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
14	ソーシャル・インクルージョン (社会的包摂) とアート	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
15	全体のまとめとふりかえり 最終課題 (レポート) の説明	授業時に説明する(90 分)			プリント、ノートをもとに講義内容を復習する(90 分)		
試 験	レポート試験						
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		
	教科書は使用しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考		

	アーツ・マネジメント概論	小林真理・片山泰輔・伊藤裕夫・中川幾郎・山崎稔恵	水曜社	9784880650203	
	文化で地域をデザインする: 社会の課題と文化をつなぐ現場から	松本茂章編著	学芸出版社	9784761527303	
	(文化とまちづくり叢書 SAL BOOKS2) アートマネジメントと社会包摂:アートの現場を社会にひらく	九州大学ソーシャルアートラボ	九州大学出版会	9784880655116	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	期末レポート		50%	完成度	
	授業時に提出する課題や感想		30%	完成度と提出率	
	授業態度		20%		
備考	事前学修については授業時に説明する。 教科書は使用しないため、適宜プリントを配布する。 参考映像を鑑賞することが多いので、私語は慎むこと。				
フィードバック	授業時に適宜コメントする。				

科目 コード	3250	ナンバリング	BAE100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	グラフィック・テクノロジー I 1-BC						
科目英語名	Graphics Technology I 1-BC						
担当教員	加来 慎太郎						
資格・免許 との関連							
学修内容	1. グラフィックデザインの基礎知識 2. Adobe Express の基本操作 3. Inkscape の基本操作						
学修成果 到達目標	1. Adobe Express・Inkscape の基本操作ができる。 2. 自らデザインをすることで創造性を培い、広い視野を持つことができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	グラフィックデザインの基本（色・フォント・構図など）			デザインに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容を復習する(2時間)	
2	Inkscape の操作① 基本			Inkscape に関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
3	Inkscape の操作② 応用			Inkscape に関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
4	自分をキャラクター化する（企画・アイデア出し）			既存のキャラクターを調べ、特徴などを分析する(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
5	キャラクターを作成①（下書き・デザインベース作り）			キャラクターに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
6	キャラクターを作成②（着色・調整・修正）			キャラクターに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
7	ロゴマークを考える（企画・アイデア出し）			企業やブランドなどのロゴマークを観察する(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
8	ロゴマークを作成①（下書き・デザインベース作り）			ロゴマークに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
9	ロゴマークを作成②（着色・調整・修正）			ロゴマークに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
10	Adobe Express の操作			Adobe Express に関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
11	広告・チラシを作成①（下書き・デザインベース作り）			広告のデザインに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
12	広告・チラシを作成②（着色・調整・修正）			広告のデザインに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
13	ステッカー作品を考える（企画・アイデア出し）			ステッカーのデザインに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
14	ステッカー作品を作成①（下書き・デザインベース作り）			ステッカーのデザインに関して調べる(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	

15	ステッカー作品を作成②（着色・調整・修正）	ステッカーのデザインに関して調べる(2時間)	授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%		
	制作への意欲		40%		
	作品の創造性		40%		
	プレゼンテーション力		10%		
備考	必要に応じて資料を配布。またはデータで用意。				
フィードバック					

科目コード	3237	ナンバリング	BAB220	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	イラスト・画像処理Ⅲ 2-BC						
科目英語名	Illustration・Image Processing Ⅲ 2-BC						
担当教員	加来 慎太郎						
資格・免許との関連							
学修内容	<p>1. adobe creative cloud express・Inkscape の操作。</p> <p>2. PC の画面上だけではなくデザインの体感。</p> <p>3. 作品を通して実際のデザイン業務を疑似体験する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【経営デザイン】柔軟かつ斬新な視点を持ち、クリエイティブ、IT、プレゼンテーションなど多彩な手法を通じて経営やビジネスをデザインする方法を学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. adobe creative cloud express・Inkscape の知識・技術を活用できる。</p> <p>2. デザインを学び創造力を養う。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ポスターデザインを考える（企画・アイデア出し）			ポスターデザインに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
2	ポスターデザインに使用する写真を撮影			ポスターデザインに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
3	ポスターデザインを作成①（下書き・デザインベース作り）			ポスターデザインに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
4	ポスターデザインを作成②（着色・調整・修正）			ポスターデザインに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
5	ご当地キャラクターを考える（企画・アイデア出し）			ご当地キャラクターに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
6	ご当地キャラクターを作成①（下書き・デザインベース作り）			ご当地キャラクターに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
7	ご当地キャラクターを作成②（着色・調整・修正）			ご当地キャラクターに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
8	シルクスクリーン印刷用デザイン（企画・アイデア出し）			シルクスクリーンに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
9	シルクスクリーン印刷用デザインを作成1（下書き・デザインベース作り）			シルクスクリーンに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
10	シルクスクリーン印刷用デザインを作成②（着色・調整・修正）			シルクスクリーンに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	
11	シルクスクリーン印刷作業①（版作り）			シルクスクリーンに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
12	シルクスクリーン印刷作業2（印刷）			シルクスクリーンに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
13	コラージュデザインを考える（企画・アイデア出し）			コラージュに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習(2時間)	
14	コラージュデザインを作成①（下書き・デザインベース作り）			コラージュに関するサイトや本を見る(2時間)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)	

15	コラージュデザインを作成②（着色・調整・修正）	コラージュに関するサイトや本を見る(2時間)	授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%		
	制作への意欲		40%		
	作品の創造性		40%		
	プレゼンテーション力		10%		
備考	必要に応じて資料を配布。またはデータで用意。				
フィードバック					

科目コード	3238	ナンバリング	BAB225	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	イラスト・画像処理Ⅳ 2-BC						
科目英語名	Illustration・Image Processing IV 2-BC						
担当教員	森 治子						
資格・免許との関連							
学修内容	1. 日常生活で用いられている衣食住にまつわる生活用品をとりあげ、デザインの重要性について検討する。 2. デザインの歴史や様式、時代ごとの重要な作家と作品について学ぶ。 3. 学修した内容をふまえ、作品制作を行う。						
学修成果到達目標	1. デザインに関する基礎的な知識と理論を身につける。 2. 過去のデザインを学ぶことの意義を理解できるようになる。 3. デザインに関する基礎的な技術を身につけ、イメージするかたちを表現することができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス デザインとは何か 授業の内容と進め方について			自分のまわりを観察して、おもしろいと思ったデザインについて調べておく 90分		授業内容の復習(90分)	
2	デザインの歴史(1)近代のデザイン:産業革命とデザイン			授業時に説明する(90分)		授業内容の復習 90分	
3	デザインの歴史(2)工業化の時代とデザイン			授業時に説明する 90分		授業内容の復習 90分	
4	デザインの歴史(3)大量消費社会とデザイン			授業時に説明する 90分		授業内容の復習(90分)	
5	包装紙をデザインする(1)			包装紙やパッケージのデザインに関するウェブサイトや本を調べる(90分)		授業内容の復習、デザインの改善点・修正点を考える(90分)	
6	包装紙をデザインする(2)			授業時に説明する 90分		授業内容の復習、作品の修正(90分)	
7	生活とデザイン(1)服飾			授業時に説明する(90分)		授業内容の復習(90分)	
8	生活とデザイン(2)食文化			授業時に説明する		授業内容の復習(90分)	
9	生活とデザイン(3)住空間			住宅デザインに関するウェブサイトや本を調べる(90分)		授業内容の復習(90分)	
10	生活とデザイン(4)遊びのデザイン			おもちゃのデザインに関するウェブサイトやサイトを調べる(90分)		授業内容の復習(90分)	
11	おもちゃをデザインする			おもちゃのデザインに関するウェブサイトや本を調べる 90分		授業内容の復習。デザインの修正を考える(90分)	
12	持続可能な社会とデザイン			授業時に説明する(90分)		授業内容の復習(90分)	
13	映像メディアと表現 写真を編集して作品を制作する			授業時の説明に従って、写真撮影を行う 120分		授業内容の復習。デザインの改善点・修正点を考える(90分)	
14	社会課題とデザイン			授業時に説明する(90分)		授業内容の復習(90分)	
15	まとめとふりかえり レポート課題の説明			授業時に説明する		授業内容の復習(90分)	
試験	レポート試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	なし。適宜プリントを配布する。						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	カラー版 世界デザイン史 (増補新装)	阿部公正監修	美術出版社	9784568400847	
	カラー版 日本デザイン史	竹原あき子森山明 子監修	美術出版社	9784568400670	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	期末レポート		40%		
	制作への意欲		20%		
	作品の創造性		30%		
	授業態度		10%		
備考	教科書は使用しないので、授業ではプリントを配布する。 参考映像を鑑賞することが多いので、私語は慎むこと。				
フィード バック	授業時に適宜コメントする。				

科目コード	3305	ナンバリング	BAA235	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	観光ビジネス 2-BC						
科目英語名	Tourism Business 2-BC						
担当教員	杉山 拓次						
資格・免許との関連	ビジネスキャリアコース推奨科目						
学修内容	<p>「まち」や「自然」という対象からそれぞれが価値を見つけ、読みとき、読みかえ、紹介し、つなぐことで、新たな「観光ビジネス」の創造を目指す。講義はワークショップやフィールドワーク、プレゼンテーションを組み合わせ進めていく。(レポート課題あり)</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【経営デザイン】柔軟かつ斬新な視点を持ち、クリエイティブ、IT、プレゼンテーションなど多彩な手法を通じて経営やビジネスをデザインする方法を学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 観光資源の捉え方について理解し説明できる。</p> <p>2. 地域の魅力について理解し、効果的に伝えることができる。</p> <p>3. 自らの視点で物事を捉え、価値を見出し、伝えることができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	はじめに(講義内容、進め方の説明)、ワークショップ「観光について考える」			観光というキーワードに関係する事項を考える(2時間)		観光に関連する事項について整理する(表などにまとめる)(2時間)	
2	講義「みつける」 さまざまな観光の分野についての紹介と、身近な観光資源についての講義			自分が関心のある観光テーマを一つ考える(2時間)		自分の記憶に残っている観光体験を振り返る(2時間)	
3	プレゼンテーション「私的観光」 自分が印象深い観光体験について共有する。			自分の記憶に残っている観光体験を整理する(2時間)		自分に身近な観光資源を見つける(2時間)	
4	フィールドワーク「護国神社ミニツアー体験」(学外)			護国神社について調べる(2時間)		体験したこと・感じたことをまとめる(2時間)	
5	ワークショップ「みつける・伝える」 フィールドワークの体験の感想と、発見したことを発表・共有			護国神社の資源をまとめる(2時間)		自分以外のプレゼンと合わせて観光資源について整理する(2時間)	
6	講義「よみとく、よみかえる」 観光資源を活かしたツアーの紹介、資源の捉え方やさまざまなツアー事例、ターゲットの設定などについて学ぶ			観光ツアーのチラシを複数集める(2時間)		観光の魅力(訴求点)について整理する(2時間)	
7	講義「奈良の観光と現状」 奈良の観光の現状と課題についての情報提供(講義)			奈良の観光名所について調べる(2時間)		奈良の観光の課題について整理する(2時間)	
8	フィールドワーク「名所について考える」(1)(学外) ならまち散策をして、自分の考える名所を見つける。 ※2コマを使つてのフィールドワークを想定			ならまちについて調べる(2時間)		自分が「面白い」とおもったモノ、コトをまとめる(2時間)	
9	フィールドワーク「名所について考える」(1)(学外) ならまち散策をして、自分の考える名所を見つける。※2コマを使つてのフィールドワークを想定			ならまちについて調べる(2時間)		ならまちで自分が見つけた名所についてプレゼンを作成する(2時間)	
10	プレゼンテーション「私的名所」 ならまち散策を通して見つけた「私的名所」について共有する			ならまちで自分が見つけた名所についてプレゼンを作成する(2時間)		自分が関心のある観光分野について整理する	
11	ワークショップ「行きたいツアーってどんなツアー」 各自が参加したいツアーを持ち寄り、「なぜそのツアーに参加したいのか」をまとめプレゼン、全体でどのツアーに行きたいかを検討し、魅力となる点などについて整理する 講義「観光ツアーの作り方」 観光ツアーを作る際に必要な要素の確認、関連する資格や法令に関する講義			行ってみたいと思うツアーを探し、チラシ(もしくはウェブサイト)の情報を整理しておく		奈良県内での観光資源をしらべる(2時間)	

12	ワークショップ「観光ツアーを作ってみる」 奈良県内を観光するツアー企画を実際に考える	ツアー企画の主となる資源を決めておく(2時間)	プレゼンテーションを作成する(2時間)		
13	プレゼンテーション「私的観光ツアー」 各自で企画するツアーのプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションを作成する(2時間)	ビジネスの要素について考える(2時間)		
14	ワークショップ「観光ビジネスについて考える」 観光の可能性について、直接的なビジネス以外にも複合的な視点でビジネスにつながる部分などを整理する	観光に関わる仕事について考えておく(2時間)	観光の可能性と効果について整理する(2時間)		
15	講義「紹介し、つなぐ」 観光ビジネスの可能性とこれからの観光のあり方についてのまとめる	取り組んでみたい観光ビジネスの分野を整理する(2時間)	講義を受けての感想と学んだことを整理する(2時間)		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	観光ブランドの教科書	岩崎邦彦	日本経済新聞出版社	453232307X	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		50%	受講姿勢等取組姿勢から総合的に評価する	
	プレゼン・レポート		50%	課題の理解、わかりやすいレポートか	
備考	積極的に授業に参加し、他の学生とコミュニケーションしながら、主体的に考えることを重視します。				
フィードバック					

科目コード	3310	ナンバリング	BAA240	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	地域活性化論 2-BC						
科目英語名	Area Activation 2-BC						
担当教員	杉山 拓次						
資格・免許との関連							
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組に目を向け、地域活性化について学修する。 ・地域活性化の特性、地域活性化の問題点などを明らかにし、どのような取組が必要であるかを学修する。 ・地域活性化での自分の役割と使命を考察する。 <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【経営デザイン】柔軟かつ斬新な視点を持ち、クリエイティブ、IT、プレゼンテーションなど多彩な手法を通じて経営やビジネスをデザインする方法を学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の現状を把握し、地域活性化を行う目的が理解できる。 2. 地域活性化の取組みに必要な要素が把握できる。 3. 新しい商品やサービスの企画できる。 4. 企画した成果を発信するプレゼンテーションができるようになる。 						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	はじめに（講義内容、進め方の説明）、 「地域活性化って何だろう？」 「地域」とはどんなエリアを指すのだろう。「活性化」とはどのような状態を指すのだろう。 漠然とした「地域活性化」という言葉の具体的なイメージについて考えます。	「地域活性化」とはどんなイメージがあるかを考える(2 時間)			授業で学んだことの復習整理をしておく(2 時間)		
2	講義「わたしから始まる地域」 地域に暮らす「わたし」が課題と感ずること、自分の住む地域がどのような姿だと暮らしやすいのか。「わたし」という視点から考える「地域活性化」について考えます。	自分にとっての「地域」とは何かを考えておく(2 時間)			授業で学んだことの復習整理をしておく(2 時間)		
3	講義「持続可能な地域社会と SDGs (1)」 現在、さまざまなところで見かける「SDGs」という言葉。17 ある目標と課題について整理します。	教科書第 2 章に目を通す(2 時間)			授業で学んだことの復習整理をし、関心のある課題について整理する(2 時間)		
4	講義「持続可能な地域社会と SDGs (2)」 現在、さまざまなところで見かける「SDGs」という言葉。17 ある目標が地域社会とどのように繋がっているかを考えます。	教科書第 2 章に目を通す(2 時間)			授業で学んだことの復習整理をし、関心のある課題について整理する(2 時間)		
5	講義「地域の課題と取り組み事例」 地域活性化に向けた具体的な事例について紹介し、地域活動をになっている組織や活動について理解する。	自分の地域で行われている活動がないかを調べる(2 時間)			授業を受けて、再度自分の暮らす地域に目を向ける (1 時間)		
6	プレゼンテーション「私の住んでいる地域」(1) 自分の地域についてどのような場所で、どのような課題があるかを整理し発表してもらい、地域課題について共有します。	自分の住んでいる地域について紹介するプレゼンを作成する (3 時間)			授業で学んだことの復習整理をしておく(2 時間)		
7	プレゼンテーション「私の住んでいる地域」(2) 自分の地域についてどのような課題があるかを整理し発表してもらい、地域課題について共有します。	教科書第 2 章をもとに地域課題を SDGs の 17 のゴールで整理し、プレゼンを作成する			授業で学んだことの復習整理をしておく(2 時間)		
8	ワークショップ「鹿野園ってどんな地域」 佐保短のある鹿野園町という地域について、各自調べておいた情報をもとにどのような地域かを整理する。	鹿野園について調べておく(2 時間)			授業で学んだことの復習整理をしておく(2 時間)		
9	フィールドワーク「鹿野園地域を歩く」(学外) 実際に鹿野園地域を歩いて、地域の課題と感ずることと、価値と感ずるものを調査する。	地域で訪れたい場所を決めておく(2 時間)			フィールドワークのレポートを作成する(2 時間)		

10	ワークショップ「鹿野園課題・価値マップづくり」 鹿野園町の課題と魅力についてフィールドワークを通じて得た情報を整理する。	フィールドワークのレポートを作成する（2時間）	授業で学んだことの復習整理をしておく（2時間）		
11	講義「地域課題の解決と活性化」 地域課題の活性化に向けて必要な仕組み（サイクル）について事例を踏まえながら考える。	教科書第5章に目を通す（2時間）	授業で学んだことの復習整理をしておく（2時間）		
12	ワークショップ「鹿野園未来ビジョンづくり」 地域課題を踏まえた上で、地域の将来ビジョンについてワークショップ形式で検討し、課題解決に向けた分野の整理を行う。	資料に目を通しておく（2時間）	授業で学んだことの復習整理をしておく（2時間）		
13	ワークショップ「鹿野園未来ビジョンづくり2」 分野ごとに実現したら良いと思うビジョンについて検討し、具体的にどのようなことが必要かを検討する。	前回の講義内容をもとに自分が興味ある分野を決めておく（2時間）	授業で学んだことの復習整理をしておく（2時間）		
14	鹿野園活性化プロジェクトの検討 各分野における具体的な取組について検討する。グループもしくは個人でプレゼンを作成する。	具体的な活動のアイデアを検討しておく（2時間）	授業で学んだことの復習整理をしておく（2時間）		
15	鹿野園活性化プロジェクトの発表 分野ごとのプロジェクトについて発表を行う。	発表資料の作成（2時間）	授業で学んだことの復習整理をしておく（2時間）		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	持続可能な地域のつくり方 未来を育む「人と経済の生態系」のデザイン	寛裕介	英治出版	9784862762511	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		50%	受講姿勢等取組姿勢から総合的に評価する	
	プレゼン・レポート		50%	わかりやすいプレゼンテーション・レポートが作成されているか。	
備考	自分の住まいやキャンパス周辺に関心を持ち、①何が起きているか ②面白いイベントがあるか ③どんな魅力があるか ④どんなことがあれば楽しいか ⑤どんなことが必要かを考えておきましょう。				
フィード バック					

科目コード	3311	ナンバリング	BAC100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	ホスピタリティ論 1-BC						
科目英語名	Hospitality Theory 1-BC						
担当教員	碓 ともみ						
資格・免許との関連	秘書士・医事実務士取得のための選択科目						
学修内容	<p>多様化する社会の中でホスピタリティの意義と重要性を理解する。身近にある事例や日常からホスピタリティを考察し、自らがホスピタリティを生み出すためには何が必要なのかを探究して具現化していく。サービス接遇を理論と事例検討から学ぶ。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」および「【医療・福祉ビジネス】医療事務、医療秘書を目指すための専門知識や職場での対応を学び、医療事務や医療関連企業、一般企業の医療関連職等のキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	様々なサービス業を通してホスピタリティを理解し、利他の心を身につける。サービスとホスピタリティの概念を学ぶことによって、円滑な人間関係を構築し、相互理解を深め自己成長につなげることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ホスピタリティとサービス（意義と重要性）			教科書を一通り目を通しておく（1時間）		授業の復習と次回授業のための予習（1時間）	
2	サービス業に求められる資質と人材			教科書の当該項目を読む（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
3	サービス接遇①（飲食業、医療産業のホスピタリティ）			教科書の当該項目を読む（2時間）		サービスに関する課題を解く（2時間）	
4	サービス接遇②（宿泊業、小売業のホスピタリティ）			教科書の当該項目を読む（2時間）		サービスに関する課題を解く（2時間）	
5	接客者の立ち振る舞いと身だしなみ			教科書の当該項目を読む（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
6	接客とクレーム対応			教科書の当該項目を読む（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
7	五感からのホスピタリティ思考			配付資料に関して考察する（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
8	アミューズメントパークからみるホスピタリティ			指示した課題に関して考察する（2時間）		中間レポートに関しての資料収集（2時間）	
9	ホスピタリティ事例研究（ホテルのホスピタリティ）			中間レポートに関して関連参考書など事前準備をする（2時間）		中間レポート作成（2時間）	
10	CS（顧客満足）とES（従業員満足）			配付資料に関して考察する（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
11	日本のおもてなし			配付資料に関して考察する（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
12	モノからヒトへ ホスピタリティ戦略			配付資料に関して考察する（2時間）		授業の復習と指示した課題のための準備をする（2時間）	
13	グローバルホスピタリティ			配付資料に関して考察する（2時間）		学期末レポートとプレゼンの準備（2時間）	
14	事例研究（航空業界のホスピタリティ、プレゼンテーション）			学期末レポートとプレゼンの準備（4時間）		授業で行った全ての復習と課題準備（2時間）	
15	総括（理解度確認チェックと解説）			授業で行った全ての復習と課題準備（4時間）		振り返り（2時間）	
試験	レポート試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	サービス接遇検定公式テキスト2級	実務技能検定協会編	早稲田教育出版	9784776613060	
	超多忙の社会人でも実践できるスマート勉強法	碓ともみ	PHP エディターズ・グループ	9784909417305	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		30%	受講姿勢・課題提出など	
	中間レポート		25%	内容・プレゼンテーション	
	学期末レポート		25%	内容・プレゼンテーション	
	理解度		20%	サービス接遇検定模擬試験	
備考	サービス接遇検定3級もしくは2級合格に十分対応できる授業内容である。				
フィードバック	授業中、もしくは saho navi にて適宜行います。				

科目コード	3340	ナンバリング	BAF110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	医薬と検査 1-BC						
科目英語名	Medical Drug and Inspection 1-BC						
担当教員	牧 雪枝						
資格・免許との関連	医事実務士、医療実務士取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 薬剤名とその作用や副作用を理解し、治療に有効な疾患について学修する。</p> <p>2. 検査項目名と臨床的意義を理解し、診断できる疾患について学修する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【医療・福祉ビジネス】医療事務、医療秘書を目指すための専門知識や職場での対応を学び、医療事務や医療関連企業、一般企業の医療関連職等のキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	診療情報を扱う者に必要な医学の基礎知識として、各疾患を診断するのに必要な検査、さらに投薬を含めた治療方法を説明することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	薬理学（薬理学の基礎知識）			シラバスを確認し、教科書に目を通しておく(2 時間)		教科書薬理編 Chapter1 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
2	薬理学（末梢神経系作用薬、中枢神経系作用薬）			教科書薬理編 Chapter2、3 に目を通しておく(2 時間)		教科書薬理編 Chapter1、2、3 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
3	薬理学（消化器系疾患に用いる薬）			教科書の薬理編 Chapter4 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter4 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
4	薬理学（循環器系疾患に用いる）			教科書の薬理編 Chapter5 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter5 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
5	薬理学（代謝系疾患の用いる薬）			教科書の薬理編 Chapter6 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter6 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
6	薬理学（呼吸器系疾患作用薬〈耳鼻科系疾患も含む〉）			教科書の薬理編 Chapter7 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter7 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
7	薬理学（アレルギー系疾患治療薬、抗炎症薬）			教科書の薬理編 Chapter8、9 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter8、9 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
8	薬理学（ホルモン・ビタミン製剤、貧血および血液疾患治療薬）			教科書の薬理編 Chapter10、11 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter10、11 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
9	薬理学（感染症治療薬および抗悪性腫瘍薬、輸血製剤）			教科書の薬理編 Chapter12、13 に目を通しておく(2 時間)		教科書の薬理編 Chapter12、13 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
10	検査学（検査の基礎知識、一般検査）			教科書の検査編 Chapter1、2 に目を通しておく(2 時間)		教科書の検査編 Chapter1、2 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
11	検査学（血液検査）			教科書の検査編 Chapter3 に目を通しておく(2 時間)		教科書の検査編 Chapter3 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
12	検査学（生化学検査）			教科書の検査編 Chapter4 に目を通しておく(2 時間)		教科書の検査編 Chapter4 の復習と暗記項目のまとめの作成(2 時間)	
13	検査学（免疫学検査、輸血検査）			教科書の検査編 Chapter5、6 に		教科書の検査編 Chapter5、6	

		目を通しておく(2時間)	の復習と暗記項目のまとめの作成(2時間)		
14	検査学(微生物検査、病理組織学的検査)	教科書の検査編 Chapter7、8に目を通しておく(2時間)	教科書の検査編 Chapter7、8の復習と暗記項目のまとめの作成(2時間)		
15	検査学(遺伝子・染色体検査、生理機能検査)	教科書の検査編 Chapter9、10に目を通しておく(2時間)	教科書の検査編 Chapter9、10の復習と暗記項目のまとめの作成(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(新医療秘書医学シリーズ)検査・薬理学	井上肇 責任編集、滝本美也・渡部雄一共著	建帛社	9784767937212	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業内小テスト		70%	授業内容を理解しているか評価する。	
	授業態度		30%	発言や質問など積極的に授業参加しているか評価する。	
備考	理解度を確認するために、單元ごとに確認テストを行います。 日頃から自分なりのまとめなどを作成し暗記に努めてください。				
フィードバック	小テストの回答は授業内で行い、解説する。				

科目コード	3341	ナンバリング	BAF100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	医療事務総論 1-BC						
科目英語名	Medical Clerk 1-BC						
担当教員	垣内 美和子						
資格・免許との関連	医事実務士、医療秘書実務士取得のための必修科目						
学修内容	<p>医療事務の経験をもつ教員が担当する。</p> <p>医療事務の基本となる医療保険制度や医事業務について学び、将来医療秘書として活躍するための基礎知識を修得する。</p> <p>医療事務とは何か、医療事務の仕事及び、医療保険制度について概説する。医療保険制度は医療事務の根幹であるので、その理解に重点をおき、医療機関の役割、組織、保険請求、窓口業務の基礎について説明する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【医療・福祉ビジネス】医療事務、医療秘書を目指すための専門知識や職場での対応を学び、医療事務や医療関連企業、一般企業の医療関連職等のキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療保険の仕組み、医療保険の種類について理解できる。 2. 病院の組織、スタッフ組織について理解できる。 3. 医療事務の仕事内容を理解できる。 						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	医療事務の必要性	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
2	病院組織と業務管理	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
3	医療を支える職員とチーム医療	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
4	医療保険制度と医療保険の種類	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
5	授業内評価	これまでの講義内容を復習しておくこと(2時間)		これまでの講義内容を復習しておくこと(2時間)			
6	医療保険による給付(1)療養の給付、療養費、高額療養費	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
7	医療保険による給付(2)保険外併用療養費	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
8	保険診療の対象と療養担当規則	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
9	授業内評価	これまでの講義内容を復習しておくこと(2時間)		これまでの講義内容を復習しておくこと(2時間)			
10	公費負担医療(1)感染症予防法等	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
11	公費負担医療(2)生活保護法、難病法等	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			
12	労災保険と自賠責保険	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)			

13	介護保険、インフォームドコンセントと守秘義務	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		
14	保険請求業務、受付・会計業務	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)	本時の内容と教科書該当部分をしっかり復習し、要点をまとめること(90分)		
15	まとめと授業内評価	これまでの講義内容をしっかり復習し、要点をまとめること(2時間)	これまでの講義内容をしっかり復習し、要点をまとめること(2時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	病院事務のための医療事務総論/医療秘書実務	有吉澄江・沖山圭子	建帛社	9784767937359	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		20%	講義に対する取り組み姿勢を評価する	
	授業内評価		80%	講義の内容全般についての理解度を評価する	
備 考	医療事務の基本は医療保険制度と保険請求事務であり、医療秘書・医療事務職を目指すには必須です。医師やコメディカルスタッフのサポートに必要な医療知識等の確かな知識や技術、また、患者に寄り添い患者から信頼されるために必要なホスピタリティやコミュニケーション力。医療の現場で医療事務スタッフに求められる「確かな知識と豊かな心」を養うため、この授業で医療事務の基礎を学修して下さい。				
フィード バック	提出物を回収した場合は、丁寧に内容を確認し、速やかに返却する。 授業内評価については講義でフィードバックを行う。				

科目コード	3355	ナンバリング	BAF200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	医療秘書実務 2-BC						
科目英語名	Medical Secretarial Practice 2-BC						
担当教員	兵頭 眞由美						
資格・免許との関連	医療秘書実務士取得のための必修科目						
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書の役割と病院組織を理解し、多岐にわたる医療秘書業務の手順や処理方法を解説する。 ・医療現場での身だしなみ、メディカルマナー、医療機関での文書作成、会計業務などを解説し、ロールプレイングも取り入れながら学修する。 ・患者の気持ちを理解し、また時にはその家族をケアする一員であるという立場でコミュニケーション力を身につけられるように進める。 <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」【医療・福祉ビジネス】医療事務、医療秘書を目指すための専門知識や職場での対応を学び、医療事務や医療関連企業、一般企業の医療関連職等のキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療秘書の役割や業務について理解した内容を説明することができる。 2. 医療秘書実務に必要なメディカルマナーを習得することができる。 3. 医療機関で求められるコミュニケーション能力を身につけることができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 医療秘書としての心構えと日本の医療の沿革			気になる医療機関の HP を確認し、ノートにまとめておく(2 時間)		授業内容をふりかえりまとめておく(2 時間)	
2	医療機関の種類と医事実務について			教科書の P5～P9、P99～P140 を読んでおくこと(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
3	病院での院内組織と職種について			教科書の P10～P22 を読み各部門を確認しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
4	医療保険制度と保険証の種類について			各自の保険証を確認しておく、教科書の P23～P29 を読み医療保険の種類を確認しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
5	医療秘書として知っておきたい医療関連法規と医療用語			配付資料を確認しておく(2 時間)		授業内容をふりかえりまとめておく(2 時間)	
6	医療機関での受付業務(被保険者証の確認とカルテ上書き練習)			教科書の P107～P139 を熟読しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
7	メディカルマナー① 医療秘書としての身だしなみ、立ち居振る舞い、挨拶と名刺交換他			教科書の P219～P226、P242・P243 を熟読しておく(2 時間)		授業内容をふりかえり練習しておく(2 時間)	
8	メディカルマナー② 医療秘書としての言葉づかい、接遇用語他			教科書の P224～P231 を熟読しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
9	メディカルマナー③初診・再診受付の流れと受付でのロールプレイング			第 6 回～第 8 回の学修を再確認しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
10	医事実務・医師事務作業補助実務について			教科書の P99～P106 を熟読しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
11	医療機関での会計業務(一部負担金、高額療養費の計算練習)			教科書の P30・P31、P130～P136 を熟読しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
12	メディカルマナー 4 会計業務の流れと会計窓口でのロールプレイング			第 6 回～第 8 回に学修したことを確認し、練習しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
13	医療機関での文書管理業務(院内文書・院外文書作成練習)			教科書の P140～P147 を熟読しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
14	医療機関での応対業務と交際業務、診療情報管理実務と統計業務について			教科書の P231～P255、P173～P217 を熟読しておく(2 時間)		配付プリントで復習しておく(2 時間)	
15	まとめとふりかえり			配付プリントで復習しておく(2 時間)		これまでの講義の内容を総復習しておく(2 時間)	

試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	病院事務のための 医療秘書 実務総論／医療秘書実務	日本医療福祉実務 教育協会監修	建帛社	9784767937267	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	新 医療秘書実務シリーズ 1 三訂 医療秘書	医療秘書教育全国 協議会 編	建帛社	9784767937373	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	確認テスト・小テスト		60%	授業内容を理解しているかを評価する	
	課題の提出		20%	提出期日と内容を評価する	
	受講姿勢		20%	授業に対する取り組む姿勢を評価する	
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は医療秘書実務実習と共用します。 ・医事実務総論で学修したことを復習しておいてください。 				
フィード バック	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストは、次の時間に採点して返却する。 ・課題等配付プリントは、授業内に各自での自己採点又は次の時間に採点して返却する。 				

科目コード	3360	ナンバリング	BAF210	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	医療秘書実務実習 2・BC						
科目英語名	Practice Training in Hospital						
担当教員	兵頭 眞由美、吉村 司						
資格・免許との関連	医療秘書実務士資格取得のための必修科目						
学修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに医療秘書関連科目で学修した、医療秘書実務を行うために必要な基本知識とメディカルマナーのふりかえりを行う。 ・医療秘書としての業務を円滑に行えるようになるための応用力が身につくよう学修する。 ・病院での実務を見学・実習することで、医療秘書としての業務の流れや医事課での実務の現状を学ぶ。 <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」【医療・福祉ビジネス】医療事務、医療秘書を目指すための専門知識や職場での対応を学び、医療事務や医療関連企業、一般企業の医療関連職等のキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病院の組織や医療秘書としての業務内容の実際を説明することができる。 ・医療チームにおける一員としての医療秘書の使命と役割を説明することができる。 ・医療秘書として必要なスキルとコミュニケーション能力の向上ができるようになる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
第1回	オリエンテーション、医療保険制度の復習			第1回～第8回 医療秘書実務、医事実務総論で学修したことを確認しておく（各1時間） 第9回 実習要綱を読み疑問点をノートにまとめておく（1時間） 第10回～第14回 実習にむけて苦手なところを復習しておく（各1時間） 第15回 5日間の病院実習をふりかえり、実習報告会の準備をしておく（2時間）	第1回～第8回 講義内容をふりかえり実習の際に困らないようにまとめておく（各1時間）		
第2回	メディカルマナー① 医療機関での接遇用語について他				第9回 実習にむけて、一番苦手なところを復習しておく（1時間）		
第3回	メディカルマナー② 初診・再診受付と会計でのロールプレイング他				第10回～第14回 実習のふりかえりをしながら実習日誌を作成しておく（各1時間）		
第4回	メディカルマナー③ 電話対応でのロールプレイング他				第15回 これまでの講義と病院実習をふりかえり、今後の就職活動や実務にむけて総復習しておく（2時間）		
第5回	医療機関での受付業務 カルテ作成演習他						
第6回	公費負担医療制度の復習と奈良の公費負担医療制度について						
第7回	現金給付、高額療養費、保険外併用療養費について						
第8回	まとめとふりかえり						
第9回	病院実習前ガイダンス 病院実習にむけての心構え、注意事項、実習日誌について他						
第10回	病院実習						
第11回	病院実習						
第12回	病院実習						
第13回	病院実習						
第14回	病院実習						
第15回	まとめとふりかえり（実習報告会）						
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	病院事務のための医療秘書実務総論／医療秘書実務	日本医療福祉実務教育協会監修	建帛社	9784767937267			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	臨床現場ディテール		医学通信社	9784870584396			
	新 医療秘書実務シリーズ 1 三訂 医療秘書	医療秘書教育全国協議会 編	建帛社	9784767937373			
	新 医療秘書実務シリーズ 2 改定 病院のマネジメント	医療秘書教育全国協議会	建帛社	9784767937380			
	新 医療秘書実務シリーズ 3 三訂 医療情報管理	医療秘書教育全国協議会	建帛社	9784767937397			

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	確認テスト・小テスト	30%	授業内容を理解しているかを評価する
	受講姿勢	20%	授業に対する取り組む姿勢を評価する
	病院実習中の評価	30%	実習担当者からの評価で判断する
	実習日誌	20%	期日と内容を評価する
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書は医療秘書実務と共用します。 ・医療秘書実務，医事实務総論で学修したことを復習しておいてください。 ・2023年度についても、新型コロナウイルスにより病院実習の受け入れの困難が予想されます。そのため、病院実習ができない場合には、学内での実習で対応いたします。 		
フィード バック	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時、病院実習期間中、病院実習後に適時コメントする。 ・適宜小テストを実施し次の時間に採点して返却する。 		

科目コード	3365	ナンバリング	BAF205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期			
科目名	介護総論 2-BC									
科目英語名	General Studies of Care Work 2-BC									
担当教員	森永 夕美									
資格・免許との関連	医療秘書実務士の資格取得のための選択科目									
学修内容	<p>介護に関する基本的なことを学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の目的と機能を学び、介護の基本原則を理解する。 ・介護保険制度の内容を理解し、在宅介護の特徴を学ぶ。 ・高齢者及び障害者（児）への支援方法を学ぶ。 									
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護の目的と機能を理解し、介護の基本原則を説明できる。 2. 介護保険制度の内容を理解し、在宅介護の特徴を説明できる。 3. 高齢者及び障害者（児）への支援方法を理解し説明できる。 									
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間				
1	オリエンテーション・介護の仕事とは			教科書 p.2～15、p.32～41 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
2	介護で大切な視点			教科書 p.18～31 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
3	介護の仕事の基本			教科書 p.44～77 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
4	介護保険制度とサービス			教科書 p.80～95 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
5	介護報酬事務の理解			介護保険サービスをまとめておく		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
6	こころとからだのしくみ			教科書 p.204～221 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
7	障害の理解			教科書 p.184～201 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
8	障害者福祉制度とその他の制度			教科書 p.96～103 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
9	老化と認知症の理解			教科書 p.134～181 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
10	介護の仕事の理解①（生活と家事）			教科書 p.224～241 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
11	介護の仕事の理解②（住環境）			教科書 p.242～247 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
12	介護の仕事の理解③（移乗・移動）			教科書 p.248～257 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
13	介護の仕事の理解④（食事と口腔ケア）			教科書 p.258～269 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
14	介護の仕事の理解⑤（睡眠・終末期）			教科書 p.270～286 を読んでおく(2時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
15	まとめとふりかえり			今までの学びをまとめておく		授業の内容を振り返り整理しておく(2時間)				
試験	筆記試験									
教科書	書名		著者		出版社		ISBN		備考	
	生活援助従事者研修(59時間研修)テキスト		堀田力・是枝祥子		中央法規		9784805858233			
参考書	書名		著者		出版社		ISBN		備考	

成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		30%	授業態度、課題への取り組みなどを相互的に評価する	
	定期試験		70%	授業内容を理解できたか評価する	
備考					
フィード バック	定期試験の成績発表後、申し出た者に対して採点後の答案の閲覧を認める				

科目 コード	3370	ナンバリング	BAF210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	公衆衛生学 2・BC						
科目英語名	Public Health 2・BC						
担当教員	野原 潤子						
資格・免許 との関連	医事実務士・医療秘書実務士取得のための必修科目						
学修内容	予防の対象となる疾患・障害は、半世紀前と比較して生活水準の向上などにより、大きく変化した。このような状況の中、本授業では、社会や環境の変化との関連から、人々の健康に関わる社会・環境要因とその把握・評価方法、公衆衛生における統計資料・地域保健対策、さらには健康の保持増進、疾患・障害の予防に関することについて学修する。						
学修成果 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と公衆衛生の概念を説明できる。 2. 疫学概念と用いられる指標を説明できる。 3. 主な保健統計の概要とその指標を説明できる。 4. 国民の生活習慣の現状・動向とその改善のための施策を概説できる。 5. 環境の変化と健康障害を概説できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、健康・公衆衛生の概念			教科書の第 1 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 1 章の演習課題をレポートとしてまとめ、次回に提出する(2 時間)	
2	環境と健康			教科書の第 2 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 2 章の演習課題をレポートとしてまとめ次回に提出する(2 時間)	
3	健康、疾病、行動にかかわる統計資料			教科書の第 3 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 3 章の演習課題をレポートとしてまとめ次回に提出する(2 時間)	
4	疫学概念・方法			教科書の第 4 章第 1・2 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 4 章①の演習課題をレポートとしてまとめておく(2 時間)	
5	疫学指標とバイアスの制御			教科書の第 4 章第 1～3 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 4 章②～④⑥の演習課題をレポートとしてまとめておく(2 時間)	
6	スクリーニング、根拠に基づいた医療・保健対策、研究倫理			教科書の第 4 章第 4～6 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 4 章 56 の演習課題をレポートとしてまとめ、第 4 章の演習課題すべてのレポートを次回に提出する(2 時間)	
7	生活習慣の現状と対策			教科書の第 5 章を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 5 章の演習課題をレポートとしてまとめ次回に提出する(2 時間)	
8	がんと循環器疾患、代謝疾患の疫学と対策			教科書の第 6 章第 1～3 節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2 時間)		今回の授業内容を復習し、課題として第 6 章 1～3 の演習課題をレポートとしてまとめておく(2 時間)	
9	骨・関節疾患、感染症の疫学と対策			教科書の第 6 章第 4・5 節を精読し、キーワードについてまとめ、		今回の授業内容を復習し、課題として第 6 章 4 の演習課題	

		理解しておく(2時間)	をレポートとしてまとめておく(2時間)		
10	精神疾患、その他の疫学と対策	教科書の第6章第6・7節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第6章⑤の演習課題をレポートとしてまとめ、第6章の演習課題すべてのレポートを次回に提出する(2時間)		
11	社会保障の概念、保健・医療・福祉における行政の仕組み	教科書の第7章第1・2節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章①の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
12	医療制度、福祉制度	教科書の第7章第3・4節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章2の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
13	地域保健、母子・成人・高齢者・介護保健	教科書の第7章第5～8節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章③④の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
14	産業保健、学校保健、国際保健	教科書の第7章第9～11節を精読し、キーワードについてまとめ、理解しておく(2時間)	今回の授業内容を復習し、課題として第7章⑤～⑦の演習課題をレポートとしてまとめておく(2時間)		
15	公衆衛生学のまとめ(小テスト)	1～14回までの学修内容を総復習し、キーワード・重要事項についてまとめ、理解しておく(2時間)	小テストの自己採点を通して、学修内容を整理し重要事項を確認する。これを定期試験のレポート課題とする(5時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	カレント改訂 社会・環境と健康：公衆衛生学	北田善三 須崎尚編著	建帛社	9784767906706	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	公衆衛生がみえる 2022-2023	医療情報科学研究所編集	メディックメディア	9784896328585	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		30%	出席状況	
	理解度・定期試験(レポート試験)		40%	定期試験の成績	
	課題		30%	課題の提出状況・内容	
備考	第15回の小テストは、キーワードの記述問題を中心に出題し、自分で作成したレポートのみ持ち込み可能とします。				
フィードバック	レポートは提出の次の回にコメントを入れてフィードバックする。				

科目 コード	3375	ナンバリング	BAF120	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会福祉概論 1-BC						
科目英語名	Introduction to Social Welfare 1-BC						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	社会福祉主事任用資格のための選択科目 医療秘書実務士資格のための必修科目						
学修内容	1. 日本における社会福祉・社会保障制度について学修する。 2. さまざまな制度の活用事例から、社会保障制度・社会福祉サービスの内容について理解を深める。						
学修成果到達目標	1. 日本の社会福祉・社会保障制度の目的や機能について説明できる。 2. 日本の社会福祉・社会保障制度の動向と今後の課題について説明できる。						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 社会福祉とは何か	教科書の第 1 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
2	社会福祉の歴史	教科書の第 2 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
3	社会福祉の法と行政	教科書の第 3 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
4	ソーシャルワークの理解	教科書の第 4 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
5	最低生活保障と生活保護制度	教科書の第 5 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
6	児童福祉から児童家庭福祉へ	教科書第 6 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
7	障がい者の自立と福祉	教科書の第 7 章 1-3 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
8	障がい者保健福祉施策による支援	教科書の第 7 章 4-5 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
9	高齢者の生活と福祉	教科書の第 8 章 1-2 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
10	高齢者の介護を支える介護保険制度への展開	教科書の第 8 章 3-5 を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
11	権利擁護のしくみ	教科書の第 8 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
12	社会保障制度①(医療保険制度・後期高齢者医療制度)	日本の社会保障制度について調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
13	社会保障②(年金保険制度・雇用保険制度・労働者災害補償保険制度)	日本の社会保障制度について調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
14	地域福祉の推進と地域共生社会への展望	教科書第 9 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
15	これからの社会福祉	教科書第 10 章を読み、分からない語句は調べる(2 時間)		授業の内容を振り返り整理しておく(2 時間)			
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	六訂 栄養士・管理栄養士をめざす人の社会福祉	岩松 珠美・三谷 嘉明	みらい	9784860155056			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	新わかる・みえる社会保障論 事例でつかむ社会保障入門	今井 伸	みらい	9784860155346			

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	定期試験	70%	授業内容を正しく理解できているか評価する
	平常点	30%	授業態度や提出物の内容等で総合的に評価する
備 考	新聞等を読み最近の社会福祉・社会保障制度の動向について知っておくことが望ましい。		
フィード バック	定期試験の成績発表後、申し出た者に対して採点後の答案の閲覧を認める		

科目 コード	3460	ナンバリング	BAD105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	プロダクトデザイン 2-BC						
科目英語名	Product Design 2-BC						
担当教員	松浦 昇子						
資格・免許 との関連							
学修内容	<p>1. イノベーションを起こしていくための考え方、手法を学び、実践を通して心構えも合わせて身につけていく。</p> <p>2. 直面する課題に対し、自身で考え抜くこと、チームで推進していくためのコミュニケーションについて、実践を通して身につけていく。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果の「I ビジネスに関する知識と技術」の「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果 到達目標	<p>1. イノベーションに必要な発想手法がわかり、自身で考えることができる。</p> <p>2. イノベーションをチームで推進するコミュニケーション手法がわかり実践できる。</p> <p>3. イノベーションの進め方について理解し、資料にまとめてプレゼンテーションができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	・オリエンテーション ・「イノベーション」とは何か？を知る			イノベーションについて、自分なりに考えたり調べたりしたことをまとめて、1分で説明できるようにする(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
2	「イノベーションを起こすのに必要な発想方法」について知り、体験する			「イノベーションを起こすのに必要な発想方法」について、自分なりに考えたり調べたりする(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
3	「イノベーションを起こすために必要なチームのコミュニケーション方法」について知り、体験する			チームでのコミュニケーションについて必要なことを自分なりに考えたり調べたりする(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
4	「イノベーション事例(商品)」から学ぶ			「商品」のイノベーション事例について調べる(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
5	「イノベーション事例(サービス)」から学ぶ			「サービス」のイノベーション事例について調べる(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
6	「イノベーションの種子」を見つける(共有・発散)			イノベーションにつなげたい課題を探す(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
7	「イノベーションの種子」を見つける(収束・決定)			イノベーションにつなげたい課題を分析する(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
8	「イノベーションの芽」を育てる(共有・発散)			イノベーションへ発展させるために必要な要素を考える(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	
9	「イノベーションの芽」を育てる(収束・決定)			イノベーションへ発展させるために必要な要素を分析する(0.5時間)		本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)	

10	「イノベーションの花」を咲かせる（共有・発散）	イノベーションで人々の生活を変えるために必要な要素を考える（0.5時間）	本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)		
11	「イノベーションの花」を咲かせる（収束・決定）	イノベーションで人々の生活を変えるために必要な要素を分析する(0.5時間)	本日の学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)		
12	テーマ「イノベーションを起こす」で、プレゼンテーションを作成する	「イノベーションを起こす」をテーマにプレゼンテーションをしたい内容について考える(0.5時間)	「イノベーションを起こす」をテーマにプレゼンテーションを仕上げる(0.5時間)		
13	プレゼンテーション演習Ⅰ テーマ「イノベーションを起こす」	プレゼンテーションの準備をする(0.5時間)	プレゼンテーションをブラッシュアップする(0.5時間)		
14	プレゼンテーション演習Ⅱ テーマ「イノベーションを起こす」	ブラッシュアップしたプレゼンテーションの準備をする(0.5時間)	プレゼンテーション演習での学び、気づき、それらをどのように活かしていくかを簡潔にまとめる(0.5時間)		
15	イノベーション演習のまとめとふりかえり	今までの学び、気づきを書き出す	これまでの講義を通して、自身が成長したと思える点をまとめる		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業への貢献度		40%	授業への参画度、態度、課題への取り組み姿勢などを総合的に判断する	
	レポート提出		30%	レポートの内容、説明方法、納期など総合的に判断する	
	プレゼンテーション		30%	プレゼン能力、資料の表現方法など総合的に判断する	
備考					
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題は、必要に応じて全体にコメントします。 ・レポートは、提出後の授業で重要なポイントを全体にコメントします。 				

科目コード	3801	ナンバリング	BAC105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	インターンシップ I 1-BC						
科目英語名	Internship I						
担当教員	吉村 司、中田 奈月						
資格・免許との関連	秘書士資格取得のための必修科目						
学修内容	受け入れ先企業での就業体験を通じ、仕事とは何か、働くとは何かを深く知る。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「Ⅱ 協働・協調力」および「Ⅲ 課題解決力」に該当する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動に向けて、具体的なイメージが出来るようになる。 2. 3C、SWOT等競争分析のフレームワークを理解し作成できる。 3. インターンシップの成果と今後の就活等実践課題を発表出来る。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業、団体、機関等での就業経験を通して、社会、仕事、労働、業務から、プロフェッショナルとしての物の見方・考え方を学ぶ。 2. 実習先での自らの役割を大切に、一歩前に出て行動することから、主体的な働き方について学び、社会に出た後に備える。 			業界研究、業種研究、ビジネスマナー研修を通じて、就職活動に役立つ知識を身につける。 (10 時間)		社会人になるにあたっての意識の持ち方、企画書の作成、効果的なプレゼン方法を学ぶ。 (5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	平常点		100%	レポート、報告会のプレゼンテーション等アウトプットと成長の軌跡を総合的に評価する。			
備考							
フィードバック							
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）							
授業内容	企業で企画営業、IT、総務人事部門で実務・マネジメント経験ある教員が、経営学の基礎理論を踏まえた上で、ビジネスマナー、社風の分析・発見、キャリア形成を顧客と協業して経験、実感、演習する。						

科目コード	3802	ナンバリング	BAC200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	インターンシップⅡ 1-BC						
科目英語名	Internship II						
担当教員	吉村 司、中田 奈月						
資格・免許との関連	秘書士資格取得のための必修科目						
学修内容	受け入れ先企業での就業体験を通じ、自身の職業観を醸成し、やりたい仕事、行きたい業界など具体的な進路イメージを設定する。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「Ⅱ 協働・協調力」および「Ⅲ 課題解決力」に該当する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 就職活動に向けて、自身の具体的な実践課題を設定出来る。 2. 3C、SWOT 等競争分析のフレームワークを作成・活用して、受け入れ先企業の課題想定やインタビューシートを作成できる。 3. インターンシップの成果を基に、受け入れ先企業の今後の実践課題を資料にまとめ、プレゼンテーション、提案が出来る。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業、団体、機関等での就業経験を通して、社会、仕事、労働、業務から、自身の市場評価や今後の進路計画を立案、表明する。 2. 事前講義での分析、仮説を就業体験を通じて検証、確認してドキュメント化し、発表、プレゼンテーションを行う。 			業界研究、業種研究、マーケティングの競争分析フレームワークを通じて、リサーチ → 分析 → 仮説立案のフローを学ぶ。 (10 時間)	経営人材を目指すにあたって、より受け入れ先のビジネスに貢献するドキュメント作成、プレゼンテーション方法を学ぶ。 (5 時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	平常点	100%	レポート、報告会のプレゼンテーション等アウトプットと成長の軌跡を総合的に評価する。				
備考							
フィードバック							

科目コード	3803	ナンバリング	BBA120	単位数	1 単位	開講時期	2023年度前期、 2023年度後期
科目名	企業実務研究 1-BC						
科目英語名							
担当教員	中田 奈月、吉村 司						
資格・免許との関連	秘書士の必修科目、ビジネス実務士の選択科目						
学修内容	企業や地方自治体、病院等の実態や業界の動向等の理解し、就職活動に必要な情報収集の仕方を学ぶ。企業や自治体に関する研究を通して、地域社会や職場で豊かな人間関係を築くために必要な幅広い教養の修得をめざし、自己を取り巻く世界や環境を知り、多角的視点からものを考える力をつけることを目的とする。仕事とどのように向き合うことが必要か、自己の在り方を考える視野を広げることをめざす。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. オーソドックスな企業分析、業界研究の方法を獲得し、企業活動の実態を探究できる。 2. 業界や企業について分析し、評価できるようになる 3. 基本的マナーやルールを身につけインターンシップ I および I I に活かせる。 4. ビジネス環境の変容による課題を考慮しながら自己のキャリアをデザインできる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<ol style="list-style-type: none"> 1. すべてのインターンシップ先を自ら選定、就業し「インターンシップ I / II」で経験できなかった就業体験を敢行する。 2. 年間で5件以上の就業を行い、可能な限り対面、オンライン、説明会、実就業等多彩なバリエーションの就業体験を敢行する。 			業界研究、業種研究、ビジネスマナー研修を通じて、就職活動に役立つ知識を身につける。 (10 時間)	社会人になるにあたっての意識の持ち方、企画書の作成、効果的なプレゼン方法を学ぶ。 (5 時間)		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	平常点		100%	当日の実行内容と考察を記載したクイックレポートとリサーチ、考察を記載した詳細レポートの2種を毎回提出			
備考							
フィードバック							

科目コード	3811	ナンバリング	BAB120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	ビジネス・ケーススタディ I 1-BC						
科目英語名	Management Case Studies I 1-BC						
担当教員	市川 真、吉村 司						
資格・免許との関連	ビジネス実務士、情報処理士取得のための選択科目						
学修内容	<p>ビジネス実践における基礎編として、多彩な経営者、実務家各位からのリアルなビジネス実践例を学び、それらのリソースを背景に面接、企画書、動画、プレゼンテーション等実践的アウトプットのノウハウを演習し、さらに授業内でシェアすることで受講者相互でビジネス実践力を修得する。</p> <p>※授業テーマや講師は適時変更されることがある。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスシーンにおける様々なケースを想定し対応力を身に着ける。 2. 企業に求められるビジネスシーンで必要なアウトプットを実践出来る。 3. 基礎的なビジネスケースをモデルに実践出来る。 						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	自己紹介、オリエンテーション、志望職種	自己紹介の作成と志望職種を考える			授業内容を整理して、自己紹介を改善し面接やビジネスに使える内容にする		
2	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
3	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
4	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
5	ビジネスシーンで活躍される業界の方によるセミナー その業界の詳細、目的、理念、地域とのかかわり方等	事前に告知されるセミナー講師に対する質問を考えておく。			セミナーにより得た知識の整理と、講師に対するフィードバック		
6	ビジネスシーンで活躍される業界の方によるセミナー。 その業界の詳細、目的、理念、地域とのかかわり方等。	事前に告知されるセミナー講師に対する質問			セミナーにより得た知識の整理と、講師に対するフィードバック		
7	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
8	ビジネスシーンで活躍される業界の方によるセミナー。 その業界の詳細、目的、理念、地域とのかかわり方等。	事前に告知されるセミナー講師に対する質問			セミナーにより得た知識の整理と、講師に対するフィードバック。		
9	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
10	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション。	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
11	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
12	ビジネスシーンで活躍される業界の方によるセミナー。 その業界の詳細、目的、理念、地域とのかかわり方等。	事前に告知されるセミナー講師に対する質問			セミナーにより得た知識の整理と、講師に対するフィードバック		
13	ビジネス業界のある業種の事例の紹介と、実践シュミレーション	事前に告知された業種について調べる			授業内容を整理し、業種の理解を深める		
14	これまでの授業の総括としてビジネスシーンのモデルケースを想定して実践する。 これまでの授業の振り返り。	これまでの授業の内容の整理			授業の内容整理と		

15	ビジネスマナーにのったプレゼンテーション。各5分程度	事前告知されるテーマに関する、プレゼンの準備	プレゼン内容をブラッシュアップさせる		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		100%	レポート、最終プレゼンテーション、授業中の発言等アウトプットを総合的に評価する。	
備考					
フィードバック					

科目コード	3820	ナンバリング	BAA225	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	ビジネス実践演習Ⅱ 2-BC						
科目英語名	Business Practice II 2-BC						
担当教員	市川 真、吉村 司						
資格・免許との関連	ビジネス実務士、情報処理士取得のための選択科目						
学修内容	<p>ビジネス実践における応用編として、多彩な経営者、実務家各位からのリアルなビジネス実践例を学び、それらのリソースを背景に面接、企画書、動画、プレゼンテーション等実践的アウトプットのノウハウを演習し、さらに授業内でシェアすることで受講者相互でビジネス実践力を修得する。</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「I ビジネスに関する知識と技術」「【ビジネス実務】リアルなビジネス実務を様々な仕事の形態や事例を通じて講義、演習、ゼミナールなど多彩なスタイルで学び、幅広いビジネス・シーンへのキャリア・パスを目指す」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 面接の準備と実行のポイントを理解し実践出来る。 2. 企業のビジネス実践事例を自身が目指す仕事にどう生かすかを説明出来る。 3. 企画書、動画、シナリオ作成手順を理解し実践出来る。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	自己紹介、オリエンテーション 志望職種、他者評価 ※授業テーマおよび起業家セミナー講師は適宜変更されることがある			5分程度の自己紹介作成(0.5時間)		授業内容を整理・復習し自己紹介を改善して面接に応用できる内容をまとめておく(0.5時間)	
2	面接のシュミレーション 面接者、面接官の役割を決めて面接のシュミレーション			面接にて聞かれる内容を準備しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
3	企業家によるセミナー			質問事項を準備し講師がビジネスを展開する業界を研究しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
4	企業家によるセミナー			質問事項を準備し講師がビジネスを展開する業界を研究しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
5	企業家によるセミナー			質問事項を準備し講師がビジネスを展開する業界を研究しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
6	企業家セミナー			質問事項を準備し講師がビジネスを展開する業界を研究しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
7	企業家セミナー 社会人1年生に求められるものは何か。			質問事項を準備し講師がビジネスを展開する業界を研究しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
8	行政職員によるセミナー 役所の仕事、役所の地域とのかかわり方等			質問事項を準備し講師がビジネスを展開する業界を研究しておく(0.5時間)		授業の感想と気づきをまとめ次回授業で発表出来るように準備しておく(0.5時間)	
9	実践的な企画書とシナリオ ビジネスシーンで使用された実際の企画書とシナリオの講義			企画書のサンプル等を調べる(0.5時間)		仮の議題で企画書を作成(0.5時間)	
10	企画書について 実際に開催されたイベントについて具体的な企画書の作成			与えられたテーマについて企画書を作成(0.5時間)		与えられたテーマについて企画書を作成(0.5時間)	
11	企画書に沿ったシナリオ作成 大 企画書を進行するためのシナリオの作成			仮シナリオの作成(0.5時間)		シナリオの完成(0.5時間)	
12	実践的動画作成 現状企業などで求められる動画撮影について 注意点やわかりやすさ、編集の仕方			ペアを作って自己紹介の撮影(0.5時間)		編集(0.5時間)	

13	実践的動画作成 テーマについて撮影	編集の仕方の復習 (0.5 時間)	動画の完成(0.5 時間)		
14	ワークショップ 様々な業界の方の話を聞いて、現在なりたい自分像の 発掘とそのゴールに必要なことのディスカッション (学外)	卒業後の希望をまとめておく (0.5 時間)	目標を設定し次回のプレゼンに反映させる(0.5 時間)		
15	5分プレゼン 自分の目標についての具体的なアプローチとプロセス を5分でプレゼン台本を見ずに覚えて発表する。	台本の暗記(0.5 時間)	この授業を総括しまとめて おく(0.5 時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	平常点		50%	プレゼン力、傾聴力、チームワーク	
	最終プレゼンテーション		50%	※欠席者は再試験レポートで評価	
備考	授業にてグループ・ディスカッションや演習を行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合う ポジティブな受講姿勢を高く評価する。一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、 発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。なお、授業テーマは適宜変更されることがある。				
フィード バック					

科目コード	3905	ナンバリング	BAA110	単位数	2 単位	開講時期	2023年度前期、 2023年度後期
科目名	ゼミナール I (ビジネスキャリア) 1-BC						
科目英語名	Seminar I 1-BC						
担当教員	吉村 司						
資格・免許との関連	ビジネスキャリアコース推奨科目 情報処理士資格取得のための選択必須科目 ビジネス実務士資格取得のための選択必須科目 秘書士資格取得のための選択必須科目						
学修内容	<p>1. 経営学、マーケティングをベースとした企業経営やビジネス展開の基本講義を通じて、ビジネスキャリアコースのカリキュラム戦略と科目間のシナジー効果を理解する。</p> <p>2. 経営人材を目指し以下の2点を最重要習得スキルとし、将来の経営人材を目指した多彩でクリエイティブな発想と行動を行う人材を目指して徹底的に「練習」する。 【社会人基礎力】:「ビジネスマナー (挨拶、所作、言葉、時間厳守)」「事務処理能力 (報告、簡潔、迅速、明瞭)」および 【大学生基礎力】:「リサーチ (自分で調べ)」「スピーチ (自分で説明し)」「ディスカッション (クラスメートとワイワイしゃべり)」「レポート (簡潔迅速に報告する)」</p> <p>3. 卒業研究に向けた着想、リサーチ、協働、粘り、アウトプットの励行および演習を通じて、自律した個性的な成果物の作成方法を学修する。 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「II 協働・協調力」および「III 課題解決力」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 「リサーチ → 1分間スピーチ → ディスカッション → レポート」のルーティン業務を通じた自律的学修習慣の確立。</p> <p>2. ビジネス事例についての情報収集や研究、レポートができるようになる。</p> <p>3. インターンシップやプロジェクト企画・運営の基本が理解できる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、「ビジネスキャリアコース」「ゼミナール I」とは何か			シラバスを熟読し、自己紹介、本授業での学修目標や抱負およびフリー・メッセージを 2~3 分で発表できるようにまとめておく (0.5 時間)		1)「QR」:授業のポイント (学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)	
2	「経営学」「マーケティング」とは何か			毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)		1)「QR」:授業のポイント (学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)	
3	「企業」「組織」とは-会社の役職-			毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)		1)「QR」:授業のポイント (学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信。(0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して	

			授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
4	「事務職」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
5	「キャリア・デザイン」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
6	「インターンシップ」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
7	「SWOT 分析」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
8	「適職」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
9	「インターンシップ先の分析」とは	毎回、前回の授業で指示されるテ	1)「QR」:授業のポイント(学

		ーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
10	「分析フレームワーク」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
11	「インターンシップ」分析演習	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
12	「インターンシップ」分析発表	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
13	「インターンシップ分析結果」からの「考察」とは	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
14	学内イベントの進め方	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)

			来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
15	まとめとふりかえり	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
16	地域と小売	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
17	日本のビジネスリーダーと事例	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
18	地域ブランドとコンセプト	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
19	海外のビジネスリーダーと事例 (産業時代)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送

			信 (0.3 時間)
20	事例研究 (地域)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
21	海外のビジネスリーダーと事例 (インターネットの時代)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
22	事例研究 (製品・サービス)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
23	研究プラン (テーマを考える)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
24	ビジネスプラン (企画)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2)「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすかを文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
25	研究プラン (計画)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく	1)「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践)を150字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間)

		(0.5 時間)	ル送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
26	ビジネスプラン (戦略)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
27	研究プラン (実施)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
28	ビジネスプラン (実施)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
29	研究プラン (プレ・プレゼン)	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)
30	まとめ	毎回、前回の授業で指示されるテーマにもとづき「1 分間スピーチ」を前提に予習・準備しておく (0.5 時間)	1) 「QR」:授業のポイント(学び、気づき、実践) を 150 字程度で簡潔にまとめてメール送信 (0.2 時間) 2) 「IDR」:授業での学びを将来の仕事にどう活かすか」を文献等各種情報を加味して

				授業テーマに即した考察を述べ 500 字程度でメール送信 (0.3 時間)	
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	適宜、プリント、データ等を配布します				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	1) 平常点	70%	①受講姿勢②1 分間スピーチ③「QR」「IDR」課題等の完成度と提出率		
	2) 積極性	30%	①授業内発表②傾聴力③グループ・ディスカッション貢献度		
備考	<p>本授業はグループ・ディスカッション (GD) や演習を頻繁に行うため、発表・討議等受講者同士で積極的に理解・応援し合うポジティブな受講姿勢を高く評価する。</p> <p>一方、予習復習の不履行、課題・レポートの未提出、遅刻・居眠り・不規則発言、発表・討議への取組不足等ネガティブな受講姿勢には厳しい評価を行う。</p> <p>※成績評価について、全項目いづれかの成績が 50%未満の場合、合計成績に関わらず不合格となる場合がある</p>				
フィードバック	<p>1) 「QR (QuickReport:クイック・レポート)」授業当日中に送信 (20 時迄到着分は早着加点)。 到着確認とコメントを原則授業日後 2 営業日以内に返信。不達時は必ずメール確認のこと、未確認は未提出となる。</p> <p>2) 「IDR (In-Depth Report:詳細レポート)」次週の授業開始迄に送信。到着確認とコメントを原則締切後 3 営業日以内に返信。他は 1) に同じ。</p>				

科目コード	3951	ナンバリング	BAA220	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	卒業研究 I 2-BC						
科目英語名	Graduation Study I 2-BC						
担当教員	吉村 司、中田 奈月						
資格・免許との関連	ビジネスキャリアコース推奨科目						
学修内容	<p>実証研究を卒業研究論文の形にまとめることを目指す。 授業では各自が設定した研究課題についての進捗報告とディスカッションを中心にすすめる。 これまでの学びを振り返りながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学や社会学の基礎的な概念や理論枠組を理解している ・概念や理論枠組に対応する現象を理解している ・社会の諸問題を理解し、上記の知識をもとに論を展開することができる <p>ことを確認しながら授業をすすめる。</p> <p>授業計画</p> <p>4月 テーマの検討 7月 調査計画立案および実施 8月 卒業研究論文第1章・第2章提出 第1回中間審査 10月 進捗状況ポスター発表 12月 第2回中間審査 卒業研究論文提出 1月 口頭試問 2月 卒業研究公聴会</p> <p>なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「Ⅱ 協働・協調力」「Ⅲ 課題解決力」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力、課題発見能力、論理思考力が持てる。 ・経営学や社会学の基礎的な概念や理論枠組を理解し、応用できる。 ・概念や理論枠組に対応する現象を理解できる。 ・分析方法を選択し、研究計画を作成し、実行できる。 ・社会の諸問題を理解し、上記の知識をもとに論を展開し、説明できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	研究の方法と研究倫理			LMS で指示された課題を行う (2 時間)		LMS で指示された課題を行う (2 時間)	
2	研究とは何か 進捗報告とディスカッション			LMS で指示された課題を行う (2 時間)		LMS で指示された課題を行う (2 時間)	
3	アカデミックスキルの確認 進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)	
4	研究課題の構想 進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)	
5	問題関心の設定 進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)	
6	研究課題の構想 II 進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)	
7	研究課題と先行研究の整理 進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)	
8	先行研究の概要報告 進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2 時間)	

			う (2 時間)
9	先行研究の個別報告 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
10	先行研究の検討 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
11	先行研究とアプローチの整理 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
12	先行研究とアプローチの整理 II 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
13	イントロダクション, 本論, 結論の構成 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
14	イントロダクション 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
15	イントロダクションの作成 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
16	目次 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
17	目次の作成 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
18	章立て 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
19	章立ての構想 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
20	第 1 章 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
21	第 1 章の作成 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
22	第 2 章 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
23	第 2 章の作成 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
24	先行研究と方法の検討 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
25	イントロダクション, 第 1 章, 第 2 章の再構成 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで 指示された課題を行う (2 時間)	報告のための準備および LMS で指示された課題を行 う (2 時間)
26	第 1 章, 第 2 章の推敲	報告のための準備およびLMSで	報告のための準備および

	進捗報告とディスカッション	指示された課題を行う (2時間)	LMS で指示された課題を行う (2時間)		
27	タイトル 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2時間)	報告のための準備およびLMS で指示された課題を行う (2時間)		
28	タイトルの検討 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2時間)	報告のための準備およびLMS で指示された課題を行う (2時間)		
29	報告準備 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2時間)	報告のための準備およびLMS で指示された課題を行う (2時間)		
30	口頭試問の準備 進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2時間)	報告のための準備およびLMS で指示された課題を行う (2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
				0	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	卒業研究論文第1章第2章	100%	論文として体裁が整っているか、研究目的が明確か、先行研究が目的とマッチしているかで判断する		
備考					
フィードバック	進捗状況報告時に毎回コメントする。				

科目コード	3952	ナンバリング	BAA250	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	卒業研究Ⅱ 2・BC						
科目英語名	Graduation Study Ⅱ 2・BC						
担当教員	吉村 司、中田 奈月						
資格・免許との関連	ビジネスキャリアコース推奨科目						
学修内容	<p>実証研究を卒業研究論文の形にまとめることを目指す。 授業では各自が設定した研究課題についての進捗報告とディスカッションを中心にすすめる。 これまでの学びを振り返りながら、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営学や社会学の基礎的な概念や理論枠組を理解している ・概念や理論枠組に対応する現象を理解している ・社会の諸問題を理解し、上記の知識をもとに論を展開することができる <p>ことを確認しながら授業をすすめる。 授業計画 10月 進捗状況ポスター発表 12月 第2回中間審査 卒業研究論文提出 1月 口頭試問 2月 卒業研究公聴会 なお、本科目はビジネスキャリアコースの学修成果「Ⅱ 協働・協調力」「Ⅲ 課題解決力」に該当する。</p>						
学修成果到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集力、課題発見能力、論理思考力が持てる。 ・経営学や社会学の基礎的な概念や理論枠組を理解し、応用できる。 ・概念や理論枠組に対応する現象を理解できる。 ・分析方法を選択し、研究計画を作成し、実行できる。 ・社会の諸問題を理解し、上記の知識をもとに論を展開し、説明できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	進捗報告とディスカッション			LMS で指示された課題を行う(2時間)		LMS で指示された課題を行う(2時間)	
2	進捗報告とディスカッション			LMS で指示された課題を行う(2時間)		LMS で指示された課題を行う(2時間)	
3	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
4	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
5	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
6	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
7	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
8	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
9	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)		報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う(2時間)	
10	進捗報告とディスカッション			報告のための準備およびLMSで		報告のための準備および	

		指示された課題を行う (2時間)	LMS で指示された課題を行う (2時間)		
29	進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2時間)	報告のための準備およびLMS で指示された課題を行う (2時間)		
30	進捗報告とディスカッション	報告のための準備およびLMSで指示された課題を行う (2時間)	報告のための準備およびLMS で指示された課題を行う (2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
				0	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	卒業研究論文	100%	研究課題が的確か、研究方法が妥当か、導き出された結論が妥当かどうかで判断する		
備考					
フィードバック	進捗状況報告時に毎回コメントする。				

科目コード	61000a	ナンバリング	CAA110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会福祉 1-地						
科目英語名	Social Welfare 1-地						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 社会福祉を学び始める学生が、社会福祉における分野・職種・現場、SWの視点、専門職・資格、援助実践の実際や本質など、広範囲にわたる基礎的内容を学ぶ。</p> <p>2. 現場実習における実践の学びの基礎となるように、社会福祉の各領域における現場、専門職、専門性について具体的に学ぶ。</p> <p>3. 上記の基礎的理解から展開して、社会福祉のとらえ方、法制度サービス、歴史的な観点と変遷、SWのモデルやアプローチを学び、社会福祉についての理解を深める。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 保育士に必要となる社会福祉の機能や専門性、社会的な内容など基礎的な知識を身に着ける。</p> <p>2. 将来、対人援助職を目指す学生として、社会的な内容とともに、人間観、援助間などを講義を通じて学び、理解できる。</p> <p>3. 保育士を養成する学科における基礎科目としては、特に児童福祉についての基礎的な理解から保育実習、教育実習に対応できる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	社会福祉の法・制度に基づいたソーシャルワーク			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会福祉の法・制度及びソーシャルワークの特性について考えを深める(2時間)	
2	社会福祉の動向と子ども家庭福祉の課題			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会福祉の動向と子ども家庭福祉の課題について考えを深める(2時間)	
3	社会福祉専門職の倫理			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会福祉専門職の倫理について考えを深める(2時間)	
4	ソーシャルワークにおける対象理解とケースマネジメント			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、ソーシャルワークの対象とケースマネジメントについて考えを深める(2時間)	
5	ソーシャルワークの展開過程と評価			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、ソーシャルワークの展開過程と評価について考えを深める(2時間)	
6	ソーシャルワークの方法			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、ソーシャルワークの方法について考えを深める(2時間)	
7	援助関係とコミュニケーション技術			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、援助関係とコミュニケーション技術について考えを深める(2時間)	
8	社会福祉六法と社会福祉制度			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会福祉の関連法について考えを深める(2時間)	
9	社会福祉の実施機関と福祉施設 (ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会福祉の実施機関と福祉施設について考えを深める(2時間)	
10	利用者保護に関わる社会福祉制度			教科書当該箇所を読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、利用者保護に関わる社会福祉制度に	

					ついて考えを深める(2時間)
11	共生社会の実現と障害者福祉施策 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)	教科書当該箇所を読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、障害者福祉施策について考えを深める(2時間)
12	日本の社会福祉の歴史の変遷	教科書当該箇所を読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、日本の社会福祉の歴史の変遷について考えを深める(2時間)
13	欧米の社会福祉の歩みと諸外国の動向	教科書当該箇所を読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、欧米の社会福祉の歩みと諸外国の動向について考えを深める(2時間)
14	在宅福祉・地域福祉の推進	教科書当該箇所を読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、在宅福祉・地域福祉について考えを深める(2時間)
15	社会保障	教科書当該箇所を読んでおく(2時間)			参考資料等を読み、社会保障について考えを深める(2時間)
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	社会福祉入門	芝野松次郎・新川泰弘・山縣文治[編著]	ミネルヴァ書房	9784623091058	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%	受講姿勢、積極性を評価する	
	授業毎の課題		50%	授業内容を理解しているか評価する	
	レポート試験		40%	正確な説明ができていないか評価する	
備考	日ごろから新聞等で社会福祉の記事に目を向けるなど関心をもつこと				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目(※該当者のみ記載)					
授業内容	社会福祉士として児童福祉施設で実務経験のある教員が授業を担当し、保育士として求められる社会福祉のとらえ方や考え方についての講義を行う。				

科目コード	61010a	ナンバリング	CAA210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こども家庭支援論 2-地						
科目英語名	Family Support 2-地						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 保育士に求められる役割, および子どもとその背景にある家庭への支援の必要性について基礎的な知識を理解・習得する。</p> <p>2. 子どもやその家庭を取り巻く現状, その支援に際し必要な保育士としての視点についての基礎的な知識を理解・修得する。</p> <p>3. 将来保育士・幼稚園教諭として必要とされる知識・技能を実際の支援に生かしていくためのスキルを事例から理解・修得する。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 保育士に求められる役割, および子どもとその背景にある家庭への支援の必要性について基礎知識をふまえた説明ができる。</p> <p>2. 子どもやその家庭を取り巻く現状, その支援に際し必要な保育士としての視点がどのようなものであるのかを説明できる。</p> <p>3. 将来保育士・幼稚園教諭として必要とされる実践運用方法や事例を基に, 自分の実践計画について説明できる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	子ども家庭支援・子育て支援の意義と役割			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 子ども家庭支援・子育て支援の意義と役割についての考えを深める(2時間)	
2	少子高齢社会と子育て家庭をめぐる問題			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 少子高齢社会と子育て家庭をめぐる問題についての考えを深める(2時間)	
3	子育て家庭に対する支援の実施体制 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 子育て家庭に対する支援の実施体制についての考えを深める(2時間)	
4	次世代育成支援の推進と子ども家庭福祉・子育て支援施策 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 次世代育成支援の推進と子ども家庭福祉・子育て支援施策についての考えを深める(2時間)	
5	保育者による子ども家庭支援の意義と基本			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 保育者による子ども家庭支援の意義と基本についての考えを深める(2時間)	
6	保育士に求められる基本的態度			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 保育士に求められる基本的態度についての考えを深める(2時間)	
7	保育士による子ども家庭支援の展開過程			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 保育士による子ども家庭支援の展開過程についての考えを深める(2時間)	
8	保育士による職員間・関係機関・専門職の連携・協働			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 保育士による職員間・関係機関・専門職の連携・協働についての考えを深める(2時間)	
9	保育士による子育て支援の特性と展開			教科書該当箇所を読み, 自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み, 保育士による子育て支援の特性と展開についての考えを深める	

				(2時間)	
10	保育環境を活用した子育て支援	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、保育環境を活用した子育て支援についての考えを深める(2時間)		
11	送迎場面を活用した子育て支援	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、送迎場面を活用した子育て支援についての考えを深める(2時間)		
12	さまざまな伝達手段を活用した子育て支援	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、伝達手段を活用した子育て支援についての考えを深める(2時間)		
13	さまざまな保育体験活動を活用した子育て支援	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、保育体験活動を活用した子育て支援についての考えを深める(2時間)		
14	さまざまな児童福祉施設でおこなわれる子育て支援	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、乳児院や児童養護施設等における子育て支援についての考えを深める(2時間)		
15	子ども家庭支援・子育て支援の課題と展望	教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、子ども家庭支援・子育て支援の課題と展望についての考えを深める(2時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子ども家庭支援・子育て支援入門	才村純・芝野松次郎・新川泰弘[編著]	ミネルヴァ書房	9784623092222	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%	受講姿勢、積極性を評価する	
	授業毎の課題		50%	授業内容を理解しているか評価する	
	レポート試験		40%	正確な説明ができていないか評価する	
備考	日ごろから新聞などで子ども家庭支援・子育て支援の記事に目を向け、関心をもつこと				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				

科目コード	61030a	ナンバリング	CHAA205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こども家庭福祉 2-地						
科目英語名	Child and Family Welfare 2-地						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための科目 社会福祉主事任用資格取得のための科目						
学修内容	<p>1. こどもや家庭を取り巻く社会状況に対する福祉実践と、それを支える法制度、行財政の重要性を学修していく。</p> <p>2. 実践が培われてきた歴史、制度・政策、法律等の知識と実践に即した課題、とくに、児童虐待、こどもの権利、こどもの貧困に注目しながら、授業で扱っていく。</p> <p>3. 児童家庭福祉で重視される理念「こどもの最善の利益」、「個人と環境の相互作用」などを念頭に置き、少年非行、母子保健、子育て支援などのテーマを学んでいく。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷について説明できる。</p> <p>2. こどもの人権擁護について説明できる。</p> <p>3. こども家庭福祉の制度や実施体系等について説明できる。</p> <p>4. こども家庭福祉の現状と課題について説明できる。</p> <p>5. こども家庭福祉の動向と展望について説明できる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	超少子高齢社会における子ども家庭福祉			教科書該当箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の基本的視点について考えを深める(2時間)	
2	子ども家庭福祉の理念			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の理念について考えを深める(2時間)	
3	子ども家庭福祉の専門職 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の専門職について考えを深める(2時間)	
4	子ども家庭福祉の展開			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の変遷について考えを深める(2時間)	
5	子どもの権利擁護 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子どもの権利擁護について考えを深める(2時間)	
6	子ども家庭福祉の法体系			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の法体系について考えを深める(2時間)	
7	子ども家庭福祉の制度・事業			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の制度・事業について考えを深める(2時間)	
8	子ども家庭福祉の実施行政機関			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉の実施行政機関について考えを深める(2時間)	
9	子ども家庭福祉に関連する施設 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、子ども家庭福祉に関連する施設について考えを深める(2時間)	
10	要保護・要支援児童への支援			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、要保護・要支援児童への支援について考えを深める(2時間)	
11	社会的養護 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書該当箇所について読んでおく(2時間)		参考資料等を読み、社会的養護について考えを深める(2時間)	

12	少年非行等への対応	教科書該当箇所について読んでおく(2時間)	参考資料等を読み、少年非行等への対応について考えを深める(2時間)		
13	次世代育成支援対策の推進	教科書該当箇所について読んでおく(2時間)	参考資料等を読み、次世代育成支援対策について考えを深める(2時間)		
14	子ども家庭福祉の対象、方向性、枠組み、ソーシャルワーク	教科書該当箇所について読んでおく(2時間)	参考資料等を読み、子ども家庭福祉におけるソーシャルワークについての考えを深める(2時間)		
15	子ども家庭福祉の新たな動向	これまでの配布プリントや教科書を読んでおく(2時間)	試験勉強(2.5時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子ども家庭福祉入門	芝野松次郎・新川泰弘・宮野安治・山川宏和[編著]	ミネルヴァ書房	9784623088546	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%	受講姿勢、積極性	
	授業毎の課題		50%	授業内容を理解しているか評価する	
	レポート試験		40%	正確な説明ができていないか評価する	
備考	保育士資格の必修科目、介護福祉士資格の選択科目にもあたります。 実践現場や社会でいかせる福祉的な知識、スキル、態度等を磨くトレーニングを授業内でします。 受講生の希望によって、発表、福祉現場を感じる内容なども考えています。				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	社会福祉士として児童福祉施設で実務経験のある教員が授業を担当し、保育士として求められる子ども家庭福祉のとらえ方や考え方についての講義を行う。				

科目コード	61045a	ナンバリング	CHAA100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	保育・教職入門 1-地						
科目英語名	Introduction to the Nursery and Teaching Profession 1-地						
担当教員	吉田 香代子、樹下 堅						
資格・免許との関連	卒業必修科目 保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 小学校教員・幼稚園教諭や保育士の職責に関する基本的な事項について理解を深める。 2. 現代社会が抱えている教育的諸問題について学び、そのために対応すべき事柄を理解する。 3. 専門職について理解し、各自の進路選択について考えを深める。						
学修成果到達目標	1. 保育者・教師としての役割を知り、子どもの前に立つ自覚をもつ。 2. 保育者・教師に必要な知識や技能を知り、専門職としての保育者・教師の職務について理解し説明することができる。 3. 幼保教育・学校教育の社会的意義と就学全教育と小学校の教育の連携を理解し説明することができる。 4. 保育者・教師に必要な実践力や資質向上と各自の進路選択について考え行動できる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	専門職としての保育者とは（グループ討議）		保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格・免許について調べる(2時間)		授業内容の要点をまとめる(2時間)		
2	保育士・教師になるためには (幼稚園教諭、保育士の制度的位置づけや資格・要件)		幼稚園教諭、保育士の資格要件について調べる(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
3	保育者の1日 具体的な仕事の流れに見える保育者のまなざし (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)		提示した資料を予習する(2時間)		授業の内容を復習する(2時間)		
4	子どもの発達を理解する保育者 子どもの発達の理解方法		子どもの発達について調べる(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
5	遊びを援助する保育者 子どもと一緒に心と体を動かす仕事		乳幼児期の遊びについて調べる(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
6	個と集団を生かす保育者 個が育ち集団が育つとは		保育所保育指針解説「養護」に関わるねらい内容について学習する(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
7	家庭や地域との連携・支援する保育者 家庭の連携・支援とは		幼稚園教育要領解説「家庭と地域社会との連携」(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
8	教材などを通して学びを深める保育者 教材研究の必要性		乳幼児期の絵本について調べる(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
9	学び合う保育者 保育の場における保育者の成長と同僚関係		幼稚園教育要領解説 第1章 第4節指導計画の幼児理解に基づいた評価 3 指導計画の作成上の留意事項 (8)幼稚園全体の教師による協力体制 熟読する(2時間)		授業の要点をまとめる(2時間)		
10	保育者の専門性について		保育者の専門性について教科書、参考資料を参考に考えをまとめる		授業の要点をまとめる(2時間)		
11	専門職としての小学校教員とは		小学校教員の仕事を調べる(2時間)		小学校教員の仕事を分類しまとめる(2時間)		
12	教育に関わる法的・制度的事項		日本国憲法、教育基本法、学校教育法を読んでおく(2時間)		主な教育関係法令体系をまとめる(2時間)		
13	学校組織運営について チーム学校とコミュニティスクール		独立行政法人教職員支援機構「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ：校内研修シ		小学校における各組織の役割と関係をまとめる。 チーム学校運営における要		

		リーズ No24 とカリキュラム・マネジメント ～新学習指導要領とこれからの授業づくり～:校内研修シリーズ No54 を視聴し、要点をまとめる(2時間)	点をまとめる(2時間)		
14	小学校における教育諸問題について	独立行政法人教職員研修機構 いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方:校内研修シリーズ No48 と学校におけるいじめ問題への対応のポイント:校内研修シリーズ No90 を視聴し、要点をまとめる(2時間)	諸課題の課題の解決方法をまとめる(2時間)		
15	保幼小連携について	幼稚園教育要領第1章 第3節 教育課程の役割と編成 5 小学校教育との接続にあたっての留意点を読む 独立行政法人教職員支援機構の「幼保小の接続について:校内研修シリーズ No110」を視聴し要点をまとめる(2時間)	保幼小連携で大切にしたいこと、自分がやってみたいことをまとめる(2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(新しい保育講座2) 保育者論	汐見稔幸・大豆生田啓友	ミネルヴァ書房	9784623083329	
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475	
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
	小学校学習指導要領	文部科学省	東洋館出版	9784491034607	
	小学校指導要領解説 総則編	文部科学省	東洋館出版	9784491034614	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期テスト		60%	授業内容の理解度	
	コミュニケーションカード		20%	授業内容の理解度	
授業態度		20%	コミュニケーション能力・課題提出・受講姿勢を評価する		
備考	classroom を通して授業資料の配信や課題提出をする。				
フィードバック	授業内の課題について、次の授業で返却し、授業内に適宜コメントをする。				

科目コード	61050a	ナンバリング	CAA105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	保育原理 1-地						
科目英語名	Principles of Pre-school Education and Care 1-地						
担当教員	福鹿 慶子						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども保育コース） 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 保育の理念を学ぶ。 2. 保育所保育指針幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本を学ぶ。 3. 保育の内容と方法の基本について学ぶ。 4. 保育の歴史的変遷について学ぶ。 5. 保育の現状と課題について考察する。						
学修成果到達目標	1. 保育の理念について説明ができる。 2. 保育の内容や方法と保育所保育指針や幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領の関係について説明できる。 3. 子どもの発達過程と保育の関係について説明できる。 4. 現代社会における保育の位置づけと課題について説明できる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	保育とは (保育の理念)		教科書第一章を読む(2 時間)		保育理念について復習する (2 時間)		
2	現代社会と子どもの育ち		教科書第二章を読む(2 時間)		現代社会の子どもの育ちについて復習する(2 時間)		
3	保育の制度と現状		教科書第 3 章を読む(2 時間)		保育の制度と現状をまとめる(2 時間)		
4	保育者に求められるもの (質と専門性)		教科書第 4 章を読む(2 時間)		講義の内容をまとめる(2 時間)		
5	世界の保育の歴史 (諸外国の保育思想)		世界の保育の歴史について調べる(1 時間)		世界の保育の歴史についてまとめる(2 時間)		
6	日本の保育の歴史 (日本の保育の歩み)		日本の保育の歴史について調べる(1 時間)		日本の歴史についてまとめる(2 時間)		
7	保育に求められる子ども観・発達観		子どもの発達について調べる(1 時間)		今までの講義についてまとめる(3 時間)		
8	保育の基本		保育所保育指針の保育所に関する基本原則を読む(1 時間)		保育所保育指針で理解した内容についてまとめる(3 時間)		
9	保育の目標と内容		保育の目標と内容について調べる(1 時間)		保育の目標と内容について理解したことをまとめる(3 時間)		
10	保育の方法と進め方		保育の方法について調べる(1 時間)		保育の方法についてまとめる(3 時間)		
11	保育の計画と保育の質の向上		保育に計画があるのはなぜか調べる(2 時間)		保育計画について学んだことをまとめる(3 時間)		
12	子育て支援と地域連携		子育て支援を行う場について調べる(1 時間)		子育てをめぐる問題と子育て支援の背景についてまとめる(3 時間)		
13	海外の保育について		諸外国の動向について調べる(1 時間)		諸外国の保育について学んだことをまとめる(3 時間)		
14	保育の現状と課題		保育をめぐるこれからの課題について調べる(1 時間)		授業内容の要点をまとめる(3 時間)		
15	まとめと振り返り		保育とは何かについて、今までの授業内容を振り返り考えをまとめる(2 時間)		今までの講義についてまとめる(3 時間)		

試 験	筆記試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	実践を創造する 保育原理 第2版	豊田 和子	みらい	9784860154240	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館		
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館		
	幼保連携型認定こども園教育・ 保育要領解説	内閣府、文部科学 省、厚生労働省	フレーベル館		
	保育原理	公益財団法人児童 育成協会 監修	中央法規	9784805857816	
	保育原理 子どもの保育の企 保理論の理解	岡田耕一	萌文書林	9784893473301	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		60%	理解度	
	授業内課題		20%	理解度及び考察力	
	平常点 (受講姿勢、課題提出等含む)		20%	積極性、授業参加姿勢	
備 考					
フィード バック	授業時に適宜コメントする				

科目コード	61060a	ナンバリング	CHAA115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	社会的養護 I 1-地						
科目英語名	Social Care I 1-地						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 社会的養護の意義について理解し、児童福祉との関連性を理解する。 2. 児童の権利や自立支援について理解する。 3. 社会的養護の制度を理解したうえで現状と今後の課題について理解する。						
学修成果到達目標	1. 児童養護に関する社会的な問題に興味を持ち、制度について説明することができる。 2. 保育者として求められる児童養護の知識を修得する。 3. 児童養護に関する社会問題や事件に常に関心を持ち、自分の考えを持つことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	現代社会における社会的養護の意義			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、社会的養護の基本的考え方についての考えを深める(2時間)	
2	社会的養護の歴史の変遷			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、社会的養護のこれまでの歴史の変遷について考えを深める(2時間)	
3	社会的養護の基本、制度、法体系			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、子どもの人権擁護や基本原則について考えを深める(2時間)	
4	社会的養護の仕組みと実施体系			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、社会的養護の仕組みの特徴、実施機関について考えを深める(2時間)	
5	里親、ファミリーホーム、養子縁組			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、家庭養護について考えを深める(2時間)	
6	社会的養護の実際① 児童養護施設、児童自立支援施設 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、児童養護施設、児童自立支援施設について考えを深める(2時間)	
7	社会的養護の実際② 自立援助ホーム、乳児院 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、自立援助ホーム、乳児院について考えを深める(2時間)	
8	社会的養護の実際③ 母子生活支援施設、児童心理治療施設 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、母子生活支援施設、児童心理治療施設について考えを深める(2時間)	
9	社会的養護の専門職			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、里親支援専門相談員や家庭支援専門相談員について考えを深める(2時間)	
10	社会的養護の施設等の運営管理			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、小規模化、被措置児童等の虐待防止、第三者評価について考えを深める(2時間)	
11	社会的養護とソーシャルワーク			教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)		参考資料等を読み、社会的養護におけるソーシャルワークについて考えを深める(2時間)	

12	社会的養護に関する社会的状況	教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、子どもの生活実態、子どもの貧困について考えを深める(2時間)		
13	社会的養護の基本原則	教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、永続的な関り、パーマネンシープランニングについて考えを深める(2時間)		
14	被措置児童等の虐待防止とその取り組み	教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、被措置児童虐待についての考えを深める(2時間)		
15	社会的養護の課題と展望	教科書当該箇所を読み、自分の考えをまとめておく(2時間)	参考資料等を読み、社会的養護についての課題と展望について考えを深める(2時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	社会的養護入門	芝野松次郎・新川泰弘・山川宏和[編著]	ミネルヴァ書房	9784623092239	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%	受講姿勢、積極性を評価する	
	授業毎の課題		50%	授業内容を理解しているか評価する	
	レポート試験		40%	正確な説明ができていないか評価する	
備考	日頃から新聞等で社会的養護の記事に目を向けるなど関心をもつこと				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	社会福祉士として社会的養護の施設で実務経験のある教員が授業を担当し、社会的養護の在り方、支援等についての講義を行う。				

科目コード	61070a	ナンバリング	CAA200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	教育原理 1-地						
科目英語名	Principles of Education 1-地						
担当教員	小松 郁夫						
資格・免許との関連	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教諭、小学校教諭免許取得のための必修科目 ・保育士資格取得のための必修科目 ・卒業必修科目 						
学修内容	<p>教育原理の目的は、「教育とは何か」という基本的な問いに対する自分なりの答えを見出すことである。そこで本授業では、以下4点の内容について講義（一部アクティブ・ラーニング）を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の理念、西洋および日本の教育思想史とその歴史の変遷、保育・教育内容や技法についての基礎的な知識を理解・修得。 2. ICT 通信環境（オンライン・オンデマンド・ハイブリット）および Google 各種ツールなどを活用スキルの修得。 3. 協同学習の理念と手法に基づいた話し合い活動（LTD：Learning Through Discusson）を通して、将来保育士、幼稚園・小学校教諭として必要とされる基礎知識を理解・修得。 4. 現代社会における教育時事・発行臨床課題（いじめ、不登校、発達・子育て支援、スマホ育児、特別支援教育、学校安全・安心、COVID-19 等感染症予防対応など）について、論理的に捉え探究・省察する学修姿勢の修得。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育の理念、西洋および日本の教育思想史に関する基礎知識をふまえた論述ができる。 2. 教育の内容や方法と幼稚園教育要領や保育所保育指針の関係について論述ができる。 3. 子どもの発達過程と教育の関係について論述ができる。 4. 現代社会における保育の位置づけと課題について論述ができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション】 1) 授業の目的・目標、内容および計画、授業の進め方、評価観点および方法について説明する。 2) 「教育とは何か」という問いに対して、学生自身が仮説を立てるためのヒントを教示する。			1) シラバスの確認(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間) 2)授業内容をふまえ「教育とは何か」をイメージする(1 時間)	
2	【教育の目的・目標と教育課程の編成】 教育とは何か、目的とその方法、保育所保育指針による教育課程(カリキュラム)の編成についての基礎理論を概説する。			1)指定テキスト第 1-2 章精読(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
3	【西洋の教育 1（古代から中世）】 古代ギリシャ・ローマ（ソクラテス、プラトン、アリストテレス）から中世教会学校までの教育思想をふまえて、「教えるー学ぶ」の関係性、教育のあり方について概説する。			1)指定テキスト第 5 章精読(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
4	【西洋の教育 2（近代 1）】 コメニウス、ベーコン以降の近代哲学の流れを整理し、ロック、ルソー、ペスタロッチ、カント、ヘルバルトらの教育思想をふまえて、近代以降の教育のあり方、子どもの発達と教育に与えた影響について概説する。			1)指定テキスト第 6 章精読(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
5	【西洋の教育 3（近代 2）】 19 世紀以降の新教育運動の中心であったデューイ、モンテッソーリらの教育思想による児童中心主義教育思想をふまえた教育方法の開発(メソッド)と近代公教育制度に与えた 影響について概説する。			1)指定テキスト第 7 章 第 1-2 節精読(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
6	【西洋の教育 4（現代）】 ブルーナー、ラングランなどの教育思想をふまえて、1960 年代以降の高度経済化、国際競争化の流れをふまえた公教育改革の流れ、フレイレ、イリイチらの脱学校化教育思想やオルタナティブ教育のあり方について			1)指定テキスト第 7 章 第 3-4 節精読(1 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間) 2)中間レポート(1)(2 時間)	

	て概説する。				
7	【日本の教育1（古代から中世）】 古代律令国家の成立から貴族・武士社会における教育のあり方について整理し、教育の目的・目標や意義についての知識を概説する。	1)指定テキスト第8章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
8	【日本の教育2（近世から第二次世界大戦以前）】 明治以降第二次世界大戦前までの日本の公教育制度の変遷を整理し、近代学校教育の意義について概説する。	1)指定テキスト第9章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
9	【日本の教育3（第二次世界大戦以降1980年代まで）】 1947年（S22年）学習指導要領（試案）以降の学校教育制度の変遷を整理し、現代の学校教育制度および教育の義務制について概説する。	1)指定テキスト第10章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
10	【日本の教育4（1990年代以降現在まで）】 1987年臨時教育審議会答申およびその後の中央教育審議会答申などをふまえ、現代社会における教育改革の方向性と内容について概説する。	1)指定テキスト第11章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)2)中間レポート(2)(2時間)	
11	【現代の教育課題（1）】 現代社会における教育課程の変遷（課題H29改訂幼稚園教育要領・小学校学習指導要領の目的・目標、内容と方向性および現代の保育・教育実践における取り組みなど）について概説する。	1)指定テキスト第2章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
12	【現代の学校教育課題（2）】 現代社会における学校臨床課題（いじめ、不登校など）をテーマに、学校間連携、学校と家庭・地域、学校と学校外組織との連携・協力関係を構築するために必要とされる基礎知識について理解する	1)指定テキスト第12章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
13	【現代の学校教育課題（3）】 現代社会における学校臨床課題（子どもの虐待・貧困、発達・子育て支援、スマホ育児など）について概説する。	1)指定テキスト第13章精読(1時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
14	【現代の学校教育課題（4）】 現代社会における学校臨床課題（特別支援教育、学校安全・安心、COVID-19等感染症予防対応、ICTの推進とネットモラルなど）について理解する。	1)指定テキスト第3章精読(1時間)		1)第1～14回内容まとめ：Google Chromebook ノート整理(2時間)	
15	【教育原理まとめ】 1)第1回～第14回内容まとめ 2)習熟度確認テスト	1)習熟度確認テストの準備(2時間)		1)教育原理全体のまとめ：Google Chromebook ノート整理(1時間)	
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	教育原理—保育・教育の現場をよりよくするために	石上浩美	嵯峨野書院	9784782305744	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	西洋教育思想史 第2版	眞壁宏幹 編著	慶應義塾大学出版会	9784766426588	
	「教育」を問う教育学 教育への視点とアプローチ	田中 克佳 編著	慶應義塾大学出版会	9784766412536	
	教育の原理—第4版（教育演習双書）	沼野一男・松本憲・田中克佳・白石克己・米山光儀	学文社	9784762020810	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	習熟度確認テスト	50%	知識・理解 A：50-40,B:39-30,C:29-20,D:19以下		

	中間レポート（１）	25%	思考・表現 A : 25-20,B:19-15,C:14-10,D:9 以下
	中間レポート（２）	25%	思考・表現 A : 25-20,B:19-15,C:14-10,D:9 以下
備考			
フィードバック	・ Google Classroom および sahonavi にて適宜実施		

科目コード	61080a	ナンバリング	CAB100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	学習・発達論 1-地						
科目英語名	Learning and Development 1-地						
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	卒業必修科目 保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目 准学校心理士資格取得のための必修科目 ピアヘルパー資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 発達臨床心理学の視点から発達のプロセスや学習の重要性について理解し、保育や教育との関連を考察する。 2. 発達や学習に関する心理学の基礎知識を修得し、子どもへの理解を深める。 3. 子どもの心身の障がいとその支援に関する基礎知識を修得する。						
学修成果到達目標	1. 発達臨床心理学の視点から発達のプロセスや学習の重要性について説明することができる。 2. 保育および教育実践にかかわる発達や学習に関する心理学の知識について説明することができる。 3. 子どもの心身の障がいとその支援に関する基礎知識を修得し、習得した知識に基づく対応を考えることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 発達の原理について			ピアジェの発達理論を調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
2	乳児期の発達について			愛着理論について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
3	幼児期の発達について			心の理論について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
4	児童期の発達について			メタ認知について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
5	青年期の発達について			自我同一性について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
6	発達と教育について			エリクソンの発達理論について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
7	学習の理論 1. 古典的条件付けとオペラント条件付け			古典的条件付けとオペラント条件付けについて調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
8	学習の理論 2. 学習の認知、効果的な学習法について			自分の学習方法を分析する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
9	学習と記憶について			自分の記憶方法を分析する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
10	行動と動機づけについて			自己効力感について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
11	学力と知能について			学力と知能の違いについて調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
12	学習指導法について			自分の学習方法を分析する(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
13	教育評価について			さまざまな評価方法について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
14	学級集団づくりについて			学級集団の構造・集団力について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
15	障害の理解			インクルージョン概念について調べる(2時間)		授業内容をまとめる(2時間)	
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	発達・学習の心理学	柏崎秀子	北樹出版	9784779305917			

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	子どものための精神医学	滝川一廣	医学書院	9784260030373	
	保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説とポイント	汐見稔幸・無藤隆	ミネルヴァ書房	9784623080984	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業参加態度		20%	積極性・発表力・コミュニケーション能力を総合的に評価する	
	中間テスト		40%	授業内容を理解しているか評価する	
	定期テスト		40%	授業内容を理解しているか評価する	
備考					
フィード バック	授業時に適宜コメントをする。				

科目コード	61090a	ナンバリング	CHAB205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こども家庭支援の心理学 2-地						
科目英語名	Psychology of Child FamilySupport 2-地						
担当教員	村田 健治						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	子育て家庭への支援について理解を深めるため、乳幼児期からの生涯発達を心理学の観点から概観する。また、家族・家庭の意義や機能および子育て家庭をめぐる社会的な状況と課題をとらえ、保育者として必要な知識と支援方法を理解する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期からの生涯発達について、心理学の観点から基礎的な事項を理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を知り、親子関係や家族関係について理解を深める。 3. 子育て家庭の現代的な課題を理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を修得する。 4. 子どもの精神保健とその課題を学ぶ。 						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	【オリエンテーション・子ども家庭支援について概観する】 ・授業目的や内容、進め方や評価観点、方法について ・子ども家庭支援における学びの視点について		・シラバスの内容の確認および関連する 1 年次履修科目の復習 (2 時間)		本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
2	【子どもの学びと保育 1】 子どもの発達に応じた保育援助について (食事・排泄・着脱の発達と環境作り)		・子どもの発達について履修済の関連科目から復習しておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
3	【子どもの学びと保育 2】 子どもの発達に応じた保育援助について (遊びの発達と環境作り<室内遊び>)		・子どもの発達について履修済の関連科目から復習しておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
4	【子どもの学びと保育 3】 ・子どもの発達に応じた保育援助について (制作遊びと絵本)		・子どもの発達について履修済の関連科目から復習しておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
5	【子どもの学びと保育 4】 ・子どもの発達に応じた保育援助について (屋外遊びの環境作り)		・子どもの発達について履修済の関連科目から復習しておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間) ・中間課題作成(2 時間)		
6	【子どものこころの健康と生活環境】 ・気になる子どもたちとの関わりについて		・「気になる子ども」について調査し、事前にまとめておく(2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
7	【支援が必要な子ども・家庭との関わり 1】 ・子どもへの関わり方および支援方法を共通理解することの必要性について		・就学前期の特別支援教育について調べておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
8	【支援が必要な子ども・家庭との関わり 2】 ・支援が必要な子どもたちへの具体的な対応について		・就学前期の特別支援教育について調べておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
9	【子どものこころの健康に向けた保護者支援】・保育現場における保護者支援の実際		・保育における相談支援について自分なりに調べてまとめておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
10	【赤ちゃんとの関わり】 ・乳児期～1 歳半頃の発達 ・赤ちゃんの脳		・乳児期の発達 (身体・認知・言語・社会性など) について調べてまとめておく (2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
11	【幼児とのかかわり 1】 ・自己の発達と人間関係の発達		・乳児期の発達(身体・認知・言語・社会性など) について調べてまとめておく(2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		
12	【幼児とのかかわり 2】 ・遊びの発達と心の理論		・乳児期の発達(身体・認知・言語・社会性など)について調べてまとめておく(2 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2 時間)		

13	<p>【変わりゆく家族への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭および家族の定義と機能 ・様々な家族形態のあり方、異なる文化的背景を持つ家庭への支援について 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の現代的課題について自分なりに調べ、まとめておく(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間) 		
14	<p>【子どもにかかわる大人のこころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親にとって子どもとは」何か ・女性のライフコースとワークライフバランス 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子が抱える課題や女性のWLBについて調べておく(2時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間) 		
15	<p>【子ども家庭支援の心理学まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業全体のフィードバック ・現代における子ども家庭支援の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの受講内容 Google Chromebook ノートの整理(2時間) ・最終課題準備(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・受講内容全体を振り返りレポートにまとめる(2時間) 		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子ども家庭支援の心理学入門	大倉得史/新川泰弘	ミネルヴァ書房	9784623089437	
	子どもとかかわる人のための心理学:保育の心理学、子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助への扉	沼山博/三浦主博	萌文書林	9784893473691	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	レポート試験		60%	受講内容の理解度と考察力	
	中間課題		20%	受講内容の理解度と考察力	
	授業内課題及び参加姿勢		20%	積極性、時間管理、学習への意欲	
備考	テキストは使用しません。授業中に適宜資料を配布または提示します。				
フィードバック					

科目コード	61105	ナンバリング	CAB110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こどもの理解と援助						
科目英語名	Child understanding andSupport						
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども保育コース） 保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教諭免許状取得のための必修科目 准学校心理士資格取得のための必修科目 ピアヘルパー資格取得のための選択科目						
学修内容	幼稚園教諭および保育士を目指す上で、「子どもに心を寄せる」「保育者の温かなまなざし」など、保育者の基本姿勢を学ぶ。また、発達の過程を理解した適切な指導や援助の在り方および子どもの理解の方法を理解する。さらに保育における評価の意味や評価を行う必要性を理解し、子育て支援や保育相談の在り方を学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 「子どもに心を寄せる」、「保育者の温かなまなざし」など、保育者の姿勢を理解し心がけることができる。 2. 発達の過程を理解した適切な指導や援助を考えることができる。 3. 子どもの理解の方法に基づく援助の在り方を考えることができる。 4. 保育における評価の意味や評価を行う必要性を理解し、子育て支援や保育相談の在り方を説明できる。						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 保育の出発点としての幼児理解 幼児理解と指導案の作成・実施・評価との関係を学ぶ	幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の基本原則を読む(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
2	幼児の発達に関わる様々な課題 ：統計資料や保育実践事例から幼児の気になる行動の課題を捉える	ADHD(注意欠陥多動性障害)について調べる(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
3	幼児の自己表現と受容する他者との関係 ：幼児と保育者の温かい関係・信頼関係の重要性	自閉症スペクトラム障害について調べる(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
4	幼児の発達や学びの過程を捉える視点 ：遊びの中で幼児が何を学び、身につけているかを読み取る(評価)	事前の資料から疑問点をまとめる(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
5	観察・記録の方法と分析・考察の視点 ：幼児の発達や学びを捉える観察及び記録の方法(ICT を活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	乳幼児の遊びの発達過程について調べる(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
6	演習：観察・記録の実際 ：幼児の遊びの様子を観察し、記録する(ICT を活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	子どもの精神発達の過程を調べる(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
7	発表と協議：観察・記録のまとめについて協議 ：グル：ブ協議から、多様な見方、考え方に気付く(ICT を活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	精神発達の過程についてまとめる(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		
8	観察・記録からの幼児理解と学びの読み取り(評価) ：学びのつながり、「幼児期の終わりにまでに育ってほしい姿」(ICT を活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)			授業内容をまとめ(2時間)		
9	集団で気になる子ども 1. 非常に落ち着きがない子どもへの理解(ICT を活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者の支援の在り方を考える(2時間)			授業内容をまとめ(2時間)		
10	集団活動で気になる子ども 2. 運動会への参加の仕方での悩む子どもへの理解(ICT を活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)			授業内容をまとめる(2時間)		

	活用)				
11	集団活動で気になる子ども 3. パニックを起こしてしまう子どもへの理解	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)	授業内容をまとめる(2時間)		
12	人との関わりで気になる子ども 1. クラスの友だちと遊べない子どもへの理解 (ICTを活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)	授業内容をまとめる(2時間)		
13	人との関わりで気になる子ども 2. 友だちとの遊びの中で自己主張ができない子どもへの理解 (ICTを活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)	授業内容をまとめる(2時間)		
14	人との関わりで気になる子ども 3. 友だちとの関わり方に偏りがある子どもへの理解 (ICTを活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)	授業内容をまとめる(2時間)		
15	子どもの特性への理解が難しい子ども 1. 感覚過敏な子どもへの理解 (ICTを活用する授業をまとめた動画コンテンツ等の活用)	事例を通して、保育者としての支援の在り方を考える(2時間)	授業内容をまとめる(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子どもの理解と援助：育ち・学びをとらえて支える	無藤 隆	光生館	9784332701958	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子どものための精神医学	滝川一廣	医学書院	9784260030373	
	保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説とポイント	汐見稔幸・無藤隆	ミネルヴァ書房	9784623080984	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業参加態度(コミュニケーション力、積極性、思考力)		25%	コミュニケーション力、積極性、思考力を総合的に評価する	
	課題レポート		25%	正確な説明ができていないか評価する	
	定期試験		50%	授業内容が理解できているかを評価する	
備考					
フィードバック	授業時に適宜コメントする				

科目コード	61110a	ナンバリング	CAB105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こどもの保健 1-地						
科目英語名	Child Health 1-地						
担当教員	大越 幸代						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 子どもの健康と子どもを取り巻く環境について学ぶ。 2. 子どもの発育と発達について学ぶ。 3. 子どもの健康状態の把握について学ぶ。 4. 子どもの病気の予防と適切な対応について学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 子どもの健康と子どもを取り巻く環境について述べるができる。 2. 子どもの発育と発達について述べるができる。 3. 子どもの健康状態の把握について述べるができる。 4. 子どもの病気の予防と適切な対応について述べるができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	子どもの健康と保健の意義	教科書該当箇所を読んでおく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
2	子どもの健康指標	健康指標について調べておく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
3	子どもを取り巻く環境	教科書該当箇所を読んでおく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
4	地域における保健活動と子ども虐待防止	子どもの虐待事例について調べてまとめておく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
5	子どもの身体発育	教科書該当箇所を読んでおく 小テストに向け、既習範囲を復習する(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
6	子どもの発達	子どもの運動機能の発達についてまとめておく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
7	子どもの生理機能の特徴	教科書の該当箇所を読んで整理しておく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
8	子どもの発育と発達の評価とその診断基準	教科書該当箇所を読んで整理しておく(1時間) 小テストに向けて、既習範囲を復習しておく(1時間)		発達の評価についてまとめておく(2時間)			
9	保護者との情報共有とその方法	教科書該当箇所を読んでおく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
10	子どもの健康状態のみかた	教科書の該当箇所を読んでおく(2時間)		授業内容を復習する(2時間)			
11	体調の良くない子どもへの対応	教科書の該当箇所を読んで整理しておく(2時間)		授業内容を復習しておく(2時間)			
12	子どものおもな病気の特徴と対応、予防について	教科書の該当箇所を読んで、分からない言葉を調べておく(1時間) 小テストに向けて、既習範囲を復習しておく(1時間)		授業内容をまとめておく(2時間)			
13	保育所で良く見かける病気(感染症)	教科書の該当箇所を読んで整理しておく(2時間)		感染症についてまとめておく(2時間)			
14	予防できる疾患に対する対策	予防接種について調べてまとめておく(2時間)		授業内容を復習しておく(2時間)			
15	振り返りとまとめ	小テストに向けて既習範囲を復習する(2時間)		これまでの講義の内容を総復習する(2時間)			
試験	レポート試験						

教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	これだけはおさえたい！保育者のための子どもの保健	鈴木 美枝子(編集)	創成社	9784794480927	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト	小林美由紀編著	診断と治療社	9784787825315	
	保育所保育指針		厚生労働省		
	保育所における感染症対策ガイドライン		厚生労働省		
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		50%	到達目標が理解できているか評価する	
	小テスト		20%	授業内容を理解できているか評価する	
	課題提出、受講態度		30%	授業への参加意欲、課題の提出・内容など総合的に判断する	
備考	専門用語など分からない用語については、事前に図書館などで調べて理解しておいてください。				
フィードバック					

科目コード	61120	ナンバリング	CAB210	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもの食と栄養						
科目英語名	Nutrition Science for Child						
担当教員	堀 祥子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	こどもが健康に成長するためには日々の食生活の果たす役割が重要である。豊かな人間性を育て、生きる力を育み、健康な体を作るための”食と栄養”について正しい知識を習得し、学んだ知識を保育の実践的活動へと発展できるようにする。						
学修成果到達目標	新しい時代の保育に求められている「食育」について計画・実践できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	子どもの健康と食生活の意義			教科書の第 1 講を読む(1 時間)		最近の食の安全に関する出来事を調べる(2 時間)	
2	栄養の基本的概念			教科書の第 2 講を熟読(1 時間)		三大栄養素の消化のしくみを復習し、理解を深める(2 時間)	
3	栄養素の種類と機能			加工食品の栄養成分表示を観察(2 時間)		保健機能食品を分類別に調査し商品名を記載する(2 時間)	
4	【演習】日本人の食生活の目標／献立作成(グループワーク)			一日分のバランス良い献立例を調べる(2 時間)		生活習慣病となる原因を整理する(2 時間)	
5	乳児期の特徴と乳汁栄養			市販の粉ミルクの種類別特徴を調べる(2 時間)		母乳、乳児用調製粉乳、牛乳のそれぞれの特徴を復習(2 時間)	
6	離乳期の栄養			幼児が手づかみしやすい食べ物を調査しておく(2 時間)		市販の離乳食を月齢別に形状、栄養、食材を調査する(2 時間)	
7	幼児期の心身の発達と食生活			幼児期の誤嚥や窒息事故について、過去に起きた事例を調べる(2 時間)		幼児用おやつ栄養成分表示を観察(2 時間)	
8	学童期・思春期の心身の発達と食生活			学童期、思春期の食の問題点を調べておく(2 時間)		学童期に必要な栄養素を多く含む食品をあげ、料理例を考える(2 時間)	
9	妊娠期の心身の発達と食生活 (DVD)			教科書の第 9 講を熟読する(1 時間)		妊娠期に必要な栄養素を多く含む食品をあげ、料理例を考える(2 時間)	
10	保育における食育の意義・目的と地域と連携した食育の展開			教科書の第 10 講を熟読する (1 時間)		地域が取り組む食育を調査する(2 時間)	
11	家庭や児童福祉施設における食事と栄養			教科書の第 12 講、第 13 講を熟読する(1.5 時間)		郷土料理について調査する(3 時間)	
12	【演習】食文化の継承・行事食			一年間の年中行事と、それぞれの意味、行事食を調べる(3 時間)		行事食の理解が深められるよう、更に詳細な調査をする(2 時間)	
13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養			どのような食食用自具があるか調べる(2 時間)		市販のアレルギー対応食の栄養成分表示を観察(2 時間)	
14	食育の基本と内容			年齢別年間食育指導計画例を調べる(3 時間)		年間食育指導計画の作成(3 時間)	
15	【演習】食育の年間計画作成			食育に使われる媒体や実践例を調べる(2 時間)		これまでの講義内容を総復習する(2.5 時間)	
試験	筆記試験						

教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(新・基本保育シリーズ12) 子どもの食と栄養	堤ちはる・藤沢由美子	中央法規出版	9784805857922	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子どもの食と栄養：保育現場で活かせる食の基本（第2版）	太田百合子・堤ちはる	羊土社	9784758109116	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		70%	筆記試験を実施し、最終的な理解を評価する。	
	授業態度（授業毎後、復習テスト）		10%	授業内容を理解しているか評価する。	
	課題提出		20%	熟考し期日までに課題提出できたか評価する。	
備考					
フィードバック	毎回、授業後に復習テストを行い、採点した後次の授業内で返却、解説を行う。				

科目コード	61155	ナンバリング	CAB215	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	特別支援教育・保育概論 2-地						
科目英語名							
担当教員	村田 健治						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目 幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	特別支援教育の基本的な理念と内容について学び、特別な配慮を必要とする子どもに対する正しい理解と認識を深めるとともに、具体的な支援方策を学ぶ中で、特別支援教育の今日的課題を考察する。 また、通常学級にも在籍している支援を必要とする子どもが授業や保育の中で達成感をもちながら学び、生きる力を身につけていくことができるよう、子どもの個別の教育的ニーズに対して、保育者や教員が他の関係機関と連携しながら組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。						
学修成果到達目標	1. 特別な支援を必要とする子どもの障害の特性及び心身の発達を理解する。 2. 特別な支援を必要とする子どもの教育課程及び支援の方法を理解する。 3. 個別の教育的ニーズのある子どもの学習上または生活上の困難とその対応を理解する。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	【オリエンテーション・特殊教育から特別支援教育へ】・履修上の注意、評価方法及び評価基準について ・特殊教育から特別支援教育への変遷 ・インクルーシブ教育		テキスト第1章精読(2時間)		本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
2	【特別支援教育・障がい児保育の理念と形態】 ・障がい理念の歴史的変遷 ・ノーマライゼーションからインクルージョンへ		テキスト第2章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
3	【特別支援教育・障がい児保育の現状と課題】 ・国際障害分類 (ICIDH) について ・国際生活機能分類 (ICF) について ・障がい分類の変化と対応		テキスト第3章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
4	【日本の特別支援教育・障がい児保育の歴史】 ・近代学校制度における障がい児教育・保育 ・戦後発達保障としての特殊教育		テキスト第4章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
5	【肢体不自由児の理解と援助】 ・肢体不自由とは ・肢体不自由児の理解と指導・支援		テキスト第5章精読(1時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間) ・中間課題作成(2時間)		
6	【視覚・聴覚障がい児等の理解と援助】 ・視覚・聴覚障がいとは ・視覚・聴覚障がい児の理解と指導・支援		テキスト第6章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
7	【知的障がい児の理解と援助】 ・知的障がいとは ・知的障がい児の理解と指導・支援		テキスト第7章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
8	【言語障がい児の理解と援助】 ・言語障がいとは ・言語障がい児の理解と指導・支援		テキスト第8章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
9	【発達障がい児の理解と援助】・発達障がいとは・発達障がい児の理解と指導・支援		テキスト第9章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
10	【「気になる子ども」の理解と援助】 ・「気になる子ども」とは ・「気になる子ども」の理解と指導・支援		テキスト第10章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
11	【様々なルーツや背景をもつ子どもの教育・保育】 ・外国籍の子ども、子どもの貧困とは		テキスト第11章精読(2時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		

	・様々な背景をもつ子どもの理解と指導・支援		時間)		
12	【特別支援教育・障がい児保育の実践例と対応】 ・幼稚園、小学校、特別支援学校の事例から	テキスト第12章精読(2時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
13	【病気の子どもの理解と支援】 ・病弱、身体虚弱とは ・先天性疾患(染色体異常)とは ・病弱、身体虚弱、先天性疾患の理解と指導・支援	テキスト第13章精読(2時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(2時間)		
14	【幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との接続】 ・保幼小連携とは ・「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」 ・特別支援教育体制	テキスト第14章精読(2時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1時間) ・個別の指導計画の骨子作成(1時間)		
15	【特別支援教育・保育概論まとめ】 ・第1～14回授業まとめ ・習熟度確認テスト	習熟度確認テストに向けての学習準備(3時間)	・個別の指導計画の完成および提出(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	実践にいかす 特別支援教育・障がい児保育の理論と支援	小川 圭子・矢野 正編著, 石上浩美他	嵯峨野書院	9784782306000	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	特別支援教育	廣瀬由美子・石塚謙二	ミネルヴァ書房	9784623085378	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	習熟度確認テスト	50%	知識・理解		
	個別の保育・教育指導計画	30%	思考・アセスメントの考察・表現		
	中間課題レポート	20%	思考・表現		
備考					
フィードバック					

科目コード	61160a	ナンバリング	CAC100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	カリキュラム論 1-地						
科目英語名	Curriculum Studies 1-地						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許との関連	小学校・幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目 卒業必修科目						
学修内容	1. 保育内容の充実と質の向上に資する保育の計画と評価について理解する。 2. 教育課程の編成や全体的な計画について、具体的なカリキュラムの展開からその役割や機能、意義を理解し、編成や策定の方法を理解する。 3. 子ども理解に基づき、保育・教育の過程について基本的な考え方を理解し、全体構造を捉え、カリキュラム・マネジメントについて理解する。						
学修成果到達目標	1. 保育内容の充実と質の向上に向けた保育の計画と評価について、重要事項を説明できる。 2. 教育課程及び全体的な計画と指導計画の作成ができる。 3. 子ども理解に子ども理解に基づき、保育・教育の過程について基本的な考え方を理解し、全体構造を捉え、カリキュラム・マネジメントについて把握することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	保育の計画、幼児教育課程とは			保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型こども園教育・保育要領解説書の該当範囲について精読しておく(1.5 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
2	日本におけるカリキュラムの基礎理念			保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型こども園教育・保育要領解説書の該当範囲について精読しておく(1.5 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
3	子ども理解に基づく保育の循環			テキストの該当範囲を精読しておく(1.5 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
4	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の性格と位置付け・改訂の内容			保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型こども園教育・保育要領解説書の該当範囲について精読しておく(1.5 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
5	幼稚園における教育課程編成の基本原則とその方法			配布資料を事前に読み、疑問点をまとめる(2 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
6	保育所・認定こども園等の全体的な計画の作成の基本原則とその方法			配布資料を事前に読み、疑問点をまとめる(2 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
7	幼稚園における指導計画の作成			配布資料を事前に読み、疑問点をまとめる(2 時間)		幼稚園における指導計画を作成し、完成させる(2 時間)	
8	保育所・認定こども園の指導計画の作成			配布資料を事前に読み、疑問点をまとめる(2 時間)		保育所・認定こども園における指導計画を作成し、完成させる(2 時間)	
9	保育における評価			配布資料を事前に読んでおく(2 時間)		講義内容を振り返り、まとめておく(2 時間)	
10	指導計画の理解① 0 歳児の指導計画			0 歳児の発達に関する資料を検索し、調べてまとめておく(2 時間)		0 歳児クラスの指導計画を作成する(2.5 時間)	
11	指導計画の理解② 1 歳以上 3 歳未満児の指導計画			1,2 歳児の発達に関する資料を検索し、調べてまとめておく(2 時間)		1 歳以上 3 歳未満児クラスの指導計画を作成する(2.5 時間)	
12	指導計画の理解 3 3 歳児の指導計画			3 歳児の発達に関する資料を検索し、調べてまとめておく(2 時間)		3 歳児クラスの指導計画を作成する(2.5 時間)	

13	指導計画の書き方④ 4歳児の指導計画	4歳児の発達に関する資料を検索し、調べてまとめておく(2時間)	4歳児クラスの指導計画を作成する(2.5時間)		
14	指導計画の書き方⑤ 5歳児の指導計画	5歳児の発達に関する資料を検索し、調べてまとめておく(2時間)	5歳児クラスの指導計画を作成する(2.5時間)		
15	小学校との接続 (アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム)	第1回～14回授業の要点をまとめ、質問事項を考える(2時間)	講義内容全体を振り返りまとめる(2時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(新・基本保育シリーズ13)教育・保育カリキュラム論	千葉 武夫,那須 信樹編	中央法規出版	9784805857939	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	内閣府、文部科学省、厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	レポート試験		50%	理解度	
	授業内課題		30%	理解度及び考察が述べられているか	
	平常点(受講姿勢、課題提出など含む)		20%	積極性、授業参加姿勢	
備考					
フィードバック					

科目コード	62000	ナンバリング	CKAF100	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	国語科教育法 1-地小						
科目英語名	Teaching Methodology on Japanese 1-地小						
担当教員	屋木 瑞穂						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭二種免許取得のための必修科目						
学修内容	国語科教育の目標及び内容に対する理解を深め、国語科で育成を目指す能力をどのような方法で育てるのかを課題とし、実践研究の動向を踏まえて具体的な授業場面を想定した国語科の授業を構想する際に必要な教材研究及び指導案の作成方法について学び、模擬授業を通して国語科指導の基礎的实践力を身に付ける。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 「小学校学習指導要領 国語」の概要を把握し、国語科教育の目標及び内容等を理解することができる。 国語科学習指導の基盤となる教材分析・解釈力を身に付け、教材の特質を踏まえた教材研究の方法を身に付けることができる。 具体的な教材を取り上げ学習指導案を作成し、模擬授業を通して国語科指導の基礎的实践力を身に付けることができる。 ICT を活用した授業づくりの基礎スキルを修得する。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	授業計画と成績評価方法・基準を確認し、学修の見直しをもつ。 「小学校学習指導要領 国語」の目標・内容			シラバスをよく読み、講義の全体計画を把握し、教科書に目を通しておくこと(2 時間)		教科書の該当箇所を読んで授業内容を復習し、国語科教育の目標及び内容について整理すること(2 時間)	
2	領域「言葉」と小学校「国語科」一幼児期の教育との接続			「幼稚園教育要領」の領域「言葉」のねらい及び内容を読んでおくこと(2 時間)		教科書の該当箇所及び配布した資料を復習し、内容を整理すること(2 時間)	
3	「話すこと・聞くこと」の指導の目標と内容			「話すこと・聞くこと」の指導の目標と内容について、教科書の該当箇所を読んで要点を把握しておくこと(2 時間)		教科書の該当箇所を復習し、「話すこと・聞くこと」の指導の目標・内容について整理すること(2 時間)	
4	「話すこと・聞くこと」の指導の方法（スピーチ）			「話すこと・聞くこと」の指導方法について、教科書の該当箇所を読んで要点を把握しておくこと(2 時間)		教科書の該当箇所を復習し、「話すこと・聞くこと」の指導方法についてまとめること(2 時間)	
5	「書くこと」の指導（1）－「書くこと」の指導の目標と内容			「書くこと」の指導の目標と内容について、教科書の該当箇所を読んで要点を把握しておくこと(2 時間)		書くことの指導について教科書の該当箇所の内容を整理し、配布した説明文教材を読んで説明の仕方の工夫を捉えること(2 時間)	
6	「書くこと」の指導（2）－ICT を活用した「書くこと」と「読むこと」をつなぐ言語活動〔プレゼンテーション〕			取り上げた題材に関連する知識や情報を得て、調べたことを紹介するスライドづくりをすること(2 時間)		「書くこと」の指導について、その内容及び学習指導の方法についてまとめること(2 時間)	
7	「我が国の言語文化」に関する事項の指導－ICT を活用した書写の指導方法			「我が国の言語文化」に関する事項の指導について、教科書の該当箇所を読んで内容を把握しておくこと(2 時間)		「我が国の言語文化」に関する事項の指導について、その内容及び学習指導の方法についてまとめること(2 時間)	
8	「読むこと」の指導（1） 文学的文章指導の目標と内容			文学的文章指導の目標と内容について、教科書の該当箇所を読み、内容を把握しておくこと(2 時間)		教科書の該当箇所を読んで要点をまとめること。(2 時間)	
9	「読むこと」の指導（2）－詩の教材分析〔グループ・ディスカッション〕			教科書の該当箇所を読んで内容を整理し、事前に配布した教材を読んでおくこと(2 時間)		取り上げた教材を分析・解釈し、自分の考えをまとめること(2 時間)	

10	「読むこと」の指導（3）一物語の教材分析 〔グループ・ディスカッション〕	教科書の該当箇所及び事前に配布された教材を読んでおくこと (2時間)	取り上げた教材を分析・解釈し、自分の考えをまとめること (2時間)		
11	学習指導案作成の方法	予習として教科書の該当箇所を読み、学習指導案作成の意義や様式について理解しておくこと (2時間)	教科書の該当箇所及び配布した資料を復習し、図書やインターネット上の学習指導案を閲覧し、具体的な授業構想のイメージをつかむこと (2時間)		
12	模擬授業のための学習指導案作成	教科書及び配布した資料の学習指導案の書式例を参考に、それぞれの項目の記述内容をまとめておくこと (2時間)	取り上げた文学的文章の教材研究を進め、学習指導案を作成しておくこと (2時間)		
13	模擬授業の実施と相互検討（1） 〔プレゼンテーション〕	模擬授業で取り上げる学習場面の展開を再確認し、必要な準備物を用意しておくこと (2時間)	模擬授業の取組を振り返り、改善点を整理するとともに、学習指導の在り方についてまとめること (2時間)		
14	模擬授業の実施と相互検討（2） 〔プレゼンテーション〕	模擬授業で取り上げる学習場面の展開を再確認し、必要な準備物を用意しておくこと (2時間)	模擬授業を振り返り、改善点を整理するとともに、学習指導の在り方についてまとめること (2時間)		
15	振り返りとまとめ	模擬授業を振り返り、改善点や今後の課題を明確にしておくこと (2時間)	国語科教育法の学習成果を整理し、今後の課題についてまとめること (2時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	新たな時代の学びを創る 小学校国語科教育研究	全国大学国語教育学会編	東洋館出版社	9784491037660	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編	文部科学省	東洋館出版社	9784491034621	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	課題の提出、受講姿勢		40%	教材分析・解釈力を評価する。	
	授業内での討議（ディスカッション、プレゼンテーション）		30%	プレゼンテーション力、コミュニケーション力を評価する。	
学習指導案作成・模擬授業の成果と取り組み方		30%	教材の特質をふまえた指導案の作成、国語科指導の基礎的実践力を評価する。		
備 考	適宜、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション等の授業形態や内容を取り入れる。				
フィードバック	課題提出物やプレゼンテーションについては評価し、授業時に適宜コメントする。				

科目コード	62020	ナンバリング	CKAF105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	算数科教育法 1-地小						
科目英語名	Teaching Methodology onArithmetic 1-地小						
担当教員	樹下 堅						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 小学校算数科の「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の各領域の学習内容及び指導方法について、教員と学生あるいは学生同士による対話や議論など能動的、構成的、協同的な活動を通して理解を深める。 2. ICT 機器の効果的な活用方法を学ぶとともにプログラミング教育について理解する。						
学修成果到達目標	1. 小学校算数科における育成すべき資質・能力について理解することができる。 2. 小学校算数科の問題解決型の学習指導について理解することができる。 3. 中学校の数学の学習内容と関連付けて小学校算数科の各領域の学習内容について考察ができる。 4. 指導案作成、ICT 機器を活用した模擬授業を行うことを通して、実践力を身に付けることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 問題解決型の学習指導とストラテジー			問題解決型学習について調べておく(2 時間)		ストラテジーについてまとめる(2 時間)	
2	子どもを理解する &～ロイロノートを使った授業ビデオから学ぶ～			算数科において育成すべき資質・能力についてまとめておく(2 時間)		育成すべき資質・能力及び ICT 活用のよさの観点で本時の授業をまとめる(2 時間)	
3	問題解決型学習とその先にあるもの			問題解決型の授業の課題点を考える(2 時間)		問題解決型授業の先にあるものを考察する(2 時間)	
4	板書からみる授業改善(低学年) ～before & after～			学習指導要領解説算数編を読んで、授業改善についてまとめておく(2 時間)		提示された before&after の課題を行う(2 時間)	
5	板書からみる授業改善(高学年) ～before&after～			学習指導要領解説算数編を読んで、授業改善についてまとめておく(2 時間)		提示された before & after の課題を行う(2 時間)	
6	授業から学ぶ(3年あまりのあるわり算)～ICTで授業を活性化～			あまりのあるわり算の教科書を調べておく(2 時間)		授業の改善案を考える(2 時間)	
7	簡単な指導案を書く(2年大きな数)～ICT機器の活用を前提に～			事前配付資料(指導案例)を読んでおく(2 時間)		簡単な指導案をドキュメントで仕上げる(2 時間)	
8	詳細な指導案を書く(2年大きな数)～ICT機器の活用を前提に～			事前配付資料(詳細指導案例)を読んでおく(2 時間)		詳細な指導案を仕上げる(2年大きな数)	
9	プログラミング スクラッチ 基礎編 スクラッチを知る			プログラム言語スクラッチについて調べておく(2 時間)		自力でスクラッチのプログラムをかいてみる(2 時間)	
10	プログラミング スクラッチ 応用編 スクラッチを使う			前回のプログラムを振り返っておく(2 時間)		自力でスクラッチのプログラムをかいてみる(2 時間)	
11	プログラミング スクラッチ 活用編 図形を変形する			前回のプログラムを短くしてみる(2 時間)		形を変えたプログラムを作成する(2 時間)	
12	かけ算の単元を考察する 教材研究～ICT機器の活用を前提に～			2 年かけ算の教科書を読んでおく(2 時間)		教材研究を行い、模擬授業するところを決める(2 時間)	
13	かけ算の授業の指導案完成 模擬授業の準備 ICT 機器活用の準備			指導案の全体計画を作成しておく(2 時間)		模擬授業の準備を行う(2 時間)	
14	模擬授業の実施とその評価(グループ・ディスカッション)			模擬授業の準備(2 時間)		模擬授業を振り返り、学習指導案を改善する(2 時間)	
15	小・中・高等学校接続におけるデータ活用・情報教育の流れ(グループ・ディスカッション)			中学校、高等学校の学習指導要領数学科データ活用領域及び高等学校の学習指導要領情報(PDF)を読む(2 時間)		小・中・高等学校のデータ活用及び情報の接続についてまとめる(2 時間)	

試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	小学校学習指導要領解説算数編	文部科学省	東洋館出版	9784536590105	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料	国立教育政策研究所教育課程研究センター	東洋館出版	9784491041223	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	模擬授業		20%	授業展開力を評価	
	指導案		20%	構想力を評価	
	授業態度		20%	積極的な参加を評価	
	授業ごとの振り返り		20%	授業内容の理解を評価	
	筆記試験		20%	理解力を評価	
備考					
フィードバック	毎時間の振り返りシートにコメントを記述し、次回授業に返却する。 指導案、模擬授業については授業中にフィードバックを行う。				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、小学校算数科の指導方法について動画も使いながら指導する。				

科目コード	62040	ナンバリング	CKAF110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	生活科教育法 1-地小						
科目英語名	Teaching Methodology onLife Environment Studies 1-地小						
担当教員	前迫 ゆり						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	生活科の開設の背景や現在の位置づけ、課題について知り、学習指導要領における目標や内容等の基礎的知識について学ぶ。幼児期から学童期への子どもの発達や地域の環境を踏まえた教材開発や指導と評価の計画、学習指導案の書き方を、模擬授業を中心に実践し、身に付ける。常に授業実践に関心を持ち、授業改善を意識できるようにする。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 生活科の基本的な考え方、生活科の目標や内容を踏まえて、授業構想、評価などを行うことができる。 幼児期、小学校1、2年生の発達を理解し、授業を計画する際の留意点について説明でき、学習指導案作成に生かすことができる。 学習指導案に基づいて模擬授業を行い、意見交換と授業分析によって、授業改善を行うことができる。また、幼児教育と小学校教育との接続について理解し、新しい考えを取り入れ、内容を発展させることができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	生活科の歴史と位置づけ			参考書などで生活科の導入のきっかけについて調べる(2時間)		生活科が導入された理由とその後の問題点や課題についてノートにまとめる(2時間)	
2	生活科の目標、内容、全体構造			生活科の目標、内容、全体構造について予め目を通し、特徴について気づいた点を列挙する(1時間)		生活科の目標、内容、全体構造について自分なりに模式図等を使ってわかりやすくノートにまとめる(3時間)	
3	幼児教育から小学校教育への接続			幼児教育と小学校教育のそれぞれの特徴について自分なりの考えを整理しておく(1時間)		幼小の接続において生活科が果たす役割について、特徴や工夫を列挙してノートにまとめる(3時間)	
4	子ども理解と教材研究（情報機器と教材の活用）			幼児期から学童期にかけての子どもの発達の様子について整理しておく(1時間)		子どもの発達と思考の特徴に応じた教材にできる工夫について具体的に例を挙げてノートにまとめる(3時間)	
5	教材研究 学校探検・まち探検			身近な小学校やまちについて調べておく(2時間)		探検の方法について授業で検討した結果を踏まえて、具体的な発問や授業の流れについて考えをまとめる(2時間)	
6	教材研究 動くおもちゃを作ろう			小学校入学までに子どもがおもちゃを作って遊ぶ経験について調べておく(1時間)		生活科と理科における動くおもちゃの捉え方の違いについてノートに整理する(3時間)	
7	教材研究 秋をみつけよう			秋を感じさせる事柄をいくつか挙げ、その事柄について調べておく(1時間)		活動の特徴、留意事項についてノートにまとめる(3時間)	
8	教材研究 動植物を育てよう			動植物を育てる活動にどのようなものがあるか思い出し、時期や内容について具体的に列挙しておく(1時間)		活動の特徴、留意事項についてノートにまとめる(3時間)	
9	教材研究私のまち			生活科の目標や内容における活動の位置づけについて考えておく(1時間)		活動の特徴、留意事項についてノートにまとめる(3時間)	

10	指導と評価の計画の立て方	教科書に例として挙げられた指導計画で気づいた点を列挙しておく(1時間)	指導計画で留意すべき点、生活科の特徴を踏まえた工夫についてノートに整理する(3時間)		
11	学習指導案の作成	参考書やWeb上で生活科の学習指導案をいくつか検索しておく(1時間)	模擬授業用の指導案を作成する(3時間)		
12	模擬授業	模擬授業のシミュレーションを行う(1時間)	模擬授業のふりかえりを行い、ノートに整理する(3時間)		
13	模擬授業のふりかえり	学習指導案を修正する(1時間)	他学生の模擬授業、ふりかえりの内容を整理し、生活科の授業の特徴と関連付けてノートに記録する(3時間)		
14	生活科の評価の視点	生活科の評価の視点について教科書を事前に読んでおく(1時間)	模擬授業で取り上げた活動の評価の視点について整理してノートに記録する(3時間)		
15	生活科の課題と今後の展望 レポート試験	生活科の最新の課題について教科書や実践記録などから調べしておく(2時間)	生活科の課題を踏まえて今後の展望について考え、レポートを作成する(2時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	小学校学習指導要領	文部科学省	東洋館出版	9784491034607	
	小学校学習指導要領解説 生活偏	文部科学省	東洋館	9784491034645	
参考書	「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 生活	国立教育政策研究所教育課程研究センター	東洋館	9784491041247	
	生活科教育の理論と方法 新訂	中野重人	東洋館出版	9784491009063	
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業態度	30%			
	授業内課題	30%			
	学習指導案	20%			
備考	模擬授業	20%			
	参考資料は適宜配布する。				
フィードバック	授業時に適宜コメントする。				

科目コード	62050	ナンバリング	CKAF115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	音楽科教育法 1-地小						
科目英語名	Teaching Methodology on Music 1-地小						
担当教員	村上 優						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 学習指導要領音楽科についての教育目標・指導内容をふまえ、学習指導案の構想と評価方法を学ぶ。 2. 模擬授業を実施し、ディスカッションによる振り返りを通して授業改善の視点を学ぶ。						
学修成果到達目標	小学校音楽科の教育目標・指導内容を理解し、各学年にふさわしい授業設計と評価ができる。 ICT を効果的に活用することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	小学校音楽科の目標と指導内容～学習指導要領について～	「初等科音楽教育法」p.3～26、別冊の p.5～12 を予習する (2.75 時間)		学習指導要領の内容をふまえて、学習指導案の枠組みを考える (1.25 時間)			
2	小学校音楽科の評価	「初等科音楽教育法」p.16～26 を再読し、p.27～35 を予習する (2.75 時間)		指導計画や選択した教材の内容から、学習指導案を構想する (1.25 時間)			
3	学習指導案の作成ー授業設計と学習評価ー	「初等科音楽教育法」p.27～35 を再読し、p.36～42 を予習する (2 時間)		学習指導案の原案を作成する (2 時間)			
4	模擬授業とディスカッション (1) 歌唱の指導	歌唱共通教材の学習指導案を作成する。「初等科音楽教育法」p.48～60 を予習する (3 時間)		模擬授業とディスカッションを振り返り、考察を行う (1 時間)			
5	模擬授業とディスカッション (2) 器楽の指導	器楽の学習指導案を作成する。「初等科音楽教育法」p.61～82 を予習する (3 時間)		模擬授業とディスカッションを振り返り、考察を行う (1 時間)			
6	模擬授業とディスカッション (3) 音楽づくりの指導	音楽づくりの学習指導案を作成する。「初等科音楽教育法」p.83～92 を予習する (3 時間)		模擬授業とディスカッションを振り返り、考察を行う (1 時間)			
7	模擬授業とディスカッション (4) 鑑賞の指導	鑑賞の指導の学習指導案を作成する。「初等科音楽教育法」p.93～106 を予習する (3 時間)		模擬授業とディスカッションを振り返り、考察を行う (1 時間)			
8	音楽科における ICT の活用	音楽科における ICT 教育について調べる (3 時間)		第 1 回～第 8 回の学修内容を振り返り、復習を行う (1 時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	最新初等科音楽教育法:2017 年告示「小学校学習指導要領」準拠 小学校教員養成課程用 (改訂版)	初等科音楽教育研究会 編	音楽之友社	9784276821026			
	小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 音楽編	文部科学省	文部科学省				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	受講態度	40%					
	指導案	30%					

	模擬授業	30%	
備考	本科目と併せ、歌唱共通教材の演奏技術学修のために「器楽演習Ⅱ」を履修すること。 「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編」をダウンロードしておくこと。		
フィード バック	適宜コメントを行う		

科目コード	62060	ナンバリング	CKAF120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期	
科目名	図工科教育法 1-地小							
科目英語名	Teaching Methodology onArts and Crafts 1-地小							
担当教員	生駒 英法							
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目							
学修内容	図画工作科教育の内容、小学校における子どもの造形活動の内容と教育方法を研究しながら、授業づくりの発想と実践力を培う。							
学修成果到達目標	1. 小学校図画工作科における学習目標・評価の観点について理解できるようになる。 2. 小学校図画工作科の単元を理解し、学習指導計画を作成できるようになる。 3. 小学校図画工作科で用いる材料・用具について基礎的な扱い方を理解できるようになる。 4. 情報機器を用いた図画工作の題材について理解できるようになる。							
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間			
1	オリエンテーション（授業の進め方、実技課題の進め方、準備物の指示）図画工作科における学習目標・評価の観点		学習指導要領解説書 p.9～15 における「図工科の目標」を読み、理解するための予習（1 時間）		学習指導要領の「図工科の内容の構成」を復習する（1 時間）			
2	様々な表現方法から作品づくり		基本画材、その扱いや表現方法について、学習指導要領の内容と関わることを予習（1 時間）		講義で学んだ表現方法の特徴を復習する（1 時間）			
3	多様な材料を使った立体作品		身近な様々な素材を収集し、教材開発をする（1 時間）		立体作品の鑑賞で学んだことを整理（1 時間）			
4	模擬授業準備① 題材名の確認（ICT を活用した題材を使用）		教科書から題材を予習（1 時間）		教科書で選択した題材について調べる（1 時間）			
5	模擬授業準備② 題材目標、題材観について		題材目標について調べておく（2 時間）		題材目標について再度確認しておく（2 時間）			
6	模擬授業準備③ 題材の評価基準について		様々な図工科学習指導案と実践例を収集し、低・中・高学年別に特徴を予習（2 時間）		教科書教材や研究校の教材開発の実践例を知り、模擬授業の題材づくりと指導案作成に向けての準備（2 時間）			
7	模擬授業① 材料・用具、題材		模擬授業実施の指導案・材料・試作品等の準備（2 時間）		模擬授業記録、問題や課題を整理（2 時間）			
8	模擬授業② 声だし、板書、ロール・プレイング、相互評価		模擬授業実施の指導案・材料・試作品等の準備（2 時間）		模擬授業記録、問題や課題を整理（2 時間）			
試験								
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	小学校学習指導要領（平成 29 年告示） 解説 図画工作編		文部科学省		日本文教出版株式会社		9784536590112	
参考書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合		評価基準など			
	授業への取組		40%					
	模擬授業での活動内容		40%					
	レポート		20%					

備考	
フィード バック	授業の中で適時、質問に答える。

科目コード	63005	ナンバリング	CAC235	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	保育内容総論						
科目英語名	Contents of Nurture and Education						
担当教員	福鹿 慶子						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども保育コース） 幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 保育の現状、子ども理解を重ね、保育を総合的に捉えて保育内容を総論として理解する重要性を学ぶ。 2. 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領にある保育基本を理解し、保育内容を子どもの「育ち」や「学び」の視点で総論として捉える。 3. 保育実践を支える理解と方法を保育内容から学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 保育の基本を保育内容との関係性の中で理解し、保育計画の中に反映することができる。 2. 保育内容を総論として捉える必要性を理解し、実地実習や事例学修の中にある保育内容から具体的に自分の言葉で理解したことを語ることができる。 3. 一人一人の子どもの人格を尊重する意識をもったうえで、保育実践の中にある子どもの育ちや学びを保育内容から理解することができる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	保育内容総論とは 保育所保育指針に基づく保育の全体構造		保育所保育指針解説 第1章総則 保育所保育に関する基本原則・教科書を熟読 (2時間)		授業内容をまとめる(2時間)		
2	保育所保育指針に基づく保育内容の理解(1) 養護		保育所保育指針解説 第1章総則 2 養護に関する基礎的事項並びに教科書を熟読(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
3	保育所保育指針に基づく保育内容の理解(2) 教育		乳幼児にかかわるねらい及び内容 1 歳以上 3 歳未満児の保育に関するねらい及び内容 3 歳以上児のねらい及び内容について調べまとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
4	保育内容の歴史の変遷とその社会的背景		教科書の該当範囲を読み、「幼稚園と保育所の関係について」まとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
5	子どもの発達や生活に即した保育内容の基本的な考え方 (ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介) 1. 発達の特徴と保育内容 2. 各年齢期における発達の姿と保育のねらい・内容		教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
6	養護と教育が一体的に展開される保育 1. 乳児期における養護にむく教育とは 2. 幼児期における養護と教育とは 3. 小学校との接続を考える (グループ討議を含む)		教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
7	子どもの主体性を尊重する保育 (ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介) 1. 主体的の活動するとは 2. 子ども自身が選び、つり出す遊びや生活		教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
8	環境を通しておこなう保育 1. 環境を通して行う保育とは 2. 保育の環境と保育者の役割 (グループ討議含む)		教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
9	生活や遊びによる総合的な保育 1. 乳幼児期の学びとしての遊び 2. 乳幼児期の遊びの特徴 (ICT を活用した動画コンテンツを活用)		教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)		本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		

10	個と集団を踏まえた保育 1. 個と集団の発達 2. 発達の過程と保育内容	教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)	本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
11	家庭と地域等との連携を踏まえた保育	教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)	本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
12	小学校との連携・接続を踏まえた保育 (ICTを活用した動画コンテンツを活用)	教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)	本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
13	長時間の保育 1. 現在保保育の現状について	教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)	本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
14	特別な配慮を要する子どもの保育 3. 保育所・幼稚園・小学校との連携について	教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)	本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
15	多文化共生の保育 1. 保育における多文化共生	教科書の当該事例について考察し、課題をまとめる(2時間)	本日の授業内容の要点をまとめる(2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(新・基本保育シリーズ14) 保育内容総論	石川昭義・松川恵子	中央法規出版	9784805857946	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館		
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館		
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	文部科学省・厚生労働省・内閣府	フレーベル館		
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	定期テスト	70%	授業理解		
	授業内課題	20%	振り返りシート・レポート等		
	授業態度	10%	積極性・出席		
備考					
フィードバック	課題については授業内で適宜コメントをする classroom に授業資料・課題を配信する				

科目コード	63015a	ナンバリング	CAC125	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと健康 I 1-地						
科目英語名							
担当教員	山崎 雅史						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	健康な心と身体を育て、子どもたち自らが健康で安全な生活をつくり出すことができるように、子どもの健康につながる基本的な生活習慣に関する知識と指導・援助方法を学ぶことを目的とする。また、心身の健康を促す運動とあそび、心身や健康や成長・発達に関する環境適用との関連性等についても学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 乳幼児期の身体の発達と生活習慣の形成及び運動発達の特徴と身体活動の在り方を説明できる。 2. 子どもの健やかな精神と身体を育てるための「健康」で「安全」な生活を説明できる。 3. 乳幼児にとっての健康の意味と乳幼児期の健康課題を説明できる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	ガイダンス（学修内容、到達目標、成績評価など）、乳幼児期の健康な生活とは		乳幼児の健康な生活とは何かについて考えておく(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
2	「健康」とは、乳幼児期の健康の意義		「健康」の定義について調べて理解しておく(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
3	0-2歳の身体と生活①（身体の発達と生活習慣）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
4	0-2歳の身体と生活②（生活リズムと身辺自立）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
5	3-5歳の身体と生活①（身体の発達と生活習慣）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
6	3-5歳の身体と生活②（生活リズムと運動）（協同学習）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
7	乳幼児期の運動発達と身体活動の在り方		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
8	健康教材①（健康教材の作成）		前の授業で指定するテーマの教材について調べておく(0.5時間)		作成した健康教材の教育的価値について振り返る(0.5時間)		
9	健康教材2（健康教材の発表とICT機器を活用した振り返り）		作成した健康教材の発表準備をしておく(0.5時間)		健康教材の教育的価値について考える(0.5時間)		
10	子どもの健康と遊び①（発達にそった遊びと遊具、安全管理）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
11	子どもの健康と遊び②（こどもの怪我の特徴、安全教育）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
12	食育（食べる楽しみとは）		前の授業で指定する範囲のテキストを読み、理解しておくこと(0.5時間)		授業内容を復習する(0.5時間)		
13	子どもの健康に関わる課題1（健康課題発表の準備）（グループワーク）		前の授業で指定する健康課題について調べておく(0.5時間)		健康課題の発表資料を作成しておく(0.5時間)		
14	子どもの健康に関わる課題②（健康課題の発表）（グループワーク）		健康課題の発表準備をしておく(0.5時間)		自他グループの発表内容を復習する(0.5時間)		
15	健康のまとめ（子どもの健康に関わる総合考察）		既習範囲を復習しておく(0.5時間)		これまでの講義内容を総復		

		間)		習する(0.5 時間)	
試 験	筆記試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	演習 保育内容「健康」: 基礎的事項の理解と指導法	河邊貴子, 吉田伊津美	建帛社	9784767950990	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	幼稚園教育要領 解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475	
	保育所保育指針 解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		60%	学修成果・到達目標をもとに評価する	
	課題・提出物		40%	学修成果・到達目標をもとに評価する	
備 考	課題内容の提示、提出及びフィードバックはインターネットを介して行う				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は評価・採点後にインターネットを介してフィードバックする。 ・定期試験の成績発表後、申し出た学生に対して答案の閲覧を認める。 				

科目 コード	63025a	ナンバリング	CAC130	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと人間関係 I 1-地						
科目英語名							
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教諭免許状取得のための必修科目						
学修内容	幼児教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解し、幼児が他の人々と親しみ、支えあって生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養えることができるよう、幼児の発達に即した援助や保育を展開することのできる力を身につける。また、視聴覚教材（DVD）を用いて幼児の姿を保育者の視点から観察できるようにする。						
学修成果到達目標	1. 領域「人間関係」のねらい及び内容ならびに全体構造を理解している。 2. 集団生活を通して様々な人と関わる経験の必要性和、小学校以降の生活とのつながりについて理解している。 3. 領域「人間関係」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組みことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 幼児教育の効果と社会情動的スキルについて理解する	OECD での社会情動的スキル育成の動向を調べる(0.5 時間)		幼児期における社会情動的・認知的スキルがその後の発達に与える影響についてまとめる(0.5 時間)			
2	領域「人間関係」におけるねらいと内容 遊びのなかでの主体としてのこどもを育てる	「人間関係」のねらい、内容を読む(0.5 時間)		1 歳以上 3 歳児未満のねらい及び内容と、3 歳児以上のねらい及び内容を復習する(0.5 時間)			
3	社会情動的スキルと領域「人間関係」について 現代社会の中から考える	子どもを取り巻く現状について調べる(0.5 時間)		子どもを取り巻く人間関係について復習する(0.5 時間)			
4	身近な人のかかわりのなかで育つ 1. 愛着関係の形成について	乳幼児の人と関わる力に関する発達過程について調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
5	身近な人のかかわりのなかで育つ 2. 自己の育ちについて	自我の形成について調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
6	仲間との関わりの中で育つ 1. 自己発揮と自己抑制のバランスについて	自己発揮と自己抑制について調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
7	仲間との関わりの中で育つ 2. 道徳性、規範意識の芽生えについて	道徳性、規範意識について調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
8	仲間との関わりの中で育つ 3. 小学校との接続に向けて育むべきこどもの力について	小学校との接続に向けての課題について考える(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
9	地域の実態と保育親子の戸惑いを支える視点から取り組む	地域で見られる現代親子の姿を調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
10	保育実践から見えた「7つの折り合う姿」の発達と保育者の援助 1. 保育者と折り合う姿 2. 子どもと保育者と共に折り合う姿	2 歳児の保育事例について調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
11	保育実践から見えた「7つの折り合う姿」の発達と保育者の援助 3. 遊びを共有した友だちとの関わりから	2 歳児の保育事例について調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
12	保育実践から見えた「7つの折り合う姿」の発達と保育者の援助 4. 大好きな友だちと遊びを続けるために折り合いをつける	友だちとの「いざこざ」の事例を調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			
13	保育実践から見えた「7つの折り合う姿」の発達と保育者の援助	4 歳児の保育事例を調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)			

	5. 広がる人間関係の中で自分自身と折り合いをつける				
14	保育実践から見えた「7つの折り合う姿」の発達と保育者の援助 6. 保育者に支えられながら友だちと折り合いをつける	5 歳児の保育事例を調べる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)	
15	保育実践から見えた「7つの折り合う姿」の発達と保育者の援助 7. みんなの中で折り合う <全体のまとめ>	今までの授業を通して質問や疑問をまとめる(0.5 時間)		授業内容をまとめる(0.5 時間)	
試 験	筆記試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	社会情動的スキルを育む「保育内容人間関係」：実践事例から学ぶ保育内容：乳幼児期から小学校へつなぐ非認知能力とは	無藤隆・古賀松香	北大路書房	9784762829383	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	保 育 所 保 育 指 針 幼 稚 園 教 育 要 領 幼 保 連 携 型 認 定 こ ど も 園 教 育 ・ 保 育 要 領 解 説 と ポ イ ン ト	汐見稔幸・無藤隆	ミネルヴァ書房	9784623080984	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業参加態度		20%	積極性・発表力・コミュニケーション能力を総合的に評価する	
	小テスト		40%	授業内容を理解しているか評価する	
	定期テスト		40%	授業内容を理解しているか評価する	
備 考					
フィード バック	授業中に適宜コメントする				

科目 コード	63035a	ナンバリング	CAC115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと環境 I 1-地						
科目英語名							
担当教員	吉田 香代子						
資格・免許 との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 教育・保育における環境について理解する。 2. 子どもの育ちと環境との関わりについて学ぶ。 3. 保育者の柔軟で適切な援助の在り方を知る。						
学修成果 到達目標	1. 教育・保育における環境について説明できる。 2. 子どもの育ちと環境との関わりや子どもの育ちを説明できる。 3. 保育者の柔軟で適切な援助の在り方を考えることができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	保育と「環境」 教育保育に於いての環境とは何かを理解し、環境と子どもとの関わりをを理解する			教科書の第 1 章、幼稚園教育要領解説の第 1 章を読む(0.5 時間)		授業内容の要約を作成する(0.5 時間)	
2	生きる力の基礎を育むための学びとしての領域「環境」の意義を理解し、ねらいと内容を理解する			授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読む 幼稚園教育要領解説「環境」を予習する(1 時間)		授業内容の要約を作成する(0.5 時間)	
3	こどもの育ちと領域「環境」について理解する 乳児保育における発達に応じた保育環境 (グループ討議)			0 歳児～5 歳児の発達について調べる 保育所保育指針解説(乳幼児保育に関わるねらい及び内容)を予習する(1 時間)		授業内容の要約を作成する(0.5 時間)	
4	こどもの育ちと療育「環境」について理解する 幼児の発達に応じた保育環境 (グループ討議)			幼稚園教育要領第 1 章 総則を読む(0.5 時間)		本日の授業の要点をまとめる(0.5 時間)	
5	子どもを取り巻く人的環境 (グループ討議)			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」ねらいと内容を予習する(0.5 時間)		授業の要点をまとめる(0.5 時間)	
6	子どもを取り巻く物的環境 (1) 遊びにおける物 (協働学習)			教科書の該当範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」ねらいと内容を予習する(1 時間)		要点をまとめ課題を行う(1 時間)	
7	子どもを取り巻く物的環境 (2) 数量や図形			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」ねらいと内容を予習する(1 時間)		授業の要点をまとめる(1 時間)	
8	子どもを取り巻く社会的環境			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」ねらいと内容を予習する(1 時間)		授業の要点をまとめる(1 時間)	
9	子どもを取り巻く自然環境(1) 学内での自然物を採取・観察を行う (協働学習)			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」ねらいと内容を予習する(1 時間)		授業の要点をまとめる(1 時間)	
10	子どもを取り巻く自然環境(2) 自然環境とかわった活動の指導案を作成する			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」ねらいと内容を予習する(1 時間)		授業の要点をまとめる。授業内の課題を行う(1 時間)	
11	自立心、好奇心、探究心を育む環境の在り方について理解し、保育の改善点を身に付ける			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」内容の取扱いを予習する(1 時間)		授業の要点をまとめる(1 時間)	
12	子どもの生きる力を育てる環境			教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」内容の取扱いを予習する(1 時間)		授業内容の要点をまとめる(1 時間)	

13	子どもを守り育てる環境	教科書範囲・幼稚園教育要領解説の「環境」内容の取扱いを予習する(1時間)	授業内容の要点をまとめる(0.5時間)		
14	気になる子どもと環境	教科書範囲を予習する(1時間)	授業内容の要点をまとめる(1時間)		
15	環境を通じた教育・保育の現在の課題	教科書範囲を予習する(1時間)	授業の要点をまとめる(1時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育内「環境」	酒井幸子・守巧	萌文書林	9784893472366	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館		
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期テスト		60%	授業内容理解	
	授業内課題		30%	授業内レポート	
	平常点		10%	授業態度・課題提出状況を含む	
備考					
フィードバック					

科目コード	63045a	ナンバリング	CAC105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと言葉 I 1-地						
科目英語名							
担当教員	屋木 瑞穂						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	保育内容領域「言葉」では、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞くとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目標とする。この授業では、保育現場実践に役立つための基礎的な知見と、それらをふまえた実践方法を学ぶために、子どもの言葉の発達過程をふまえた保育者の言葉かけや援助のあり方、絵本・紙芝居などの児童文化財の活用方法などについて探究する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」のねらいと内容について理解し、説明できる。 2. 子どもの言葉の発達過程をふまえた言葉かけや援助のあり方を理解し、説明できる。 3. 児童文化財の意義や活用方法について理解し、子どもの言葉の感覚を豊かにする指導案の作成と模擬保育ができる。 4. 子どもを取り巻く言語環境の変化が言葉の発達にどのような影響を与えているのか、子どもの言葉に関わる今日的な課題について理解し、説明できる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション】 授業計画、評価方法・基準の説明、履修上の諸注意について説明、保育内容 5 領域における「領域」の考え方と、「言葉」の位置づけについて概説する。			シラバスを確認して、講義の目標・全体計画を把握し、教科書に目を通しておくこと(1 時間)		指定テキスト第 1 章を読み、領域「言葉」とは何かについてノート整理する(2 時間)	
2	【領域「言葉」のねらいと内容】 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「言葉」のねらいと内容の理解、領域「言葉」と小学校の教科「国語」との接続について概説する。			指定テキスト第 1 章を読み、知識・疑問点を整理しておくこと(1 時間)		講義内容を復習し、ノート整理する(2 時間)	
3	【子どもの発達と言葉についての基礎知識（前言語期）】 三項関係と愛着形成、クーイング、喃語、初語の発生までの身体発達にともなう発声・コミュニケーションについての基礎理論を修得する。			指定テキスト第 3 章を読み、知識・疑問点を整理しておくこと(1 時間)		講義内容を復習し、ノート整理する(2 時間)	
4	【子どもの発達と言葉についての基礎知識（発語期）】 指さし、1 語文から 2 語文、語彙の獲得と認知の発達、1 歳から 3 歳頃の言語発達についての基礎理論を修得する。			指定テキスト第 2 章の該当箇所を読み、知識・疑問点を整理しておくこと(2 時間)		講義内容を復習し、ノート整理する(2 時間)	
5	【子どもの発達と言葉についての基礎知識（幼児期）】 2 語文から多語文、語彙の増大と話し言葉の獲得、思考力・想像力の発達、3 歳から 5 歳頃までの言語発達についての基礎理論を習得する。			指定テキスト第 2 章の該当箇所を読み、知識・疑問点を整理しておくこと(1 時間)		講義内容を復習し、ノート整理する(2 時間)	
6	【言葉の発達と児童文化財・言葉遊び】 領域「言葉」に関連する児童文化財の概要と意義について理解する。 ICT を用いた実践事例の検討			指定テキスト第 6 章を読み、「児童文化財」「言葉遊び」について下調べしておくこと(2 時間)		講義内容を復習し、ノート整理する(2 時間)	
7	【言葉を育てる児童文化財の活用ー昔話絵本の選書ー】(グループ・ワーク)			様々な昔話絵本を比較し、子どもの発達に応じた絵本を選ぶ(2 時間)		講義内容を復習し、ノート整理する(2 時間)	
8	【言葉を育てる児童文化財の活用ー紙芝居の特徴、絵本との比較ー】 (ICT を用いた実践事例の検討)			指定テキスト第 6 章の該当箇所を読み、「紙芝居」の特徴について下調べしておくこと(1 時間)		紙芝居に関する知識・技能を整理し、読み方を考える(2 時間)	
9	【言葉を育てる児童文化財の活用ー紙芝居づくりー】 (グループ・ワーク)			物語を読み、紙芝居化について考える(2 時間)		グループ内で分担して紙芝居を作成する(2 時間)	

10	【言葉育てる児童文化財の活用ー紙芝居の読み聞かせー】(グループワーク、発表)	作成した紙芝居の発表の準備をする(2時間)	紙芝居の実践を通じて学んだ内容を整理する(2時間)		
11	【言葉遊び・絵本の読み聞かせの指導案の作成】	指定テキスト第6章の該当箇所を読み、言葉遊び・絵本の読み聞かせによって育つ言葉の力について考え、ノート整理する	言葉遊びと絵本の読み聞かせについての指導案を作成する(2時間)		
12	【言葉遊び・絵本の読み聞かせの模擬保育】(グループワーク、発表)	模擬保育形式での実践に向けて準備する(2時間)	模擬保育形式での実践を振り返り、学んだことや今後の課題について整理する(2時間)		
13	【言葉に関して配慮を必要とする子どもへの支援】	指定テキスト第7章を読み、自分の考え・疑問点を整理しておくこと(1時間)	講義内容を復習し、ノート整理する(2時間)		
14	【現代社会と言葉ー子どもを取り巻く言語環境ー】	指定テキスト第8章を読み、自分の考え・疑問点を整理しておくこと(2時間)	講義内容を復習し、ノート整理する(2時間)		
15	【まとめと振り返り】	これまでの講義の内容を総復習する(2時間)	これまでの講義ノートを整理し、最終レポートを作成する(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育内容「言葉」指導法	馬見塚昭久、小倉直子	ミネルヴァ書房	9784623082506	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育所保育指針		フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領		フレーベル館	9784577814222	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領		フレーベル館	9784577814246	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	振り返りの提出、受講姿勢		20%	授業内容を理解しているか評価する。	
	授業内での討議(発表、グループワーク)		30%	積極性やコミュニケーション能力を評価する。	
	模擬保育・指導案		30%	児童文化財の特徴について理解し、工夫して活用することができるか評価する。	
	期末レポート		20%	授業内容を理解し、学びを深めているか評価する。	
備考					
フィードバック	提出された課題は評価し、授業内で解説する。				

科目コード	63055a	ナンバリング	CAC120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと表現 I						
科目英語名							
担当教員	生駒 英法、村上 優、大石 祥寛						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許状取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	子どもの表現活動は日々の生活や遊びの空間の中で育まれる。感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにしていく。本科目では、幼児絵画の発達段階や絵画表現を学び作品製作等「表現」の領域についてその理論と実践、遊びの主体とそこから芽生える「表現」活動を「身体表現」活動を通して、子ども一人ひとりの特性を見極め、発達段階に応じ、「音楽表現」活動を踏まえ、統合的な表現指導技術を学ぶ。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの絵画表現等を学び、子どもの表現とは何かを理解する。 2. 作品製作のプロセスを通して、保育者として各年齢と発達にふさわしい内容と表現活動の方法を子どもに指導できるようになる。 3. 現場で使える教材・作品の作成及び実演をとおした表現活動ができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 履修説明、講義の目的、領域「表現」について説明			幼保連携型認定こども園、教育・保育要領における領域「表現」を読む(0.5 時間)		授業内容の復習(0.5 時間)	
2	子どもの絵画表現 幼児絵画の発達段階を理解し、幼児期の絵画技法を学ぶ			幼児期の発達過程を復習しておく(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
3	自然物を使って造形① 落ち葉を使って絵画製作			落ち葉の特徴や作品事例の予習(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
4	自然物を使って造形② 木の枝を使って製作			木の枝を使った製作内容を考える(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
5	自然物を使って造形③ まつぼっくりを用いて製作			まつぼっくりを用いた製作内容を考える(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
6	自然物を使って造形④ どんぐりを使った製作物の作成			どんぐりを使った製作物を考える(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
7	遊びを通した身体表現 身体を意識して使う遊びを学ぶ			身体を意識して使う遊びの内容を考える(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
8	踊る身体表現 子どもと見せる踊りの習得			ダンスパフォーマンスを創作する(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
9	フリする身体表現 1 ごっこ遊びの中での身体表現			ごっこ遊びの種類を考える(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
10	フリする身体表現② 劇に取り組む子どもの身体表現			劇遊びの内容を考える(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
11	子どもと音との出会い 日常生活で出会う音を楽しむ感性を磨く			日常生活で出会う音を探す(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
12	子どもと音楽の出会い 音やリズムの楽しさを学ぶ			日常生活で出会うリズムを探す(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
13	子どもと歌との出会い 歌う喜びを伝える技術の修得			子どもの好きな歌を調べる(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
14	表現の場としての行事 保育者の援助と音楽経験の教材研究			音楽経験の教材を調べる(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
15	遊びを劇的表現につなぐ 様々な保育表現方法への理解			表現遊びを調べる(0.5 時間)		授業内容のまとめ(0.5 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	幼稚園教育要領	文部科学省	株式会社フレーベル館	9784577814222	
	保育所保育指針	厚生労働省	株式会社フレーベル館	9784577814239	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館	9784577814246	
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	株式会社フレーベル館	9784577814475	
	保育所保育指針解説	厚生労働省	株式会社フレーベル館	9784577814482	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	内閣府・文部科学省・厚生労働省	株式会社フレーベル館	9784577814499	
	成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など
課題提出、発表		50%			
授業への取組、態度		30%			
レポート		20%			
備考					
フィードバック	授業時に適宜コメントする。				

科目コード	63061	ナンバリング	CAC230	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと健康 II (指導法)						
科目英語名							
担当教員	山崎 雅史						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	本科目では、「こどもと健康 I」(1 回生後期) 授業理解をさらに発展させて、実際の保育における子どもたちの健康の育成を援助でき、子どもたち自らが健康で安全な生活をつくり出すことができるように、子どもの健康につながる基本的な生活習慣に関する知識を理解し、指導・援助方法を実践できることを目的とする。子どもの実態や発達の段階に応じて、健康の観点から適切な保育実践ができることを最終目標とする。具体的には、領域「健康」における内容並びに全体構造を理解し、その実践や望ましい場面での設定などを心身の健康や成長・発達に併せて復習しながら、実践方法を具体的に学修する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児期の身体発達と生活習慣形成の過程を理解し、子どもの実態に応じた適切な保育補助について構想できる。 2. 子どもの健やかな精神と身体を育てるための「健康」で「安全」な生活を説明することができ、小学校での学習を見通した保育計画を立てることができる。 3. 幼稚園教育要領や保育所保育指針等の領域「健康」の内容について説明ができ、ICT 機器及び教材の活用法を理解したうえで状況に応じて具体的保育に生かすことができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション (学修内容、到達目標、成績評価)、乳幼児期の健康な生活の具体例			シラバス記載の学修内容、到達目標、成績評価、授業計画を読む (0.5 時間)		乳幼児にとって健康な生活とはどういう生活かについて考察する (0.5 時間)	
2	領域「健康」の内容理解、要領と指針の意義			前の授業で指定された範囲のテキストを読んで理解する (0.5 時間)		要領等をもとに、乳児、1 歳以上 3 歳未満児、3 歳以上児に対する援助と指導の在り方を再確認する (0.5 時間)	
3	0 - 2 歳の身体と生活①: こどもの発達と生活習慣の形成、保育者のかかわり (教材研究)			実習での経験を踏まえ、子どもの基本的な生活習慣の獲得を促す教材を準備する (0.5 時間)		授業内で提示された事例に対する保育のかかわりについて考える (0.5 時間)	
4	0 - 2 歳の身体と生活②: こどもの生活リズムと保育のかかわり (ICT を活用した具体的事例の提示)			実習園でのこどもの生活リズムを思い出し、整理する (0.5 時間)		授業内で提示された事例に対する保育のかかわりについて考える (0.5 時間)	
5	3 - 5 歳の身体と生活①: 生活習慣・安全についての指導 (ICT 等を活用した教材の発表)			生活習慣の獲得、災害時等の安全についての構えの獲得を促す教材を準備する (0.5 時間)		学友が紹介した教材について再確認する (0.5 時間)	
6	3 - 5 歳の身体と生活②: 生活リズムと運動の関係、運動環境の重要性			運動が生活リズムに与える影響について調べる (0.5 時間)		学修内容を再確認する (0.5 時間)	
7	指導案作成①: 0 - 2 歳の全身を使った身体活動			0 - 2 歳の身体活動について調べる (0.5 時間)		指導案をまとめる (0.5 時間)	
8	模擬保育①: 0 - 2 歳の全身を使った身体活動			用具準備など保育実践ができるように準備する (0.5 時間)		模擬保育の良かった点と改善点について省察する (0.5 時間)	
9	指導案作成 2: 3 - 5 歳の戸外での遊び			前回授業で決められた年齢期 (3 - 5 歳) の戸外遊びについて調べる (0.5 時間)		指導案をまとめる (0.5 時間)	
10	模擬保育②: 3 - 5 歳の戸外での遊び			用具、教材など保育実践ができるように準備する (0.5 時間)		模擬保育の良かった点と改善点について省察する (0.5 時間)	
11	多様な動きが経験できる運動プログラムの作成と評価 (グループワーク)			テキスト p.35 を参考にこどもの運動遊びを 2 つ以上考える (0.5 時間)		グループで計画した運動プログラムをまとめる (0.5 時間)	

12	多様な動きが経験できる運動プログラムの発表	発表の準備をする(0.5時間)	発表された運動プログラムについて再確認する(0.5時間)		
13	子どもの健康、安全に関わる課題と教材研究 (ICT 機器等を活用した教材)	子どもの健康または安全に関する課題について調べる(0.5時間)	学修内容を再確認する(0.5時間)		
14	模擬保育③: ICT 機器等を活用した健康、安全に関する模擬保育	模擬保育の準備をする(0.5時間)	模擬保育の良かった点と改善点について省察する(0.5時間)		
15	子どもの健康に関わる総合考察 (乳幼児期の健康で安全な生活、幼児期・児童期の学びの連続性)	これまでの学修内容と教材研究および模擬保育の振り返りを行う(0.5時間)	これまでの学修内容及び模擬保育を総復習する(0.5時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	演習 保育内容「健康」: 基礎的事項の理解と指導法	河邊貴子, 吉田伊津美	建帛社	9784767950990	「こどもと健康Ⅰ」で使用した教科書
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475	
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	内閣府, 文部科学省, 厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	教材作成・指導案		30%	作成した教材および指導案について到達目標に照らし合わせて評価する。	
	模擬保育と省察		30%	実践した模擬保育と振り返りの内容について到達目標に照らし合わせて評価する。	
	レポート試験		40%	到達目標に照らし合わせて評価する。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 模擬保育は saho navi を活用して相互評価を行います。 ・ 模擬保育①②の授業時は、運動ができる服装と体育館シューズを着用してください。 ・ 模擬保育①②の授業時は、当日の天候に応じて熱中症予防、防寒対策を各自してきてください。 				
フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導案は添削して返却する 				

科目 コード	63062	ナンバリング	CAC240	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもと人間関係Ⅱ（指導法）						
科目英語名							
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教員免許状取得のための必修科目						
学修内容	保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、幼児の姿と保育実践とを関連させて理解を深める。その上で、幼児の発達にふさわしい主体的、対話的で深い学びを実現する保育を具体的な構想し、実践する方法を身につける。						
学修成果到達目標	<p>1. 保育所保育指針・幼稚園教育要領に示された幼児教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解する。</p> <p>2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、療育「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につける。</p> <p>領域「人間関係」の特性及び幼児の体験との関係を考慮した教材の効果的な活用方法を理解し保育構想に活用することができる。また、情報機器について、幼児の体験との関連を考慮しながら活用するなど留意点を理解できる。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	<p>オリエンテーション</p> <p>保育所保育指針・幼稚園教育要領における領域「人間関係」の全体像をつかむ</p> <p>ーこれからの社会を生き抜く人を育てるために</p>			<p>保育所保育指針・幼稚園教育要領における領域「人間関係」を読む(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
2	<p>保育者との信頼関係と園生活における安定感を形成する援助の在り方</p> <p>ーここへの丁寧な関わりと集団保育の展開</p>			<p>幼児期に育みたい 10 の姿について復習する(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
3	<p>自立心を育む援助</p> <p>ー乳幼児の育ちの姿に沿った必要な援助と環境構成を考える</p> <p>(ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)</p>			<p>教科書の事例を読む(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
4	<p>友だちとのあそびを楽しむ中で多様な感情を経験し、自他の気持ちに気づく援助の在り方</p> <p>ーこどものいざこざと保育者の援助</p> <p>(ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)</p>			<p>教科書の事例を読む(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
5	<p>自他の気持ちの違いへの気づき、自分の気持ちを調整する力を育む援助の在り方</p> <p>ー折り合いがつかない事例を考える</p> <p>(ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)</p>			<p>教科書の事例を読む(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
6	<p>決まりをめぐる様々な幼児の葛藤と援助</p> <p>ー家庭生活・園生活・社会生活のきまりと幼児に経験させたい内容を考える</p> <p>(ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)</p>			<p>事前提示資料を予習する(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
7	<p>ルールのある遊びと援助</p> <p>ー葛藤しながら自分たちにとって意味のあるきまりを作る</p> <p>(ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)</p>			<p>事前提示資料を予習する(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
8	<p>子と集団の育ちを考える</p> <p>ー幼児同士の関わり愛を活かす間接的援助の在り方</p>			<p>教科書の事例を考察する(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
9	<p>協同的なあそびの中で育ち合う長期的な保育の展開を考えるー見通しや振り返りの工夫を意識して</p>			<p>教科書の事例を考察する(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
10	<p>幼児にとって意味のある行事のねらいと活動内容を考える。</p> <p>ー共同的な活動の 1 ヶ月の展開を考える</p>			<p>園生活におけ季節の行事を調べる (0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	
11	<p>幼小の交流活動を考える</p> <p>ー相互主体的で互恵的な活動の工夫と展開</p>			<p>事前配付資料の考察(0.5 時間)</p>		<p>授業のまとめ(0.5 時間)</p>	

12	小学校以降の生活や学習で活かされる力 ー「幼児期の終わりにまでに育てほしい姿」を軸に幼小接続期を考える	配布したアプローチカリキュラムについて考察する(0.5時間)	授業のまとめ(0.5時間)		
13	地域の中の保育所・幼稚園 ー様々な人との関わりにある特徴を捉えて、幼児期のけいけんさせた地域の人との関わりを考える	園との域連携できる施設を調べる(0.5時間)	授業のまとめ(0.5時間)		
14	多様な人、多様な子どもとの関わりの中で豊かに生きる子どもへ ー幼児の経験を育ちへ根付かせる長期的な計画と保育者の援助考える	教科書の事例を考察する(0.5時間)	授業のまとめ(0.5時間)		
15	領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題・まとめ	幼 j 期教育における現代的問題を調べる(0.5時間)	授業のまとめ(0.5時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育内容 人間関係	岩立京子・西坂小百合	光生館	9784332701859	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	社会情動的スキルを育む「保育内容 人間関係」	無藤隆・古賀松香	北大路書房	9784762829383	
	保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説とポイント	汐見稔幸・無藤隆	ミネルヴァ書房	9784623080984	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業への参加態度（グループ活動、発表）	20%	積極性と発表内容を評価する		
	課題・演習内容	40%	授業の理解度を評価する		
	最終レポート	40%	授業の理解度を評価する		
備考					
フィードバック	授業内で適宜コメントする				

科目コード	63063	ナンバリング	CAC200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こどもと環境Ⅱ（指導法）						
科目英語名							
担当教員	吉田 香代子						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許必修科目 保育士資格 必修科目						
学修内容	<p>1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された基本を踏まえ領域「環境」ねらい及び内容について理解する。保育所保育指針における乳児保育の3つの視点と、1歳以上3歳未満児の領域「環境」を通して捉え、子どもへの理解を深め、保育内容について具体的に理解する。</p> <p>2. 乳幼児の発達や学びの課程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定し保育を構想をする力を身に付ける。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 乳幼児保育における基本と、領域「環境」の内容並び全体構造を理解している。乳児における3つの視点と1歳以上3歳未満児の領域「環境」を通して捉え、子どもも理解を深め、保育内容について具体的に理解できる。</p> <p>2. 乳幼児の発達や学びの課程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定し保育を構想をすることができる。</p> <p>3. 領域「環境」の特性や乳幼児の体験と関連した教材の活用（情報機器を含む）を理解し、保育の構想をすることができる。</p>						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス及びこどもと環境について 本授業の進め方 保育における子どもの環境とは			教科書 第1章を熟読する(0.5時間)		授業内容についてまとめる(0.5時間)	
2	保育内容・療育「環境」について学ぶ 保育・幼稚園教育の基本 保育内容の全体構成と領域「環境」			幼稚園教育要領解説 第2章 3身近な環境との関わりに関する領域「環境」 保育所保育指針 第2章 乳児保育 ウ 精神的な発達に関する視点(身近なものとの関わり感性が育つ) ・1歳以上3歳未満児の保育領域「環境」を熟読する(1時間)		授業内容についてまとめる(0.5時間)	
3	保育内容・領域「環境」の展開について学ぶ 事例についてグループ討議を行う			幼稚園教育要領解説 第2章 3身近な環境との関わりに関する領域「環境」 保育所保育指針 第2章 乳児保育 ウ 精神的な発達に関する視点(身近なものとの関わり感性が育つ)・1歳以上3歳未満児の保育領域「環境」を熟読する(1時間)		授業についてまとめる(1時間)	
4	保育の過程について学ぶ 子ども理解・保育計画・指導計画・保育実践・評価と省察・改善について			保育計画について事前学修をする(0.5時間)・第1章 第4節指導計画の作成と幼児理解に基づいた評価を読む		授業の内容をまとめる(0.5時間)	
5	ものとの関わりについて			保育現場にある物との関わりについて調べる(0.5時間)		授業についてまとめる(0.5時間)	
6	自然と関わる実践 サツマイモを栽培する(協働学習)			サツマイモの栽培について調べる(1時間)		サツマイモの栽培についてドキュメンテーションを作成する(1時間)	
7	自然とのかかわり(1)(身近な自然物を活用した保育内容の構成) (グループ協働学習)			身近な事前と関わった遊びを調べる(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)	

8	自然とのかかわり（2）実践する	必要なもの、教材等を準備する(1時間)	レポートを作成する(1時間)		
9	数量・図形についてグループ協働学習)	子どもの身近にある図形について調べる(1時間)	授業内容をまとめる(1時間)		
10	自然と関わった遊びについて発表をする	発表内容をまとめる（1時間）	授業内容をまとめる(1時間)		
11	身近な情報とのかかわりの実践について遊びのドキュメンテーション（協働学習）	子どもの遊びについて調べる(1時間)	ドキュメンテーションを仕上げる(1時間)		
12	地域の文化・施設に関わった実践 地域の文化について調べる	地域の文化について調べる(1時間)	レポートをまとめる(1時間)		
13	行事の関わりの実践について	乳幼児について身近行事について調べる(1時間)	授業の内容についてまとめる(1時間)		
14	小学校との連携・接続について	接続期のカリキュラムについて調べる(1時間)	授業内容をまとめる(1時間)		
15	領域「環境」にかかる現在の課題についてと学修のまとめ	環境に関わった現在の課題について調べる(1時間)	授業の内容についてまとめる(1時間)		
試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	実践例から学びを深める環境指導法	小櫃智子	わかば社	9784907270339	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	日本版保育ドキュメンテーションのすすめ: 「子どもはかわいいだけじゃない!」をシェアする写真つき記録	大豆生田啓友・おおいだけいこ	小学館	9784091126061	
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館		
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館		
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	文部科学省・厚生労働省・内閣府	フレーベル館		
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	レポート試験	50%	正確に説明ができていますか		
	授業内でのグループワーク・討議	30%	リーダーシップ・コミュニケーション能力		
	授業態度	20%	授業参加態度・課題の提出		
備考					
フィードバック	課題については、授業内で適宜説明を行う Google Classroom で資料配信や質問を受ける				

科目コード	63064	ナンバリング	CAC205	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こどもと言葉Ⅱ（指導法）						
科目英語名							
担当教員	屋木 瑞穂						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>保育の基本と言葉の獲得に関する領域「言葉」では、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚 や言葉で表現する力を養う」ことを目的とする。そこで本講義では、以下4点についての講義（一部アクティブ・ラーニング）を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」教授方法の理解・修得：子どもに「言葉」を指導するためのカリキュラム（年間・学期・月・週・日単位）の作成、および教授方法の修得。 2. 絵本や紙芝居等の児童文化財を用いて実演し、活用方法について理解を深める。 3. 協同学習の理念と手法に基づいた話し合い活動（LTD：Learning Through Discusson）による模擬保育・授業づくりのための指導計画（指導案）の作成と口頭発表・相互評価。 4. ICT 通信環境（オンライン・オンデマンド・ハイブリット）および Google 各種ツールなどを活用した授業づくりスキルの修得。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 領域「言葉」カリキュラム編成上の系統性を理解し、実際に作成することができる。 2. 絵本、紙芝居等の児童文化財を用いて実演ができ、保育実践の構想に活かすことができる。 3. PDCA サイクル（計画作成・実践・評価・改善）に沿った保育内容領域「言葉」模擬保育指導計画づくりを通して、自分の保育実践スキル・内容の向上ができる。 4. ICT 通信環境（オンライン・オンデマンド・ハイブリット）および Google 各種ツールなどを活用した授業づくりができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション】 ・履修上の諸注意、評価方法および評価基準（基準・基準）の説明。 ・幼稚園教育要領解説編を基に、領域「言葉」の目的・ねらい・内容を確認する。			1) シラバスの確認(1 時間) 2) 幼稚園教育要領などを基に、1 年次既習内容について復習する(2 時間)		1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(0.5 時間) 2)授業内容をふまえ自分になりたい保育士・教員像をイメージする(2 時間)	
2	【保育の基本と言葉の獲得】 1) 領域「言葉」の目的・ねらいについて概説する。 2) 幼稚園・保育所・幼保連携型認定こども園における領域「言葉」の指導内容・保育者の役割について探究する。			指定テキスト第1章精読(1 時間)		本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
3	【乳児期の言葉の発達】 1) 言葉の発達の概念と理論、愛着形成から三項関係の形成に至る音声言語（クーイング、喃語、ジャーゴン）から初語の発生までの発声・発語についての基礎理論について概説する。 2) 他者との関係性（親子・保育者）と言葉の発達について探究する。			指定テキスト第2章精読(1 時間)		本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
4	【幼児期から児童期の言葉の発達】 1) 初語の出現以降の有意味語（1 語文から多語文、話し言葉、ボキャブラリースペース）の発達について概説する。 2) 文字言語（書き言葉）の獲得に至る1歳児から5歳児頃までの言語発達について探究する。			指定テキスト第3章精読(1 時間)		本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
5	【言葉の獲得に関する領域「言葉」と他領域との関係】 1) 身体・知覚・認知機能の発達と言葉について概説する。 2) 人間関係の発達、環境世界の拡張と言葉について探究する。			指定テキスト第5章精読(1 時間)		本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1 時間)	

6	【発達障がいのある子どもなどに対する「言葉」の支援】 発達障がいのある子どもに対する言語発達支援と特別支援教育について探究する。	指定テキスト第7章精読(1時間)	本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)		
7	【言葉の獲得に関する領域「言葉」指導計画と評価】 1) 保育環境構成と言葉について概説する 2) 「言葉」の指導計画と評価方法について探究する	指定テキスト第6章精読(1時間)	本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)		
8	言葉に関する児童文化財の活用① ことばで遊ぶ	年齢・発達に応じた様々な「ことば遊び」について調べ、整理する(1時間)	ことば遊びを使った指導上の留意点や課題について振り返り、整理する。(1時間)		
9	言葉に関する児童文化財の活用2 絵本の読み聞かせ	年齢や発達を考えながら、読み聞かせをしたい絵本を選ぶ(1時間)	絵本の読み聞かせの意義や方法について考えを整理する(1時間)		
10	言葉に関する児童文化財の活用③ 紙芝居を演じる	絵本と紙芝居の違い、紙芝居の特徴を生かした演じ方について整理しておく(1時間)	紙芝居の演じ方を復習し、ポイントについて整理する(1時間)		
11	【言葉の獲得に関する領域「言葉」の記録と指導案づくり(1)】 1) 記録簿・指導案について概説する 2) 記録簿・指導案作成上の留意点について探究する 3) 模擬記録簿を作成する 【模擬保育】	指定テキスト第10章1節精読(1時間)	1) 本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間) 2) 模擬記録簿の作成・提出(2時間)		
12	【言葉の獲得に関する領域「言葉」の記録と指導案づくり(2)】 1) 0歳～2歳児を対象とした指導案づくり 2) 3歳～5歳児を対象とした指導案づくり 【模擬保育】	指定テキスト第10章2節精読(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)2)模擬保育・教育指導案作成・提出(2時間)		
13	【小学校国語科における「言葉」の指導】 1) 幼稚園教育要領のねらいと小学校学習指導要領国語科の目標について比較・概説する 2) 小学校国語科における言葉の指導(読むこと・話すこと・聞くこと・書くこと)の目標について概説する	指定テキスト第11章精読(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)		
14	【これからの幼児教育の課題と言葉の獲得に感ずる領域「言葉」】 1) 保育・教育環境の現状と課題について概説する 2) 幼児・初等教育と子育て支援のあり方について探究する 3) 学校園と家庭・地域との連携・協力による言葉の指導のあり方について探究する	指定テキスト第12章精読(1時間)	1)本時内容の復習：Google Chromebook ノート整理(1時間)		
15	【こどもと言葉Ⅱまとめ】 幼児教育の現代的課題と領域「言葉」についてのまとめ	第1回～第14回までの講義内容復習(1時間)	1) これまでの Google Chromebook ノートのまとめ(1時間)		
試 験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	新・保育と言葉—発達・子育て支援と実践をつなぐために—	石上浩美編著	嵯峨野書院	9784782306130	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	適宜紹介				
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	習熟度確認テスト		20%	知識・理解	

	課題レポート（保育指導案含む）	50%	思考力・表現力・判断力
	模擬保育・模擬記録簿	30%	授業への参加態度
備考			
フィードバック	Google Classroom および saho navi にて適宜実施		

科目コード	63065	ナンバリング	CAC210	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	こどもと表現Ⅱ（指導法）						
科目英語名							
担当教員	畑野 裕子、生駒 英法、村上 優						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	「こどもと表現Ⅰ」での学修を踏まえて、教材研究や音楽ものがたりの制作、造形作品の製作の楽しさ、演じる醍醐味を味わい、感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、想像性を豊かにすることを目的とする。これらの表現活動を通して、子どもに対する具体的な指導方法について理解を深め、指導案作成を行う。						
学修成果到達目標	1. 表現とは何かについて説明できる。 2. 造形作品の製作、音楽ものがたりなどの制作活動を通して、保育者として各年齢にふさわしい教材を選定し、作品の製作から上演までの指導ができる。 3. 表現活動における ICT 活用およびこどもの表現活動と小学校の各教科との関連性について説明することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション（学修内容、到達目標、成績評価）、表現活動の事例（ICTを活用した事例提示）			こどもと表現Ⅰで学修したことを再確認する(0.5時間)		事例をもとに子どもにとっての表現活動について考察する(0.5時間)	
2	領域「表現」の内容理解、幼児期・児童期の学びの連続性			幼稚園教育要領、保育所保育指針等の領域「表現」のねらい、内容、内容の取扱いを読む(0.5時間)		学修内容を復習する(0.5時間)	
3	創作ダンス（1）テーマとストーリーをつくる（グループ・ワーク）			情報機器等を使ってこどもの創作ダンスを視聴する(0.5時間)		テーマとストーリーを決める(0.5時間)	
4	創作ダンス（2）振り付けをつくる（グループ・ワーク）			ストーリーに沿った振り付けを考える(0.5時間)		振り付けを再確認する(0.5時間)	
5	創作ダンスの発表と表現活動の指導案作成			発表に向けて練習をする(0.5時間)		指導案を作成する(0.5時間)	
6	造形の導入方法の学習			導入について考えておく(0.5時間)		導入内容を考える(1時間)	
7	模擬保育（1） （2歳児対象）			模擬保育の準備をする(1時間)		模擬保育の反省をする(0.5時間)	
8	模擬保育（2） （3歳児対象）			模擬保育の準備をする(1時間)		模擬保育の反省をする(0.5時間)	
9	模擬保育（3）（4歳児対象）			模擬保育の準備をする(1時間)		模擬保育の反省をする(0.5時間)	
10	模擬保育（4） （5歳児対象）			模擬保育の準備をする（1時間）		模擬保育の反省をする(0.5時間)	
11	音楽ものがたりの制作（1）テキスト朗読、グループ・パート分け、音取り			スイミーを読み、あらすじやキャラクターを把握しておく(0.5時間)		自分のパートを復習する(0.5時間)	
12	音楽ものがたりの制作（2）音取り、パート練習			表現に工夫をしながら、自分のパートを練習する(0.5時間)		自分のパートを復習する(0.5時間)	
13	音楽ものがたり（3）効果音－アプリケーションを利用した音選び、音楽稽古			指定されたアプリケーションをダウンロードし、効果的な音の入れ方を考える(0.5時間)		全体の流れを振り返りながら、自分のパートを復習する(0.5時間)	
14	音楽ものがたり（4）通し稽古			全体の流れや効果音のタイミングなどを確認しておく(0.5時間)		全体の流れを振り返りながら、自分のパートを復習する(0.5時間)	
15	音楽ものがたり（5）発表			全体の流れや効果音のタイミングなどを確認しながら、自分のパ		発表までの制作過程と発表内容を振り返る(0.2時間)	

		ートを練習する(0.8時間)			
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子どものための音楽ものがたり スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし	レオ=レオニ 作、 谷川俊太郎 訳、薬師神武夫 曲	音楽之友社	9784276828162	村上担当の回で使用
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	適時プリント配布				
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	指導案		20%	学修成果・到達目標 (2) の観点から評価する	
	模擬保育		30%	学修成果・到達目標をもとに評価する	
	取り組む姿勢		30%	目的意識を高く持ち、主体的に取り組んでいるかどうか評価する	
	レポート試験		20%	学修成果・到達目標 (1) (3) の観点から評価する	
備考	担当教員によって使用する教室が異なりますので、saho navi 等で事前に教室を確認してください。				
フィードバック	授業内で適時フィードバックを行う				

科目 コード	63080	ナンバリング	CAC210	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育表現演習 I 2020 年度入学生						
科目英語名	Exercises of Expression I 2020 年度入学生						
担当教員	吉田 香代子						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	日常生活の中における遊びや季節を通した表現活動を「つくる・あらかわす・楽しむ」をテーマに表現活動のプログラムづくりを体験し、保育者に不可欠な実践的、応用的な表現力を身につける。						
学修成果 到達目標	1. 幼児の発達段階や生活経験を知り、環境とのかかわりから広がる表現活動を計画できる。 2. 幼児の感動を表現活動につなげていく保育者の役割について説明することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	幼稚園教育要領「表現」に見る意味と理解			幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における表現の捉え方について調べ理解しておく (1 時間)		授業の要点をまとめ整理しておく (1 時間)	
2	壁面構成 1 保育現場における壁面構成の意味と内容について学ぶ			保育現場の壁面装飾について調べておく (1 時間)		壁面構成について整理しておく (1 時間)	
3	壁面構成 2 「秋」をテーマに壁面構成を考える			壁面構成のテーマについて考える (1 時間)		決定した製作テーマについて調べておく (1 時間)	
4	壁面構成 3 秋をテーマに壁面の制作をし壁面構成を行う			製作アイデアを考える (1 時間)		壁面構成のぼインジンをまとめる (1 時間)	
5	秋の自然物を使った遊び 1 自然物を使った活動(制作)と活動計画を学ぶ			秋の自然物を使った遊びを考える(1 時間)		遊びに必要な材料を考え準備する(1 時間)	
6	秋の自然物を使った遊び 2 自然物を使った制作をする			自然物を使った制作を調べる (1 時間)		制作活動の展開をまとめる (1 時間)	
7	秋の自然物を使った遊び 3 落ち葉を使った遊び			落ち葉を使った制作活動について調べる(1 時間)		落ち葉の制作活動について要点をまとめる(1 時間)	
8	自然物を使った指導計画作成と模擬保育			指導計画(日案)を作成する (1 時間)		授業の反省を踏まえ改善をする(1 時間)	
9	手作り楽器の制作をする			手づくり楽器について調べる (1 時間)		作り方、遊び方についてまとめる(1 時間)	
10	手作り楽器を使ってリズム遊びをする			楽器遊びができる曲を調べ準備する(1 時間)		楽器の鳴らし方を楽譜にまとめる(1 時間)	
11	楽器遊びの指導計画を作成と模擬保育			指導計画(日案)を作成する(1 時間)		事業での反省を踏まえ改善をする(1 時間)	
12	紙版画			紙版画について調べる(1 時間)		版画の注意事項を整理しておく (1 時間)	
13	折り紙制作(季節に応じた)			季節の折り紙について調べる (1 時間)		配布資料をまとめる(1 時間)	
14	たこの制作をする			年齢に応じた「たこの制作」を調べる(1 時間)		制作手順や留意点をまとめる(1 時間)	
15	まとめ 保育内容「表現」についてまとめる			幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の保育内予 0 字「表現」を熟読する (1 時間)		授業内容を振り返り、保育内容「表現」について理解を深める(1 時間)	

試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	演習の取り組み態度		30%		
	提出物（作品）の評価		40%		
	発表（模擬保育）評価		30%		
備 考					
フィード バック					

科目コード	63100a	ナンバリング	CHAC105	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	乳児保育 I 1-地						
科目英語名	Day Care for Infants I 1-地						
担当教員	福鹿 慶子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基本的な知識を身につける。						
学修成果到達目標	1. 乳児保育の現状と課題の理解を深め、乳児保育の意義と目的を把握することができる。 2. 3歳未満児の発達や特徴について説明できる。 3. 3歳未満児の生活や遊びについて説明できる。 4. 3歳未満児の保育の計画や必要性について説明できる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	乳児保育の基本と意義			教科書を読む(2時間)		講義内容を振り返り、まとめる(2時間)	
2	6か月未満児の子どもの育ち			6か月未満児の子どもの姿について調べる(2時間)		6か月未満児の子どもの育ちについてまとめる(2時間)	
3	6か月未満児の保育内容			6か月未満児の保育内容について調べる(2時間)		6か月未満児の保育内容についてまとめる(2時間)	
4	6か月以上1歳未満の子どもの育ち			6か月以上1歳未満の子どもの姿について調べる(2時間)		6か月以上1歳未満の子どもの育ちについてまとめる(2時間)	
5	6か月以上1歳未満の保育内容			6か月以上1歳未満の保育について調べる(2時間)		6か月以上1歳未満の保育内容についてまとめる(2時間)	
6	1歳以上2歳未満の子どもの育ち			1歳以上2歳未満の子どもの姿について調べる(2時間)		1歳以上2歳未満の子どもの育ちについてまとめる(2時間)	
7	1歳以上2歳未満の子どもの保育内容			1歳以上2歳未満の子どもの保育について調べる(2時間)		1歳以上2歳未満の子どもの保育内容についてまとめる(2時間)	
8	2歳～3歳の子どもの育ち			2歳～3歳の子どもの姿について調べる(2時間)		2歳～3歳の子どもの育ちについてまとめる(2時間)	
9	2歳～3歳の子どもの保育内容			2歳～3歳の子どもの保育について調べる(2時間)		2歳～3歳の子どもの保育内容についてまとめる(2時間)	
10	乳児保育における生活・遊びの実際			乳児の生活・遊びについて調べる(2時間)		乳児の遊び・生活についてまとめる(2時間)	
11	乳児保育における配慮の実際			乳児保育の配慮について調べる(2時間)		乳児保育における配慮の学びについてレポートにまとめる(2時間)	
12	乳児保育における指導計画			長期計画と短期計画を調べる(2時間)		乳児の指導計画を書く(2時間)	
13	乳児との関わり・愛着関係			愛着形成について調べる(2時間)		乳児との愛着形成についてレポートにまとめる(2時間)	
14	乳児保育の今後の課題			乳児保育の現状について調べる(2時間)		乳児保育の現状とかだいにについてまとめる(2時間)	
15	まとめと振り返り			これまでの講義内容を復習する(2時間)		これまでの講義内容をレポートにまとめる(4時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	(よくわかる！保育士エクササイズ5) 乳児保育 演習ブック 第2版	松本峰雄	ミネルヴァ書房	9784623086429	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館		
	乳児保育：一人一人を大切に第3版	加藤敏子	萌文書林	9784893473424	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	レポート課題		50%	理解度及び考察力	
	授業内でのコミュニケーションカード		30%	理解度	
	平常点(受講態度、課題提出含む)		20%	積極性、授業参加姿勢	
備考	乳児用の玩具を作成する課題がある。 材料は各自で用意する。				
フィードバック	授業時に適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目(※該当者のみ記載)					
授業内容	保育士経験のある教員が、乳児の保育での実践的な内容を、実践例を交えて援助の実際について指導する科目である。				

科目 コード	63110	ナンバリング	CHAC140	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	乳児保育Ⅱ						
科目英語名	Day Care for Infants Ⅱ						
担当教員	福鹿 慶子						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な知識や技術を身につける 2. 演習を通して、乳児保育の保育士として必要な援助の仕方、必要な道具の使用方法を修得する						
学修成果 到達目標	1. おむつ替えや授乳等の保育技術の知識を身につけ実践に生かすことができる。 2. 乳児の発達と玩具の関係性を理解し、保育の専門家として適切な玩具が提供できるようになる。 3. 乳児の健康と衛生面に配慮した環境づくりができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	乳児の食事①			離乳食について調べる(0.5 時間)		離乳食の必要性について復習する(1 時間)	
2	乳児の食事② (グループワーク)			乳児の食事の注意事項について調べる(0.5 時間)		乳児の食事についてレポートにまとめる(1 時間)	
3	乳児の排泄①			排泄について調べる(0.5 時間)		乳児の排泄について復習する(0.5 時間)	
4	乳児の排泄② (グループワーク)			排泄の援助と環境について調べる(0.5 時間)		排泄の自立についてレポートにまとめる(1 時間)	
5	乳児の睡眠①			乳児の睡眠について調べる(0.5 時間)		乳児の睡眠について復習する(0.5 時間)	
6	乳児の睡眠② (グループワーク)			睡眠・休息の援助と環境について調べる(0.5 時間)		乳児の睡眠についてレポートにまとめる(1 時間)	
7	乳児着脱①			乳児の着脱について調べる(0.5 時間)		乳児の着脱について復習する(0.5 時間)	
8	乳児の着脱② (グループワーク)			着脱の援助・環境について調べる(0.5 時間)		乳児の着脱についてレポートにまとめる(1 時間)	
9	乳児の清潔 1			乳児の清潔について調べる(0.5 時間)		乳児の清潔について復習する(0.5 時間)	
10	乳児の清潔② (グループワーク)			清潔の援助・環境を調べる(0.5 時間)		乳児の清潔についてレポートにまとめる(1 時間)	
11	乳児の遊び①			乳児の手作り玩具の材料を集める(1 時間)		乳児用玩具を作成する(2 時間)	
12	乳児の遊び 2 (グループワーク)			手作り乳児用玩具を使った保育を調べる(1 時間)		さまざまな乳児用玩具を使った保育についてまとめる(1 時間)	
13	乳児保育の現場と保育者同士の連携			保育者同士の連携について調べる(0.5 時間)		乳児保育の現場と保育者同士の連携についてまとめる(1 時間)	
14	保護者との連携及び保護者への支援			保護者に対する保育者の役割を考える(0.5 時間)		保護者との連携及び保護者への支援についてまとめる(1 時間)	
15	まとめと振り返り			これまでの講義内容を総復習する(2 時間)		これまでの講義内容をレポートにまとめる(4 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	(よくわかる！保育士エクササイズ 5) 乳児保育 演習ブック 第 2 版	松本峰雄	ミネルヴァ書房	9784623086429			

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	保育所保育指針 解説	厚生労働省	フレーベル館		
	演習で学ぶ乳児保育	善本真弓	わかば社	9784907270292	
	乳児保育 II 一日の流れで考える発達と個性に応じた保育実践 (改訂初版)	尾野明美 小湊真衣 菊池篤子	萌文書林	9784893473196	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業内のレポート課題		50%	理解度及び考察力	
	授業内での討議(グループワーク・グループディスカッション・ディベート等)		30%	コミュニケーション能力及び思考力	
	平常点(受講態度・課題提出等含む)		20%	積極性、授業参加姿勢	
備考					
フィードバック	授業時に適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目(※該当者のみ記載)					
授業内容	保育士経験のある教員が、乳児の保育での実践的な内容を、実践例を交えて援助の実際について指導する科目である。				

科目コード	63120	ナンバリング	CHAC215	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	こどもの健康と安全						
科目英語名	Health and safety of children						
担当教員	大越 幸代						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 保健的観点を踏まえた保育環境および援助について学ぶ。 2. 保育における健康および安全の管理について学ぶ。 3. 子どもの体調不良などに対する適切な対応について学ぶ。 4. 子どもがよくかかる感染症の対策について学ぶ。 5. 保育で必要な保健的対応について学ぶ。 6. 健康および安全の管理の実施体制について学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 保健的観点を踏まえた保育環境や援助について説明することができる。 2. 保育における健康および安全の管理について説明することができる。 3. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に述べることができる。 4. 保育における感染症対策について、ガイドラインやデータを踏まえて具体的に述べることができる。 5. 子どもの発達や状態に即した適切な保健的対応について、具体的に述べることができる。 6. 子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取り組みや保健活動の計画及び評価等について、説明することができる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	保健的観点を踏まえた保育環境および援助		「こどもの保健」の講義の資料を整理しておくこと(0.5 時間)		子どもの健康と保育の環境について復習する(0.5 時間)		
2	衛生管理		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
3	事故防止および安全対策		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
4	危機管理と災害への備え		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
5	体調不良や傷害が発生した場合の対応		教科書の該当箇所を読んで、理解しておく(0.5 時間)		授業内容、小テストの復習をしておく(0.5 時間)		
6	子どもに起きやすい事故の応急処置		教科書の該当箇所を読んで整理しておく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
7	救急処置および蘇生法		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
8	感染症の集団発生の予防		「こどもの保健」で学修した、各感染症の特徴と対応についてまとめておく(0.5 時間)		授業内容、小テストの復習をしておく(0.5 時間)		
9	感染症発生時と罹患後の対応		教科書や保育所における感染症対策ガイドラインの該当箇所を読んで、理解しておく(0.5 時間)		感染症罹患後の対応についてまとめる(0.5 時間)		
10	保育における保健的対応の基本的な考え方と 3 歳未満児への対応		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容、小テストの復習をしておく(0.5 時間)		
11	個別的な配慮を要する子どもへの対応		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
12	障害のある子どもへの対応		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容を復習する(0.5 時間)		
13	健康および安全の管理の実施体制		教科書の該当箇所を読んでおく(0.5 時間)		授業内容、小テストの復習をしておく(0.5 時間)		
14	保育における保健活動の計画および評価 (グループワーク)		教科書の該当箇所を読んでおく 年間保健計画を持参する(0.5 時間)		グループワークの内容をまとめておく(0.5 時間)		

15	発表	発表資料の準備をしておく (0.5時間)		これまでの講義の内容を総復習する(0.5時間)	
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	子どもの健康と安全	中根淳子/佐藤直子 編著	ななみ書房	9784903355818	「こどもの保健」の授業で購入したテキスト
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	授業で現場で役に立つ！子どもの健康と安全演習ノート(改訂第2版)	小林美由紀編著	診断と治療社	9784787825322	
	子どもの健康と安全	松田 博雄 (編集)	中央法規出版	9784805857960	
	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン		厚生労働省		
	保育所における感染症対策ガイドライン		厚生労働省		
	教育・保育施設における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン		内閣府・文部科学省・厚生労働省		
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		50%	到達目標が理解できているか評価する	
	小テスト		20%	授業内容を理解できているか評価する	
課題提出・受講態度等		30%	グループワーク等の主体性、授業への参加意欲、課題の提出・内容など総合的に判断する		
備考					
フィードバック					

科目コード	63130	ナンバリング	CAC220	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	障害児保育 2020 年度入学生						
科目英語名	Child Care in Special Education 2020 年度入学生						
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害児保育を支える理念や歴史の変遷から現状について理解する。 2. 様々な障害について理解する。 3. 個々の発達を促すかかわりとはなにかを学ぶ。 4. 具体的な援助の方法、環境構成、連携等について学び、理解する。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統合保育をよりよく進め障害のある子どもも障害のない子どもも共に育つ保育を考えることができる。 2. 様々な障害の特性と子どもの姿から学び、保育の改善につなげることができる。 3. 具体的な援助・支援方法（環境構成の工夫・視覚支援・ことばがけ）を実践することができる。 4. 保護者の理解・関係機関と連携を図ることができる。 						
授業計画		事前学修及び必要時間			事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション（総論）・障害児保育の概念	教科書を読み授業に参加する。 (2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
2	障害児保育の歴史	教科書を読み授業に参加する。 (2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに、理解が不十分な点については、図書館等で調べる。(2 時間)		
3	発達と障害－発達の考え方・特性・理論・支援	子どもの発達について、教科書及び他の資料を調べ授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
4	知的障害①定義と病理	教科書を読み他の資料を調べ授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
5	知的障害②ダウン症候群	参考書などの関係の書籍を読み授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
6	自閉症スペクトラム障害①広汎性発達障害	教科書を読み他の資料を調べ授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
7	自閉症スペクトラム障害②高機能広汎性発達障害	授業内で紹介する自閉症スペクトラム障害の映画を鑑賞し授業に参加する。(2 時間)			第 1 回から第 7 回の授業を復習し、理解が不十分な内容については調べておく。(2 時間)		
8	学習障害 (LD)	教科書を読み他の資料を調べ授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
9	注意欠陥多動性障害 (ADHD)	教科書を読み他の資料を調べ授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
10	運動障害 (肢体不自由児・発達性協調運動障害)	教科書を読み授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
11	視覚・聴覚障害・言語障害	授業内で紹介するの映画を鑑賞し授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		
12	障害児保育の実際－具体的なかかわり (環境構成・視覚支援)	教科書を読み授業に参加する。(2 時間)			教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2 時間)		

					間)
13	障害児保育の実際－具体的なかかわり (インリアル・アプローチ)	教科書を読み授業に参加する。 (2時間)	教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2時間)		
14	保護者の理解・支援、学校・専門機関・医療との連携	教科書を読み授業に参加する。 (2時間)	教科書及び授業内で配布した資料をもとに復習する。(2時間)		
15	まとめとふりかえり	第1回から第14回の授業を復習し、理解が不十分な内容については調べておく。(2時間)	全授業の内容を教科書及び配布資料をもとにまとめる。(2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育における特別支援	監修 竹田契一 里見恵子 他	日本文化科学社		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	ダウン症児の学びとコミュニケーション支援ガイド	編集 玉井浩 里見恵子	診断と治療社		
	その他 講義内で適宜紹介します				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	理解度	85%			
	講義・演習時の姿勢・コミュニケーション力	15%			
備考	子どもの個性や特性を考慮し実践できる保育者を目指しましょう。そのためにも自分自身が楽しい生活であること、他者の気持ちを理解することが重要です。				
フィードバック					

科目コード	63140	ナンバリング	CHAC225	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	社会的養護Ⅱ						
科目英語名	Social Care Ⅱ						
担当教員	松本 充史						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 社会的養護の知識を実践で使えるようになる。 2. 子どもと家族の支援ができるようになる。 3. 援助（支援）者として身につけておくべき専門性を学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 児童福祉施設等で実践する応用力を修得し、活用することができる。 2. 要保護児童に対して自ら関わるができるようになる。 3. 家族等児童をとりまく人と連携、支援ができるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	社会的養護の概要	講義「社会的養護Ⅰ」の振り返りを通して考えを深めておく(0.5時間)		参考資料等を読み、社会的養護の概要について考えを深める(0.5時間)			
2	社会的養護における子どもの権利擁護と保育者の責務	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、子どもの権利擁護について考えを深める(0.5時間)			
3	社会的養護における子ども理解と支援の実際	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、治療的支援や自立支援について考えを深める(0.5時間)			
4	社会的養護における生活特性と支援の実際 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例分析)	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、入所児童の生活特性と支援について考えを深める(0.5時間)			
5	社会的養護における支援の計画	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、社会的養護の支援計画について考えを深める(0.5時間)			
6	自立支援計画の作成	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、アセスメント、自立支援計画について考えを深める(0.5時間)			
7	家庭養護の特性と実際	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、家庭養護について考えを深める(0.5時間)			
8	日常生活支援に関する事例分析	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、日常生活支援について考えを深める(0.5時間)			
9	心理的支援に関する事例分析	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、社会的養護の心理的支援について考えを深める(0.5時間)			
10	自立支援に関する事例分析	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、社会的養護の自立支援について理解する(0.5時間)			
11	記録および自己評価	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、記録の意義と役割について考えを深める(0.5時間)			
12	社会的養護における保育士の専門性 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例分析)	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、児童福祉施設と保育士の専門性について考えを深める(0.5時間)			
13	施設におけるDV被害者・被虐待児と家庭への支援	教科書該当箇所について読んでおく(0.5時間)		参考資料等を読み、アドミッションケア、インケア、リーピングケア、アフターケアに			

					ついて考えを深める(0.5 時間)
14	社会的養護に関わる専門技術		教科書該当箇所について読んでおく(0.5 時間)		参考資料等を読み、社会的養護におけるケアワーク・相談援助について考えを深める(0.5 時間)
15	今後の社会的養護の課題と展望		教科書該当箇所について読んでおく(0.5 時間)		これまでの配布プリントや教科書を読んでおく(0.5 時間)
試 験	レポート試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	社会的養護入門	芝野松次郎・新川泰弘・山川宏和[編著]	ミネルヴァ書房	9784623092239	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	幼保連携型認定こども園 教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		10%	受講姿勢、積極性を評価する	
	授業毎の課題		50%	授業内容を理解しているか評価する	
	レポート試験		40%	考えをもって説明ができていないか評価する	
備 考	グループでの学び合い（グループ発表等）を中心とする				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	社会福祉士として社会的養護の施設で実務経験のある教員が授業を担当し、社会的養護の在り方、支援等についての講義を行う。				

科目コード	63150	ナンバリング	CAC250	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育教育相談支援						
科目英語名	Advice on Childcare and Education						
担当教員	河村 信子						
資格・免許との関連	卒業必修科目 保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教諭免許状取得のための必修科目 小学校教諭免許状取得のための必修科目 准学校心理士資格取得のための必修科目 ピアヘルパー資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育相談支援の意義について理解する。 2. 気になる子どもへのかかわりについて、具体的な事例に基づきながら理解する。 3. 保護者支援の基本および具体的な方法・技術について修得する。						
学修成果到達目標	保育相談支援の意義について理解し、説明することができる。 気になる子どもへのかかわりについて、援助方法を理解することができる。 保護者支援の具体的な方法・技術を学び実践することができる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 現代社会における子育て、子育て、教育の課題と取り組みについて		現代社会における子育て、子育て、教育の課題について考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
2	子育て・親育ちとしての保育・教育相談の意義とそのシステムについて理解する		保育相談の社会的資源について調べる(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
3	相談支援の基盤としての保育・教育と保護者との関係について理解する		人間関係の専門性について調べて、考えをまとめる(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
4	相談支援の基礎 1. 相談支援の基本と原則 2. 相談支援の過程 3. 相談支援の基本技法としてのカウンセリング		カウンセリングの基本としての来談者中心療法について調べる(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
5	保育・教育における相談支援の過程 1. 子ども理解と保育者・教育者の配慮点 2. 保護者支援に向けた配慮点 3. 保育所・幼稚園・小学校との連携について		保育所・幼稚園・諸学校との連携における課題を考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
6	地域子育て支援における相談支援について		地域子育て支援拠点事業について調べる(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
7	0、1、2歳児の相談と支援の実際		教科書の該当事例について自分の対応を考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
8	3、4、5歳児の相談と支援の実際		教科書の該当事例について自分の対応を考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
9	小学校低学年の相談と支援の実際		事前に配布した事例から自分としての相談方法を考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
10	小学校中学年の相談と支援の実際		事前に配布した事例から自分としての相談方法を考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
11	小学校高学年の相談と支援の実際		事前に配布した事例から自分としての相談方法を考える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
12	特別な対応を必要とする子どもや家庭への相談と支援について		自分にとって「気になる子ども」とはどのような子どもであるかを考えてまとめる(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		
13	保育・教育相談支援の方法と技術(ロールプレイ) 1. 相談を受ける側の体験		役作りの準備を整える(1時間)		授業内容をまとめる(1時間)		

14	保育・教育相談支援の方法と技術（ロールプレイ） 1. 相談者として話をする体験	役作りの準備を整える(1時間)	授業内容をまとめる(1時間)		
15	ロールプレイの振り返りと検討	実際に話した内容の記録をとり、 課題を考える(1時間)	授業内容をまとめる(1時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	(シードブック) 保育・教育相談支援：子育て、子育てを支える	太田光洋	建帛社	9784767950341	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説とポイント	汐見稔幸・無藤隆	ミネルヴァ書房	9784623080984	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業参加態度		25%	協調性や発表力を評価する	
	授業内での討議		25%	論理的思考力、積極性を評価する	
	定期試験		50%	授業内容を理解しているかを評価する	
備考					
フィード バック	授業時に適宜コメントをします。				

科目 コード	63160	ナンバリング	CHAC255	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	在宅保育論 2-地						
科目英語名	Home Childcare 2-地						
担当教員	福鹿 慶子						
資格・免許 との関連	認定ベビーシッター資格取得のための必修科目 保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	家庭訪問保育に関する基礎的知識の確認や実際の内容及び技術を文献、講義、ビデオ、演習を通して身につける。						
学修成果 到達目標	1. 家庭訪問保育に関する知識を修得し、説明することができる。 2. 家庭訪問に関する保育技術を再確認し、実践できるようになる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	居宅訪問型保育の概要			教科書の第一章を読む(1 時間)		家庭的保育者の資質についてまとめる(2 時間)	
2	乳幼児の生活と遊び			家庭で行う乳幼児の遊びについて調べる(2 時間)		家庭で行うことのできる乳幼児の遊びに関する指導計画を作成する(3 時間)	
3	乳幼児の発達と心理			乳幼児の発達に関して予習する(2 時間)		乳幼児の発達と心理に関して復習する(2 時間)	
4	乳幼児の食事と栄養			乳幼児の栄養管理に関して調べる(2 時間)		乳幼児の食事に関する注意点についてまとめる(2 時間)	
5	小児保健			心肺蘇生法の使用法について調べる(1 時間)		心肺蘇生法を学びえられた知識についてレポートにまとめる(3 時間)	
6	居宅訪問型保育の保育内容・環境整備・運営			居宅訪問型保育の制度について調べる(2 時間)		居宅訪問型保育の必要性についてレポートにまとめる(2 時間)	
7	安全確保とリスクマネジメント			家庭で行う保育を安全に行うための保育者の役割について調べる(1 時間)		保育に関するリスクマネジメントについて復習する(2 時間)	
8	居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項			保育者の職業倫理についてまとめる(2 時間)		居宅訪問型保育者の職業倫理と配慮事項について学んだことを復習する(2 時間)	
9	居宅訪問型保育における保護者への対応			保護者と関わる姿勢について調べる(2 時間)		適切な保護者への対応ができるよう友だちとロールプレイを行いその経過をレポートにまとめる(2 時間)	
10	子ども虐待			虐待の定義について調べておく(1 時間)		虐待が疑われる子どもへの対応について学んだことをレポートにまとめる(3 時間)	
11	特別に配慮を要する子どもへの対応			特別な配慮が必要な子どもとの関わりについて学んでおく(2 時間)		家庭で特別な配慮が必要な子どもの保育を行う際の注意点について復習する(2 時間)	
12	保育技術 (お世話編)			家庭で保育を行う際の生活援助方法に関して調べる(1 時間)		生活援助の仕方について様々なケースを検討する(3 時間)	
13	保育技術 (遊び編)			家庭で行う遊びに関する指導案を作成する(2 時間)		指導案の課題に対して再構成を行う(2 時間)	
14	一般型家庭訪問保育の実際			家庭訪問型保育の実情について調べる(2 時間)		家庭訪問型保育者の仕事の実際について学んだことを	

				レポートにする(2時間)	
15	まとめと振り返り	これまでの講義内容を復習する (2時間)	これまでの講義内容をレポートにまとめる(2時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	家庭訪問保育の理論と実際 第3版	全国保育サービス 協会監修	中央法規	9784805884270	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	適宜指示する				
	保育所保育指針 解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		40%	積極性、授業参加姿勢	
	授業毎のコミュニケーションカード		30%	理解度	
	授業内レポート課題		30%	理解度及び考察力	
備 考					
フィード バック	授業時に適宜コメントする				

科目コード	63170a	ナンバリング	CAC245	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育方法の理論と実践 2-地						
科目英語名	Educational Methodology 2-地						
担当教員	村田 健治、樹下 堅						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目 卒業必修科目						
学修内容	教育現場における教育方法について理解を深め、ICT 機器なども活用した実践的な指導技術を身につける。また、ICT 機器および教材を教育・保育現場で効果的に活用できるリテラシーを習得し、子どもたちの情報活用能力を育成するための指導法について理解する。						
学修成果到達目標	1. 基礎的な教育方法の理論と実践を理解する。 2. 保育及び教育の目的に適した指導技術を理解し、身につける。 3. 情報機器を活用した効果的な保育・授業や、情報活用能力の育成を視野に入れた適切な教材の作成・活用に関する基礎的な能力を身につける。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	【オリエンテーション：教育方法とは何か】 ・授業の目的、目標、内容及び進め方や評価の観点について説明を行う。			・シラバス内容の確認(0.5 時間) ・これまで自分自身が経験してきた保育、授業観について(1 時間半)		本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
2	【これからの時代における新しい幼児教育の可能性】 ・心理学、脳科学からみた子どもの特徴 ・世界の幼児教育、保育の現状			・指定テキスト第 1 章精読(1 時間) ・1 年次既習内容(保育原理・教育原理など)の復習(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
3	【環境を通じた保育の指導】 ・領域「環境」に関する保育内容の変遷 ・子どもの身近な「環境」について ・主体的、対話的学びの推進役としての保育者			・指定テキスト第 2 章精読(1 時間) ・1 年次既習内容(子どもと環境など)の復習(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
4	【子どもと表現 1 造形表現】 ・表現の世界に入り込む ・造形表現の特質と課題 ・造形表現の展開			・指定テキスト第 3 章精読(1 時間)・1 年次既習内容(子どもと造形表現など)の復習(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
5	【子どもと表現②身体表現】 ・子どもの育ちと身体表現 ・総合的な表現としての身体表現 ・表現を引き出す保育者の技術			・指定テキスト第 4 章精読(1 時間) ・1 年次既習内容(子どもと身体表現など)の復習(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)・中間課題作成(2 時間)	
6	【子どもと表現③音楽表現】 ・新しい時代に求められる「感性」と「表現」 ・子どもたちを音楽で支える ・主体的、対話的学びな音楽遊び			・指定テキスト第 5 章精読(1 時間) ・1 年次既習内容(子どもと音楽表現など)の復習(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
7	【子どもと言葉①言語表現】 ・言葉の誕生 ・乳幼児期に育む言葉 ・現代社会の課題と言葉			・指定テキスト第 6 章精読(1 時間) ・1 年次既習内容(子どもと言葉など)の復習(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
8	【子どもと総合的な学習】 ・総合的な学習の理論 ・総合的な学習の実践			・指定テキスト第 9 章精読(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
9	【子どもの認知～具体から抽象的理解～】・幼児の算数的活動とは・数と量の学び・図形、空間の認知			・指定テキスト第 7 章精読(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	
10	【子どもと ICT①】 ・メディアとしての ICT ・園務のための ICT の活用			・指定テキスト第 10 章第 1 節精読(1 時間)		・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)	

11	【子どもと ICT②】 ・保育現場における ICT の活用とセキュリティ対策 ・個人情報保護、プライバシー管理と ICT 活用	・配布資料の精読(1 時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)		
12	【子どもと ICT 3】 ・保育活動支援のための ICT の活用 ・遊具としての ICT の活用	・指定テキスト第 10 章第 2 節精読(1 時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)		
13	【支援を必要とする子どもたちの教育】 ・外国にルーツをもつ子どもたちへの教育 ・障害がある子どもたちへの教育 ・さまざまな背景をもつ子どもたちへの教育	・指定テキスト第 11～13 章精読(2 時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)		
14	【保育・教育計画の立て方と実践①】 ・保育における計画と指導計画の立案 ・計画に基づく実践と評価 ・幼保小連携の現状と課題	・模擬保育、教育計画の作成と提出(2 時間)	・本時内容の復習:Google Chromebook ノート整理(1 時間)		
15	【保育・教育計画の立て方と実践②】 ・模擬保育、教育計画をもとにしたプレゼンテーション 事前提出の指導計画に沿った発表 ・発表相互評価	・模擬保育、教育計画の作成と提出(2 時間)	・期末試験準備(2 時間)		
試 験	筆記試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	実践につながる新しい幼児教育の方法と技術	大浦賢治・野津直樹	ミネルヴァ 書房	9784623089642	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475	
	幼保連携型認定子ども園教育・保育要領解説	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	模擬保育・プレゼンテーション		20%	オリジナリティ、パフォーマンス	
	中間課題		20%	理解度及び考察力	
	定期試験		60%	知識・理解	
備 考					
フィード バック					

科目コード	63175	ナンバリング	CAC135	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	教育と ICT 活用 1-地小						
科目英語名							
担当教員	樹下 堅						
資格・免許との関連	小学校教諭資格取得のための必修科目 卒業必修科目（こども教育コース）						
学修内容	現代社会における教育の ICT 活用の意義を理解する。 小学校において各教科等の学習指導に共通して使える ICT 活用指導力について学修する。						
学修成果到達目標	ICT の活用の意義と理論を理解することができる。 ICT を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解することができる。 児童に ICT 活用能力を育成するための基礎的な指導方法を身に付けることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション Society5.0 の時代を生き抜く子どもと教育における ICT の活用の意義 1 人 1 台端末・高速通信環境における学びの変容			独立行政法人教職員支援機構の「一人台端末の活用による情報活用能力の育成：校内研修シリーズ No104」を視聴しまとめる（1 時間）		1 人 1 台の端末が全小中学生が持つことになり、日本の学校教育がどのように変わったかをまとめる（2 時間）	
2	特別支援教育における ICT の活用 学習の個別最適化			独立行政法人教職員支援機構の「病弱教育における ICT 活用：校内研修シリーズ No78」を視聴し、まとめる（1 時間）		インクルーシブ教育の視点で、ICT 機器の活用を考察しまとめる（2 時間）	
3	ICT 活用にかかる環境の整備及び外部との連携			大学のネットワーク環境を調べる（1 時間）		学校と教育委員会との ICT 施策にかかる連携についてまとめる（2 時間）	
4	ICT を活用した授業（動画）から学ぶ ICT 活用をベースとした授業のあり方 （ロイロノートを使ったグループワーク）			独立行政法人教職員支援機構の「学校教育の情報化：校内研修シリーズ No37」を視聴しまとめる（2 時間）		ICT を活用した授業を構想する（2 時間）	
5	すぐにでも、どの教科でも、誰でも活かせる ICT 活用 ～StuDX Style を使って活用事例を学ぶ～ （グループワーク）			独立行政法人教職員支援機構の「学校における ICT を活用した学修場面：校内研修シリーズ No76」を視聴しまとめる（2 時間）		授業で紹介した StuDX Style 以外のものを調べ、次時に紹介できるようにまとめる（2 時間）	
6	プログラミング教育の推進 スクラッチのプログラミングを使う			スクラッチのプログラムについて予習しておく（2 時間）		プログラミング教育でやってみたい授業を指導案の形でまとめる（2 時間）	
7	遠隔・オンライン授業で学校教育を広げる 校務支援システムの活用で業務の効率化を図る （グループワーク）			学修者の視点から、実現してほしいオンライン授業についてまとめておく（2 時間目）		学校教育においてオンライン授業が活用できる場面を考察する（2 時間）	
8	ICT 活用におけるルール作り 情報モラル、デジタルシティズンシップと家庭教育 （グループワーク）			独立行政法人教職員支援機構の情報社会に主体的に参画する態度を育む指導：校内研修シリーズ No82 を視聴しまとめる（2 時間）		ICT 活用にかかるルールについて、クラス担任としてまとめる（2 時間）	
試験	筆記試験						
教科書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
	ICT 活用の理論と実践：DX 時代の教師をめざして		稲垣 忠、佐藤 和紀	北大路書房	9784762831805		
参考書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	

	GIGA スクール構想で変わる授業づくり入門	蔵満逸司	黎明書房	9784654023585	
	「1人1台」端末で特別支援教育が変わる：すぐに取り組み、役立つアイデア123	青木高光 全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会	東洋館出版	9784491045283	
	PC1人1台時代の間違えない学校 ICT (教育技術 MOOK)	堀田龍也	小学館	9784091050960	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	筆記試験	30%	理解度		
	レポート課題	30%	考察力		
	授業態度	30%	積極性とコミュニケーション力		
	振り返りシート	10%	理解度		
備考					
フィードバック	授業ごとの振り返りシートはコメントを入れて、次回授業で返却する。 レポート課題については、コメントを入れて返却する。				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、ICT教育の推進について指導する。				

科目コード	63185	ナンバリング	CAF215	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育・教職実践演習 2-地						
科目英語名	Practical Seminar for Teaching Profession 2-地						
担当教員	前迫 ゆり、畑野 裕子、河村 信子、村田 健治、生駒 英法、村上 優、吉田 香代子、樹下 堅、信田 和則、福鹿 慶子、松本 充史、屋木 瑞穂						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目 幼稚園教諭免許状取得のための必修科目 小学校教諭免許状取得のための必修科目						
学修内容	本科目では、これまで学んできた教育・保育の理論や技術、教育実習や保育実習で得た学びを、個別の履修カルテを通して振り返り、自己の課題と学修内容を明確にすることを目的とする。また、教育者・保育者に求められる資質能力や使命感・責任感、子どもの理解や保育活動における指導力が確かなものとなるよう、各自が事例研究やロールプレイングを通して、教育者・保育者としての意識の向上を図る。						
学修成果到達目標	1. 保育士・幼稚園教諭として必要な保育に関する専門的知識及び技術、幅広く深い教養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が修得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握することができる。 2. 保育実習・教育実習（小学校・幼稚園）等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、教育・保育に関する現代的課題についての現状を分析し、多様な視点から対応できる。 3. 幼保小連携についての重要事項を理解し、連携プログラムの構築ができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	履修カルテの確認、講義の目的、について			自己課題確認(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
2	教育者・保育者の意義や役割・職務内容・子どもに対する責任・倫理の観点から振り返り			自己課題確認(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
3	グループ発表とディスカッション			自分の意見をまとめておく(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
4	社会性・対人関係能力の観点から自己課題の振り返り			自己課題の確認(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
5	「子どもやその家庭の理解・職員間の連携・関係機関との連携」の観点から、自己課題を振り返り			自己課題の確認(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
6	自己課題テーマを検討 (報告会のテーマ設定)			指導案の復習(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
7	保育力・授業力の振り返り (小グループ別ディスカッション)			指導案の改善(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
8	発表内容の事例検討 (ICT を活用した動画コンテンツによる事例検討)			自己課題の確認(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
9	報告内容の考察検討 (ICT を活用した動画コンテンツによる事例検討)			個別計画の作成(1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
10	報告会プレゼンテーションのパワーポイント作成 (ICT を活用した発表取り組み)			質問事項をまとめる (1 時間)		授業内容のまとめ復習(1 時間)	
11	報告会パワーポイントの修正・完成 (ICT を活用した発表取り組み)			質問事項をまとめる(1 時間)		授業内容のまとめ復習 (1 時間)	
12	第 1 回グループ別報告会 (分科会形式で実施、ICT を活用した個人発表)			自己課題の確認(1 時間)		授業内容のまとめと復習(1 時間)	
13	第 2 回グループ別報告会 (分科会形式で実施、ICT を活用した個人発表)			指導案の作成(1 時間)		授業内容のまとめと復習(1 時間)	
14	第 3 回グループ別報告会 (分科会形式で実施、ICT を活用した個人発表)			自己課題の確認(1 時間)		授業内容のまとめと復習(1 時間)	
15	指導教員からの総括 履修カルテの記入と振り返り			自己課題の確認(1 時間)		授業内容のまとめと復習(1 時間)	
試験	プレゼンテーション・発表						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	適宜紹介				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育所保育指針 幼稚園教育要領 幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説とポイント	汐見稔幸・無藤隆	ミネルヴァ書房	9784623080984	
	小学校学習指導要領解説 総則 編 —平成 29 年 7 月	文部科学省			
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業参加態度	20%	積極性よ理解度を評価する		
	プレゼンテーション評価（知識理解・考 察・発表力）	80%	知識理解度、自己課題への考察、発表力を総合的に評価す る		
備考					
フィード バック	授業時に適宜コメントおよび指導をする。				

科目 コード	63200a	ナンバリング	CHAF200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期、 2024 年度前期
科目名	総合演習 1-保育						
科目英語名	Seminar for ComprehensiveStudies 1-保育						
担当教員	屋木 瑞穂						
資格・免許 との関連	選択科目						
学修内容	1. 保育士・幼稚園教諭としての必要な保育技術を学ぶ 2. 子どもの創造力を伸ばす保育内容について理解する 3. 保育士・幼稚園教諭の採用試験合格を目指す						
学修成果 到達目標	1. 5 領域に関連した保育表現技術を習得し保育に活用できる 2. 子どもの創造性を伸ばす保育技術を習得し保育に活かすことできる 3. 保育士・幼稚園教諭の採用試験合格に必要な知識・技能を身につけ採用試験に生かすことができる						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	公立幼稚園・保育所・認定こども園の特徴			公立幼稚園・保育所・認定こども園について調べる (0.5 時間)		授業内容のまとめ (0.5 時間)	
2	公立幼稚園・保育所・認定こども園採用試験について エントリーシートについて SPI 試験とは 技能試験とは 面談とは			公立幼稚園保育所・認定こども園採用試験について調べる (0.5 時間)		授業内容のまとめ (0.5 時間)	
3	エントリーシートの作成 自分の長所について 保育者としての理想像 採用試験を受ける市町村について			自分の長所や特技などについてまとめておく (0.5 時間)		エントリーシートを書く (0.5 時間)	
4	各市町村採用試験について 内容・特徴について			各市町村の過去の試験について調べる (0.5 時間)		授業内容について整理する (0.5 時間)	
5	SPI 試験について SPI 問題集に取り組む			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		授業内で行った問題を復習する (0.5 時間)	
6	SPI 問題集に取り組む			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		授業内容のまとめ・復習 (0.5 時間)	
7	SPI 問題集に取り組む			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		SPI 問題集の復習 (0.5 時間)	
8	SPI 問題集に取り組む			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		SPI 問題集を復習する (0.5 時間)	
9	絵本の読み聞かせについて学ぶ 読み聞かせをする			読み聞かせをする絵本を選び練習をする (0.5 時間)		授業内容のまとめと復習 (0.5 時間)	
10	SPI 問題に取り組む 弾き歌いについて学ぶ			弾き歌いをする曲を選び練習をする SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		授業内容のまとめ SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)	
11	SPI インターネット問題に取り組む			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		SPI 問題集の復習をする (0.5 時間)	
12	SPI 問題 (インターネット)			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		授業内容のまとめ・SPI 問題集復習 (0.5 時間)	
13	SPI 問題に取り組む (インターネット)			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		授業内容のまとめ・SPI 問題集復習 (0.5 時間)	
14	採用試験の面接指導			SPI 問題集に取り組む (0.5 時間)		授業内容のまとめ (0.5 時間)	

15	集団面接への指導	志望動機をまとめる。受験する自治体について調べる (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
16	公立採用試験エントリーシートを書く	過去の採用試験要綱を調べる (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
17	SPI 問題集に取り組む	SPI 問題集に取り組む (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
18	集団面接の実践 (気になる子どもについて討議する)	特別に配慮を要する子どもの現状を調べる (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
19	SPI 問題集に取り組む	SPI 問題集に取り組む (0.5時間)	授業の復習をする (0.5時間)		
20	採用を希望する市町村の教育大綱や方針	採用試験受験先を検討する (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
21	就職ノートの作成について	ノート作成の準備をする (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
22	自己分析について	長所短所を書き出す (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
23	自己アピールの内容について	自分の強みを考える (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
24	趣味・特技のアピール方法について	自己分析ノートの作成 (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
25	個別面接の実際	自己分析ノートの作成 (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
26	個別面接の留意点について	自己分析ノートの作成 (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
27	一般筆記試験（模擬試験）	自己分析ノートの作成 (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
28	保育者採用試験（専門問題）	専門職問題に取り組む (0.5時間)	授業の復習をする (0.5時間)		
29	教職教養筆記試験（模擬試験）	自己分析ノートの作成 (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
30	試験の振り返りとまとめ	自己分析ノートの作成 (0.5時間)	授業内容のまとめ (0.5時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業挑む姿勢や態度	30%	積極性		
	授業内レポート	40%	理解度及び考察		
	課題レポート	30%	理解度		
備考					
フィードバック	授業内で適宜評価を返す				

科目コード	63200b	ナンバリング	CHAF200	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期、 2024 年度前期
科目名	総合演習 1-教育						
科目英語名	Seminar for ComprehensiveStudies 1-教育						
担当教員	信田 和則						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目 教員採用試験						
学修内容	<p>1 自治体別の試験科目・出題内容・形式などを踏まえ、出題されやすい頻出項目の指導を中心に全分野を基礎から学ぶ。</p> <p>2 対話型や課題解決型の活動を取り入れながら教員に求められる今日的な課題に確実に対応でき、その解決を図ることができる資質・能力の育成を図る。</p> <p>3 本科目の学びを通して、おもしろさ、楽しさ、意欲のわく教育活動を指導する力を身に付け、小学校教員としての資質・能力を養う。</p>						
学修成果到達目標	<p>1 教員採用試験合格に必要な基礎知識を理解し、一般的な合格水準相応の得点力を身に付けることができる。</p> <p>2 法令や答申の読み解き方と論作文試験に必要な書き方の習得を基盤として、柔軟かつ多様に物事を見たり、考えたり、捉えたりするポイントを体得することができる。</p> <p>3 教員採用試験合格を目指して、意欲と自信の強化を図ることができる。</p>						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション(教員採用試験の概要と合格に向けての学びの計画について) 筆記試験対策①(「教職教養」「論作文」)		シラバスを熟読し、疑問点や質問事項をまとめておく (0.5 時間)		授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておくこと (0.5 時間)		
2	筆記試験対策②(「教職教養」「論作文」)		教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5 時間)		授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておくこと (0.5 時間)		
3	筆記試験対策③(「教職教養」「論作文」)		教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5 時間)		授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5 時間)		
4	筆記試験対策④(「論作文」)		教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5 時間)		授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5 時間)		
5	筆記試験対策⑤(「教職教養」「論作文」) 確認テスト①		教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく。 (0.5 時間)		授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5 時間)		
6	筆記試験対策⑥(「専門教養」「論作文」)		教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5 時間)		授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5 時間)		

7	筆記試験対策⑦（「専門教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
8	筆記試験対策⑧（「専門教養」「論作文」） 確認テスト②	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
9	筆記試験対策⑨（「専門教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく(0.5時間)
10	筆記試験対策⑩（「専門教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
11	筆記試験対策⑪（「専門教養」「論作文」） 確認テスト③	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
12	面接試験対策①（「個人面接」「集団面接」） 筆記試験対策⑫（「教職教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
13	面接試験対策②（「集団面接」「集団討論」） 確認テスト④	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
14	面接試験対策③「集団討論」「場面指導」） 筆記試験対策⑬（「教職教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
15	面接試験対策④（「場面指導」「模擬授業」） 筆記試験対策⑭（「教職教養」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
16	面接試験対策⑤（「模擬授業」「個人面接」）	教育法規や学習指導要領、答申	授業で扱った内容に他の関係

	筆記試験対策⑮（「教職教養」）	などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
17	面接試験対策⑥（「個人面接」「集団面接」） 筆記試験対策⑯「専門教養」「論作文」	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
18	面接試験対策⑦（「集団面接」「集団討論」） 筆記試験対策⑰「専門教養」	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
19	面接試験対策⑧（「集団討論」「場面指導」） 筆記試験対策⑱（「専門教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
20	面接試験対策⑨「場面指導」（「模擬授業」） 筆記試験対策⑲（「専門教養」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
21	筆記試験対策⑳（「教職教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
22	本年度実施試験の傾向と今後の課題 筆記試験対策 21（「教職教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
23	筆記試験対策 22（「教職教養」「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
24	筆記試験対策 23（「論作文」）	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)
25	筆記試験対策 24（「教職教養」）	教育法規や学習指導要領、答申	授業で扱った内容に他の関係

	確認テスト⑤	などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)		
26	筆記試験対策 25 (「専門教養」「論作文」)	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)		
27	筆記試験対策 26 (「専門教養」)	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)		
28	筆記試験対策 27 (「専門教養」) 確認テスト⑥	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)		
29	筆記試験対策 28 (「専門教養」「論作文」)	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)		
30	確認テスト⑦	教育法規や学習指導要領、答申などを熟読し、そこで展開されている教育における意味とそれについての自分の考えをまとめておく (0.5時間)	授業で扱った内容に他の関係資料を補足して「教採ノート」にまとめておく (0.5時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	小学校学習指導要領	文部科学省	東洋館出版社	9784491034607	
	生徒指導提要	文部科学省	教育図書株式会社	9784877302740	
	小学校学習指導要領解説 総則編	文部科学省	東洋館出版社	9784491034614	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業に臨む姿勢や態度	30%	積極性		
	授業内レポート	40%	理解度及び考察力		
	課外レポート	30%	理解度		
備考	事前学習の範囲は、その都度指示をする。				

	<p>毎回、提示したテーマを基に小論文を作成し、提出する。</p> <p>「一般教養」対策用の資料は、適宜提供し解説する。</p> <p>第22回以降からは、「着任前指導」の内容を適宜入れる。</p> <p>日頃から意識してテレビや新聞等により報道される教育に関わる事象に関心を持ち、そのことに対する自分自身の考えをもつように心掛けておくこと。</p>
フィード バック	

科目コード	64000	ナンバリング	CAE120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	国語基礎 1-地小							
科目英語名	Japanese 1-地小							
担当教員	屋木 瑞穂							
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目							
学修内容	小学校国語科教育の内容の基礎として、日本語の成り立ち、文字・音韻・語彙・文法等、国語の特質や伝統的な言語文化に関する理解を深め、演習を通して「話す・聞く・書く・読む」の基本的言語能力を向上させる。							
学修成果到達目標	1. 日本語の成り立ち、文字・音韻・語彙・文法等、国語に関する基礎的知識について説明できる。 2. 日本の伝統的言語文化に関する理解を深め、ことわざ・故事成語等の語彙の知識を増やし、昔話・伝承・言葉遊び、韻文等に親しむ活動を通して、読解力や表現力を身に付ける。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	日本語とはどんな言語か：日本語と国語			シラバスをよく読み、講義の全体計画を把握し、教科書に目を通しておくこと（2時間）		学修内容を整理し、教科書の該当箇所を復習する（2時間）		
2	音声・音韻：母音・子音〔五十音図〕、音節、特殊音素〔撥音・促音・長音〕			教科書の該当箇所を読み、内容を整理すること（2時間）		教科書の該当箇所を復習し、学修内容を整理し学んだ知識を定着させること（2時間）		
3	文字と表記：漢字の成り立ち、音訓、万葉仮名、平仮名・片仮名			教科書の該当箇所を読み、内容を整理すること（2時間）		教科書の該当箇所を復習し、学修内容を整理し学んだ知識を定着させること（2時間）		
4	語彙：語構成・語種、ことわざ・故事成語			教科書の該当箇所を読み、内容を整理すること（2時間）		教科書の該当箇所を復習し、学修内容を整理し学んだ知識を定着させること（2時間）		
5	文法を活かそう：待遇表現			教科書の該当箇所を読み、内容を整理すること（2時間）		教科書の該当箇所を復習し、学修内容を整理し学んだ知識を定着させること（2時間）		
6	伝統的な言語文化に親しむ：昔話、言葉遊び（グループ・ディスカッション）			予習のために配付された資料を読むこと（2時間）		学修内容を整理し、課題の文章をまとめること（2時間）		
7	韻文を味わう（1） 表現の技法を読む（グループ・ディスカッション）			予習のために配布された資料を読み、自分の考えを整理すること（2時間）		学修内容を整理し、課題の文章をまとめること（2時間）		
8	韻文を味わう（2） 鑑賞文を書く（プレゼンテーション）			予習のために配付された資料を読み、自分の考えを整理すること（2時間）		学修内容を整理し、課題の文章をまとめること（2時間）		
試験								
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	日本語概説		沖森卓也		朝倉書店		9784254515237	
参考書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	新しい国語表記ハンドブック（第9版）		三省堂編修所編		三省堂		9784385211459	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合		評価基準など			
	確認テスト		20%		授業内容を理解しているか評価する。			
	授業内での討議（プレゼンテーション、ディスカッション）		30%		積極性やコミュニケーション能力を評価する。			
課題の提出（ワークシート、レポートなどを含む）		50%		読解力や表現力を評価する。				
備考								

フィード バック	確認テストの回答は授業内で行い、解説する。
-------------	-----------------------

科目コード	64020	ナンバリング	CKAE130	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	算数基礎 1-地小							
科目英語名	Arithmetic 1-地小							
担当教員	樹下 堅							
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目							
学修内容	小学校算数科の「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の各領域の学習内容について、教員と学生あるいは学生同士による対話や議論など能動的、構成的、協働的な活動を通して理解を深めることを目指す。							
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校算数科学習指導要領の改訂の趣旨について理解することができる。 2. 小学校算数科の各領域の学習内容の構成について理解することができる。 3. 算数科における ICT 活用のよさについて理解することができる。 4. 中学校の数学の学習内容と関連付けて小学校算数科の各領域の学習内容について考察ができる。 							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 「改定の経緯及び基本方針」と算数科改訂の趣旨及び要点			テキスト p.1～11 を熟読し、疑問点をまとめておく（1 時間）		令和 4 年度全国学力・学習状況調査の算数の問題を解決し、子どもが困難を感じるのはいかなるような問題かを分析する（2 時間）		
2	全国学力・学習状況調査を分析する（ディスカッション）			令和 4 年度全国学力・学習状況調査報告書を熟読する（2 時間）		調査分析から見えた算数・数学教育の現状と課題をまとめる（1 時間）		
3	「数と計算」領域 ねらい 内容 育成を目指す資質・能力（グループワーク）			テキスト p.42～49 及び各学年の「数と計算」領域を熟読し、疑問点をまとめておく（1 時間）		「数と計算」領域について、数社の小学校算数科の教科書を比較して、分析する（2 時間）		
4	「図形」領域 ねらい 内容 育成を目指す資質・能力（グループワーク） 図形領域で ICT を使う			テキスト p.50～56 及び各学年の「図形」領域を熟読し、疑問点をまとめておく（2 時間）		「図形」領域について、数社の小学校算数科の教科書を比較して、分析する（2 時間）		
5	「測定」領域 ねらい 内容 育成を目指す資質・能力（グループワーク）			テキスト p.56～61 及び各学年の「測定」領域を熟読し、疑問点をまとめておく（2 時間）		「測定」領域について、数社の小学校算数科の教科書を比較して、分析する（2 時間）		
6	「変化と関係」領域 ねらい 内容 育成を目指す資質・能力（グループワーク）			テキスト p.61～66 及び各学年の「変化と関係」領域を熟読し、疑問点をまとめておく（2 時間）		「変化と関係」領域について、数社の小学校算数科の教科書を比較して、分析する（2 時間）		
7	「データの活用」領域 ねらい 内容 育成を目指す資質・能力（グループワーク） データ活用領域で ICT を使う			テキスト p.67～71 及び各学年の「データの活用」領域を熟読し、疑問点をまとめておく（2 時間）		「データと活用」領域について、数社の小学校算数科の教科書を比較して、分析する（2 時間）		
8	まとめと振り返り（グループ・ディスカッション）			これまでの講義を振り返り、算数の学習において大切にしたいと考えていることを箇条書きにする（2 時間）		これまでの講義を振り返り、算数の学習において大切なことを授業中のグループディスカッションの内容も含めてまとめる（2 時間）		
試験	筆記試験							
教科書	書名		著者		出版社		ISBN	備考
	小学校学習指導要領解説算数編		文部科学省		東洋館出版		9784536590105	
参考書	書名		著者		出版社		ISBN	備考

成績評価 方法・基 準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	筆記試験	40%	理解度を評価		
	授業ごとの振り返り	30%	考察力を評価		
	授業内での討議	30%	論理的思考力及びコミュニケーション力を評価		
備 考					
フィード バック	saho navi や classroom 等を活用し資料の掲示したり、提出された課題のフィードバックを行う 授業ごとの振り返りについては、次回授業時にコメントを入れて返却する。				
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）					
授業内容	学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、小学校算数科の各領域の学習内容及び指導法について指導する。				

科目コード	64040	ナンバリング	CAE125	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	生活基礎 1-地小						
科目英語名	Life Environment Studies 1-地小						
担当教員	信田 和則						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	生活科の活動内容に関わる活動や体験的研究を通して、生活科の指導や教材研究に必要な基礎的知識、技能を習得することで、全体を観察し、真理を見極める科学的視野を養うとともに、教師に求められる知識、技能を理解し、幼稚園から小学校までの教育を視野に入れた広い視点をもった教員をめざす。						
学修成果到達目標	生活科の知識と技能を理解し説明することができる 教師に求められる知識と技能を理解し説明することができる						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	「生活」の意味			小学校学習指導要領解説第 1 章を読む (2 時間)		レポート作成 (2 時間)	
2	学校と生活			小学校学習指導要領解説第 2 章を読む (2 時間)		レポート作成 (2 時間)	
3	家庭・地域・生活			小学校学習指導要領解説第 3 章を読む (2 時間)		レポート作成 (2 時間)	
4	自然との関わり (学外)			フィールド下見 (2 時間)		フィールドカード作成 (2 時間)	
5	表現する方法			フィールドカードプレゼンテーション準備 (2 時間)		フィールドカード作成 (2 時間)	
6	探索活動Ⅰ 街をフィールドワークする (学外)			フィールド下見 (2 時間)		フィールドカード作成 (2 時間)	
7	制作活動 フィールドワークの成果を表現する			フィールドノーツプレゼンテーション準備 (2 時間)		ミュージアムボックス作成 (2 時間)	
8	制作活動Ⅱ ミュージアムボックスを作る			ミュージアムボックスプレゼンテーション準備 (2 時間)		ミュージアムボックス修正 (2 時間)	
試験	筆記試験						
教科書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
	小学校学習指導要領解説 生活編		文部科学省	東洋館出版社	9784491034645		
参考書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	定期試験		50%	生活科の基礎知識、実践方法等			
	模擬授業での取組		20%	授業構成・展開、板書等			
	毎回提出するレポート・学習態度		30%	講義の参画、他者の考えを受け入れ学びを深めているか等			
備考	新聞やテレビ、インターネット等を通じて生活科に関わる話題を柔軟な発想で捉え、関心のあることを焦点化しておきましょう。 適宜、グループ・ディスカッションやプレゼンテーション等の授業形態や内容を取り入れます。 毎回の授業の最後に学びを振り返り、レポートを作成します。以後の学びを深める手立てとして活用してください。						
フィードバック	授業時に適宜コメントする						
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）							
授業内容	学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、今日的な課題（幼小連携等）への対応を指導する。						

科目コード	64050	ナンバリング	CKAE145	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	英語基礎 1-地小						
科目英語名	Basic English 1-地小						
担当教員	キャンベル早川久美子						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	小学校における外国語活動・外国語科の系統的な学習についての知識、英語を教えるために必要な言語習得理論の基本を理解し、英語に関する基本的な事柄（音声、語彙、文構造、文法、正書法等）、児童文学（絵本、子ども向けの歌や詩等）、異文化理解に関する事柄の基礎を学ぶ。また、具体的な例を通して実際の授業場面を意識した実践的英語力を練磨する。						
学修成果到達目標	小・中学校の接続も踏まえ、小学校における外国語活動・外国語科の授業を担当するために必要な基礎的知識と、授業に必要な実践的英語運用能力としての、聞く力、話す力（やり取り、発表）、読む力、書く力を身に付ける。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション、英語教育の変遷と系統的な学習			教科書第 1 章を読んでおく（1 時間）		教科書及び学習指導要領解説書の目標と内容について整理（2 時間）	
2	第二言語習得理論に関する基本的な知識			教科書第 2・3・5 章を理解するための予習（2 時間）		第二言語習得に関する基本的事項について整理（2 時間）	
3	英語の基本的な音声のしくみ、音声と綴りの関係			教科書第 6・10 章を理解するための予習（1 時間）		授業内容について整理する（2 時間）	
4	英語の文構造・文法、語彙及び授業実践に必要な英語力			教科書第 8・9・11 章を読み、学習指導要領の該当箇所に通しておく（2 時間）		学習段階に応じて内容を整理する（2 時間）	
5	児童文学（1）絵本			教科書第 7・13 章を読み、英語絵本については図書館等で目を通しておく（2 時間）		英語絵本の読み聞かせと絵本教材の意義について、まとめる（2 時間）	
6	児童文学（2）歌や詩等と異文化理解			教科書第 8・13 章を読み、また歌や詩等で例示できるものを準備しておく（2 時間）		音声的特徴をつかみ、外国の文化に慣れ親しむことについて、まとめる（2 時間）	
7	異文化間コミュニケーション			教科書第 14・15 章を読んでおく（1 時間）		意思伝達過程としてのコミュニケーションについて、まとめる（2 時間）	
8	英語コミュニケーション			教科書 9 章に目を通し、これまでの流れの中での課題について一考しておく（2 時間）		まとめとふりかえり（2 時間）	
試験							
教科書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
	小学校英語教育の基礎知識：コア・カリキュラム準拠		村野井仁（編著）	大修館書店	9784469246186		
参考書	書名		著者	出版社	ISBN	備考	
	日本語のアクセント、英語のアクセント：どこがどう違うのか		杉藤美代子	ひつじ書房	9784894765672		
成績評価方法・基	評価方法		評価割合	評価基準など			
	レポート		50%	正確な説明ができていないか評価する。			

準	平常点 (受講姿勢・課題の提出などを含む)	50%	積極性・課題の完成度等を評価する
備考			
フィードバック	授業テーマについてのミニレポートは随時、学生同士の意見交換を行い、講評する		

科目 コード	64060	ナンバリング	CAE100	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	音楽 I						
科目英語名	Music I						
担当教員	村上 優						
資格・免許 との関連	卒業のための選択必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 保育士、幼稚園教諭、小学校教諭に求められる音楽理論の知識を身につける。 2. 身につけた知識を読譜に生かし、ピアノ演奏や歌唱などの実践につなげる。						
学修成果 到達目標	1. 基礎的な音楽理論を理解し、読譜につなげることができる。 2. 簡単な楽曲の初見演奏、初見視唱ができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション：本科目での学修内容について 音符と休符（1） 基本の音符・休符			「最もわかりやすい楽典入門」 p.11~p.16 を予習する(0.75 時間)		第1回授業の学修内容を復習 する(0.25 時間)	
2	拍子			「最もわかりやすい楽典入門」 p.20~p.25 を予習する(0.75 時間)		第2回授業の学修内容を復習 する(0.25 時間)	
3	音符と休符（2） 付点			「最もわかりやすい楽典入門」 p.11~p.16 を予習する(0.75 時間)		第3回授業の学修内容を復習 する(0.25 時間)	
4	音部記号、音名			確認テストに向け、既習範囲の復 習を行う。「最もわかりやすい楽 典入門」 p.6~8,10,17-A.を予習 する(0.75 時間)		第4回授業の学修内容を復習 する(0.25 時間)	
5	第1回~第4回授業の振り返り 反復			既修範囲を復習する。「最もわか りやすい楽典入門」 p.32,36~37 を予習する(0.75 時間)		第5回授業の学修内容を復習 する(0.25 時間)	
6	変化記号、全音と半音			「最もわかりやすい楽典入門」 p.17-B、p.18-F を予習する(0.75 時間)		第6回授業の学修内容を復習 する(0.25 時間)	
7	調号と臨時記号、異名同音			「最もわかりやすい楽典入門」 p.17-C・D、p.18-G を予習する (0.5 時間)		第7回授業の学修内容を復習 する(0.5 時間)	
8	調性（1）長音階			「最もわかりやすい楽典入門」 p.44-45 を予習する(0.5 時間)		第8回授業の学修内容を復習 する。(0.5 時間)	
9	調性（2）短音階			「最もわかりやすい楽典入門」 p.46-49(C まで)を予習する(0.5 時間)		第9回授業の学修内容を復習 する(0.5 時間)	
10	第6回~第9回授業の振り返り 様々な記号（1）アーティキュレーション			既習範囲を復習する（0.8 時間）		第10回授業の学修内容を復 習する(0.2 時間)	
11	様々な記号（2）強弱記号			「最もわかりやすい楽典入門」 p.26-A を予習する(0.75 時間)		第11回授業の学修内容を復 習する（0.25 時間）	
12	様々な記号（3）速度記号			「最もわかりやすい楽典入門」の p.29-30 を予習する(0.75 時間)		第12回授業の学修内容を復 習する(0.25 時間)	
13	様々な記号（4）発想記号			「最もわかりやすい楽典入門」 p.27-B を予習する(0.75 時間)		第13回授業の学修内容を復 習する(0.25 時間)	
14	第11回~第13回授業の振り返り 楽式			既修範囲を復習する。「最もわか りやすい楽典入門」 p.65-67 を予 習する(0.8 時間)		第14回授業の学修内容を復 習する(0.2 時間)	
15	指揮法			「最もわかりやすい楽典入門」		第15回授業の学修内容を復	

		p.22-C を予習する(0.75 時間)	習する(0.25 時間)		
試 験	筆記試験				
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	最もわかりやすい楽典入門【改訂版】	坪野春枝	kmp	9784773214017	
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	楽典：理論と実習	石桁真礼生 他	音楽之友社	9784276100008	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%		
	理解度		30%		
	受講態度		30%		
備 考	Google Classroom で資料配布を行う。				
フィード バック	確認テストは次週に返却し、解説を行う。				

科目コード	64070	ナンバリング	CAE135	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	音楽Ⅱ						
科目英語名	Music II						
担当教員	村上 優						
資格・免許との関連	卒業のための選択科目 保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 「音楽Ⅰ」の学修内容を基盤とし、さらなる音楽的基礎能力の向上につなげる。 2. 身につけた知識を読譜に生かし、ピアノ演奏や歌唱などの実践につなげる。 3. コードネームを基に、簡易伴奏を展開する。						
学修成果到達目標	1. 楽典知識を理解し、読譜と演奏につなげることができる。 2. 簡単な楽曲の初見演奏ができる。 3. コードネームから簡易伴奏を展開することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション：本科目での学修内容について音価、音名、拍子の再確認			「最もわかりやすい楽典入門」p.11~p.16 を予習する(0.75 時間)		第1回授業の学修内容を復習する(0.25 時間)	
2	基本の音程(1) 完全系			「最もわかりやすい楽典入門」p.44~49 を予習する(0.5 時間)		第2回授業の学修内容を復習する(0.5 時間)	
3	基本の音程(2) 長短系			「最もわかりやすい楽典入門」p.39-B.を予習する(0.5 時間)		第3回授業の学修内容を復習する(0.5 時間)	
4	第2回・第3回授業のまとめと振り返り 変化記号の再確認			確認テストに向け、既習範囲を復習する(0.75 時間)		第4回授業の学修内容を復習する(0.25 時間)	
5	派生音を含む音程			「最もわかりやすい楽典入門」p.41-F を予習する(0.5 時間)		第5回授業の学修内容を復習する(0.5 時間)	
6	第5回授業のまとめと振り返り 音程と三和音			確認テストに向け、既習範囲を復習する(0.75 時間)		第6回授業の学修内容を復習する(0.25 時間)	
7	三和音(1) 長三和音と短三和音			「最もわかりやすい楽典入門」p.57-A.B.を予習する(0.5 時間)		第7回授業の学修内容を復習する(0.5 時間)	
8	三和音(2) 基本形と展開系			「最もわかりやすい楽典入門」p.59-F を予習する。(0.5 時間) 「最もわかりやすい楽典入門」p.57-58 を予習する(0.5 時間)		第8回授業の学修内容を復習する。(0.5 時間)	
9	コードネーム			「最もわかりやすい楽典入門」p.61-I を予習する(0.5 時間)		第9回授業の学修内容を復習する(0.5 時間)	
10	第7回~第9回授業のまとめと振り返り 簡易伴奏展開について			確認テストに向け、既習範囲を復習する(0.75 時間)		第10回授業の学修内容を復習する(0.25 時間)	
11	簡易伴奏の展開法(1) 2拍子系・4拍子系			「かたつむり」「かえるのうた」「びよんびよんかえる」から一曲選び、練習する(0.8 時間)		第11回授業の学修内容を復習する(0.2 時間)	
12	簡易伴奏の展開法(2) 2拍子・6拍子			「こいのぼり」「思い出のアルバム」から一曲選び、練習する(0.8 時間)		第12回授業の学修内容を復習する(0.2 時間)	
13	簡易伴奏での弾き歌い(1) 6月のうた			6月にふさわしい歌を一曲選択し、導入付きで練習する(0.8 時間)		第13回授業の学修内容を復習する。 「なんのうたかな?」p.62 リズム叩きと音名を行う(0.2 時間)	
14	簡易伴奏での弾き歌い(2) 9月のうた			9月にふさわしいうたを一曲選択し、導入付きで練習する(0.8 時間)		第14回授業の学修内容を復習する(0.2 時間)	

15	簡易伴奏での弾き歌い（5）生活のうた	生活のうたを一曲選択し、導入付きで練習する(0.8時間)	第15回授業の学修内容を復習する(0.2時間)		
試験	筆記試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	最も分かりやすい楽典入門	坪内春枝	kmp	9784773214017	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	定期試験		40%		
	理解度		30%		
	受講態度		30%		
備考	爪は短く切り、アクセサリーやネイルアートは避けること。 Google Classroom で資料配布を行う				
フィードバック	確認テストは次週に返却し、解説を行う。				

科目コード	64080	ナンバリング	CAE200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	音楽Ⅲ 2020 年度入学生						
科目英語名	Music Ⅲ 2020 年度入学生						
担当教員	村上 優、奥田 尚子、玉井 奈摘、中島 倍代、和田 宏一						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育・教育に必要なピアノ演奏技術や弾き歌い技術を身に付ける。 2. 楽語、記号、歌詞などから作曲者の意図を考え、表現に結びつける。						
学修成果到達目標	1. 表現を工夫して演奏することができる。 2. 課題について学修計画を立て、目標達成のための努力を継続することができる。 3. 様々な季節やイベントの弾き歌いレパートリー習得に積極的に取り組み、より多くの曲を演奏することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 弾き歌い(1)生活のうた	開始グレード決定のため、演奏可能な曲を練習してくること(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
2	弾き歌い(2)春のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
3	弾き歌い(3)夏のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
4	弾き歌い(4)秋のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
5	弾き歌い(5)冬のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
6	弾き歌い(6)梅雨のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
7	弾き歌い(7)クリスマスのうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
8	弾き歌い(8)卒園のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
9	弾き歌い(9)わらべうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
10	弾き歌い(10)動物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
11	弾き歌い(11)虫のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
12	弾き歌い(12)家族のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
13	弾き歌い(13)乗り物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
14	弾き歌い(14)ともだちのうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
15	クラス発表会(発表)	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.8時間)		演奏発表の内容を踏まえ、自己評価を行う(0.2時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	こどものうた 100	井戸和秀編	チャイルド社	9784805481868			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	標準バイエル・ピアノ教則本 Op.101	フェルディナンド・ バイエル	全音出版社	9784111010103	
	ブルクミュラー25の練習曲 Op.100	ヨハン・ブルクミュ ラー	全音出版社	9784111020102	
	ソナチネアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012114	
	ソナタアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012213	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		50%		
	発表		50%	「強弱」「リズム」「マナー」等の項目から総合的に判断する	
備考	<p>爪は短く切り、アクセサリー着用やネイルアート等は避けること。 ピアノ曲の使用楽譜については、担当教員より適宜指示をする。 歌唱を伴うため、できるだけ不織布マスクを着用すること。(過敏性皮膚炎等の場合は、事前に申し出ること) 本科目は1単位のため1時間の授業外学修が求められる。しかしながら、演奏技術の習得と定着のためには毎日の練習が望ましい。</p>				
フィード バック	学修成果に対してコメントを行う				

科目コード	64090	ナンバリング	CAE205	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	音楽Ⅳ						
科目英語名	Music IV						
担当教員	村上 優、奥田 尚子、中島 倍代、宮田 眞理、山下 玲子、和田 宏一						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育・教育に必要なピアノ演奏技術や弾き歌い技術を身に付ける。 2. 楽語、記号、歌詞などから作曲者の意図を考え、表現に結びつける。						
学修成果到達目標	1. 表現を工夫して演奏することができる。 2. 課題について学修計画を立て、目標達成のための努力を継続することができる。 3. 様々な季節やイベントの弾き歌いレパートリー習得に積極的に取り組み、より多くの曲を演奏することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 弾き歌い(1)生活のうた	開始グレード決定のため、演奏可能な曲を練習してくること(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
2	弾き歌い(2)春のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
3	弾き歌い(3)夏のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
4	弾き歌い(4)秋のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
5	弾き歌い(5)冬のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
6	弾き歌い(6)梅雨のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
7	弾き歌い(7)クリスマス <u>の</u> うた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
8	弾き歌い(8)卒園のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
9	弾き歌い(9)わらべうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
10	弾き歌い(10)動物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
11	弾き歌い(11)虫のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
12	弾き歌い(12)家族のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
13	弾き歌い(13)乗り物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
14	弾き歌い(14)ともだちのうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
15	クラス発表会(発表)	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.8時間)		演奏発表の内容を踏まえ、自己評価を行う(0.2時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	こどものうた 100	井戸和秀編	チャイルド社	9784805481868			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	標準バイエル・ピアノ教則本 Op.101	フェルディナンド・ バイエル	全音出版社	9784111010103	
	ブルクミュラー25の練習曲 Op.100	ヨハン・ブルクミュ ラー	全音出版社	9784111020102	
	ソナチネアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012114	
	ソナタアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012213	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		50%		
	発表		50%	「強弱」「リズム」「マナー」等の項目から総合的に判断する	
備考	<p>爪は短く切り、アクセサリー着用やネイルアートは避けること。 ピアノ曲の使用楽譜については、担当教員より適宜指示をする。 歌唱を伴うため、できるだけ不織布マスクを着用すること。(過敏性皮膚炎等の場合は、事前に申し出ること) 本科目は1単位のため1時間の授業外学修が求められる。しかしながら、演奏技術の習得と定着のためには毎日の練習が望ましい。</p>				
フィード バック	学修成果に対してコメントを行う				

科目コード	64105	ナンバリング	CAE105	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	器楽演習 I						
科目英語名							
担当教員	村上 優、大城 弓恵、紺谷 志野、宮田 眞理、山下 玲子、和田 宏一						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目 学外実習（保育所・施設・幼稚園）履修要件となる科目						
学修内容	保育・教育で必要な、ピアノ演奏や弾き歌い演奏の技術を身に付ける。						
学修成果到達目標	1. 『バイエル教則本』より 52 番程度を演奏することができる。 2. C・F・G・G7 のコードを弾くことができる。 3. 上記コードを用いて、簡単な楽曲の弾き歌い演奏ができる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション：本科目の学修内容について ピアノ演奏の基本：ピアノ演奏の姿勢、指番号		開始グレード設定のため、演奏できる曲を練習してくること(0.75 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.25 時間)		
2	「ちょうちょう」の弾き歌い (C のコードと G のコード)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
3	「ぶんぶんぶん」の弾き歌い		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
4	「ぴよんぴよんかえる」の弾き歌い 「かえるのがっしょう」の弾き歌い(右手のポジション移動)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
5	「チューリップ」の弾き歌い (F のコード、ゆびくぐり)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
6	「てをたたきましょう」の弾き歌い		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
7	「むすんでひらいて」の弾き歌い		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
8	「大きなくりの木の下で」の弾き歌い		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
9	「こいのぼり」の弾き歌い (3 拍子)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
10	「あくしゅでこんにちは」(付点 4 分音符と 8 分音符のリズム)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
11	「おかたづけ」「かたつむり」の弾き歌い (付点 8 分音符と 16 分音符のリズム)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
12	「おべんとう」の弾き歌い (G7 のコード)		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		
13	「月」の弾き歌い		個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)		

14	「すうじのうた」「おばけなんてないさ」の弾き歌い(3連符、変化記号)	個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5時間)	クラス授業での学修内容を復習する(0.5時間)		
15	クラス発表会(発表)	個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.8時間)	クラス発表会での自身の演奏を振り返り、レポート課題をまとめる(0.2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	こどものうた 100	井戸和秀編	チャイルド社	9784805481868	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	標準バイエルピアノ教則本 Op.101	フェルディナンド・バイエル	全音出版社	9784111010103	
	ブルクミュラー 25 の練習曲集 Op.100	ヨハン・ブルクミュラー	全音出版社	9784111020102	
	ソナチネアルバム(1)標準版	全音出版部 編	全音出版社	9784111012114	
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	受講態度	40%			
	発表	40%	「強弱」「リズム」「マナー」等の項目から総合的に判断する		
	レポート	20%			
備考	<p>爪は短く切り、アクセサリー着用やネイルアート等は避けること。 ピアノ曲の使用楽譜については、担当教員から適宜指示する。 Google Classroom で弾き歌い学習のための動画配信を行う。事前にダウンロードし、授業に臨むこと。 歌唱を伴うため、できるだけ不織布マスクを着用すること。(皮膚炎等の場合を除く) 本科目は1単位のため1時間の授業外学修が求められるが、演奏技術の習得と定着のためには毎日の練習が望ましい。</p>				
フィードバック	学修成果に対してコメントを行う。				

科目コード	64106	ナンバリング	CAE120	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	器楽演習Ⅱ						
科目英語名							
担当教員	村上 優、紺谷 志野、玉井 奈摘、中島 倍代、宮田 眞理、山下 玲子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目 学外実習（保育所・施設）履修要件となる科目						
学修内容	保育・教育で必要な、ピアノ演奏や弾き歌い演奏の技術を身に付ける。						
学修成果到達目標	1. 『バイエル教則本』より 80 番程度以上を演奏することができる。 2. 器楽演習Ⅰで習得したコードに加え、Bb・Am・Em などのコードを弾くことができる。また、簡単な伴奏型の展開ができる。 3. 上記コードを用いた弾き歌い演奏ができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション：本科目の学修内容について 夏休みの課題の成果発表			夏期長期休暇に課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
2	「めだかの学校」の弾き歌い (C・F・G・G7 のコードの復習)			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
3	「どんぐりころころ」の弾き歌い (シンコペーション)			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
4	「こぎつね」「こおろぎ」の弾き歌い			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
5	「とんぼのめがね」の弾き歌い			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
6	「山の音楽家」の弾き歌い (アウトタクト)			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
7	「ハッピーバースデー」の弾き歌い (Bb のコード)			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
8	「あわてんぼうのサンタクロース」の弾き歌い			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
9	「やきいもグーチーパー」の弾き歌い			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.75 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.25 時間)	
10	「とけいのうた」の弾き歌い			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
11	「思い出のアルバム」(8 分の 6 拍子)			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.75 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.25 時間)	
12	「なべなべそこぬけ」「かごめかごめ」の弾き歌い (Am、Em のコード)			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	
13	「たきび」の弾き歌い			個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5 時間)		クラス授業での学修内容を復習する(0.5 時間)	

14	「一年生になったら」の弾き歌い	個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.5時間)	クラス授業での学修内容を復習する(0.5時間)		
15	クラス発表会(発表)	個人レッスンで受けた指導をふまえて、課された曲を練習する(0.8時間)	クラス発表会での自身の演奏を振り返り、レポート課題の構想をまとめる(0.2時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	こどものうた 100	井戸和秀編	チャイルド社	9784805481868	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	標準バイエルピアノ教則本 Op.101	フェルディナンド・バイエル	全音出版社	9784111010103	
	ブルクミュラー 25 の練習曲集 Op.100	ヨハン・ブルクミュラー	全音出版社	9784111020102	
	ソナチネアルバム(1)標準版	全音出版部 編	全音出版社	9784111012114	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		40%		
	発表		40%	「強弱」「リズム」「マナー」等の項目から総合的に判断する	
	レポート		20%		
備考	<p>爪は短く切り、アクセサリ着用やネイルアート等は避けること。 ピアノ曲の使用楽譜については、担当教員から適宜指示する。 Google Classroom で弾き歌い学習のための動画配信を行う。事前にダウンロードし、授業に臨むこと。 歌唱を伴うため、できるだけ不織布マスクを着用すること。(皮膚炎等の場合を除く) 本科目は1単位のため1時間の授業外学修が求められるが、演奏技術の習得と定着のためには毎日の練習が望ましい。</p>				
フィードバック	学修成果に対してコメントを行う				

科目コード	64107	ナンバリング	CAE200	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	器楽演習Ⅲ						
科目英語名							
担当教員	村上 優、奥田 尚子、玉井 奈摘、中島 倍代、和田 宏一						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育・教育に必要なピアノ演奏技術や弾き歌い技術を身に付ける。 2. 楽語、記号、歌詞などから作曲者の意図を考え、表現に結びつける。						
学修成果到達目標	1. 表現を工夫して演奏することができる。 2. 課題について学修計画を立て、目標達成のための努力を継続することができる。 3. 様々な季節やイベントの弾き歌いレパートリー修得に積極的に取り組み、より多くの曲を演奏することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 弾き歌い(1)生活のうた	開始グレード決定のため、演奏可能な曲を練習してくること(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
2	弾き歌い(2)春のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
3	弾き歌い(3)夏のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
4	弾き歌い(4)秋のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
5	弾き歌い(5)冬のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
6	弾き歌い(6)梅雨のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
7	弾き歌い(7)クリスマスうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
8	弾き歌い(8)卒園のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
9	弾き歌い(9)わらべうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
10	弾き歌い(10)動物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
11	弾き歌い(11)虫のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
12	弾き歌い(12)家族のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
13	弾き歌い(13)乗り物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
14	弾き歌い(14)ともだちのうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
15	クラス発表会(発表)	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.8時間)		演奏発表の内容を踏まえ、自己評価を行う(0.2時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	こどものうた 100	井戸和秀編	チャイルド社	9784805481868			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	標準バイエル・ピアノ教則本 Op.101	フェルディナンド・ バイエル	全音出版社	9784111010103	
	ブルクミュラー25の練習曲 Op.100	ヨハン・ブルクミュ ラー	全音出版社	9784111020102	
	ソナチネアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012114	
	ソナタアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012213	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		50%		
	発表		50%	「強弱」「リズム」「マナー」等の項目から総合的に判断する	
備考	<p>爪は短く切り、アクセサリー着用やネイルアート等は避けること。 ピアノ曲の使用楽譜については、担当教員より適宜指示をする。 歌唱を伴うため、できるだけ不織布マスクを着用すること。(過敏性皮膚炎等の場合は、事前に申し出ること) 本科目は1単位のため1時間の授業外学修が求められる。しかしながら、演奏技術の習得と定着のためには毎日の練習が望ましい。</p>				
フィード バック	学修成果に対してコメントを行う				

科目コード	64108	ナンバリング	CAE205	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	器楽演習Ⅳ						
科目英語名							
担当教員	村上 優、奥田 尚子、中島 倍代、宮田 眞理、山下 玲子、和田 宏一						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育・教育に必要なピアノ演奏技術や弾き歌い技術を身に付ける。 2. 楽語、記号、歌詞などから作曲者の意図を考え、表現に結びつける。						
学修成果到達目標	1. 表現を工夫して演奏することができる。 2. 課題について学習計画を立て、目標達成のための努力を継続することができる。 3. 様々な季節やイベントの弾き歌いレパートリー修得に積極的に取り組み、より多くの曲を演奏することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 弾き歌い(1)生活のうた	開始グレード決定のため、演奏可能な曲を練習してくること(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
2	弾き歌い(2)春のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
3	弾き歌い(3)夏のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
4	弾き歌い(4)秋のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
5	弾き歌い(5)冬のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
6	弾き歌い(6)梅雨のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
7	弾き歌い(7)クリスマスうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
8	弾き歌い(8)卒園のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
9	弾き歌い(9)わらべうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
10	弾き歌い(10)動物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
11	弾き歌い(11)虫のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
12	弾き歌い(12)家族のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
13	弾き歌い(13)乗り物のうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
14	弾き歌い(14)ともだちのうた	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.5時間)		個人レッスンで学んだことを復習する(0.5時間)			
15	クラス発表会(発表)	個人レッスンで各々に課された課題の練習(0.8時間)		演奏発表の内容を踏まえ、自己評価を行う(0.2時間)			
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	こどものうた 100	井戸和秀編	チャイルド社	9784805481868			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	標準バイエル・ピアノ教則本 Op.101	フェルディナンド・ バイエル	全音出版社	9784111010103	
	ブルクミュラー25の練習曲 Op.100	ヨハン・ブルクミュ ラー	全音出版社	9784111020102	
	ソナチネアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012114	
	ソナタアルバム(1)標準版	編：全音出版部	全音出版社	9784111012213	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	受講態度		50%		
	発表		50%	「強弱」「リズム」「マナー」等の項目から総合的に判断する	
備考	<p>爪は短く切り、アクセサリー着用やネイルアートは避けること。 ピアノ曲の使用楽譜については、担当教員より適宜指示をする。 歌唱を伴うため、できるだけ不織布マスクを着用すること。(過敏性皮膚炎等の場合は、事前に申し出ること) 本科目は1単位のため1時間の授業外学修が求められる。しかしながら、演奏技術の習得と定着のためには毎日の練習が望ましい。</p>				
フィード バック	学修成果に対してコメントを行う				

科目コード	64125	ナンバリング	CAE110	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	図画工作						
科目英語名	Arts and Crafts						
担当教員	生駒 英法						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 小学校教諭免許状取得のための必修科目 選択必修科目（こども保育コース）						
学修内容	1. 保育士及び幼稚園教諭、小学校教諭のための、図画工作の基礎的な実践を行う。 2. 保育現場、教育現場で使用する様々な材料や用具の扱い方や図画工作に関する知識や技能を身につける。 3. 造形活動の中での重要な「表現する楽しさ」について学ぶ。						
学修成果到達目標	1. 図画工作で用いる材料、用具の使用方法について理解できる。 2. 基礎的な技法について理解し身につけ、工夫し表現できる。 3. 造形表現の面白さ、楽しさを体得し、子どもの造形指導に役立てることができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 子どもと図画工作の関わりについて説明 教室の使い方、作品製作の説明			子どもが好きな遊びについて考える(1 時間)		次回使用する材料を確認する(1 時間)	
2	平面技法1 デカルコマニー、糸引き絵、たらし絵			絵具の使い方を確認しておく(1 時間)		絵具の片づけ方について整理する(1 時間)	
3	平面技法2 スポンジ画1、スポンジ画2			スポンジ画について調べておく(1 時間)		スポンジ画の注意事項を整理しておく(1 時間)	
4	平面技法3 窓のある絵			窓で連想されるものを考えておく(1 時間)		子どもが製作できる環境を考える(1 時間)	
5	平面技法4 スクラッチ、折って開く絵			伸びる絵や変化する絵について考える(1 時間)		伸びる絵を描くときの注意事項を整理しておく(1 時間)	
6	平面技法5 クレヨンステンシル、スタンプ			スタンプで描くアイデアを考える(1 時間)		スタンプ製作の内容を整理しておく(1 時間)	
7	平面技法6 綿棒アート、はじき絵			綿棒で描くアイデアを考えておく(1 時間)		綿棒で他の製作ができないか調べる(1 時間)	
8	平面技法7 ポケットのある絵			ポケットで連想されるアイデアを考えておく(1 時間)		課題の振り返り(1 時間)	
9	ポップアップカード製作1 パクパクカード			ポップアップカードの準備をしておく(1 時間)		今回の課題の振り返り(1 時間)	
10	ポップアップカード製作2 平行ボックスカード			平行ボックスのアイデアを考えておく(1 時間)		今回の課題の振り返り(1 時間)	
11	ポップアップカード製作3 二本足カード			二本足カードのアイデアを考えておく(1 時間)		今回の課題の振り返り(1 時間)	
12	ポップアップカード製作4 山々カード			山々カードのアイデアを考えておく(1 時間)		今回の課題の振り返り(1 時間)	
13	ポップアップカード製作5 ボックスカード			ボックスカードのアイデアを考えておく(1 時間)		今回の課題の振り返り(1 時間)	
14	製本作業1 作品の糊付け作業			今までの作品を整理しておく(1 時間)		作品を確認しておく(1 時間)	
15	製本作業2 表紙の作成			表紙のアイデアを考えておく(1 時間)		製本された作品を提出できるように最終確認しておく(1 時間)	
試 験							
教科書		書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考	

参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	作品提出		50%		
	授業態度、作品工夫点		30%		
	レポート提出		20%		
備考					
フィード バック	授業の中で適時、質問に答える				

科目コード	64140a	ナンバリング	CAE115	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	体育						
科目英語名	Physical Education						
担当教員	山崎 雅史						
資格・免許との関連	卒業必修科目（こども教育コース） 卒業選択必修科目（こども保育コース） 小学校教諭免許取得のための必修科目 保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	毎回テーマを設定し、実技実習を通して各種運動能力を高めるとともに、小学校における授業づくりを学び、幼少期の子どもに対する運動指導の理論と実践力を養う。これらの学びにより子どもたちを取り巻く環境を視野に置いた教師像を目指す。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの各技能における獲得過程を理解し、各運動領域における援助及び指導の方法について説明できる。 2. 器具・用具の配置や使い方を工夫し、安全面、発達段階及び運動課題の難易度を配慮して、幼少期の子どもの運動を構成できる。 3. 運動の援助及び指導における ICT の活用法を理解し、子どもが主体的に取り組むための ICT 活用ができる。 4. 仲間と良好なコミュニケーションを図り、協調・協働して取り組むことができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス（授業概要、成績評価、履修上の注意点）、体育教科の歴史と意義			小・中学校の体育の授業を振り返る(0.5 時間)		次回以降の運動実践ができるように服装やシューズの準備をする(0.5 時間)	
2	幼児期の遊びと体育、体育と生涯スポーツ			ICT 機器や図書を使って幼児期の運動遊びを調べる(0.5 時間)		幼児期の遊びと体育科、体育科と生涯スポーツのつながりについて再確認する(0.5 時間)	
3	運動遊びの基礎（走・跳の運動遊びの実践）			ICT 機器を使って幼児期の運動遊び(鬼遊び・縄を使った遊び)について確認する(0.5 時間)		小学校低学年で行う運動遊びの内容について再確認する(0.5 時間)	
4	運動遊びの発展（体づくりの運動遊び）			ICT 機器を使って体づくりの運動遊びについて確認する(0.5 時間)		体づくりの運動遊びの構成と運動内容、環境構成と指導方法について再確認する(0.5 時間)	
5	ボール運動：ゴール型の基礎（ボールゲーム）			ICT 機器を使って低学年で行うボールゲームについて確認する(0.5 時間)		ゴール型ゲームと幼児期の運動遊びおよび中・高等学校の体育とのつながりについて考察する(0.5 時間)	
6	ボール運動：ゴール型の発展(サッカーを基にした易しいゲーム)			ICT 機器を使って、子どもがサッカーをしている姿を視聴する(0.5 時間)		ボール運動系(ゴール型)の運動内容、環境構成と指導方法について再確認する(0.5 時間)	
7	ボール運動：ネット型の基礎（天大中小、プレイボール）			ICT 機器を使って天大中小、プレイボールについて確認する(0.5 時間)		ネット型ゲームと幼児期の運動遊びおよび中・高等学校の体育とのつながりについて考察する(0.5 時間)	
8	ボール運動：ネット型の発展(ソフトバレーボールを基にした易しいゲーム)			ICT 機器を使って、子どもがソフトバレーボールをしている姿を視聴する(0.5 時間)		ボール運動系(ネット型)の運動内容、環境構成と指導方法について再確認する(0.5 時間)	
9	ボール運動：ベースボール型の基礎（投げる、捕る、打つ運動）			ICT 機器を使って子どもの投・捕・打動作について確認する(0.5 時間)		ベースボール型ゲームと幼児期の運動遊びおよび中・高等学校の体育とのつながりについて考察する(0.5 時間)	

10	ボール運動:ベースボール型の発展(ティーボールを基にした易しいゲーム)	ICT機器を使って、子どもの投・捕球・打動作について確認する(0.5時間)	ボール運動系(ネット型)の運動内容、環境構成と指導方法について再確認する(0.5時間)		
11	器械運動:マット(ICTを活用した指導法)(グループワーク)	これまで経験してきたマット運動を振り返り、マット運動の特性について考察する(0.5時間)	器械運動(マット)の運動内容、環境構成と指導方法(ICT活用含む)について再確認する(0.5時間)		
12	器械運動:跳び箱(ICTを活用した指導法)(グループワーク)	これまで経験してきた跳び箱運動を振り返り、跳び箱運動の特性について考察する(0.5時間)	器械運動(跳び箱)の運動内容、環境構成と指導方法(ICT活用含む)について再確認する(0.5時間)		
13	器械運動:鉄棒(ICTを活用した指導法)(グループワーク)	これまで経験してきた鉄棒運動を振り返り、鉄棒運動の特性について考察する(0.5時間)	器械運動(鉄棒)の運動内容、環境構成と指導方法(ICT活用含む)について再確認する(0.5時間)		
14	陸上運動:走運動(楽しい走運動のための教材づくり)	ICT機器や図書を使って、子どもが主体的に取り組むことができる走運動について調べる(0.5時間)	陸上運動(走の運動)の運動内容、環境構成と指導方法(教材活用含む)について再確認する(0.5時間)		
15	陸上運動:跳運動(楽しい跳運動のための教材づくり)	ICT機器や図書を使って、子どもが主体的に取り組むことができる跳運動について調べる(0.5時間)	陸上運動(跳の運動)の運動内容、環境構成と指導方法(教材活用含む)について再確認する(0.5時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	適時プリント配布				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	小学校学習指導要領解説体育編	文部科学省	東洋館出版社	9784491034676	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	実技及び指導実践の取組		40%	授業内の運動・指導実践について到達目標に照らし合わせて評価する。	
	課題(環境構成、運動援助及び指導方法の理解)		40%	提出された課題について到達目標に照らし合わせて評価する。	
	他者とのコミュニケーション・協働性		20%	準備・実践・片付けにおける他者との協働性を評価する。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を整え、授業に参加してください。 ・運動に適した服装および体育館シューズを着用してください。 ・熱中症予防のため各自で水分補給の準備をしてきてください。 ・課題提示および提出はインターネットを介して行います。 				
フィードバック	課題のフィードバックはインターネットを介して行う。				

科目 コード	64200a	ナンバリング	CAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナール I (音楽表現)						
科目英語名							
担当教員	村上 優						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育・教育の場を想定した音楽表現に取り組む。 2. ピアノ以外の楽器の発音原理を知り、身の回りのもので楽器作りに取り組む。 3. ハンドベル等の合奏に取り組む。						
学修成果 到達目標	1. 保育者・教育者として必要なピアノや他の楽器の演奏技術を身に付け、積極的に演奏することができる。 2. 自分自身が自由な発想で音や音楽を楽しみ、保育・教育に生かすことができる。 3. 保育・教育における音楽表現活動やアンサンブル演奏について、様々なアイディアを出すことができる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 打楽器について		打楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
2	打楽器 (1) たたく楽器		叩いて音を出す楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
3	打楽器 (2) 振る楽器		振って音を出す楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる。(0.5 時間)		
4	打楽器 (3) こする楽器		こすって音を出す楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
5	打楽器や手作り打楽器を使ったリズムあそび・授業の構想と検討		打楽器を使ったリズムあそび・授業を構想する (0.75 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.25 時間)		
6	管楽器について		管楽器について調べる (0.25 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.75 時間)		
7	木管楽器 (1) リードを用いる楽器		シングルリード・ダブルリードの楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
8	木管楽器 (2) エアリードの楽器		エアリードの木管楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
9	金管楽器について		金管楽器について調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
10	管楽器・管楽器の仕組みを使ったあそびや授業の構想と検討		管楽器やその仕組みを使った音あそび・授業を構想する (0.75 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.25 時間)		
11	手づくり楽器 (1) マラカス		手作りマラカスの作り方を調べ、材料を考える (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
12	手作り楽器 (2) ギロ		手作りギロの作り方を調べ、材料を考える (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
13	手づくり楽器 (3) 太鼓		手作り太鼓の作り方を調べ、材料を考える (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
14	手作り楽器 (4) 水笛		水笛の作り方と材料を調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
15	手づくり楽器 (5) ストローラップ		ストローラップの作り方と材料を調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる。ペープサートを仕上げる (0.5 時間)		
16	手づくり楽器 (6) ホースラップ		ホースラップの材料と作り方を調べる (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		
17	手づくり楽器の説明書 (1) レイアウト		好きな手作り楽器の一つを選び、説明書のレイアウトを考える (0.5 時間)		授業で学修したことをノートにまとめる (0.5 時間)		

18	手作り楽器の説明書（2）デザインと文章造り	考えたレイアウトをもとに、全体のデザインや文章をを考える（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
19	手作り楽器の説明書（3）仕上げ	配色等を考えておく（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
20	音楽あそびのプログラム作り（1）ことばとリズム	音楽あそびについて調べる（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
21	音楽あそびのプログラム作り（2）オノマトペとこどもものうた	オノマトペと、オノマトペが使われているこどもものうたについて調べる（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
22	音楽あそびのプログラム作り（3）オノマトペの音表現	様々なオノマトペをどのような音で表現できるか考える（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
23	音楽あそびのプログラム作り（4）曲選びと音作り	プログラムと内容、必要な環境を考える（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
24	ハンドベル（1）楽器を知る	ハンドベルについて調べる（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
25	ハンドベル（2）曲選び	ハンドベルで演奏してみたい曲を考える（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
26	ハンドベル（3）プログラム作り	演奏会全体のプログラムを構想する（0.8時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
27	ハンドベル（4）パート分け	練習する曲を譜読みしておく（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる。（0.5時間）		
28	ハンドベル（5）譜読み	練習する曲の楽譜で、自分が受け持つ音に色を付けておく（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
29	ハンドベル（6）通し稽古	通し稽古をイメージしながら、楽譜を読む（0.5時間）	授業で学修したことをノートにまとめる（0.5時間）		
30	ハンドベル（7）録画	本番をイメージしながら、楽譜を読む（0.5時間）	通し稽古をイメージしながら、楽譜を読む		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	受講態度	50%			
	授業ノート	50%			
備考	爪は短く切って受講すること。 楽器作りのための材料購入が必要となる場合がある。 授業最終回の後、受講ノートを回収する。				
フィードバック	適宜コメントを行う				

科目 コード	64200b	ナンバリング	CAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナール I (造形表現)						
科目英語名							
担当教員	生駒 英法						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1.保育の現場を想定した造形表現に取り組む 2.造形の基礎知識を習得する 3.幼児の造形表現を理解しながら演習を行う						
学修成果 到達目標	1. 保育の現場で発達に応じた造形表現に取り組むことができる 2. 造形の基礎知識を習得できる 3. 造形表現を通して子どもと活動ができる						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オリエンテーション 子どもと造形表現について説明		子どもの造形表現について、どの ようなことができるか、または制 作したいか考えておく (1 時間)		造形表現について整理しておく (1 時間)		
2	海をテーマに造形を考えよう		海の造形についてどのようなも のがあるか考えておく (1 時間)		今回の造形について子どもの前 で行う場合を想定しておく (1 時 間)		
3	ビー玉迷路制作		どのような材料が適しているか 考えてくる (1 時間)		今回制作した内容でどのような 応用ができるか考える (1 時間)		
4	紙版画制作		版画のデザインを考えておく (1 時間)		保育現場で実践する際の注意事 項を整理する (1 時間)		
5	大型シャボン玉を作ろう		保育現場でのシャボン玉遊びの 注意点について考えておく (1 時間)		大型シャボン玉の作り方につい て再度、確認をする (1 時間)		
6	子どもとアート活動 I ① 活動内容を考える		子どもと造形について調べてお く (1 時間)		題材について考えておく (1 時間)		
7	子どもとアート活動 I ② 教材研究		題材アイデアを準備する (1 時間)		題材について確認し、必要画材の 準備 (1 時間)		
8	子どもとアート活動 I ③ 導入準備		造形の導入について調べる (1 時間)		内容の整理をする (1 時間)		
9	子どもとアート活動 I ④ 展開を考える		展開内容を考えておく (1 時間)		修正部分がないか確認する (1 時 間)		
10	子どもとアート活動 I ⑤ まとめ準備		下描きする絵を準備しておく (1 時間)		追加する材料を確認する (1 時間)		
11	子どもとアート活動 I ⑥ 保育現場で制作指導 (学外)		準備した制作内容を再度確認し ておく (1 時間)		子どもとの関わりについて振り 返る (1 時間)		
12	ワークショップ準備① 企画の立案		ワークショップで制作できる造 形を考える (1 時間)		内容の確認をしておく (0.5 時間)		
13	ワークショップ準備② 材料の選択		材料について考える (1 時間)		他の材料についても考えておく (1 時間)		
14	ワークショップ準備③ 画用紙へ下描き		子どもが楽しめるイラストにつ いて調べる (1 時間)		修正部分を確認 (1 時間)		
15	ワークショップ準備④ 色画用紙の準備		色の選定をしておく (1 時間)		色の再確認 (1 時間)		
16	ワークショップ準備⑤ ビーズ小物の準備		ビーズの大きさの選定 (1 時間)		修正部分がないか確認する (1 時間)		

17	ワークショップ準備⑥ 流れの確認	ワークショップの流れを考えておく (1時間)	流れについて再確認 (1時間)		
18	ワークショップ準備⑦ 装飾テーマを考える	ワークショップに合った壁面を考える (1時間)	壁面の修正 (1時間)		
19	ワークショップ準備⑧ 看板のアイデア	会場に置く看板について考える (1時間)	看板の文字について考えておく (1時間)		
20	ワークショップ準備⑨ 装飾準備	装飾の細部を考える (1時間)	修正部分の確認 (1時間)		
21	ワークショップ準備⑩ 注意事項の掲示方法	注意事項について考えておく (1時間)	修正の確認 (1時間)		
22	ワークショップ準備⑪ 装飾掲示	装飾の掲示について考えておく (1時間)	本番の動きについて確認する (1時間)		
23	ワークショップ本番	制作の手順を確認しておく (1時間)	振り返りを行う (1時間)		
24	子どもとアート活動Ⅱ① 活動内容を考える	子どもの造形について考えておく (1時間)	題材を考える (1時間)		
25	子どもとアート活動Ⅱ② 教材研究	アイデアを考える (1時間)	題材を再確認する (1時間)		
26	子どもとアート活動Ⅱ③ 導入準備	導入を考えておく (1時間)	導入の修正 (1時間)		
27	子どもとアート活動Ⅱ④ 展開を考える	展開内容を考えておく (1時間)	修正部分がないか調べておく (1時間)		
28	子どもとアート活動Ⅱ⑤ まとめ	まとめの内容を考えておく (1時間)	全体の流れを確認 (1時間)		
29	子どもとアート活動Ⅱ⑥ 保育現場で制作活動 (学外)	全体の流れを確認 (1時間)	反省・考察をする (1時間)		
30	子どもとアート活動Ⅱ⑦ アプリにて振り返り (ICT活用)	振り返りをまとめる (1時間)	反省、課題について考える (1時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業態度	50%			
	課題への工夫点	30%			
	グループでの協同	20%			
備考					
フィードバック	授業時に適宜コメントする。				

科目 コード	64200c	ナンバリング	CAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナール I (保育内容)						
科目英語名							
担当教員	福鹿 慶子、村田 健治						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	<p>1. 5 領域を意識して保育を計画・実行し、子どもの自発的な遊びを深め、総合的な心身の発達を学ぶ。</p> <p>2. 子どもにとって「よりよい保育」について考え、演習として実際に様々な要素を保育に取り入れ、子どもたちが自ら遊びに関わり展開できる構成を身につける。</p> <p>3. 企画運営をする。</p>						
学修成果 到達目標	<p>1. 子どもを取り巻く環境の変化について分析、検討を行い、子どもの遊びを豊かにする保育技術や方法について検討し、実際に計画・実践できる。</p> <p>2. 振り返りの中から問題を見つけ、問題解決のための分析・計画などの過程について検討し、協働性を生かし、問題解決の方法を相互に再評価し、改善することができる。</p> <p>3. 企画運営をする力を身につけることができる。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス、研究テーマの設定			身近な環境(物的環境)について調べる (0.5 時間)		研究について討議したことをまとめる (1 時間)	
2	身近な環境の構成 植物(草花等)栽培について ①種類 ②栽培方法 等			栽培する (1 時間)		栽培に必要なものを調べる (0.5 時間)	
3	植物(草花)の種まきをする ・プランタ栽培 ・草花の成長に興味・関心を向ける環境をつくる			栽培する草花の栽培方法や子どもが興味・関心を向けるための環境を考える(0.5 時間)		種まきの手順や配慮点をまとめる (1 時間)	
4	草花の成長に興味・関心を向ける展示やネームプレートを作成する			草花のネームプレートや写真を使った掲示のレイアウトを考える(0.5 時間)		作り方や掲示方法の要点などをまとめる (1 時間)	
5	保育室の環境を構成する(春から初夏)			春から初夏の保育室の環境について調べる(0.5 時間)		授業の要点をまとめる (1 時間)	
6	保育室の環境を構成する(春から初夏) 春から初夏の壁面を作成する			壁面の構成(レイアウト)を考える(0.5 時間)		活動を振り返り課題、配慮点を見出す(1 時間)	
7	子どもの表現遊びについて知る			子どもの音楽的表現遊びについて調べる(1 時間)		遊びの内容について情報交換する(1 時間)	
8	音楽を使った表現遊び (手遊び・わらべ歌・触れ合い遊び)			それぞれの遊びを調べる (1 時間)		手遊び・わらべ歌・触れ合い遊びの練習をする(1 時間)	
9	図書館で表現についての教材研究			年齢ごとの表現の実践のプリントに目を通しておく(1 時間)		調べた教材についてまとめておく(1 時間)	
10	表現活動①ペープサート			グループでテーマを決め、ねらいや内容を考えておく		配布資料をまとめておく	
11	表現活動②パネルシアター			年齢別の話を教材研究しておく (1 時間)		グループの資料をまとめシナリオ作成しておく (1 時間)	
12	表現活動③手袋シアター			子どもの発達に応じた手袋シアターの教材研究しておく (1 時間)		グループの配布資料をまとめる (1 時間)	
13	お話の場面の作成①題材選び			年齢別のお話を教材研究しておく (1 時間)		グループの題材についてまとめ、資料を作成しておく	

14	お話し場の制作②パネルシアター及びブラックシアター作成	教材作成に必要な描画材料を準備しておく (1時間)	年齢別のお話を教材研究しておく (1時間)		
15	お話の場面作成③シナリオの制作	グループで練習する (2時間)	グループの題材についてまとめ、資料作成する (1時間)		
16	保育室の環境を再構成する 壁面構成をする (初秋)	壁面のデザインや構成を考える (1時間)	壁面構成のポイントをまとめる (1時間)		
17	イベントの企画する	企画を考える (1時間)	材料の素材や量を考える (1時間)		
18	お話の場面の作成④色をぬる	グループでアイデアを出す (1時間)	グループの題材をまとめ資料作成する (1時間)		
19	お話の場面制作⑤小道具を作る	材料や素材を考える (0.5時間)	作成ポイントをまとめる (1時間)		
20	お話の場面作成⑥ 発表練習	シナリオを読んでおく (0.5時間)	各自練習する (1時間)		
21	お話の場面作成⑦ 全体発表練習	セリフを読み合わせする (1時間)	グループで発表練習をする (1時間)		
22	学内外の自然に触れ、自然物を採取する 学内や護国神社を散策し、自然の変化を感じる 自然物を採取したり、見つけた自然物の名前を調べる	身近な自然 (樹木・草花等) の変化を調べる (1時間)	事前物について調べたことをまとめる (1時間)		
23	自然物を使った遊び	秋の自然物やそれを使った遊びについて調べる (1時間)	遊びに必要な用具や材料を準備する 遊びについてさらに調べる (1時間)		
24	壁面の再構成 冬の壁面を作成する	デザインや構成を考える (1時間)	作成のポイントをまとめる (1時間)		
25	季節を感じる制作をする① (クリスマスに向けて)	季節感や子どもの興味にあった制作活動を考える (1時間)	材料の素材や色彩など考えそろえる (1時間)		
26	制作活動をする	材料や素材の量を考える (0.5時間)	活動を振り返りまとめる (1時間)		
27	ポートフォリオ作成	展示の方法を調べる (0.5時)	ポートフォリオ作成のポイントをまとめる (1時間)		
28	季節を感じる制作をする② (正月に向けて)	季節感や子どもの興味にあった制作活動を考える (0.5時間)	材料の素材や量を考える (1時間)		
29	制作活動を行う	材料の素材や量を考える (1時間)	活動の振り返りをまとめる (1時間)		
30	活動を振り返り活動について討議する	活動を振り返り、成果や課題をまとめる (1時間)	次年度に向けて討議の内容や要点をまとめ、レポート作成する (1時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	授業内で必要に応じて適宜資料を配布する				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業態度	50%	積極性、授業参加姿勢		
	授業内レポート	50%	理解度及び考察力		

備考	
フィード バック	classroom を活用してのレポートのフィードバック

科目コード	64200d	ナンバリング	CAC110	単位数	2単位	開講時期	2023年度前期、 2023年度後期
科目名	ゼミナールⅠ（自然と遊び）						
科目英語名							
担当教員	宇山 恵子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	情報化等の社会環境の変化により、子どもが自然と直接触れ合う経験が少なくなっていることから、幼児期における自然との関わりは非常に重要である。そのため、子どもの自然環境への関わりを促し、援助する保育者の養成において植物栽培を取り入れ、五感で植物の変化を観察することにより感性を磨き、そこで得た発見や感動を保育に取り入れ、子どもにとって魅力ある環境づくりができる知識技術について学修する。さらに、振り返りの中から課題を見つけ、課題解決のための分析や計画・実行等の検討過程を通して、課題解決能力を身に付ける。						
学修成果到達目標	<p>1. 植物栽培や収穫物の活用等、子どもの遊びを豊かにする環境づくりの技術や方法について検討し、実際に計画・実践できる。</p> <p>2. 振り返りの中から課題を見つけ、課題解決のための分析や計画等の過程について検討し、協働性を生かし、課題解決の方法を相互に再評価し、改善することができる。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 学内農園、自然広場、大型花壇の案内			幼稚園や保育所等での、自然を使った遊びについて調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
2	植物栽培（その1） 各種野菜・草花のたねまき かん水の仕方・ラベル記入法			たねまきの準備をする（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
3	園庭管理（その1） 大型花壇の手入れ、小花壇の整地			花壇に適する草花を調べまとめる。（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する。（1時間）	
4	植物栽培（その2） 植物の分類法と作物計画の立て方			図鑑などを用いて野菜・草花を調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
5	植物栽培（その3） 畝の準備、除草の仕方 栽培用具の使い方と灌水の仕方			畑に生えてる雑草について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
6	植物栽培（その4） 鉢上げの仕方、鉢の種類とサイズ			鉢について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
7	植物栽培（その5） さつま芋の苗の植え付け			さつま芋の苗の植え方について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
8	植物栽培（その6） 定植と支柱の立て方 マルチの使い方、張り方			定植の準備をする。マルチの種類について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
9	園庭管理（その2） 花壇の制作			花壇の形について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記を作成する（1時間）	
10	植物栽培（その7） 整枝と誘引の仕方			整枝と誘引の仕方を調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
11	植物栽培（その8） 果樹、イチゴ等の管理の仕方			イチゴの育て方について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
12	収穫物の活用（その1） ハーブ等の活用の仕方			ハーブの、料理以外の使い方について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
13	園庭管理（その3） 植物栽培（その9） 除草と肥料の施し方			草花と野菜に与える肥料の種類について調べ、まとめる（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	
14	自然物を活用したオーナメント作り（その1） 竹の加工			製作の準備（1時間）		本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）	

15	植物栽培（その10） 除草・片付け 収穫物の活用（その2） 果菜類の試食と相互評価	試食の準備と相互評価のための資料を作成する（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
16	植物栽培（その11） 各冬野菜・草花の種まき	たねまきの準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
17	園庭管理（その4） 草花の手入れ、切り戻し 植物栽培（その12） 除草・植え付け準備	土壌改良材について調べ、まとめる（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
18	植物栽培（その13） 鉢上げ	鉢上げの準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
19	収穫物の活用（その3） へちまたわしの作成	へちまの活用法を調べ、まとめる（1時間）	
20	植物栽培（14） 定植・マルチ	定植とマルチの準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
21	収穫物の活用（その4） おもちゃかぼちゃでハロウィン彫刻の仕方	ハロウィンかぼちゃの図案を調べ、まとめる（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
22	園庭管理（その5） 庭木の手入れの仕方	学内に植えてある木の種類を調べ、まとめる（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
23	植物栽培（その15） 中耕・追肥	中耕と肥料の準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
24	園庭管理（その6） 庭木の剪定・手入れ	手入れの準備。剪定・手入れの準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
25	植物栽培（その16） 各種農作物の収穫の仕方	収穫の準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する。（1時間）
26	収穫物の活用（その5） 焼き芋等の作り方	焼き芋の準備をする（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
27	園庭管理（その7） 自然広場（ビオトープの管理と活用）	自然広場（ビオトープ）に植えてある植物を調べ、まとめる（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
28	活動発表のプレゼンテーションの準備の仕方	プレゼン資料を作成するための資料を収集する（1時間）	
29	1年間の活動発表の仕方と相互評価	発表の進行計画を構築する（1時間）	本時の活動を振り返り、実習記録簿を作成する（1時間）
30	1年間の振り返りと改善	ふりかえりと改善のための資料を作成する（1時間）	これまでの学びをまとめ、レポートを作成する（1時間）

試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	授業時に資料を配布する			0	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	平常点	50%	受講姿勢、実践活動、課題の提出などを含む		
	実習記録簿	30%			
	理解度	20%			
備考	1. 自然環境に目を配り、四季の変化や植物の成長に伴う変化に気付ける観察力・洞察力を身に付けるため、常に自然環境に意識を向けておくこと。				

	<ol style="list-style-type: none">2. 使用する用具や道具は責任を持って取り扱うこと。3. 学内農園等で実習する時は、作業に適した服装（帽子、ズボン、長靴等）で出席すること。
フィード バック	<ol style="list-style-type: none">1. 授業時に適宜コメントする。2. 提出した実習記録簿は、コメントを付けて次の時間に返却する。

科目コード	64200f	ナンバリング	CAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナール I (子育て支援)						
科目英語名							
担当教員	河村 信子,松本 充史						
資格・免許との関連	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指すうえで、保護者支援や子どもの発達に応じた個別対応の専門性を深める選択科目						
学修内容	保育士や幼稚園教諭として仕事をする上で、一人一人の子どもの個別の発達に応じた支援の在り方を学ぶとともに、保護者支援の現状を理解し、支援方法の実際を学ぶ。また、親子の子育て支援として、絵本の読み聞かせ等の保育技術を習得する。						
学修成果到達目標	1.親子支援の現状について実際に理解する 2.子どもの一人一人の発達に応じた支援の在り方を理解する 3.保護者支援の実際について学ぶ 4.親子支援のための実践活動を企画運営する						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 子育て支援の意義を学ぶ			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
2	子育て支援の基本的価値について理解する			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
3	子育て支援の倫理について理解する			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
4	子育て支援の基本姿勢について① 1.家庭や地域の社会資源との連携の実際			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
5	子育て支援の基本姿勢について② 2.保育者の専門性について理解を深める			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
6	子育て支援の基本姿勢について③ 3.保護者との相互理解の促進への理解を深める			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
7	1.子育て支援センターでの活動 (1) ー子育て支援に役立つコミュニケーション技法を学ぶ 2.子育て広場 (あそびのひろば) の企画運営準備 (1) ーあそびのひろば企画検討			事前配布資料の学習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
8	1.子育て支援センターでの活動 (2) ー絵本の読み聞かせ技術の習得 2.子育て広場 (あそびのひろば) の企画運営準備 (2) ーあそびのひろば企画検討			絵本の選書と読み聞かせの練習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
9	1.子育て支援センターでの活動 (3) ー絵本の読み聞かせの実践 2.子育て広場 (あそびのひろば) の企画運営準備 (3) ーあそびのひろば企画書作成			読み聞かせの練習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
10	1.子育て支援センターでの活動 (4) ーパネルシアターの実践 2.子育て広場 (あそびのひろば) の企画運営準備 (4) ーあそびのひろば企画決定			遊び内容を調べておく (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
11	1.子育て支援センターでの活動 (5) ー親子「自然ふれあい遊び」の実践から学ぶ 2.子育て広場 (あそびのひろば) の企画運営準備 (5) ーあそびのひろば企画内容の製作 (役割分担)			遊び内容の実践練習 (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	
12	1.子育て支援センターでの活動 (6) ー親子「表現遊び」の実践から学ぶ 2.子育て広場 (あそびのひろば) の企画運営準備 (6) ーあそびのひろば企画内容の製作 (進捗状況の確認)			意見をまとめておく (1 時間)		授業内容のまとめ (1 時間)	

13	1.子育て支援センターでの活動まとめ ーディスカッション 2.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備（7） ーあそびのひろば企画内容の製作（内容の修正）	意見をまとめておく（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
14	子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備（8） ーあそびのひろば企画内容の製作（リハーサル）	意見をまとめておく（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
15	前期の振り返りとまとめ 今後の課題についての検討	意見をまとめておく（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
16	子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作 （グループディスカッション） 参加者アンケートの作成	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
17	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作 （グループ別プレゼンテーション） 2.子育て支援センターでの活動 （Aグループ参加者による実践報告）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
18	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作（企画内容の確認） 2.子育て支援センターでの活動 （Bグループ参加者による実践報告）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
19	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作（内容の検討） 2.子育て支援センターでの活動 （Cグループ参加者による実践報告）	事前配布資料の学習（1時間）	
20	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作（内容の実践） 2.子育て支援センターでの活動 （Dグループ参加者による実践報告）	意見をまとめておく（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
21	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作（実践の振り返り） 2.子育て支援センターでの活動 （Eグループ参加者による実践報告）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
22	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作（内容の再検討） 2.子育て支援センターでの活動 （Bグループ参加者による実践報告）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
23	1.子育て広場（あそびのひろば）の企画運営準備 ーあそびのひろば企画内容の製作（内容の評価） 2.子育て支援センターでの活動 （まとめと振り返り）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
24	「あそびのひろば」運営会議 ー当日役割分担等の確認	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
25	「あそびのひろば」運営会議 ー当日進行表の確認（全体リハーサル）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
26	「あそびのひろば」開催（第1回実施）	事前配布資料の学習（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
27	「あそびのひろば」開催（第2回実施）	実践企画書の作成（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
28	「あそびのひろば」反省会・まとめ	実践報告書の作成（1時間）	
29	「あそびのひろば」記録まとめ	実践報告書の作成（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）
30	全体総括 学びの成果と課題の整理	意見をまとめておく（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）

試験	レポート試験				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	資料を適宜提示する				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	資料を適宜提示する				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業の参加態度（積極性、リーダーシップ、協調性）	50%	積極性、リーダーシップ、協調性と総合的に評価する		
	課題レポート	50%	授業内容し、自己課題の考察について評価する		
備考	幼児教育者として「子育て支援」に向けて、専門性を磨きたいという意欲のある学生の受講を望みます				
フィード バック	1.授業時に適宜コメントを返す 2.リフレクションペーパーを通して振り返る 3.レポート評価は、希望者に開示する				

科目コード	64200g	ナンバリング	CAC110	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナール I (幼児体育)						
科目英語名							
担当教員	杉島 尚徳						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	幼児期の運動遊びを豊かにするために必要とされる基本的な知識や技能の習得に向けて、幼児期の運動機能の発達や特徴、運動指導を行う際に必要とされる各運動の補助の仕方、多様な動きが経験できるようなさまざまな運動遊びについて学習する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児期における身体活動の現状と問題点について説明することができる。 2. 幼児期における運動の意義について説明することができる。 3. 多様な動きを含む運動遊びプログラムを立案し、指導することができる。 						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	幼児期における身体活動を取りまく諸問題 (子どもたちの現状)		幼児体育について知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
2	幼児期における身体活動を取りまく諸問題 (発達の段階)		幼児体育について知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
3	運動遊びを展開する保育者として必要な基礎知識		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
4	運動遊びを展開する保育者として必要な観察の視点		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
5	実践指導場面の観察の振り返り		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
6	運動遊びプログラムの「計画—実行—検討 (反省)」の過程		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
7	運動遊び (5 歳児) の観察		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
8	実践指導場面の指導者と環境構成		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
9	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムの作成		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
10	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムの実践指導		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
11	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムの実践指導の振り返り		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		
12	運動パターンの 3 分類		運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)		次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)		

13	運動パターンとバリエーション	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
14	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの作成	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
15	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの実践指導	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
16	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの実践指導の振り返り	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
17	「体を移動する動き」を意識した運動遊びプログラムの作成	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
18	「体を移動する動き」を意識した運動遊びプログラムの実践指導	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
19	「体を移動する動き」を意識した運動遊びプログラムの実践指導の振り返り	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
20	「用具などの操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの作成	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
21	「用具などの操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの実践指導	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
22	「用具などの操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの実践指導の振り返り	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
23	運動遊びの指導における安全管理と安全教育の視点	経験した運動遊びについて復習しておく (0.5 時間)	これまでの内容を総復習する (0.5 時間)
24	「あそびのひろば」イベントの企画立案と運動遊びプログラムの作成	「あそびのひろば」イベントの企画内容を考えておく (0.5 時間)	「あそびのひろば」イベントの企画内容が適切か精査する (0.5 時間)
25	「あそびのひろば」イベントにおける運動遊びプログラムの発表①	「あそびのひろば」イベントにおける発表の準備をする (0.5 時間)	「あそびのひろば」イベントにおける発表の振り返り (0.5 時間)
26	「あそびのひろば」イベントにおける運動遊びプログラムの発表②	「あそびのひろば」イベントにおける発表の準備をする (0.5 時間)	「あそびのひろば」イベントにおける発表の振り返り (0.5 時間)
27	「あそびのひろば」イベントの振り返りとプレゼンテーション	「あそびのひろば」イベントの振り返りをまとめプレゼンテーションの準備をする (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
28	リレーを題材にした運動プログラムの実践指導	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
29	リレーを題材にした運動プログラムの実践指導の振り返り	運動遊びについて知っている知識を調べておく (0.5 時間)	次の授業内容を確認し、運動遊びについての理解を深める (0.5 時間)
30	総まとめ	経験した運動遊びについて総復習しておく (0.5 時間)	これまでの内容を総復習する (0.5 時間)
試験	プレゼンテーション・発表		

教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	プレゼンテーション	60%	授業内容を踏まえて自らの言葉で話せているか評価する。		
	授業内での討議（グループ・ディスカッション、グループワーク）	40%	リーダーシップや協調性、コミュニケーション能力を評価する。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・実技を行うことが多いため体調を整えておくこと。 ・実技を行う際は実技に適した服装及び室内シューズを着用すること。 				
フィードバック	授業内にて適宜コメントする。				

科目コード	64210a	ナンバリング	CAC230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナールⅡ（音楽表現）						
科目英語名							
担当教員	村上 優						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	1. 保育・教育の場を想定した音楽表現に取り組む。 2. ピアノ以外の楽器の発音原理を理解し、アンサンブルに生かす。 3. 器楽演奏以外の音楽表現に取り組む。						
学修成果到達目標	1. 保育者・教育者として必要なピアノや他の楽器の演奏技術を身に付け、積極的に演奏することができる。 2. 自分自身が自由な発想で音楽や演奏を楽しみ、保育・教育に生かすことができる。 3. 保育・教育における器楽演奏以外の音楽表現について、様々なアイデアを出すことができる						
授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間			
1	オリエンテーション 童話・民話を題材とした音楽作品（1）オペラ作品	童話・民話に基づいたオペラ作品について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
2	童話・民話を題材とした音楽作品（2）バレエ作品	童話・民話に基づいたバレエ作品について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
3	童話・民話を題材とした音楽作品（3）歌曲作品	童話・民話に基づいた歌曲作品について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる。（0.5時間）			
4	童話・民話を題材とした音楽作品（4）器楽作品	童話・民話に基づいた器楽作品について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
5	童話・民話を題材とした音楽作品（5）オーケストラ作品	童話・民話に基づいたオーケストラ作品について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
6	ピコトイズ（1）基本操作	ピコトイズについて調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
7	ピコトイズ（2）リズム	自分の好む音楽の特徴をまとめる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
8	ピコトイズ（3）コード入力	様々なコードの響きを確認しておく（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
9	ピコトイズ（4）メロディづくり	モチーフを考えておく（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
10	ピコトイズ（5）ことば、効果音の入力	使いたい言葉や効果音を考えておく（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
11	ピコトイズ（6）仕上げと書き出し	今までの作成物を確認し、修正したい部分があればチェックしておく（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる。（0.5時間）			
12	Chrome music Lab（1）リズム	Chrome music lab のリズム機能について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
13	Chrome music lab（2）ソングメーカー	Chrome music lab のソングメーカー機能について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
14	Chrome music lab（3）共有ピアノ	Chrome music lab の共有ピアノ機能について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
15	Chrome music lab（4）カンディンスキー	Chrome music lab のカンディンスキー機能について調べる（0.5時間）		学修したことをノートにまとめる（0.5時間）			
16	効果音の作り方（1）既存の専門道具	芝居などで効果音を付けるための道具を調べる（0.5時間）		ミーティング内容をノートにまとめる（0.5時間）			
17	効果音（2）身近なもので作る効果音	身近なもので作ることでできる効果音について調べる（0.5時間）		授業で学修したことをノートにまとめる。注意点を書き出しておく（0.5時間）			

18	効果音（３）ストーリー作り	自分の使いたい効果音に、どのようなシチュエーションがふさわしいか考えておく（0.5時間）	気をつける点を振り返って、最終仕上げをする（0.2時間）		
19	効果音（４）音入れ	効果音を入れる場所を確認し、緩急などの変化を考えておく（0.5時間）	制作過程・発表で注意すべき点や改善点をノートに書きだしておく（0.7時間）		
20	合奏（１）曲目の検討	成果報告会で演奏する曲目を考えておく（0.5時間）	候補曲と報告会の構想をノートにまとめる（0.5時間）		
21	合奏（２）曲目の決定	候補曲を見直し、組み合わせる曲などを考えておく（0.5時間）	決定の経緯などをノートにまとめる（0.5時間）		
22	合奏（３）編成決め	どのような楽器がふさわしいか考えておく（0.5時間）	自分の受け持つパートの音を楽譜上でチェックする（0.5時間）		
23	合奏（４）パート決め	楽譜を見て、自分の挑戦したいパートを考える（0.5時間）	実際に音を出して難しかった箇所や注意すべき箇所をチェックし直す（0.5時間）		
24	合奏（５）効果音	曲にふさわしい効果音や、効果音を入れる場所を考えておく（0.5時間）	決定した効果音、入れる場所を楽譜上に書き込む（0.5時間）		
25	合奏（６）練習	自分の受け持つパートを練習しておく（0.5時間）	難しかった箇所や注意すべき箇所をチェックし、復習する（0.5時間）		
26	合奏（７）通し稽古	全体の流れを思い出しながら、自分のパートを練習しておく（0.5時間）	改善点をノートにまとめる（0.5時間）		
27	合奏（８）中間発表	本番を想定して、自分のパートを練習しておく（0.5時間）	考えた構成と内容を基に、スライドの概案を考える（0.5時間）		
28	振り返り（１）２年間の活動について	２年間の活動についてノートを見ながら復習しておく（0.5時間）	スライドを完成させる（0.5時間）		
29	振り返り（２）スライド作成	発表の流れを考え、スライドの構成を考えておく（0.5時間）	自分が受け持つスライドの原稿を完成させる（0.5時間）		
30	振り返り（３）原稿作成	スライドに沿って、原稿を作成する（0.5時間）	注意すべき点を踏まえて、全体の流れを思い出しながら復習する（0.5時間）		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	受講態度	50%			
	授業ノート	50%			
備考	爪は短く切り、過度なアクセサリやネイルアートは避けること。 できるだけ不織布マスクを着用すること。（皮膚炎など場合を除く） 小物制作などのための材料購入が必要になる場合がある。 最終授業で受講ノートを回収する。				
フィードバック	授業内で適宜評価を返す				

科目 コード	64210b	ナンバリング	CAC230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナールⅡ（造形表現）						
科目英語名							
担当教員	生駒 英法						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	幼児の表現遊びとその活動についての考え方を理解し、実践的な体験を通して表現活動における指導法を学ぶ。						
学修成果 到達目標	1. 子どもの発達に応じた造形を取り入れた遊びができる。 2. 作品の内容・構成を理解して表現活動に活かすことができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	幼児とアート活動Ⅰ① 活動内容の検討	幼稚園教育要領、保育所保育士 新、幼保連携型認定こども園教 育・保育要領から「表現」が目指 すものに目を通しておく (1 時間)		「表現」のねらい、内容につ いて整理しておく (1 時間)			
2	幼児とアート活等Ⅰ② 教材研究	教材について調べておく (1 時間)		グループで調べた教材内容 について情報交換をしてお く (1 時間)			
3	幼児とアート活動Ⅰ③ 導入準備	導入を考えておく (1 時間)		導入を再度、確認しておく (1 時間)			
4	幼児とアート活動Ⅰ④ 展開を考える	展開を考える (1 時間)		修正などないか考えておく (1 時間)			
5	幼児とアート活動Ⅰ⑤ まとめを考える	まとめについて考えておく (1 時間)		修正箇所がないか確認する (1 時間)			
6	幼児とアート活動Ⅰ⑥ 材料準備	使用する材料について調べてお く (1 時間)		材料の整理をする (1 時間)			
7	幼児とアート活動Ⅰ⑦ 色画用紙準備	使用する色画用紙を確認する (1 時間)		他に必要な材料がないか考 えておく (1 時間)			
8	幼児とアート活動Ⅰ⑧ 活動の流れを検討	活動の流れを確認する (1 時間)		流れをまとめておく (1 時間)			
9	幼児とアート活動Ⅰ⑨ 模擬練習	全体の流れを把握しておく (1 時 間)		修正箇所を確認 (1 時間)			
10	幼児とアート活動Ⅰ⑩ 保育現場にてアート活動 (学外)	準備物を各自確認 (1 時間)		活動の振り返りをする (1 時間)			
11	幼児とアート活動Ⅰ⑪ 振り返り	反省・考察点をまとめておく (1 時間)		次回に活かせるように整理 しておく (1 時間)			
12	幼児とアート活動Ⅱ① 活動内容を考える	前回の活動を生かして内容を考 えておく (1 時間)		活動内容を整理する (1 時間)			
13	幼児とアート活動Ⅱ③ 教材研究	材料を考えておく (1 時間)		その他、適した材料がないか 調べておく (1 時間)			
14	幼児とアート活動Ⅱ④ 導入準備	導入を考えておく (1 時間)		導入に必要な材料を考えて おく (1 時間)			
15	幼児とアート活動⑤ 展開の準備	展開内容を考えておく (1 時間)		展開の内容を再度確認 (1 時間)			
16	幼児とアート活動Ⅱ⑥ まとめの準備	まとめについて考えておく (1 時間)		グループの資料を作成して おく (1 時間)			
17	幼児とアート活動⑦ 見本作品準備	見本作品を考えておく (1 時間)		修正部分がないか確認して おく (1 時間)			

18	幼児とアート活動Ⅱ⑧ 画用紙等の準備	必要材料を確認しておく (1時間)	全体の動きを整理しておく (1時間)		
19	幼児とアート活動Ⅱ⑨ 道具の整理	必要な道具を調べる (1時間)	不足している道具を確認 (1時間)		
20	幼児とアート活動Ⅱ⑩ アプリにて作品の選定 (ICT活用)	作品の選定をしておく (1時間)	作品の確認をしておく (1時間)		
21	幼児とアート活動Ⅱ⑪ 全体の流れを確認	活動の流れを整理する (1時間)	修正についてまとめておく (1時間)		
22	幼児とアート活動Ⅱ⑫ 練習	導入の練習をしておく (1時間)	修正や確認をしておく (1時間)		
23	幼児とアート活動Ⅱ⑬ 保育現場でアート活動 (学外)	活動練習をしておく (1時間)	反省・考察点をまとめる (1時間)		
24	幼児とアート活動Ⅱ⑭ まとめ	反省・考察についてまとめる (1時間)	他の意見をまとめる (1時間)		
25	報告会準備① 「工夫点」についてまとめる	「工夫点」について考える (1時間)	修正箇所の確認 (1時間)		
26	報告会準備② 「学んだこと」をまとめる	「学んだこと」を考えておく (1時間)	保育現場で生かせらように 整理しておく (1時間)		
27	報告会準備③ スライド作成	文章を確認 (1時間)	スライド修正 (1時間)		
28	報告会準備④ 写真を貼り付け	写真の選定 (1時間)	修正部分を確認 (1時間)		
29	報告会準備⑤ 総合リハーサル	リハーサル準備をしておく (1時間)	役割分担をしておく (1時間)		
30	報告会準備⑥ 動画の修正	最終確認をしておく (1時間)	実践について反省評価をし ておく (1時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業態度	50%			
	発表の姿勢	30%			
	グループでの協同	20%			
備考	1 常に造形に興味を持ち続けること。 2 課題習得のための練習を計画的に行うこと。				
フィード バック	授業時に適宜、質問に答える。				

科目 コード	64210c	ナンバリング	CAC230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナールⅡ (保育内容)						
科目英語名							
担当教員	福鹿 慶子/村田 健治						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>1. 各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組む。</p> <p>2. 発達に応じた保育内容とその展開について理解を深めることができる。</p> <p>3. 乳幼児の表現遊びとその活動についての考え方を理解し、実践的な体験を通して表現活動における指導法を学ぶ。</p>						
学修成果 到達目標	<p>1. 5領域が総合的に関連し、子どもが成長・発達していくことを遊びの理解を通して認識することができる。</p> <p>2. あびを指導する保育者の役割について、保育実践事例を通して理解・考察を深め、保育者としての実践力を獲得することができる。</p> <p>4. 作品の内容・構成を理解して表現活動に活かすことができる。</p>						
授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	オペレッタ表現 1 保育現場での音楽の活用方法を考える		幼稚園教育要領、保育所保育士新、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から「表現」が目指すものに目を通しておく (1 時間)		「表現」のねらい、内容について整理しておく (1 時間)		
2	オペレッタ表現 2 子どもの表現遊びについて知る		子どもの音楽的表現遊びについて調べておく (1 時間)		グループで調べた遊びの内容について情報交換をしておく (1 時間)		
3	オペレッタ表現 3 背景 (城) 作成		オペレッタの背景について調べておく (1 時間)		オペレッタの背景について再度、調べておく (1 時間)		
4	オペレッタ表現 4 背景 (城の中) の作成		場面に合った背景を調べておく (1 時間)		背景の修正などないか考えておく (1 時間)		
5	オペレッタ表現 5 段ボールへ貼り付け作業		シーン別の背景の作成を考える (1 時間)		背景の細かい部分の作成案を調べておく (1 時間)		
6	オペレッタ表現 6 小道具製作 (花畑)		使用する小道具について調べておく (1 時間)		小道具のアイデアを整理する (1 時間)		
7	オペレッタ表現 6 小道具製作 (鏡など)		シーン別の使用小道具を調べておく (1 時間)		他に必要な小道具がないか考えておく (1 時間)		
8	オペレッタ表現 7 小道具製作 (結婚式場)		身に着ける小道具を調べておく (1 時間)		調べた教材についてまとめておく (1 時間)		
9	オペレッタ表現 8 衣裳作成		作成する衣裳を調べておく (1 時間)		衣裳に必要な生地を考えておく (1 時間)		
10	オペレッタ表現 9 登場人物の A 衣裳作成		衣裳作成に必要なものを考えておく (1 時間)		衣裳に必要なものを調べておく (1 時間)		
11	オペレッタ表現 10 登場人物 B の衣裳作成		衣裳の細かい部分を調べておく (1 時間)		他に必要な衣裳がないか考えておく (1 時間)		
12	オペレッタ表現 11 台本作成		物語を再度読んでおく (1 時間)		台詞と物語を整理しておく (1 時間)		
13	オペレッタ表現 12 台詞の作成		物語と台本を読んでおく (1 時間)		台詞を読みなおしておく (1 時間)		
14	オペレッタ表現 13 台本の読み合わせ		台本の整理をしておく (1 時間)		子どもにも伝わるような文になっているか確認しておく (1 時間)		
15	オペレッタ表現 14 台本の細かい修正作業		各自の役を練習しておく (1 時間)		台詞練習をしておく (1 時間)		

16	オペレッタ表現 15 発表練習 (シーン1)	グループの練習をしておく (1時間)	グループの資料を作成して おく (1時間)		
17	オペレッタ表現 16 発表練習 (シーン2)	各自役の練習をしておく (1時間)	台詞の修正部分がないか確 認しておく (1時間)		
18	オペレッタ表現 16 発表練習 (シーン3)	各自、舞台での動きを考えておく (1時間)	全体の動きを整理しておく (1時間)		
19	オペレッタ表現 17 発表練習 (シーン4)	各自、台詞の練習をしておく (1時間)	授業の内容をまとめる (0.5時間)		
20	オペレッタ表現 18 効果音の選定	効果音の選定をしておく (1時間)	効果音の確認をしておく (1時間)		
21	オペレッタ表現 19 挿入曲の選定	ピアノや楽器の演奏の練習をし ておく (1時間)	挿入曲の課題についてまと めておく (1時間)		
22	オペレッタ表現 20 発表練習 (効果音、挿入曲に合わせて練習)	台詞の練習をしておく (1時間)	台詞の修正や確認をしにお く (1時間)		
23	オペレッタ表現 21 本番に合わせた練習	ピアノや楽器の演奏の練習をし ておく (1時間)	ピアノや楽器の演奏の練習 をしておく (1時間)		
24	オペレッタ表現 22 全体を通して練習	台本を読んでおく (1時間)	舞台に必要な道具をそろえ ておく (1時間)		
25	オペレッタ表現 23 発表	台本を読んでおく (1時間)	発表の課題について整理し ておく (1時間)		
26	オペレッタ表現 24 事後反省会	発表の振り返りをしておく (1時間)	保育現場で生かせらように 整理しておく (1時間)		
27	成果発表会準備 1 オペレッタ発表の流れをまとめる	オペレッタ発表会で準備した資 料をまとめておく (1時間)	発表のふり返りについてま とめておく (1時間)		
28	成果発表会準備 2 パワーポイントで作成	成果発表会の流れを考えておく (1時間)	授業内容をまとめる (0.5 時間)		
29	成果発表会準備 3 総合リハーサル	リハーサル準備をしておく (1時間)	役割分担をしておく (1時間)		
30	成果発表会	最終確認をしておく (1時間)	実践について反省評価をし ておく (1時間)		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
				0	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業態度	60%	積極性		
	レポート課題	40%	理解度・考察力		
備考	1 常に音楽に興味を持ち続けること。 2 課題習得のための練習を計画的に行うこと。				
フィード バック					

科目 コード	64210f	ナンバリング	CAC230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナールⅡ（子育て支援）						
科目英語名							
担当教員	松本 充史						
資格・免許 との関連	保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指すうえで、保護者支援や子どもの発達に応じた個別対応の専門性を深める 選択科目						
学修内容	保育士や幼稚園教諭として仕事をする上で、一人一人の子どもの個別の発達に応じた支援の在り方を学ぶとともに、保護者支援の現状を理解し、支援方法の実際を学ぶ。また、親子の子育て支援として、絵本の読み聞かせ等の保育技術を習得する。						
学修成果 到達目標	1. 親子支援の現状について実際に理解する 2. 子どもの一人一人の発達に応じた支援の在り方を理解する 3. 保護者支援の実際について学ぶ 4. 親子支援のための実践活動を企画運営する						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 実践研究テーマについてディスカッション			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
2	実践研究テーマを決定する			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
3	里親の会について学ぶ			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
4	子育て支援企画の検討（1） 里親の会「クリスマス会」の実施について			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
5	子育て支援企画の検討（2） 「あそびのひろば」の実施について			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
6	1. 里親の会イベント企画準備（企画） 2. 事例検討会（学生 AB の発表）			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
7	1. 里親の会イベント企画準備（検討） 2. 事例検討会（学生 CD 発表）			事前配布資料の学習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
8	1. 里親の会イベント企画準備（企画書作成） 2. 事例検討会（学生 EF の発表）			事前資料の予習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
9	子育て支援センターでの活動 子育て講座（親子体操）への参加			事前資料の予習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
10	子育て支援センターでの活動 子育て講座（音楽ワーク）への参加			遊び内容を調べておく（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
11	子育て支援センターでの活動 子育て講座（食育ワーク）への参加			遊び内容の実践練習（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
12	子育て支援センターでの活動 子育て講座（読み聞かせ）への参加			絵本を調べておく（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
13	里親の会イベント企画準備（個人制作）			事前資料を学ぶ（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
14	里親の会イベント企画準備（グループ制作）			事前資料を学ぶ（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
15	前期の振り返りとまとめ 今後の課題についての検討			意見をまとめておく（1 時間）		授業内容のまとめ（1 時間）	
16	成果報告会の準備（ディスカッション）			自己課題をまとめる（1 時間）		自己課題をまとめる（1 時間）	
17	成果報告会の準備（企画検討）			事前資料を学ぶ（1 時間）		授業内容をまとめる（1 時間）	
18	成果報告会の準備（企画内容決定・役割分担）			事前資料を学ぶ（1 時間）		事前資料を学ぶ（1 時間）	
19	成果報告会の準備（レジュメ作成）			事前資料を学ぶ（1 時間）		事前資料を学ぶ（1 時間）	
20	里親の会イベント準備（個人準備）			資料の作成（1 時間）		資料のまとめ（1 時間）	
21	里親の会イベント準備（グループ準備）			資料のまとめ（1 時間）		資料のまとめ（1 時間）	

22	里親の会イベント準備（全体準備）	資料のまとめ（1時間）	資料のまとめ（1時間）		
23	里親の会打ち合わせ （児童相談所等との全体会）	資料の確認（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）		
24	里親の会イベントの振り返り	自己課題をまとめる（1時間）	授業内容のまとめ（1時間）		
25	成果報告の準備（全体討議）				
26	成果報告の準備（修正点の確認）	資料の準備（1時間）	資料のまとめ（1時間）		
27	成果報告の準備（全体まとめ）	資料の準備（1時間）	資料のまとめ（1時間）		
28	全体ディスカッション	自己課題のまとめ	授業のまとめ（1時間）		
29	まとめと振り返り	事前資料を学ぶ（1時間）	授業のまとめ（1時間）		
30	成果報告会全体リハーサル	事前資料を学ぶ（1時間）	反省点の確認（1時間）		
試験	プレゼンテーション・発表				
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	資料を適宜提示する				
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	資料を適宜提示する				
成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	授業の参加態度（積極性、リーダーシップ、協調性）	50%	積極性、リーダーシップ、協調性について評価する		
	レポート発表	50%	授業内容を理解できているかを評価する		
備考	幼児教育者として「子育て支援」に向けて、専門性を磨きたいという意欲のある学生の受講を望みます				
フィード バック	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業時に適宜コメントを返す 2. リフレクションペーパーを通して振り返る 3. レポート評価は、希望者に開示する 				

科目コード	64210g	ナンバリング	CAC230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期、 2023 年度後期
科目名	ゼミナールⅡ（幼児体育）						
科目英語名							
担当教員	畑野 裕子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択科目						
学修内容	幼少期の運動遊びを豊かにするために必要とされる基本的な知識や技能を子どもが習得することの必要性を理解し、子どもが安全に楽しく体を動かすための指導上の工夫や手立て、発達の特性に応じた運動指導の方法や具体的な援助の仕方について実践的に学習する。						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが安全についての理解を深めながら、安全に楽しく遊べる環境を整えることができる。 2. 子どもが自発的に体を動かして遊びたくなるように環境構成を工夫することができる。 3. 発達の特性や興味・関心に応じた運動遊びプログラムを立案し、指導することができる。 4. 仲間と協働して活動に取り組むことができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	幼児期における身体活動の課題と運動の意義	幼児期運動指針の内容を確認する (0.5 時間)	次回以降の実技に向けて服装等の準備を行う (0.5 時間)				
2	さまざまな運動パターンとバリエーションを引き出す環境	これまで学修した運動遊びについて再確認する (0.5 時間)	運動パターンとバリエーションを引き出す環境と援助について再確認する (0.5 時間)				
3	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムの作成① (プログラムの決定)	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムを 3 つ以上考える (0.5 時間)	決定した運動プログラムについて再確認する (0.5 時間)				
4	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムの作成② (安全対策、運動援助の内容)	前回決定した運動プログラムにおける安全対策について考える (0.5 時間)	安全対策と援助方法について再確認する (0.5 時間)				
5	5 歳児を対象とした運動遊びプログラムの指導実践リハーサル	リハーサルの練習を行う (0.5 時間)	良かった点と改善点を再確認する (0.5 時間)				
6	5 歳児を対象とした運動遊びプログラム指導実践	指導実践のための準備を行う (0.5 時間)	指導実践の良かった点と悪かった点を振り返る (0.5 時間)				
7	5 歳児を対象とした運動遊びプログラム指導実践の振り返り	前回指導の悪かった点の改善策を考える (0.5 時間)	構想と実際の指導における成果と課題を再確認する (0.5 時間)				
8	5 歳児の運動遊びの援助に必要な保育実践力と自己評価	5 歳児の運動遊びの援助に必要な保育実践力について考える (0.5 時間)	5 歳児の運動遊びの援助に必要な保育実践力の自己・他者評価を再確認する (0.5 時間)				
9	運動遊びにおける子どもの自発性と保育者の意図	実習中に見てきた子どもの伸び伸びと遊ぶ姿を思い出す (0.5 時間)	学修内容を再確認し、目指す保育者像について考える (0.5 時間)				
10	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの作成① (プログラムの決定)	「体のバランスをとる動き」の運動遊びプログラムを 3 つ以上考える (0.5 時間)	決定した運動プログラムについて再確認する (0.5 時間)				
11	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの作成② (安全対策、運動援助の内容)	運動遊びプログラムと援助・指導方法、安全対策について考える (0.5 時間)	決定したプログラム内容と援助・指導方法について再確認する (0.5 時間)				
12	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの指導実践リハーサル	リハーサルの練習を行う (0.5 時間)	良かった点と改善点を再確認する (0.5 時間)				
13	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの指導実践	指導実践のための準備を行う (0.5 時間)	指導実践の良かった点と悪かった点を振り返る (0.5 時間)				
14	「体のバランスをとる動き」を意識した運動遊びプログラムの指導実践の振り返り	前回の運動プログラムの具体的な改善案について考える (0.5 時間)	構想と実際の指導における成果と課題を再確認する (0.5 時間)				

15	「体を移動する動き」「用具を操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの作成①（プログラムの決定）	これまで経験してきた「体を移動する」「用具を操作する」運動遊びを振り返る（0.5時間）	「体を移動する動き」「用具を操作する動き」のバリエーションについて考える（0.5時間）		
16	「体を移動する動き」「用具を操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの作成②（安全対策、運動援助の内容）	運動遊びプログラム、援助・指導方法、安全対策について考える（0.5時間）	決定したプログラム内容と援助・指導方法について再確認する（0.5時間）		
17	「体を移動する動き」「用具を操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの指導実践リハーサル	指導内容を再確認し、リハーサルの練習を行う（0.5時間）	改善点を再確認する（0.5時間）		
18	「体を移動する動き」「用具を操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの指導実践	指導のシミュレーションを行う（0.5時間）	良かった点と改善点について考察する（0.5時間）		
19	「体を移動する動き」「用具を操作する動き」を意識した運動遊びプログラムの指導実践の振り返り	前回の運動プログラムの具体的な改善案について考える（0.5時間）	構想と実際の指導における成果と課題を再確認する（0.5時間）		
20	子どもの主体的な活動を支える環境と保育者の役割	これまでの運動遊びプログラムにおける子どもの姿について思い出す（0.5時間）	子どもが安心して楽しんで遊ぶことができる環境について考察する（0.5時間）		
21	大型の運動遊具を使った運動プログラムの作成	運動遊びプログラムと援助・指導方法、安全対策について考える（0.5時間）	決定したプログラム内容と援助・指導方法について再確認する（0.5時間）		
22	大型の運動遊具を使った運動プログラムの指導実践	指導のシミュレーションを行う（0.5時間）	良かった点と改善点について考察する（0.5時間）		
23	大型の運動遊具を使った運動プログラムの指導実践の振り返り	前回の運動プログラムの具体的な改善案について考える（0.5時間）	構想と実際の指導における成果と課題を再確認する（0.5時間）		
24	安全に楽しく遊べる環境づくりと運動指導のポイント及び保育者の役割	これまでのプログラムにおける安全対策と危険性について再確認する（0.5時間）	学修したこと、考えたことを再確認する（0.5時間）		
25	幼児期の運動遊びを支える保育者の協働	これまでの運動指導における保育者の連携について振り返る（0.5時間）	運動遊びの構想と指導における保育者の連携の重要性について再確認する（0.5時間）		
26	成果報告会にむけて（発表内容に関するディスカッション）	これまでの指導実践を振り返り、印象深かったこと、良かったことと反省点を記録する（0.5時間）	ディスカッションした内容を整理する（0.5時間）		
27	成果報告会にむけて（発表内容の検討）	発表の構成と発表する内容、役割について考える（0.5時間）	発表内容を再確認する（0.5時間）		
28	成果報告会にむけて（発表資料の作成）	発表資料をつくる（0.5時間）	発表資料を修正する（0.5時間）		
29	成果報告会にむけて（発表の練習①）	発表の練習をする（0.5時間）	改善点をもとに発表原稿を修正する（0.5時間）		
30	成果報告会にむけて（リハーサル）、全体を通した振り返りと相互評価	リハーサルの準備をする（0.5時間）	これまでの内容を総復習する（0.5時間）		
試験					
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	必要に応じて資料を配布する			0	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育と幼児期の運動遊び	岩崎洋子, 吉田伊津美, 朴淳香, 鈴木康弘	萌文書林	9784893472748	
	幼児期運動指針実践ガイド	日本発育発達学会	杏林書院	9784764411531	

	評価方法	評価割合	評価基準など
成績評価 方法・基準	指導実践に関わる実技および指導実践 への取組	60%	到達目標に照らし合わせて評価する
	課題	20%	到達目標に照らし合わせて評価する
	他者との協働性	20%	到達目標に照らし合わせて評価する
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・講義だけでなく実技も行うので、体調を整え、授業に参加してください。 ・授業内容に適した服装および各施設に応じたシューズを着用してください。 ・当日の気候に応じて、熱中症予防のための水分補給の準備、防寒対策を各自してきてください。 ・仲間と協力して楽しい雰囲気の中で授業を進めるために、仲間と積極的にコミュニケーションをとり、自分の意見を言う、他者の意見を受け止めることができるようにしてください。 		
フィード バック	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出とフィードバックは saho navi を使って行います。 ・課題以外のフィードバックは授業内で適宜行います。 		

科目コード	65016	ナンバリング	CKAG105	単位数	0.00 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育実習指導（幼稚園） 1-地小						
科目英語名	Guidance Practice Teaching (elementary) 1-地小						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	本科目では、教育実習の事前指導において、実習の意義や目標、必要な心構えについて理解を深め、指導案を作成して模擬保育を実施する等、実践的な準備を行う。事後指導では、教育実習を通して学んだことを確認・評価し、自己課題を分析し、幼稚園教諭としての自覚と意識づけを図る。						
学修成果到達目標	1. 幼稚園における実習の意義、目的、内容、方法を理解し、実践的な準備ができる。 2. 実習後の振り返りをとおして、自己の成長と課題を認識し、課題の達成にむけて積極的に取り組むことができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	概要の理解、教育実習への心構え、等を学ぶ 幼稚園教育実習目標について学ぶ			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義内容復習(0.5 時間) 実習目標作成	
2	幼稚園生活の流れ、子ども理解、保育者の役割等を学ぶ 実習個人票作成			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義内容を復習(0.5 時間) 個人票作成	
3	実習日誌の書き方について			ハンドブック予習(0.5 時間)		実習日誌を書く(0.5 時間)	
4	オリエンテーションの受け方			ハンドブック予習(0.5 時間)		オリエンテーション報告書 作成(1 時間)	
5	観察実習・参加実習・部分実習について			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義の内容を復習(1 時間)	
6	教育実習の1日の流れについて			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義の内容を復習(0.5 時間)	
7	実習目標の設定について			ハンドブック予習(0.5 時間)		実習目標を作成する(1 時間)	
8	教材研究・課題研究（造形）			教材研究をする(造形)(1 時間)		教材研究(ゲーム・運動遊び)(1 時間)	
9	教材研究・課題研究（ゲーム・運動遊び）			教材研究(ゲーム・運動遊び)(1 時間)		講義の内容を復習する(0.5 時間)	
10	実習日誌の書き方（子どもの姿・保育目標）			ハンドブック予習（0.5 時間）		実習日誌の課題作成(1 時間)	
11	部分指導案の書き方			ハンドブック予習(0.5 時間)		部分指導案「絵本読みの読み聞かせ」作成（1 時間）	
12	部分指導案の作成（絵本の読み聞かせ）			ハンドブック予習(0.5 時間)		「部分指導案」（手遊び）作成（1 時間）	
13	部分指導案の作成（手遊びを中心に）			ハンドブック予習(0.5 時間)		「部分指導案」の修正(1 時間)	
14	オリエンテーション報告書の作成について			ハンドブック予習（0.5 時間）		オリエンテーション報告書の修正(1 時間)	
15	実習事後指導			ハンドブック予習(0.5 時間)		実習事後レポートの作成(1 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	2022 年度入学生用実習ハンドブック	奈良佐保短期大学 地域こども学科					
	実習ハンドブック【幼稚園】	奈良佐保短期大学 地域こども学科					
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーバル館	9784577814475			

	幼保連携型認定こども園保育 指導要領解説	内閣府、文部科学 省、厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	実習事後レポート		20%		
	課題(保育教材・実習名札作成、保育記録、 実習目標)		60%		
	授業参加姿勢		20%		
備考	原則として、欠席・遅刻は認められません。本授業を履修しないと実習に参加できないので留意して下さい。 実習終了後補講を2・3講程度(実習振り返り・個別面談など)行う				
フィード バック	保育指導案・実習目標については、提出後添削、指導をおこない返却する。				

科目コード	65017	ナンバリング	CKAG120	単位数	0.00 単位	開講時期	2023 年度後期、2024 年度前期
科目名	教育実習指導（小学校） 1-地小						
科目英語名	Guidance Practice Teaching (kindergarten) 1-地小						
担当教員	樹下 堅、信田 和則						
資格・免許との関連	小学校教員免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 教育実習の目的と意義を理科する。 2. 教育実習への主体的な取り組みを通じて、小学校教育の目的・内容を実践的に理解する。 3. 教材研究と模擬授業（計画・実践・省察・改善）を積み重ね、授業実践の準備を進める。 4. 教育実習の心構えを理解し、事務連絡及び諸手続きを行う。						
学修成果到達目標	1. 教育実習の目的と意義を説明し、実習生として自らの問題意識や課題を説明することができる。 2. 教育実習に意欲的に取り組み、その経験を踏まえて小学校教育の目的・内容を理解し、教職を目指す上での課題を説明することができる。 3. 授業づくりに必要な教材研究と学習指導案作成と通じて授業実践に備えるとともに、その省察から授業改善のポイントを探り、説明することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	オリエンテーション 実習の心構えと教育実習の認定要件			奈良佐保短期大学の実習ハンドブックを読んでおく（0.5 時間）		実習の心構えについてまとめる（0.5 時間）	
2	教育実習で何を学ぶか 教員になってやってみたいこと 教育実習の目的 教育実習の流れ			教育実習の目的及び教員になってやってみたいことをまとめておく（0.5 時間）		授業内容のまとめ（0.5 時間）	
3	小学校の組織及び校務分掌 地域との連携			事前配付資料を読んで予習する（0.5 時間）		校務分掌についてまとめる（0.5 時間）	
4	教員の仕事 1 学習指導、授業デザイン、教材研究（授業ビデオから学ぶ）			学習指導要領 p.15～27 を読んでおく 独立行政法人教職員支援機構の「学習指導要領の読み解き方：校内研修シリーズ No63」を視聴する（1 時間）		教材研究の方法についてまとめる（0.5 時間）	
5	教育実習に向けて 教員のモラル、サービスと不祥事 SNS、個人情報			教員の不祥事について調べておく（0.5 時間）		個人情報の取り扱いについて、その注意点をまとめる（0.5 時間）	
6	教員の仕事 2 指導案、板書、ICT 活用			事前配付資料を読んで予習する（0.5 時間）		ICT を活用してみたい授業画面を考える（0.5 時間）	
7	学級へのかかわり 1 学級経営、学習指導、生徒指導			初めて子どもと出会う日に、担任として子どもたちに話したい内容を考えておく（0.5 時間）		学級経営で大切なことをまとめる（0.5 時間）	
8	学級へのかかわり 2 学習指導ホームルーム、清掃指導、休み時間、危機管理、防災教育			休み時間に発生する可能性がある事故をしておく 独立行政法人教職員研修機構の「リスクマネジメント ～学校の危機をいかに防ぐか～：校内研修シリーズ No44」を視聴する（1 時間）		学校危機管理についてまとめる（0.5 時間）	
9	保健指導、給食指導 保護者とのかかわり			独立行政法人教職員支援機構の「学校における感染症対策の在り方：校内研修シリーズ No85」を視聴する（1 時間）		保護者対応で大切にすることをまとめる（0.5 時間）	
10	特別な支援を要する子どもへのかかわり			独立行政法人教職員支援機構の「多様な学びの支援 ～新学習		特別支援教育で大切にしたいことをまとめる（0.5 時間）	

		指導要領「障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫」を実現するために～：校内研修シリーズ No77」を視聴する（1時間）	
11	授業を観る 授業から学ぶ（授業ビデオ）	算数科学習指導要領の当該学年の目標及び内容を読んでおく（0.5時間）	模擬授業を行う単元を決めておく（0.5時間）
12	教材研究、指導案作成（グループワーク）	関係単元の学習指導要領を読む 関係単元の教科書を調べる（0.5時間）	指導案を作成してくる（0.5時間）
13	教材研究、指導案について討議（グループワーク）	指導案と教科書および学習指導要領を読み比べる（0.5時間）	指導案修正 模擬授業の準備（学習材の作成等）（0.5時間）
14	模擬従業1回目 発表とグループ討議	模擬授業の練習（0.5時間）	模擬授業の修正（0.5時間）
15	模擬授業2回目 発表及びグループワーク	模擬授業の練習（0.5時間）	模擬授業の振り返りをまとめる（0.5時間）
16	教育実習の心構え 事前オリエンテーションについて	事前配付資料を読む（0.5時間）	授業内容のまとめ（0.5時間）
17	実習先を知る 実習先の情報を収集する	実習校の状況を調べる（0.5時間）	授業内容のまとめ（0.5時間）
18	実習目標設定	事前配付資料を読む（0.5時間）	授業目標完成（0.5時間）
19	実習日誌の書き方	事前配付資料を読む（0.5時間）	授業内容のまとめ（0.5時間）
20	実習日誌の事例から学ぶ	事前配付資料を読む（0.5時間）	授業内容のまとめ（0.5時間）
21	各教科の指導案の書き方	事前配付資料を読む（0.5時間）	指導案完成（0.5時間）
22	教育実習の礼状の書き方	事前配付資料を読む（0.5時間）	礼状を書く（0.5時間）
23	礼状の修正	事前配付資料を読む（0.5時間）	礼状の完成（0.5時間）
24	教育実数の省察と記録化（グループワーク・セッション）	事前配付資料を読む（0.5時間）	記録をまとめる（0.5時間）
25	教育実習の省察と記録化（レポートをもとにクロス・セッション）	事前配付資料を読む（0.5時間）	報告資料完成（0.5時間）
26	教育実習成果報告書の作成	事前配付資料を読む（0.5時間）	報告書完成（0.5時間）
27	教育実習成果報告会	報告練習（0.5時間）	報告会考察まとめ（0.5時間）
28	教育実習成果報告書の修正	修正点を考えておく（0.5時間）	修正箇所を確認（0.5時間）
29	教職実践演習に向けて	教職実践演習報告会にむけての発表準備（0.5時間）	教職実践演習報告会まとめ（0.5時間）
30	履修カルテについて	事前配付資料を読む（0.5時間）	全授業の振り返り（0.5時間）

試験

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書	小学校学習指導要領	文部科学省	東洋館出版	9784491034607	
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	実習ハンドブック：学外実習（保育所・施設・幼稚園・小学校）の基本	奈良佐保短期大学 地域こども学科			

成績評価 方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など		
	模擬授業	20%	授業展開力を評価		
	指導案	20%	構想力を評価		
	授業態度	20%	積極的な参加を評価		
	授業ごとの振り返り	20%	授業内容の理解を評価		
	報告書	20%	実習についての考察力を評価		
備考	教育実習指導（小学校）を履修しないと教育実習（小学校）参加は不可 「教職実践演習」（後期）を履修すること				
フィード バック	授業の振り返りは、次回の授業までに返却する。 saho navi や Classroom などを活用し資料の掲示をし、提出された課題のフィードバックを行う。				

科目コード	65120	ナンバリング	CKAG115	単位数	0 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育実習（幼稚園） 1-地小						
科目英語名	Practice Teaching (kindergarten)						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目 小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習の目的と意義を理解する。 2. 教育実習に意欲的に取り組み、幼児教育の目的・内容を体験的に理解する。 3. 実地実習に必要な教材研究を通して積極的に保育技術を身につける。 4. 教育実習の心構え、注意点を理解し、実修に向けての事務連絡及び諸手続きを行う。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育実習を通して、幼児理解に基づいた指導案を作成し、取り組んだ内容について自らふり返り、自己の向上に努めることができる。 2. 教育実習を通して、幼稚園の社会的役割や機能、幼稚園教諭の倫理観や使命感について、具体的な実践を通して理解し、説明できるようになる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
<p>1 年次に 1 週間、配属園で実施します。</p> <p>原則として観察・参加実習（前半）を行います。指導実習では、まず部分実習（朝の会や帰りの会、遊びの場面など）を経験します。実習時は、毎日、実習日誌を記載し、考察を行います。</p>				<p>実習にかかわる事前準備（毎日数時間程度）</p>	<p>実習日誌および指導案等の作成・振り返り（毎日数時間程度）</p>		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	2022 年度入学者用実習ハンドブック						
	2022 年度入学者実習ハンドブック						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475			
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	文部科学省・厚生労働省・内閣府	フレーベル館	9784577814499			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	実習園の評価	50%					
	記録簿の評価	40%					
	実習態度	10%	実習に取り組む姿勢				
備考							
フィードバック							

科目コード	65116	ナンバリング	CHAF115	単位数	0.00 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育実習指導 I (幼稚園) 1-地						
科目英語名	Guidance Practice Teaching I (kindergarten) 1-地						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	本科目では、教育実習の事前指導において、実習の意義や目標、必要な心構えについて理解を深め、指導案を作成して模擬保育を実施する等、実践的な準備を行う。事後指導では、教育実習を通して学んだことを確認・評価し、自己課題を分析し、幼稚園教諭としての自覚と意識づけを図る。						
学修成果到達目標	1. 幼稚園における実習の意義、目的、内容、方法を理解し、実践的な準備ができる。 2. 実習後の振り返りをとおして、自己の成長と課題を認識し、課題の達成にむけて積極的に取り組むことができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	概要の理解、教育実習への心構え、等を学ぶ 幼稚園教育実習目標について学ぶ			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義内容復習(0.5 時間) 実習目標作成	
2	幼稚園生活の流れ、子ども理解、保育者の役割等を学ぶ 実習個人票作成			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義内容を復習(0.5 時間) 個人票作成	
3	実習日誌の書き方について			ハンドブック予習(0.5 時間)		実習日誌を書く(0.5 時間)	
4	オリエンテーションの受け方			ハンドブック予習(0.5 時間)		オリエンテーション報告書 作成(1 時間)	
5	観察実習・参加実習・部分実習について			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義の内容を復習(1 時間)	
6	教育実習の1日の流れについて			ハンドブック予習(0.5 時間)		講義の内容を復習(0.5 時間)	
7	実習目標の設定について			ハンドブック予習(0.5 時間)		実習目標を作成する(1 時間)	
8	教材研究・課題研究 (造形)			教材研究をする(造形)(1 時間)		教材研究(ゲーム・運動遊び)(1 時間)	
9	教材研究・課題研究 (ゲーム・運動遊び)			教材研究(ゲーム・運動遊び)(1 時間)		講義の内容を復習する(0.5 時間)	
10	実習日誌の書き方 (子どもの姿・保育目標)			ハンドブック予習 (0.5 時間)		実習日誌の課題作成(1 時間)	
11	部分指導案の書き方			ハンドブック予習(0.5 時間)		部分指導案「絵本読みの読み聞かせ」作成 (1 時間)	
12	部分指導案の作成 (絵本の読み聞かせ)			ハンドブック予習(0.5 時間)		「部分指導案」(手遊び)作成 (1 時間)	
13	部分指導案の作成 (手遊びを中心に)			ハンドブック予習(0.5 時間)		「部分指導案」の修正(1 時間)	
14	オリエンテーション報告書の作成について			ハンドブック予習 (0.5 時間)		オリエンテーション報告書の修正(1 時間)	
15	実習事後指導			ハンドブック予習(0.5 時間)		実習事後レポートの作成(1 時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	2022 年度入学生用実習ハンドブック	奈良佐保短期大学 地域こども学科					
	実習ハンドブック【幼稚園】	奈良佐保短期大学 地域こども学科					
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475			

	幼保連携型認定こども園保育 指導要領解説	内閣府、文部科学 省、厚生労働省	フレーベル館	9784577814499	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	実習事後レポート		20%		
	課題(保育教材・実習名札作成、保育記録、 実習目標)		60%		
	授業参加姿勢		20%		
備考	原則として、欠席・遅刻は認められません。本授業を履修しないと実習に参加できないので留意して下さい。 実習終了後補講を2・3講程度(実習振り返り・個別面談など)行う				
フィード バック	保育指導案・実習目標については、提出後添削、指導をおこない返却する。				

科目 コード	65117	ナンバリング	CHAF205	単位数	0.00 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育実習指導Ⅱ（幼稚園） 2-地						
科目英語名	Guidance Practice TeachingⅡ（kindergarten） 2-地						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許 との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 教育実習の目的と意義を理解する。 2. 教育実習に意欲的に取り組み、幼児教育の目的・内容を体験的に理解する。 3. 実地実習に必要な教材研究を通して積極的に保育技術を身につける。 4. 教育実習の心構え、注意点を理解し、実修に向けての事務連絡及び諸手続きを行う。						
学修成果 到達目標	1. 教育実習を通して、幼児理解に基づいた指導案を作成し、取り組んだ内容について自ら振り返り、自己の向上に努めることができる。 2. 教育実習を通して、幼稚園の社会的役割や機能、幼稚園教諭の倫理観や使命感について、具体的な実践を通して理解し、説明できるようになる。						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	第1段階振り返りと実習に向けての準備について 実習目標について 実習個人票作成		実習記録簿の第1段階の日々の記録の各項目について見直す(1時間)		1段階の実習を踏まえて実習目標を考え作成する(1時間)		
2	保育指導案の作成について 3・4・5歳児の実態・発達に応じた活動とは 実習園へのオリエンテーション日程や必要検査について		各年齢の発達や保育内容について調べる(1時間)		3歳児の保育指導案を作成する(1時間) 実習園へのオリエンテーション日程調整		
3	模擬保育（3歳児） 3歳児を対象とした模擬保育を行う 模擬保育についてグループ討議を行う		3歳児の保育指導案を仕上げ、保育細案を作成するとともに、保育準備を行う(1時間)		3歳児の保育について、課題や改善点について整理し指導案を修正する(1時間)		
4	模擬保育（4歳児） 4歳児を対象とした模擬保育を行う 模擬保育についてグループ討議を行う		4歳児対象の保育指導案を仕上げ、保育細案を作成するとともに、保育準備を行う(1時間)		模擬保育やグループ討議より重要な点や課題等をまとめ、保育指導案を修正する(1時間)		
5	模擬保育（5歳児） 5歳児を対象とした模擬保育を行う 模擬保育についてグループ討議を行う		指導計画を作成しておく(1時間)		自作教材のポイントと指導案の修正をしておく(1時間)		
6	模擬保育（3・4歳児） 3・4歳児を対象とした模擬保育を行う 模擬保育についてグループ討議を行う		自分が選択した教材の展開を考える(1時間)		指導案の見直しと取り組む活動のポイントの整理(1時間)		
7	模擬保育（5歳児） 5歳児を対象とした模擬保育を行う 模擬保育についてグループ討議を行う		実習事前準備を確認しておくこと(1時間)		実習グループの連絡方法や通勤方法、連絡方法等確認しておく(1時間)		
8	実習中及び実習事後の留意点について 実習中の緊急連絡方法・実習事後の提出課題について 健康観察票等健康観察について		実習の振り返りをし、評価・課題をまとめる(1時間)		自己評価票を通して実習の振り返りと実習園へのお礼状の作成をしておく(1時間)		
9	実習記録簿のまとめと提出について		実習記録簿の学びと各項目を仕上げる(1時間)		記録簿の見直しと実習園への提出をしておく(1時間)		
10	実習の振り返り（グループワーク）		記録簿を通しての学びをまとめておく（1時間）		授業内での内容をまとめる（1時間）		
11	事後レポートをまとめる 実習事後面談（1グループ）		レポートの事例の視点を考えておく(1時間)		エピソードからの学びをまとめておく（1時間）		
12	実習第1段階、第2段階を通して自己課題について 実習事後面談（2グループ）		記録簿の各項目を整理しておく（1時間）		実習の自己課題についてまとめておく(1時間)		
13	実習事後レポート作成 実習事後面談（3グループ）		レポート作成に向けて要点をまとめておく(1時間)		まとめ提出する(1時間)		

14	実習事後レポートをもとにグループ討議	報告の視点をまとめておく(1時間)	グループの課題と学びをまとめておく(1時間)		
15	まとめとふり返り 授業内容や課題についてフィードバックを行う	自己課題を振り返る(1時間)	教師として必要な専門性と実践力について自分自身の課題を明確にする(1時間)		
試 験					
教科書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	2022 年度入学用実習ハンドブックー学外実習の基本				
	2022 年度入学生用実習ハンドブック【幼稚園】				
参考書	書 名	著 者	出版社	ISBN	備 考
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館		
	実習の記録と指導案:0~5歳児年齢別実習完全サポート 記入に役立つ 保育がわかる(改訂新版)	山本 淳子	ひかりのくに	9784564609107	
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	文部科学省・厚生労働省・内閣府	フレーベル館		
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	模擬保育		40%	模擬保育保評価・保育指導案評価・保育準備評価等	
	課題内容		20%	実習目標・お礼状等	
	授業態度		20%		
	事後レポート		20%	理解度・考察	
備 考					
フィードバック	模擬保育においては、授業内で評価・指導を行う。 指導案・提出課題においては次の授業に返却する。 classroom に授業資料・課題の配信、返却を行う。				

科目コード	65135a	ナンバリング	CHAF115	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育実習 I 1-地						
科目英語名	Practice Teaching I						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	1. 教育実習の目的と意義を理解する。 2. 教育実習に意欲的に取り組み、幼児教育の目的・内容を体験的に理解する。 3. 実地実習に必要な教材研究を通して積極的に保育技術を身につける。 4. 教育実習の心構え、注意点を理解し、実修に向けての事務連絡及び諸手続きを行う。						
学修成果到達目標	1. 教育実習を通して、幼児理解に基づいた指導案を作成し、取り組んだ内容について自らふり返り、自己の向上に努めることができる。 2. 教育実習を通して、幼稚園の社会的役割や機能、幼稚園教諭の倫理観や使命感について、具体的な実践を通して理解し、説明できるようになる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	1 年次に1 週間、2 年次に3 週間、配属園で実施します。 原則として観察・参加実習（前半）を経て、指導実習（後半）を行います。指導実習では、まず部分実習（朝の会や帰りの会、遊びの場面など）を経験し、実習最終段階で一日の指導を任される全日実習を行います。実習時は、毎日、実習日誌を記載し、考察を行います。			実習にかかわる事前準備 （毎日数時間程度）	実習日誌および指導案等の作成・振り返り（毎日数時間程度）		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	2022 年度入学者用実習ハンドブック						
	2022 年度入学者実習ハンドブック						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475			
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	文部科学省・厚生労働省・内閣府	フレーベル館	9784577814499			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	実習園の評価	50%					
	記録簿の評価	40%					
	実習態度	10%	実習に取り組む姿勢				
備考							
フィードバック							

科目コード	65136	ナンバリング	CHAF215	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	教育実習Ⅱ 2・地						
科目英語名	Practice TeachingⅡ						
担当教員	吉田 香代子、村田 健治						
資格・免許との関連	幼稚園教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	<p>本実習は、幼稚園における保育・教育の実際について体験的・主体的に学ぶことを目的とする。具体的には、次の4点を挙げる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと幼稚園教育について実践的に学ぶ。 2. 既習の教科全体の知識・技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用力を養う。 3. 学習課題を発見するとともに、理論的に学んだことを実践的に確かめる。 4. 幼稚園教育への意欲と関心を高め、教師としての意志と適性を確認する。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもに対する理解を深めることができる。 2. 幼稚園教諭の職務内容を理解することができる。 3. 幼稚園教諭としての基本的な保育技術を習得することができる。 4. 幼稚園の果たしている役割や機能、運営について理解することができる。 5. 幼稚園教諭としての職業倫理および職責を自覚することができる。 						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<p>1年次に1週間、2年次に3週間、配属園で実施します。 原則として観察・参加実習（前半）を経て、指導実習（後半）を行います。指導実習では、まず部分実習（朝の会や帰りの会、遊びの場面など）を経験し、実習最終段階で一日の指導を任される全日実習を行います。 実習時は、毎日、実習日誌を記載し、考察を行います。</p>			<p>実習にかかわる事前準備 （毎日数時間程度）</p>	<p>実習日誌および指導案等の作成・振り返り（毎日数時間程度）</p>		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼稚園教育実習ハンドブック						
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼稚園教育要領解説	文部科学省	フレーベル館	9784577814475			
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説	文部科学省・厚生労働省・内閣府	フレーベル館	9784577814499			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	実習園評価	50%					
	実習記録簿評価	40%					
	実習態度	10%					
備考	<p>「教育実習指導Ⅱ（幼）」を受講しておくこと。 履修後は「保育・教職実践演習」を受講すること。</p>						
フィードバック							

科目コード	65214	ナンバリング	CHAF135	単位数	0.00 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育実習指導 I (保育所) 1-地						
科目英語名	Guidance Nursery Training I (nursery) 1-地						
担当教員	福鹿 慶子、生駒 英法						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	1. 保育所実習の目的と意義を理解する。 2. 保育実習に意欲的に取り組み、保育実習の目的・内容を理解する。 3. 自己を振り返り、自己の課題を明確にする。 4. 保育実習の心構え、注意点を理解し、実習に向けての事務連絡及び諸手続きを行う。						
学修成果到達目標	1. 保育所実習の意義や目標を説明することができる。 2. 実習準備に意欲的に取り組むことができる。 3. 保育実習の内容を理解し、実習することができる。 4. 保育実習の心構えや必要な知識を身につけ実習することができる。						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	保育実習の目的・目標について			全国保育士会倫理綱領を熟読する(1時間)		保育者として必要なことは何かについて調べる(1時間)	
2	保育士の役割について学ぶ			ハンドブックを読む(1時間)		保育士の役割についてまとめる(1時間)	
3	保育所の役割について学ぶ			保育所の役割について調べる(1時間)		保育所の役割についてまとめる(1時間)	
4	実習目標について オリエンテーション 記録簿の書き方			記録簿を整える(1時間)		実習目標を完成させる(2時間)	
5	子どもの発達と理解 (0, 1 歳児)			0,1 歳児の発達について調べる(1時間)		0,1 歳児の発達についてまとめる(1時間)	
6	子どもの発達と理解 (2, 3 歳児)			2,3 歳児の発達について調べる(1時間)		2,3 歳児の発達についてまとめる(1時間)	
7	子どもの発達と理解 (4, 5 歳児)			4,5 歳児の発達について調べる(1時間)		4,5 歳児の発達についてまとめる(1時間)	
8	模擬保育 (乳児)			乳児の指導案作成(1時間)		模擬保育での反省・課題の検討(1時間)	
9	模擬保育 (幼児)			幼児の指導案作成(1時間)		模擬保育での反省・課題の検討(1時間)	
10	実習生としての心構え			実習生としての身なりを整える(1時間)		実習での設定保育の準備(1時間)	
11	直前指導・事後指導について			指導案の再構成を行う(1時間)		実習準備を行う(1時間)	
12	事後指導ー実習振り返り			実習自己評価作成(1時間)		実習自己評価見直し(1時間)	
13	事後指導ー実習振り返り (グループディスカッション)			実習でのエピソードをまとめる(1時間)		実習施設の評価やグループの意見等を基に課題を整理する(1時間)	
14	事後指導ー今後の課題と目標明確化			実習でのエピソードをまとめる(1時間)		自己課題を明確にし、保育実習Ⅱに向けての目標を設定する(1時間)	
15	保育実習Ⅱに向けて			実習での課題をまとめる(1時間)		実習の目標設定(2時間)	
試験							
教科書	書名		著者		出版社		ISBN
	実習ハンドブッカー学外実習(保育所・施設・幼稚園・小学校)の基本		本学作成				

	実習ハンドブック【保育所】	本学作成			
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育用語辞典		ミネルヴァ書房		
	保育指導案百科事典		一藝社	9784863590410	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	模擬保育（指導案評価、保育評価、準備物等）		40%	模擬保育指導案、準備等の評価	
	課題内容		20%	実習目標、指導案、教材研究等の評価	
	事後レポート		20%	理解度及び考察力	
	授業態度		20%	積極性、授業参加姿勢	
備考					
フィードバック	授業時に随時コメントする				

科目コード	65215	ナンバリング	CHAF150	単位数	0.00 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育実習指導 I (施設) 1-地						
科目英語名	Guidance Nursery Training I (facility) 1-地						
担当教員	松本 充史、河村 信子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>保育施設実習の意義や目的を理解し、実習に向けた目的意識を高め、課題を持って実習に取り組むことができるように、基本的な知識、技能、態度について学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設実習の意義と目的を理解する 2. 事前学修として福祉施設について理解する 3. 施設で生活する利用者を理解する 4. 実習の目標と課題を明確にする。 5. 実習日誌の書き方を学ぶ。 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習（施設実習）の意味を理解し、施設専門職の業務や専門性を理解できるようになる。 2. 施設保育士の役割、業務、態度、知識、技術、専門性、職業倫理について理解できる。 3. 社会的養護や障害福祉等の現状や課題について理解を深める。 4. 児童福祉施設における保育実践を理解する。 5. 施設内外における他職種とのチームワーク、他機関・施設との機関連携が理解できる。 6. 実習現場で観察及び記録ができ、自己覚知ができる。 						
	授業計画		事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	施設実習の意味と意義（オリエンテーションを含む）		保育実習で自分が行いたいことのイメージを作成する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
2	保育実習指導 I a の学びの内容、施設の概要説明		大学における既習事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
3	保育士の業務の理解 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
4	乳児院・児童養護施設の理解 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
5	障がい児・者施設の理解 (ICTを活用した動画コンテンツによる事例紹介)		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
6	実習記録の書き方（記録の意味）		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
7	実習施設とのオリエンテーションに備えた連絡と説明 (予防接種等の事務連絡を含む)		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
8	実習施設におけるアクションプラン		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する。(0.5時間)		
9	施設実習の心構え		当該授業で学修した内容を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
10	実習懇談会（2回生による実習先説明）		2回生に聞きたいことを調べ、整理する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
11	実習懇談会の振り返り		実習懇談会で得た資料を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
12	実習日誌の書き方		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
13	遊びの意味と部分実習 1		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
14	遊びの意味と部分実習②		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
15	守秘義務（プライバシー保護）		教科書の該当事項を確認する(0.5時間)		授業で学修したことを整理する(0.5時間)		
試験							

	書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書	考え、実践する施設実習	浦田雅夫	保育出版社	9784905493167	
	実習ハンドブッカー学外実習 (保育所・施設・幼稚園・小学校)の基本一	地域こども学科			
	保育実習ハンドブック【施設編】	地域こども学科			
	書名	著者	出版社	ISBN	備考
参考書	幼保連携型認定こども園 教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		20%	受講姿勢、積極性を評価する	
	授業毎の課題		40%	授業内容を理解しているか評価する	
	授業内での演習		20%	授業内容を理解しているか評価する	
	実習事後レポート		20%	実習事後に振り返りが行えているか評価する	
備考	日ごろから新聞等で社会福祉の記事に目を向けるなど関心をもつこと				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				

科目コード	65205a	ナンバリング	CHAF145	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育実習 I (保育所) 1-地						
科目英語名	Nursery Training I (nursery)						
担当教員	福鹿 慶子、生駒 英法						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	保育所の保育士として必要な資質・能力・技術を習得する						
学修成果到達目標	1. 保育所の役割と保育士の職務について説明できる。 2. 保育所の生活に参加し、乳幼児への理解を深めることができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
	本科目は、2週間(実習時間 80 時間以上)の保育所における「保育所実地実習」(1回生 12 月)及び、実習に関わる「事前・事後指導」から構成される。実習指導は、保育実習 I 保育所実地実習に向けた具体的事項を学習する保育実習指導 I (保育所)の講義を受ける。 事後指導は、実地実習の振り返りを行うとともに、事後レポート作成等を行う。 なお、単位が認定されるには保育実習指導 I (保育所)に合格していなければならない。			実習先調べ学習 実習目標作成		実習自己評価票作成 実習事後レポート作成	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	実習施設の成績		50%				
	記録簿の評価		40%				
	実習態度(取り組む姿勢等)		10%				
備考							
フィードバック							

科目コード	65206	ナンバリング	CHAF155	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	保育実習 I (施設) 1-地						
科目英語名	Nursery Training I (facility)						
担当教員	松本 充史、河村 信子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための必修科目						
学修内容	<p>保育実習指導 I (施設) の科目は、当該実習 (施設領域) に対応しており、それを踏まえた保育援助をすることが目的となる。しかしながら、学生は初めて施設実習に配属されるため、自分が考えた施設のイメージと実際の施設の機能が一致しないこともあるし、一方で自分が考えた保育援助が入所者 (利用者) に当てはまらないことも考えられる。</p> <p>したがって、実習指導者からの指導を受けながら、自らの課題や目標を遂行できるように実習していくことが本実習の目的である。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 指定された実習施設の定められた実習期間 (10 日間) で、指導者の指導を受けながら保育援助を行うことができる。</p> <p>2. 指定された実習施設の社会的役割を説明できる。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<p>実習生は、大学と協定がある実習先へ配属されることになる。その中では、定められた時刻に出退勤することのほか、実習中は指導者の指導の下で相談援助を行ったり、毎日の実習終了後に実習記録を書くことになる (実習記録は実習先が定めた方法で毎日提出)。</p> <p>また、大学教員が原則として 1 回巡回指導することになるが、多くの場合は実習先の指導者からの指導を受け、適切な保育援助をすることが求められる。</p>			<p>大学で従前に学習した資料を確認する。</p> <p>施設からのオリエンテーション資料を確認する。</p> <p>これまでに返却された実習記録を確認する。</p>	<p>実習記録の作成および従前に学修した資料を確認する。</p>		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	実習ハンドブッカー学外実習 (保育所・施設・幼稚園・小学校) の基本一	地域こども学科					
	保育実習ハンドブック【施設編】	地域こども学科					
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼保連携型認定こども園 教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246			
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239			
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	施設評価	50%	知識・技術を含む施設からの総合評価				
	実習記録簿	40%	実習中に振り返りが行えているか評価する				
	実習態度	10%	実習に取り組む姿勢を評価する				
備考							
フィードバック	実習事後において面談を実施する						

科目 コード	65310	ナンバリング	CHAF230	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	保育実習Ⅱ 2・地						
科目英語名	Practice for Nursery II						
担当教員	福鹿 慶子、生駒 英法						
資格・免許 との関連	保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	1. 保育実習Ⅰの学びを踏まえ、児童福祉施設の社会的役割を理解し、実地実習を通して保育士としての体験的学習を行う。 2. 事前事後指導において実地実習で学んだ内容を深め、保育士として必要な知識及び技術を習得するとともに、資質を高める。						
学修成果 到達目標	1. 保育所保育士として必要な知識及び技術を習得し、子どもの個人差について理解と多様な保育ニーズへの対処方法を習得することができる。 2. 子どもの発達に適した指導計画を立案し、実践力を身に付けることができる。 3. 保育所保育士としての倫理観を養い、自己課題を明確にすることができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	本科目は、2週間（実習時間 80 時間以上）の保育所における「保育所実地実習」（2回生9月）及び、実習に関わる「事前・事後指導」から構成されている。事前指導は、保育実習Ⅰの振り返り及び保育所実地実習に向けた具体的事項を学習する保育実習指導Ⅱ（2回生前期）の講義を受ける。事後指導は、「保育実習指導Ⅱ」の講義において実地実習の振り返りを行うとともに、実習報告会、レポート作成等を行う。 なお、単位が認定されるには、保育実習指導Ⅱに合格していなければならない。			実習目標の作成 実習での保育指導案作成 実習で必要な教材作成	自己評価票の作成 実習事後レポート作成 実習まとめレポート作成		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	保育所実習ハンドブック	本学作成					
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	保育所保育指針	解説					
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など			
	実習施設の成績		50%				
	記録簿の評価		40%				
備考	実習態度（取り組む姿勢等）		10%				
	保育実習指導Ⅱを受講すること。 履修後は、保育・教職実践演習を受講すること。						
フィード バック							

科目コード	65320	ナンバリング	CHAF220	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	保育実習指導Ⅱ 2-地						
科目英語名	Guidance on Practice forNursery Ⅱ 2-地						
担当教員	福鹿 慶子、生駒 英法						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習の目的と意義を理解する 2. 保育実習に意欲的に取り組み、保育実習の目的・内容を理解する 3. 自己を振り返り、自己の課題を明確にする 4. 保育実習の心構え、注意点を理解し、実習に向けての事務連絡及び諸手続きを行う 5. 保育所保育士に求められる資質について考える 						
学修成果到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実習を通して自己の課題を把握し、改善することができる。 2. 意欲的に実習準備に取り組むことができる。 3. 保育を振り返る力を身につけ文章化することができる。 4. 保育士の役割や社会的責任について説明することができる。 						
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
1	ガイダンス 保育実習Ⅱの意義と目的			保育実習Ⅰでの課題をまとめる (1時間)		実習生個人票等作成する(1時間)	
2	保育所保育の理解を深める			保育実習Ⅰで得た知識、技術についてまとめる(1時間)		具体的な保育所実習内容を全体的に理解し、課題を明確にする(1時間)	
3	指導案作成について			絵本を選び、手遊びをいくつかできるようにしておく(1時間)		責任実習を想定し、中心となる活動を選択し、題材に必要な教材研究をする(2時間)	
4	保育所現場の実際に学ぶ			実習で学びたい目標作成に向けて課題を整理する(1時間)		0歳児指導案作成(1時間)	
5	模擬保育(0歳児)			模擬保育準備(1時間)		1歳児指導案作成(1時間)	
6	模擬保育(1歳児)			模擬保育準備(1時間)		2歳児の指導案作成(1時間)	
7	模擬保育(2歳児)			模擬保育準備(1時間)		3歳児の指導案作成(1時間)	
8	模擬保育(3歳児)			模擬保育の準備(1時間)		4歳児の指導案作成(1時間)	
9	模擬保育(4歳児)			模擬保育準備(1時間)		5歳児指導案の作成(1時間)	
10	模擬保育(5歳児)			模擬保育準備(1時間)		模擬保育の評価・反省、課題の検討(1時間)	
11	模擬保育の振り返り			模擬保育の課題検討(1時間)		指導案の再構成(1時間)	
12	教材の研究			発達過程にあった玩具や教材を作成する(1時間)		責任実習で活用できる玩具や教材を考え材料等準備する(1時間)	
13	実習記録の作成と意義			保育実習Ⅰの記録簿を基に自己の課題を整理する(1時間)		保育実習Ⅰの記録簿の訂正箇所や評価の反省欄、指導保育者の指導内容コメントを読み返す(1時間)	
14	保育士(保育所)に必要な資質について			保育士(保育所)に必要な資質を調べる(1時間)		保育者としての資質についてまとめる(1時間)	
15	実習中の心構え・諸注意			実習での設定保育の準備(1時間)		実習での設定保育の準備(1時間)	
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		

	実習ハンドブッカー学外実習 (保育所・施設・幼稚園・小学校)の基本一	(本学作成)			
	実習ハンドブック【保育所】	(本学作成)			
	保育所保育指針解説	厚生労働省	フレーベル館	9784577814482	
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	保育用語辞典		ミネルヴァ書房		
	保育指導案百科事典		一藝社	9784863590410	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	模擬保育(指導案評価、保育評価、準備物等)		40%	模擬保育指導案、準備等の評価	
	課題内容		20%	実習目標、指導案、教材研究等の評価	
	事後レポート		20%	理解度及び考察力	
	授業態度		20%	積極性	
備考	実習終了後 2~3 講程度補講を行う				
フィードバック	授業時に随時コメントする				

科目コード	65330	ナンバリング	CHAF235	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	保育実習Ⅲ 2-地						
科目英語名	Practice for Nursery III						
担当教員	松本 充史、河村 信子						
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択必修科目						
学修内容	<p>学生は1回目の施設実習とは異なり、かなり高度な技術や知識を要する施設実習に配属される。したがって、自分が考えた施設のイメージと実際の施設の機能が一致しないこともあるし、一方で自分が考えた保育援助が入所者(利用者)に当てはまらないことも考えられる。</p> <p>したがって、実習指導者からの指導を受けながら、自らの課題や目標を遂行できるように実習し、将来の保育職としての価値観を高めていくことが本実習の目的である。</p>						
学修成果到達目標	<p>1. 指定された実習施設の定められた実習期間で、指導者の指導を受けながら保育援助を行うことができる。</p> <p>2. 指定された実習施設の社会的役割を説明できる。</p> <p>3. 将来の保育職として、関連職種と連携しながら、援助を展開することができる。</p>						
	授業計画			事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間		
	<p>実習生は、大学と協定がある実習先へ配属されることになる。その中では、定められた時刻に出退勤することのほか、実習中は指導者の指導の下で相談援助を行ったり、毎日の実習終了後に実習記録を書くことになる(実習記録は実習先が定めた方法で毎日提出)。</p> <p>また、大学教員が原則として1回巡回指導することになるが、多くの場合は実習先の指導者からの指導を受け、適切な保育援助をすることが求められる。</p>			<p>大学で従前に学習した資料を確認する。</p> <p>施設からのオリエンテーション資料を確認する。</p> <p>これまでに返却された実習記録を確認する。</p>	<p>実習記録の作成および従前に学修した資料を確認する。</p>		
試験							
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	実習ハンドブックー学外実習(保育所・施設・幼稚園・小学校)の基本ー	地域こども学科					
	保育実習ハンドブック【施設編】	地域こども学科					
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
	幼保連携型認定こども園 教育・保育要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246			
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239			
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222			
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	施設評価	50%	知識・技術を含む、施設からの総合評価				
	記録簿	40%	実習中に振り返りが行えていたか評価する				
	実習態度	10%	実習に取り組む姿勢を評価する				
備考							
フィードバック	実習事後において面談を実施する						

科目コード	65340	ナンバリング	CHAF225	単位数	1 単位	開講時期	2023 年度前期	
科目名	保育実習指導Ⅲ 2-地							
科目英語名	Guidance on Practice forNursery Ⅲ 2-地							
担当教員	松本 充史、河村 信子							
資格・免許との関連	保育士資格取得のための選択必修科目							
学修内容	保育所以外の児童福祉施設における実地実習を通して、保育士としての体験的学習を行い、サービスの内容および保育者として必要な資質を身につけることを目標とする。また、保育士としての自己の課題について具体的に検討する。							
学修成果到達目標	1. 児童福祉施設における直接的援助のみならず間接的援助についても説明できる。 2. 現場実習において体験した内容のふりかえりとまとめを行い、具体的な体験や援助活動を専門的援助技術として概念化し、体系立てていくことができる。							
授業計画				事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間		
1	保育実習指導Ⅲおよび保育実習Ⅲへに向けた学びの姿勢			保育実習Ⅰ(施設) および保育実習指導Ⅰ(施設) の既習範囲を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
2	ハンドブックの内容概説			ハンドブックの該当箇所を熟読する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
3	実習先として設定される施設の社会的役割(種別ごと)(ICT を活用した動画コンテンツによる事例紹介)			教科書の該当箇所を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
4	保育士を基準とした社会資源の活用			インターネット等で地域支援の現状を調べる(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
5	実習先とのオリエンテーションに向けた説明と連絡			保育実習Ⅰ(施設)および保育実習指導Ⅰ(施設)の既習範囲を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
6	設定保育に向けた保育案の検討			大学での既習範囲を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
7	設定保育に向けた保育実践			大学での既習範囲を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
8	施設実習における支援計画			大学での既習範囲を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する。(0.5 時間)		
9	保育実習Ⅰ(施設)における学びと課題の整理			保育実習Ⅰ(施設)および保育実習指導Ⅰ(施設)の既習範囲を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
10	施設保育士に求められる資質①			教科書該当箇所確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
11	施設保育士に求められる資質②			教科書該当箇所確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
12	事例検討(心理的支援を要する子どもへの保育士の対応)			心理学等の教科書を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
13	事例検討(虐待事案)			社会的養護等の教科書を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
14	事例検討(保護者・家庭支援)			社会福祉等の教科書を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
15	守秘義務(プライバシー保護)			教科書該当事項を確認する(0.5 時間)		授業で学修したことを整理する(0.5 時間)		
試 験								
教科書	書 名		著 者		出版社		ISBN	備 考
	考え、実践する施設実習		浦田雅夫		保育出版社		9784905493167	

	実習ハンドブッカー学外実習 (保育所・施設・幼稚園・小学校)の基本一	地域こども学科			
	保育実習ハンドブック【施設編】	地域こども学科			
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考
	幼保連携型認定こども園教育・保育要領要領	内閣府・文部科学省・厚生労働省	フレーベル館	9784577814246	
	保育所保育指針	厚生労働省	フレーベル館	9784577814239	
	幼稚園教育要領	文部科学省	フレーベル館	9784577814222	
成績評価 方法・基準	評価方法		評価割合	評価基準など	
	授業態度		20%	受講姿勢、積極性	
	授業毎の課題		40%	授業内容を理解しているか評価する	
	授業内での演習		20%	授業内容を理解しているか評価する	
	実習事後レポート		20%	実習事後に振り返りが行えているか評価する	
備考	欠席カウントが4回になった時点で「実習は中止、本科目の単位取得は不可」となる。				
フィードバック	授業内の課題について適宜コメントする				

科目コード	9002	ナンバリング		単位数	0 単位	開講時期	2023年度前期、 2023年度後期
科目名	介護等体験						
科目英語名							
担当教員	樹下 堅						
資格・免許との関連	小学校教諭免許取得のための必修科目						
学修内容	教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性に鑑み教員の資質向上及び学校教育の一層の充実を図るため、小学校及び中学校の教諭の普通免許状取得希望者に介護等体験が義務付けられている（文部科学省「介護等体験一般に関する Q&A より直接引用）。介護等体験は、特別支援学校や社会福祉施設、その他文部科学省が法令で定める施設（保育所を除く法令に根拠を有するほぼ全ての福祉施設や老人保健施設等）において7日間行う。						
学修成果到達目標	特別支援学校や社会福祉施設等において、介護、介助のほか、障害者、高齢者等と直接接しない掃除や洗濯や受け入れ施設の職員に必要とされる業務の補助等の幅広い体験を延べ7日間実施することができる。						
	授業計画			事前学修及び必要時間		事後学修及び必要時間	
	奈良県教育委員会からの通達に従い実施する。			事前のオリエンテーションに参加する。		事後の報告書を提出する。	
試験	筆記試験						
教科書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
参考書	書名	著者	出版社	ISBN	備考		
成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など				
	介護等体験の実施と証明書の発行	100%	介護等体験を7日間実施し、所定の証明書の発行があるかどうか。				
備考	介護等体験およびオリエンテーション参加にかかる諸費用は実費負担する。						
フィードバック							